瑞西　ザー、ベー、ヒオダー／ア、ステーゲル／セー、デレッセルト
突尼斯攝政國　チエボート
土耳古　ムースタフア／ア、フアリー

萬國郵便聯合
最終議定書

下ニ署名スル全權委員ハ價格表記信書及箱物交換約定ニ署名スルニ當リ協議決定セシ條款左ノ如シ

本約定第一條第三項ニ於テ價格表記金額ノ最高限ハ如何ナル場合ニ於テモ一萬「フランク」以下タルヲ得スト規定シアルニ拘ラス其ノ內地郵便ニ於テ一萬「フランク」以下ノ最高限ヲ採用セル國ハ外國トノ間ニ交換スル價格表記信書及箱物ニ付テモ亦同樣ノ規定ヲ設クルコトヲ得

右記據トシテ下ニ記載スル全權委員ハ本最終議定書ヲ調製シ各之ニ署名ス此ノ最終議定書ノ條款ハ其ノ約定本文中ニ記載シタルト同一ノ效力價値ヲ有シ其ノ正本ハ亞米利加合衆國政府ノ文庫ニ保管シ其ノ謄本ハ一部宛各國ニ送付ス

千八百九十七年六月十五日華盛頓ニ於テ調製ス

獨逸及獨逸保護國　フリッチ／ノイマン
中央亞米利加大共和國　エヌ、ボレット、ペラザ
亞然的音共和國　エム、ガルシア、メルー
墺地利　ドクトル、ノイバウエル／ハッペルゲル／スチープラル
白耳義　リヒテルアエルド／ステルバン／ア、ラムビン
ボスニー、ヘルセゴヴヰヌ　ドクトル、カムレー
伯西兒　ア、フオンツーラ、ザヴヰエー
勃爾瓦利　イヴ、ストヤノヴヰッチ
智利　エル、エル、イララザヴアール
丁抹及丁抹殖民地　セー、スヴアンドサン
ドミニカ共和國
埃及　イクレック、サバー
西班牙　アドルフオ、ローザバール／カルロス、フローレッツ
佛蘭西　アンソール
佛蘭西殖民地　エド、ダルマー
洪牙利　ピエール、ド、サライ／ゼー、ド、ヘンニエー
伊太利　エー、キアラヴア／ゼー、セー、ヴアンシー／エー、デルマチー
歷山堡　ヘヴェラール代ヴアン、デル、ヴエエン
那威　ザアシュベ、ヘイエルダアール
和蘭　ヘヴェラール代ヴアン、デル、ヴエエン、ヴアンデル、デ、ヴエエン
葡萄牙及葡萄牙殖民地　サント、チルゾー
羅馬尼　セー、キルー／エル、プレダ
露西亞　セヴアスチアノーフ
塞爾維　ピエール、ド、サライ／ゼー、ド、ヘンニエー
瑞典　エフ、アシュ、シュリテルン
瑞西　ザー、ベー、ヒオダー／ア、ステーゲル／セー、デレッセルト
突尼斯攝政國　チエボード
土耳古　ムースタフア／ア、フアリー

明治三十六年九月十九日
遞信省告示第四百四十九號

滿得退各顯國ハ本年八月一日以降華盛頓締結價格表記信書及箱物交換約定ニ加盟セリ
但同國宛有郵便物ノ郵便料及價格表記料ハ追テ告示ス

（三十六年遞信省告示第五百九十八號ヲ以テ大不列顛保護地南「ナイゼリア」並「モーリシアス」「セイシエルス」「シエラ、レオン」「ゴールド、コースト」「グレナダ」「セント、ルシア」及「セント、ビンセント」ノ各大不列顛殖民地ハ本條約ニ加盟セシ旨告示セリ該告示ハ萬國郵便條約ニ揭載ス）

明治三十七年一月二十二日
遞信省告示第五十四號

大不列顛殖民地「ホンヂュラス」及「サイプラス」ハ華盛頓締結價格表記信書及箱物交換約定ニ加盟セリ

明治三十七年九月二十四日
遞信省告示第四百十六號

大不列顛殖民地「バルバドス」ハ本年十月一日以降華盛頓締結價格表記信書及箱物交換約定ニ加盟ス

明治三十八年二月十三日
遞信省告示第五十一號

大不列顛殖民地「バーミユダ」島ハ華盛頓締結價格表記信書及箱物交換約定ニ加盟セリ

明治三十八年六月九日
遞信省告示第三百五號

蘭領東印度ハ華盛頓締結價格表記信書及箱物交換約定ニ加盟セリ

明治三十九年十二月二十一日
遞信省告示第五百九十號

伊太利殖民地「エリトレー」ハ華盛頓締結價格表記信書及同箱物交換約定ニ加盟セリ

●價格表記信書及箱物交換約定施行細則

明治三十五年十一月八日
遞信省告示第五百四十一號

本年十一月七日勅令ヲ以テ公布セラレタル華盛頓締結價格表記信書及箱物交換約定ノ施行細則左ノ如シ

萬國郵便聯合

獨逸及獨逸保護國、中央亞米利加大共和國、亞然的音共和國、墺地利洪牙利、白耳義、「ボスニー、ヘルセゴヴヰヌ」、伯西兒、勃爾瓦利、智利、丁抹及丁抹殖民地、「ドミニカ」共和國、埃及、西班牙、佛蘭西、佛蘭西殖民地、伊太利、歷山堡、那威、和蘭、葡萄牙及葡萄牙殖民地、羅馬尼、露西亞、塞爾維、瑞典、瑞西、突尼斯攝政國及土耳古ノ間ニ締結セル價格表記信書及箱物交換約定施行細則

下ニ署名スル諸員ハ萬國郵便條約第十九條並ニ價格表記信書及箱物交換約定第十六條ニ準據シ各其ノ郵政廳ニ代リ該約定實施ノ爲協議決定セシ條款左ノ如シ

第一條

第一項　聯合郵疆內ニ於テ通常郵便物遞送ノ爲各所ニ定期ノ海運ヲ有スル締盟諸國ノ郵政廳ハ其ノ海運中責任ヲ負擔シテ價格表記信書及箱物ノ遞送ニ供シ得ル分ヲ他ノ締盟諸國郵政廳ニ通知スヘシ

第二項　締盟諸國郵政廳ハ附錄第一號雛形ニ適合スル表ヲ以テ互ニ左ノ事項ヲ通知スヘシ

第一　價格表記信書及箱物遞送ノ爲其ノ媒介ニ從事シ得ル諸國名

第二　其ノ郵疆內ニ入リ若ハ其ノ管掌ニ歸スル場所ヨリ該郵便物ノ遞送ニ充ツヘキ線路

第三　價格表記箱物ヲ發送セル郵政廳ヨリ各名宛地毎ニ遞送料トシテ受取ルヘキ金額

第四　開函ニテ價格表記信書及箱物ヲ發送セル郵政廳ヨリ各名宛地毎ニ受取ルヘキ保險料ノ額

第三項　歐洲外ノ諸國及土耳古ノ郵政廳ハ其ノ一部ノ局ニ限リ價格表記郵便物ノ業務ヲ取扱ハシムルコトヲ得此ノ權利ヲ行使スル郵政廳ハ他國ヨリ價格表記郵便物ヲ受取リ得ヘキ自國ノ郵便局名ヲ他ノ締盟諸國郵政廳ニ通知スヘシ

第四項　各郵政廳ハ關係郵政廳ヨリ受領シタル第一號表ニ依リ價格表記郵便物ノ遞送ニ充ツヘキ線路及媒介遞送ノ條件ニ從ヒ差出人ヨリ徵收スヘキ料金ヲ定ムヘシ

第五項　各郵政廳ハ最初ノ媒介廳ヘ其ノ廳ヲ經由シ開函ニテ價格表記信書及箱物ヲ發送セムトスル國名ヲ直接ニ通知スヘシ

第二條

第一項　價格表記信書ハ封皮ニ納メ該封皮ノ各封緘部ヲ充分ニ保護スル樣良質ノ封蠟ヲ用ヒ間隔ヲ設ケ各自ノ印影ヲ有スル封印ヲ數個所ニ押捺シタル者ニアラサレハ之ヲ引受クルコトヲ得ス該封皮ニハ緣端ノ彩色セル者ヲ用フルヲ禁ス

第二項　價格表記信書ハ封皮若ハ封印ヲ外部ヨリ明瞭ニ毀損スルニアラサレハ其ノ封入品ニ觸ルルコト能ハサル樣封緘スヘシ

第三項　料金前拂ノ證トシテ使用スル郵便切手ハ封皮ノ損所ヲ隱蔽シ能ハサル樣間隔ヲ設ケテ之ヲ貼付スヘシ該切手ハ封皮ノ緣端ヲ隱蔽スル樣其ノ表裏ニ亘リテ貼附スルヲ得ス

第四項　珠玉及貴重ノ物品ハ充分ノ耐力ヲ有シ長三十「サンチメートル」幅十「サンチメートル」高十「サンチメートル」ヲ超過セサル木製又ハ金屬製ノ箱ニ納ムヘシ木製ノ箱ニアリテハ其ノ各面ノ厚少クモ八「ミリメートル」ヲ有セサルヘカラス

第五項　價格表記ノ箱物ハ結節ナキ堅牢ナル紐ヲ以テ縱橫ニ結縛シ其ノ兩端末ヲ結合シテ良質ノ封蠟ヲ用ヰ各自ノ印影ヲ有スル封印ヲ施スヘシ又其ノ前後左右ノ四面ハ同一ノ封印ヲ以テ封緘シ上下ノ兩面ハ白紙ヲ以テ覆ヒ之ニ名宛人ノ住所氏名及價格表記ノ金額ヲ記載シ併テ事務用ノ印章ヲ押捺スル用ニ供スヘシ

第六項　頭字ヲ用ヰ又ハ鉛筆ヲ以テ名宛ヲ記載シタル價格表記信書及箱物ハ之ヲ郵送スルヲ得ス

第三條

第一項　價格ノ表記方ハ「フランク」及「サンチーム」若ハ差出國ノ通貨ヲ以テシ差出人ニ於テ文字及數字ヲ以テ其ノ金額ヲ郵便物ノ名宛面ニ記載スヘシ但シ證明ノ有無ニ拘ラス之ヲ塗抹若ハ改竄スルヲ許サス

第二項「フランク」以外ノ貨幣ニテ價格ヲ表記シタルトキハ差出國郵政廳ハ之ヲ「フランク」ニ換算シ表記ノ金額ヲ表示スル數字ノ側若ハ其ノ下ニ「フランク」及「サンチーム」ニ於ケル其ノ比例額ヲ新タニ數字ヲ以テ記載スヘシ但シ此ノ規定ハ同一ノ貨幣ヲ有スル諸國間ノ直接ノ關係ニ於テハ之ヲ適用スルノ限ニアラス

第三項　價格表記箱物ハ稅關告知書ノ使用ヲ必要トスル諸國トノ關係ニ於テハ附錄第二號雛形ニ適合若ハ類似スル稅關告知書ヲ添附スヘシ關係郵政廳ハ互ニ該告知書ノ要否ヲ通報シ且該郵便物ニ添附ヲ要スル稅關告知書ノ枚數ヲ通知スヘキモノトス

第四條

價格表記信書若ハ箱物ノ別配達、到達證、取戻若ハ名宛變更ヲ請求スルモノアルトキハ萬國郵便條約第十三條竝ニ同施行細則第十三條及第二十九條ノ規定ヲ適用スルモノトス

代金引換ノ價格表記信書若ハ箱物ニ付テハ萬國郵便條約施行細則第十四條ノ規定ヲ適用スルモノトス

第五條

何等ノ事由ヲ問ハス若ハ關係者ノ申告ニ依リ信書若ハ箱物ニ其ノ有スル實價以上ノ價格ヲ僞テ表記シアルコトヲ發見シタルトキハ成ルヘク速ニ其ノ旨ヲ差出國郵政廳ヘ通知スヘシ且必要アルトキハ參考ノ爲證據物件ヲモ添送スヘキモノトス

第六條

第一項　價格表記信書若ハ箱物ノ各重量ハ差出局ニ於テ精密ニ秤リ「グラム」ニテ名宛ノ上部左隅ニ記載スヘシ

第二項　價格表記郵便物ニハ差出局ニ於テ名宛ノ側ニ差出地名ト差出日附トヲ記載セル印章ヲ押捺スヘシ又價格表記信書若ハ箱物ニ關シ差出國ニ於テ使用スル特殊ノ印章アルトキハ之ヲモ押捺スルモノトス

第三項　名宛局ニ於テハ其ノ裏面ニ到着日附印ヲ押捺スヘシ

第七條

第一項　境界相接スル諸國若ハ直接ノ海運ニ依リ聯絡スル諸國間ニ於ケル價格表記郵便物ノ遞送ハ關係兩國ノ郵政廳ニ於テ協議ノ上指定スル交換局ニ於テ之ヲ取扱フヘシ

第二項　一國若ハ數國ノ媒介ニ依リ聯絡スル諸國間ノ關係ニ於テハ價格表記信書及箱物ハ常ニ最速ノ線路ニ依リ遞送スヘシ且第一媒介廳カ本細則第一條ニ定ムル條件ニ適ヒ遞送ヲ擔當スル場合ニ於テハ閉囊ニテ同廳ニ之ヲ送付スヘシ

第三項　然レトモ關係郵政廳ハ本約定ニ加盟セル若ハ之ニ加盟セサル一國若ハ數國ノ媒介ニ依リ閉囊ニテ價格表記郵便物ヲ交換セムカ爲若ハ直通ノ線路ニ由ルトキハ其ノ全線路ヲ通シテ責任ヲ負擔セシムルヲ得サルカ如キ場合ニ於テ迂回線路ニ由リ閉囊ニテ之ヲ遞送セムカ爲互ニ協議ヲ遂クルコトヲ得

第八條

第一項　價格表記信書及箱物ハ差立交換局ニ於テ本細則附錄第三號雛形ニ適合スル特別ノ差立目錄ニ式ノ如ク詳細ニ記入スヘシ

附註欄內ニハ到達證請求價格表記郵便物ノ記載ニ對シテハ「A R」(到達證)ナル文字ヲ記入シ又代金引換價格表記郵便物ノ記載ニ對シ Remb(代金引換)ナル文字ヲ記入シタル上名宛國ノ通貨ヲ以テ取立代金額ヲ記載スヘシ別配達ノ請求アル該郵便物ハ書狀目錄第一表ニ記載スヘシ

第二項　價格表記信書及箱物ハ前項ノ差立目錄ト共ニ紐ヲ以テ結縛シ强靱ナル紙ヲ以テ包ミ一個若ハ各別個ノ包束物トナシ更ニ其ノ外部ヲ紐ニテ括リ良質ノ封蠟ヲ以テ各結紮部ニ差立交換局ノ封印ヲ施スヘシ此レ等ノ包束物ニハ Valeurs déclarées(價格表記)若ハ Lettres de Valeur déclarées(價格表記信書)及 Boîtes de Valeur déclarée(價格表記箱物)ナル文字ヲ記載シ併テ其ノ下ニ其ノ全體ノ重量ヲ「グラム」ニテ記載スヘシ該包束物ハ郵便行囊ノ中央ニ納ムヘキモノトス

第三項　價格表記郵便物ヲ挿入スヘキ郵便行囊中ニ於ケル該包束物ノ在否ハ書狀目錄ノ表面ニ於ケル特別ノ欄內ヘ該包束物ノ員數及重量ヲ記載シ若ハ Néant(一モ無シ)ナル文字ヲ記載シテ證明スルモノトス

第四項　價格表記郵便物ノ一個若ハ數個ノ包束物ハ書留郵便物ノ包束物ト共ニ紐ヲ以テ縱橫ニ結縛シ其ノ外部ニ書狀目錄ヲ封入スル特別ノ封皮ヲ附着スヘシ

第五項　關係郵政廳ノ一方ニ於テ價格表記箱物ノ分離ヲ請求スルトキハ必ス之ヲ別個ノ第三號式紙ニ記入シ且別ニ之ヲ包裝スヘシ此ノ如キ場合ニ於テハ兩種ノ價格表記郵便物ヲ包有スル包束物若ハ行囊ハ書留郵便物ノ包束物若ハ行囊ニ結合スヘキモノトス

第六項　價格表記郵便物ノ到達證ハ萬國郵便條約施行細則第十三條、第二十條及第二十一條ノ規定ニ從ヒ之ヲ取扱フヘシ

第七項　本條ノ諸規定ニシテ關係兩國中其ノ一方ノ內地ノ規程ニ抵觸スルモノアルトキハ兩國郵政廳互ニ協議ヲ遂ケ之ヲ變更スルコトヲ得

第九條

第一項　價格表記郵便物ノ包束物到着スルトキハ名宛交換局ニ於テ先ツ其ノ外形若ハ包裝ニ異狀ナキヤ或ハ其ノ遞送方法カ前條記載ノ方式ニ適合セルヤ否ヲ檢査スヘシ且其ノ包束物ノ全體ノ重量ヲモ併セテ檢査スルモノトス

第二項　然ル後該交換局ハ價格表記郵便物ニ就キ一一點檢ヲ遂ケ其ノ數ニ不足アルカ若ハ其ノ他異狀ノ廉アルヲ發見シタルトキハ萬國郵便條約施行細則第二十三條ニ揭クル書留郵便物ニ關スル規則ニ從ヒ其ノ證明竝ニ差立目錄ノ訂正ヲナスヘシ

第三項　價格表記郵便物ニ不足若ハ異狀アリテ關係郵政廳其ノ責ヲ負擔スヘキコトヲ發見シタルトキハ名宛交換局ハ其ノ旨ヲ證明スル爲メ包束ニ用井タル封皮、紐竝ニ封印ヲ添ヘ調書ヲ所轄郵政廳ヘ送付シ同時ニ調書ノ寫ヲ事務用書留郵便物トシテ差立交換局ヲ管理スル郵政廳ヘ送付スヘシ但シ差立交換局ヘハ別ニ點檢狀ヲ以テ直チニ其ノ旨ヲ通知スヘキモノトス

第四項　交換局ニ於テ關係交換局ヨリ包裝不充分ナル若ハ毀損セル郵便物ヲ受取リタルトキハ第三項ノ規定ヲ施行シタル上更ニ該郵便物ヲ包裝シテ遞送スヘシ但シ原初ノ包裝ハ成ルヘク之ヲ保存スルヲ要ス此ノ場合ニ於テハ該郵便物ノ重量ハ再裝ノ前後ニ於テ之ヲ證明スヘキモノトス

第十條

第一項　誤送ノ故ヲ以テ再發スヘキ價格表記信書及箱物ハ再發國郵政廳ヨリ最速遞送ノ線路ヲ經テ其ノ名宛地ヘ遞送スヘシ

再發ノ爲該郵便物ヲ差立國郵政廳ヘ返送スルニ至リタルトキハ同廳ノ差立目錄ニ記入シアル收得高ハ之ヲ抹殺シ再發交換局ハ點檢狀ヲ以テ其ノ誤謬ノ廉ヲ關係局ヘ通知シタル上該郵便物ヲ返送スヘシ

前項ニ該當セサル場合ニ於テ再發廳ノ收得ニ歸スヘキ料金カ自廳ノ收得分タル料金及其ノ廳ノ支辨スル再發ノ費用ヲ償フニ足ラサルトキハ其ノ差額ヲ自廳ノ貸高トシ差立交換局ノ差立目錄ニ記載シアル自廳ノ收得高ヲ增加スヘシ但シ訂正ノ事由ハ點檢狀ヲ以テ差立交換局ヘ通知スヘキモノトス

第二項　名宛人ノ住所移轉ニ依リ他ノ締盟國ヘ價格表記信書及箱物ヲ再發スルトキハ再發廳ニ於テ之ニT字ノ印章ヲ押捺スヘシ配達廳ハ自廳ノ收得高及媒介廳アルトキハ其ノ各廳ノ收得高ニ相當スル料金ヲ名宛人ヨリ徵收スヘシ

後段ノ場合ノ如ク數廳ノ媒介ヲ要スル時ハ再發價格表記郵便物ヲ受取リタル第一媒介廳ハ自廳ノ收得分ヲ該郵便物ヲ交付スル所ノ郵政廳ニ貸越シ同廳若シ亦單ニ其ノ媒介廳ニ過キサルトキハ前媒介廳ヨリ借越シタル高ニ自廳ノ收得分ヲ合シ次ノ郵政廳ニ貸越スヘシ此ノ如クシテ該郵便物ノ配達廳ニ到達スル迄ハ其ノ遞送ニ從事スル各郵政廳ノ間ニ於テ前同樣ノ手續ヲナスヘキモノトス然レトモ價格表記郵便物再發後ノ遞送ニ要スル料金ヲ再發ノ際ニ支拂フトキハ該郵便物ハ再發國ヨリ名宛國ヘ直接ニ發送シタルモノト看做シテ取扱ヒ無料ニテ名宛人ニ交付スヘシ

第三項　價格表記信書若ハ箱物ノ名宛人本約定ニ加盟セサル國ヘ出發シタルトキハ最初ノ名宛廳ニ於テ他ニ之ヲ送達シ得ル途ナキトキハ不能配達ノモノトシテ差出人ニ送付ノ爲メ直チニ之ヲ差出國ヘ返送スヘシ

第四項　何等ノ原因ヲ問ハス配達シ能ハサル價格表記郵便物ハ互ニ交換局ヲ經テ成ルヘク速ニ之ヲ返送スヘシ遲クモ萬國郵便條約施行細則ニ定ムル期間ヲ經過スルコトヲ得ス該郵便物ハ第三號式紙ニ記入シ其ノ附註欄內ニハ Rebuts(不能配達)ナル文字ヲ附記シ Valeurs déclarées(價格表記)ト標記スル包束物中ニ納ムヘシ

第五項　名宛人ノ住所移轉ニ依リ他國ヘ再發スル若ハ不能配達ニ歸シタル價格表記箱物ニシテ檢定ニ關スル諸費用ヲ再發ノ際償還セサルトキハ其ノ金額ハ關係郵政廳ノ借越トシテ差立目錄第九欄ニ記入シ且名宛人若ハ差出人ヨリ追徵スヘキ該費用ノ種目(刻印稅試驗料等)ヲ第十欄ニ約記スヘシ

第十一條

價格表記信書若ハ箱物ヲ他ノ郵政廳ニ遞送シタル郵政廳ハ該信書若ハ箱物ヲ受取リタル交換局ヨリ次便ヲ以テ價格表記郵便物ノ包束物ノ全部或ハ其ノ信書若ハ箱物ニ不足又ハ異狀アリタルコトヲ證明セル調書ヲ受領セサルトキハ反對ノ證據アル迄ハ價格表記郵便物ニ對スル一切ノ責任ヲ免カルルモノトス

第十二條

價格表記信書及箱物ノ不達取調ニ關スル請求ニ付テハ諸郵政廳ハ書留郵便物ノ取調請求ニ關スル萬國郵便條約施行細則第二十八條ノ規定ニ從フヘシ

第十三條

本約定第四條第一項ニ準據シ價格表記信書ノ陸路

及海路繼續遞送ニ從事スル各締盟國郵政廳ヘ支拂フヘキ遞送料ハ萬國郵便條約施行細則第三十一條及第三十二條ニ定ムル條件ニ從ヒ之ヲ計算スルモノトス

第十四條

第一項　各郵政廳ハ毎月所屬ノ各交換局ヲシテ他ノ同一郵政廳ノ諸交換局ヨリ受取リタル郵便物ニ付キ各差立目錄ニ記載シアル金額ノ月次貸借表ヲ本細則附錄第四號雛形ニ從ヒ調製セシムヘシ但シ差立目錄ニハ差立國郵政廳ニ於テ徵收セシ遞送料(箱物ニ限ル)及保險料ノ內自廳ノ收得分及若シ關係郵政廳アルトキハ其ノ廳ノ收得分トモ自廳ノ貸方ニ又再發若ハ不能配達ノ場合ニ於テ名宛人若ハ差出人ヨリ徵收スヘキ郵便諸料金及檢定ニ關スル諸費用ノ內媒介廳ヘ支拂フヘキ分ハ自廳ノ借方ニ記載シアルモノトス

第二項　然ル後同郵政廳ハ第四號月次貸借表ヲ本細則附錄第五號雛形ニ適合スル簡約計算書ヘ集記スヘシ

第三項　簡約計算書ハ月次貸借表、差立目錄及差立目錄ニ關ヘル點檢狀アルトキハ該點檢狀ヲモ添ヘ其ノ翌月中ニ關係郵政廳ヘ送付シ其ノ檢査ニ供スヘシ

此ノ檢査ノ結果ハ簡約計算書領收ノ日ヨリ起算シ遲クモ一箇月以內ニ該計算書ヲ調製シタル郵政廳ニ通知スヘシ

第四項　各簡約計算書ハ雙方ニ於テ檢査承認シタル後貸越郵政廳ニ於テ各年ノ總計算書ニ之ヲ集記スヘシ但シ關係郵政廳ノ間ニ特別ノ約定アルトキハ此ノ限ニアラス

各年ノ總計算書ハ遲クモ其ノ翌年三月ノ半迄ニ調製シ關係郵政廳ヘ送付スヘシ關係郵政廳ハ其ノ之ヲ受領シタル日ヨリ遲クモ一箇月以內ニ承認若ハ異見ヲ付シテ該計算書ヲ返送スヘシ

第五項　各年ノ總計算書ニ基ク差金ハ該計算ノ協議確定シタル後遲クモ一箇月以內ニ貸越郵政廳ヘ何等ノ手數料ヲ課セスシテ支拂フヘシ但シ關係郵政廳ノ間ニ特別ノ約定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十五條

第一項　諸郵政廳ハ本約定實施ノ日ヨリ遲クモ三箇月以前ニ萬國郵便聯合總理局ヲ經由シ左ノ諸件ヲ互ニ通知スヘシ

第一　本約定第五條及本細則第一條ニ準據シ締盟各國ヘ宛發送スル價格表記信書及箱物ニ對シ自廳ニ於テ課スヘキ保險料

第二　自廳ニ於テ價格表記郵便物ニ使用スル特別ノ印章アルトキハ其ノ印章

第三　本約定第一條ヲ適用シ自廳ニ於テ規定スル價格表記金額ノ最高限

第二項　以上ノ三件ニ關シ向後變更ヲ生スルトキハ同一ノ手續ニ依リ遲滯ナク其ノ旨ヲ通知スヘシ

第十六條

第一項　締盟各國郵政廳ハ萬國郵便條約第二十五條ニ規定スル會議ノ時期ニ至ラサルモ萬國郵便聯合總理局ヲ經テ本細則ノ修正若ハ解釋ニ關スル發議ヲ其ノ他ノ郵政廳ニ提出スルノ權利ヲ有ス

第二項　總テ發議ハ萬國郵便條約施行細則第四十一條ニ定ムル方法ニ準據スヘシ

第三項　發議ハ左ノ同意ヲ得ルニアラサレハ實施スルコトヲ得ス

第一　本約定ニ新條款ヲ追加シ若ハ本條及第十七條ノ諸條款ヲ修正セムトスルトキハ投票國全體ノ同意

第二　本約定中第二條第三條第六條第七條第八條第九條第十一條並ニ第十三條ノ諸條款ヲ修正セムトスルトキハ投票國三分ノ二以上ノ同意

第三　以上ニ記載スルモノヲ除クノ外其ノ他ノ諸條款ヲ修正セムトスルトキ若ハ本施行細則ノ諸條款ノ解釋ニ關スルトキハ單ニ投票國過半數ノ同意但シ萬國郵便條約第二十三條ニ記載スル爭議ヲ生シタル場合ハ此ノ限ニアラス

第四項　有效ノ決議ハ單ニ萬國郵便聯合總理局ヨリ締盟國郵政廳ヘノ通知書ヲ以テ確認スヘシ

第五項　總テ可決セシ修正又ハ決議ハ通知ノ後少クモ三箇月ヲ經過セサレハ之ヲ實施セス

第十七條

本施行細則ハ價格表記信書及箱物交換約定實施ノ日ヨリ實施シ締盟各國郵政廳ノ協議ヲ以テ之ヲ改正スルニアラサレハ同約定ト其ノ效力期間ヲ同フス

千八百九十七年六月十五日華盛頓ニ於テ調製セリ

獨逸及獨逸保護國　フリッチ、ノイマン
中央亞米利加大共和國　エヌ、ボレット、ベラザ
亞然的音共和國　エム、ガルシア、メルー
墺地利　ドクトル、ノイベウエル、ハッペルゲル、スチーブラル
白耳義　リヒテルアエルド、ステルペン、ア、ラムビン
ボスニー、ヘルセゴヴヰヌ　ドクトル、カムレー
伯西兒　ア、フォンツーラ、サヴヰエー
勃爾牙利　イヴ、ストヤノヴヰッチ
智利　エル、エル、イララザヴァール
丁抹及丁抹殖民地　セー、スヴアンドサン
ドミニカ共和國
埃及　イグレック、サバー
西班牙　アドルフォ、ローザバール、カルロス、フローレッズ
佛蘭西　アンソール
佛蘭西殖民地　エド、ダルマー
洪牙利　ヒエール、ド、サライ、セー、ド、ヘンニエー
伊太利　エー、キアラザア、セー、セー、ヴアンシー、エー、デルマチー
盧森堡　ハヴエッソール代ヴアン、デル、ヴエエン
那威　ザアシユベ、ヘイエルダアール
和蘭　ハヴエラール代ヴアン、デル、ヴエエン、ヴアン、デル、ヴエエン
葡萄牙及葡萄牙殖民地　サント、チルソー
羅馬尼　セー、キルー、エル、プレダ
露西亞　セヴアスチアノーフ
塞爾維　ヒエール、ド、サライ、セー、ド、ヘンニエー
瑞典　エフ、アシユ、シユリテルン
瑞西　ザー、ベー、ピオダー、ア、スターゲル、セー、デレッセルト
突尼斯攝政國　チエボート
土耳古　ムースタフア、ア、フアリー

(附錄)

第一號

本表差立郵政廳……　本表名宛郵政廳……

境界相接セサル諸國間ニ於ケル價格表記信書及箱物ノ交換

本約定ニ加盟スル諸國ニ宛テタル價格表記郵便物ヲ、、、郵政廳ヨリ同郵政廳ニ對スル媒介廳タル……郵政廳ヘ開落ニテ遞送シ得ル條件ヲ指示スル表

一 名宛國	二 遞送線路	三 媒介國及危險ヲ擔保シ特殊ノ報酬ヲ要スル海運ノ名稱	四 、、、ヘ支拂フヘキ箱物ニ對スル遞送料ノ合計	五 、、、ヘ支拂フヘキ信書及箱物ニ對スル保險料ノ合計	六 附註

第二號

稅關告知書

一 封入品ノ名稱	二 封入品ノ價格	三 重量 箱物全部	四 重量 封入品ノ正味	五 附註
		グラム	グラム	

左ニ封印ノ印影ヲ押捺スヘシ

○

千八百九十一年―月―日……ニ於テ　差出人……

第三號(表面)

差立局印 ○ ……郵政廳

……交換局ヨリ……交換局ヘ發送セル價格表記信書及箱物ノ差立目錄

千八百九十一年―月―日午(前/後)―時―分發(第……次便)

千八百九十一年―月―日午(前/後)―時―分着

……郵政廳 名宛局印 ○

第三號（裏面）

電號	郵送局名	差出人氏名	宛名	宛名ノ下ニ記スル事物	價格表記ノ金額	郵便料	保險料	價格表記料	附註
二二〇				越	五	六	七	八	十
二二一				送	五	六	七	八	十

第四號

電號	郵送局名	差出人氏名	宛名	宛名ノ下ニ記スル事物	價格表記ノ金額	郵便料	保險料	價格表記料	附註
二二一一九八七六五四三二一〇				越	五	六	七	八	十
二二一一九八七六五四三二一〇				送	五	六	七	八	十

第五號（表面）

電號	郵送局名	宛名交換局名	郵便物ノ數	郵便料	價格表記料	郵便物ノ數	郵便料	價格表記料
二二一一九八七六五四三二一〇								
二二一一九八七六五四三二一〇	送	高						
二二一一九八七六五四三二一〇	送	高						

第五號（裏面）

電號	郵送局名	宛名交換局名	郵便物ノ數	郵便料	價格表記料	郵便物ノ數	郵便料	價格表記料
二二一一九八七六五四三二一〇								
二二一一九八七六五四三二一〇	送	高						
二二一一九八七六五四三二一〇	送	高						

❹ 外國宛價格表記信書及箱物郵便料及價格表記料

明治三十九年十一月八日
逓信省告示第四百九十一號

外國宛價格表記信書及箱物ノ郵便料及價格表記料ハ明治三十七年逓信省告示第三百四十六號ニ定メタル郵便料及價格表記料ニ同額ニ定ム

明治三十七年逓信省告示第三百四十六號ハ之ヲ廢止ス

國名	遞送便名	經越國名及遞送郵船	郵便料 價格表記書狀(圓 錢)	郵便料 價格表記小包 重量一「キログラム」迄(圓 錢)	價格表記郵便料 價格表記書狀及價格表記小包ニ對スル記名證(*一)三百「フラン」若ハ其端數毎ニ(圓 錢)	價格表記箱物各箇ニ對スル稅關告知書ノ枚數	郵配遞ノ交換	取戻及名宛變更 許否	取戻及名宛變更 請求書ヲ發送スヘキ官署
獨逸	日便	日船、佛	重量十五「グラム」迄 ○・二〇 以上十五「グラム」毎ニ ○・一〇	一・〇〇	○・一〇	二	施行	許可	名宛郵便局
	獨便	獨船、伊、墺若ハ瑞西		一・二〇		三			
	佛便	佛船、佛		一・〇〇		二			
	香港便	海路、香港、海路、佛		—		—			
獨逸保護國 東亞弗利加	日便	日船、佛、獨、獨船	同前	二・〇〇	○・一〇	二	—	許可	名宛郵便局
	獨便	獨船、伊、海路		一・四〇		二			
	佛便	佛船、佛、獨、獨船		二・〇〇		二			
「カメルーン」及「トーゴー」(「アネヒヨウ」及「ロメ」ニ限ル)	日便	日船、佛、獨、獨船	同前	一・六〇	○・一〇	二	—	許可	名宛郵便局
	獨便	獨船、伊、墺、若ハ瑞西、獨、海路		一・四〇		三			
	佛便	佛船、佛、獨、獨船		一・六〇		二			
膠州	獨便	獨船	同前	○・八〇	○・一〇	二	—	許可	名宛郵便局
在外國獨逸郵便局 在濟南府、濰縣、宜昌(淸國)獨逸郵便局	獨便	獨船	同前	○・八〇	○・一〇	二	—	許可	名宛郵便局
在「カサブランカ」、「マザガン」、「モガドール」、「サッフイー」、「タンゼール」(「モロッコ」)獨逸郵便局	獨便	獨船、伊、墺、若ハ瑞西、獨、海路	同前	一・二〇	○・一〇	三	—	許可	名宛郵便局
在「ベイルート」、「ジヤッフア」、「ジエルサレム」(亞細亞土耳古)獨逸郵便局	獨便	獨船、伊、海路	同前	一・四〇	○・一〇	二	—	許可	名宛郵便局
亞然的音共和國	日便	日船、佛、佛船	同前	一・四〇	○・一〇	三	—	許可	中央郵政廳
	獨便	獨船、伊、海路		一・四〇		二			
	佛便	佛船、佛		一・〇〇		三			
	香港便	海路、香港、海路、佛		—		—			

國名	遞送便名	經越國名及遞送郵船	郵便料 價格表記書狀(圓 錢)	郵便料 價格表記小包 重量一「キログラム」迄(圓 錢)	價格表記郵便料 記名證 三百「フラン」若ハ其端數毎ニ(圓 錢)	價格表記箱物各箇ニ對スル稅關告知書ノ枚數	郵配遞ノ交換	取戻及名宛變更 許否	取戻及名宛變更 請求書ヲ發送スヘキ官署
墺地利、洪牙利	日便	日船、佛、白、獨	同前	一・四〇	○・一〇	四	施行	許可	名宛郵便局
	獨便	獨船、伊		一・〇〇		三			
	佛便	佛船、佛、白、獨		一・四〇		四			
	香港便	海路、香港、海路、伊		—		—			
在「ルヴアン」及土耳其墺國郵便局	獨便	獨船、伊、墺、海路	同前	一・四〇	○・一〇	三	—	許可	名宛郵便局
白耳義	日便	日船、佛	同前	一・〇〇	○・一〇	二	施行	許可	名宛郵便局
	獨便	獨船、伊、佛		一・二〇		三			
	佛便	佛船、佛		一・〇〇		二			
	香港便	海路、香港、海路、佛		—		—			
「ボスニー、ヘルセゴヴヰナ」	日便	日船、佛、獨、瑞西若ハ伊、墺	同前	—	○・一〇	—	—	許可	在「サラジエヴオ」軍事郵便電信局
	獨便	獨船、伊、墺		—		—			
	佛便	佛船、佛、獨、瑞西若ハ伊、墺		—		—			
	香港便	海路、香港、海路、伊、墺		—		—			
勃爾瓦利	日便	日船、佛、獨、墺、羅馬尼	同前	一・六〇	○・一〇	四	—	許可	中央郵政廳
	獨便	獨船、伊、墺、塞爾維		一・四〇		四			
	佛便	佛船、佛、獨、墺、羅馬尼		一・六〇		四			
	香港便	海路、香港、海路、伊、墺、塞爾維		—		—			
智利	日便	日船、佛、佛船、白若ハ獨	同前	一・六〇	○・一〇	四	施行	許可	中央郵政廳
	獨便	獨船、伊、海路、亞然的音		一・六〇		四			
	佛便	佛船、佛、白若ハ獨		一・二〇		四			
	香港便	海路、香港、海路、佛、亞然的音		—		—			
丁抹(「フエロー」島ヲ含ム)	日便	日船、佛、白、獨	同前	一・四〇	○・一〇	三	施行(但「フエロー」島ニハ施行セス)	許可	名宛郵便局(但シ「フエロー」島宛ノモノハ在「コッペンヘイゲン」郵政廳ニ送付スヘシ)
	獨便	獨船、伊、墺若ハ瑞西、獨		一・四〇		三			
	佛便	佛船、佛、白、獨		一・四〇		三			
	香港便	海路、香港、海路、伊、墺若ハ瑞西、獨		—		—			
「アイスランド」	日便	日船、佛、白、獨	同前	—	○・一〇	—	—	許可	在「コッペンヘイゲン」郵政廳
	獨便	獨船、伊、墺瑞若ハ西、獨		—		—			
	佛便	佛船、佛、白、獨		—		—			

「グリンランド」	日便　日船、佛、白、獨、丁、丁船 獨便　獨船、伊、墺若ハ瑞西、獨、丁 佛便　佛船、佛、白、獨、丁、丁船	同前	— — —	〇・一〇	— — —	許可	在「コッペンヘイゲン」郵政府
丁抹領「アンチーユ」	日便　日船、佛、佛船 獨便　獨船、伊、佛、海路 佛便　佛船、佛	同前	— — —	〇・一〇	— — —	許可	名宛郵便局
埃及	日便　日船 獨便　獨船 佛便　佛船 香港便　海路、香港、海路	同前	〇・八〇 〇・八〇 〇・八〇 —	〇・一〇	一 一 一 —	許可	中央郵政廳
西班牙（「バレアール」及「カナリー」ヲ含ム）	日便　日船、佛 獨便　獨船、伊、佛 佛便　佛船、佛 香港便　海路、香港、海路、佛	同前	— — — —	〇・一〇	— — — —	許可	中央郵政廳
佛蘭西（亞爾是利、古爾西、及「モナコ」ヲ含ム）	日便　日船 獨便　獨船、伊 佛便　佛船 香港便　海路、香港、海路、伊	同前	〇・八〇 一・〇〇 〇・八〇 —	〇・一〇	一 二 一 —	許可	名宛郵便局
在外國佛郵便局及佛國殖民地							
在「タンセル」、「マザガン」、「モガドール」及「カサブランカ」（モロッコ）佛郵便局	日便　日船、佛、佛船 獨便　獨船、伊、佛、佛船 佛便　佛船、佛	同前	一・四〇 一・六〇 一・〇〇	〇・一〇	二 三 二	許可	名宛郵便局
在「トリポリード、バルバリー」佛郵便局	日便　日船、佛、佛船 獨便　獨船、伊、佛、佛船 佛便　佛船、佛	同前	— — —	〇・一〇	— — —	許可	名宛郵便局
海口、蒙自、北海、雲南縣（清國）佛郵便局	佛便　佛船	同前	〇・八〇	〇・一〇	一	許可	名宛郵便局
「フチルト、ベーヤール」、「ボッチー」、「廣州」、「チエカム」（廣州灣佛國租借地）	佛便　佛船	同前	〇・八〇	〇・一〇	一	許可	名宛郵便局

佛領公果（「カップロペー」、「リーブルヴヰル」、「ロアンゴ」、「マユンベ」、「カマ」ニ限ル）、「イヴオアール」海岸、「ダホメイ」（[illegible]、「ポルトノボ」、「ラガルー」、「ヴイダー」、「サヴァルー」及「ザガナドー」ニ限ル）、佛領銀奈、「セネガール」（「ダカール」、「ゴレー」、「リフイスク」、「聖ルイ」、「チエス」、[illegible]、「カヨル」、[illegible]及「ジガンコール」ニ限ル）	日便　日船、佛、佛船 獨便　獨船、伊、佛、佛船 佛便　佛船、佛	同前	一・四〇 一・六〇 一・〇〇	〇・一〇	二 三 二	許可	各殖民地首府ニ於ケル郵便局
「ディエゴシュアレー」、「ジブーチ」、「マダガスカル」、「メイヨット」、「ノッシ、ベー」、「コモール」（「ダザール、ドムツアム」及「セロニ」ニ限ル）及「レユニオン」	日便　日船、佛、佛船 獨便　獨船、伊、佛、佛船 佛便　佛船、佛	同前	一・二〇 一・六〇 〇・八〇	〇・一〇	二 三 二	許可	各殖民地首府ニ於ケル郵便局
「ガアルーブ」及所屬地「マルチニック」及佛領「ギアナ」	日便　日船、伊、佛船 獨便　獨船、伊、佛、佛船 佛便　佛船、佛	同前	一・四〇 一・六〇 一・〇〇	〇・一〇	二 三 二	許可	各殖民地首府ニ於ケル郵便局
佛領印度支那（交趾支那、安南、東甫寨、「トンキン」）	佛便　佛船	同前	〇・八〇	〇・一〇	一	許可	各殖民地首府ニ於ケル郵便局
佛領印度（「ポンヂチエリー」ニ限ル）及「ニユーカレドニア」	佛便　佛船	同前	〇・八〇	〇・一〇	二	許可	各殖民地首府ニ於ケル郵便局
大不列顛	日便　日船、佛、海路 獨便　獨船、伊、佛、海路 佛便　佛船、佛、海路 香港便　海路、香港、海路、佛、海路	同前	— — — —	*(二) 〇・一〇	— — — — 施行	許可セス	—
英領印度	日便　日船、錫蘭、海路 獨便　獨船、錫蘭、海路 佛便　佛船 香港便　海路、香港、海路	同前	— — — —	*(二) 〇・一〇	— — — —	許可セス	—

英國植民地

香港	日便	日船	同前	—	*(二) 〇・一〇	—	—	許可セス	—
	獨便	獨船		—		—			
	佛便	佛船		—		—			
	香港便	海路		—		—			
海峽殖民地	佛便	佛船	同前	—	*(三) 〇・一〇	—	—	許可セス	—
錫蘭	日便	日船	同前	—	*(二) 〇・一〇	—	—	許可セス	—
	獨便	獨船		—		—			
	佛便	佛船		—		—			
	香港便	海路、香港、海路		—		—			
「トリニダッド」「トバゴー」、「ガムビア」、聖「ヘレナ」、「ジャメイカ」、「ニユートファウンドランド」、「リーワード」諸島（「アンチゴア」、「ドミニカ」、「モンセラット」、「ネヴィス」、聖「クリストフ」、「ヴァージン」島）	日便	日船、佛、英船、英	同前	—	*(二) 〇・一〇	—	—	許可セス	—
	獨便	獨船、伊、佛、海路、英、海路		—		—			
	佛便	佛船、佛、英船、英		—		—			
	香港便	海路、香港、海路、伊、佛、海路、英、海路		—		—			
「モールタ」島	日便	日船、佛、伊、伊船	同前	—	*(二) 〇・一〇	—	—	許可セス	—
	獨便	獨船、伊、海路		—		—			
	佛便	佛船、佛、伊、伊船		—		—			
「ファルクランド」諸島及英領「ギアナ」	日便	日船、佛、英船、英	同前	—	*(三) 〇・一〇	—	—	許可セス	—
	獨便	獨船、伊、佛、海路、英、海路		—		—			
	佛便	佛船、佛、英船、英		—		—			
	香港便	海路、香港、海路、伊、佛、海路、英、海路		—		—			
「モーリシアス」	日便	日船、佛、海路	同前	—	*(四) 〇・一〇	—	—	許可セス	—
	獨便	獨船、伊、佛、海路		—		—			
	佛便	佛船、佛		—		—			
「サイシェルス」	日便	日船、佛、海路	同前	—	*(二) 〇・一〇	—	—	許可セス	—
	獨便	獨船、伊、佛、海路		—		—			
	佛便	佛船、佛		—		—			

「バルバドス」	日便	日船、佛、海路、英、海路	同前	—	*(二) 〇・一〇	—	—	許可セス	—
	獨便	獨船、伊、佛、海路、英、海路		—		—			
	佛便	佛船、佛、海路、英、海路		—		—			
「ゴールド、コースト」	日便	日船、佛、海路、英、海路	同前	—	*(三) 〇・一〇	—	—	許可セス	—
	獨便	獨船、伊、佛、海路、英、海路		—		—			
	佛便	佛船、佛、海路、英、海路		—		—			
「シエラ、レオン」	日便	日船、佛、海路、英、海路	同前	—	*(四) 〇・一〇	—	—	許可セス	—
	獨便	獨船、伊、佛、海路、英、海路		—		—			
	佛便	佛船、佛、海路、英、海路		—		—			
「グレナダ」、「セント、リュシア」及「セント、ヴヰンセント」	日便	日船、佛、海路、英、海路	同前	—	*(二) 〇・一〇	—	—	許可セス	—
	獨便	獨船、伊、佛、海路、英、海路		—		—			
	佛便	佛船、佛、海路、英、海路		—		—			
南「ナイゼリア」	日便	日船、佛、海路、英、海路	同前	—	*(四) 〇・一〇	—	—	許可セス	—
	佛便	佛船、佛、海路、英、海路		—		—			
「バーミユダ」	日便	日船、佛、海路、英、海路	同前	—	*(二) 〇・一〇	—	—	許可セス	—
	佛便	佛船、佛、海路、英、海路		—		—			
「ホンヂュラス」	日便	日船、佛、海路、英、海路	同前	—	*(二) 〇・一〇	—	—	許可セス	—
	獨便	獨船、伊、佛、海路、英、海路		—		—			
	佛便	佛船、佛、海路、英、海路		—		—			
	香港便	海路、香港、海路、伊、佛、海路、英、海路		—		—			
「サイプラス」	日便	日船、埃及、海路	同前	—	*(二) 〇・一〇	—	—	許可セス	—
	獨便	獨船、埃及、海路		—		—			
	佛便	佛船、埃及、海路		—		—			
在海口、劉公島、寧波、(清國)英郵便局	日便	日船、香港、海路	同前	—	*(二) 〇・一〇	—	—	許可セス	—
	香港便	海路、香港、海路		—		—			
伊太利	日便	日船、佛	同前	一・〇〇	〇・一〇	二	施行	許可	名宛郵便局
	獨便	獨船		〇・八〇		一			
	佛便	佛船、佛		一・〇〇		二			
	香港便	海路、香港、海路		—		—			

在「ベンガジー」「カネー」「デュラッゾー」「スクタリー」「ダルバニー」「トリポリー」伊國郵便局	獨便	獨船、伊、海路	同前	一•二〇	〇•一〇	二	施行	許可	名宛郵便局
「エリトレー」伊國殖民地（「アスマラ」「ギンダ」「マッサウア」、「アサップ」ニ限ル）	日便	日船、佛、伊、伊船	同前	一•六〇	〇•一〇	三	施行	許可	名宛郵便局
	獨便	獨船、伊、海路		一•四〇		二			
	佛便	佛船、佛、伊、伊船		一•六〇		三			
歴山堡	日便	日船、佛	同前	〇•九〇	〇•一〇	二	施行	許可	名宛郵便局
	獨便	獨船、伊、佛		一•二〇		三			
	佛便	佛船、佛		〇•九〇		二			
	香港便	海路、香港、海路、佛		—		—			
満得涅各羅	獨便	獨船、伊、佛、海路	同前	一•四〇	〇•一〇	—	施行	許可	名宛郵便局
那威	日便	日船、佛、白、獨、丁、瑞典	同前	—	〇•一〇	—	—	許可	名宛郵便局
	獨便	獨船、伊、墺若ハ瑞西、獨、丁、瑞典		—		—			
	佛便	佛船、佛、白、獨、丁、瑞典		—		—			
	香港便	海路、香港、海路、墺若ハ瑞西、獨、丁、瑞典		—		—			
和蘭	日便	日船、佛、白	同前	一•二〇	〇•一〇	四	施行	許可	名宛郵便局
	獨便	獨船、伊、瑞西、獨		一•四〇		四			
	佛便	佛船、佛、白		一•二〇		四			
	香港便	海路、香港、海路、佛、白		—		—			
蘭領東印度	佛便	佛船	同前	〇•八〇	〇•一〇	二	—	許可	名宛郵便局
葡萄牙（「マデール」及「アソール」ヲ含ム）	日便	日船、佛、佛船	同前	一•四〇	〇•一〇	二	施行	許可	名宛郵便局
	獨便	獨船、伊、佛、海路		一•六〇		三			
	佛便	佛船、佛		一•〇〇		二			
	香港便	海路、香港、海路、佛、西		—		—			

葡萄牙殖民地「アンゴラ」（「カビンダ」、「ロアンダ」、「ベンゲラ」、「エフ」及「モッサメデス」ニ限ル）、「カップヴェール」（「プライア」、「サンチアゴ島」及「サン、ヴィセント」ニ限ル）、銀奈（「ボラマ」ニ限ル）、「サン、トメー及プリンス」（「サン、トメー」ニ限ル）、「モザンビック」（「モザンビック」、「ケリマーヌ」、「シンド」、「イナンバーヌ」及「ロレンソ、マルケス」ニ限ル）	日便	日船、佛、葡、海路	同前	一•四〇	〇•一〇	三	—	許可	各殖民地中央郵政廳
	獨便	獨船、伊、佛、葡、海路		一•六〇		四			
	佛便	佛船、佛、葡、海路		一•四〇		三			
印度	日便	日船、佛、葡、海路	同前	二•二〇	〇•一〇	三	—	許可	中央郵政廳
	獨便	獨船、伊、佛、葡、海路		二•四〇		四			
	佛便	佛船、佛、葡、海路		二•二〇		三			
羅馬尼	日便	日船、佛、獨、墺	同前	一•四〇	〇•一〇	三	—	許可	名宛郵便局
	獨便	獨船、伊、墺		一•二〇		三			
	佛便	佛船、佛、獨、墺		一•四〇		三			
	香港便	海路、香港、海路、伊、墺		—		—			
露西亞（「フィンランド」及西比利亞ヲ含ム）	浦鹽便	日船	同前	—	〇•一〇	—	—	許可	中央郵政廳
	露便	露船		—		—			
塞爾維	日便	日船、佛、獨、墺	同前	—	〇•一〇	—	—	許可	中央郵政廳
	獨便	獨船、伊、墺		—		—			
	佛便	佛船、佛、獨、墺		—		—			
	香港便	海路、香港、海路、伊、墺		—		—			
瑞典	日便	日船、佛、白、獨、丁	同前	—	〇•一〇	—	—	許可	中央郵政廳
	獨便	獨船、伊、墺若ハ瑞西、獨、丁		—		—			
	佛便	佛船、佛、白、獨、丁		—		—			
	香港便	海路、香港、海路、佛、白、獨、丁		—		—			
瑞西	日便	日船、佛	同前	一•〇〇	〇•一〇	二	施行	許可	名宛郵便局
	獨便	獨船、伊		一•〇〇		二			
	佛便	佛船、佛		一•〇〇		二			
	香港便	海路、香港、海路、伊		—		—			

土耳其	日便	日船、佛、獨、墺、海路	同前	一、八〇〇	〇、一〇	五	許可 中央郵政廳
	獨便	獨船、伊、墺、海路		一、六〇〇		五	
	佛便	佛船、佛、獨、墺、海路		一、八〇〇		五	
	香港便	海路、香港、海路、佛		—		—	
突尼斯	日便	日船、佛	同前	一、〇〇〇	〇、一〇	二	許可 名宛郵便局
	獨便	獨船、伊、海路		一、四〇〇		二	
	佛便	佛船、佛		一、〇〇〇		二	
	香港便	海路、香港、海路、佛		—		—	

附註

一 *(一)本表揭載ノ諸國(左ニ揭ケタルモノチ除ク)宛價格表記信書及箱物ニ對スル表記金額ノ最高限ハ一萬「フランク」トス

二 *(二)大不列顚、英領印度、香港、錫蘭、「モールタ」、「トリニダッド」、「ガムビア」、聖「ヘレナ」、「ジャメイカ」、「ニュー、フアウンドランド」、「リーワード」諸島、「セイシェルス」、「グレナダ」、「セント、リュシア」、「セント、ヴヰンセント」、在淸國英郵便局宛價格表記信書ニ對スル表記金額ノ最高限ハ三千「フランク」トス

三 *(三)海峽殖民地「フアルクワンド」諸島及英領「ギアナ」、「ゴールド、コースト」宛價格表記信書ニ對スル表記金額ノ最高限ハ千二百五十「フランク」トス

四 *(四)「モーリシアス」、「シエラレヲン」、南「ナイゼリア」宛價格表記信書ニ對スル表記金額ノ最高限ハ千五百「フランク」トス

五 遞送便名ハ必ス價格表記信書及箱物ノ表面ニ明記スルチ要ス

六 日便トハ日本郵船株式會社歐洲便チ云フ

七 香港便トハ香港ヘ寄港スル日本郵船株式會社各船便(歐洲便チ除ク)、東洋汽船株式會社船便、「ペニンシュラ、エンド、オリエンタル、スチーム、ナビゲーション」會社船便及航海奬勵金チ受クル本邦各會社船便チ云フ

八 浦鹽便トハ日本郵船株式會社浦鹽便及大家商船合資會社浦鹽便チ云フ

九 露便トハ露國東亞汽船會社船便チ云フ

●外國郵便規則

明治三十五年十一月八日
遞信省令第五十二號

明治三十三年九月遞信省令第五十五號外國郵便規則左ノ通改正ス

外國郵便規則

第一條 萬國郵便條約ニ依ル各種郵便物竝ニ價格表記信書及箱物交換約定ニ依ル信書及箱物ハ之チ外國郵便物ト總稱シ郵便局所ニ於テ之チ取扱フ但シ特ニ之チ取扱ハサルコトチ告示シタル局所ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 左記ノ物件ハ外國郵便禁制品トス

一 郵便ニ關スル條約、約定及其ノ施行細則ニ據リ郵便物ト爲スコトチ許サヽル物件

二 郵便ニ關スル法令ニ據リ郵便物ト爲スコトチ禁シタル物件

三 關稅及其ノ他ニ關スル法令ニ據リ輸出入チ禁シタル物件

四 特ニ告示シタル物件

第三條 外國郵便ニ關スル料金ハ別ニ之チ告示ス

第四條 外國郵便ニ關スル料金ノ遞付ニ付テハ明治三十三年九月遞信省令第四十二號郵便規則第八條及第九條ノ規定チ準用ス但シ前揭第九條ノ期間ハ六箇月トス

第五條 信書ノ容積及重量ニ付テハ何等ノ制限ナシ

第六條 外國ヘ發送スル郵便端書ハ政府發行ノ萬國郵便聯合端書、同往復端書チ用フヘシ

第七條 郵便規則第十八條ノ規定チ準用シテ政府發行ノ萬國郵便聯合端書ニ基キ作成セル私製端書ハ萬國郵便聯合端書ト看做ス

第八條 內國郵便用ノ封緘葉書ハ郵便端書トシテ外國ヘ發送スルチ得ス

第九條 價格表記信書及箱物ハ別ニ告示スル諸外國トノ間ニ限リ之チ交換スルコトチ得

第十條 價格表記信書及箱物ノ價格表記金額ノ制限ハ一萬「フランク」トス

第十一條 價格表記信書及箱物ノ價格表記ノ金額ニシテ本邦貨幣ニテ記載シアルトキハ郵便局所ニ於テ外國爲替金換算割合ニ依リ之チ佛貨ニ換算シ郵便物ニ記入ス

第十二條 外國ヨリ到著ニ係ル價格表記箱物ニ付テハ明治三十五年十一月遞信省令第五十三號外國小包郵便規則第二十一條乃至第二十四條ノ規定チ準用ス

第十三條 普通及書留郵便物竝ニ價格表記信書及箱物ハ別ニ告示スル諸外國トノ間ニ交換スルモノニ限リ別配達ト爲スコトチ得

別配達料ハ金十二錢トシ差出人ニ於テ之チ前納スヘシ

第十四條 外國ヨリ到著ニ係ル留置郵便物ノ留置期間ハ代金引換郵便物チ除クノ外六十日トス但シ艦船乘組人若ハ旅行者等ニ宛テタル郵便物ニシテ交付ノ見込アルモノハ尙三十日以內留置クコトアルヘシ

第十五條 書留郵便物竝ニ價格表記信書及箱物ハ別ニ告示スル諸外國トノ間ニ交換スルモノニ限リ代金引換ト爲スコトチ得

第十六條 本邦宛代金引換郵便物ニ對スル取立代金ノ制限ハ金四百圓トス

第十七條 外國宛代金引換郵便物ニ對スル取立代金ノ制限額、其ノ代金チ表示スヘキ貨幣竝ニ外國ニ於ケル該郵便物ノ取扱局ハ別ニ告示スル所ニ據ル

第十八條 外國宛代金引換郵便物ノ差出人ハ郵便物差出ノ後ハ代金引換ノ請求チ取消スコトチ得ス

第十九條 外國ヨリ到著ニ係ル代金引換郵便物ニ付テハ郵便規則第四十九條第一項ノ規定チ準用ス

到著郵便局所ハ前項ニ依リ取立テタル代金ヨリ引換料金四錢及取立代金ニ對スル成規ノ爲替料チ控除シタル殘餘ノ金額チ郵便爲替ニ依リ差出人ニ送付スルモノトス

第二十條 外國ヨリ到著ニ係ル代金引換郵便物ニシテ名宛人他國ヘ移轉シタルトキ若ハ成規ノ條件ニ適合セサルトキハ差出國ヘ返送スルモノトス

第二十一條 外國宛代金引換郵便物ノ取立代金ニ對スル爲替ニシテ其ノ有效期間內ニ該郵便物ノ差出人ニ拂渡シ能ハサルトキハ郵便爲替法第十三條ノ規定ニ準シ處分スルモノトス

第二十二條 外國ヨリ到著ニ係ル郵便物ニ付テハ郵便規則第八十一條ノ規定チ準用ス但シ同條第二項ノ期間ハ三十日トシ同期間チ經過シタル後郵便ニ差出シタルモノニ付テハ嚢ニ配達チ受ケタル者チシテ其ノ轉送ニ要スル料金チ納付セシム

第二十三條 外國ヨリ到著ニ係ル郵便物ノ名宛人一時其ノ宿所チ移轉シタルトキハ別ニ料金チ納付スルコトナク其ノ移轉先ニ該郵便物ノ轉送チ請求スルコトチ得

第二十四條 外國ヨリ到著ニ係ル郵便物ニシテ何等ノ理由チ問ハス名宛人ニ交付シ能ハサルモノハ外國ヘ返送スルニ先チ適宜ノ期間之チ公示ス但シ名宛人ニ交付ノ見込ナキコト明瞭ナルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條 外國宛郵便物ハ別ニ告示スル諸外國ニ宛テタルモノニ限リ其ノ取戻若ハ名宛變更チ請求スルコトチ得

前項ノ請求ニ付テハ郵便規則第七十九條第一項ノ規定チ準用シ其ノ外國ヘ差立前ニ係ルモノニ付テハ同條第二項ノ規定チ準用シ其ノ外國ヘ差立後ニ係ルモノニ付テハ請求者ニ於テ郵便ニ依ルモノハ別ニ告示スル所ノ名宛國郵便官署宛書留信書一通分ノ料金、電信ニ依ルモノハ同官署宛私用電報ノ料金チ前納スヘシ

第二十六條 外國普通郵便物ノ蹤跡不明ニ歸シタルトキハ外國宛ノモノニ付テハ其ノ差出人ヨリ引受郵便局所ヘ又外國ヨリ到著ニ係ルモノニ付テハ其ノ名宛人ヨリ到著郵便局所ヘ蹤跡不明ノ

旨ヲ證明スヘキ書類ヲ具シ別ニ料金ヲ納付スルコトナク其ノ取調ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ハ該郵便物ヲ郵便局所ニ差出シタル日ヨリ起算シ一箇年以内ニ限リ之ヲ受理ス

第二十七條　到達證ヲ請求セサル書留郵便物竝ニ價格表記信書及箱物ノ差出人ハ郵便物一箇ニ付金五錢ヲ納付シ該郵便物蹤跡ノ取調若ハ其ノ到達證ノ交付ヲ引受郵便局所ヘ請求スルコトヲ得

第二十八條　價格表記信書若ハ箱物ノ配達若ハ還付ノ際該郵便物ニ損害アリト申立テタル者アルトキハ郵便規則第八十四條及第八十五條ノ規定ヲ準用ス

第二十九條　價格表記信書及箱物ノ亡失若ハ毀損ニ關シ損害ノ賠償ヲ請求セムトスル者ハ該郵便物ノ種別、便名、番號、名宛人及差出人ノ宿所氏名、差出日附、保有品名、數量、實價、損害前後ノ重量、請求金額及料金ノ還付ヲ求ムルトキハ其ノ金額ヲモ記載シタル請求書ニ成ルヘク曩ニ引受局所ヨリ交付ヲ受ケタル受取證ヲ添ヘ該郵便物ノ引受局所若ハ場合ニ依リ配達局所ニ差出スヘシ

賠償ノ責ニ任スル諸外國發著書留郵便物ノ亡失ニ對スル賠償ノ請求ニ付テモ亦前項ノ規定ヲ準用ス

第三十條　損害賠償ノ當否及其ノ金額ハ遞信省ニ於テ之ヲ審査決定ス

第三十一條　損害賠償ノ請求ニ關スル審査ヲ了リタルトキ又ハ損害賠償ノ請求ヲ爲シタル者其ノ請求ヲ取消シタル場合ニ於テ價格表記信書若ハ箱物ノ毀損ニ係ル請求ナルトキハ該郵便物ハ本邦管掌中ニ在ル限ハ直ニ之ヲ其ノ請求人ニ交付ス

第三十二條　郵便規則第七條、第十一條、第十二條、第十六條、第十七條、第三十八條、第三十九條、第六十六條、第六十九條乃至第七十一條、第七十三條乃至第七十八條、第八十條第一項、第八十三條第二項及第三項、第八十六條第二項及第八十七條ノ規定ハ外國郵便物ニモ之ヲ準用ス

附　則

第三十三條　此ノ規則ハ明治三十五年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十五年十一月八日
遞信省告示第五百四十五號

來十二月一日ヨリ郵便及電信受取所ニ於テハ普通郵便物竝ニ特殊取扱ヲ要セサル書留郵便物ヲ除クノ外外國郵便物ノ取扱ヲナサス

明治三十五年十一月十八日
臺灣總督府告示第百四十七號

明治三十五年十二月一日以當分降ノ内三等郵便及電信局郵便電信支局（【淡水】、安平、[illegible]ノ【三】支局ヲ除ク）、郵便及電信出張所郵便受取所ニ於テハ普通郵便物竝書留郵便物（代金引換ノモノヲ除ク）ヲ除クノ外外國郵便物ノ取扱ヲ爲サス

明治三十二年一月告示第七號ハ明治三十五年十一月三十日限リ廢止ス

明治三十六年十二月二十四日
臺灣總督府告示第百三十六號

明治三十七年一月一日ヨリ臺北、臺南、基隆、宜蘭、新竹、苗栗、彰化、臺中、斗六、嘉義、打狗、鳳山、臺東、澎湖ノ各郵便電信局及【淡水】、大稻埕、安平ノ各郵便電信支局ニ於テ華盛頓條約價格表記信書及箱物交換約定ニ依ル價格表記信書及箱物ノ取扱ヲ開始ス

明治三十五年十一月告示第百五十一號ハ明治三十六年十二月三十一日限リ廢止ス

明治三十七年九月二十七日
遞信省告示第四百二十號

「パナマ」地峽運河地帶ニ發著スル通常郵便物ハ亞米利加合衆國發著ノモノト同樣ニ取扱フ

明治三十八年四月一日
遞信省告示第百七十二號

無集配三等郵便局ニ於テハ外國郵便物及外國小包郵便物ノ取扱ヲ爲サス

但シ外國郵便物中普通郵便物竝特殊取扱ヲ要セサル書留郵便物ハ之ヲ取扱フ

明治三十九年十一月二十九日
遞信省告示第五百三十一號

左記加那太「ユーコン」地方各地宛郵便物ニシテ毎年十月上旬頃ヨリ翌年五月下旬頃迄郵航行停止中同地方ヘ到著ニ係ルモノハ（一）信書（但シ寫眞ノ封入シアルモノヲ除ク）、（二）端書、（三）一號一箇ツツ包裝シタル日刊新聞紙ニシテ其發行所ヨリ發シ個人、新聞紙發行者又ハ公共閲書館ヘ宛テタルモノ、（四）臨時發刊新聞紙及定期刊行物（但シ兩面上ノ[illegible]ヲ除ク）、（五）書籍、商業用目錄、同草、以外ノ各種印刷物ニ限リ配達シ其他ハ差出人ヘ返送スヘキ旨加那太郵政廳ヨリ通知アリ

明治三十八年十二月遞信省告示第六百十五號ハ之ヲ廢止ス

郵便局ノ設置アル地方

Dawson	Dominion
Forty Mile	Hootalinqua
Gold Run	Indian River
Granville	Klondike
Hunker	Little River
Kluguo	Little Salmon
Last Chance	Livingstone Creek
Lower Dominion	Makay's
Paris	Miller Creek
Pelly	Minto
Radford	Montague
Stewart River	Nordenskiold
Sulphur	Ogilvie
郵便局ノ設置ナキ地方	Palmer
Bear Creek	Quartz Creek
Big Salmon	Selkirk
Boucher Creek	Selwyn
Bruebnrn	Seven Below
Carmack's	
Duncan	Stewart Crossing
Eighty Pup	Tahkini
Eldorado	Thistle Creek
Eureka	White River
French Hill	Wounded Moose
Grand Forks	
Half Way	

●外國郵便物トスルヲ得サル物品

明治三十三年二月十六日
遞信省告示第六十四號
改正　三六年第七五號、三七年[illegible]

自今左記ノ物品ハ郵便ニ依リ左記ノ諸國ヘ發送スルヲ得ス

但シ本件ニ關スル從前ノ告示ハ取消ス

國名	品目
亞米利加合衆國	富籤及之ニ關スル印刷物
墺地利	富籤及之ニ關スル印刷物
白耳義	砂糖類、富籤及之ニ關スル印刷物各種煙草（但シ重量二百「グラム」ヲ超過セサル見本ハ此限ニ在ラス）
佛蘭西	煙草、郵便繪端書若ハ之ニ類スル物件ノ包束物
大不列顚	煙草（但シ[illegible]見本ハ此限ニアラス）、各種ノ葡萄酒（但シ[illegible]見本ハ此限ニアラス）、麥酒、酒精類富籤ニ關スル開封ノ回章模造郵便切手ヲ有スル物品液狀「セリュロイド」賭金ニ關スル回狀、外國富籤、賭金錢ヲ懸賞トスル切符
洪牙利	各種ノ葡萄酒、富籤及之ニ關スル印刷物
伊太利	砂糖類（但シ伊國政府ノ特許ヲ得タルモノハ此限ニアラス）、富籤及之ニ關スル印刷物、象牙、「セリュロイド」、鯨鬚、眞珠、貝殼及其他之ニ類スル物件ヲ以テ釘裝シ、金屬製裝飾ヲ有シ若ハ有セサル且ツ印刷シ若ハ印刷セサル書籍ニシテ重量一百「グラム」ヲ超過スルモノ
露西亞	單ニ露西亞語ヲ以テ若クハ外國語ト露西亞語トヲ以テ他ニ於テ出版セル印刷物、富籤及之ニ關スル印刷物、市町村團體若ハ一私人ノ發行ニ係ル割増金付債券及之ニ關スル廣告、「セリュロイド」ヲ以テ製造セル物品
新南威爾斯	阿片及煙草
香港	阿片
獨逸	枯渇セサル植物（但シ鉢中又ハ木箱中ニ生育スルモノヲ除ク）、新鮮ナル菓物竝ニ以上ノ物品ヲ包裝若ハ貯藏ノ用ニ供セル桶、箱其他ノ物件、健康ニ有害ナル材料ヲ以テ調理セル肉類、信書トシテ發送セサル富籤ニ關スル印刷物
伯西兒	石版物、銅版物、寫眞、郵便繪端書、廣告物及之ニ類スル印刷物（但シ重量百「グラム」以下ノモノハ此限ニアラス）、「セリュロイド」、骨、貝細工等ノ裝飾アル書冊（但シ重量八十四「グラム」以下ノモノハ此限ニアラス）
埃及	各種ノ煙草富籤及之ニ關スル印刷物
古西多利加	商品在中ノ信書、富籤及之ニ關スル書類
濠太剌利	「タスマニア」洲「ホバート」、「ジョージ、アダムス」氣付「タッテルサル」("Tattersall", aux soins de George Adams, Hobart, Tasmanie) ニ宛テタル郵便物
那威	外部ニ模造郵便切手ヲ有スル物品、賣藥ノ輸入ヲ目的トスル廣告印刷物
墨西哥	外國富籤ノ切符、目錄、回狀、外國ニ於テ翻刻セラレタル著作物ニシテ墨西哥ニテ保護セラル文學的著作權ヲ侵害スルモノ「ユカタン」、「カンペシュ」、「ツノラ」、「ベジア、カリフオルニア」、「カンタナ、ロー」各州ヘ宛テタル銃器及彈丸
ヴェネズエラ	外國富籤ノ切符

寄留峰	時價表、商業上ノ目錄、廣告ヲ目的トスル物品、(新聞、雜誌ハ此限ニアラス)
希臘	商賣用ニ供スル古靴
土耳古	セリユロイド
英領南部ローデシア	種子類

明治三十七年六月十六日
遞信省告示第三百八號

露國稅關ニ於テ外國ヨリ到着ノ信書中露國語ヲ以テ全部若ハ一部ヲ記載セル印刷物ノ封入シアルコトヲ發見シタルトキハ該信書ハ關稅ヲ課スヘキモノトシテ萬國郵便條約第十六條ニ據リ差出國ヘ返送スヘキ旨萬國郵便總理局ヨリ通知アリ

●萬國郵便條約國中亡失書留郵便物賠償無責任ノ國名

明治三十一年十二月二十二日
遞信省告示第三百四十二號
改正　三三年第一四六號第一九九號、三五年第四三五號、三六年第二又二號第三三五號、三八年第五八一號、三九年第五〇〇號

華盛頓締結萬國郵便條約ヲ施行スルニ當リ左記ノ諸國ニ於テハ書留郵便物ノ亡失ニ對シ同條約第八條ニ規定セル賠償ノ責ニ任セス

亞米利加合衆國　亞然的音共和國　ナタール
伯西兒　パラグイ　加那太　白露　烏拉乖

●萬國郵便條約國中不可抗力ニ由ル亡失書留郵便物賠償ノ國名

明治三十一年十二月二十二日
遞信省告示第三百四十三號

華盛頓締結萬國郵便條約ヲ施行スルニ當リ左記ノ諸國ニ於テハ不可抗力ニ由リ書留郵便物ヲ亡失セシ場合ニ於テモ尚同條約第八條ニ規定セル賠償ノ責ニ任ス

ボスニー、ヘルセゴヴィヌ　埃及　那威
露西亞

●外國郵便物ノ取戻名宛變更ヲ請求シ得ル國名並郵便官署名

明治三十三年九月十一日
遞信省告示第三百三十七號
改正　三五年第四三七號第五四七號、三六年第二四三號、三七年第八二號

本邦發外國郵便物(書留及非書留ヲ問ハス)ノ取戻若ハ名宛變更ヲ請求シ得ル國名並ニ該請求書ヲ發送スヘキ郵便官署名左表ノ如シ

國名	官署名
亞米利加合衆國(「ハワイ」及「ポルトリコ」ヲ含ム)、亞然的音共和國、ボスニーヘルセゴヴィヌ、勃牙利、智利、古西多利加、クレート、埃及、エクアトール、西班牙、希臘、ホンヂュラス共和國、リベリア、墨西哥、蒙的涅哥羅、ニカラガ、オランジュ自由國、パラゲイ、白露、波斯、露西亞、薩瓦多、塞耳塞、暹羅、南亞弗利加共和國、瑞典、土耳其、ウルゲイ、ヴェネズエラ、濠太剌利英國諸植民地(南濠太剌利、新南威爾斯、ニューヂーランド、タスマニア及ビクトリア、クヰンスランド、西濠太剌利)(甲)、諾威、和蘭植民地(蘭領ギアナ及アンチーユ)、獨逸、墺地利、白耳義、丁抹(アイスランド、フエロー島ヲ含ム)(乙)、佛蘭西及亞爾是利、洪牙利、伊太利、盧山堡、那威、和蘭、葡萄牙(マデール及アゾールヲ含ム)、羅馬尼、瑞西(丙)、突尼斯、獨逸諸保護國、丁抹植民地(アンチーユ)、佛蘭西諸植民地、和蘭植民地(東印度)	中央郵政廳
伯西兒	Bureau Central des Postes do Rio-do-Janeiro
公果獨立國	Bureau d'échange des Postes de Boma
ガテマラ	Bureau Central des Postes de Guatemala
マニラ	Director of Posts, Manila.
西班牙植民地(フェルナンドポー及附屬島)	Gouvernement général à Santa Isabel de Fernando-Po
葡萄牙諸植民地	Ministère de la Marine et d'outre-mer, 3e Division, 3e bureau à Lisbonne

備考

甲　濠太剌利英國諸植民地宛郵便物ニ關スルモノハ其都度知事若ハ主務大臣ノ認許ヲ要スルニ依リ取戻及名宛變更ニ關スル理由書ノ添附ヲ要ス理由不完全ナルトキハ其請求ヲ拒絶セラルルコトアルヘシ

乙　アイスランド宛郵便物ニ關スルモノハ電信ニ依ルコトヲ得ス

丙　瑞西宛郵便物ニ關スルモノハ名宛人ニ於テ既ニ其來著ノ通知ニ接シ若クハ其受取方ヲ請求シタル後ナルトキハ名宛人ノ承諾ヲ得ルヲ要ス

●代金引換書留郵便物價格表記郵便物交換國名竝ニ取立代金ノ制限額其表示貨幣及取扱局所

明治三十五年十一月八日
遞信省告示第五百四十八號

明治三十一年十二月二十日勅令ヲ以テ公布セラレ
改正　三六年第一五五號第二五〇號第三一六號第四五號第四八四號第六四七號、三七年第一號第一九九號、三八年第二八五號第三一〇號第三五三號第四二六號、三九年第三七號第五六號第五六二號第六〇九號、第一號第八二號第一九〇號第一九九號第二四七號第二三八號第三九六號第五三〇號第六一三號
タル華盛頓締結萬國郵便條約ニ依リ明治三十六年十一月七日勅令ヲ以テ公布セラレタル華盛頓締結價格表記信書及箱物交換約定ニ據リ本邦ト代金引換書留郵便物及同價格表記郵便物ヲ交換スル國名、外國宛代金引換郵便物ニ對スル取立代金ノ制限額等左ノ如シ

國名	上記諸國宛代金引換郵便物ニ對スル取立代金ノ制限額　書留郵便物	價格表記郵便物	上記ノ代金ヲ表示スヘキ貨幣	上記諸國ニ於ケル取扱局所
獨逸	八百「マルク」(一千「フラン」ニ相當)	同上	Mark 及 Pfennig	全國內何レノ郵便局所ヲ問ハス之ヲ取扱フ
墺地利	一千「クーロンヌ」(一千「フラン」ニ相當)	同上	Couronne 及 Denier	同前
白耳義	一千「フランク」	同上	Franc 及 Centime	同前
丁抹(「フエロー」群島ヲ含ム)	五百「フランク」	同上	Franc 及 Centime	同前
埃及	—	一千「フランク」	Franc 及 Centime	同前
佛蘭西	一千「フランク」	同上	Franc 及 Centime	同前
洪牙利	五百「クーロンヌ」(五百「フラン」ニ相當)	交換セス	Couronne 及 Denier	同前
伊太利(サンマリノ共和國、エリトレー殖民地及伊太利在外郵便局(ベンガジ、トリポリ局ヲ除ク)ヲ含ム)	一千「フランク」	同上	Franc 及 Centime	同前
那威	七百二十「クーロンヌ」(一千「フラン」ニ相當)	同上*	Couronne 及 Oere	同前
和蘭	五百「フロリン」(一千「フラン」ニ相當)	同上	Florin 及 Cent	同前

國名	書留郵便物	價格表記郵便物	貨幣	取扱局所
蘭領東印度	二百五十「フロリン」(五百「フラン」ニ相當)	同上	Florin 及 Cent	萬國聯合郵便爲替ヲ取扱フ郵便局所ニ限ル
瑞典	一千「フランク」	同上*	Franc 及 Centime	全國內何レノ郵便局所ヲ問ハス之ヲ取扱フ
瑞西	一千「フランク」	同上	Franc 及 Centime	同前
盧山堡	一千「フランク」	同上	Franc 及 Centime	同前
羅馬尼	五百「フランク」	同上	Franc 及 Centime	萬國聯合郵便爲替ヲ取扱フ郵便局所ニ限ル
獨逸保護國　獨領東亞弗利加	八百「マルク」(一千「フラン」ニ相當)	同上	Mark 及 Pfennig	[illegible]
獨逸保護國　獨領南西亞弗利加	八百「マルク」(一千「フラン」ニ相當)	交換セス	Mark 及 Pfennig	[illegible]
獨逸保護國　獨逸ニューギニア	八百「マルク」(一千「フラン」ニ相當)	交換セス	Mark 及 Pfennig	[illegible]
獨逸保護國　カメルーンス	八百「マルク」(一千「フラン」ニ相當)	同上	Mark 及 Pfennig	[illegible]
獨逸保護國　トーゴ	八百「マルク」(一千「フラン」ニ相當)	同上	Mark 及 Pfennig	アゴメ、パリメ、[illegible]、ロメ
獨逸保護國　サモア	八百「マルク」(一千「フラン」ニ相當)	交換セス	Mark 及 Pfennig	アピア
獨逸保護國　膠州	八百「マルク」(一千「フラン」ニ相當)	同上	Mark 及 Pfennig	青島

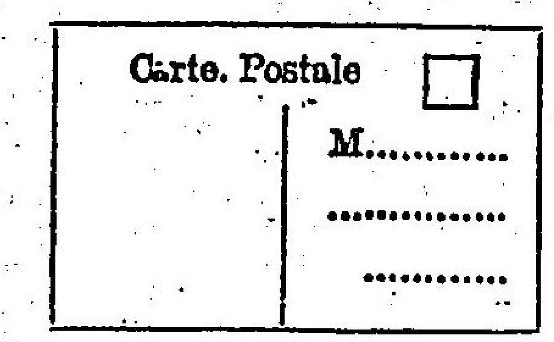
在外郵便局（モロッコ）	八百「マルク」（一千フラン二相當ス）	同上	Mark 及 Pfennig	（ララシュ、ラバット、マサゲン、フェズ（以上代金引換）、タンゼル、カサブランカ、マザガン、モガドール、サフフィー）
亞細亞土耳其	八百「マルク」（一千フラン二相當ス）	同上	Mark 及 Pfennig	（ヤッファ、ベールート、エルサレム）
清國	八百「マルク」（一千フラン二相當ス）	同上	Mark 及 Pfennig	（南京、上海、漢口、廣東府（以上代金引換取扱局））

附註　*價格表記箱物ハ之ヲ交換セス

●外國發著郵便繪端書ニ通信文記載方

明治三十九年九月二十八日
遞信省告示第四百三十一號
改正　三九年第四四一號第四五三號第四五七號

來十月一日以降左記第一表ノ諸國ニ發著シ又ハ第二表ノ諸國ニ宛ツル郵便繪端書ハ其表面ノ左半部内ニ通信文ヲ記載スルコトヲ得但本邦發ノモノハ此場合ニ於テ左記様式ニ準シ其表面ヲ左右兩半部ニ區劃シ且ツ名宛人ノ宿所氏名及郵便業務ニ關スル事項（書留、到達證等）ハ之ヲ其右半部内ニ記載スルコトヲ要ス



第一表

獨逸　墺地利　白耳義　「ボスニー、ヘルセゴヴヰヌ」　勃牙利　公果獨立國　「クレート」　丁抹　丁抹領「アンチーユ」　埃及　佛蘭西　大不列顛（完附屬ノモノヲ除ル）　濠洲聯邦　加那太　「オレンジ、リヴァー」殖民地　「ハイチ」　歷山堡　墨西哥　滿得迅谷羅　那威　「パラゲー」　和蘭　蘭領東印度　波斯　羅馬尼　暹羅　瑞典　瑞西　「トランスヴァール」　突尼斯

第二表

亞米利加合衆國　洪葛利　伊太利　「パナマ」　葡萄牙

●韓國發外國郵便繪端書ニ通信文記載方

明治三十九年十月五日
統監府告示第百九號

本年九月遞信省告示第四百三十一號ノ場合ニ於テ韓國ヨリ發スルモノ亦其ノ但書ニ依リ記載スルコトヲ要ス

●亞墨利加合衆國ト郵便交換條約

明治七年六月七日
太政官布告第六十二號

今般亞墨利加合衆國ト郵便交換條約別冊ノ通取結相成候條此旨布告候事

（別冊）

帝國日本と亞墨利加合衆國の間に取結たる郵便交換條約

下に載名する兩員は各其政府の命を奉し帝國日本と亞米利加合衆國の間に郵便交換の法を整修せん爲め約する所の條件左の如し

第一條　方今サンフランシスコと日本の間に往返する汽船又は自今兩郵便局の允准を得て右兩國の間に航海すへき汽船を以て日本帝國と合衆國の間に往復する信書新聞紙並各般の刷印物其他商品の見本雛形を兩國の間に遞送交換すへし而して又兩國は他の外國の間に往復する同前の郵便物を遞送するの媒介をなすへし

第二條　兩國の間に諸般の郵便物を遞送する爲め日本は横濱の郵便局合衆國はサンフランシスコの郵便局を以て右郵便物交換の本局と爲すへし別に交換局を要する事あらは兩郵便局にて協議の上何時たり共之を取設る事を得へし

第三條　兩國の間に交換したる信書の遞送賃は雙方の郵便局にて互に其差引勘定を爲すに及はす兩國共此條約を以て定めたる郵便税を取立自己に之を收入すへし

信書一通の重量十五ガラム（則半オンス）或は其以下の者は其郵便税日本に於ては十五錢合衆國に於ては十五セントと定むへし且十五ガラム以上の者は其重量十五ガラム（則半オンス）若くは其分數毎に日本にては十五錢合衆國にては十五セントの増税を拂ふへし右郵便税は何の時にても信書を發出する國の郵便切手を以て前拂に致すへし全く郵便税を拂はさる歟又は一通分に足さる郵便税を拂へる信書は之を遞送すへからす然れ共一通分以上の税を拂へる信書は假令其重量に比して不足ある共之を遞送し而して其不足税は其局先より取立此配達局にて之を收入すへし兩國にて受取たる信書不足なく其定税を前拂せし者は總て無税にて之を配達する事勿論たるへし

然れ共此條約實行の日より十二箇月の後信書一通の定税を日本にては十二錢合衆國にては十二セントに減すへきを今預め爰に約す

合衆國郵便局にては日本へ發出し或は日本より受取たる新聞紙及び諸般の刷印物其他商品の見本雛形其重量二オンス若くは其分數毎に二セントの郵便税を收入すへし

日本郵便局にては合衆國へ發出し或は合衆國より受取たる新聞紙及び諸般の刷印物其他商品の見本雛形は日本帝國の郵便成規に從ひ以て其郵便税を取立へし

新聞紙及び諸般の刷印物其他商品の見本雛形は之を遞送するに兩國各定則あり故に此定則に從ふへし若し右品々の内に信書様の者を封入する歟或は右定則に揭けたる事故ある時は其品を信書と見做し以て其定税を收入すへし又兩國の收税法に依て右品々に海關税を課する時は之を收入すへきなり

第四條　日本より合衆國に受取たる信書の郵便税に拂不足ある時は其不足税を取立るの外更に一通に付六セントの過料を取立合衆國の郵便局に收入すへし又合衆國より日本に受取たる信書の郵便税に拂不足ある時は其不足税を取立るの外更に一通に付六錢の過料を取立日本郵便局に收入すへし

第五條　横濱兵庫長崎の日本郵便局より支那上海合衆國の郵便出張所へ發出する信書新聞紙及び諸般の刷印物其他商品の見本雛形又は上海より日本へ發出する同前の品々を日本と支那の間に定期を以て往復する合衆國又は日本の郵船を以て右日本の三港と支那上海の間に遞送交換すへし

右日本の三港と上海の間に往復する信書等の遞送賃は兩郵便局にて互に之を差引勘定するに及はす唯雙方共に郵便切手を以て左の割合の通郵便税を取立各自己に之を收入すへし

●上海より日本へ遞送する信書一通の郵便税は其重量半オンス若くは其分數毎に六セント新聞紙並に物價表は一箇毎に二セント諸般の刷印物其他商品の見本雛形の重量二オンス若くは其分數毎に二セント宛の割合を以て上海合衆國の郵便出張所にて取立へし

日本ヨリ上海へ遞送する信書一通の郵便税は其重量十五ガラム（則半オンス）若くは其分數毎に六錢と定むへし而して新聞紙並に諸般の刷印物其他商品の見本雛形は日本郵便成規に從ひ郵便税を日本郵便局にて取立へし

此第五條に定めたる郵便税を不足なく前拂せさる信書は一切之を遞送する事なし

第六條　兩國の中甲國は他の外國に往復する郵便封嚢を乙國を經て遞送するの權利を有し乙國は水陸を論せす其國に通常なる郵便遞送の方法を以て右封嚢を遞送する媒介の任に當るへし

合衆國の陸路を經或は陸地水路を經て日本より海外に往復する郵便封嚢は左の割合を以て日本郵便局より合衆國郵便局に郵便税を拂ふへし

（第一）　墨斯哥ブリッチスコロムビヤ、カナタ、及び英領北亞米利加洲に送り或は其地より發出する郵便封嚢遞送の税は全く陸運の時は信書の重量三十「グラム」（一オンス）毎に六セント新聞紙並に諸般の刷印物其他商品の見本雛形の重量一「キログラム」（一千グラム）毎に三十二セントと定むへし

（第二）　ブリッチスコロムビヤ英領北亞米利加洲墨斯哥中央亞米利加及び南亞米利加其他西印度諸島に送り或は其地より發出する郵便封嚢遞送の税は海運の時は信書の重量三十「グラム」毎に二十五セント各般の刷印物其他商品の見本雛形の重量一「キログラム」毎に四十セントと定むへし

（第三）　大不列顛其他歐羅巴諸國に送り或は其地より發出する郵便封嚢遞送の税は海陸運共合衆國と右歐羅巴各國の間に取結たる郵便交換條約に定めたる同額の郵便税を拂ふへし

合衆國より日本の陸地或は水陸路を經て海外に往復する封嚢遞送の爲め合衆國郵便局より日本郵便局に拂ふへき郵便税は日本まて之を行ふ時機を要する時に至り兩國郵便局合議の上之を定むへし

兩國の中一國を經て郵便封嚢を發出し又は之を受取る國にて其封嚢中の信書新聞紙各般の刷印物其他商品の見本雛形を區別し以て之を勘定すへし

第七條　日本及び合衆國の兩郵便局にて協議の上當時行はるゝ所の約定に從ひ他の外國より發出し又は之に遞送する信書等を郵便閉嚢を以て互に遞送交換するの方法を定め以て兩國互に之か媒介を爲すへし

右外國往復の郵便税は總て兩國の間に遞送する郵便税の上に其外國へ遞送する丈の税額を加へ其高のみを取立る事勿論たり

第八條　他の外國より發出し合衆國を經て日本の

屆先へ遞送する前拂したる信書は一通に付二セント宛を合衆國郵便局より日本郵便局へ勘定すへし

第九條　兩國往復の郵船にて日本より合衆國へ返還せし旅客の信書は總て合衆國郵便切手を以て一通に付十セント宛を拂ふへし又合衆國より日本へ返還せし旅客の信書は日本郵便切手を以て一通ニ付十錢宛を拂ふへし

第十條　此條約の箇條に從ひ太平洋を經て互に遞送交換する郵便物の海運賃錢は開嚢封嚢を問はす信書は正味一オンス毎に六セント即ち三十グラム毎に六錢と定め其他の郵便物は正味一ポンド毎に六セント即ち四百八十グラム毎に六錢の割合にて互に勘定すへし

第十一條　兩國往復の郵便は其發出毎に書狀目錄を添附し之ニ兩國への往復竝に兩國を經て他國へ送るへき郵便物各種の目方を記入すへし而して兩國を經て他國へ送るへき郵便物各種に就て兩局の間に起れる差引勘定は三箇月毎に精算し借越しの局より貸越の局へ速に拂定すへし尤其勘定は貸越の局にて認める方法を以てなすへきなり

第十二條　合衆國の政府自費を以て現今サンフランシスコと横濱の間に半箇月毎に往返する郵船を維持して郵便物を遞送する間は日本政府に於ても兩國海港の間に航海する他の郵船を以て遞送する郵便物の運賃は全く自費を以て拂ふへき事を約諾せり

第十三條　兩國何れの港に於ても甲船より乙船へ封嚢を移す時其積移をなせる國の郵便局に於て別段失費あらさる時は其積移の爲に何等の手數料をも取立へからす

第十四條　合衆國郵便局より日本郵便局へ日本郵便局より合衆國郵便局へ宛て差出たる公用信書の往復は兩局とも總て其費用の勘定をなすニ及はす

第十五條　兩國政府竝公使館の間に往復する公用信書は破損等無之樣安全ならしむる爲め精々注意を加へ無税にて之を遞送すへし

第十六條　兩郵便局承諾の上兩國の間に交換する郵便を以つて書留郵便を遞送する方法を設くへし

書留郵便手數料は合衆國に於て十セント日本に於て十五錢と定むへし尤其郵便税竝に書留手數料共不足なく前拂に致すへし

兩局共書留郵便を遞送する手數料を改正する事勝手たるへし

第十七條　兩郵便局承諾上正に此條約を施行するニ付猶巨細の規則を設け時宜に依り時々此規則を訂正改革する事あるへし

第十八條　凡て不足なく定税を前拂したる信書へは其配達の局にて日附印を押すの外其信書の右方の上部に朱肉を以て拂濟(ペートオール)と押印し置くへし又不足の税を前拂したる信書へは其不足税の高を右同樣朱肉を以て記し置へし

第十九條　沒書となりたる信書は無税にて兩局より互に之を差戻すへし而して之を差戻す期限は毎一箇月或は兩局の沒書規則に從ひ時々之を差戻すへし

第二十條　日本の貨幣を合衆國の貨幣と交換し合衆國の貨幣を日本貨幣と交換するには合衆國の一弗を以て日本の一圓に當て合衆國の一セントを以て日本の一錢に當つへし

第二十一條　合衆國郵便局は此條約批准の後何時たり共日本郵便局より六箇月前に報告あらは横濱に在る合衆國の郵便出張所其他現今日本國内に設立し或は此後取設くへき郵便出張所を廢止すへし

第二十二條　此條約の趣は日本に在る合衆國の郵便出張所を廢止する日より實際施行すへし

第二十三條　此條約は兩局より一箇年前に報告せは何時たり共廢止する事を得へし

此條約は批准を受へき者にして雙方共可成丈速に之を交換すへし

明治六年八月六日即紀元千八百七十三年第八月六日華盛頓府に於て此條約本書二通に記し以て確定する者也

在米合衆國日本臨時代理公使　高木三郎

合衆國驛遞總長　インヌ、エ、アイ、クレスウヰル

朕此條約を定證せん爲め茲に大日本國の印章を鈐す

明治七年二月七日

御名　國璽

奉勅　外務卿　寺島宗則　印

余此條約を了承し爰に合衆國の印章を鈐し之を證する者也

奉命　ユー、エス、グラント

外國事務執政　ハミルトン、フヰシ

華盛頓府千八百七十三年第八月六日

明治八年六月二十五日
太政官布告第百九號

明治七年[illegible]第六十二號布告[illegible]亞米利加合衆國[illegible]交換條約第三條中第四節第五節左ノ通改定相成候條此旨布告候事

帝國日本ト亞米利加合衆國トノ兩國間ニ郵便ヲ以テ交通スル新聞紙及諸般刷印モノ其他商品ノ見本雛形ハ到著地迄ノ郵便税ヲ悉皆前拂ニセン爲メ兩國間ニ約スル所ノ條約

下ニ記名スル兩員ハ各其政府ノ命ヲ奉シ一千八百七十三年八月六日即明治六年八月六日華盛頓府ニ於テ亞米利加合衆國ト帝國日本トノ間ニ取結ヒタル郵便互換條約第三條中第四節第五節ヲ左ノ如ク改定スルヿヲ締約ス乃チ

各新聞紙ノ重量四オンスニ過キサルモノハ(四セント或ハ四錢)諸般ノ刷印モノ其他商品ノ見本雛形ノ重量二オンス若クハ其分數毎ニ(四セント或ハ四錢)ヲ到著地局先迄ノ郵便税トシテ發出地ノ郵便局ニ於テ之ヲ收入スヘシ

此條約ハ明治八年七月一日ヨリ實際施行シ同日ヨリ郵便交換條約第三條中第四節第五節ヲ廢スヘシ

一千八百七十五年四月二十六日華盛頓府ニ於テ二通ニ認メ署名スルモノナリ

在米日本天皇陛下ノ特命全權公使　吉田清成

米國驛遞總長　マルシャルゼウエル

余此條約ヲ證認シ其證トシテ米國ノ印章ヲ鈐スルモノナリ

ユー、エス、グラント

奉命　國務卿ハミルトンフヰン

華盛頓府一千八百七十五年四月廿七日

朕此條約ヲ定證セン爲メ茲ニ大日本國ノ印章ヲ鈐ス

明治八年六月十五日

御名　御璽

奉勅　外務卿　寺島宗則

明治九年四月十二日
太政官布告第四十六號

亞米利加合衆國ト郵便交換條約別紙ノ通改定追加相成候條此旨布告候事

(別紙)

一千八百七十三年八月六日帝國日本ト亞墨利加合衆國トノ間ニ取結タル郵便交換條約ノ箇條及ヒ一千八百七十五年四月二十六日兩國間ニ約スル條約ノ條款ヲ改定スル追加條約

下ニ記名スル兩員ハ各其政府ノ命ヲ奉シ西暦一千八百七十三年八月六日即明治六年八月六日結約スル日本ト合衆國ト郵便交換條約ノ箇條及ヒ一千八百七十五年四月二十六日華盛頓府ニ於テ調印セル兩國間條約ノ箇條ヲ左ノ如ク改定スルヿヲ締結ス

第一條　右交換條約中第三條ノ第二節ヲ改定シ信書一通ノ郵便税其重量十五グラム(四分ノ半オンス)ヲ以下ノモノハ合衆國ニ於テハ五セント日本ニ於テハ五錢ニ減シ右重量ニ超ユルモノハ十五グラム(四分ノ半オンス)若クハ其分數毎ニ五セント或ハ五錢ノ比例ヲ以テ郵便税ヲ加フヘシ

又合衆國ト日本ト兩國間ニ郵便ヲ以テ交換スル新聞紙及諸般ノ刷印モノ其他商品ノ見本雛形ノ郵便税ニ關シ一千八百七十五年四月二十六日華盛頓府ニ於テ兩國間ニ取結ヘル條約ヲ改定シ發出國ノ郵便局ニ於テ取立收入スヘキ郵便税各新聞紙ノ重量四オンスニ過キサルモノハ合衆國ニ於テハ二セント日本ニ於テハ二錢ニ減シ諸般ノ刷印モノ其他商品ノ見本雛形其重量二オンス若クハ二オンスノ分數毎ニ二セント或ハ二錢メルヘシ

第二條　日本政府ニ於テ清國上海ニ郵便支局ヲ設立ス可キニ依リ右日本郵便支局ヨリ發出シ横濱交換局ヲ經テ合衆國若クハ合衆國ヲ經過シ外國ヘ郵送スル各種郵便物ノ税額及交換ノ順序ハ帝國日本ヨリ右國々ヘ遞送スルモノト同一タルヘシ

第三條　横濱兵庫長崎ノ三港ニ在ル日本郵便局ヘ合衆國或ハ日本ノ郵便船ヲ以テ在上海日本郵便支局ト郵便物ヲ交換スルヿヲ得ヘシ

又在上海米國郵便支局ニ於テ取立收入スヘキ日本行信書一通ノ郵便税ハ兩國間ニ取結ヘル郵便交換條約第五條ニ約定スル六セントヲ廢シ五セントトス且上海行信書同港米國郵便支局ニ當テ遞送スル時ハ同シク五錢ノ郵便税ヲ日本ニ於テ取立收入ス可シ

第四條　一千八百七十三年八月六日締約ノ郵便交換條約第五條ノケ條ハ茲ニ改定スル通リ今一千八百七十六年十二月三十一日即チ兵庫長崎ノ兩港ヲ經テ横濱ト上海トノ間郵便事務ノ爲メ合衆國ト太平洋郵便汽船會社ノ間ニ存スル約定滿期ノ日迄存在スヘシ而シテ來一千八百七十七年一月一日後若シ合衆國驛遞院ト締約シテ日本横濱港ト支那上海トノ間ニ定期ノ航海ヲナス郵便船ヲ以テ在横濱日本郵便局ト在上海合衆國郵便支局トノ間ニ交換スル郵便物アルトキハ右ケ條ヲ之ニ充ツヘシ

此條約ハ西暦一千八百七十六年四月一日即明治九年四月一日ヨリ實際施行スヘシ

西暦一千八百七十六年二月八日即明治九年二月八

日華盛頓府ニ於テ此條約本書ニ通ニ記シ以テ確定スル者也

合衆國駐劄
帝國日本特命全權公使　吉田清成

合衆國驛遞總長　マルシャル、ヂエウエル

朕此條約ヲ定証セン爲茲ニ大日本國ノ印璽ヲ鈐ス

明治九年三月三十一日

御名　國璽

奉勅　外務卿　寺島宗則

余此條約ヲ了承シ爰ニ合衆國ノ印璽ヲ鈐シ之ヲ證スル者也

ユー、エス、グラント

外國事務執政

ハミルトンフヰシ

華盛頓府千八百七十六年三月八日

● 清國宛郵便物寸尺重量制限

明治三十一年十二月二十二日
遞信省告示第三百四十六號

來明治三十二年一月一日ヨリ清國（本邦若ハ郵便局所在地ヲ除ク）宛郵便物ノ寸尺重量ノ制限ハ華盛頓締結萬國郵便條約ノ規定ニ據ル

● 清國郵便局ニ於テ本邦及在韓國本邦郵便局所在地宛通常郵便物ニ對シ徴收ノ料金額

明治三十六年七月二十八日
遞信省告示第三百八十四號

本月十八日以降清國郵便局ニ於テ本邦及在韓國本邦郵便局所在地宛通常郵便物ニ對シ徴收スル郵便料金左ノ如シ

信書	重量半「オンス」（十五「グラム」）毎ニ	三仙（三錢）
封緘葉書	一枚ニ付	三仙（三錢）
郵便葉書	通常（私製葉書ヲ含ム）一枚ニ付	一仙半（一錢五厘）
	往復　一枚ニ付	三仙（三錢）
新聞紙及定期刊行物	一號一箇重量二「オンス」半毎ニ	半仙（五厘）
	二號二箇以上重量二「オンス」半毎ニ	一仙（一錢）
書籍及印刷物等	重量三「オンス」四分ノ三毎ニ	二仙（二錢）
業務用書類	重量三「オンス」四分ノ三毎ニ	二仙（二錢）
商品見本	重量三「オンス」四分ノ三毎ニ	二仙（二錢）
農產物種子	重量三「オンス」四分ノ三毎ニ	一仙（一錢）
書留料	郵便物一箇ニ付	七仙（七錢）

但シ鐵道若ハ汽船ノ通セサル清國内地引受郵便物ニ對スルモノハ十四仙（十四錢）トス

配達證明料	郵便物一箇ニ付	三仙（三錢）

● 小包郵便物交換條約

明治三十五年十一月七日
勅令　總、遞、外、大臣副署

朕明治三十五年十二月一日ヨリ西曆千八百九十七年六月華盛頓ニ於テ締結セラレタル小包郵便物交換條約ニ加盟シ茲ニ之ヲ公布セシム

萬國郵便聯合

獨逸及獨逸保護國、中央亞米利加大共和國、亞然的音共和國、墺地利洪牙利、白耳義、「ボスニー、ヘルセゴヴキヌ」、伯西兒、勃牙利、智利、古倫比亞共和國、「クレート」、丁抹及丁抹殖民地、「ドミニカ」共和國、埃及、西班牙、佛蘭西、佛蘭西殖民地、希臘、「ガテマラ」、英領印度、伊太利、「リベリア」共和國、盧山堡、滿的尼各羅、那威、和蘭、和蘭殖民地、葡萄牙及葡萄牙殖民地、羅馬尼、露西亞、塞爾維、瑞西、瑞典、突尼斯攝政國、土耳古、「ウルグエー」及「ベネズエラ」合衆國ノ間ニ締結セル小包郵便物交換條約

下ニ署名スル前揭諸國政府ノ全權委員ハ萬國郵便條約第十九條ニ據リ協議ヲ遂ケ更ニ批准ヲ受クヘキモノトシテ左ノ條約ヲ締結セリ

第一條

第一項　前揭各國ハ重量五「キログラム」以下ニシテ價格ヲ表記シ若ハ表記セサル小包ヲ小包郵便物ト稱シ相互ニ發送スルコトヲ得此ノ小包郵便物ハ諸國中其ノ郵政廳ニ於テ代金引換ノ業務ヲ開設スルコトヲ協定セル諸國ノ間ニ在テハ之ヲ代金引換ト爲スコトヲ得

各國ハ價格表記小包及取扱ニ困難ナル小包ノ交換ヲナササルモ妨ケナシトス

締盟各國ハ價格表記竝ニ代金引換ノ金額ノ最高限ヲ定ムヘシ但シ其ノ最高額ハ如何ナル場合ト雖モ五百「フランク」以下タルコトヲ得ス

最高限ノ金額ヲ異ニスル二國若ハ數國ノ關係ニ於テハ其ノ最低ノモノヲ以テ相互間ノ最高限トス但シ代金引換ノ金額ニ付テハ單ニ發著兩國ノ最高限ニ就キ此ノ規定ヲ適用ス

第二項　關係諸國ノ郵政廳ハ郵便料及小包ノ亡失、毀損又ハ擦損ノ場合ニ於ケル賠償額ヲ增加スルノ外本條約ノ規定ヲ準用シ重量五「キログラム」以上ノ小包ヲ遞送スル協定ヲナスコトヲ得

第三項　小包ノ郵送ニ關スル他ノ條件ハ施行細則ヲ以テ之ヲ規定スルモノトス

第二條

第一項　繼越遞送ノ自由ハ締盟各國ノ邦域内ヲ通シ確保セラルルモノトス此ノ繼越遞送ニ從事スル郵政廳ハ第十三條ニ定ムル制限內ニ於テ其ノ責ニ任ス

第二項　境界相接セサル諸國間ニ交換スル小包郵便物ハ關係諸郵政廳ノ間ニ反對ノ約定アルニアラサレハ開囊ヲ以テ之ヲ遞送スルモノトス

第三條

第一項　差出國郵政廳ハ陸路繼越ノ遞送ヲナス各郵政廳ヘ小包一箇ニ付五十「サンチーム」ノ遞送料ヲ支拂フヘキモノトス

第二項　右ノ外一箇所若ハ數箇所ノ海路繼越遞送ヲ要スルトキハ差出國郵政廳ハ其ノ遞送ニ從事スル各郵政廳ヘ小包一箇ニ付左ノ割合ヲ以テ遞送料ヲ支拂フヘキモノトス

五百海里ヲ超過セサル海路ニ付テハ二十五「サンチーム」

五百海里ヲ超過シ千海里ヲ超過セサル海路ニ付テハ五十「サンチーム」

千海里ヲ超過シ三千海里ヲ超過セサル海路ニ付テハ一「フランク」

三千海里ヲ超過シ六千海里ヲ超過セサル海路ニ付テハ二「フランク」

六千海里ヲ超過スル海路ニ付テハ三「フランク」

海路ノ距離ハ關係兩國各港間ノ平均里程ニ依リ算出スルモノトス

第三項　本條第一項及第二項ニ規定スル遞送料ハ取扱ニ困難ナル小包ニ付テハ百分ノ五十ヲ增加スルモノトス

第四項　差出國郵政廳ハ右遞送料ノ外價格表記小包ニ對シ責任ヲ以テ繼越遞送ヲナス各郵政廳ヘ表記金額三百「フランク」若ハ其ノ端數每ニ陸路遞送ハ五「サンチーム」海路遞送ハ十「サンチーム」宛ノ保險料ヲ支拂フノ義務アルモノトス

第四條

小包郵便物ノ郵便料ハ前納ニ限ル

第五條

第一項　小包郵便物一箇ノ郵便料ハ陸路遞送ヲナス郵政廳ノ數ニ五十「サンチーム」ヲ乘シタル金額若ハ之ニ對スル自國貨幣ノ相當額及場合ニ依リ第三條第二項ニ依ル海路遞送料竝ニ左ノ各項ニ記載スル料金トヲ合算セルモノトス各國貨幣ノ相當額ハ施行細則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

第二項　取扱ニ困難ナル小包ニ付テハ百分ノ五十ノ增郵便料ヲ徴收ス此ノ增郵便料ニシテ端數ヲ生スルトキハ五「サンチーム」ヲ以テ正除シ得ヘキ額ニマテ切上クヘシ

第三項　價格表記小包ニ付テハ價格表記信書ノ保險料ト同額ナル保險料ヲ徴收ス

第四項　代金引換小包ニ付テハ其ノ取立ツヘキ金額二十「フランク」若ハ其ノ端數每ニ二十「サンチーム」以內ノ特殊料金ヲ差出人ヨリ徴收ス此ノ料金ハ差出國郵政廳及名宛國郵政廳ノ間ニ分配スルモノトス即チ名宛國ノ郵政廳ハ之カ爲月次計算書ニ取立金額ニ百分ノ一ヲ其ノ貸分トシテ記入スヘシ

然レトモ兩國郵政廳ハ兩國相互ノ關係ニ於テ代金引換小包ニ對スル特殊料金ノ徴收及分配ニ關シ他ノ方法ヲ協議採用スルコトヲ得

第五項　締盟各國ハ一時ノ方法トシテ自國ノ郵便局ニ發著スル小包郵便物一箇ニ付二十五「サンチーム」ノ增郵便料ヲ徴收スルコトヲ得此ノ增郵便料ハ中央亞米利加大共和國、亞然的音共和國、伯西兒、智利、古倫比亞、和蘭殖民地、白露、露西亞、塞爾維、瑞典、亞細亞土耳古、「ウルグエー」及「ベネズエラ」ニ在テハ特ニ七十五「サンチーム」ヲ超過セサル金額迄ニ及「ドミニカ」共和國ニ在テハ四十「サンチーム」ニ增加スルコトヲ得

第六項　佛蘭西本國ト亞爾然利及古爾西トノ間ニ遞送スル小包ニ付テハ一箇ニ付二十五「サンチーム」ノ增郵便料ヲ徴收ス

西班牙國郵政廳ハ西班牙本國ト「バレアール」諸島トノ間ニ遞送スル小包一箇ニ付二十五「サンチーム」又西班牙本國ト「カナリー」諸島トノ間ニ遞送スル小包一箇ニ付五十「サンチーム」ノ增郵便料ヲ徴收スルコトヲ得

第七項　小包郵便物ノ差出人ハ二十五「サンチーム」以內ノ一定ノ料金ヲ前納シテ其ノ到達證ヲ請求スルコトヲ得差出人ハ小包差出ノ際到達證ヲ請求セサルモ後日ニ至リ此レト同一ノ料金ヲ納付シ其ノ蹤跡取調ヲ請求スルコトヲ得但シ此ノ料金ハ全部差出國郵政廳ノ所得ニ歸スヘキモノトス

第六條

差出國郵政廳ハ小包一箇ニ付左ノ金額ヲ支拂フモノトス

甲　名宛國郵政廳ヘハ五十「サンチーム」及場合ニ依リ第五條第二項、第五項及第六項ニ依ル增郵便料、價格表記金額三百「フランク」若ハ其ノ端數每ニ五「サンチーム」ノ料金竝ニ第八條ニ規定スル別配達料

乙　媒介國郵政廳アル場合ニ於テハ其ノ各郵政廳ヘハ第三條ニ規定スル料金

第七條

名宛國ハ配達料及税關ニ於ケル手數執行料トシテ小包一箇ニ付合計二十五「サンチーム」以內ノ料金ヲ徵收スルコトヲ得但シ此ノ料金ハ關係郵政廳ノ間ニ特殊ノ約定アルニアラサレハ小包配達ノ際名宛人ヨリ徵收スルモノトス

第八條

第一項　聯合諸國中其ノ郵政廳カ相互ノ關係ニ於テ別配達業務ノ開設ヲ協定スル諸國ニ於テハ差出人ノ請求アルトキハ小包ノ到著セシ後直チニ特別配達人ヲ以テ之ヲ名宛人ノ居所ニ配達スルモノトス

此ノ小包ハ之ヲ別配達ト稱シ特殊ノ料金ヲ徵收ス此ノ料金ハ五十「サンチーム」トシ名宛國ニ於テ別配達ニ依リ小包ヲ配達ニ附スルト又ハ單ニ小包ノ到著ヲ通知スルトニ拘ラス差出人ヨリ通常郵便料ノ外併セ之ヲ前拂セシム此ノ料金ハ名宛國ノ所得ニ歸スルモノトス

第二項　郵便局ノ設ナキ地方ニ宛テタル小包ニ付テハ名宛國郵政廳ハ配達ノ爲若ハ名宛人ニ小包ノ到著ヲ通知スル爲其ノ內地ニ於ケル別配達料トシテ規定シタル金額ニ達スル迄更ニ補充料金ヲ徵收スルコトヲ得此ノ補充料ハ其ノ前掲配達料ヨリ差出人ノ前納セシ一定料金若ハ之ニ對スル補充料徵收國ノ通貨ノ相當額ヲ控除シタルモノトス

第三項　別配達ニ依ル小包ノ配達若ハ到著通知書ノ送達ハ一回ヲ限トス若シ其ノ結果無效ニ歸シタルトキハ其ノ小包ハ之ヲ別配達ノモノト見做サスシテ通常小包配達ノ例ニ依リ配達スルモノトス

第四項　別配達小包ヲ名宛人居所移轉ノ爲別配達ニ附セサル前他國ニ再發スル場合ニ於テハ差出人ノ前納セシ別配達料ハ新名宛國カ別配達ノ業務ヲ施行スルトキハ同國ノ收得ニ歸シ若シ然ラサル場合ニ於テハ不能配達小包ノ場合ニ於ケル如ク第一名宛國郵政廳ノ收得ニ歸スルモノトス

第九條

第一項　本條約ニ依ル小包ニ付テハ其ノ諸條款ニ規定スルモノノ外何等ノ料金ヲ徵收スルコトヲ得ス

第二項　關稅若ハ郵便料金以外ノ金額ハ名宛人ニ於テ之ヲ納付セサルヘカラス但シ特ニ協商ヲ遂ケタル諸郵政廳相互ノ關係ニ於テハ差出人ヨリ差出局ニ豫告シ關稅若ハ其ノ他ノ金額ノ納付ヲ負擔スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ差出人ハ名宛國ノ請求ニ依リ其ノ局ヨリ指示スル金額ヲ納付セサルヘカラス

第十條

第一項　小包郵便物ノ差出人ハ萬國郵便條約第九條ニ依ル通常郵便物ニ關スル條件ニ從ヒ小包ヲ取戾シ若ハ其ノ名宛ヲ變更スルコトヲ得但シ差出人ニ於テ小包ノ取戾若ハ再發ヲ請求スルトキハ再度ノ遞送ニ要スル料金ノ納付ヲ擔保セサルヘカラス

第二項　各郵政廳ハ價格表記ノ小包ニ付テハ其ノ價格五百「フランク」以內ノモノニ限リ名宛變更ヲ許可スルコトヲ得

第十一條

第一項　名宛人カ其ノ居所ヲ移轉セシニ因リ他國ヘ宛小包郵便物ヲ再發スルトキ並ニ配達シ能ハサル若ハ稅關ニ於テ拒絕シタル小包郵便物ヲ返送スルトキハ第五條第一項、第二項、第三項、第五項及第六項ニ依リ規定スル郵便料ヲ名宛人又ハ場合ニ依リ差出人ヨリ追徵ス但シ關稅若ハ其ノ他ノ特別費用（倉敷料、稅關ニ於ケル手續執行料等）ハ之ヲ拂戾スコトヲ得

第二項　代金引換小包ヲ再發スル場合ニ於テハ最終ノ名宛國郵政廳ハ第五條第四項ニ依ル代金引換料ノ分配額ヲ收得スルモノトス

第十二條

第一項　信書若ハ通信文ノ性質ヲ具フル書類又ハ稅關其ノ他ノ法律規則ニ依リ發送ヲ許サヽル物件ヲ包有スル小包ハ之ヲ差出スコトヲ禁ス又價格表記ノ取扱ヲナス國ヘ宛價格ヲ表記セサル小包ニ正貨、金銀其ノ他貴重ノ物件ヲ挿入シテ發送スルヲ禁ス然レトモ無封ノ添狀、送狀竝ニ差出人ノ居所氏名ヲ附記シタル小包ノ名宛ノ寫ハ之ヲ小包中ニ封入スルコトヲ得

第二項　禁制物件ヲ包有スル小包ヲ聯合ノ一郵政廳ヨリ他ノ郵政廳ヘ送達シタルトキハ之カ送達ヲ受ケタル郵政廳ハ其ノ國ノ法律規則ニ據リ之ヲ處分ス

第十三條

第一項　不可抗力ノ場合ヲ除クノ外小包郵便物カ亡失、毀損シ又ハ奪掠セラレタルトキハ差出人又ハ差出人不在ナルトキ若ハ差出人ノ依賴ニ依ルトキ名宛人ハ其ノ亡失、毀損又ハ奪掠ヨリ生スル損失ノ實額ニ相當スル賠償ヲ受クルノ權利ヲ有スルモノトス但シ損害ニシテ差出人ノ過失若ハ怠慢ニ因リ又ハ物件ノ性質ニ因リタルトキハ此ノ限ニ在ラス且其ノ賠償金額ハ普通小包ニ在テハ二十五「フランク」及價格表記小包ニ在テハ表記金額ヲ超過スルコトヲ得サルモノトス

前項ノ規定ハ代金引換小包ヲ名宛人ニ配達セサル場合ニモ適用ス然レトモ其ノ配達ヲ了リタル後ハ郵政廳ハ差出人ニ交付スヘキ金額ニ付單ニ責任ヲ有スルモノトス

亡失セシ小包ノ差出人ハ發送竝ニ郵便官署ノ過失ニ因リ小包亡失ノ場合ニ在テハ踪跡取調ノ料金ノ還付ヲ受クルノ權利ヲ有ス

但シ保險料ハ郵政廳ノ所得ニ歸スルモノトス

第二項　不可抗力ノ場合ニ於テ發生スル危險ヲ擔保スル諸國ハ價格表記小包ニ付テハ價格表記信書及箱物交換約定第十二條第二項ノ規定ニ從ヒ之カ爲增保險料ヲ徵收スルコトヲ得

第三項　賠償金支拂ノ義務ハ差出局ヲ管理スル郵政廳ニ屬スルモノトス但シ該郵政廳ハ責任郵政廳即チ其ノ邦疆內若ハ其ノ管掌中ニ於テ亡失、毀損又ハ奪掠ノ事實ヲ生セシメタル郵政廳ニ對シ要償ヲ爲スコトヲ得

前項ニ掲クル危險ヲ擔保スル一國ノ邦疆內若ハ其ノ管掌中ニ於テ不可抗力ニ因リ價格表記小包ヲ亡失、毀損シ又ハ奪掠セラレタルトキハ以上ノ事實ヲ生セシメタル國ハ其ノ差出國郵政廳カ價格表記郵便物ニ付差出人ニ對シ不可抗力ノ場合ニ於ケル危險ヲ擔保スルトキハ同廳ニ對シ責任ヲ有スルモノトス

第四項　小包ヲ異議ナク受領シタル後其ノ名宛人ニ配達シ若ハ次ノ郵政廳ニ成規ノ遞送ヲナシタルコトヲ證明シ能ハサル郵政廳ハ反對ヲ證明スル迄ハ責任ヲ有スルモノトス

第五項　差出國郵政廳ハ成ルヘク速ニ賠償金ヲ支拂フヘシ遲クモ賠償請求ノ日ヨリ起算シ一箇年ヲ經過スヘカラス又責任郵政廳ハ差出國郵政廳ヘ速ニ賠償金額ヲ返還スヘシ

正當ニ照會ヲ受ケタル媒介國郵政廳若ハ名宛國郵政廳ニ於テ何等ノ處理ヲナサス一箇年間經過スルトキハ差出國郵政廳ハ右郵政廳ニ代リ差出人ニ賠償金ヲ支拂フコトヲ得又當然責任ヲ有スヘキ郵政廳ニシテ最初賠償金ノ支拂ヲ拒ミタル場合ニ於テハ同廳ハ賠償金ノ外支拂ノ不當ノ遲延ヨリ生スル費用ヲモ併セテ負擔セサルヘカラス

第六項　賠償ノ請求ハ小包郵便物ヲ郵便局ニ差出シタル日ヨリ起算シ一箇年以內ニ限リ之ヲ受理ス此ノ期間經過ノ後ハ請求者ハ賠償ヲ受クルノ權利ヲ失フモノトス

第七項　境界相接スル二國ノ交換局間ニ遞送中小包カ亡失又ハ毀損シタル場合ニ於テ其ノ事實兩國中何レノ邦疆內ニ於テ發生セシヤヲ確定シ難キトキハ關係兩國郵政廳各其ノ賠償金ノ半額ヲ負擔スルモノトス

第八項　權利者ニ於テ小包郵便物ヲ受領セシ後ハ郵政廳其ノ責ヲ免ルルモノトス

第十四條

小包ニハ其ノ包有物件ノ實價以上ノ價格ヲ僞テ表記スルヲ禁ス若シ僞テ表記スルトキハ差出人ハ賠償ヲ受クルノ權利ヲ失フモノトス但シ此ノ場合ニ於テハ差出國ノ法制ニ據リ司法處分ニ附スルヲ妨ケス

第十五條

各郵政廳ハ小包郵便物ノ業務ヲ停止スルヲ以テ至當ナリト認ムル非常ノ場合ニ於テハ一時其ノ全部又ハ一部ヲ停止スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ速ニ關係郵政廳ニ通知スヘシ至急ヲ要スルトキハ電信ニ依ル

第十六條

締盟各國內地ノ法制ハ本條約ニ規定ナキモノニ限リ適用セラルルモノトス

第十七條

第一項　本條約ハ締盟各國カ小包郵便物ノ業務ヲ改良スルノ目的ヲ以テ特殊ノ條約ヲ保持シ若ハ締結シ或ハ更ニ特別ノ聯合ヲ保持シ若ハ創設スルノ權利ヲ拘束スルコトナシ

第二項　然レトモ本條約ニ加盟スル諸國ノ郵政廳ニシテ未タ加盟セサル諸國ト小包郵便物ノ交換ヲ保持スルモノハ此レ等諸國ト小包郵便物ヲ交換セシムル爲他ノ締盟國郵政廳ヲシテ此ノ關係ノ利益ヲ享有セシムヘシ

第十八條

第一項　本條約ニ加盟セサル萬國郵便聯合諸國ハ其ノ請求ニ依リ萬國郵便條約第二十四條ニ規定スル萬國郵便聯合加盟ノ手續ニ從ヒ本條約ニ加盟スルコトヲ得

第二項　然レトモ本條約ニ加盟セムト欲スル國ニ於ケ小包一箇ニ付二十五「サンチーム」ヲ超過スル增郵便料ヲ徵收スルノ權利ヲ要求スルトキハ瑞西聯邦政府ハ締盟各國ヘ加盟請求ト共ニ其ノ旨ヲ通告ス若シ六箇月間ニ異議ヲ提出スル者ナキトキハ其ノ請求ヲ承認セラレタルモノト看做ス

第十九條

締盟諸國郵政廳ハ外國小包郵便物ヲ取扱フ郵便局又ハ其ノ地方ヲ指定シ且小包ノ遞送ニ關スル方法ヲ定メ尚其ノ他本條約ノ實施ヲ確實ニスル爲必要ナル手續細目ヲ協定スルモノトス

第二十條

本條約ヲ改正セムトスルトキハ萬國郵便條約第二十五條ニ定ムル方式ニ準據スルモノトス

第一項　條約第一條

第二項　條約第二條

第三項　條約第三條

第四項　條約第四條

第五項　條約第五條

第六項　條約第六條

第七項　條約第七條

第八項　條約第八條

第九項　條約第九條

第十項　條約第十條

第十一項　條約第十一條

第十二項　條約第十二條

第十三項　條約第十三條

第十四項　條約第十四條

第十五項　條約第十五條

第十六項　條約第十六條

第十七項　條約第十七條

第十八項　條約第十八條

第十九項　條約第十九條

第二十項　條約第二十條

第二十一項　條約第二十一條

第二十二項　條約第二十二條

第二十三項　條約第二十三條

第二十四項　條約第二十四條

第二十五項　條約第二十五條

第二十六項　條約第二十六條

第二十七項　條約第二十七條

第二十八項　條約第二十八條

第二十九項　條約第二十九條

第三十項　條約第三十條

第三十一項　條約第三十一條

第三十二項　條約第三十二條

第三十三項　條約第三十三條

第三十四項　條約第三十四條

第三十五項　條約第三十五條

第三十六項　條約第三十六條

第三十七項　條約第三十七條

第三十八項　條約第三十八條

第三十九項　條約第三十九條

第四十項　條約第四十條

第四十一項　條約第四十一條

第四十二項　條約第四十二條

第四十三項　條約第四十三條

第四十四項　條約第四十四條

第四十五項　條約第四十五條

第四十六項　條約第四十六條

第四十七項　條約第四十七條

第四十八項　條約第四十八條

第四十九項　條約第四十九條

第五十項　條約第五十條

第五十一項　條約第五十一條

第五十二項　條約第五十二條

第五十三項　條約第五十三條

第五十四項　條約第五十四條

第五十五項　條約第五十五條

第五十六項　條約第五十六條

第五十七項　條約第五十七條

第五十八項　條約第五十八條

第五十九項　條約第五十九條

第六十項　條約第六十條

第六十一項　條約第六十一條

第六十二項　條約第六十二條

第六十三項　條約第六十三條

第六十四項　條約第六十四條

第六十五項　條約第六十五條

第六十六項　條約第六十六條

第六十七項　條約第六十七條

第六十八項　條約第六十八條

第六十九項　條約第六十九條

第七十項　條約第七十條

第七十一項　條約第七十一條

第七十二項　條約第七十二條

第七十三項　條約第七十三條

第七十四項　條約第七十四條

第七十五項　條約第七十五條

第七十六項　條約第七十六條

第七十七項　條約第七十七條

第七十八項　條約第七十八條

第七十九項　條約第七十九條

第八十項　條約第八十條

第八十一項　條約第八十一條

第八十二項　條約第八十二條

第八十三項　條約第八十三條

第八十四項　條約第八十四條

第八十五項　條約第八十五條

第八十六項　條約第八十六條

第八十七項　條約第八十七條

第八十八項　條約第八十八條

第八十九項　條約第八十九條

第九十項　條約第九十條

第九十一項　條約第九十一條

第九十二項　條約第九十二條

第九十三項　條約第九十三條

第九十四項　條約第九十四條

第九十五項　條約第九十五條

第九十六項　條約第九十六條

第九十七項　條約第九十七條

第九十八項　條約第九十八條

第九十九項　條約第九十九條

第百項　條約第百條

第百一項　條約第百一條

第百二項　條約第百二條

第百三項　條約第百三條

第百四項　條約第百四條

第百五項　條約第百五條

第百六項　條約第百六條

第百七項　條約第百七條

第百八項　條約第百八條

第百九項　條約第百九條

第百十項　條約第百十條

第百十一項　條約第百十一條

第百十二項　條約第百十二條

第百十三項　條約第百十三條

第百十四項　條約第百十四條

第百十五項　條約第百十五條

第百十六項　條約第百十六條

第百十七項　條約第百十七條

第百十八項　條約第百十八條

第百十九項　條約第百十九條

第百二十項　條約第百二十條

第百二十一項　條約第百二十一條

第百二十二項　條約第百二十二條

第百二十三項　條約第百二十三條

第百二十四項　條約第百二十四條

第百二十五項　條約第百二十五條

第百二十六項　條約第百二十六條

第百二十七項　條約第百二十七條

第百二十八項　條約第百二十八條

第百二十九項　條約第百二十九條

第百三十項　條約第百三十條

第百三十一項　條約第百三十一條

第百三十二項　條約第百三十二條

第百三十三項　條約第百三十三條

第百三十四項　條約第百三十四條

第百三十五項　條約第百三十五條

第百三十六項　條約第百三十六條

第百三十七項　條約第百三十七條

第百三十八項　條約第百三十八條

第百三十九項　條約第百三十九條

第百四十項　條約第百四十條

第百四十一項　條約第百四十一條

第百四十二項　條約第百四十二條

第百四十三項　條約第百四十三條

第百四十四項　條約第百四十四條

第百四十五項　條約第百四十五條

第百四十六項　條約第百四十六條

第百四十七項　條約第百四十七條

第百四十八項　條約第百四十八條

第百四十九項　條約第百四十九條

第百五十項　條約第百五十條

第百五十一項　條約第百五十一條

第百五十二項　條約第百五十二條

第百五十三項　條約第百五十三條

第百五十四項　條約第百五十四條

第百五十五項　條約第百五十五條

第百五十六項　條約第百五十六條

第百五十七項　條約第百五十七條

第百五十八項　條約第百五十八條

第百五十九項　條約第百五十九條

第百六十項　條約第百六十條

第百六十一項　條約第百六十一條

第百六十二項　條約第百六十二條

第百六十三項　條約第百六十三條

第百六十四項　條約第百六十四條

第百六十五項　條約第百六十五條

第百六十六項　條約第百六十六條

第百六十七項　條約第百六十七條

第百六十八項　條約第百六十八條

第百六十九項　條約第百六十九條

第百七十項　條約第百七十條

第百七十一項　條約第百七十一條

第百七十二項　條約第百七十二條

第百七十三項　條約第百七十三條

第百七十四項　條約第百七十四條

第百七十五項　條約第百七十五條

第百七十六項　條約第百七十六條

第百七十七項　條約第百七十七條

第百七十八項　條約第百七十八條

第百七十九項　條約第百七十九條

第百八十項　條約第百八十條

第百八十一項　條約第百八十一條

第百八十二項　條約第百八十二條

第百八十三項　條約第百八十三條

第百八十四項　條約第百八十四條

第百八十五項　條約第百八十五條

第百八十六項　條約第百八十六條

第百八十七項　條約第百八十七條

第百八十八項　條約第百八十八條

第百八十九項　條約第百八十九條

第百九十項　條約第百九十條

第百九十一項　條約第百九十一條

第百九十二項　條約第百九十二條

第百九十三項　條約第百九十三條

第百九十四項　條約第百九十四條

第百九十五項　條約第百九十五條

第百九十六項　條約第百九十六條

第百九十七項　條約第百九十七條

第百九十八項　條約第百九十八條

第百九十九項　條約第百九十九條

第二百項　條約第二百條

第二百一項　條約第二百一條

第二百二項　條約第二百二條

第二百三項　條約第二百三條

第二百四項　條約第二百四條

第二百五項　條約第二百五條

第二百六項　條約第二百六條

第二百七項　條約第二百七條

第二百八項　條約第二百八條

第二百九項　條約第二百九條

第二百十項　條約第二百十條

第二百十一項　條約第二百十一條

第二百十二項　條約第二百十二條

第二百十三項　條約第二百十三條

第二百十四項　條約第二百十四條

第二百十五項　條約第二百十五條

第二百十六項　條約第二百十六條

第二百十七項　條約第二百十七條

第二百十八項　條約第二百十八條

第二百十九項　條約第二百十九條

第二百二十項　條約第二百二十條

第二百二十一項　條約第二百二十一條

第二百二十二項　條約第二百二十二條

第二百二十三項　條約第二百二十三條

第二百二十四項　條約第二百二十四條

第二百二十五項　條約第二百二十五條

第二百二十六項　條約第二百二十六條

第二百二十七項　條約第二百二十七條

第二百二十八項　條約第二百二十八條

第二百二十九項　條約第二百二十九條

第二百三十項　條約第二百三十條

第二百三十一項　條約第二百三十一條

第二百三十二項　條約第二百三十二條

第二百三十三項　條約第二百三十三條

第二百三十四項　條約第二百三十四條

第二百三十五項　條約第二百三十五條

第二百三十六項　條約第二百三十六條

第二百三十七項　條約第二百三十七條

第二百三十八項　條約第二百三十八條

第二百三十九項　條約第二百三十九條

第二百四十項　條約第二百四十條

第二百四十一項　條約第二百四十一條

第二百四十二項　條約第二百四十二條

第二百四十三項　條約第二百四十三條

第二百四十四項　條約第二百四十四條

第二百四十五項　條約第二百四十五條

第二百四十六項　條約第二百四十六條

第二百四十七項　條約第二百四十七條

第二百四十八項　條約第二百四十八條

第二百四十九項　條約第二百四十九條

第二百五十項　條約第二百五十條

第二百五十一項　條約第二百五十一條

第二百五十二項　條約第二百五十二條

第二百五十三項　條約第二百五十三條

第二百五十四項　條約第二百五十四條

第二百五十五項　條約第二百五十五條

第二百五十六項　條約第二百五十六條

第二百五十七項　條約第二百五十七條

第二百五十八項　條約第二百五十八條

第二百五十九項　條約第二百五十九條

第二百六十項　條約第二百六十條

第二百六十一項　條約第二百六十一條

第二百六十二項　條約第二百六十二條

第二百六十三項　條約第二百六十三條

第二百六十四項　條約第二百六十四條

第二百六十五項　條約第二百六十五條

第二百六十六項　條約第二百六十六條

第二百六十七項　條約第二百六十七條

第二百六十八項　條約第二百六十八條

第二百六十九項　條約第二百六十九條

第二百七十項　條約第二百七十條

第二百七十一項　條約第二百七十一條

第二百七十二項　條約第二百七十二條

第二百七十三項　條約第二百七十三條

第二百七十四項　條約第二百七十四條

第二百七十五項　條約第二百七十五條

第二百七十六項　條約第二百七十六條

第二百七十七項　條約第二百七十七條

第二百七十八項　條約第二百七十八條

第二百七十九項　條約第二百七十九條

第二百八十項　條約第二百八十條

第二百八十一項　條約第二百八十一條

第二百八十二項　條約第二百八十二條

第二百八十三項　條約第二百八十三條

第二百八十四項　條約第二百八十四條

第二百八十五項　條約第二百八十五條

第二百八十六項　條約第二百八十六條

第二百八十七項　條約第二百八十七條

第二百八十八項　條約第二百八十八條

第二百八十九項　條約第二百八十九條

第二百九十項　條約第二百九十條

第二百九十一項　條約第二百九十一條

第二百九十二項　條約第二百九十二條

第二百九十三項　條約第二百九十三條

第二百九十四項　條約第二百九十四條

第二百九十五項　條約第二百九十五條

第二百九十六項　條約第二百九十六條

第二百九十七項　條約第二百九十七條

第二百九十八項　條約第二百九十八條

第二百九十九項　條約第二百九十九條

第三百項　條約第三百條

第三百一項　條約第三百一條

第三百二項　條約第三百二條

第三百三項　條約第三百三條

第三百四項　條約第三百四條

第三百五項　條約第三百五條

第三百六項　條約第三百六條

第三百七項　條約第三百七條

第三百八項　條約第三百八條

第三百九項　條約第三百九條

第三百十項　條約第三百十條

第三百十一項　條約第三百十一條

第三百十二項　條約第三百十二條

第三百十三項　條約第三百十三條

第三百十四項　條約第三百十四條

第三百十五項　條約第三百十五條

第三百十六項　條約第三百十六條

第三百十七項　條約第三百十七條

第三百十八項　條約第三百十八條

第三百十九項　條約第三百十九條

第三百二十項　條約第三百二十條

第三百二十一項　條約第三百二十一條

第三百二十二項　條約第三百二十二條

第三百二十三項　條約第三百二十三條

第三百二十四項　條約第三百二十四條

第三百二十五項　條約第三百二十五條

第三百二十六項　條約第三百二十六條

第三百二十七項　條約第三百二十七條

第三百二十八項　條約第三百二十八條

第三百二十九項　條約第三百二十九條

第三百三十項　條約第三百三十條

第三百三十一項　條約第三百三十一條

第三百三十二項　條約第三百三十二條

第三百三十三項　條約第三百三十三條

第三百三十四項　條約第三百三十四條

第三百三十五項　條約第三百三十五條

第三百三十六項　條約第三百三十六條

第三百三十七項　條約第三百三十七條

第三百三十八項　條約第三百三十八條

第三百三十九項　條約第三百三十九條

第三百四十項　條約第三百四十條

第三百四十一項　條約第三百四十一條

第三百四十二項　條約第三百四十二條

第三百四十三項　條約第三百四十三條

第三百四十四項　條約第三百四十四條

第三百四十五項　條約第三百四十五條

第三百四十六項　條約第三百四十六條

第三百四十七項　條約第三百四十七條

第三百四十八項　條約第三百四十八條

第三百四十九項　條約第三百四十九條

第三百五十項　條約第三百五十條

第三百五十一項　條約第三百五十一條

第三百五十二項　條約第三百五十二條

第三百五十三項　條約第三百五十三條

第三百五十四項　條約第三百五十四條

第三百五十五項　條約第三百五十五條

第三百五十六項　條約第三百五十六條

第三百五十七項　條約第三百五十七條

第三百五十八項　條約第三百五十八條

第三百五十九項　條約第三百五十九條

第三百六十項　條約第三百六十條

第三百六十一項　條約第三百六十一條

第三百六十二項　條約第三百六十二條

第三百六十三項　條約第三百六十三條

第三百六十四項　條約第三百六十四條

第三百六十五項　條約第三百六十五條

第三百六十六項　條約第三百六十六條

第三百六十七項　條約第三百六十七條

第三百六十八項　條約第三百六十八條

第三百六十九項　條約第三百六十九條

第三百七十項　條約第三百七十條

第三百七十一項　條約第三百七十一條

第三百七十二項　條約第三百七十二條

第三百七十三項　條約第三百七十三條

第三百七十四項　條約第三百七十四條

第三百七十五項　條約第三百七十五條

第三百七十六項　條約第三百七十六條

第三百七十七項　條約第三百七十七條

第三百七十八項　條約第三百七十八條

第三百七十九項　條約第三百七十九條

第三百八十項　條約第三百八十條

第三百八十一項　條約第三百八十一條

第三百八十二項　條約第三百八十二條

第三百八十三項　條約第三百八十三條

第三百八十四項　條約第三百八十四條

第三百八十五項　條約第三百八十五條

第三百八十六項　條約第三百八十六條

第三百八十七項　條約第三百八十七條

第三百八十八項　條約第三百八十八條

第三百八十九項　條約第三百八十九條

第三百九十項　條約第三百九十條

第三百九十一項　條約第三百九十一條

第三百九十二項　條約第三百九十二條

第三百九十三項　條約第三百九十三條

第三百九十四項　條約第三百九十四條

第三百九十五項　條約第三百九十五條

第三百九十六項　條約第三百九十六條

第三百九十七項　條約第三百九十七條

第三百九十八項　條約第三百九十八條

第三百九十九項　條約第三百九十九條

第四百項　條約第四百條

第四百一項　條約第四百一條

第四百二項　條約第四百二條

第四百三項　條約第四百三條

第四百四項　條約第四百四條

第四百五項　條約第四百五條

第四百六項　條約第四百六條

第四百七項　條約第四百七條

第四百八項　條約第四百八條

第四百九項　條約第四百九條

第四百十項　條約第四百十條

第四百十一項　條約第四百十一條

第四百十二項　條約第四百十二條

第四百十三項　條約第四百十三條

第四百十四項　條約第四百十四條

第四百十五項　條約第四百十五條

第四百十六項　條約第四百十六條

第四百十七項　條約第四百十七條

第四百十八項　條約第四百十八條

第四百十九項　條約第四百十九條

第四百二十項　條約第四百二十條

第四百二十一項　條約第四百二十一條

第四百二十二項　條約第四百二十二條

第四百二十三項　條約第四百二十三條

第四百二十四項　條約第四百二十四條

第四百二十五項　條約第四百二十五條

第四百二十六項　條約第四百二十六條

第四百二十七項　條約第四百二十七條

第四百二十八項　條約第四百二十八條

第四百二十九項　條約第四百二十九條

第四百三十項　條約第四百三十條

第四百三十一項　條約第四百三十一條

第四百三十二項　條約第四百三十二條

第四百三十三項　條約第四百三十三條

第四百三十四項　條約第四百三十四條

第四百三十五項　條約第四百三十五條

第四百三十六項　條約第四百三十六條

第四百三十七項　條約第四百三十七條

第四百三十八項　條約第四百三十八條

第四百三十九項　條約第四百三十九條

第四百四十項　條約第四百四十條

第四百四十一項　條約第四百四十一條

第四百四十二項　條約第四百四十二條

第四百四十三項　條約第四百四十三條

第四百四十四項　條約第四百四十四條

第四百四十五項　條約第四百四十五條

第四百四十六項　條約第四百四十六條

第四百四十七項　條約第四百四十七條

第四百四十八項　條約第四百四十八條

第四百四十九項　條約第四百四十九條

第四百五十項　條約第四百五十條

第四百五十一項　條約第四百五十一條

第四百五十二項　條約第四百五十二條

第四百五十三項　條約第四百五十三條

第四百五十四項　條約第四百五十四條

第四百五十五項　條約第四百五十五條

第四百五十六項　條約第四百五十六條

第四百五十七項　條約第四百五十七條

第四百五十八項　條約第四百五十八條

第四百五十九項　條約第四百五十九條

第四百六十項　條約第四百六十條

第四百六十一項　條約第四百六十一條

第四百六十二項　條約第四百六十二條

第四百六十三項　條約第四百六十三條

第四百六十四項　條約第四百六十四條

第四百六十五項　條約第四百六十五條

第四百六十六項　條約第四百六十六條

第四百六十七項　條約第四百六十七條

第四百六十八項　條約第四百六十八條

第四百六十九項　條約第四百六十九條

第四百七十項　條約第四百七十條

第四百七十一項　條約第四百七十一條

第四百七十二項　條約第四百七十二條

第四百七十三項　條約第四百七十三條

第四百七十四項　條約第四百七十四條

第四百七十五項　條約第四百七十五條

第四百七十六項　條約第四百七十六條

第四百七十七項　條約第四百七十七條

第四百七十八項　條約第四百七十八條

第四百七十九項　條約第四百七十九條

第四百八十項　條約第四百八十條

第四百八十一項　條約第四百八十一條

第四百八十二項　條約第四百八十二條

第四百八十三項　條約第四百八十三條

第四百八十四項　條約第四百八十四條

第四百八十五項　條約第四百八十五條

第四百八十六項　條約第四百八十六條

第四百八十七項　條約第四百八十七條

第四百八十八項　條約第四百八十八條

第四百八十九項　條約第四百八十九條

第四百九十項　條約第四百九十條

第四百九十一項　條約第四百九十一條

第四百九十二項　條約第四百九十二條

第四百九十三項　條約第四百九十三條

第四百九十四項　條約第四百九十四條

第四百九十五項　條約第四百九十五條

第四百九十六項　條約第四百九十六條

第四百九十七項　條約第四百九十七條

第四百九十八項　條約第四百九十八條

第四百九十九項　條約第四百九十九條

第五百項　條約第五百條

第五百一項　條約第五百一條

第五百二項　條約第五百二條

第五百三項　條約第五百三條

第五百四項　條約第五百四條

第五百五項　條約第五百五條

第五百六項　條約第五百六條

第五百七項　條約第五百七條

第五百八項　條約第五百八條

第五百九項　條約第五百九條

第五百十項　條約第五百十條

第五百十一項　條約第五百十一條

第五百十二項　條約第五百十二條

第五百十三項　條約第五百十三條

第五百十四項　條約第五百十四條

第五百十五項　條約第五百十五條

第五百十六項　條約第五百十六條

第五百十七項　條約第五百十七條

第五百十八項　條約第五百十八條

第五百十九項　條約第五百十九條

第五百二十項　條約第五百二十條

第五百二十一項　條約第五百二十一條

第五百二十二項　條約第五百二十二條

第五百二十三項　條約第五百二十三條

第五百二十四項　條約第五百二十四條

第五百二十五項　條約第五百二十五條

第五百二十六項　條約第五百二十六條

第五百二十七項　條約第五百二十七條

第五百二十八項　條約第五百二十八條

第五百二十九項　條約第五百二十九條

第五百三十項　條約第五百三十條

第五百三十一項　條約第五百三十一條

第五百三十二項　條約第五百三十二條

第五百三十三項　條約第五百三十三條

第五百三十四項　條約第五百三十四條

第五百三十五項　條約第五百三十五條

第五百三十六項　條約第五百三十六條

第五百三十七項　條約第五百三十七條

第五百三十八項　條約第五百三十八條

第五百三十九項　條約第五百三十九條

第五百四十項　條約第五百四十條

第五百四十一項　條約第五百四十一條

第五百四十二項　條約第五百四十二條

第五百四十三項　條約第五百四十三條

第五百四十四項　條約第五百四十四條

第五百四十五項　條約第五百四十五條

第五百四十六項　條約第五百四十六條

第五百四十七項　條約第五百四十七條

第五百四十八項　條約第五百四十八條

第五百四十九項　條約第五百四十九條

第五百五十項　條約第五百五十條

第五百五十一項　條約第五百五十一條

第五百五十二項　條約第五百五十二條

第五百五十三項　條約第五百五十三條

第五百五十四項　條約第五百五十四條

第五百五十五項　條約第五百五十五條

第五百五十六項　條約第五百五十六條

第五百五十七項　條約第五百五十七條

第五百五十八項　條約第五百五十八條

第五百五十九項　條約第五百五十九條

第五百六十項　條約第五百六十條

第五百六十一項　條約第五百六十一條

第五百六十二項　條約第五百六十二條

第五百六十三項　條約第五百六十三條

第五百六十四項　條約第五百六十四條

第五百六十五項　條約第五百六十五條

第五百六十六項　條約第五百六十六條

第五百六十七項　條約第五百六十七條

第五百六十八項　條約第五百六十八條

第五百六十九項　條約第五百六十九條

第五百七十項　條約第五百七十條

第五百七十一項　條約第五百七十一條

第五百七十二項　條約第五百七十二條

第五百七十三項　條約第五百七十三條

第五百七十四項　條約第五百七十四條

第五百七十五項　條約第五百七十五條

第五百七十六項　條約第五百七十六條

第五百七十七項　條約第五百七十七條

第五百七十八項　條約第五百七十八條

第五百七十九項　條約第五百七十九條

第五百八十項　條約第五百八十條

第五百八十一項　條約第五百八十一條

第五百八十二項　條約第五百八十二條

第五百八十三項　條約第五百八十三條

第五百八十四項　條約第五百八十四條

第五百八十五項　條約第五百八十五條

第五百八十六項　條約第五百八十六條

第五百八十七項　條約第五百八十七條

第五百八十八項　條約第五百八十八條

第五百八十九項　條約第五百八十九條

第五百九十項　條約第五百九十條

第五百九十一項　條約第五百九十一條

第五百九十二項　條約第五百九十二條

第五百九十三項　條約第五百九十三條

第五百九十四項　條約第五百九十四條

第五百九十五項　條約第五百九十五條

第五百九十六項　條約第五百九十六條

第五百九十七項　條約第五百九十七條

第五百九十八項　條約第五百九十八條

第五百九十九項　條約第五百九十九條

第六百項　條約第六百條

第六百一項　條約第六百一條

第六百二項　條約第六百二條

第六百三項　條約第六百三條

第六百四項　條約第六百四條

第六百五項　條約第六百五條

第六百六項　條約第六百六條

第六百七項　條約第六百七條

第六百八項　條約第六百八條

第六百九項　條約第六百九條

第六百十項　條約第六百十條

第六百十一項　條約第六百十一條

第六百十二項　條約第六百十二條

第六百十三項　條約第六百十三條

第六百十四項　條約第六百十四條

第六百十五項　條約第六百十五條

第六百十六項　條約第六百十六條

第六百十七項　條約第六百十七條

第六百十八項　條約第六百十八條

第六百十九項　條約第六百十九條

第六百二十項　條約第六百二十條

第六百二十一項　條約第六百二十一條

第六百二十二項　條約第六百二十二條

第六百二十三項　條約第六百二十三條

第六百二十四項　條約第六百二十四條

第六百二十五項　條約第六百二十五條

第六百二十六項　條約第六百二十六條

第六百二十七項　條約第六百二十七條

第六百二十八項　條約第六百二十八條

第六百二十九項　條約第六百二十九條

第六百三十項　條約第六百三十條

第六百三十一項　條約第六百三十一條

第六百三十二項　條約第六百三十二條

第六百三十三項　條約第六百三十三條

第六百三十四項　條約第六百三十四條

第六百三十五項　條約第六百三十五條

第六百三十六項　條約第六百三十六條

第六百三十七項　條約第六百三十七條

第六百三十八項　條約第六百三十八條

第六百三十九項　條約第六百三十九條

第六百四十項　條約第六百四十條

第六百四十一項　條約第六百四十一條

第六百四十二項　條約第六百四十二條

第六百四十三項　條約第六百四十三條

第六百四十四項　條約第六百四十四條

第六百四十五項　條約第六百四十五條

第六百四十六項　條約第六百四十六條

第六百四十七項　條約第六百四十七條

第六百四十八項　條約第六百四十八條

第六百四十九項　條約第六百四十九條

第六百五十項　條約第六百五十條

第六百五十一項　條約第六百五十一條

第六百五十二項　條約第六百五十二條

第六百五十三項　條約第六百五十三條

第六百五十四項　條約第六百五十四條

第六百五十五項　條約第六百五十五條

第六百五十六項　條約第六百五十六條

第六百五十七項　條約第六百五十七條

第六百五十八項　條約第六百五十八條

第六百五十九項　條約第六百五十九條

第六百六十項　條約第六百六十條

第六百六十一項　條約第六百六十一條

第六百六十二項　條約第六百六十二條

第六百六十三項　條約第六百六十三條

第六百六十四項　條約第六百六十四條

第六百六十五項　條約第六百六十五條

第六百六十六項　條約第六百六十六條

第六百六十七項　條約第六百六十七條

第六百六十八項　條約第六百六十八條

第六百六十九項　條約第六百六十九條

第六百七十項　條約第六百七十條

第六百七十一項　條約第六百七十一條

第六百七十二項　條約第六百七十二條

第六百七十三項　條約第六百七十三條

第六百七十四項　條約第六百七十四條

第六百七十五項　條約第六百七十五條

第六百七十六項　條約第六百七十六條

第六百七十七項　條約第六百七十七條

第六百七十八項　條約第六百七十八條

第六百七十九項　條約第六百七十九條

第六百八十項　條約第六百八十條

第六百八十一項　條約第六百八十一條

第六百八十二項　條約第六百八十二條

第六百八十三項　條約第六百八十三條

第六百八十四項　條約第六百八十四條

第六百八十五項　條約第六百八十五條

第六百八十六項　條約第六百八十六條

第六百八十七項　條約第六百八十七條

第六百八十八項　條約第六百八十八條

第六百八十九項　條約第六百八十九條

第六百九十項　條約第六百九十條

第六百九十一項　條約第六百九十一條

第六百九十二項　條約第六百九十二條

第六百九十三項　條約第六百九十三條

第六百九十四項　條約第六百九十四條

第六百九十五項　條約第六百九十五條

第六百九十六項　條約第六百九十六條

第六百九十七項　條約第六百九十七條

第六百九十八項　條約第六百九十八條

第六百九十九項　條約第六百九十九條

第七百項　條約第七百條

第七百一項　條約第七百一條

第七百二項　條約第七百二條

第七百三項　條約第七百三條

第七百四項　條約第七百四條

第七百五項　條約第七百五條

第七百六項　條約第七百六條

第七百七項　條約第七百七條

第七百八項　條約第七百八條

第七百九項　條約第七百九條

第七百十項　條約第七百十條

第七百十一項　條約第七百十一條

第七百十二項　條約第七百十二條

第七百十三項　條約第七百十三條

第七百十四項　條約第七百十四條

第七百十五項　條約第七百十五條

第七百十六項　條約第七百十六條

第七百十七項　條約第七百十七條

第七百十八項　條約第七百十八條

第七百十九項　條約第七百十九條

第七百二十項　條約第七百二十條

第七百二十一項　條約第七百二十一條

第七百二十二項　條約第七百二十二條

第七百二十三項　條約第七百二十三條

第七百二十四項　條約第七百二十四條

第七百二十五項　條約第七百二十五條

第七百二十六項　條約第七百二十六條

第七百二十七項　條約第七百二十七條

第七百二十八項　條約第七百二十八條

第七百二十九項　條約第七百二十九條

第七百三十項　條約第七百三十條

第七百三十一項　條約第七百三十一條

第七百三十二項　條約第七百三十二條

第七百三十三項　條約第七百三十三條

第七百三十四項　條約第七百三十四條

第七百三十五項　條約第七百三十五條

第七百三十六項　條約第七百三十六條

第七百三十七項　條約第七百三十七條

第七百三十八項　條約第七百三十八條

第七百三十九項　條約第七百三十九條

第七百四十項　條約第七百四十條

第七百四十一項　條約第七百四十一條

第七百四十二項　條約第七百四十二條

第七百四十三項　條約第七百四十三條

第七百四十四項　條約第七百四十四條

第七百四十五項　條約第七百四十五條

第七百四十六項　條約第七百四十六條

第七百四十七項　條約第七百四十七條

第七百四十八項　條約第七百四十八條

第七百四十九項　條約第七百四十九條

第七百五十項　條約第七百五十條

第七百五十一項　條約第七百五十一條

第七百五十二項　條約第七百五十二條

第七百五十三項　條約第七百五十三條

第七百五十四項　條約第七百五十四條

第七百五十五項　條約第七百五十五條

第七百五十六項　條約第七百五十六條

第七百五十七項　條約第七百五十七條

第七百五十八項　條約第七百五十八條

第七百五十九項　條約第七百五十九條

第七百六十項　條約第七百六十條

第七百六十一項　條約第七百六十一條

第七百六十二項　條約第七百六十二條

第七百六十三項　條約第七百六十三條

第七百六十四項　條約第七百六十四條

第七百六十五項　條約第七百六十五條

第七百六十六項　條約第七百六十六條

第七百六十七項　條約第七百六十七條

第七百六十八項　條約第七百六十八條

第七百六十九項　條約第七百六十九條

第七百七十項　條約第七百七十條

第七百七十一項　條約第七百七十一條

第七百七十二項　條約第七百七十二條

第七百七十三項　條約第七百七十三條

第七百七十四項　條約第七百七十四條

第七百七十五項　條約第七百七十五條

第七百七十六項　條約第七百七十六條

第七百七十七項　條約第七百七十七條

第七百七十八項　條約第七百七十八條

第七百七十九項　條約第七百七十九條

第七百八十項　條約第七百八十條

第七百八十一項　條約第七百八十一條

第七百八十二項　條約第七百八十二條

第七百八十三項　條約第七百八十三條

第七百八十四項　條約第七百八十四條

第七百八十五項　條約第七百八十五條

第七百八十六項　條約第七百八十六條

第七百八十七項　條約第七百八十七條

第七百八十八項　條約第七百八十八條

第七百八十九項　條約第七百八十九條

第七百九十項　條約第七百九十條

第七百九十一項　條約第七百九十一條

第七百九十二項　條約第七百九十二條

第七百九十三項　條約第七百九十三條

第七百九十四項　條約第七百九十四條

第七百九十五項　條約第七百九十五條

第七百九十六項　條約第七百九十六條

第七百九十七項　條約第七百九十七條

第七百九十八項　條約第七百九十八條

第七百九十九項　條約第七百九十九條

第八百項　條約第八百條

第八百一項　條約第八百一條

第八百二項　條約第八百二條

第八百三項　條約第八百三條

第八百四項　條約第八百四條

第八百五項　條約第八百五條

第八百六項　條約第八百六條

第八百七項　條約第八百七條

第八百八項　條約第八百八條

第八百九項　條約第八百九條

第八百十項　條約第八百十條

第八百十一項　條約第八百十一條

第八百十二項　條約第八百十二條

第八百十三項　條約第八百十三條

第八百十四項　條約第八百十四條

第八百十五項　條約第八百十五條

第八百十六項　條約第八百十六條

第八百十七項　條約第八百十七條

第八百十八項　條約第八百十八條

第八百十九項　條約第八百十九條

第八百二十項　條約第八百二十條

第八百二十一項　條約第八百二十一條

第八百二十二項　條約第八百二十二條

第八百二十三項　條約第八百二十三條

第八百二十四項　條約第八百二十四條

第八百二十五項　條約第八百二十五條

第八百二十六項　條約第八百二十六條

第八百二十七項　條約第八百二十七條

第八百二十八項　條約第八百二十八條

第八百二十九項　條約第八百二十九條

第八百三十項　條約第八百三十條

第八百三十一項　條約第八百三十一條

第八百三十二項　條約第八百三十二條

第八百三十三項　條約第八百三十三條

第八百三十四項　條約第八百三十四條

第八百三十五項　條約第八百三十五條

第八百三十六項　條約第八百三十六條

第八百三十七項　條約第八百三十七條

第八百三十八項　條約第八百三十八條

第八百三十九項　條約第八百三十九條

第八百四十項　條約第八百四十條

第八百四十一項　條約第八百四十一條

第八百四十二項　條約第八百四十二條

第八百四十三項　條約第八百四十三條

第八百四十四項　條約第八百四十四條

第八百四十五項　條約第八百四十五條

第八百四十六項　條約第八百四十六條

第八百四十七項　條約第八百四十七條

第八百四十八項　條約第八百四十八條

第八百四十九項　條約第八百四十九條

第八百五十項　條約第八百五十條

第八百五十一項　條約第八百五十一條

第八百五十二項　條約第八百五十二條

第八百五十三項　條約第八百五十三條

第八百五十四項　條約第八百五十四條

第八百五十五項　條約第八百五十五條

第八百五十六項　條約第八百五十六條

第八百五十七項　條約第八百五十七條

第八百五十八項　條約第八百五十八條

第八百五十九項　條約第八百五十九條

第八百六十項　條約第八百六十條

第八百六十一項　條約第八百六十一條

第八百六十二項　條約第八百六十二條

第八百六十三項　條約第八百六十三條

第八百六十四項　條約第八百六十四條

第八百六十五項　條約第八百六十五條

第八百六十六項　條約第八百六十六條

第八百六十七項　條約第八百六十七條

第八百六十八項　條約第八百六十八條

第八百六十九項　條約第八百六十九條

第八百七十項　條約第八百七十條

第八百七十一項　條約第八百七十一條

第八百七十二項　條約第八百七十二條

第八百七十三項　條約第八百七十三條

第八百七十四項　條約第八百七十四條

第八百七十五項　條約第八百七十五條

第八百七十六項　條約第八百七十六條

第八百七十七項　條約第八百七十七條

第八百七十八項　條約第八百七十八條

第八百七十九項　條約第八百七十九條

第八百八十項　條約第八百八十條

第八百八十一項　條約第八百八十一條

第八百八十二項　條約第八百八十二條

第八百八十三項　條約第八百八十三條

第八百八十四項　條約第八百八十四條

第八百八十五項　條約第八百八十五條

第八百八十六項　條約第八百八十六條

第八百八十七項　條約第八百八十七條

第八百八十八項　條約第八百八十八條

第八百八十九項　條約第八百八十九條

第八百九十項　條約第八百九十條

第八百九十一項　條約第八百九十一條

第八百九十二項　條約第八百九十二條

第八百九十三項　條約第八百九十三條

第八百九十四項　條約第八百九十四條

第八百九十五項　條約第八百九十五條

第八百九十六項　條約第八百九十六條

第八百九十七項　條約第八百九十七條

第八百九十八項　條約第八百九十八條

第八百九十九項　條約第八百九十九條

第九百項　條約第九百條

第九百一項　條約第九百一條

第九百二項　條約第九百二條

第九百三項　條約第九百三條

第九百四項　條約第九百四條

第九百五項　條約第九百五條

第九百六項　條約第九百六條

第九百七項　條約第九百七條

第九百八項　條約第九百八條

第九百九項　條約第九百九條

第九百十項　條約第九百十條

第九百十一項　條約第九百十一條

第九百十二項　條約第九百十二條

第九百十三項　條約第九百十三條

第九百十四項　條約第九百十四條

第九百十五項　條約第九百十五條

第九百十六項　條約第九百十六條

第九百十七項　條約第九百十七條

第九百十八項　條約第九百十八條

第九百十九項　條約第九百十九條

第九百二十項　條約第九百二十條

第九百二十一項　條約第九百二十一條

第九百二十二項　條約第九百二十二條

第九百二十三項　條約第九百二十三條

第九百二十四項　條約第九百二十四條

第九百二十五項　條約第九百二十五條

第九百二十六項　條約第九百二十六條

第九百二十七項　條約第九百二十七條

第九百二十八項　條約第九百二十八條

第九百二十九項　條約第九百二十九條

第九百三十項　條約第九百三十條

第九百三十一項　條約第九百三十一條

第九百三十二項　條約第九百三十二條

第九百三十三項　條約第九百三十三條

第九百三十四項　條約第九百三十四條

第九百三十五項　條約第九百三十五條

第九百三十六項　條約第九百三十六條

第九百三十七項　條約第九百三十七條

第九百三十八項　條約第九百三十八條

第九百三十九項　條約第九百三十九條

第九百四十項　條約第九百四十條

第九百四十一項　條約第九百四十一條

第九百四十二項　條約第九百四十二條

第九百四十三項　條約第九百四十三條

第九百四十四項　條約第九百四十四條

第九百四十五項　條約第九百四十五條

第九百四十六項　條約第九百四十六條

第九百四十七項　條約第九百四十七條

第九百四十八項　條約第九百四十八條

第九百四十九項　條約第九百四十九條

第九百五十項　條約第九百五十條

第九百五十一項　條約第九百五十一條

第九百五十二項　條約第九百五十二條

第九百五十三項　條約第九百五十三條

第九百五十四項　條約第九百五十四條

第九百五十五項　條約第九百五十五條

第九百五十六項　條約第九百五十六條

第九百五十七項　條約第九百五十七條

第九百五十八項　條約第九百五十八條

第九百五十九項　條約第九百五十九條

第九百六十項　條約第九百六十條

第九百六十一項　條約第九百六十一條

第九百六十二項　條約第九百六十二條

第九百六十三項　條約第九百六十三條

第

和蘭殖民地	ジョース、ザー、ベルク
葡萄牙及葡萄牙殖民地	サント、チルソー
羅馬尼	セー、キルー エル、プレダ
露西亞	セヴアスチアノーフ
塞爾維	ヒエール、ド、サライ ゼー、ド、ヘンニエー
暹羅王國	アイザーク、タウンセンド、スミス
瑞典	エフ、アシユ、シユリテルン
瑞西	ザー、ベー、ヒオダー ア、ステーゲル セー、デレッセルト
突尼斯攝政國	チエポート
土耳古	ムースタフア ア、フアリー
ウルゲー	アリユデンシオ、ド、ミユルギオンド
ベネズエラ合衆國	ジコセー、アンドラード アルジアンドロー、イバラー

明治三十六年十一月二十一日
遞信省告示第五百五十八號

波斯ハ華盛頓締結小包郵便物交換條約ニ加盟セリ

●小包郵便物交換條約施行細則

明治三十五年十一月八日
遞信省告示第五百四十二號

改正 三六年第七七號第五六〇號、三七年第二六三號、三八年第三三號第九七號一七〇號第一九九號第二三三號第二七二號第四六九號第五五七號

本年十一月七日勅令ヲ以テ公布セラレタル華盛頓締結小包郵便物交換條約ノ施行細則左ノ如シ

獨逸及獨逸保護國、中央亞米利加大共和國、亞然的音共和國、墺地利洪葛利、白耳義、「ボスニー」、「ヘルセゴヴヰヌ」、伯西兒、勃爾瓦利、智利、古倫比亞共和國、「クレート」、丁抹及丁抹殖民地、「ドミニカ」共和國、埃及、西班牙、佛蘭西、佛蘭西殖民地、希臘、「ガテマラ」、英領印度、伊太利、「リベリア」共和國、歷山堡、滿得涅各羅、那威、和蘭、和蘭殖民地、葡萄牙及葡萄牙殖民地、羅馬尼、露西亞、塞爾維、暹羅王國、瑞典、瑞西、突尼斯攝政國、土耳古、「ウルゲー」及「ベネズエラ」合衆國ノ間ニ締結セル小包郵便物交換條約施行細則

下ニ署名スル諸員ハ萬國郵便條約第十九條及小包郵便物交換條約第十九條ニ準據シ各其ノ郵政廳ニ代リ小包郵便物交換條約實施ノ爲協議決定セシ條款左ノ如シ

第一條

第一項 定期航海業務ヲ保維スル締盟諸國ノ郵政廳ハ小包郵便物ノ遞送ニ充用シ得ヘキ海路ト其ノ里程トヲ他ノ締盟諸國郵政廳ニ通知スヘシ

第二項 締盟諸國ノ郵政廳ハ附錄第一號雛形ニ適合スル表ヲ以テ相互ニ左ノ諸件ヲ通知スヘシ

甲 自國ノ媒介ニ依リ小包郵便物ヲ送達シ得ル國名

乙 自國ノ邦疆内ニ入リ若ハ其ノ管掌ニ歸スル場所ヨリ繼越小包ノ遞送ニ充ツヘキ線路

丙 自國ノ媒介ニ依ルヘキ小包ニ對シ差出國郵政廳ニ於テ支拂フヘキ金額

第三項 各郵政廳ハ關係郵政廳ヨリ受取リタル第一號表ニ依リ該小包郵便物ノ遞送ニ充ツヘキ線路及繼越遞送ノ方法ニ從ヒ差出人ヨリ徴收スヘキ郵便料ヲ定ムヘシ

第四項 各郵政廳ハ第一媒介郵政廳ヘ同廳ヲ經テ送達スヘキ小包郵便物ノ宛國名ヲ直接ニ通知スヘシ

第五項 各郵政廳ハ法律規則ニ依リ其ノ國ヘノ郵送ヲ許サヽル品目ヲ他ノ締盟諸國郵政廳ニ通知スヘシ

第二條

第一項 小包郵便物交換條約第五條第一項ヲ實施スルニ當リ「フランク」ヲ以テ貨幣ノ單位トセサル締盟諸國ノ郵政廳ハ左ノ比例ニ從ヒ郵便料ヲ徴收ス

國名	五十サンチーム	二十五サンチーム
獨逸	四十ペンニッヒ	二十ペンニッヒ
獨逸保護國		
東部亞弗利加	三十ヘルレル	十五ヘルレル
南西亞弗利加		
カメルーン 新銀奈 サモア トーゴー カロリーヌ、マリアンヌ(ガムサ除ク)及パラオ諸島 マルシャル諸島	四十ペンニッヒ	二十ペンニッヒ
膠州	二十セント(金貨)	十セント(同上)
中央亞米利加大共和國	十センタボオ、ド、ペソ	五センタボオ、ド、ペソ
亞然的音共和國	十六センタボオ	八センタボオ
墺地利洪葛利	五十ドニエー、ド、クローンス	二十五ドニエー、ド、クローンス
ボスニー、ヘルセゴヴヰヌ	五十ヘルレル(ドニエー、ド、クローンス)	二十五ヘルレル(ドニエー、ド、クローンス)
伯西兒	二百レイ	百レイ

智利	十センタヴオ	五センタヴオ
古倫比亞	十センタヴオ、オール	五センタヴオ、オール
丁抹	三十六オール	十八オール
ドミニカ共和國	十センタヴオ	五センタヴオ
埃及	二ピアストル	一ピアストル
英領印度	五アンナー	二アンナー半
日本	二十錢	十錢
リベリア	十セント	五セント
滿得涅各羅	五十ドニエー、ド、クローンス	二十五ドニエー、ド、クローンス
那威	三十六オール	十八オール
和蘭	二十五セント	十二セント半
和蘭殖民地	二十五セント	十二セント半
白露	二十センタヴオ	十センタヴオ
波斯	二十六シャイス	十三シャイス
葡萄牙	百「レイ」	五十「レイ」
葡萄牙領印度	四タンガス	二タンガス
澳門及チモール	二十アヴオ	十アヴオ
其ノ他ノ葡萄牙殖民地	百レイ	五十レイ
露西亞	二十コペック	十コペック
暹羅	二十四アット	十二アット
瑞典	三十六オール	十八オール
土耳古	二ピアストル(八十パラ)	一ピアストル(四十パラ)
ウルゲー	十センテシモー	五センテシモー

第二項 前項ニ記載スル諸國ノ一國ニ於テ貨幣ノ制度ヲ變更スル場合ニ在テハ該國郵政廳ハ前項ノ比例ヲ變更スル爲瑞西郵政廳ト協議スヘシ瑞西郵政廳ハ萬國郵便總理局ヲ經由シ聯合ノ他廳ヘ此ノ變更ヲ通知スルモノトス

第三項 各郵政廳ハ其ノ國ノ貨幣ノ價値ニ著シキ變動ヲ生シ爲ニ必要ト認ムル場合ニ於テハ亦前項ノ協議ヲ爲スコトヲ得

第三條

第一項 左ニ列記スルモノハ取扱ニ困難ナル小包郵便物ト看做ス

甲 一面ノ寸尺一「メートル」五十「サンチメートル」ヲ超過スル小包

乙 他ノ小包ト混同シ容易ニ荷造シ能ハサル形狀、容積又ハ脆弱ノ小包若ハ特別ノ注意ヲ要スルモノ例ヘハ藍入ノ草木、空又ハ生活動物ヲ入レタル檻、葉卷煙草ノ空箱又ハ其ノ他ノ空箱ノ包束物、家具、藍細工花瓶簍、小兒車、紡績車、自轉車等

第二項 取扱ニ困難ナル小包ヲ取扱ハサル郵政廳ハ他郵政廳ト交換スル小包郵便物ニ付其ノ一面ノ最長寸尺ヲ六十「サンチメートル」ニ制限スルコトヲ得又海路ニ依リ小包ノ遞送ヲナス郵政廳ハ其ノ海運ニ依リ遞送スヘキ小包ニ付其ノ最長寸尺ヲ六十「サンチメートル」ニ其ノ容積ヲ二十五立方「デシメートル」ニ制限シ此ノ制限ヲ超過スル小包ハ取扱ニ困難ナル小包トナスニアラサレハ之ヲ引受ケサルモ妨ナシ

第三項 傘、杖、地圖、繪圖又ハ之ニ類似スル物件ニシテ長サ一「メートル」幅若ハ厚サ二十「サンチメートル」ヲ超過セサルモノハ取扱ニ困難ナル小包トナサスシテ取扱ハルルモノトス

第四項 小包郵便物ノ容積、重量若ハ寸尺ニ關シテハ差立局ノ檢算ヲ以テ正確ノモノトナスヘシ但シ著シキ誤謬ハ此ノ限ニ在ラス

第四條

爆發性、燃燒性及其ノ危險性ノ物件ヲ包有スル小包ハ除却シテ遞送セサルモノトス

關係郵政廳ハ携帶銃砲用金屬性ノ雷管及銃包ニシテ裝藥セシモノ竝ニ不爆發性大砲用信管ノ結合物ノ遞送ニ關シ相互ニ協議スルコトヲ得

此等ノ物件ハ箱又ハ桶ニ入レ内外共ニ堅牢ニ包裝シ其ノ品目ハ送狀竝ニ小包ニ記載スヘシ

第五條

第一項 各小包ハ左ノ諸件ヲ具備スルニアラサレハ郵送セス

第一 小包ハ名宛人ノ名宛ヲ明瞭ニ記載シ鉛筆ヲ以テ記載スルヲ許サス

正貨、金銀其ノ他貴重ノ物件ヲ封入スル小包ニ在テハ包裝物自體ニ名宛人ノ名宛ヲ記載スヘシ

第二 小包ハ遞送ノ距離ニ應シ其ノ包有品ヲ充分保護スルニ耐ヘ又被害ノ明瞭ナル痕跡ヲ留ムルニアラサレハ其ノ包有品ニ加害スル能ハサル様包裝スヘシ

第三 小包ハ封蠟、封鉛若ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ之ヲ封緘シ差出人ノ特殊ノ印影若ハ記

號ヲ押捺スヘシ
第四 價格表記ノ場合ニ於テハ小包ノ表面ニ「フラン」及「サンチーム」若ハ差出國ノ貨幣ヲ以テ其ノ價格ヲ表記スヘシ但シ假合證明アルモ之カ記載ハ重書又ハ塗抹スルヲ許サス「フラン」以外ノ貨幣ヲ以テ其ノ金額ヲ表記スルトキハ差出人若ハ差出國郵政廳ニ於テ「フラン」ニ換算シ價格表記金額ヲ指示スル數字ノ側ニ若ハ其ノ下ニ數字ヲ以テ之カ相當額ヲ指示スヘシ

第二項 流動物及溶解シ易キ物件ハ二重ノ器物ニ納メテ發送セサルヘカラス第一器物(壜子、小壜、壺、箱等)ト第二器物(金屬性若ハ堅牢ナル木製ノ箱)トノ間ニハ成ルヘク空隙ヲ設ケ鋸屑、糠若ハ其ノ他吸收性ノ物件ヲ以テ之ヲ填充スヘシ

第六條

第一項 各小包ニハ附錄第二號及第三號雛形ニ適合若ハ類似スル送狀及稅關告知書ヲ添附スヘシ諸郵政廳ハ各名宛地ニ對シ要スル稅關告知書ノ員數ヲ相互ニ通知ス

差出人ハ送狀ノ通知券面ニ其ノ小包ニ關スル通知文ヲ記入スルコトヲ得但シ發著兩國ノ法制上記入ヲ許ササルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二項 同シ差出人ヨリ發シ同一ノ人ニ宛テタル數通小包ハ其ノ數三箇迄ハ單ニ一葉ノ送狀及稅關ノ法規ニ牴觸セサル限リ一葉ノ稅關告知書ヲ添附スルコトヲ得但シ此ノ規定ハ代金引換小包若ハ價格表記小包ニ適用セス此等小包ニハ各別ノ送狀ヲ添附スルモノトス

第三項 佛蘭西語ヲ以テ印書セサル送狀ノ式紙ハ同語ノ譯文ヲ字下ニ附記スヘシ

第四項 價格表記小包ニ添附スル送狀ニハ該小包封緘用ノ印章ヲ押捺シ且本規則第五條第一項第四號ニ記載セル規定ニ從ヒ表記セシ價格ヲ記入スヘシ

各價格表記小包ノ正確ナル重量ハ差出國郵政廳ニ於テ其ノ表面名宛ノ場所竝ニ送狀中相當欄ニ「グラム」ヲ以テ之ヲ記入スヘシ

第五項 締盟諸國ノ郵政廳ハ稅關告知書ノ正否ニ付テハ一切其ノ責ニ任セス

第七條

第一項 各小包及之ニ附屬スル送狀ニハ登記番號及差出局名ヲ記載スル附錄第四號雛形ニ適合若ハ類似スル番號票ヲ貼附スヘシ

第二項 右ノ外送狀ニハ其ノ表面ニ差出局ニ於テ差出地名及差出日附ヲ明示スル印章ヲ押捺スルモノトス

第三項 各價格表記小包若ハ代金引換小包及之ニ附屬スル送狀ニハ羅馬字ヲ以テ「Valeur déclarée若ハRemboursement」(價格表記若ハ代金引換)ト記載スル赤色ノ票符ヲ貼附スヘシ

第四項 現時其ノ內國ノ制度ニ於テ票符ヲ使用セサル各郵政廳ハ便宜印章ノ押捺ヲ以テ本條第一項及第三項ニ規定スル票符ニ代フルコトヲ得

第五項 特別配達人ヲ以テ配達スヘキ小包竝ニ其ノ送狀ニハ「Exprès」(別配達)ナル文字ヲ大書スル印章ヲ押捺シ若ハ票符ヲ貼附スヘシ

第六項 小包ニ正貨、金銀其ノ他貴重ノ物件ヲ封入スルモノアルトキハ第一項、第三項及第五項ニ記載スル票符ハ包裝ノ損所ヲ隱蔽セサル樣票符毎ニ間隔ヲ設ケテ貼附シ又包裝物ノ縫目ヲ掩蔽スル爲二面ニ跨テ之ヲ貼附スヘカラス

第八條

第一項 輸入稅ヲ徵收スルコトナク名宛人ニ配達スヘキ小包郵便物ニハ其ノ表面名宛ノ場所ト送狀トニ「Franc de droit」(輸入稅ヲ徵收セス)ナル文字ヲ大書スル有色ノ票符ヲ貼附スヘシ

第二項 差立局ハ充分ニ輸入稅ヲ見積リ差出人ヨリ之ヲ徵收シ附錄第五號雛形ニ適合又ハ類似スル輸入稅前拂狀ヲ小包附屬式紙ニ添附ス名宛局ニ於テ其ノ小包ノ配達ヲ了リタルトキハ名宛人ヨリ取立ツヘキ金額ヲ明細ニ該輸入稅前拂狀ニ記入シ本規則第十四條ニ據リ再發小包ニ關シ定ムル手續ニ從ヒ差立局ヘ其ノ金額ヲ貸越ヘヘシ輸入稅前拂狀ハ名宛郵政廳及場合ニ依リ媒介郵政廳ニ於テ其ノ金額ヲ貸越トシテ記入シタル目錄ニ附著スヘシ

第九條

第一項 境界相接スル諸國若ハ直接海運ニ依リ互ニ連絡スル諸國ノ間ニ發著スル小包郵便物ハ關係郵政廳ノ指定スル郵便局間ニ交換セラルルモノトス

第二項 一國若ハ數國ノ媒介ヲ要スヘキ諸國ノ關係ニ於テハ小包郵便物ハ關係郵政廳ノ協議決定セル線路ニ依リ之ヲ遞送スヘシ關係郵政廳間ニ於テ直送小包目錄ヲ添ヘ閉鎖シタル行嚢、[illegible]若ハ箇ヲ以テ交換開始ノ約定アルニアラサレハ[illegible]

テ閉嚢ニ依リ第一媒介郵政廳ヘ送達スルモノトス

第三項 然レトモ小包郵便物ノ箇數夥多ニシテ媒介郵政廳ノ業務ヲ妨クル旨同廳ヨリ申立アルトキハ閉嚢ヲ以テ差立ツヘシ

關係郵政廳間ニ他ノ約定アルニアラサレハ容器ハ空ノ儘次便ニテ差立郵政廳ニ返還スヘシ

第十條

差立交換局ハ本規則附錄第六號雛形ニ適合スル小包目錄ニ小包郵便物ノ事項ヲ式ノ如ク詳細ニ記入シ送狀、稅關告知書竝ニ第五號及第八號ノ式紙及到達證ヲ添附スヘシ

第十一條

第一項 到達證請求ノ小包郵便物ハ差立局ニ於テ「Avis de réception」(到達證)ナル文字ヲ明瞭ニ鮮書シ若ハA. R. ナル文字ヲ記載スル印章ヲ押捺スヘシ

第二項 到達證ノ式紙ハ差立局ニ於テ若ハ差立郵政廳ノ指定セル他ノ郵便局ニ於テ調製スルモノトス

若シ其ノ到達證名宛局ニ到著セサルトキハ同局ニ於テ新タニ到達證ヲ調製ス

到達證ノ式紙ハ佛蘭西語ニテ記載シ若ハ同語ノ譯文ヲ字下ニ附記スヘシ

第三項 名宛局ニ於テ前項ノ式紙ニ式ノ如ク記入シタル後ハ之ヲ直接ニ若ハ交換局ヲ經由シテ差立局ヘ返送シ差立局ハ小包ノ差出人ニ送付ス

第四項 差出人小包郵便物ヲ差出シタル後其ノ到達證ヲ請求スルトキハ差立局ハ到達證ノ式紙ニ詳細ニ小包ノ事項(差立局名、差出月日、番號、名宛)ヲ記載ス

此ノ式紙ニハ該小包ヲ關係郵政廳所屬ノ交換局ヘ送達シタル船便ヲ附記シタル上郵政廳ヨリ郵政廳ニ送付スルモノトス名宛局ハ其ノ式紙ニ式ノ如ク記入シ前項ニ規定セル方法ニ依リ差立局ヘ返送ス

第五項 小包郵便物差出ノ際差出人ニ於テ正當ニ請求セル到達證ニシテ相當ノ期間內ニ差立局ニ歸著セサルトキハ第四項ノ規定ニ從ヒ不著到達證ノ取調ヲナスモノトス

此ノ場合ニ於テハ差立局ハ到達證式紙ノ頭部ニ「Réclamation de l'avis de réception, etc.」(到達證請求云云)ト記載ス

第十二條

第一項 名宛交換局ニ於テ小包目錄ヲ受取リタルトキハ之ニ記入アル小包郵便物及各種ノ式紙類ヲ點査シ若シ不足アルカ又ハ違例ノ廉アルトキハ本規則附錄第七號雛形ノ點檢狀ヲ以テ之ヲ照會シ又價格表記小包郵便物ニ關シテハ價格表記信書及箱物交換約定施行細則第九條ノ規定ニ準據スヘシ

第二項 容積、寸尺及重量ニ關シ重大ナラサル相違ハ單ニ點檢狀ヲ以テ之ヲ通知スルモノトス

第三項 料金支拂ノ計算ニ相違アルトキハ點檢狀ヲ以テ差立局ニ照會シ承認濟ノ點檢狀ハ關係小包目錄ニ添附スヘシ關係書類ニ依リ證明スルニアラサレハ其ノ訂正ハ無效トス

第十三條

第一項 代金引換ノ金額ハ差出國ノ貨幣ヲ以テ小包ノ表面名宛ノ場所及送狀ニ記載スヘシ但シ證明スルモ重書又ハ塗抹スルヲ許サス

第二項 代金引換ノ各小包ハ關係郵政廳間ニ反對ノ約定アルニアラサレハ本規則附錄第八號雛形ニ適合若ハ類似スル通知書ヲ添附スヘシ

第三項 名宛局ニ於テ代金ヲ取立タルトキハ直ニ此ノ通知書ヲ差立交換局ヘ返送ス

代金取立通知書ハ其ノ數ノ多少ニ從ヒ一纏メニ若ハ箇箇ニ之ヲ小包目錄ニ登記スルモノトス

第四項 小包到著ノ翌日ヨリ起算シ歐洲諸國間ノ關係ニ於テハ七日間及ヒ歐洲內ノ諸國ト歐洲外ノ諸國トノ關係竝ニ歐洲外諸國相互ノ關係ニ於テハ十五日間ニ受取人其ノ代金ヲ支拂ハサルトキハ該小包ハ本規則第十四條第三項ノ規定ニ準據シ不能配達ノモノトシテ取扱ハルルモノトス

其ノ國ノ法令ニ依リ前號ノ留置期間ヲ延長スル必要アル諸郵政廳ニ在テハ二箇月迄之ヲ伸長スルコトヲ得

第十四條

第一項 誤遞ノ爲再發スヘキ小包郵便物ハ再發郵政廳ヨリ最速遞ノ線路ニ依リ其ノ名宛地ニ送達スルモノトス誤テ差出國郵政廳ニ返還スル爲之ヲ再發スル場合ニ於テハ差出國郵政廳ノ小包目錄ニ記入シアル收得額ハ之ヲ取消シ再發交換局ハ點檢狀ヲ以テ其ノ誤謬ノ廉ヲ關係局ニ通知シ小包ハ小包目錄ニ簡單ニ記入シテ返送ス又正當名宛地ニ再發スル場合ニ於テ若シ再發郵政廳ノ收得額ニシテ其ノ郵政廳ノ支辨スル再發ノ費用ヲ償フニ足リサルトキハ再發郵政廳ハ差立交換局ノ小包目錄ニ記入シアル自廳ノ收得額ヲ訂正シテ其ノ不足金額ヲ補フヘシ但シ右訂正ノ事由ハ點檢狀ヲ以テ差立交換局ニ通知スルモノトス

取扱ノ錯誤ニ因リ發送セラレタル小包郵便物ハ誤遞小包ヲ差出國ニ返還スルト同樣ノ方法ニ依リ差出國ニ返還スヘキモノトス

第二項 名宛人居所移轉ノ爲再發スヘキ小包郵便物ハ差立局ニ於テ調製シタル送狀若ハ紛失ノ場合ニ於テハ假送狀ヲ成ルヘク添附スヘシ其ノ小

包郵便物ニ付テハ配達郵政廳ニ於テ自廳、再發郵政廳及媒介郵政廳アルトキハ其ノ各媒介郵政廳ノ收得スヘキ郵便料ヲ名宛人ヨリ徵收スルモノトス

再發郵政廳ハ自廳ノ收得スヘキ郵便料ヲ媒介郵政廳若ハ新名宛國ノ郵政廳ヘ貸越スモノトス若シ再發國ト新名宛國ト境界相接セサル場合ニ於テハ再發小包郵便物ヲ受取リタル第一媒介郵政廳ハ自廳及再發郵政廳ノ收得スヘキ郵便料ヲ其ノ小包郵便物ヲ交付スル郵政廳ニ貸越シ同廳若シ又單ニ媒介廳ニ過キサルトキハ前媒介廳ノ貸越額ニ自廳ノ收得スヘキ郵便料ヲ合算シ次ノ郵政廳ニ貸越スヘシ順次此ノ如クニシテ該小包郵便物カ配達郵政廳ニ到著スル迄其ノ遞送ニ干與スル各郵政廳ハ以上ノ手續ヲ履行スルモノトス

然レトモ再發小包郵便物ニ對シ再發ノ際其ノ再發郵便料ヲ納付スルトキハ該小包郵便物ハ再發國ヨリ直接ニ名宛國ニ名宛シタルモノトシテ取扱ヒ何等ノ郵便料ヲ名宛人ヨリ徵收スルコトナク直チニ之ヲ配達スルモノトス

第三項 配達シ能ハサル小包ハ差出人ヨリ申込書(附錄第九號雛形)ヲ以テ即時返還方又ハ他ノ名宛人ニ交付方ヲ請求セサルトキハ成ルヘク速ニ其ノ處分方ヲ差出人ニ問合スヘシ該申込書ハ名宛國ニ於テ讀ミ得ヘキ國語ヲ以テ記載シ(必要アルトキハ其ノ字下ニ差出國ノ國語ノ譯文ヲ附記シ)送狀竝ニ小包ニ添附スヘシ

不能配達小包ノ差出人ハ左ノ事項ヲ請求スルコトヲ得

甲 該小包ヲ直チニ返還スルコト

乙 該小包ヲ他ノ名宛人ニ配達又ハ最初ノ名宛人若ハ他人ニ交付ノ爲他ノ名宛地ニ再發スルコト

丙 最初ノ名宛人ニ再度ノ通知書ヲ送達スルコト

事由ノ如何ヲ問ハス名宛人ニ配達シ能ハサル小包郵便物ハ其ノ差出人ニ處分方ヲ問合セ賣却スヘキモノナルトキハ名宛國郵政廳ハ之ヲ返還セス內地ノ法令ニ據リ處分ス

此ノ問合書ハ名宛局及差立局間ニ直接ニ受授スルモノトス然レトモ各郵政廳ハ此ノ事務ニ關スル問合書ハ之ヲ郵政廳若ハ特定局ヘ宛送達セシムルコトヲ請求スルコトヲ得

問合書ヲ發送シタル後二箇月ノ期間內ニ名宛局ニ於テ何等ノ回報ヲ受領セサルトキハ差立局ニ該小包ヲ返送スヘシ但シ此ノ期間ハ露西亞及歐洲以外ノ諸國ニ在テハ六箇月トス新名宛ニ尙配達シ能ハサル小包ハ差出人カ第一處分方ノ外第二臨時處分方(他ノ名宛ヘ配達、賣却等)ヲモ併セ申出タル場合ニアラサレハ亦返送セラルルモノトス

然レトモ毀損又ハ腐敗ノ虞アル物件ハ送達若ハ返還ノ場合ニ於テ其ノ遞送途中ト雖モ權利者ノ爲豫告若ハ法律上ノ手續ヲ經ス直チニ賣却スルコトヲ得理由ノ如何ヲ問ハス賣却シ能ハサルトキハ毀損又ハ腐敗シタル物件ハ之ヲ棄却ス其ノ賣却若ハ棄却ニ付テハ調書ヲ作製スルモノトス

其ノ調書ハ送狀ト共ニ差立局ヘ送付スヘシ

賣却金額ヲ以テ先ツ其ノ小包ノ費用ニ充テ尙過剩アルニ於テハ該小包ニ對シ發送費ヲ負擔スル差出人ニ交付スル爲差立局ヘ送達スルモノトス若シ其ノ賣却金額ニシテ該費用ヲ償フニ足ラサルトキハ其ノ不足額ハ差出郵政廳ヨリノ請求ニ依リ差出人ニ於テ支拂フモノトス

差出人ニ還付スヘキ小包ハ小包目錄ニ登記シ且其ノ附註欄ニ「Rebut」(不能配達)ノ文字ヲ記入スルモノトス該小包ハ名宛人居所移轉ノ故ヲ以テ再發スルモノト同樣ニ取扱ヒ郵便料ヲ徵收スルモノトス

第四項 小包ノ名宛人ニシテ本條約ニ加盟セサル國ヘ居所ヲ移轉シ第一名宛郵政廳ニ於テ轉送ノ途ナキトキハ不能配達ノモノトシテ取扱フヘシ

第五項 小包郵便物交換條約第十二條ニ記載スル禁制品ヲ包有スル小包ヲ取扱中發見スルトキハ本條第一項ニ定ムル手續ニ依リ其ノ當時ニ差立交換局ニ返送スルモノトス

第十五條

第一項 小包郵便物取調ノ請求ニ關シテハ本規則附錄第十二號雛形ニ適合若ハ類似セル式紙ヲ使用ス差出國郵政廳ハ次ノ郵政廳ニ該小包郵便物ヲ遞送セシ日時ヲ其ノ式紙ニ記載シ直接ニ名宛郵政廳ヘ送付スヘシ

第二項 名宛郵政廳ニ於テ請求ニ係ル小包郵便物ノ途否ニ關シ確實ナル事項ヲ通報シ得ル場合ニ於テハ該式紙ニ相當事項ヲ記載シタル後發出郵政廳ニ之ヲ返送スヘシ

第三項 數國ノ開發繼越ニ係ル小包郵便物ニシテ名宛國ノ管掌中ニ於テ直チニ其ノ途否ヲ證明シ能ハサルトキハ名宛郵政廳ハ該式紙ヲ第一媒介郵政廳ヘ送付ス其ノ郵政廳ハ該郵便物ヲ次ノ郵政廳ニ遞送セシ詳細ノ事項ヲ記載シタル後其ノ式紙ヲ次ノ郵政廳ニ送付ス逐次此ノ如キ手續ヲ以テ請求ニ係ル小包郵便物ノ途否ヲ確證シ得ル迄之ヲ繼續ス該小包郵便物ヲ名宛人ニ配達セシ郵政廳又ハ配達若ハ他ノ郵政廳ヘ正ニ遞送セ

シコトヲ證明シ能ハサル郵政廳ハ其ノ旨ヲ式紙ニ記載シ差出郵政廳ニ返送スヘシ

第四項 第十二號式紙ハ佛蘭西語ヲ以テ記載シ若ハ同語ノ譯文ヲ字下ニ附記スヘシ其ノ式紙ハ別ニ書面ヲ添ヘス封皮ニ納メ封緘シ成ルヘク書留ノ手續ヲ爲シテ發送スヘシ各郵政廳ハ萬國郵便聯合總理局ニ通知ノ上郵政廳若ハ特ニ指定シタル郵便局又ハ直接ニ名宛局ヘ宛或ハ各郵政廳ニシテ單ニ媒介ノ資格ヲ有スルトキハ其ノ小包郵便物ヲ發送シタル交換局ヘ宛其ノ事務ニ關スル請求書ノ送付ヲ要求スルコトヲ得

第十六條

小包郵便物ノ取戾及名宛變更ニ關スル請求ハ萬國郵便條約施行細則第二十九條ニ定ムル規定及手續ニ準據シテ取扱フモノトス

第十七條

第一項 各郵政廳ハ每月其ノ所轄ノ各交換局ヲシテ他ノ同一郵政廳所轄ノ諸交換局ヨリ受取リタル小包郵便物ニ對シ各小包目錄ニ記入シアル金額ニ依リ月次貸借表ヲ本規則附錄第十號雛形ニ從ヒ調製セシメ差立郵政廳ニ於テ徵收シタル郵便料ノ內自廳ノ收得分及關係郵政廳アルトキハ其ノ收得分ヲ貸分ニ又再發及不能配達小包ニ對シ名宛人ヨリ徵收スヘキ郵便料ノ內再發郵政廳及媒介郵政廳ノ收得分ヲ借分ニ記載セシムルモノトス

第二項 前項ノ郵政廳ハ第十號月次貸借表ニ基キ更ニ本規則附錄第十一號雛形ノ簡明計算書ヲ調製シ自廳ニ於テ取立タル金額ノ二百分ノ一ヲ其ノ貸分ニ附加ス

第三項 簡明計算書ハ月次貸借表、小包目錄及點檢狀アルトキハ其ノ點檢狀ヲ添附シ其ノ計算ノ翌月中ニ關係郵政廳ニ送付シ之カ檢査ニ供スヘシ

合計金額ハ訂正スヘカラス誤謬アルコトヲ發見スルトキハ誤謬表ヲ調製スヘシ

第四項 此ノ計算書ハ雙方ニ於テ審査承認ノ上貸越郵政廳ニ於テ每三箇月ノ總計算書ニ登記スルモノトス

然レトモ關係郵政廳ハ總計算書ヲ六箇月若ハ一箇年每ニ調製スル爲相互ニ協議スルコトヲ得

第五項 兩郵政廳間ノ差引計算ヨリ生スル差額ハ借越郵政廳ヨリ正貨「フランク」ヲ以テ若ハ貸越國ノ首府又ハ貿易地ヘ振宛タル銀行爲替ヲ以テ貸越郵政廳ニ支拂フヘシ右支拂ニ關スル經費ハ借越郵政廳ノ負擔トス此ノ爲替ハ借越郵政廳ニ於テ割引費用ヲ負擔スルトキハ便宜他國ヘ宛振出スコトヲ得

第六項 總計算書ノ調製、送達及支拂ハ成ルヘク速ニ之ヲ爲スヘシ遲クモ次ノ三箇月ヲ經過スヘカラス此ノ期間經過ノ後ハ甲廳ヨリ乙廳ヘ支拂フヘキ金額ニ付經過ノ日ヨリ起算シ年百分ノ五ノ割合ヲ以テ利子ヲ附ス

第七項 然リト雖モ關係郵政廳ハ協議ノ上本條規定以外ノ方法ヲ採用スルコトヲ得

第十八條

第一項 諸郵政廳ハ遲クモ條約實施ノ三箇月前ニ萬國郵便聯合總理局ヲ經由シ左ノ諸件ヲ相互ニ通知スヘシ

甲 重量ノ制限、價格表記、取扱ニ困難ナル小包、代金引換、稅關告知書一葉ノ添附ニテ足ル小包ノ員數及送狀ニ通信文記載ノ許否ニ關スル決定

乙 若シ必要アルトキハ本細則第三條第二項ニ規定スヘキ尺度容積ノ制限

丙 小包郵便物交換條約第九條及本細則第一條ニ據リ締盟各國ニ宛ル小包郵便物ニ對シ自國ニ於テ徵收スヘキ郵便料

丁 小包郵便ノ事務ヲ取扱フ局名又ハ地名

戊 小包郵便物ノ遞送ニ適用スヘキ內地法律規則中ノ規定ナ英、佛若ハ獨ノ國語ニテ記載セル拔萃書

第二項 前項ニ記載スル五件ニ關シ將來變更アルトキハ之ト同一ノ手續ヲ以テ速ニ之ヲ通知スヘシ

第十九條

第一項 締盟各國ノ郵政廳ハ萬國郵便條約第二十五條ニ記載スル大會議ノ時期ニ至ラサルモ萬國郵便聯合總理局ヲ經テ本細則ノ條款ニ關スル發議ヲ其ノ他ノ郵政廳ヘ提出スルノ權利ヲ有ス

第二項 總テ發議ハ萬國郵便條約施行細則第四十一條ニ定ムル手續ニ準據スヘシ

第三項 發議ハ左ノ同意ヲ得ルニアラサレハ實施スルコトヲ得ス

甲 本細則ニ新條款ヲ追加シ或ハ本條若ハ第二十條ノ諸條款ヲ修正セムトスルトキハ投票國全體ノ同意

乙 第二條、第三條、第四條、第五條、第六條、第七條、第九條、第十條、第十一條、第十二條、第十三條及第十四條ノ諸條款ヲ修正セムトスルトキハ投票國三分ノ二以上ノ同意

丙 其ノ他ノ條款ヲ修正セムトスルトキ若ハ本細則ノ諸條款ノ解釋ニ關スルトキハ單ニ過半數ノ同意但シ萬國郵便條約第二十三條ノ爭議ヲ生シタル場合ハ此ノ限ニ在

ラス

第四項　有效ノ決議ハ萬國郵便聯合總理局ヨリ締盟郵政廳ヘノ通知書ヲ以テ確認スヘシ

第五項　總テ可決セシ修正若ハ決議ハ通知ノ後少クモ三箇月ヲ經過セサレハ之ヲ實施セス

第二十條

本細則ハ條約實施ノ日ヨリ施行スルモノトス

本細則ハ締盟諸國間ニ協議ノ上之ヲ改正スルニアラサレハ條約ト效力期間ヲ同フス

千八百九十七年六月十五日華盛頓ニ於テ調製セリ

獨逸及獨逸保護國	フリッツチ ノイマン
中央亞米利加大共和國	エヌ、ボレット、ペラザ
亞然的音共和國	エム、ガルシア、メルー
墺地利	ドクトル、ノイバウエル ハツペルゲル スチーブラル
白耳義	リヒテルフエルド ステルペン ア、ラムビン
ボスニー、ヘルセコヴヰヌ	ドクトル、カムレー
伯西兒	
勃爾瓦利	イヴストヤノヴヰッチ
智利	エル、エル、イラザヴアール
古倫比亞共和國	
丁抹及丁抹殖民地	セー、スヴアンドサン
ドミニカ共和國	
埃及	イクレック、サバー
西班牙	アドルフオ、ローザパール カルロス、フローレッズ
佛蘭西	アンソール
佛蘭西殖民地	エド、ダルマー
希臘	エ、ド、ボウーン
ガテマラ	ザー、ノーヴエラ
洪葛利	ピエール、ド、サライ セー、ド、ヘンニエー
英領印度	エッチ、エム、キッシュ
伊太利	エー、キアラザア ゼー、ゼー、ヴアンシー エー、アル マチー
リベリア共和國	チャーレス、ホール、アダムス
盧山堡	ハヴエラール代ヴアン、デル、ヴエエン
満得涅各羅	ドクトル、ノイバウエル ハツペルゲル、スチーブラル
那威	ザアシユペ、ヘイエルダアール
和蘭	ハヴエラール代ヴアン、デル、ヴエエン ヴアン、デル、ヴエエン
和蘭殖民地	ジヨース、ザー、ペルク
葡萄牙及葡萄牙殖民地	サント、チルソー
羅馬尼	セー、キルー エル、ブレダ
露西亞	セヴアスチアノーフ
塞爾維	ピエール、ド、サライ ゼー、ド、ヘンニエー
暹羅王國	アイザーク、タウンセンド、スミス
瑞典	エフ、アシユ、シユリテルン
瑞西	デー、ベー、ヒオダー アー、スアーゲル セー、デレツセルト
突尼斯攝政國	ナエボート
土耳古	ムースタフア ア、フアリー
ウルグー	ブリユデンシオ、ド、ミユルヴオンド
ベネズエラ合衆國	ジヨゼー、アンドラード アルラアンドロー、イバラ

（附錄）

第一號

本表差立郵政廳……　本表名宛郵政廳……

境界相接セサル諸國間ニ小包郵便物ノ交換

諸國ノ郵政廳ヘ宛タル小包郵便物ヲ……郵政廳ヨリ……郵政廳ヘ開義ニテ遞送シ得ル方法ヲ指示スル表但シ本表差立郵政廳ハ本表名宛郵政廳ニ對シ小包郵便物ノ交換ノ媒介ヲナスモノトス

一	二	三	四	五	六
名宛國	遞送線路	媒介國及海路ノ名稱	……郵政廳ヨリ……郵政廳ヘ支拂フヘキ經費 合計	重量ニ關スル郵便料	料三百「フランク」ノ保險	附註

第二號（表面）

通知券

名宛人ハ此ノ券ヲ切離スルコトヲ得

差立局印

差出人ノ氏名住所……

送狀

差出國……

小包箇數……税關告知書員數……

表記金額

引換金額

……（名宛地）

……（町名番地）

……殿

郵便切手貼用若ハ徴收セシ郵便料記載ノ場所

重量　關稅（一）　遞送線路

第二號（裏面）

（一）名宛國ニ於ケル交換局ニ於テ記載スヘキ部

第三號

名宛人ノ領收證

左ニ署名スル者ハ本送狀ノ表面ニ記載スル小包……箇正ニ落掌候也

何地

年　月　日

（署名）

差出地　差出國……

名宛地……

……殿

第四號

税關告知書

小包郵便物		封入品	價格	重量		附註
員數	種類			全量「グラム」	正味「グラム」	

年月日

差出人……

第五號

四七五

パルマン號

四七五パルマン號

……郵政廳

小包郵便事務

輸入税前拂狀

……ニ於テ……ヨリ……ニ於テ……ニ宛タル消印第……號小包郵便物ハ輸入税ヲ徴收セス受取人ニ交付スル爲使用スル通知書

年月日

差出局印

本通知書ハ御返却ノ際賦課セラレタル輸入税ニシテ未拂ノ金額ヲ……郵政廳（一）ノ借分トシテ御計算相成度希望致候也

輸入税ノ細目	金額
合計	

名宛局印

……交換局ヘ返送ス

（一）差出郵政廳名ヲ記スヘシ

第六號

差出國……
……及……間ノ事務

……交換局ヨリ……交換局ヘ發送セル小包目錄

千八百九十…年…月…日午（前/後）…時…分發（第…便）

千八百九十…年…月…日午（前/後）…時…分着

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三
番號 順序	番號 登記	局名 差出	局名 宛名	員數 小包郵便物	員數 送狀	員數 税關告知書	價格表記小包各重量	表記價格 「フラン」「サンチーム」	郵便料及手數料 差立郵政廳ヨリ宛郵政廳ヘ支拂フヘキ 「フラン」「サンチーム」	郵便料及手數料 仲介郵政廳ヨリ差出郵政廳ヘ支拂フヘキ 「フラン」「サンチーム」	取立金額 「フラン」「サンチーム」	附註
合計												

差立局吏員姓名……

名宛局吏員姓名……

第七號

郵政廳

小包郵便事務

日附印

……交換局ヨリ……交換局宛發送ニ係ル小包ニ付發見セシ諸般ノ誤謬及遺脱ヲ訂正證明スル用ニ供スル點檢狀

千八百九十…年…月…日發

小包ノ不著

番號 順序	番號 登記	差出地	氏名住所（成ルヘク詳細）	收得金高	名宛局ノ調査	附註

小包ノ破損

番號 順序	番號 登記	差出地	氏名住所 差出人	氏名住所 名宛人	封入品	調査 重量	表記價格	容器（監査行嚢等）

破損ノ狀態及其ノ明白ナル源因其他ノ事由ヲ記載スヘシ

遺漏（目錄ノ不著、包裝又ハ閉鎖ノ不完全等）

誤謬

番號 順序	番號 登記	差出地	名宛人ノ氏名住所	重量	收得金高	名宛局ノ訂正
合計……						
檢査セシ合計……						

年　月　日
名宛局吏員……

右點檢承認候也

年　月　日
差立局吏員……

第八號

差出國……

代金取立通知書

本日……ニ於テ……ヘ宛發送セル……「フランク」……「サンチーム」代金引換郵……號小包郵便物ハ代金引換ニテ名宛人ニ交付相成候哉否何分ノ儀左ニ御記載相成度候也

年　月　日

日附印

差立交換局

前記ノ郵便物ハ千八百九十……年……月……日當地ニ到著シ千八百九十…年…月…日代金引換ニテ受取人ヘ交付又ハ同人其受取方ヲ拒絶（要スレハ其ノ理由ヲ指示スヘシ）致候也

年　月　日

日附印

名宛交換局

第九號

差出國……

小包ノ返送又ハ他ノ名宛人ヘ交付方請求ノ用ニ供スル申込書

申込書

此ノ小包或ハ事故ニ依リ不能配達ノ場合ニ於テハ
イ（一）左ニ署名スル差出人ノ危險ニ於テ速ニ御返送相成度
ロ（二）何誰ヘ御交付相成度
右希望致候也

差出人（氏名家號及住所）

イ（一）ロ（二）差出人ハ各〻不用ノ分ハ自ラ塗抹スヘシ

第十號

……郵政廳

……郵政廳所轄交換局ヨリ……郵政廳所轄交換局ヘ送遞セシ小包郵便物ニ對スル郵便料月次貸借表

……郵政廳

千八百九十…年…月分

小包目錄 日附	一 名宛國郵政廳ノ收得 目錄（第六號表第十欄）	二 差出國郵政廳ノ收得 料金及手數料（第六號表第十一欄）	取立金額（第六號表第十二欄）	附註
一	…局ノ…便郵便物			
二	…局ノ…便郵便物			
三	…局ノ…便郵便物			
四	…局ノ…便郵便物			
五	…局ノ…便郵便物			
六	…局ノ…便郵便物			
七	…局ノ…便郵便物			
八	…局ノ…便郵便物			
九	…局ノ…便郵便物			
十	…局ノ…便郵便物			
十一	…局ノ…便郵便物			
十二	…局ノ…便郵便物			
十三	…局ノ…便郵便物			
十四	…局ノ…便郵便物			
十五	…局ノ…便郵便物			
十六	…局ノ…便郵便物			
十七	…局ノ…便郵便物			
十八	…局ノ…便郵便物			
十九	…局ノ…便郵便物			
二十	…局ノ…便郵便物			
二十一				
二十二				
二十三				
二十四				
二十五				
二十六				
二十七				
二十八				
二十九				
三十				
三十一				
關係各局				
各局合計				
各收得ノ合計				
名宛郵政廳ノ收得				
[illegible]				

名宛交換局印

名宛交換局長姓名

第十一號

……郵政廳

……交換局ヨリ……交換局ヘ宛タル小包郵便物ニ對スル月次

……郵政廳

貸借表ヨリ集錄シタル簡明計算書

千八百九十……年……月分

番號	名宛交換局名	各月次貸借表ニ基キ名宛國郵政廳ヘ支拂フヘキ金高	各月次貸借表ニ基キ送出國郵政廳ニ支拂フヘキ金高	料金及手數料取立金	附註
一	名宛局ニ於テ取立タル代金引換金額ノ二百分ノ一				
二	合計				
三	郵政廳ノ收得ニ歸スヘキ金額				
四					
五					
六					
七					
八					
九					
十					
十一					
十二					
十三					
十四					
十五					
十六					
十七					
十八					
十九					
二十					

第十二號

小包郵便物遺否取調要求書

……郵政廳

差出局……

差出ノ日附……

登記番號……

差出局……

……郵政廳

立願ノ記入スヘキ部

名宛……

封入品……

重量……

價格表記……

代金引換……

到達報請求……

（之アルトキハARナル文字ヲ附スヘシ）……

差出人ノ宿所氏名……

發送……年……月……日……交換局ヨリ……交換局ヘ小包目錄第……號ヲ以テ差立

日附……署名……

……郵政廳

……年……月……日ニ到達シタリ

名宛局ニ於テ發見シ能ハサルヲ以テ發送ノ日時取調ノ爲本要求書ヲ第一媒介廳ヘ交付ス

日附……署名……

……郵政廳

……年……月……日小包目錄第……號ヲ以テ……交換局ヨリ……交換局ヘ發送セリ

日附……署名……

……郵政廳

……年……月……日小包目錄第……號ヲ以テ……交換局ヨリ……交換局ヘ發送セリ

日附……署名……

……郵政廳

……年……月……日……小包目錄第……號ヲ以テ……交換局ヨリ……交換局ヘ發送セリ

日附……署名……

名宛廳又ハ場合ニ依リ正當ニ交廳ヘ送付セルコトヲ證明シ能ハサル媒介廳ノ結局ノ報告

●外國小包郵便規則

明治三十五年十一月八日逓信省令第五十三號

改正　三七年第四〇號第五一號、三九年第三九號第五五號

明治三十四年十一月逓信省令第五十一號外國小包郵便規則左ノ通改正ス

外國小包郵便規則

第一條　條約若ハ約定ニ據リ本邦及諸外國間ニ交換スル小包郵便物（以下單ニ外國小包ト略稱ス）ハ郵便局所ニ於テ之ヲ取扱フ但特ニ取扱ハサルコトヲ告示シタル局所ハ此ノ限ニ在ラス

第二條　左記ノ物件ヲ外國小包郵便禁制品トス

一　小包郵便ニ關スル條約、約定及其ノ施行細則、細目規則ニ據リ小包郵便物ト爲スコトヲ許ササル物件

二　郵便ニ關スル法令ニ據リ小包郵便物ト爲スコトヲ禁シタル物件

三　關稅及其ノ他ニ關スル法令ニ據リ輸出入ヲ禁シタル物件

四　特ニ告示シタル物件

第三條　通貨、金銀、寶石、珠玉其ノ他高價ノ物件ハ價格表記ト爲スニ在ラサレハ外國小包郵便物トシテ差出スコトヲ得ス但價格郵便ノ取扱ヲナササル諸國ヘ宛タル小包郵便物若ハ其ノ取扱ヲ許ササル條約又ハ約定ニ據リ差出スモノハ此ノ限ニ在ラス

第四條　書籍類小包郵便條約ニ據ル取扱ニ困難ナル小包郵便物ハ之ヲ取扱ハス

第四條ノ二　米國トノ條約若ハ濠洲トノ約定ニ據ル小包郵便物ニシテ本邦引受ニ係ルモノヲ本邦區內ニ於テ亡失若ハ毀損セシメタル場合ニ於テハ內國小包郵便物ノ例ニ依リ賠償ヲ爲ス

第五條　外國小包郵便物ノ寸尺、重量及容積ノ制限ハ特ニ告示スルモノノ外條約若ハ約定及其ノ施行細則、細目規則ノ規定ニ依ル但名宛國ノ制限ヲ超過スルコトヲ得ス

第六條　外國小包郵便物ノ郵便料並ニ其ノ特殊取扱ニ關スル料金ハ別ニ之ヲ告示ス

外國小包郵便ニ關スル料金ハ郵便切手ヲ以テ前納スヘシ但轉送、返送ノ場合ニ於ケル郵便料及保險料ハ此ノ限ニ在ラス此ノ場合ニ於テ轉送、返送ニ要スル料金ヲ前納セサルトキハ轉送料ハ受取人ヨリ又返送料ハ差出人ヨリ徵收ス

第七條　外國小包郵便ニ關スル料金以外ノ金額ハ配達ノ際受取人ヨリ徵收ス

第八條　外國小包郵便ニ關スル料金ニシテ左ニ記載スルモノハ其ノ納付人ノ請求ニ依リ郵便切手ヲ以テ之ヲ還付ス

一　郵便局所ノ過失ニ因リ徵收シタル郵便料過納額

二　特殊取扱ノ請求アリタルモノニシテ郵便局所ノ過失ニ因リ其ノ取扱ヲ爲ササリシ場合ニ於ケル特殊取扱ノ料金

三　郵便局所ノ過失ニ因リ普通郵便ニ依リテ到達シ得ヘキ時刻ヨリ遲レテ受取人ニ到達シタル別配達取扱ノ料金

四　亡失ニ依リ損害賠償ヲ爲シタル場合ノ郵便料及踪跡取調ノ料金

第九條　前條ノ料金還付ノ請求ハ其ノ料金ヲ納付シタル郵便局所ニ之ヲ爲スヘシ其ノ期間ハ料金納付ノ日ヨリ六箇月トス

第十條　外國小包郵便物ノ差出人ハ送狀通知券ニ其ノ小包郵便物ニ關スル通知文ニ據リ記載スルコトヲ得但其ノ記載ヲ許ササル諸國ニ宛タルモノ若ハ之ヲ許ササル條約又ハ約定ニ據リ差出スモノハ此ノ限ニ在ラス

第十一條　外國小包郵便物ノ差出人ハ小包郵便物差出ノ際名宛國ノ郵便局所ニ於テ配達ヲ遂ケシ能ハサル場合ニ於ケル該小包郵便物ノ轉送、返送又ハ棄却等ノ處分ニ付豫メ請求ヲ爲スコトヲ得但之カ取扱ヲ許ササル條約若ハ約定ニ依リ差出ス小包郵便物ハ此ノ限ニ在ラス

第十二條　外國小包郵便物ノ受取人ハ該小包郵便物ノ轉送ヲ名宛地ノ郵便局所ニ請求スルコトヲ得

外國小包郵便物ノ受取人其ノ宿所ヲ本邦郵便管轄區內ニ於テ移轉シ其ノ移轉先分明ナルトキハ之ヲ其ノ移轉先ニ轉送ス

本邦郵便管轄區內轉送ノ場合ニハ何等ノ料金ヲ徵收セス

第十三條　價格表記又代金引換ノ金額ノ制限ハ各一千「フランク」トス但名宛國ノ制限ヲ超過スルコトヲ得ス

第十四條　外國小包郵便物ニハ其ノ裏面名宛ノ箇所ニ見易キ樣郵便條約ニ據リ差出ス小包郵便物ノ場合ニハ「萬國小包」、英國及其ノ他ノ諸國トノ條約若ハ約定ニ據リ差出ス小包郵便物ノ場合ニハ「英國小包」、「加那太小包」、「米國小包」、「濠洲小包」等其ノ便名ヲ記載スヘシ

第十五條　外國小包郵便物ヲ差出サントスルトキハ郵便局所ヨリ香港、加那大及米國トノ條約、約定ニ據ル場合ハ稅關告知書、其ノ他ノ條約、約定ニ據ル場合ハ送狀及稅關告知書ノ式樣ヲ受取リ之ニ各其ノ指定ノ事項ヲ記載シ且料金相當ノ

郵便切手ヲ各其ノ小包郵便物ニ貼附シテ共ニ之ヲ該郵便局所ニ差出シ受領證ヲ受取ルヘシ

第十六條 特殊取扱ヲ許容スル條約若ハ約定ニ據リ差出ス小包郵便物ニ對シ其ノ特殊取扱ヲ請求セムトスルトキハ左ニ記載セル文字ヲ該小包郵便物ノ表面名宛ノ箇所竝ニ之ニ附屬スヘキ送狀ノ式紙ニ記入スヘシ

一 價格表記ヲ請求セムトスルトキハ　價格表記何程(Valeur déclarée……)

二 代金引換ヲ請求セムトスルトキハ　代金引換何程(Remboursement……)

三 別配達ヲ請求セムトスルトキハ　別配達(Exprès)

四 到達證ヲ請求セムトスルトキハ　到達證(Avis de réception)

五 書留ヲ請求セムトスルトキハ書留(Rogisto rod)

前項ノ特殊取扱ハ名宛國ニ於テ其ノ事務ヲ取扱フ諸國ニ宛タル小包郵便物ニ限ル

價格表記及代金引換ノ金額ハ本邦ノ通貨ヲ以テ之ヲ記載スヘシ但錢位未滿ノ端數ヲ付スルコトヲ得ス

第十七條 價格表記若ハ代金引換ノ外國小包郵便物ノ表記金額ハ差立若ハ到著ノ際遞信大臣ノ指定スル郵便局所ニ於テ外國郵便爲替金換算ノ例ニ依リ外國ヘ差立ツルモノニ付テハ佛貨「フランク」、「サンチーム」ニ又外國ヨリ到著ノモノニ付テハ本邦貨幣ニ換算ス

第十八條 代金引換外國小包郵便物ハ名宛郵便局所ニ留置キ其ノ到著ノ旨ヲ受取人ニ通知シ受取人ノ出頭ヲ待テ代金ト引換ニ之ヲ交付ス

前項ノ留置期間ハ通知書ノ日附ヨリ起算シ三十日トス

第十九條 代金引換外國小包郵便物ノ代金ヲ其ノ受取人ヨリ取立テタルトキハ引受郵便局所ハ差出人ニ其ノ旨ヲ通知ス

差出人前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ所定ノ期間ニ其ノ通知書及該小包郵便物ノ受領證ヲ差出シ之ト引換ニ取立金ノ交付ヲ受クヘシ

第二十條 外國小包郵便物ニシテ到達證請求ノモノハ其ノ配達ノ際受取人ヲシテ配達證ノ外到達證ニモ記名調印セシム

第二十一條 外國小包郵便物ノ差出人ハ未タ配達ヲ了ラサル小包郵便物ノ名宛變更又ハ取戻ヲ請求スルコトヲ得但之カ取扱ヲ許サヽル條約若ハ約定ニ據リ差出シタル小包郵便物ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ別ニ告示スル料金ヲ前納スヘシ

第二十二條 外國小包郵便物ニシテ關税若ハ内國税ヲ課スヘキモノナルトキハ之ヲ郵便局所ニ留置キ到著通知書ヲ受取人ニ送付ス受取人ハ通知書ノ日付ヨリ三十日以内ニ關税ノ場合ニ於テハ税額ニ相當スル收入印紙ヲ通知書ニ貼付シ内國税ノ場合ニ於テハ明治三十七年勅令第百六十五號ニ據リ收入印紙若ハ特別ノ印紙ヲ通知書若ハ該輸入物品ニ貼付シ郵便局所ノ消印ヲ受ケ通知書ハ之ヲ郵便局所ニ差出シ其ノ小包郵便物ヲ受取ルヘシ

關税ノ賦課ニ關スル税關長ノ處分ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スモノハ直ニ税關ニ申立且其ノ事由ヲ關係郵便局所ニ申出ヘシ又其ノ異議ノ判定ヲ得タルトキハ其ノ書類ヲ該郵便局所ニ差出スヘシ

關税若ハ内國税ノ賦課ニ關シ大藏大臣ニ訴願シタル場合及其ノ訴願ノ裁決ヲ得タルトキ亦同シ

第二十三條 前條ニ掲クル外國小包郵便物ノ保有品カ關税定率法若ハ其ノ他ノ法令ニ依リ關税ヲ免除セラルヘキモノナル場合ニ於テ受取人カ其ノ免除ヲ得ムトスルトキハ直ニ税關ニ申立且其ノ事由ヲ關係郵便局所ニ申出ヘシ

前項ノ申立ニ對シ受取人カ税關免除許否ノ通知ヲ得タルトキハ其ノ書類ヲ該郵便局所ニ差出スヘシ

第二十四條 第二十二條ノ外國小包郵便物留置期間ノ經過ハ同條第二項ノ場合ニ於テハ異議ノ判定若ハ訴願ノ裁決ヲ得ルマテ又第二十三條ノ場合ニ於テハ關税免除許否ノ通知ヲ得ルマテ之ヲ中止ス

第二十五條 受取人ニ配達交付スルコト能ハサル外國小包郵便物ノ處分方ニ關シ郵便局所ヨリ差出人ニ問合書ヲ送付シタルトキハ問合書ノ日附ヨリ三十日以内ニ轉送、返送若ハ棄却等其ノ措置ヲ該郵便局所ニ申出ヘシ

第二十六條 外國小包郵便物ノ差出人ハ小包郵便物差出後相當ノ料金ヲ納付シテ到達證ノ交付若ハ到達證料金ト同額ノ料金ヲ納付シテ該小包郵便物ノ踪跡取調ヲ引受郵便局所ニ請求スルコトヲ得

到達證若ハ書留ヲ請求シタル小包郵便物ニ付テハ別ニ料金ヲ納付スルコトナク前項ノ踪跡取調若ハ到達證ノ交付ヲ引受郵便局所ニ請求スルコトヲ得

前二項ノ請求ハ小包郵便物ヲ郵便局所ニ差出シタル日ヨリ起算シ一箇年以内ニ限リ之ヲ受理ス

第二十七條 外國小包郵便物ノ配達又ハ交付ノ際

小包郵便物ニ損害アリト申立テタル者アルトキハ七日ノ期間内ニ申立人ヲ立會ハシメ之ヲ開披シテ損害ノ有無ヲ檢査ス

前項ノ場合ニ於テ申立人立會ヲ爲サヽルトキハ申立人受取人ナルトキハ小包郵便物ハ配達シ能ハサルモノトシテ之ヲ取扱ヒ申立人差出人ナル場合ニ於テハ郵便法第十四條ニ依ル還付シ能ハサル小包郵便物トシテ之ヲ取扱フ

第二十八條 外國小包郵便物ニ關シ損害ノ賠償ヲ請求スル者ハ差出人ノ場合ニハ其ノ小包郵便物ノ引受ヲ爲シタル郵便局所ニ又受取人ノ場合ニハ其ノ小包郵便物ノ配達ヲ爲スヘキ郵便局所ニ該小包郵便物ノ便名、種別、番號、受取人及差出人ノ宿所氏名、差出日附、保有品名、數量、請求金額及料金ノ返還ヲ求ムルトキハ其ノ金額ヲ記載シタル請求書ヲ差出スヘシ

第二十九條 損害賠償請求ノ當否及其ノ金額ハ遞信省ニ於テ之ヲ審査決定ス

第三十條 損害賠償ノ請求ニ關スル審査ヲ了リタルトキ又ハ損害賠償ノ請求ヲ爲シタルモノ其ノ請求ヲ取消シタルトキハ其ノ小包郵便物ノ本邦管掌中ニ在ル場合ニ於テハ直ニ之ヲ其ノ請求人ニ交付ス

第三十一條 郵便規則第四條、第七條、第十條、第十一條、第十二條、第六十六條、第七十條、第七十一條、第七十二條、第七十三條、第七十四條、第七十五條、第七十六條及第七十七條ノ規定ハ外國小包郵便物ニモ之ヲ準用ス

附 則

第三十二條 本規則ハ明治三十五年十二月一日ヨリ施行ス

●在外國帝國郵便局ニ於ケル外國小包郵便取扱方

明治三十四年十一月十三日
遞信省令第五十二號

在外國帝國郵便局ニ於テ取扱フ外國小包郵便物ニ付テハ[明治三十四年十一月遞信省令第五十一號]外國小包郵便規則及明治三十三年九月遞信省令第五十六號清韓小包郵便規則中外國小包郵便規則ニ牴觸セサル規定ヲ適用ス

本令ハ明治三十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●外國小包郵便禁制品

明治三十年一月四日
遞信省告示第一號
改正 三一年第二三五號

左記ノ物品ハ小包郵便ニ依リ英國ヘ郵送スルヲ得ス

猥褻ナル物品、英國版權法若クハ商標法ヲ犯ス物品、不正若クハ贋造ノ正貨「チコリー」[illegible]ヲ混シタル珈琲茶若クハ煙草ノ越幾斯、煙草蜜、鑄潰金貨及金塊

但英國ニ於テ關税ヲ課セラルヘキ物品ヲ封入スル小包ニシテ其ノ關税告知書ニ相當ノ記載ヲ爲サヽルモノハ英國ニ於テ沒收セラルヘシ

明治三十一年九月二十二日
遞信省告示第二百五十二號

左ニ記載スル物品ハ小包郵便ニ依リ佛蘭西國ヘ向ケ差出スコトヲ得ス

仕込杖及類似ノ武器、佛國軍用兵器、僞版物、僞商標付物品、金銀及貴重ノ物品、無名ノ調合藥、銅貨、彈丸、煙草[illegible]、煙草液、骨牌、葡萄ノ樹、實、核、花及葉等

明治三十四年六月一日
遞信省告示第二百三十六號

本日以降英國發著ノ小包郵便物ハ左ニ記載スルモノヲ除キ正貨若ハ金銀塊ヲ封入スルコトヲ禁止スル旨英國郵政廳ヨリ通知アリ

一 價格五磅ヲ超過セサル正貨若ハ金銀塊
一 裝飾用ニ細工シタル正貨

明治三十四年九月十四日
遞信省告示第三百六十二號

「サッカリン」及之ト等シキ性質ヲ有シ若ハ之ト等シキ使用ニ供セラルル物品ハ小包郵便ニ依リ大不列顛愛蘭聯合王國ヘ輸入スルコトヲ禁止スル旨英國郵政廳ヨリ通知アリ

明治三十六年一月十四日
遞信省告示第八號

金銀ハ小包郵便ニ依リ海峽殖民地竝ニマレー聯邦洲ヘ輸入スルコトヲ禁止スル旨當該郵政廳ヨリ通知アリ

●外國小包郵便料金表

明治三十九年六月二十三日
遞信省告示第二百六十二號
改正 [illegible]

外國小包郵便料金表左ノ通定ム

明治三十七年十二月遞信省告示第五百四十三號外國小包郵便物ノ郵便料金表及明治三十五年十一月遞信省告示第五百四十九號外國小包郵便物ノ特殊取扱ニ要スル料金及同年十一月遞信省告示第五百四十三號華盛頓締結小包郵便物交換條約實施ニ關シ聯合各國ニ於テ規定シタル随意規定事項ノ摘要ハ之ヲ廢止ス

外國小包郵便料金表

第一 郵便料金ノ部

名宛國	遞送線路	經越國名及遞送郵船	小包各箇ニ對スル郵便料 二百六十六匁(一キログラム)迄 圓錢	八百匁(三キログラム)迄 圓錢	一貫三百三十三匁(五キログラム)迄 圓錢	三百六十三匁(三ポンド)迄 圓錢	八百四十六匁(七ポンド)迄 圓錢	一貫三百二十三匁(十一ポンド)迄 圓錢	制限額 價格表記 法	制限額 代金引換 法	小包各箇ニ要スル税關告知書枚數	送状通知券ニ通信文記載	別配達	到達證	取戻及宛名變更	[illegible]	附註
萬國郵便聯合小包郵便條約加盟國																	
獨逸	直接交換	獨船			一・三〇				一・〇〇〇	一・〇〇〇	一	許可	許可	許可	許可	許可	[illegible]
獨逸	佛國經由	日若ハ佛船、佛國			一・五〇				五〇〇	一・〇〇〇	二						
獨逸	英國經由	加船、英國、英船				一・〇八	一・九二	二・七六			二						
獨逸保護國及在外國獨逸郵便局																	
東部亞弗利加	亞丁經由	佛若ハ獨船、亞丁、獨船			一・九〇						二	許可	—	許可	許可	許可	
南西亞弗利加	獨逸經由	獨船、獨逸、獨船			二・三〇						一	許可	—	許可	許可	許可	
カメルーン	獨逸經由	獨船、獨逸、獨船			一・九〇				一・〇〇〇	—	一	許可	—	許可	許可	許可	「カメルーン」行價格表記小包ハ「デュアラ」「クリビ」「ビクトリア」地方郵便局ニ限ル
トーゴー	獨逸經由	獨船、獨逸、獨船			一・九〇				一・〇〇〇	—	一	許可	—	許可	許可	許可	「トーゴー」行價格表記小包ハ「アネシヨー」「ロメ」宛ノモノニ限ル
新幾奈	英領印度經由	日、墺若ハ佛船、印度、英及獨船			二・七〇						二	許可	—	許可	許可	許可	
新幾奈	直接交換	獨船			一・三〇						一						
サモア	英領印度經由	日、墺若ハ佛船、印度、英及獨船			二・七〇						二	許可	—	許可	許可	許可	
カロリン及パラオ諸島	英領印度經由	日、墺若ハ佛船、印度、英及獨船			二・七〇						二	許可	—	許可	許可	許可	
カロリン及パラオ諸島	直接交換	獨船			一・三〇						一						
マリアン諸島	直接交換	日船			〇・九〇						一	許可	—	許可	許可	許可	
マリアン諸島	直接交換	獨船			一・三〇						一						
マーシャル諸島	英領印度經由	日、墺若ハ佛船、印度、英及獨船			二・七〇						二	許可	—	許可	許可	許可	
マーシャル諸島	直接交換	獨船			一・三〇						一						
膠州保護地及在清國獨逸郵便局(膠州、[illegible]ニ限ル)	直接交換	日船、上海(獨)			〇・七〇				二・〇〇〇	—	一	許可	—	許可	許可	許可	
亞然的音共和國	伊國經由	獨船、伊國、伊船			二・二〇						二	許可	—	許可	許可	許可	
亞然的音共和國	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船			三・〇〇						三						
亞然的音共和國	英國經由	加船、英國、英船				一・七二	二・九二	四・一二			二						
墺地利洪牙利	埃及經由	日、獨若ハ佛船、埃及、墺船			一・七〇				一・〇〇〇*	一・〇〇〇	二	許可	許可	許可	許可	許可	*價格表記ノ制限ハ佛船便ノ場合ハ五百法トス
墺地利洪牙利	伊國經由	獨船、伊國			一・五〇				一・〇〇〇	一・〇〇〇	三						
墺地利洪牙利	英國經由	加船、英國、英船、獨逸				一・三二	二・一六	三・〇〇			三						
白耳義	獨逸經由	獨船、獨逸			一・五〇				一・〇〇〇	一・〇〇〇	三	—	許可	許可	許可	許可	
白耳義	佛國經由	日若ハ佛船、佛國			一・五〇				五〇〇	一・〇〇〇	三						
白耳義	英國經由	加船、英國、白船				一・〇二	二・〇〇	二・八六			三						
ボスニー、ヘルツェゴヴィナ(「サンジャック、ノヴィバザール」ヲ含ム)	伊國經由	獨船、伊國、墺國			一・七〇				一・〇〇〇	一・〇〇〇	二	許可	許可	許可	許可	許可	
ボスニー、ヘルツェゴヴィナ(「サンジャック、ノヴィバザール」ヲ含ム)	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、獨逸、瑞西若ハ伊國			一・九[illegible]				五〇〇	一・〇〇〇	四						
ボスニー、ヘルツェゴヴィナ(「サンジャック、ノヴィバザール」ヲ含ム)	英國經由	加船、英國、白耳義				一・四四	二・二八	三・一二			四						

勃爾牙利（東「ルーメリー」ヲ含ム）	埃及經由	日、佛若ハ獨船、埃及、希船、希國、羅馬尼又ハ塞爾維		二・一〇				—	五〇〇	三	許可	—	許可	許可	許可	
勃爾牙利	伊國經由	獨船、希國、羅馬尼又ハ塞爾維		二・〇〇				—	五〇〇	五						
勃爾牙利	英國經由	加船、英國、英船、獨逸、希國、羅馬尼又ハ塞爾維			一・六八	二・五一	三・三六			五						
智利	直接交換	日船		一・三〇				一・〇〇〇	五〇〇	一	許可	許可	許可	許可	許可	智利行價格表記小包ハ「サンチアゴ」及「ヴァルパレイソ」宛ノモノニ限ル
智利	伊國經由	獨船、伊國、伊船、亞然的音		二・一〇				—	五〇〇	一						
智利	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、英船		二・七〇				五〇〇	五〇〇	二						
智利	英國經由	加船、英國、英船			一・五六	二・六四	三・七二			三						
古倫比亞共和國	伊國經由	獨船、伊國、伊船		二・二〇						二	許可	許可	許可	許可	許可	
古倫比亞共和國	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、英船		二・六〇				五〇〇	—	三						
古倫比亞共和國	英國經由	加船、英國、英船			一・五八	二・六四	三・七二			二						
クレート島 カネー（伊國郵便局）	伊國經由	獨船、伊國、伊船		一・五〇				一・〇〇〇	一・〇〇〇	一	—	—	許可	許可	「カネー」ニ限ル 許可	
クレート島 カンデー、レチモ（希國郵便局）	伊國經由	獨船、伊國、伊若ハ希船	— —	一・六〇	—	—	—	一・〇〇〇	一・〇〇〇	三	許可	—	許可	許可	許可	
丁抹（「フエロー」諸島「アイスランド」及「グリーンランド」ヲ含ム）	獨逸經由	獨船、獨逸		一・五〇				一・〇〇〇	五〇〇	一	許可	「フエロー」島、「アイスランド」及「グリーンランド」ヲ除ク 許可	許可	許可	許可	「アイスランド」及「グリーンランド」ヘハ代金引換小包ヲ差出スコトヲ得ス
丁抹	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、獨逸		一・七〇				五〇〇	五〇〇	三						
丁抹	英國經由	加船、英國、英船、獨逸			一・[illegible]八	一・九二	二・七六			二						

丁抹領西印度（「セントトーマス」、「セントジアン」、「セントクロア」ニ限ル）	獨逸經由	獨船、獨逸、獨船		二・三〇				五〇〇	五〇〇	一	許可	—	許可	許可	許可	
丁抹領西印度	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船		二・三〇				五〇〇	五〇〇	二						
丁抹領西印度	英國經由	加船、英國、英船			一・五六	二・六四	三・七二			一						
ドミニカ共和國	伊國經由	獨船、伊國、佛國		二・六六						四	—	—	許可	許可	許可	
ドミニカ共和國	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船		二・四六						四						
埃及	直接交換	日、佛若ハ獨船		一・四〇				一・〇〇〇＊	一・〇〇〇	一	許可	許可	許可	許可	許可	＊價格表記ノ制限ハ佛船便ノ場合ニハ五百法トス
埃及	英國經由	加船、英國、英船			一・〇八	二・一六	三・二四			一						
西班牙 西班牙本國（「カナリー」諸島ヲ含ム）	伊國經由	獨船、伊國、佛國	一・八〇	—						四	—	—	許可	—	許可	
西班牙 西班牙本國	佛國經由	日若ハ佛船、佛國	一・六〇	—						四						
西班牙 西班牙本國	英國經由	加船、英國、英船、佛國			一・五六	二・一六（八百匁迄）	—			三						
西班牙 バレアール諸島	伊國經由	獨船、伊國、佛國	一・九〇	—						四	—	—	許可	—	許可	
西班牙 バレアール諸島	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、西國	一・七〇	—						四						
西班牙 バレアール諸島	英國經由	加船、英國、英船、佛國			一・五六	二・一六（八百匁迄）	—			三						
佛蘭西（「モナコ」ヲ含ム）	直接交換	日若ハ佛船		一・三〇				五〇〇	五〇〇	一	—	許可	許可	許可	許可	
佛蘭西	伊國經由	獨船、伊國		一・五〇				五〇〇	五〇〇	一						
佛蘭西	英國經由	加船、英國、英船			一・二四	二・〇四	二・八四			二						
古爾西	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船		一・五〇				五〇〇	五〇〇	一	—	許可	許可	許可	許可	
古爾西	伊國經由	獨船、伊國、伊若ハ獨船		一・七〇				五〇〇	五〇〇	一						
古爾西	英國經由	加船、英國、英船、佛國、佛船			一・四四	二・二四	三・〇四			三						
佛國殖民地及在外國佛國郵便局																

亞爾然利	伊國經由	獨船、伊國、佛國、佛船	一·七〇				五〇〇	五〇〇	一	|	許可	許可	許可	許可	
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船	一·五〇				五〇〇	五〇〇	二						
	英國經由	加船、英國、英船、佛國、佛船		一·四四	二·二四	三·〇四			三						
佛領ギネー、セネガル	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船	一·九〇				五〇〇	|	二	|	|	許可	許可	許可	
ガボン、モアイアン、公果、コートデボアール、ダホメー及屬地	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船	二·三〇				五〇〇		二	|	|	許可	許可	許可	價格表記小包ハ「ダホメー」宛ノモノニ限ル
聖ピエル及ミクロン	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、英國及殖民地船	二·七〇						二	|	|	許可	許可	許可	
	英國經由	加船、英國、英船		一·五六	二·四〇	三·二四			二						
ガドループ及マルチニック	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船	二·三〇				五〇〇	五〇〇	二	|	|	許可	許可	許可	代金引換小包ハ「マルチニック」宛ノモノニ限ル
佛領ギアヌ	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船	二·二〇				五〇〇	|	二	|	|	許可	許可	許可	
ソマリ海岸	海運會社經由	佛船	一·七〇				五〇〇	|	一	|	|	許可	許可	許可	
	英領印度經由	日若ハ墺船、印度、佛船	一·九				五〇〇	|	二						
在清國印度支那郵便局	直接交換	日船、上海、佛國海運會社	〇·九六				五〇〇	|	一	|	|	許可	許可	許可	印度支那郵便局所在地行價格表記小包ハ「フォルトベイヤルド」、廣東、海口、北海宛ノモノニ限ル
（「フォルトベイヤール」[illegible]廣東、海口、北海ニ限ル）	—														
佛領印度	海運會社經由	佛船	一·三〇				五〇〇	五〇〇	一	|	|	許可	許可	許可	
交趾支那、「カンボヂャ」、「ラオス」、安南、東京	海運會社經由	佛船	〇·九八				五〇〇	五〇〇	一	|	|	許可	許可	許可	
レユニオン	海運會社經由	佛船	一·七〇				五〇〇	五〇〇	一	|	|	許可	許可	許可	
	埃及經由	日、佛若ハ獨船、埃及、佛船	二·三				五〇〇	五〇〇	一						
マダガスカル及屬地（[illegible]）	海運會社經由	佛船	一·七〇						一	|	|	許可	許可	許可	「マダガスカル」及屬地行價格表記小包ハ[illegible]宛ノモノニ限ル
	亞丁經由	佛若ハ獨船、亞丁、佛船	一·九〇				五〇〇	|	二						

コモール群島（「メーヨット」、「グランドコモロ」、「アンジュアン」、「モヘリ」ニ限ル）	海運會社經由	佛船	一·七〇				五〇〇	|	一	|	|	許可	許可	許可	「コモール」群島行價格表記小包ハ「メーヨット」宛ノモノニ限ル
	亞丁經由	佛若ハ獨船、亞丁、佛船	一·九〇				五〇〇	|	二						
ニューカレドニヤ	海運會社經由	佛船	一·七〇						一	|	|	許可	許可	許可	
タイチ	海運會社經由	佛船、シドニー、濠船	二·五〇						一	|	|	許可	許可	許可	
希臘	伊國經由	獨船、伊國、伊船	一·七〇						一	|	|	許可	許可	許可	
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船	一·九〇						二						
	英國經由	加船、英國、英船、佛國、伊國		一·六八	二·五二	三·三六			四						
瓦丁麻拉	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、郵船	三·〇〇						二	|	|	許可	|	許可（[illegible]ニ限ル）	瓦丁麻拉行小包ニ對スル「コロン」「パナマ」間ノ逓送料ハ別ニ受取人ヨリ徴收セラルヽモノトス
	獨逸經由	獨船、獨逸、獨及瓦船	二·八〇						一						
	英國經由	加船、英國、英船		一·五六	二·六四	三·七二			三						
ホンヂュラス共和國	獨逸經由	獨逸、獨船、獨及米船	二·七〇						一	|	|	許可	|	許可	
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船	二·七〇						三						
	英國經由	加船、英國、英船		一·五六	二·六四	三·七二			二						
英領印度（在外印度郵便局即チ「ミユスカット」（亞刺比亞）[illegible]「ベルジスタン」ヲ含ム）	直接交換	日、墺若ハ佛船	一·六〇				五〇〇	|	一	許可	|	許可	|	許可	
英領緬甸（「アンダマン」及「ニコバル」諸島ヲ含ム）	直接交換	日若ハ墺船	一·六〇				五〇〇	|	一	許可	|	許可	|	許可	
		獨船、新嘉坡、英印船	一·八〇				五〇〇	|	二						

亞丁	直接交換	佛若ハ獨船			一・六〇				五〇〇	—	一	許可	—	許可	—	許可	
伊太利（聖マラン共和國ヲ含ム）	直接交換	獨船			一・四〇				一・〇〇〇	一・〇〇〇	二	—	—	許可	許可	許可（送状ニ限ル）	*價格表記ノ制限ハ佛船便ノ場合ハ五百法トス
伊太利（聖マラン共和國ヲ含ム）	埃及經由	日、獨若ハ佛船、埃及、郵船			一・八〇				*一・〇〇〇	一・〇〇〇	二						
伊太利（聖マラン共和國ヲ含ム）	英國經由	加船、英國、英船、佛國				一・三三	二・一六	三・〇〇			一						
伊太利所屬地　エリスレー	埃及經由	日、獨若ハ佛船、埃及、伊船			一・八〇				*一・〇〇〇	一・〇〇〇	一	—	—	許可	許可	許可（送状ニ限ル）	*價格表記ノ制限ハ佛船便ノ場合ニハ五百法トス　「エリスレー」行價格表記小包ハ「アサブ」「マシユーア」宛テノモノニ限ル
エリスレー	伊國經由	獨船、伊國、伊船			二・〇〇				一・〇〇〇	一・〇〇〇	一						
エリスレー	英國經由	加船、英國、英船、佛國、伊國、伊船				二・〇四	二・八八	三・七三			一						
東部亞弗加海岸ブナディール	伊國經由	獨船、伊國、英船、亞丁、英船			三・〇二				一・〇〇〇	—	二	—	—	許可	許可	許可（送状ニ限ル）	
リベリア共和國	獨逸經由	獨船、獨逸、獨船			一・九〇				五〇〇	—	二	—	—	許可	—	許可（送状ニ限ル）	「リベリア」行價格表記小包ハ「モンロヴィア」宛ノモノニ限ル
リベリア共和國	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船			一・九〇						二						
リベリア共和國	英國經由	加船、英國、英船				一・五六	二・六四	三・七二			三						
盧森堡大公國	獨逸經由	獨船、獨逸			一・四〇				一・〇〇〇	一・〇〇〇	一	許可	許可	許可	許可	許可	
盧森堡大公國	佛國經由	日若ハ佛船、佛國			一・四〇				五〇〇	一・〇〇〇	一						
盧森堡大公國	英國經由	加船、英國、英船				一・二〇	二・〇〇	二・七六			三						
摩洛哥（タンゼール、カザブランカ、ララシユ、マザガン、モガドル、ラバト、サツフイ、テテユアン（佛國郵便局竝代理店））	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船			一・七〇				五〇〇	五〇〇	二	—	—	許可	許可	許可	價格表記小包ハ「タンゼー」及「テチユアン」宛ノモノニ限ル
摩洛哥（カザブランカ、ララシユ、モガドル、ラバト、サツフイ、タンゼール（獨逸郵便局））	獨逸經由	獨船、獨逸、獨船			一・九〇				一・〇〇〇	—	一	許可	—	許可	許可	許可	價格表記小包ハ「カサブランカ」「マザガン」[illegible]

摩洛哥（カザブランカ、ララシユ、モガドル、マザガン、ラバト、サツフイ、タンゼール（英國郵便局））	英國經由	加船、英國、英船				一・〇八	二・一六	三・二四			一						
蒙得內哥羅	伊國經由	獨船、伊國、伊船			一・七〇				一・〇〇〇	一・〇〇〇	二	許可	許可	許可	許可	許可	
蒙得內哥羅	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、伊船			一・九〇				五〇〇	一・〇〇〇	三						
蒙得內哥羅	英國經由	加船、英國、英船、獨逸、墺國、墺船				一・六八	二・五三	三・五六			三						
ニカラグア	獨逸經由	獨船、獨逸、獨及米船			二・五〇						一	—	—	許可	—	許可（送状ニ限ル）	「ニカラグア」行小包ニ關スル「コロン」「パナマ」間ノ[illegible]送料ハ別ニ受取人ヨリ徴收セラルルモノトス
ニカラグア	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛及米船			二・五〇						二						
那威	獨逸經由	獨船、獨逸、丁抹、瑞典			一・九〇				一・〇〇〇	一・〇〇〇	一	許可	—	許可	許可	許可	
那威	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、獨逸、丁抹、瑞典			二・一〇				五〇〇	一・〇〇〇	三						
那威	英國經由	加船、英國、那船				一・〇八	一・九二	二・七六			二						
和蘭	獨逸經由	獨船、獨逸			一・五〇				一・〇〇〇	一・〇〇〇	二	許可	許可	許可	許可	許可	
和蘭	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、白耳義			一・七〇				五〇〇	一・〇〇〇	四						
和蘭	英國經由	加船、英國、蘭船				一・〇八	一・九二	二・七六			二						
和蘭殖民地　蘭領東印度	直接交換	日若ハ蘭船			一・六〇				五〇〇	五〇〇	一	許可	—	許可	許可	許可	
蘭領東印度	海運會社經由	佛船			一・六〇				五〇〇	五〇〇	二						
蘭領西印度（キユラサオ）	獨逸經由	獨船、獨逸、獨船			二・六〇				五〇〇	五〇〇	二	許可	—	許可	許可	許可	
蘭領西印度（キユラサオ）	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、白耳義、和蘭、蘭船			三・八〇				五〇〇	五〇〇	四						
蘭領西印度（キユラサオ）	英國經由	加船、英國、和蘭、蘭船				二・二八	三・一二	三・九六			二						

蘭領ギアヌ（シュリナム）	獨逸經由	獨船、獨逸、和蘭、蘭船			二・八〇				五〇〇	五〇〇	三	許可	—	許可	許可	許可	
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船、			二・六〇				五〇〇	五〇〇	二	許可	—	許可	許可	許可	
	英國經由	加船、英國、英船、英領ギアヌ				一・五六	二・六四	三・七二			二						
白露	直接交換	日船			一・六〇						一	—	許可	許可	許可	許可	
	伊國經由	獨船、伊國、伊船、亞然的音、智利、智船			三・〇〇						二	—	許可	許可	許可	許可	
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、英船			二・〇〇						三	—	許可	許可	許可	許可	
	英國經由	加船、英國、若ハ佛國、獨若ハ英船獨				二・七六	三・六〇	四・四四			二						
波斯（クマレツクシア、アレス、[illegible]）	英領印度經由	日、墺若ハ佛船、印度、印船			一・六〇				五〇〇	五〇〇	二	—	—	許可	—	許可	
波斯　其他ノ各地	英領印度經由	日、墺若ハ佛船、印度、印船			二・〇〇				五〇〇	五〇〇	二	—	—	許可	—	許可	其他ノ各地行小包ニ對シテハ印度ノ賦課ニ係ル外國郵便料ヲ受取人ヨリ徴收セラルルモノトス
葡萄牙本國	伊國經由	獨船、伊國、伊若ハ獨船、			一・七〇				五〇〇	五〇〇	一	—	許可	許可	許可	許可	
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、			一・八〇				五〇〇	五〇〇	二	—	許可	許可	許可	許可	
	英國經由	加船、英國、英船				一・三二	二・一六	三・〇〇			二						
マデール島	伊國經由	獨船、伊國、伊若ハ獨船、葡國、葡船			一・九〇				五〇〇	五〇〇	一	—	許可	許可	許可	許可	
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船、葡國			一・八〇				五〇〇	五〇〇	二	—	許可	許可	許可	許可	
	英國經由	加船、英國、英船				一・三二	二・一六	三・〇〇			一						
アゾール島	伊國經由	獨船、伊國、伊若ハ獨船、葡國、葡船			二・[illegible]				五〇〇	五〇〇	一	—	許可	許可	許可	許可	
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船、葡國			一・八〇				五〇〇	[illegible]	二	—	許可	許可	許可	許可	
	英國經由	加船、英國、英船、葡國、葡船				一・三二	二・一六	三・〇〇									
葡萄牙殖民地及屬地　モザンビック屬地（「アンゴシユ」、「ベイラ」、[illegible]ニ限ル）	埃及經由	日船、埃及、獨船	—	—	二・四〇	—	—	—	五〇〇	—	一	—	—	許可	許可	許可	「モザンビック」屬地行價格表記小包ハ「ルーレンソマルク」「チンド」、「モザンビック」、「クリナーヌ」、「インハンベヌ」宛ノモノニ限ル
	亞丁經由	佛若ハ獨船、亞丁、獨船			二・〇〇				五〇〇	—	二	—	—	許可	許可	許可	
葡領印度（[illegible]ニ限ル）	英領印度經由	日、埃若ハ佛船、印度			一・六〇				五〇〇	—	二	—	—	許可	許可	許可	葡領印度行價格表記小包ハ「ノヴァゴア」宛ノモノニ限ル

カツプベル及ギネー州	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船、葡國			二・四〇				五〇〇	—	二	—	—	許可	許可	許可	「カツプベル」及「ギネー」行價格表記小包ハ「プレア」「ボントヴアンセント」及「ボラム」宛ノモノニ限ル
	伊國經由	獨船、伊國、伊、獨若ハ葡船			二・三〇				五〇〇	—	二						
セントトーマス、プランシープ及アンゴラ州	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船、葡國			二・四〇				五〇〇	—	二	—	—	許可	許可	許可	「セントトーマス」「プランシープ」「アンゴラ」州行價格表記小包ハ「カビンダ」「ノヴオルドンド」「ロアンダ」「メンギュラ」及「モサメデス」宛ノモノニ限ル
	伊國經由	獨船、伊國、伊、獨若ハ葡船			二・三〇				五〇〇	—	二						
チモール島（チモール、チリー宛ノモノニ限ル）	英領印度經由	日、英若ハ佛船、印度、佛船、蘭領東印度、蘭船			二・四〇				五〇〇	—	二	—	—	許可	許可	許可	
羅馬尼	伊國經由	獨船、伊國、墺國			一・八〇				五〇〇	五〇〇	二	許可	—	許可	許可	許可	
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、獨逸、瑞西又ハ伊國、墺國			二・〇〇				五〇〇	五〇〇	四						
	英國經由	加船、英國、英船、獨逸、墺國				一・五六	二・四〇	三・二四			二						
歐羅巴露西亞（「コーカス」及「トランスカスピー」ヲ含ム）	獨國經由	獨船、獨逸			一・八〇				一・〇〇〇	—	二	許可	—	許可	許可	許可	內露西亞宛ノモノヲ除クノ外税關告知書四枚ヲ要ス
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船			二・〇〇				五〇〇	—	三 四						
	英國經由	加船、英國、英船、獨逸				一・五六	二・四〇	三・二四			二						
芬蘭（芬蘭及瑞典間ノ特別協定ニ依ルモノ）	獨國經由	獨船、獨逸、獨船、瑞典			二・二〇				五〇〇	五〇〇	一	許可	—	許可	許可	許可	價格表記及代金引換小包ハ重量三「キログラム」ヲ超過スルコトヲ得ス
サルバドル共和國	獨逸經由	獨船、獨逸、獨船、サルバド			二・六〇						二	許可	—	許可	許可	許可	
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船			二・六〇						三						
	英國經由	加船、英國、英船				二・〇四	三・三六	四・六八			三						

塞爾維	獨逸經由	獨船、獨逸、墺國			一・七〇				五〇〇	五〇〇	二	許可	—	許可	許可	許可	
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、獨逸、瑞西又ハ伊國、墺國			一・九〇				五〇〇	五〇〇	四						
	英國經由	加船、英國、獨逸、墺國				一・四四	二・二八	三・一二			四						
暹羅	海運會社經由	佛船		〇・三〇	一・三〇						二	許可	許可	許可	許可	許可	
	香港經由	郵船、香港、汽船	（百二十匁若ハ其ノ端數ニ付以上百二十匁若ハ其ノ端數每ニ六百匁迄）	〇・二五匁							一						
瑞典	獨逸經由	獨船、獨逸、獨船			一・九〇				一・〇〇〇	一・〇〇〇	二	—	—	許可	許可	許可	
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、獨逸、獨船			二・一〇				五〇〇	一・〇〇〇	四						
	英國經由	加船、英國、瑞典船				一・三二	二・一六	三・〇〇			二						
瑞西	伊國經由	獨船、伊國			一・五〇				一・〇〇〇	一・〇〇〇	一	許可	許可	許可	許可	許可	
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國			一・五〇				五〇〇	一・〇〇〇	二						
	英國經由	加船、英國、英船、佛國				一・三二	二・一六	三・〇〇			一						
トリポリ ベンガジ（伊國郵便局）	伊國經由	獨船、伊國、伊船			一・六〇				一・〇〇〇	一・〇〇〇	一	—	—	許可	許可	[illegible] 許可	
トリポリ、ド、バルバリー（伊國郵便局）	伊國經由	獨船、伊國、伊船			一・五〇				一・〇〇〇	一・〇〇〇	一						
トリポリ、ド、バルバリー（佛國郵便局）	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船			一・七〇				五〇〇	五〇〇	二	—	—	許可	許可	許可	
突尼斯	伊國經由	獨船、伊國、伊船			一・七〇				五〇	五〇〇	一	—	—	許可	許可	許可	
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船			一・八〇				五〇〇	五〇〇	二						
	英國經由	加船、英國、英船、佛國、佛船				一・六八	二・四八	三・一八			三						

土耳古

コンスタンチノープル、スミルヌ（英國郵便局）	埃及經由	日、獨若ハ佛船、埃及郵船			一・七〇						一					
	英國經由	加船、英國、英船				〇・一・〇八	一・九二	二・七六			一					
コンスタンチノープル、アドリアノープル、アレキサンドレツタ（イスカンデルーン）、ベイルート、カイファ、ヂアルベキル、デデアガチ、ガリポリ、イネボリ、サロニカ、ヂヤツフア、ユスキユブ、スミルナ、ラタキエー、メルシーナ、ロードス、サロニカ、ヂエルサレム、トリポリ（シリア）、ヴアチー（伊國郵便局）	伊國經由	獨船、伊國、伊若ハ墺船			一・六〇				一・〇〇〇	五〇〇	一	許可	―	許可	許可	許可
ヂユラツゾ、ジヤニナ、プレヴエザ、サンヂヨヴアンニヂメヂユア、アンチヴアリ、サンチカランタ、ヴアロナ（伊國ロイド代理店）	伊國經由	獨船、伊國、伊若ハ墺船			一・五〇				一・〇〇〇	五〇〇	一	許可	―	許可	許可	許可
コンスタンチノープル、アンドリアノープル、スミルヌ（獨逸郵便局）	伊國經由	獨船、伊國、伊若ハ墺船			一・六〇				一・〇〇〇	一・〇〇〇	二	許可	―	許可	許可	許可
アレキサンドレツト、ラツタキエー、メルシーヌ、トリポリ、ドルシヤリー（佛國郵便局）	海運會社經由	佛船			一・七〇				五〇	―	二	―	―	許可	許可	許可
	佛國經由	日船、佛國、佛船			二・二〇				五八〇	―	二					
スキユーダリー、ダルバニー、デユラツソ（伊國郵便局）	伊國經由	獨船、伊國、伊船			一・五〇				一・〇〇〇	一・〇〇〇	一	―	―	許可	許可	許可

アンドリノープル、ババエスキー、コルル、スタンチナ、デデアガチ、ガリポリ、モスタル、ウスキユブ、サロニカ、スクタリ、ペリ、チヤタルヂヤ、チヨルル（停車場）	伊國經由	獨船、伊國、墺國、塞爾維、勃牙利			二・一八						三	―	―	許可	許可	許可
土耳古郵便局所在地 バクダ、バツソラ（英領印度郵便局）	英領印度經由	日、佛若ハ墺船、印度郵船			一・六〇				五〇〇	―	一	許可	―	許可	―	許可
歐羅巴土耳古	埃及經由	日、佛若ハ獨船、埃及、郵船			一・八〇				五〇〇	―	一	許可	―	許可	許可	許可
	英國經由	加船、英國、英船、獨逸、墺國、塞爾維				一・八〇	二・六四	三・四八			四					
亞細亞土耳古	埃及經由	日、佛若ハ獨船、埃及、郵船			二・〇〇				五〇〇	―	一	許可	―	許可	許可	許可
	英國經由	加船、英國、英船、獨逸、墺國、塞爾維				一・九二	二・七六	三・六〇			四					
ウルグアイ	伊國經由	獨船、伊國、伊船			二・二〇						二	―	―	許可	許可	許可
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船			三・〇〇						三					
	英國經由	加船、英國、英船				一・五六	二・六四	三・七二			三					
ベネズエラ	伊國經由	獨船、伊國、郵船			二・二〇						三	許可	―	許可	許可	許可
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船			二・六〇						四					
	英國經由	加船、英國、獨逸、獨船				二・三六	三・一六	三・九六			三					
特別條約若ハ約定國																
大不列顛及愛蘭	直接交換	加船				〇・八八	一・六八	二・四八			一					
	獨逸經由	獨船、獨逸、獨船			一・八〇				一・〇〇〇	―	一					
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船		一・九〇	二・一〇				五〇〇	―	二					
	伊國經由	獨船、伊國、瑞西、英瑞通運	一・九〇	二・一〇	二・二〇				一・〇〇〇	一・〇〇〇	一					

加那太	直接交換	日若ハ加船	百二十匁若ハ其ノ端數毎ニ（八百四十匁迄）	〇・四〇							一						
香港（[illegible]）	直接交換	上海若ハ香港ニ寄港スル郵船	百二十匁若ハ其ノ端數毎ニ（六百匁迄）	〇・二〇							一						
亞米利加合衆國（米本國、アラスカ及其ノ他米國屬地即チ布哇、ポルトリコ、比律賓諸島、パナマ運河地帶及米領サモア諸島）	直接交換	日若ハ米船	百二十匁若ハ其ノ端數毎ニ（五百二十五匁迄）	〇・二四							一						書留ノ差出人ハ無料ニテ到達證ヲ請求スルコトヲ得又其名宛人ハ郵便局ヨリ該小包到着ノ通知ヲ受クヘシ
グアム島	直接交換	日船	百二十匁若ハ其ノ端數毎ニ（五百二十五匁迄）	〇・二四							一						
紐育市、ブルックリン、ジャーセー市及ホボケン	伊國經由	獨船、伊國、佛國、郵船	一・七八	二・〇〇	二・三〇				一・〇〇〇	—	一						[illegible]
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船	一・九〇（三百六十匁迄）	二・四〇	二・七六				五〇〇	—	二						
	英國經由	加船、英國、英船				二・〇四	三・一二	四・二〇			二						
其他ノ各地（布哇、ポルトリコ、パナマ運河地帶及米領サモア諸島ヲ含ム）	伊國經由	獨船、伊國、瑞西、佛國、郵船	二・一八	二・九〇	三・三〇				一・〇〇〇	—	一						[illegible]
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船	二・四〇（三百六十匁迄）	二・九〇	三・二六				五〇〇	—	二						
	英國經由	加船、英國、英船				二・五二	三・六〇	四・六八			二						
濠洲聯邦（[illegible]）	直接交換	日若ハ英船	—	—	—	〇・八〇	一・七〇	二・六〇	—	—	一	—	—	許可	—	許可	價格表記小包ハ新[illegible]行ノモノニ限
	英領印度經由	日、佛若ハ英船、印度、印及英船	—	—	三・〇八				五〇〇	—	二						

萬國郵便聯合條約加盟外諸國

ボリビア	伊國經由	獨船、伊國、亞然的音、智利、智船		二・五〇	—						二						
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、郵船、智利		三・一〇	—						一						
	英國經由	加船、英國、英船				一・二八	二・八八（八百匁迄）	—			四						
伯西兒（「リオデジャネイロ」、「サントス」、[illegible]ニ限ル）	伊國經由	獨船、伊國、葡若ハ英船		二・八〇	—						一						
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、西班牙、葡若ハ英船		二・九〇	—						五						
	英國經由	加船、英國、葡國、英船				二・二八	三・一二（八百匁迄）	—			一						
公果獨立國	獨逸經由	獨船、獨逸、白耳義、白船			二・六〇						三						
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、白耳義、白船			二・三〇						三						
	英國經由	加船、英國、白耳義、白船				一・八〇	二・六四	三・四八			三						
古西多利加	伊國經由	獨船、伊國、郵船			二・〇〇						一						
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、郵船			二・五〇						二						
	英國經由	加船、英國、英船				一・五六	二・六四	三・七二			二						
玖巴共和國	獨逸經由	獨船、獨逸、獨船	一・九〇	二・一〇	二・三〇	—	—	—	一・〇〇〇	—	一	許可	許可	許可	—	—	玖巴共和國行小包ハ別ニ告示スル各地宛ノ者ニ限ル
エクワドール	獨逸經由	獨船、獨逸、獨船			*二・七〇 三・二〇						二						*二・七〇ハ「グアイアキール」行ノモノニ限リ適用ス
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、獨逸、獨船			二・九〇						三						
	英國經由	加船、英國、英船、佛國、佛船				二・七六	三・六〇	四・四四			三						

英國殖民地及在外國英國郵便局・(イ)歐羅巴ノ部												
ジブラルタル	英國經由	加船、英國、英船				一・〇八	二・一六	三・二四			二	
	埃及經由	日、獨若ハ佛船、埃及、英船	一・七〇	二・〇〇	二・三〇				五〇〇	｜	二	
	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船			一・八〇				五〇〇	｜	二	
マルタ	英國經由	加船、英國、英船				一・〇八	二・一六	三・二四			二	
	伊國經由	伊船、伊國、伊船			一・七〇				一・〇〇〇	｜	一	「ノールドドラフ」「ニセリー」行小包ニ對シテハ危險ノ責ニ任セス且ツ受取人ヨリ更ニ送達料ヲ徴收セラルルモノトス
(ロ)亞弗利加ノ部												
西部亞弗利加（「ゴートドール」「ガンビー」「ニゲリア」ニ限ル）	英國經由	加船、英國、英船				一・〇八	二・一六	三・二四			一	
アッセッション及セントヘレナ	英國經由	加船、英國、英船				一・〇八	二・一六	三・二四			一	各箇小包ノ價格ハ五十磅ヲ超過スルコトヲ得ス
喜望峰殖民地（「ベストランド」及「ベチュアナランド」ヲ含ム）	英領印度經由	日、墺若ハ佛船、印度、郵船、ナタル、郵船			三・五六						二	各箇小包ノ價格ハ五十磅ヲ超過スルコトヲ得ス
	英國經由	加船、英國、英船				百二十匁迄九十六錢以上三百六十匁迄百二十匁ヲ増ス毎ニ三十六錢増	四百八十匁迄二圓六十四錢以上八百四十匁迄百二十匁ヲ増ス毎ニ三十六錢増	九百六十匁迄四圓六十八錢以上一貫三百二十匁迄百二十匁ヲ増ス毎ニ三十六錢増			一	各箇小包ノ價格ハ五十磅ヲ超過スルコトヲ得ス
トランスヴァール及オレンジ河殖民地	英國經由	加船、英國、英船				百二十匁迄一圓八錢以上三百六十匁迄百二十匁ヲ増ス毎ニ四十八錢増	四百八十匁迄三圓八十四錢以上八百四十匁迄百二十匁ヲ増ス毎ニ四十八錢増	九百六十匁迄五圓六十四錢以上一貫三百二十匁迄百二十匁ヲ増ス毎ニ四十八錢増			二	各箇小包ノ價格ハ五十磅ヲ超過スルコトヲ得ス
	英領印度經由	日、墺若ハ佛船、印度、郵船、ナタル			三・五六						二	各箇小包ノ價格ハ五十磅ヲ超過スルコトヲ得ス

ローデシア及ベチュアナランド保護國	英國經由	加船、英國、英船、喜望峰				百二十匁迄一圓四十四錢以上三百六十匁迄百二十匁ヲ増ス毎ニ四十八錢増	四百八十匁迄四圓五十六錢以上八百四十匁迄百二十匁ヲ増ス毎ニ四十八錢増	九百六十匁迄六圓五十二錢以上一貫三百二十匁迄百二十匁ヲ増ス毎ニ四十八錢増			一	各箇小包ノ價格ハ五十磅ヲ超過スルコトヲ得ス
	英領印度經由	日、墺若ハ佛船、印度、郵船、ナタル、郵船、喜望峰殖民地			四・九八						二	各箇小包ノ價格ハ五十磅ヲ超過スルコトヲ得ス
ナタル（「ズルランド」ヲ含ム）	英領印度經由	日、墺若ハ佛船、印度、郵船			二・八四						二	各箇小包ノ價格ハ五十磅ヲ超過スルコトヲ得ス
	英國經由	加船、英國、英船	｜	｜	｜	百二十匁迄九十六錢以上三百六十匁迄百二十匁ヲ増ス毎ニ三十六錢増	四百八十匁迄二圓六十四錢以上八百四十匁迄百二十匁ヲ増ス毎ニ三十六錢増	九百六十匁迄四圓六十八錢以上一貫三百二十匁迄百二十匁ヲ増ス毎ニ三十六錢増			一	各箇小包ノ價格ハ五十磅ヲ超過スルコトヲ得ス
東部亞弗利加（「ウガンダ」ヲ含ム）	英國經由	加船、英國、英船				一・〇八	二・一六	三・二四			一	
	亞丁經由	佛若ハ獨船、亞丁、英船			二・三四				*八〇〇	｜	二	東部亞弗利加價格表記小包ハ「キリンヂニ」「ラミユ」及「モムバサ」宛ノモノニ限ル *價格表記小包ノ制限ハ佛船便ノ場合ハ五百法トス
モーリス島	海運會社經由	佛船			一・七〇				五〇〇	｜	一	
セイシェル諸島	海運會社經由	佛船			一・七〇				五〇〇	｜	一	
中央亞弗利加保護國	英國經由	加船、英國、英船				一・五六	二・六四	三・七二			一	各箇小包ノ價格ハ五十磅ヲ超過スルコトヲ得ス
	亞丁經由	佛若ハ獨船、亞丁、英船			三・一四						二	
ソマリランド	英國經由	加船、英國、英船				一・〇八	二・一六	三・二四			一	各箇小包ノ價格ハ五十磅ヲ超過スルコトヲ得ス
	亞丁經由	佛若ハ獨船、亞丁、印度船			一・七二						二	
ゼンジバル保護地（「パンバ」島ヲ含ム）	英國經由	加船、英國、英船				一・〇八	二・一六	三・二四			一	
	亞丁經由	佛若ハ獨船、亞丁、英船			[illegible]				*一・〇〇〇	｜	二	*價格表記小包ノ制限ハ佛船便ノ場合ハ五百法トス
(ハ)亞米利加ノ部												

バーミューダ諸島、ファルクランド諸島、英領ギアナ、英領ホンヂュラス	英國經由	加船、英國、英船				一・〇八	二・一六	三・二四			一
英領西印度（[illegible]）	英國經由	加船、英國、英船				一・〇八	二・一六	三・二四			一
ニューファウンドランド	英國經由	加船、英國、英船				一・〇八	二・一六	三・二四			一
（ニ）亞細亞ノ部											
英領北ボルネオ、ラブアン、サラワック	英領印度經由	日、墺若ハ佛船、印度、英船、海峽殖民地、郵船			二・四二						二
錫蘭島	海運會社經由	佛船			一・六〇				五〇〇	|	一
錫蘭島	英領印度經由	日若ハ墺船、印度、印度船			一・六〇				一・〇〇〇	|	二
シーブル島	埃及經由	日、佛若ハ獨船、埃及、英船			一・七〇						一
シーブル島	英國經由	加船、英國、英船、埃及、英船				一・〇八	二・一六	三・二四			一
（ホ）澳太剌利ノ部											
英領新幾奈	英領印度經由	日、墺若ハ佛船、印度、印度及英船			三・〇八				五〇〇	|	二

新西蘭（[illegible]）	英領印度經由	日、墺若ハ佛船、印度、印、英及蘇船			二・九二				五〇〇	|	二
フヰジー諸島	英領印度經由	日、墺若ハ佛船、印度、印及英船、新南威郵船			三・八〇						二
バンク諸島、聖クロア諸島	英領印度經由	日、墺若ハ佛船、印度、印及英船、新南威郵船			三・三三						二
ニューヘブリッド	英領印度經由	日、墺若ハ佛船、印度、印及英船、新南威郵船			三・三三						二
ニューヘブリッド	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船、ニューカレドニヤ、郵船			二・八〇						二
西班牙	獨逸經由	獨船、獨逸、獨船			二・二〇						一
西班牙	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、郵船			二・三三						二
西班牙	英國經由	加船、英國、英船				一・八八	二・四〇	三・四八			二
パナマ共和國	佛國經由	日若ハ佛船、佛國、佛船			二・六〇						三
パナマ共和國	獨逸經由	獨船、獨逸、獨船			二・六〇						二

パラゲー 伊國經由	獨船、伊國、伊船、亞然的音		二・三〇	—				三
パラゲー 佛國經由	日若ハ佛船、佛國、亞然的音		三・一〇	—				四
パラゲー 英國經由	加船、英國、英船、亞然的音				一・八八	(八百匁迄)三・一三		二

第二 特殊取扱料金ノ部

種別	單位	料金	附註
價格表記	表記金額百二十圓若ハ其端數每ニ	円 錢 〇・一〇	
代金引換	引換代金額八圓若ハ其端數每ニ	〇・〇八	
別配達	一箇ニ付	〇・二〇	郵便局ノ設ナキ地方ニ宛テタル小包ニ付テハ名宛國ノ內地ニ於ケル別配達料トシテ規定シタル金額ニ達スル迄更ニ名宛人ヨリ補充料金ヲ徵收セラルルコトアルヘシ
留置	一箇ニ付	〇・一〇	米國トノ條約ニ依ル小包ニ限ル
到達證	一箇ニ付	〇・〇五	留置小包郵便物ニ付テハ無料トス
跡取調	一箇ニ付	〇・〇五	到達證若ハ留置請求ノモノニ付テハ無料トス
取戻及名宛變更 外國ヘ差立前ノモノ	一箇ニ付	內國小包ニ對スルモノト同一料金	
取戻及名宛變更 外國ヘ差立後ニシテ郵便ニ依ルモノ	一箇ニ付	〇・二〇	
取戻及名宛變更 外國ヘ差立後ニシテ電信ニ依ルモノ	一箇ニ付	海外電報料金表ニ依リ名宛國郵便官署ニ宛發送ニ要スル私報電報料	

第三 備考

一 第一表中金額制限若ハ「許可」ノ文字ヲ記載セサル各欄ノ特殊取扱及其ノ他ノ隨意判定事項ハ當該國ニ於テ之ヲ許可セサルモノトス

二 外國小包郵便物ノ容積制限左ノ如シ

種別	制限
聯合條約ニ依ルモノ	各面ノ寸尺一尺九寸八分容積二十五立方「デシメートル」(但シ幅、厚各六寸六分ヲ超過セサルモノハ長サ三尺三寸ニ達スルコトヲ得)
英國トノ約定ニ依ルモノ	長サ二尺並ニ長及橫周ヲ合シテ六尺
加那太トノ約定ニ依ルモノ	長サ二尺並ニ幅及厚各一尺
香港トノ條約ニ依ルモノ	長サ二尺並ニ幅及厚各一尺
米國トノ條約ニ依ルモノ	長サ三尺五寸並ニ長及橫周ヲ合シテ六尺
濠洲トノ約定ニ依ルモノ	長サ三尺五寸並ニ長及橫周ヲ合シテ六尺

●清韓小包郵便規則

明治三十三年九月十一日
遞信省令第五十六號
改正 三五年第五九號、三六年第二九號、三七年第四一號、三八年第五二號

清韓小包郵便規則左ノ通相定ム

清韓小包郵便規則

第一條 日本、清、韓三國相互間並ニ清、韓各國內ニ發著スル小包郵便物ニハ本規則並ニ明治三十三年九月遞信省令第四十二號郵便規則中本規則ニ牴觸セサル規定ヲ適用ス

第二條 郵便規則ニ揭クル郵便禁制品ノ外關稅定率法其ノ他ノ法令並ニ條約ニ依リテ輸出輸入ヲ禁シタル物品ヲ清韓小包郵便禁制品トス

第三條 日本、清、韓三國相互間ニ發著スル小包郵便物ノ料金ハ左ノ如シ

二百匁マテ	四百匁マテ	六百匁マテ	九百匁マテ	一貫二百匁マテ	一貫五百匁マテ
三十錢	三十五錢	四十錢	五十錢	六十錢	七十錢

清、韓各國內ニ發著スル小包郵便物ノ料金ハ日本內地小包郵便物ノ料金ニ同シ

第四條 小包郵便物ノ差出人ハ其ノ保有品ノ品名數量及價格ヲ送票中ニ記載スヘシ但シ日本、清、韓三國相互間若ハ清國內ニ發著スル小包郵便物ノ場合ニ於テハ其ノ保有品ノ正味重量ヲモ送票中ニ記載スヘシ

第五條 清國及韓國ニ於ケル小包郵便物ノ配達及別配達ハ所在日本郵便局所ニ於テ郵便物ノ配達ヲ施行スル地ニ宛タルモノニ限リ之ヲ施行ス其ノ以外ノ地ニ宛タルモノハ總テ之ヲ到著郵便局所ニ留置キ受取人ノ出頭ヲ待テ之ヲ交付ス

前項小包郵便物留置ノ期間ハ三十日トス

第六條 清國若ハ韓國發日本ヘ到著ノ小包郵便物カ輸入稅若ハ內國稅ヲ課スヘキモノナルトキハ之ヲ郵便局所ニ留置キ其ノ通知書ヲ受取人ニ送付ス受取人ハ通知書ノ日付ヨリ三十日以內ニ輸入稅ノ場合ニ於テハ稅額ニ相當スル收入印紙ヲ通知書ニ貼付シ內國稅ノ場合ニ於テハ明治三十七年勅令第百六十五號ニ據リ收入印紙若ハ特別ノ印紙ヲ通知書若ハ該輸入物品ニ貼付シ郵便局所ノ消印ヲ受ケ通知書ハ之ヲ郵便局所ニ差出シ其ノ小包郵便物ヲ受取ルヘシ

關稅ノ賦課ニ關スル稅關長ノ處分ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スモノハ直ニ稅關ニ申立且其ノ事由ヲ郵便局所ニ申出ヘシ又其ノ異議ノ判定ヲ得タルトキハ其ノ書類ヲ該郵便局所ニ差出スヘシ

關稅若ハ內國稅ノ賦課ニ關シ大藏大臣ニ訴願シタル場合及其ノ訴願ノ裁決ヲ得タルトキ亦同シ

第七條 前條ノ小包郵便物ノ保有品カ關稅定率法、稅關法若ハ其ノ他ノ法令ニ依リ關稅ヲ免除セラルヘキモノナル場合ニ於テ受取人カ其ノ免除ヲ得ントスルトキハ直ニ稅關ニ申立且其ノ事由ヲ郵便局所ニ申出ヘシ

前項ノ申立ニ對シ受取人カ稅關ヨリ關稅免除許否ノ通知ヲ得タルトキハ其ノ書類ヲ郵便局所ニ提出スヘシ

第八條 第六條ノ郵便物留置期間ノ經過ハ同條第二項ノ場合ニ於テハ異議ノ判定若ハ訴願ノ裁決ヲ得ルマテ又第七條ノ場合ニ於テハ關稅免除許否ノ通知ヲ得ルマテ之ヲ中止ス

第九條 日本若ハ清國發韓國ヘ到著ノ小包郵便物カ韓國稅關ニ於テ輸入稅ヲ課スヘキモノナルトキハ其ノ郵便物ヲ郵便局所ニ留置キ其ノ通知書ヲ受取人ニ送付ス受取人ハ通知書ノ日附ヨリ三十日以內ニ通知書ニ稅金ヲ添ヘ之ヲ郵便局所ニ差出スヘシ受取人此ノ規定ヲ履行セサルトキハ該郵便物ハ之ヲ差出人ニ還付ス

第十條 輸入稅ノ納付ヲ經テ韓國ニ輸入シタル小包郵便物ヲ普通商品ニ關シ日韓條約ニ規定スル期間ニ再輸出スル場合ニ於テ其ノ既納關稅ノ拂戾ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル請求書ヲ郵便局所ニ差出スヘシ但シ此ノ場合ニ於ケル小包郵便物ハ決シテ開披ヲ經ス且其ノ包裝及封緘ノ原形ノ儘ナルヲ要ス

第十一條 韓國ヨリ日本若ハ清國ヘ宛小包郵便物ヲ差出ストキハ郵便局所ニ於テ其ノ郵便物保有品ノ價格ノ百分ノ五ニ當ル金額ヲ輸出稅トシテ韓國稅關ニ代リ徵收ス

前項ノ輸出稅ハ其ノ金額カ金五十錢ニ滿タサルトキハ之ヲ徵收セス

第十二條 輸出稅ノ納付ヲ經テ韓國ヨリ輸出シタル小包郵便物ヲ受取人ニ交付スル能ハサル爲韓國ニ於ケル差出人ニ還付スル場合ニ於テハ郵便局所ハ韓國稅關ヨリ既納稅金ノ拂戾ヲ受ケテ之ヲ其ノ差出人ニ交付ス但シ此ノ場合ニ於ケル郵便物ハ決シテ開披ヲ經ス且其ノ包裝及封緘ノ原形ノ儘ナルヲ要ス

第十三條 韓國政府ノ特許ヲ要スル物品ヲ小包郵便物トシテ韓國ヨリ日本若ハ清國ヘ差出ストキハ其ノ特許證ノ謄本ヲ添附スヘシ若シ之カ添附ナキモノヲ郵便局所ニ於テ發見スルトキハ其ノ韓國ヨリ輸出前ニ係ルモノハ之ヲ差出人ニ還付シ又輸出後ニ係ルモノハ之ヲ韓國稅關ニ交付シ其ノ事由ヲ差出人ニ通知ス

前項ノ郵便物カ韓國稅關ヨリ郵便局所ニ返付セラレタル場合ニ於テハ之ヲ差出人ニ還付ス

第十三條ノ二　日本若ハ韓國發清國ヘ到著ノ小包郵便物若ハ清國内ヨリ發シ清國内ヘ到著ノ小包郵便物カ清國稅關ニ於テ輸入稅ヲ課スヘキモノナルトキハ之ヲ郵便局所ニ留置キ其ノ通知書ヲ受取人ニ送付ス受取人ハ通知書ノ日附ヨリ三十日以内ニ通知書ニ稅金ヲ添ヘ之ヲ郵便局所ニ差出スヘシ但シ受取人ヨリ直接ニ稅金ヲ稅關ニ納付シ通關認許書ヲ受ケタル後之ヲ郵便局所ニ差出スモ妨ケナシトス

受取人前項ノ規定ヲ履行セサルトキハ該郵便物ハ之ヲ差出人ニ還付ス

第一項ノ輸入稅ハ其ノ金額カ清貨半兩ニ滿タサルトキハ之カ徵收ヲ免除セラルルモノトス

第十三條ノ三　輸入稅ノ納付ヲ經テ清國ヘ輸入シタル小包郵便物ヲ普通商品ニ關シ日清條約ニ規定スル期間内ニ再輸出スル場合ニ於テ其ノ既納關稅ノ拂戾ヲ受ケムトスルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル請求書ヲ郵便局所ニ又前條第一項但書ニ關スルモノニ付テハ直接ニ清國稅關ニ差出スヘシ但シ何レノ場合ニ於テモ小包郵便物ハ決シテ開披ヲ經ス且其ノ包裝及封緘ノ原形ノ儘ナルヲ要ス

第十三條ノ四　清國ヨリ日本若ハ韓國ヘ發送ノ小包郵便物若ハ清國内ヨリ清國内ヘ發送ノ小包郵便物カ清國稅關ニ於テ輸出稅ヲ課スヘキモノナルトキハ之ヲ郵便局所ニ留置キ其ノ通知書ヲ差出人ニ送付ス差出人ハ通知書ノ日附ヨリ十日以内ニ通知書ニ稅金ヲ添ヘ之ヲ郵便局所ニ差出スヘシ差出人此ノ規定ヲ履行セサルトキハ該郵便物ハ之ヲ還付ス

差出人ハ豫メ其ノ差出サムトスル小包郵便物ヲ稅關ニ差出シ通關認許書ヲ受ケタル後之ヲ添附シテ郵便局所ニ差出スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ前項ノ手續ヲ要セス

第一項ノ輸出稅ハ其ノ金額カ清貨半兩ニ滿タサルトキハ之カ徵收ヲ免除セラルルモノトス

第十三條ノ五　輸出稅ノ納付ヲ經テ清國ヨリ輸出シタル小包郵便物ヲ受取人ニ交付スル能ハサルカ爲清國ニ於ケル差出人ニ還付スル場合ニ於テハ郵便局所ハ清國稅關ヨリ既納稅金ノ拂戾ヲ受ケ之ヲ其ノ差出人ニ交付ス前條第二項ニ關スルモノニ付テハ差出人ヨリ直接ニ清國稅關ニ申出ツヘシ但シ何レノ場合ニ於テモ郵便物ハ決シテ開披ヲ經ス且其ノ包裝及封緘ノ原形ノ儘ナルヲ要ス

第十四條　日本、清、韓三國相互間ニ於テ小包郵便物ヲ還付又ハ轉送スルトキハ更ニ第三條ノ郵便料ヲ徵收ス

小包郵便物ノ還付又ハ轉送ノ爲關稅若ハ內國稅ヲ課スヘキ場合ニ於テハ其ノ輸出稅ハ差出人又輸入稅若ハ內國稅ハ受取人ヨリ之ヲ徵收ス

第十五條　日韓間發著小包郵便物ノ電信ニ依ル取戾請求ニ關スル料金ハ金一圓二十錢トシ同名宛變更請求ニ關スル料金ハ金二圓七十錢トス清國内地間並ニ清國ト日本、韓國トノ間ニ發著スル小包郵便物ノ取戾若ハ名宛變更又ハ代金引換ノ取消若ハ金額變更ニ關スル請求ハ電信ニ依ルコトヲ得ス

第十六條　清、韓兩國ノ郵便局所ニ差出シタル小包郵便物ニ關スル損害ノ賠償ハ其ノ差出郵便局所ニ請求スヘシ但シ郵便受取所ニ差出シタルモノニ付テハ該受取所ヲ管轄スル局所ニ請求スヘシ

附　則

第十七條　本規則ハ明治三十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十三年九月遞信省告示第九十七號ハ之ヲ廢止ス

明治三十九年九月一日
遞信省令第四十六號

當分ノ内本邦發滿洲(牛莊ヲ除ク以下之ニ同シ)宛、滿洲發樺太宛若ハ滿洲内發著ノ小包郵便物ニ付テハ明治三十三年九月遞信省令第五十六號清韓小包郵便規則第四條ノ規定ヲ適用セス

●香港及在清國香港郵便局ヨリ輸入小包郵便物檢査並受取方

明治三十一年六月十三日
遞信省令第九號

香港及在清國各地香港郵便局ヨリ小包郵便ニ依リ輸入スル物品ハ來七月一日ヨリ凡テ上陸地稅關ニ於テ開封檢査ス

有稅品ヲ包有スル小包郵便物ノ受取人ハ其郵便物ニ對シ賦課セル輸入稅ヲ納付スルニアラサレハ之ヲ受取ルヲ得ス此場合ニ於ケル郵便物ハ總テ差立地ヘ返送スヘシ

●露西亞宛小包郵便物ニ添付ノ稅關告知書記載方

明治三十七年三月二十四日
遞信省告示第二百八號

露西亞宛小包郵便物ニ添付スヘキ稅關告知書ニハ該小包ノ價格、全體重量及正味重量ヲ式ノ如ク記入シタル上更ニ包有物件ノ種類別ニ其ノ品名、價格、正味重量及數量(個數、尺數等)ヲ明細ニ記載スヘシ但シ其ノ價格ハ露國貨幣ニテ又其ノ重量ハ「ケラム」ニテ表示スルヲ要ス

明治三十五年十月遞信省告示第四百五十四號ハ之ヲ廢止ス

●香港ト小包郵便物交換ニ關スル條約

明治十三年二月五日
太政官布告第四號
改正　一七年四月二四日驛遞局達

本年一月ヨリ日本ト香港トノ間ニ於テ外國郵便爲替並小包郵便遞送方法取開キ別紙ノ通驛遞局長ト香港驛遞總長ト條約相整候條此旨布告候事

日本ト香港トノ間ニ郵便爲換方法實施スヘキ條約書(改正ニ付略ス)

日本ト香港トノ諸郵便局ノ間ニ小包郵便實施スヘキ條約書

一日本ト香港トノ諸郵便局ノ間ニ小包郵便ヲ實施センコトヲ欲シ取扱方ニ付テ左ノ條々ヲ結約ス

一小包郵便ハ一方ニ於テハ左ノ日本ノ諸局即チ東京、大阪、京都、横濱、神戶、長崎、函館、及ヒ新潟、又一方ニ於テハ香港(澳門ヲ籠メ)在清國ノ各英郵便局(海口、廣東、仙頭、廈門、福州、寧波、上海、漢江)並ニ「バコイ」、「シンガポール」、「ペナン」、及「マラッカ」ノ郵便局ノ間ニ郵便ニテ交換スヘシ而シテ小包ノ大サハ長サ二尺(二フイート)幅厚サ各一尺、(一フイート)重量ハ六百目(五ポンド)ニ過クヘカラス郵便稅ハ豫留手數料ヲ籠メ百二十目(一ポンド)若シクハ其端數每ニ二十錢(二十セント)トス且小包ノ表記ニ「信書封入無之」ト記載スルトキハ其全體ヲ密包スルヲ得ルト雖トモ差立局ノ郵便局長ハ之レヲ開キ視檢スル丁アルヘシ

一左ノ物品ハ運送ヲ許サス即チ充分安全ニ上包セサルカ或ハ破壞シ易キ小包(紙匣類、玻璃、流動物、爆發質物、早附木、藍靛、染質物、氷、魚類、菓物、野菜、)其他何品ニ限ラス郵便物ヲ損害スヘキ物、或ハ遞送途中危難ヲ醸シ易キ品物

一小包郵便ハ英國並ニ佛國ノ郵便船ヲ除クノ外郵便局於テ適當ノ便船ヲ選ヒ遞送スルモノトス且小包ノ數多分ニシテ他ノ郵便物ノ遞送ニ差支ヲ生スル場合ニ於テハ其遞送ヲ延引スルコトアルヘシ但シ郵便局ハ何等ノ小包ニテモ其危難ヲ請合ハサルモノトス

此條約書二通ニ認メ手記スルモノナリ

明治十二年十二月二十六日
日本東京ニ於テ
驛遞局長　前　島　密

一千八百七十九年十二月十日
香港ニ於テ
驛遞總長　アルフレッド、リストル

●加那太郵政廳ト小包郵便交換約定

明治二十三年九月十日
勅令趣、遞、大臣副署

朕帝國遞信大臣ト英領加那太郵政長官トノ間ニ小包郵便交換約定ヲ締結セシメタルニ依リ玆ニ之ヲ公布セシム

日本遞信省ト加那太郵政廳ノ間ニ郵便ヲ以テ閉鎖小包ノ交換ニ關スル約定書

日本帝國ト英領加那太國ノ間ニ郵便事務ノ擴張ヲ計リ册後ニ記名スル日本遞信大臣伯爵後藤象二郎及加那太郵政長官「ジオン、グラーム、ハッガート」ハ各成法ヲ以テ保持スル所ノ權限ニ依リ左ノ條々ヲ約定ス

第一條

日本ト加那太ノ間ニ郵便ヲ以テ閉鎖小包ノ交換ヲ執行スヘシ

第二條

小包ハ加那太「ヴァンクーヴァー」ト日本横濱間ニ往復スル加那太太平洋汽車及汽船會社ノ汽船ヲ以テ遞送スヘシ

第三條

小包容箇ノ重量ハ五封度迄トシ其大サハ長サ貳フヒート廣サ若クハ厚サ共壹フート迄トス

第四條

郵便稅ノ割合ハ壹封度若クハ其分數ニ付貳拾五仙トス

第五條

郵便稅ハ左ノ通リ分配スヘシ

日本ハ陸運賃トシテ壹封度ニ付八仙ヲ拂ヒ加那太ハ海運賃トシテ九仙及陸運賃トシテ八仙ヲ拂フヘシ

第六條

加那太郵政廳ニ於テ兩國間ニ發著スル小包ノ海運ヲ負擔スヘシ

第七條

交換スヘキ小包中ニハ兩國間郵政ニ依リ往復スル他ノ物品ニ關スル規則ヲ以テ其遞送ヲ禁シタル物品ヲ封入スヘカラス

第八條

小包ハ封入物ノ價格ヲ公記セル稅關告知書ヲ貼付スヘシ且ツ兩國ニ於テ受取タル小包ハ稅關ノ法律規則ニ從フヘシ

第九條

横濱郵便局ヲ以テ日本ニ於ケル小包郵便ノ交換局トシ「ヴァンクーヴァー」郵便局ヲ以テ加那太ニ於ケル交換局トス

第十條

小包郵便ハ小包目錄書ヲ添フヘシ此ノ目錄ハ差立局ニ於テ小包ノ番號差出地名受取人ノ宛名封入物ノ公記價額及前拂セル小包發箇分ノ數而シテ其下部ニ差立タル小包ノ數及其重量ノ概計並ニ正味ヲ記入スヘシ

第十一條

小包ハ適當ニ包裝シ甲國ヨリ乙國ヘ送ルトキハ柳條ヲ以テ編ミタル堅固ノ籠ニ入レ發送スヘシ此ノ籠ハ加那太郵政廳ヨリ供給スヘシト雖モ日本遞信省ハ其費用ノ一半ヲ仕拂フヘシ

第十二條

配達シ難キ小包ハ差出國ニ於ケル差出人ニ返還スルコトヲ得ヘシ而シテ當初之ニ賦課シタルト同額ノ遞送料ヲ賦課スヘシ其遞送料ハ返還國ニ於テ前拂シ若クハ該小包目錄中ニ記入シ配達ノトキニ際シ徵收スルコトヲ得ヘシ然レトモ返還國ニ於テ遞送料ヲ前拂セス差出國ニ於テ該小包ヲ差出人ニ配達シ難キトキハ差出國ハ其事由ヲ返還國ニ通報シ之ニ賦課スヘキ遞送料ノ仕拂勘定ヲ爲スヘシ

第十三條

名宛人ニ配達シ難キ小包ニシテ其差出人ノ發見セサルトキハ特別ノ定約アル場合ニ非レハ兩郵政廳ノ間ニ照會ヲ經タル上差出國ニ返還シ配達シ難キ小包トシテ取扱フヘシ

第十四條

小包ヘ賦課スル遞送料ノ計算書ハ三箇月毎ニ加那太郵政廳ニ於テ貳通ヲ調製シ審査及決算ノ爲メ日本遞信省ヘ送付スヘシ

第十五條

此約定ハ千八百九十年十月一日ヨリ實施シ甲廳ヨリ乙廳ヘ廢止ノ報知ヲナシタル日ヨリ六箇月間ヲ經過スル迄其效力ヲ有スヘシ

本書貳通ヲ調製シ審査通ハ千八百九十年六月　日加那太「オタワ」ニ於テ記名シ各通ハ明治二十三年九月三日日本東京ニ於テ記名ス

日本遞信大臣　伯爵後藤象二郎

加那太郵政長官　ウオンハッガート

明治二十六年一月二十六日

勅令總遞大臣副署

加那太郵政廳トノ間ニ締結シタル閉蓋小包郵便交換約定書ノ追加條約ヲ裁可シム

千八百九十年九月三日及六月二十二日ヲ以テ帝國遞信省ト加那太郵政廳トノ間ニ締結シタル閉蓋小包郵便交換約定書ノ追加條約ヲ公布セシム

日本帝國遞信大臣　伯爵黑田清隆

加那太郵政長官　アドルフ、ピー、カロン

朕帝國遞信省ト英領加那太郵政廳トノ間ニ締結シタル閉蓋小包郵便交換約定書ノ追加條約ヲ裁可シ並ニ之ヲ公布セシム

明治二十三年九月三日及千八百九十年六月二十二日ヲ以テ日本帝國遞信省ト加那太郵政廳トノ間ニ締結シタル閉蓋小包郵便交換約定書ノ追加約定

日本帝國遞信大臣及加那太郵政長官ハ明治二十三年九月三日及千八百九十年六月二十二日ヲ以テ日本帝國遞信省ト加那太郵政廳トノ間ニ締結シタル閉蓋小包郵便交換約定書ノ追加條約ヲ裁可シ並ニ之ヲ公布セシム

明治二十七年十二月十七日

勅令總遞大臣副署

加那太郵政廳トノ間ニ締結シタル閉蓋小包郵便交換約定書ノ追加約定ヲ裁可シ並ニ之ヲ公布セシム

日本帝國遞信省ト英領加那太郵政廳トノ間ニ締結シタル閉蓋小包郵便交換約定書ノ追加約定

日本帝國遞信大臣及加那太郵政長官ハ明治二十三年九月三日及千八百九十年六月二十二日ヲ以テ日本帝國遞信省ト加那太郵政廳トノ間ニ締結シタル閉蓋小包郵便交換約定書ノ追加條約ヲ公布セシム

朕帝國遞信省ト英領加那太郵政廳トノ間ニ締結シタル閉蓋小包郵便交換約定書ノ追加條約ヲ裁可シ並ニ之ヲ公布セシム

明治二十八年(千八百九十五年)一月一日及千八百九十五年一月一日ヨリ實施スヘシ

本書二通ヲ調製シ明治二十七年(千八百九十四年)九月十一日日本東京ニ於テ並ニ千八百九十四年十月十二日加那太「オタワ」ニ於テ各〻記名調印スルモノナリ

日本帝國遞信大臣　伯爵黑田清隆

加那太郵政長官　アドルフ、ピー、カロン

●大不列顛及愛蘭聯合王國郵政院ト小包郵便物交換ニ關スル約定

明治二十九年九月十八日

勅令總遞大臣副署

朕帝國遞信省並ニ大不列顛及愛蘭聯合王國郵政院間ニ締結セル小包郵便物交換ニ關スル約定ヲ裁可シ並ニ之ヲ公布セシム

日本帝國遞信省並ニ大不列顛及愛蘭聯合王國郵政院間ニ締結セル小包郵便物交換ニ關スル約定

日本帝國遞信省並ニ大不列顛及愛蘭聯合王國郵政院ハ日本並ニ大不列顛間ニ保險ヲ附セス及代金引換渡ニアラサル小包ノ交換ヲ施設スルコトヲ約定ス

日本並ニ大不列顛間直接ニ交換スル小包及繼越小包ノ交換方ハ左ノ規程ニ依リ施行スヘシ

第一條

保險ヲ附セス及代金引換渡ニアラサル小包ハ小包郵便物ノ名稱ヲ以テ聯合王國ヨリ日本帝國ヘハ重量十一封度以内及日本帝國ヨリ聯合王國ヘハ重量一貫三百二十匁以内ノモノニ限リ之ヲ發送スルコトヲ得

第二項　兩郵政廳ハ遞送シ得ヘキ小包ノ包裝寸尺等及遞送禁止ノ物品ヲ規定スヘシ

第二條

第一項　兩郵政廳ハ各其ノ邦畿内ヲ通シテ各郵政廳ト小包郵便ノ關係ヲ有スル外國發著小包ノ繼越ヲ擔保ス而シテ兩郵政廳ハ繼越小包ニ對シ第九條ニ規定スル制限内ニ於テ其ノ費ニ任スヘシ

第二項　兩郵政廳ハ外國ヲ發シ若クハ外國ヘ宛日本若クハ大不列顛ヲ經テ繼越スヘキ小包ノ各交換局間ノ交換方法ヲ協議決定スヘシ

第三條

小包郵便物ノ郵便料ハ前納セサルヘカラス

第四條

聯合王國ヨリ日本帝國ヘ及日本帝國ヨリ聯合王國ヘ發送スル小包ノ郵便料及其ノ各郵政廳間ノ分配額ヲ定ムル左ノ如シ

印聯合王國發日本帝國宛ノ小包

	重量三封度ヲ超ヘサルモノ	重量三封度ヲ超ヘ七封度ヲ超ヘサルモノ	重量七封度ヲ超ヘ十一封度ヲ超ヘサルモノ
聯合王國內地郵便料	五片	十片	一志三片
聯合王國ヨリ日本帝國マテノ遞送料	十片	一志八片	二志六片
日本帝國內地郵便料	五片	十片	一志三片
配達及稅關手數料	二片	二片	二片
合計	一志十片	三志六片	五志二片

乙日本帝國發聯合王國宛ノ小包

	重量三百六十匁ヲ超ヘサルモノ	重量三百六十匁ヲ超ヘ八百四十匁ヲ超ヘサルモノ	重量八百四十匁ヲ超ヘ一貫二百二十匁ヲ超ヘサルモノ
日本帝國內地郵便料	五片	十片	一志三片
日本帝國ヨリ聯合王國マテノ遞送料	十片	一志八片	二志六片
聯合王國內地郵便料	五片	十片	一志三片
配達及稅關手數料	二片	二片	二片
合計	一志十片	三志六片	五志二片

第五條

小包遞送ニ用フル容器ノ費用ハ兩郵政廳互ニ其ノ一半ヲ負擔スヘシ

第六條

兩約定國ノ一方ヨリ發シ他ノ一方ヘ宛タル小包ニハ第四條及第七條ニ規定スル郵便料ヲ除キ其ノ他ノ何等ノ郵便料ヲ課スルヲ得ス

第七條

受取人其ノ住所ヲ移轉セシニ因リ一方ノ國ヨリ他ノ一方ノ國ヘ宛小包ヲ再發スルトキ及配達シ難キ小包ヲ返還スルトキハ第四條ニ規定スル郵便料ヲ更ニ受取人又ハ差出人ヨリ徵收スヘシ既ニ納付シタル關稅ハ之カ拂戻ヲ受クルコトヲ得

第八條

信費若クハ通信文ノ性質ヲ具フル費類又ハ關係諸國ノ稅關若クハ其ノ他ニ關スル法律規則ニ依リ遞送ヲ許サレサル物品ヲ包有スル小包ハ小包郵便ニ依リ之ヲ發送スルヲ禁ス

第九條　天災其ノ他避クヘカラサル場合ヲ除キ小包ノ亡失又ハ損傷セシトキハ差出人ノ請求アルトキハ受取人ハ其ノ亡失又ハ損傷ヨリ生スル損失ノ實額ニ相當スル賠償ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ賠償ハ重量七封度(八百四十匁)ヲ超ヘサル小包ニ關シテハ十二志重量七封度(八百四十匁)ヲ超ユル小包ニ關シテハ一磅ヲ超過スヘカラス又亡失シタル小包ノ差出人ハ其ノ郵便料ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第二項　賠償金支拂ノ義務ハ差出局ヲ管理スル郵政廳ニ屬スルモノトス但シ該郵政廳ハ拂償ノ責アル郵政廳即チ其ノ邦疆內或ハ其ノ管掌中ニ於テ小包ヲ亡失若クハ損傷セシ郵政廳ニ對シ要償ヲ爲スコトヲ得

第三項　小包ヲ異路ナク受領シタル後之ヲ受取人ニ配達シ又ハ次ノ郵政廳ヘ正當ニ送達シタルコトヲ證明スル能ハサル郵政廳ハ反對ヲ證明スル迄ハ責任ヲ有スルモノトス

第四項　差出郵政廳ハ成ルヘク速ニ賠償金ヲ支拂フヘシ運クモ賠償請求ノ日ヨリ起算シ一箇年ヲ超過スヘカラス又拂償ノ責アル郵政廳ハ差出郵政廳ヘ速ニ賠償金額ヲ通付スヘシ

第五項　賠償ノ請求ハ小包ヲ郵便局ヘ差出シタル日ヨリ起算シ一箇年以內ニ限リ之ヲ受理ス此ノ期限經過ノ後ハ請求人賠償ヲ受クルノ權利ヲ失フモノトス

第六項　兩國間ニ小包遞送中之ヲ亡失又ハ損傷シ其ノ亡失又ハ損傷カ何レノ管掌中ニ於テ發生セシヤヲ確定シ難キ場合ニ於テハ兩郵政廳ハ各其ノ賠償金額ノ半額ヲ分擔スヘシ

第七項　郵政廳ハ受取權利者ニ於テ小包ヲ受領セシ後ハ其ノ賃ヲ免ルルモノトス

第十條　各郵政廳ハ小包郵便業務ヲ停止スルヲ以テ相當ナリト認ムル非常ノ場合ニ於テハ一時其ノ全部若クハ一部ヲ停止スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ速ニ他ノ郵政廳ニ報告スヘシ至急ヲ要スルトキハ電報ヲ以テ通知スヘシ

第十一條　本約定中明文ナキ事項ニ就テハ兩約定國內國ノ法令ヲ適用スヘキモノトス

第十二條　兩約定國ノ郵政廳ハ外國小包郵便物ヲ取扱フ郵便局若クハ地方ヲ指定シ並ニ該小包遞送ニ關スル方法及其ノ他本約定實施ノ爲ニ要用ナル詳細ノ手續ヲ規定スヘシ

第十三條　本約定ノ實施期日ハ兩約定國郵政廳ニ於テ協議シ之ヲ決定ス

第二項　本約定ハ兩約定國ノ一方ニ於テ廢止セント欲シ他ノ一方ヘ其ノ意思ヲ報知シタル後爾一箇年間效力ヲ有スルモノトス

第三項　本約定ヲ確認セン爲下ニ署名スルモノハ各其ノ相當ニ與ヘラレタル權限ニ依リ此ノ約定ニ記名調印スルモノナリ

本約定書二通ヲ調製シ明治二十九年五月二十一日東京ニ於テ及千八百九十六年六月二十三日倫敦ニ於テ記名調印スルモノナリ

遞信大臣白根專一
郵政院長ノルフーク

●大不列顛及愛蘭聯合王國ト小包郵便物交換約定ニ關スル細目規則

明治二十九年九月二十一日
遞信省告示第百七十五號

本年九月十八日勅令ヲ以テ公布セラレタル帝國遞信省並ニ大不列顛及愛蘭聯合王國郵政院間ニ締結セル小包郵便物交換約定ニ關スル細目規則左ノ通相定ム

日本帝國並ニ大不列顛及愛蘭聯合王國間保險ヲ附セス及代金引換渡ニアラサル小包郵便物交換ニ關スル細目規則

第一條　日本及大不列顛間ニ交換スル保險ヲ附セス及代金引換渡ニアラサル小包郵便物ハ加那太若クハ墨士選何及「ジブラルタル」ヲ經テ遞送スヘシ

第二項　日本及大不列顛間小包郵便物ノ遞送ハ日本遞信省及大不列顛郵政院之ヲ負擔スヘシ但シ此ノ遞送ヲ負擔スル郵政廳ハ約定第四條ニ定ムル所ノ遞送ニ對スル分配額ヲ受ルモノトス

第三項　兩郵政廳ハ必要ト認ムルトキハ他ノ關係郵政廳ト協議ノ上附錄雛形ノ如キ又ハ之ニ類似スル表ヲ以テ互ニ左ノ事項ヲ通知スヘシ

甲　其ノ邦內ヲ經テ小包ヲ交換シ得ル國名

乙　小包ノ其ノ邦內ニ入込若クハ其ノ管掌ニ歸スル場所ヨリ其ノ遞送ニ充ツヘキ線路

丙　差出郵政廳ヨリ各國ニ對シ仕拂フヘキ總金額

第四項　右ノ通知ニ從ヒ兩郵政廳ハ其ノ小包ノ遞送ニ充ツヘキ線路ヲ定メ且纖越小包ノ規則ニ從ヒ差出人ヨリ徵收スヘキ料金額ヲ規定スヘシ

第二條　郵便料ノ率ヲ定ムルニ當リ日本ノ四十八錢ハ聯合王國ノ一志相當トナスヘシ

第三條　聯合王國發日本帝國宛ノ小包ハ長サ二「フヒート」ヲ超過スヘカラス又日本帝國聯合王國宛ノ小包ハ長サ二尺以內トス而シテ長サ及橫周ヲ合シ六尺ヲ超過スヘカラス

第一項　聯合王國發日本帝國宛ノ小包ハ長サ二「フヒート」以內トス而シテ長サ及橫周ヲ合シ六「フヒート」ヲ超過スヘカラス又日本帝國聯合王國宛ノ小包ハ長サ二尺以內トス而シテ長サ及橫周ヲ合シ六尺ヲ超過スヘカラス

第二項　纖越小包卽甲約定國ヨリ乙約定國ヲ經テ他國ヘ遞送スヘキ小包ノ寸尺ハ其ノ名宛國ノ規則ヲ以テ定メタル寸尺ニ準シ規定スヘシ但シ其ノ寸尺ハ前項記載ノ制限ヲ超過スヘカラス

第四條　約定第八條ニ記載スル物品ノ外生活動物爆發物燃燒物其ノ他遞送中危險ヲ釀シ得ヘキ物品ヲ包有スル小包ハ除却シテ之ヲ遞送セサルヘシ

第二項　兩郵政廳ハ小包郵便ニヨリ其關係諸國ヘ遞送スルコトヲ特ニ禁スル物品ノ目錄ヲ製シ互ニ之ヲ送付スヘシ

第三項　禁制物ヲ包有シ又ハ其ノ包有物若クハ其ノ價格ヲ詐稱スル小包ヲ發見スルトキハ之ヲ抑留シ其ノ地ノ稅關規則若クハ他ノ法律規則ニ據リ處分スヘシ

第四項　一箇ノ小包中ニハ受取人及宛所ヲ異ニスル他ノ一箇若クハ數箇ノ小包或ハ他ノ郵便物(同物異物ヲ問ハス)ヲ包有スヘカラス若シ此ノ如キ小包ヲ發見スルトキハ其ノ包有スル別箇ノ小包若クハ包裝物ハ各其ノ相當ノ料金ヲ課シテ之ヲ遞送スヘシ

第五條　小包ハ受取人ノ名宛ヲ正確ニ記載シタルモノニ非レハ之ヲ遞送セサルモノトス但シ名宛ハ銘銘ヲ以テ記載スルヲ許サス

第二項　各小包ハ其ノ遞送ノ距離ニ應シ其ノ包有物ヲ保護スルニ堪フヘキ樣包裝スルヲ要ス且被害ノ明瞭ナル痕跡ヲ留ムルニ非レハ其ノ包有物ニ加害スル能ハサル樣包裝スヘシ

第三項　各小包ハ封蠟封劑若クハ其ノ他ノ方法ヲ以テ封緘シ且差出人ノ特殊ノ印影若クハ記號ヲ押捺スヘシ

第六條　各小包ニハ附錄雛形ノ如キ又ハ之ニ類似スル稅關告知書ヲ添附スヘシ此ノ告知書ハ小包ニ貼附スルカ若クハ小包目錄ニ確ト附著スヘシ

第一項　小包ハ受取人ノ名宛ヲ正確ニ記載シタルモノニ非レハ之ヲ遞送セサルモノトス但シ名宛ハ銘銘ヲ以テ記載スルヲ許サス

第二項　各小包ハ其ノ遞送ノ距離ニ應シ其ノ包有物ヲ保護スルニ堪フヘキ樣包裝スルヲ要ス且被害ノ明瞭ナル痕跡ヲ留ムルニ非レハ其ノ包有物ニ加害スル能ハサル樣包裝スヘシ

第三項　各小包ハ封蠟封劑若クハ其ノ他ノ方法ヲ以テ封緘シ且差出人ノ特殊ノ印影若クハ記號ヲ押捺スヘシ

第七條　稅關告知書ヲ小包ニ貼附セサルトキハ小包及其ノ告知書ニハ替記ノ番號ヲ記載スル附錄雛形ノ如キ又ハ之ニ類似スル番號票ヲ添附スヘシ但シ此ノ番號票ハ其ノ小ナル部分ヲ告知書ニ其ノ大ナル部分ヲ小包ニ貼附スヘシ

第八條　聯合王國ニ於ケル交換局ハ倫敦若クハ「リヴァープール」ト定メ日本ニ於ケル交換局ハ橫濱神戶及長崎ト定ム

第二項　日本及英國交換局間ノ小包遞送ニハ閉鎖シタル袋、函若クハ籠ヲ使用スヘシ

第三項　甲交換局ヨリ乙交換局ヘ小包遞送ノ時ハ每便船便送狀ヲ添フヘシ

第九條　差立交換局ニ於テ小包ノ細目ヲ記入スヘキ小包目錄ニハ附錄雛形ノ如キ又ハ之ニ類似スル式紙ヲ使用スヘシ

第二項　小包目錄ノ番號ハ每曆年度順次記入スヘシ而シテ目錄中小包記入ノ番號ハ目錄每ニ一ヲ以テ始ムヘシ

第三項　聯合王國ヲ經テ英領植民地及外國ヘ送達スヘキ小包ニ關シテハ聯合王國郵政院ヨリ供給スヘキ表ニ依リ「小包纖越料」ト題スル欄ニ金額ノ記入ヲ爲シ「小包ノ數」ト題スル欄ハ記入ヲ要セス

第四項　小包目錄ノ第一通及點檢狀(若シ之レアルトキハ)ハ別ニ封皮ニ納メ初發通常郵便ヲ以テ發送スヘシ

第五項　小包目錄第二通ハ小包ニ貼附セサル稅關告知書(若シ之レアルトキ)ト共ニ小包ノ容器ニ納ムヘシ此ノ目錄ヲ容器ハ特ニ貼札ヲナシ若クハ其ノ旨ヲ船便送狀ニ記載シテ之ヲ區別スヘシ

第十條　名宛局ニ小包郵便物到著スルトキハ名宛局ハ直ニ之ヲ點檢スヘシ若シ小包目錄ノ到著セサルトキハ其ノ代目錄ヲ調製スヘシ

第二項　小包目錄ニ記入ノ事項中誤謬ヲ發見スルトキハ局員一名立會ノ上之ヲ訂正シ附錄雛形ノ如キ點檢狀ヲ以テ其ノ旨ヲ差立局ヘ報告スヘシ

第三項　小包目錄ニ記載ノ小包到著セサルトキハ局員一名立會ノ上之ヲ認シ小包目錄中ノ其ノ記

入ヲ取消シ初發便ニテ點檢狀ヲ以テ其ノ事實ヲ報告スヘシ

第四項　損傷若クハ不完全ノ小包ヲ受取タルトキハ同ク點檢狀ヲ以テ其ノ詳細ヲ報告スヘシ

第五項　點檢狀ヲ受取ラサルトキハ反對ノ證據ノ提出セラレサル以上小包郵便物ハ都テ正當ニ到達セシモノト見做スヘシ

第十一條

第一項　誤遞ニ係ル小包ハ再發局ヨリ最速遞ノ線路ニ依リ名宛地ヘ再發スヘシ誤遞小包再發ノ爲直接ノ線路ナキトキハ差出局ヘ返還スヘシ

第二項　誤遞小包ヲ差出局ヘ返還スル場合ニ於テハ小包目錄ニ記入セル一個分ノ數ハ之ヲ取消シ再發交換局ハ點檢狀ヲ以テ其ノ誤謬ノ廉ヲ指示シ又小包目錄ニハ單ニ其ノ小包ヲ記入シテ差立交換局ヘ返還スヘシ

第三項　又誤遞小包ヲ其ノ名宛地ヘ直送スル場合ニ於テ再發局ニ受取ルヘキ金額ニシテ再發ノ爲メニ要スル費用ヲ辨償スルニ足ラサルトキハ該小包ヲ誤送セシ局ノ小包目錄ニ記入シテ其ノ差額ヲ請求スヘシ但シ此ノ請求ノ理由ハ點檢狀ヲ以テ之ヲ該局ヘ通知スヘシ

第十二條

第一項　差出人若クハ受取人ノ請求ニ應シ甲國ヨリ乙國ヘ再發スル小包ハ更ニ通常ノ郵便料ヲ課スヘシ此ノ郵便料ハ小包ノ差出人若クハ受取人ヨリ再發ノ國ヘ前納セサレハ小包目錄中「先拂再發小包」ト題スル欄内ニ適當ニ記入シ該小包配達ノ際徵收スヘシ

第二項　再發小包遞送ノ爲徵收スヘキ郵便料ハ其ノ再發ノ際前納スルトキハ該小包ハ再發國ヨリ名宛國ヘ直ニ發送ノモノトシテ取扱ヒ受取人ヨリ何等ノ料金ヲ徵收スルコトナク之ヲ配達スヘシ

第十三條

第一項　配達シ能ハサル小包ハ差出人ニ其ノ處分方ヲ問合スヘシ此ノ事ニ關スル通信ハ兩郵政廳ノ間ニ直ニ交換スヘシ

第二項　敗壞若クハ腐敗ノ質アル物品ハ豫告若クハ法律上ノ手續ヲ經ス直ニ所有主ノ爲ニ賣却スルコトヲ得但シ其ノ賣却ニ就テノ計算書ヲ調製スヘシ

第三項　問合狀ヲ發送シタル後六箇月内ニ名宛局ニ於テ小包處分方ニ關スル回報ヲ受領セサルトキハ差出局ニ該小包ヲ返還スヘシ

第四項　差出局ヘ返還スル小包ハ小包目錄ニ記入シ其ノ附註欄内ニ「不能配達」ノ文字ヲ加記スヘシ但シ該小包ハ再發小包トシテ取扱ヒ其ノ相當ノ郵便料ヲ課スヘシ

第五項　大不列顛若クハ日本ト小包交換ノ約定ナキ國ヘ移轉シタルモノニ宛タル小包到著スルトキハ該小包ハ最初ノ名宛局ニ於テ之ヲ受取人ヘ送達スルノ途ナキトキハ不能配達ノモノトシテ取扱フヘシ

第十四條

第一項　甲郵政廳ハ乙郵政廳ノ交換局ヨリ受取タル小包郵便物ニ對シ本細則附錄雛形ニ準シ毎月計算書ヲ調製スヘシ

第二項　此ノ計算書ハ關係小包目錄ノ摘要及關係ノ點檢狀アルトキハ之ヲ添ヘ翌月中ニ乙郵政廳ノ檢査ニ供スヘシ但シ小包目錄ノ摘要ハ附錄雛形ノ如キ式紙ヲ以テ調製スヘシ

第三項　月次計算書ハ雙方ニ於テ檢査承認ノ上貸越郵政廳ニ於テ毎三箇月ノ總計算書ニ登記スヘシ

第四項　兩郵政廳間ノ差引計算ヨリ生シタル差額ハ借越郵政廳ヨリ貸越國ノ首府若クハ貿易地ヘ振出シタル爲換ヲ以テ貸越郵政廳ヘ支拂フヘシ但シ其ノ支拂ニ關スル費用ハ借越郵政廳ノ負擔タルヘシ

第五項　計算書ノ調製送付並ニ支拂ハ成ルヘク速ニ完了シ遲クトモ次ノ三箇月ヲ經過スヘカラス此ノ期限經過ノ後ハ甲郵政廳ヨリ乙郵政廳ヘ支拂フヘキ金額ニ付經過ノ日ヨリ起算シ年五分ノ割合ヲ以テ利子ヲ附スヘシ

第六項　兩郵政廳ハ雙方協議ノ上本條規定ノ事項ニ拘ハラス他ノ方法ヲ採用スルコトヲ得

第十五條

第一項　兩郵政廳ハ本約定實施前小包郵便物遞送ニ關スル法律規則ノ摘要ヲ互ニ通知スヘシ

第二項　右法律規則ニ變更アルトキハ其ノ都度遲滯ナク通知スヘシ

第十六條

此ノ細則ハ本約定實施ノ日ヨリ實行シ本約定ト其ノ期限ヲ同フスヘシ但シ關係郵政廳ハ隨時協議ノ上之ヲ變更スルコトヲ得

此ノ細則書二通ヲ調製シ明治二十九年五月二十一日東京ニ於テ及千八百九十六年六月二十三日倫敦ニ於テ記名調印スルモノナリ

遞信大臣　白根專一

郵政院長　ノルフーク

細目規則附錄式紙雛形

媒介國名表雛形

木表差立郵政廳、、、、、

木表名宛郵政廳、、、、、

繼越小包ノ交換

、、、、、郵政廳ヨリ、、、、、郵政廳ヘノ郵便ヲ以テ、、、、郵政廳ノ小包郵便交通ヲ有スル地ヘ小包ヲ遞送シ得ル路規則ニ關スル表

名宛國	遞送線路	媒介國名及海運ノ名稱	、、、、郵政廳ヨリ、、、、郵政廳ヘ仕拂フヘキ總金額 郵便税	保險料	附註

稅關告知書雛形

小包郵便 稅關告知書用紙	日付印
小包名宛地	

小包ノ種類	概量 封入品	正味重量	價額 磅 志 片

差出日付、、、、、、

差出人氏名住所、、、、、、、、、、

此欄ハ郵便局ノ爲ニ設クルモノニシテ交換局ニ於テ記入スヘシ
小包目錄第、、、號記入第、、、號

小包目錄雛形

差立局日付印

小包目錄第、、號　汽船、、、號、年、月、日

名宛局日付印

第、枚 ※

小包番號	小包差出地	小包差出人名	小包名宛地	小包名宛	小包告知封入品	告知價額	小包ノ數	小包繼越料	先拂再發小包 小包ノ數	金額	附註
							[illegible]	志 片		志 片	
合計											

※一枚以上ヲ用ユルトキハ下ニ記載ノ事項ハ最尾用紙ヘ登記スヘシ

※本便差立小包ノ總數、、、、、、

※本便差立ノ函、其他容器ノ數、、、、、、

差立郵便局主務者記名、、、、、、

名宛郵便局主務者記名、、、、、、

番號票雛形

四一
東京 四一

小包目錄摘要雜形

千八百九十年月日小包目錄第　號摘要

記事	差立局ノ記載	名宛局ノ調査
小包ノ數 一志十片 三志六片 五志二片		
總計小包ニ對シ名宛人ヘ受取ルヘキ總金額	磅　志　片	磅　志　片
差立人ヘ支拂ヘキ總額	磅　志　片	磅　志　片

年　月　日　　錄送主務者記名

點檢狀雜形

日付印

千八百九十年月日郵便物中ニ發見セシ點檢狀ノ訳例及訳釋ヲ訂正證明スル點檢狀

千八百九十年月日小包目錄第　號

小包紛失			
番號 順序	小包	差出地	名宛人ヘ送ルヘシト詳細ニ記ス	附註

小包毀損

番號 順序	小包	差出地	氏名住所 差出人	名宛人	小包ノ物品ノ實價	價告額	過不足ノモノアレハ其額

毀損ノ形狀及其原因ト認ムヘキモノアハ其他ノ記事

訳例

（小包目錄摘要ノ手續ニ依リ到著セス、實、函等紛失ニ終レリ等）

訳釋

番號 順序	小包	差出地	名宛人氏名住所	證書		額ノ差ヘ又局ノ額ノ金便代額	訂正宛局ノ

原記總額　　訂正總額

年　月　日　名宛局主務者　記名

右檢査承認ス　年　月　日　差立局主務者　記名

貯置狀雜形

千八百九十年月日交換局ヨリ　　交換局ヘ差立タル小包郵便物非ル片

差立日附	番號目錄	普通郵便小包				先拂再發小包				附註
		三磅以下	七磅以下	一磅以下	合計	三磅以下	七磅以下	一磅以下	合計	
		磅　志　片	磅　志　片	磅　志　片	磅　志　片	磅　志　片	磅　志　片	磅　志　片	磅　志　片	
取ヘキ總金額		磅　志　片				磅　志　片				
額ヘ關差立ヘキ總受取金額										磅　志　片

●亞米利加合衆國ト小包郵便條約

明治三十七年七月十五日

勅令第三百八十七號

本條約ノ諸條款ハ亞米利加合衆國ト日本帝國トノ間ニ締結セル小包郵便條約ニ規定スル方法ニ依リ交換セラルヘキ小包郵便物ニ之ヲ適用シ其ノ間ニ於テ公布セラルヘシ

第一條

日本帝國及亞米利加合衆國間ノ郵便上ノ關係ハ一切ノ條約ノ規定ニ從フヘシ

第二條

信書、郵便葉書及各種ノ印刷物ヲ除キ本條約ニ據リ交換セラルヘキ小包郵便物ハ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ヲ以テ日本帝國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ニ宛テ直接ニ交換スルモノトス

第三條

日本帝國ノ郵便局ハ亞米利加合衆國ノ郵便局ニ宛テ小包郵便物ヲ送付シ亞米利加合衆國ノ郵便局ハ日本帝國ノ郵便局ニ宛テ小包郵便物ヲ送付シ其ノ郵便物ハ本條約ノ諸條款ニ從ヒ相互ニ交換スルモノトス

第四條

亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ハ日本帝國ノ郵便局ニ宛テ小包郵便物ヲ送付シ日本帝國ノ郵便局ハ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ニ宛テ小包郵便物ヲ送付スルモノトス

第五條

日本帝國ノ郵便局ハ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ニ宛テ小包郵便物ヲ送付シ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ハ日本帝國ノ郵便局ニ宛テ小包郵便物ヲ送付スルモノトス

第六條

日本帝國ノ郵便局ハ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ニ宛テ小包郵便物ヲ送付シ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ハ日本帝國ノ郵便局ニ宛テ小包郵便物ヲ送付スルモノトス

第七條

日本帝國ノ郵便局ハ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ニ宛テ小包郵便物ヲ送付シ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ハ日本帝國ノ郵便局ニ宛テ小包郵便物ヲ送付スルモノトス

第八條

日本帝國ノ郵便局ハ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ニ宛テ小包郵便物ヲ送付シ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ハ日本帝國ノ郵便局ニ宛テ小包郵便物ヲ送付スルモノトス

第九條

日本帝國ノ郵便局ハ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ニ宛テ小包郵便物ヲ送付シ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ハ日本帝國ノ郵便局ニ宛テ小包郵便物ヲ送付スルモノトス

第十條

日本帝國ノ郵便局ハ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ニ宛テ小包郵便物ヲ送付シ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ハ日本帝國ノ郵便局ニ宛テ小包郵便物ヲ送付スルモノトス

第十一條

日本帝國ノ郵便局ハ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ニ宛テ小包郵便物ヲ送付シ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ハ日本帝國ノ郵便局ニ宛テ小包郵便物ヲ送付スルモノトス

第十二條

日本帝國ノ郵便局ハ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ニ宛テ小包郵便物ヲ送付シ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ハ日本帝國ノ郵便局ニ宛テ小包郵便物ヲ送付スルモノトス

第十三條

日本帝國ノ郵便局ハ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ニ宛テ小包郵便物ヲ送付シ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ハ日本帝國ノ郵便局ニ宛テ小包郵便物ヲ送付スルモノトス

第十四條

日本帝國ノ郵便局ハ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ニ宛テ小包郵便物ヲ送付シ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ハ日本帝國ノ郵便局ニ宛テ小包郵便物ヲ送付スルモノトス

第十五條

日本帝國ノ郵便局ハ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ニ宛テ小包郵便物ヲ送付シ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ハ日本帝國ノ郵便局ニ宛テ小包郵便物ヲ送付スルモノトス

第十六條

日本帝國ノ郵便局ハ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ニ宛テ小包郵便物ヲ送付シ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ハ日本帝國ノ郵便局ニ宛テ小包郵便物ヲ送付スルモノトス

第十七條

日本帝國ノ郵便局ハ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ニ宛テ小包郵便物ヲ送付シ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ハ日本帝國ノ郵便局ニ宛テ小包郵便物ヲ送付スルモノトス

第十八條

日本帝國ノ郵便局ハ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ニ宛テ小包郵便物ヲ送付シ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ハ日本帝國ノ郵便局ニ宛テ小包郵便物ヲ送付スルモノトス

第十九條

日本帝國ノ郵便局ハ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ニ宛テ小包郵便物ヲ送付シ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ハ日本帝國ノ郵便局ニ宛テ小包郵便物ヲ送付スルモノトス

第二十條

日本帝國ノ郵便局ハ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ニ宛テ小包郵便物ヲ送付シ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ハ日本帝國ノ郵便局ニ宛テ小包郵便物ヲ送付スルモノトス

第二十一條

日本帝國ノ郵便局ハ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ニ宛テ小包郵便物ヲ送付シ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ハ日本帝國ノ郵便局ニ宛テ小包郵便物ヲ送付スルモノトス

第二十二條

日本帝國ノ郵便局ハ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ニ宛テ小包郵便物ヲ送付シ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ハ日本帝國ノ郵便局ニ宛テ小包郵便物ヲ送付スルモノトス

第二十三條

日本帝國ノ郵便局ハ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ニ宛テ小包郵便物ヲ送付シ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ハ日本帝國ノ郵便局ニ宛テ小包郵便物ヲ送付スルモノトス

第二十四條

日本帝國ノ郵便局ハ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ニ宛テ小包郵便物ヲ送付シ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ハ日本帝國ノ郵便局ニ宛テ小包郵便物ヲ送付スルモノトス

第二十五條

日本帝國ノ郵便局ハ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ニ宛テ小包郵便物ヲ送付シ亞米利加合衆國ノ權限ヲ與ヘラレタル一ノ機關ハ日本帝國ノ郵便局ニ宛テ小包郵便物ヲ送付スルモノトス

入保險ノ爲其ノ國ニ施行セラルル各税關法規ノ適用ヲ受クヘシ小包郵便物ノ郵便料ハ前納ニ限ル其ノ率左ノ如シ

合衆國ニ於テハ重量一封度(百二十匁)ヲ超過セサル小包郵便物一箇ニ付十二仙、以上一封度(百二十匁)若ハ其ノ端數ヲ加フル毎ニ十二仙

日本ニ於テハ重量百二十匁(一封度)ヲ超過セサル小包郵便物一箇ニ付二十四錢、以上百二十匁(一封度)若ハ其ノ端數ヲ加フル毎ニ二十四錢

第五條

各小包郵便物ノ差出人ハ特ニ備フル式紙(附錄第一號)ヲ以テ税關告知書ヲ作成シ之ニ名宛地名、小包郵便物ノ形狀、封入品及價格ノ精確ナル表示、差出日附、差出人ノ署名及宿所ヲ記載スヘシ此ノ告知書ハ名宛地ニ至ルマテ小包郵便物ニ添付スルヲ要ス

兩締盟國ハ小包郵便物引受ノ際其ノ引受局ヲシテ附錄第二號式紙ノ如キ引受證ヲ差出人ニ交付セシムルコトヲ得

小包郵便物ノ差出人ハ差出國ニ於テ書留郵便物ニ對シ要スル書留料ヲ支拂フトキハ其ノ郵便物ヲ書留ト爲スコトヲ得且該郵便物ニ付テハ別ニ料金ヲ支拂ハスシテ其ノ到達證ヲ要求スルコトヲ得

第六條

書留小包郵便物ノ名宛人ハ名宛局ヨリ該郵便物到著ノ通知ヲ受クヘシ

小包郵便物ハ別ニ何等ノ郵便料ヲ課スルコトナク名宛國ニ於テ名宛局ヨリ名宛人ニ配達セラルヘシ然レトモ適法ニ課セラルヘキ關税ハ名宛國ノ税關法規ニ從ヒ配達ノ際徴收セラルルモノトス且名宛國ハ重貨ノ如何ニ拘ラス小包郵便物一箇毎ニ其ノ内地遞送及配達ノ爲合衆國ニ於テハ五仙日本ニ於テハ十錢ヲ超過セサル料金ヲ名宛人ヨリ徴收スルノ自由ヲ有ス

第七條

小包郵便物ハ日本及合衆國間ニ直接ニ交換スル郵便物ノ一部ト看做シ差出國ヨリ其ノ國ノ費用ヲ以テ且其ノ設備スル方法ニ依リ名宛國ニ差立ツヘシ但シ差立局ノ便宜ニ從ヒ特ニ設備シタル函若ハ「小包郵便」ト表記シタル郵便行嚢ヲ用井他ノ郵便物ト合裝スルコトナク兩國互ニ協定スル所アルヘキ細則ニ依リ封緘若ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ確實ニ封緘スヘシ

兩締盟國ハ互ニ前記ノ行嚢若ハ函ヲ空虛ノ儘次便ヲ以テ必ス其ノ差出局ニ返送スヘシ但シ兩國郵政廳間ノ他ノ規定ニハ從フヘキモノトス

本條約ニ依ル小包郵便物ハ兩國交換局ノ間ニ前記ノ方法ニ依リ遞送セラルルト雖該小包郵便物ハ差出國ニ於テ其ノ交換局ニ至ルマテ又名宛國ニ於テ其ノ名宛局ニ至ルマテ郎兩國内地ニ於ケル閉嚢遞送中其ノ安全ヲ期スル様充分ノ注意ヲ以テ包裝スルヲ要ス

小包郵便物ヲ差立ツルトキハ毎便其ノ差立ニ係ル小包郵便物ノ目錄(附錄式紙第三號)二通ヲ添送スヘシ此ノ目錄ニハ各小包郵便物ノ登記番號、差出人氏名、名宛人氏名及宿所、告知セラレタル品名及價格ヲ明瞭ニ記載シ其ノ便差立ノ函若ハ行嚢ノ一ニ挿入スヘシ

第八條

郵便物名宛局ニ到著シタルトキハ直チニ其ノ在中小包郵便物ヲ點檢スヘシ

小包目錄到著セサルトキハ速ニ其ノ代目錄ヲ調製スヘシ

小包目錄ノ記載事項中誤謬ノ廉ヲ發見シタルトキハ他ノ吏員一名ノ檢證ヲ經タル後之ヲ正誤シ其ノ要旨ヲ點檢狀ニ記載シ差出局ニ通知スヘシ此ノ點檢狀ハ特別ノ封皮ニ納ムヘキモノトス

目錄ニ記載ノ小包郵便物到著セサルトキハ其ノ不著ノ事實ニ就キ他ノ吏員一名ノ檢證ヲ經タル後其ノ目錄ノ記載ヲ抹消シ直チニ點檢狀ヲ以テ其ノ事實ヲ通知スヘシ

損傷シタル若ハ包裝不充分ナル小包郵便物到著シタルトキハ點檢狀ヲ以テ其ノ詳細ノ事項ヲ通知スヘシ

點檢狀若ハ誤謬ノ通知ニ接セサルトキハ小包郵便物ハ檢査ノ上何等ノ違式ナキモノト認メラレ正當ニ引渡サレタルモノト看做スヘシ

第九條

小包郵便物ヲ名宛人ニ配達スルコト能ハス若ハ名宛人ニ於テ之カ受取方ヲ拒絶シタルトキハ該郵便物ハ名宛局ニ到達ノ日ヨリ三十日間經過ノ後チニ無料ニテ差立交換局ニ返送スヘシ差出國ハ其ノ小包郵便物ヲ還付スルニ當リ其ノ最初ノ郵便遞送ニ要シタル郵便料ト同額ノ料金ヲ差出人ヨリ徴收スルコトヲ得但シ第二條ニ禁止セル小包及同條所定ノ寸尺重量及價格ニ關スル條件ニ適合セサル小包ハ必スシモ差出國ニ返送スルヲ要セス名宛國ノ税關法規ニ從ヒ勝手ニ之ヲ處分スルコトヲ得

配達シ能ハサル小包郵便物ノ封入品ニシテ腐敗シ若ハ腐敗ノ虞アルトキハ必要ノ場合ニ於テハ直チニ之ヲ賣却シ又ハ豫告若ハ司法上ノ手續ヲ經ス權利者ノ利益ノ爲ニ便宜之ヲ賣却スルコトヲ得但シ賣却ニ關スル詳細ノ事項ハ甲郵便局ヨリ乙郵便局ニ通知スヘキモノトス

第十條

兩締盟國ハ小包郵便物ノ亡失若ハ毀損ニ對シ其ノ責ニ任セス然レトモ各國ハ其ノ邦國内ニ於テ亡失若ハ毀損シタル小包郵便物ノ差出人ニ對シ賠償ヲ爲スノ自由ヲ有ス

第十一條

兩締盟國ハ小包郵便物ニ就キ徴收スル郵便料、書留料及配達料ノ全部ヲ其ノ所得ト爲スヘシ故ニ此ノ條約ハ兩國間ニ何等ノ計算ヲ生セシムルコトナシ

第十二條

日本遞信大臣及合衆國郵政長官ハ本條約實施ノ爲必要ト認ムル細則ヲ隨時協定スルノ權能ヲ有ス又本條約第二條ニ定ムル禁制物件中其ノ或ルモノヲ本條約ニ據リ交換スル小包郵便物トシテ差出スコトヲ得セシムル爲必要ノ條件ヲ協定スルコトヲ得

第十三條

本條約ハ明治三十七年八月一日即西暦千九百四年八月一日ヨリ實施シ雙方協議ノ上廢止スルマテ其ノ效力ヲ繼續スヘシ然レトモ本條約ハ兩郵政廳ノ一方ノ希望ニ依リ他ノ郵政廳ヘ六箇月前ニ通告シ之ヲ廢止スルコトヲ得

明治三十七年六月三十日即西暦千九百四年六月三十日華盛頓ニ於テ本條約書二通ヲ作製シ各之ニ署名ス

日本帝國特命全權公使　高平小五郎

亞米利加合衆國郵政長官　ヘンリー、シー、ペイン

附錄

第一號書式紙

甲

日本合衆國間小包郵便

日附印

税關告知書

小包ノ名宛地

小包ノ形狀(函、袋若ハ表裝等ヲ記セ)	封入品	價格	關税額
	合計		

差出日附千九百　　年　　月　　日差出人ノ署名及宿所

(下ノ行ハ單ニ郵便局ノ使用ニ供スルモノニシテ交換局ニ於テ記入スヘキモノトス)

小包目錄ノ番號　　　前納郵便料ノ率數

登記番號

乙

(差出國)ヨリノ小包郵便此ノ小包ノ封入品ニ對シ税關吏ノ評定シタル輸入税ハ　　　ニシテ此ノ金額ハ小包ノ交付ニ先タチ支拂ハルヘキモノトス

税關吏

日附印

丙

(差出國)ヨリノ小包郵便此ノ小包ハ税關吏カ其ノ通關ヲ許可シタルモノニシテ無税交付スヘキモノトス

日附印

第二號式紙

小包郵便

下ノ如ク名宛シタル小包一箇本日此局ニ郵便ニ差出サレタリ

局印

此ノ引受證ハ小包ノ郵便ニ差出サレタルコトヲ差出人ニ通知スル爲交付スルモノニシテ決シテ此ノ小包ニ對シ何等ノ責任ヲ郵政廳ニ附スルコトヲ指示スルモノニアラス

第三號式紙

差立交換局ノ日附印　　　(差出國)ヨリ(名宛國)ヘノ小包　　　名宛交換局ノ日附印

千九百　　年　　月　　日汽船　　號ニ依リ差立ノ第　　號小包目錄

第　　枚*

小包登記番號	小包差出地	差出人名	小包ノ名宛	告知品名	告知價格	前納郵便料ノ率數	附註
				合計			

（＊一便ニ依リ差立ノ小包記入ノ爲本目録二枚以上ヲ要スルトキハ下ノ各項ハ最後ノ一枚ニ記入スルヲ以テ足レリトス）

、、、、（名宛國）ヘノ郵便ニ依リ差立テタル小包ノ總數、、　　郵便物ノ總重量、、
、、、、、、、、、、　　差引ク可キ容器ノ重量、、、、、、、、
本便ニ依リ差立ノ囊若ハ他ノ容器ノ數、、　　小包ノ正味重量、、
、、、、、、、、、、

差立交換局郵便吏員ノ署名
、、、、、、、、、、
名宛交換局郵便吏員ノ署名
、、、、、、、、、

●墨西哥國宛小包郵便物差出方

明治三十九年六月七日
遞信省告示第二百三十五號
改正　三九年第三四八號四〇年第四八二號

墨西哥國宛小包郵便物ニシテ左記各局所在地以外ノ地宛ノモノハ左記各局中ノ一ヲ指定シ「、、、、局留置」ト表記スヘキ旨同國郵政廳ヨリ通知アリタリ

Acámbaro (Gto.). (アカンバロ)
Acanceh (Yuc.). (アカンセエ)
Acaponeta (Tep.). (アカポネタ)
Acapulco (Gro.). (アカプルコ)
Acatlán (Pue.). (アカトラン)
Acatzingo (Pue.). (アカツインゴ)
Acayucan (Ver.). (アカユカン)
Actopam (Hgo.). (アクトパム)
Actopam (Ver.). (アクトパム)
Agua Prieta (Son.). (アグア、プリエタ)
Aguascalientes (Ags.). (アグアスカリエンテス)
Ahomé (Sin.). (アオメ)
Ahuacatlán (Tep.). (アウアカトラン)
Ahualulco (Jal.). (アウアルルコ)
Ahumada (Chih.). (アウマダ)
Aire Libre (Pue) (エール、リブル)
Alamo (B. C.). (アラモ)
Alamos (Son.). (アラモス)
Alaquines (S. L. P.). (アラクイネス)
Allende (Chih.). (アレンデ)
Altar (Son.). (アルタール)
Altata (Sin.). (アルタタ)
Altotonga (Ver.). (アルトトンガ)
Alvarado (Ver.). (アルバラド)
Amatitán (Jal.). (アマチタン)
Amealco (Qro.). (アメアルコ)
Ameca (Jal.). (アメカ)
Amecameca (Méx.). (アメカメカ)
Amozoc (Pue.). (アモソク)
Angangueo (Mich.). (アンガンゲエオ)
Apam (Hgo.). (アパム)
Apaseo (Gto.). (アパセオ)
Apatzingan (Mich.). (アパチンガン)
Apetatitlán (Tlax.). (アペタチトラン)
Apizaco (Tlax.). (アピサコ)
Arandas (Jal.). (アランダス)
Ario (Mich.). (アリオ)
Arizpe (Son.). (アリスペ)
Ascención (Chih.). (アスセンシオン)
Asientos (Ags.). (アシエントス)
Atlacomulco (Méx.). (アトラコムルコ)
Atlixco (pue.). (アトリシコ)
Atotonilco (Pue.). (アトトニルコ)
Atotonilco el Alto (Jal.). (アトトニルコ、エル、アルト)
Atotonilco el Grande (Hgo.). (アトトニルコ、エル、グランデ)
Atzcapotzaltongo (Méx.). (アツカポツアルトンゴ)
Aurora Mineral (Pue.). (アウロラ、ミネラル)
Autlán (Jal.). (アウトラン)
Avino (Dgo.). (アヴ井ノ)
Ayutla (Gro.). (アユトラ)
Badiraguato (Sin). (バヂラグアト)
Balancán (Tab.). (バランカン)
Batopilas (Chih.). (バトピラス)
Bustamente (N. L.). (ブスタメンテ)
Cadereyta de Montes (Qro.). (カデレイタ、デ、モンテス)
Cadereyta Jimenez (N. L.). (カデレイタ、ヒメネス)
Calpulalpam (Tlax.). (カルプラルパム)
Calvillo (Ags.). (カルヴ井ーヨ)
Camargo (Tam.). (カマルゴ)
Campamento General Vego (Qr.). (カンパメント、ヘネラル、ヴエゴ)
Campeche (Cam.). (カンペシエ)
Canada morelos (Pue.). (カナダ、モレロス)
Canatlán (Dgo.). (カナトラン)
Candela (Coah.). (カンデラ)
Cañitas (Zac.). (カニイタス)
Cárdenas (S. L. P.). (カルデナス)
Casas Grandes (Chih.). (カサス、グランデス)
Catorce (S. L. P.). (カトルセ)
Cedral (S. L. P.). (セドラル)

Celaya (Gto.). (セラヤ)
Cerralvo (N. L.). (セルラルヴオ)
Cerritos (S. L. P.). (セルリトス)
Chacaltianguis (Ver.). (チヤカルチアンゲイス)
Chalchicomula (Pue.). (チヤルチコムラ)
Chalchihuites (Zac.). (チヤルチウイテス)
Chalco (Mex.). (チヤルコ)
Chamacuero (Gto.). (チヤマクエロー)
Chamal (Tam.). (チヤマル)
Chapala (Jal.). (チヤパラ)
Charcas (S. L. P.). (チヤルカス)
Chiapa de Corzo (Chis.). (チヤパ、デ、コルソー)
Chiautempan (Tlax.). (チヤウテムパン)
Chiautla (Pue.). (チヤウトラ)
Chicontepec (Ver.). (チコンテペク)
Chietla (Pue.). (チエトラ)
Chignahuapan (Pue.). (チグナウアパン)
Chihuahua (Chih.). (チウアウア)
Chilapa (Gro.). (チラパ)
Chilpancingo (Gro.). (チルパンシンゴー)
Chinipas (Chih.). (チニパス)
Choix (Sin.). (チヨイス)
Cholula (Pue.). (チヨルラ)
Ciudad del Maiz (S. L. P.). (シウダド、デル、マイス)
Ciudad de Valles (S. L. P.). (シウダド、デ、ヴアイエス)
Ciudad Guerrero (Tam.). (シウダド、ゲエルレロ)
Ciudad Guzmán (Jal.). (シウダド、グスマン)
Ciudad Juárez (Chih.). (シウダド、フアレス)
Ciudad Lerdo (Dgo.). (シウダド、レルド)
Ciudad Porfirio Díaz (Coah.). (シウダド、ポルフイリオ、ヂアス)
Ciudad Victoria (Tam.). (シウダド、ヴ井クトリア)
Coalcoman (Mich.). (コアルコマン)
Coatepec (Ver.). (コアトペク)
Coatzacoalcos (Ver.). (コアトサコアルコス)
Cocorit (Son.). (ココリット)
Cocula (Jal.). (コキウラ)
Colima (Col.). (コリマ)
Colonia Juárez (Chih.). (コロニア、フアレス)
Colotlan (Jal.). (コロトラン)
Comalcalco (Tab.). (コマルカルコ)
Comitan (Chis.). (コミタン)
Comondu (B. C.). (コモンヅウ)
Compostela (Tep.). (コムポステラー)
Concepción Guerrero (Chih.). (コンセプシオン、ゲエルレロ)
Concepción del Oro (Zac.). (コンセプシオン、デ、オロ)
Concordia (Sin.). (コンコルデイア)
Conuy, (Mich) (コヌイ)
Copala (Sin.). (コパラ)
Córdoba (Ver.). (コルドバ)
Cosalá (Sin.). (コサラ)
Cosamaloapam (Ver.). (コサマロアパン)
Coscomatepec (Ver.). (コスコマテペク)
Cotija (Mich.). (コチハ)
Coyame (Chih.). (コヤメ)
Coyuca del Catalán (Gro.). (コユカ、デル、カタラン)
Cozumel (Q. R.). (コスメル)
Cuatro Ciénegas (Coah.). (クアトロ、シエネガス)
Cuautitlan (Méx.). (クアウチトラン)
Cuautla (Mor.). (クアトラ)
Cuencamé (Dgo.). (クエンカーメ)
Cueramaro (Gto.). (クエラマロ)
Cuernavaca (Mor.). (クエルナバカ)
Cuicatlán (Oax.). (クイカトラン)
Cuidad Manuel Doblado (San Pedro. Piedra-Gorda) (Gto.). (クイダード、マヌエル、ドブラド)
Cuitzeo de Abasolo (Gto.). (クイツセオ、ド、アバソロ)
Culiacan (Sin.). (クリヤカン)
Cusihuiriachic (Chih.). (クシウイリアチック)
d' Acuitzio, (Mich) (アクイツシイヲ)
Doctor Arroyo (N.L.). (ドクトル、アルロヨ)
Dolores Hidalgo (Gto.). (ドロレス、イダルゴ)
Durango (Dgo.). (ヅランゴ)
Ebano (S. L. P.). (エバノ)
Ecuandurco (Mich.). (エクアンヅエレオ)
Ejutla de Crespo (Oax.). (エフトラ、デ、クレスポ)
El Hule (Oax.). (エル、ウーレ)
Elota (Sin.). (エロタ)
El Salto, (Jal) (エルサルト)
Empalme González (Estación). Gto. (エンパルメ、ゴンサレス)
Encarnación de Díaz (Jal.). (エンカルナシオン、デ、ヂアース)
Ensenada (B. C.). (エンセナダ)
Escalon (Chih.). (エスカロン)
Esmeralda (Coah.). (エスメラルダ)

Esperanza (Pue.).
Espita (Yuc.).
Estacion Oriental, (pue)
Estacion Rosario (Dgo)
Etla (Oax.).
Etzatlán (Jal.).
Fortin (Ver.).
Fresnillo (Zac.).
Frontera (Tab.).
Fuerte (Sin.).
Galeana (N. L.).
Garza Galan (Las Vacas)(Coah.).
General Teran (N. L.).
General Zepeda (Coah.).
Gómez del Palacio (Dgo.).
Guadalajara (Jal.).
Guadalcazar (S. L. P.).
Guadalupe (Zac.).
Guadalupe de los Reyes (Sin.).
Guadalupe y Calvo (Chih.).
Guanacevi (Dgo.).
Guanajuato (Gto.).
Guarachita (Mich.).
Guaymas (Son.).
Guazapares (Chih.).
Guerrero (S. L. P.).
Gutiérrez (Estacion) (Zac.).
Gutiérrez-Zamora (Ver.).
Hecalchacan (Cam.).
Hermosillo (Son.).
Hidalgo del Parral (Chih.).
Hostotipaquillo (Jal.).
Hua juapam de León (Oax.).
Humantla (Tlax.).
Huamuxtitlan (Gro.).
Huatusco(Ver.).
Huanchinango (Pue.).
Huayacocotla (Ver.).
Huejotzingo (Pue.).
Huejutla (Hgo.).
Huetams de Nunez (Mich.).
Huichapam (Hgo.).
Huimanguillo (Tab.).
Hunuema (Yuc.).
Iguala (Gro.).
Indé (Dgo.).
Irapuato (Gto.).
Irolo, (Hgo)
Isla del Carmen (Cam.).
Isla de Mujeres (Q. R.).
Ixmiquilpam (Hgo.).
Ixtlahuaca (Méx.).
Ixtlán (Tep.).
Ixtlán de Juárez (Oax.).
Izamal (Yuc.).
Izúcar de Matamoros (Pue.).
Jacala de Ledesma (Hgo.).
Jalacingo (Ver.).
Jalapa (Ver.).
Jalisco (Estación), (Chis.).
Jalpam (Qro.).
Jáltipam (Ver.).
Jamiltepec (Oax.).
Janmave (Tam.).
Jerécuaro (Gto.).
Jerez (Zac.).
Jicaltepec (Ver.).
Jilotepec (Méx.).
Jiménez (Chih.).
Jimulco (Coah.).
Jiquilpam de Juarez (Mich.).
Jojutla (Mor.).
Jonacatepec (Mor.).
Jonuta (Tab.).
Juanacatlán (Jal.).
Juchipila (Zac.).
Juchitán (Oax.).
Juquila (Oax.).
Juxtahuaca (Oax.).
La Barca (Jal.).
La Cananea (Son.).
La Colorada (Son.).

La Descubridora (Dgo.).
Lagos de Moreno (Jal.).
Lampazos (N. L.).
La Ojuela (Dgo.).
La Paz (P. C.).
La Piedad (Mich.).
Las Esperanzas (Coah.).
Las Palomas (Chih.).
La Union (Gro.).
León (Gto.).
Lerma (Méx.).
Linares (N. L.).
Los Mochis (Sin.).
Los Reyes (Mich.).
Macuspana (Tab.).
Magdalena (Son.).
Maltrata (Ver.).
Manzanillo (Col.).
Mapimi (Dgo.).
Maravatio (Mich.).
Martinez de la Torre (Ver.).
Mascota (Jal.).
Matamoros (Tam.).
Matamoros de la Laguna (Coah.).
Matehuala (S. L. P.).
Mazapil (Zac.).
Mazatlán (Sin.).
Mecqui (Chih.).
Mérida (Yuc.).
Metztitlan (Hgo.).
Mexicali (B. Cfn.).
México (D. F.).
Michuatlán (Oax.).
Mier (Tam.).
Minaca (Chih.).
Minas de Oro (Los Angeles)(Chih)
Minas Prietas (Son.).
Minatitlán (Ver.).
Mineral de Naica (Chih)
Mineral del Oro (Méx.).
Mineral de Pozos (Gto.).
Minillas (Zac.).
Misantla (Ver.).
Mochicahui (Sin.).
Mocorito (Sin.).
Moctezuma (S. L. P.).
Moctezuma (Son.).
Molango (Hgo.).
Monclova (Coah.).
Montecristo (Tab.).
Montemorelos (M. L.).
Monterrey (N. L.).
Morelia (Mich.).
Morelos (Villa de) (Coah.).
Moroleón (Gto.).
Motul (Yuc.).
Mulegé (B. C.).
Múzquiz (Coah.).
Naco (Son.).
Naco zari (Son)
Nadadores (Coah.).
Naolinco (Ver.).
Nautla (Ver.).
Nava (Coah.).
Navojoa (Son.).
Nazas. (Dgo.).
Necaxa de canadita (Pue.).
N'e es (Zac.).
Nochixtlán (Oax.).
Nochixtlán (Zac.).
Nogales (Son.).
Nogales (Ver.).
Nombre de Dios (Dgo.).
Nopala (Hgo.).
Noria de los Angeles (Zac.).
Nueva Casas Grandes (Chih)
Nuevo Laredo (Tam.).
Oaxaca (Oax.).
Ocampo (Chih.).
Ocotlán (Jal.).
Ocotlán de Morelos (Oax.).
Ojinaga (Chih.).
Ojitlán (Oax.).
Ojocaliente (Zac.).
Ojuelos (Jal.).
Ometepec (Gro.).
Orizaba (Ver.).
Otatitlan (Ver.).
Otumba (Méx.).
Ozuluama (Ver.).

Ozumba (Méx.). (𝼠𝼡𝼢𝼣)
Pachuca (Hgo.). (𝼣𝼤𝼥𝼦)
Pánuco (Sin.). (𝼣𝼡𝼭𝼮)
Pánuco (Ver.). (𝼣𝼡𝼭𝼮)
Panzacola (Tlax.). (𝼣𝼥𝼤𝼮𝼭𝼤)
Papantla (Ver.). (𝼣𝼣𝼥𝼭𝼤)
Paracho (Mich.). (𝼣𝼤𝼤𝼢𝼤)
Parián (Oax.). (𝼣𝼬𝼥𝼥)
Parral (𝼣𝼥𝼤𝼥)
Parras (Coah.). (𝼣𝼥𝼤𝼡)
Paso del Cura (Estn. Perez) (Ver.). (𝼣𝼬´𝼥𝼥´𝼥𝼤)
Paso del Macho (Ver.). (𝼣𝼬´𝼥𝼥´𝼢𝼤𝼮)
Pátzcuaro (Mich.). (𝼣𝼭𝼡𝼥𝼤𝼥)
Payo Obispo (Q. R.). (𝼣𝼮𝼤´𝼢𝼥𝼡𝼢)
Penjamo, (Estacion) (Gto) (𝼢𝼥𝼡𝼢)
Pénjamo (Gto.). (𝼢𝼥𝼡𝼢)
Peñón Blanco (Dgo.). (𝼢𝼥𝼢𝼥´𝼤𝼤𝼥𝼮)
Perote (Ver.). (𝼢𝼯𝼤)
Peto (Yuc.). (𝼢𝼭)
Pichucalco (Chis.). (𝼥𝼤𝼣𝼤𝼥𝼮)
Pilar de Conchos(Chih.).(𝼥𝼤𝼥´𝼮𝼥𝼤𝼮𝼡)
Pinos (Zac.). (𝼥𝼦𝼡)
Pinos Altos (Chih.). (𝼥𝼦𝼡´𝼤𝼥𝼭)
Pinotepa Nacional (Oax.). (𝼥𝼦𝼤𝼢´𝼣𝼮𝼣𝼥)
Playa Vicente (Ver.). (𝼤𝼤𝼣´𝼥𝼥𝼥𝼤)
Pluma Hidalgo (Oax.). (𝼤𝼥𝼢´𝼢𝼥𝼥𝼮)
Pochutla (Oax.). (𝼣𝼤𝼣𝼭𝼤)
Poncitlán (Jal.). (𝼣𝼥𝼥𝼭𝼤𝼥)
Progreso (Yuc.). (𝼤𝼯𝼥𝼥𝼦)
Puebla (Pue.). (𝼥𝼣𝼤𝼤)

Puente de Ixtla (Mor.). (𝼥𝼣𝼣𝼥𝼤´𝼤´𝼢𝼡𝼡𝼤)
Pungarabato (Mich.). (𝼤𝼥𝼥𝼤𝼢𝼭)
Purepero (Mich.). (𝼥𝼣𝼥𝼢𝼯)
Puruándiro (Mich.). (𝼤𝼥𝼤𝼥𝼥𝼯)
Putla (Oax.). (𝼤𝼭𝼤)
Queretaro (Qro.). (𝼥𝼣𝼥𝼡𝼯)
Quilá Sin. (𝼡𝼤𝼥𝼥)
Quiroga, (Mich.). (𝼡𝼥𝼡𝼥)
Rayón (S. L. P.). (𝼤𝼮𝼥)
Real del Monte (Hgo.). (𝼥𝼤𝼥𝼥´𝼥𝼥𝼥𝼤)
Reata (Coah.). (𝼥𝼤𝼡)
Refugio (S. L. P.). (𝼥𝼤𝼥𝼡)
Reynosa (Tam.). (𝼥𝼢𝼦𝼥)
Rincón Antonio Nuevo (Oax.). (𝼬𝼥𝼮𝼥´𝼤𝼥𝼥𝼭´𝼡𝼣𝼥𝼡)
Rincón de Romos (Ags.). (𝼬𝼥𝼮𝼥´𝼤´𝼯𝼢𝼡)
Rio Blanco (Ver.). (𝼬𝼡´𝼤𝼤𝼥𝼮)
Rio Grande (Zac.). (𝼬𝼡´𝼥𝼤𝼥𝼥)
Rio Verde (S. L. P.). (𝼬𝼡𝼢𝼥𝼥)
Rodeo (Dgo.). (𝼯𝼥𝼡)
Romita, (Gto.). (𝼯𝼤𝼡)
Rosales (Coah.). (𝼯𝼥𝼥𝼥)
Rosario (Sin.). (𝼯𝼥𝼬𝼡)
Sabinas (Coah.). (𝼥𝼥𝼥𝼡)
Sabinas Hidalgo (N. L.). (𝼥𝼥𝼥𝼡´𝼢𝼥𝼥𝼮)
Sacramento (Dgo.). (𝼥𝼥𝼤𝼡𝼥𝼥)
Sahuaripa (Son.). (𝼥𝼤𝼤𝼥𝼬𝼢)
Sahuayo (Mich.). (𝼥𝼤𝼤𝼥𝼮)
Sain Alto (Zac.). (𝼥𝼢𝼥´𝼤𝼥𝼥)
Salamanca (Gto.). (𝼥𝼤𝼤𝼥𝼥)
Salina Cruz (Oax.). (𝼥𝼬𝼥´𝼤𝼥𝼡)

Salinas del Peñón (S. V. P.). (𝼥𝼬𝼥𝼡´𝼥𝼥´𝼢𝼯𝼥𝼥)
Salinas Victoria (N.L.). (𝼥𝼬𝼥𝼡´𝼤𝼥𝼥𝼤𝼬𝼤)
Saltillo (Coah.). (𝼥𝼥𝼤𝼤𝼮)
Salto de Agua (Chis.). (𝼥𝼥𝼥´𝼤´𝼥𝼤)
Salvatierra (Gto.). (𝼥𝼥𝼢𝼤𝼤𝼥𝼤)
San Andrés de la Sierra (Dgo.). (𝼥𝼥´𝼤𝼥𝼥𝼥𝼥´𝼡𝼤´𝼥𝼤𝼥𝼤)
San Andrés Tuxtla (Ver.). (𝼥𝼥´𝼤𝼥𝼥𝼥𝼡´𝼥𝼡𝼤)
San Bartolo Naucalpam (Méx.). (𝼥𝼥´𝼢𝼥𝼥𝼮𝼮´𝼤𝼥𝼤𝼥𝼥𝼢)
San Blas (Tep.). (𝼥𝼥𝼤𝼤𝼡)
San Buenaventura (Chih.). (𝼥𝼥´𝼥𝼤𝼢𝼥𝼥𝼤)
San Buenaventura (Coah.). (𝼥𝼥´𝼣𝼤𝼢𝼢𝼥𝼤)
San Carlos (Tam.). (𝼥𝼥´𝼥𝼥𝼮𝼡)
San Ciro (S. L. P.). (𝼥𝼥´𝼥𝼮)
San Cristóbal Las Casas (Chis.). (𝼥𝼥´𝼥𝼬𝼡𝼥𝼢´𝼤𝼡´𝼥𝼥𝼡)
San Diego de la Union (Gto.). (𝼥𝼥´𝼥𝼤𝼤𝼮´𝼤´𝼤𝼯𝼥𝼥)
San Dimas (Dgo.). (𝼥𝼥´𝼥𝼢𝼡)
San Felipe (Gto.). (𝼥𝼥´𝼤𝼤𝼬𝼢)
San Felipe del Progresso (Méx.). (𝼥𝼥´𝼤𝼤𝼬𝼢´𝼥𝼥´𝼤𝼮𝼤𝼥𝼥)
San Fernando (Dgo.). (𝼥𝼥´𝼤𝼤𝼥𝼥𝼥𝼥)
San Fernando (Tam.). (𝼥𝼥´𝼤𝼤𝼥𝼥𝼥𝼥)
San Francisco de Apodaca (M. L.). (𝼥𝼥´𝼤𝼥𝼥𝼥𝼥´𝼥𝼥𝼥𝼥)

San Francisco de las Peñas (Ver.). (𝼥𝼥´𝼤𝼥𝼥𝼥´𝼥𝼥´𝼢𝼯𝼤𝼡)
San Francisco del Mezquital (Dgo.). (𝼥𝼥´𝼤𝼥𝼥𝼥𝼥´𝼥𝼥´𝼢𝼥𝼥𝼥𝼥)
San Francisco del Rincon (Gto.). (𝼥𝼥´𝼤𝼥𝼥𝼥𝼥´𝼥𝼥´𝼬𝼥𝼥)
San Gabriel (Dgo.). (𝼥𝼥´𝼥𝼤𝼬𝼤𝼥)
San Gabriel (Jal.). (𝼥𝼥´𝼥𝼤𝼬𝼤𝼥)
San Hipolito Soltepec (Pul.). (𝼥𝼥´𝼢𝼥𝼬´𝼥𝼥𝼤𝼢𝼥)
San Ignacio (Sin.). (𝼥𝼥´𝼢𝼤𝼥𝼥𝼥)
San Jerónimo (Oax.). (𝼥𝼥´𝼥𝼤𝼯𝼯𝼢)
San Jose acatens (Pue.). (𝼥𝼥´𝼥𝼥𝼢´𝼤𝼥𝼥𝼥𝼥)
San José de Gracia (Sin.). (𝼥𝼥´𝼥𝼥𝼢´𝼥´𝼥𝼥𝼥𝼤)
San José del Cabo (B. C.). (𝼥𝼥´𝼥𝼥𝼢´𝼥𝼥´𝼥𝼥)
San José Iturbide (Gto.). (𝼥𝼥´𝼥𝼥𝼢´𝼢𝼥𝼥𝼥𝼥)
San Juan Bautista (Tab.). (𝼥𝼥´𝼥𝼤𝼥´𝼥𝼥𝼤𝼥𝼥)
San Juan de Allende (Coah.). (𝼥𝼥´𝼥𝼤𝼥´𝼥´𝼤𝼢𝼥𝼥)
San Juan de Guadelupe (Ggo.). (𝼥𝼥´𝼤𝼤𝼥´𝼥´𝼥𝼥𝼥𝼢)
San Juan de los Lagos (Jal.). (𝼥𝼥´𝼤𝼤𝼥𝼥´𝼯𝼥´𝼥𝼤𝼥)
San Juan de los Llanos (Pue.). (𝼥𝼥´𝼤𝼤𝼥𝼥´𝼯𝼥´𝼢𝼤𝼥)
San Juan del Rio (Dgo.). (𝼥𝼥´𝼤𝼤𝼥´𝼥𝼥´𝼬𝼥)

San Juan Evangelista (Ver.). (𝼥𝼥´𝼤𝼤𝼥´𝼥𝼤𝼥𝼥𝼥𝼥𝼬𝼥𝼥)
San Juan Teotihuacan (Méx.). (𝼥𝼥´𝼤𝼤𝼥´𝼤𝼤𝼤𝼤𝼤𝼥)
San Luis de la paz (Gto.). (𝼥𝼥´𝼥𝼢𝼢´𝼥´𝼤´𝼢𝼥)
San Luis Potosi (S. L. P.). (𝼥𝼥´𝼥𝼢𝼢´𝼡𝼥𝼥)
San Luis Soyatlan (Jal.). (𝼥𝼥´𝼥𝼢𝼢´𝼥𝼤𝼥𝼤𝼥)
San Marcos (Jal.). (𝼥𝼥´𝼥𝼥𝼥𝼥)
San Marcos (Pue.). (𝼥𝼥´𝼥𝼥𝼥𝼥)
San Martin Texmelucan (Pue.). (𝼥𝼥´𝼥𝼥𝼥´𝼤𝼥𝼡𝼢𝼥𝼥𝼥)
San Miguel de Allende (Gto.). (𝼥𝼥´𝼥𝼥𝼥´𝼤´𝼢𝼢𝼥𝼥)
San Miguel del Mezquital (Zac.). (𝼥𝼥´𝼥𝼥𝼥𝼥´𝼥𝼥´𝼥𝼥𝼥𝼥)
San Pedro de las Colonias (Coah.). (𝼥𝼥´𝼢𝼥𝼥´𝼥´𝼤𝼥´𝼤𝼥𝼥𝼤𝼥)
San Salvador el Seco (Pue.). (𝼥𝼥´𝼥𝼥𝼢𝼥𝼥´𝼥𝼥´𝼥𝼥𝼥)
San Sebastian (Jal.). (𝼥𝼥´𝼥𝼢𝼢𝼥𝼤𝼥𝼥)
Santa Ana (Son.). (𝼥𝼥´𝼤𝼥)
Santa Ana Acatlán (Jal.). (𝼥𝼥´𝼤𝼥𝼤´𝼤𝼥𝼤𝼥𝼥)
Santa Bárbara (Chih.). (𝼥𝼥´𝼢𝼥𝼥𝼥𝼤)
Santa Bárbara de Ocampo (Tam.). (𝼥𝼥´𝼢𝼥𝼤´𝼥´𝼥𝼥𝼥𝼥)
Santa Catalina Tepehuanes (Dgo.). (𝼥𝼥´𝼥𝼥𝼥𝼤´𝼤𝼢𝼤𝼥𝼥)
Santa Cruz Bravo (Q. R.). (𝼥𝼥´𝼥𝼥𝼥´𝼤𝼤

Santa Cruz Rosales (Chih.). (𝼥𝼥´𝼥𝼥𝼥´𝼯𝼥𝼥𝼥)
Santa Eulalia (Chih.). (𝼥𝼥´𝼯𝼤𝼥𝼤)
Santa Inés Ahuatempam (Pue.). (𝼥𝼥´𝼢𝼥𝼢´𝼤𝼤𝼤𝼤𝼤𝼢𝼢)
Santa Lucrecia (Ver.). (𝼥𝼥´𝼥𝼥𝼥𝼥𝼥)
Santa Maria del Oro (Dgo.). (𝼥𝼥´𝼥𝼤´𝼥𝼥´𝼥𝼯)
Santa Meria del Rio (S. L. P.). (𝼥𝼥´𝼤𝼤𝼥𝼥𝼥)
Santander Jiménez (Tam.). (𝼥𝼥𝼥𝼥´𝼯𝼥𝼥𝼥)
Santa Rosa (Ver.). (𝼥𝼥´𝼯𝼥)
Santa Rosalia (B. C.). (𝼥𝼥´𝼯𝼥𝼤𝼥)
Santa Rosalia Camargo (Chih.). (𝼥𝼥´𝼯𝼥𝼤´𝼥𝼤𝼥𝼥𝼥)
Santiago Ixcuintla (Tep.). (𝼥𝼥𝼤𝼤´𝼢𝼥𝼥𝼤𝼥𝼥)
Santiago Papasquiaro (Dgo.). (𝼥𝼥𝼤𝼤´𝼥𝼥𝼥𝼥𝼤𝼯)
Santiago Tanguistango (Méx.). (𝼥𝼥𝼤𝼤´𝼥𝼥𝼥𝼥𝼥𝼥)
Santiago Tuxtla (Ver.). (𝼥𝼥𝼤𝼤´𝼥𝼥𝼥𝼥𝼤)
Sayula (Jal.). (𝼥𝼥𝼤)
Sierra Mojada (Coah.). (𝼥𝼥𝼥´𝼥𝼥𝼥)
Silacayoapam (Oax.). (𝼥𝼤𝼥𝼯𝼤´𝼥𝼥)
Silao (Gto.). (𝼥𝼥𝼥)
Sinaloa (Sin.). (𝼥𝼤𝼯𝼤)
Soledad de Doblado (Ver.). (𝼥𝼥𝼥´𝼥´𝼤𝼤𝼥)
Soltepec (Tlax.). (𝼥𝼥𝼤𝼢𝼥)

Sombrerete (Zac.).
Sotuta (Yuc.).
Soyapa (Son.).
Sultepec (Méx.).
Tacambaro de Codallos(Mich.).
Tacubaya D. F.
Tajimaroa (Mich.).
Talpa (Jal.).
Tamazula (Dgo.).
Tamazula de Gordiano (Jal.).
Tamazunchale (S. L. P.).
Tampico (Tam.).
Tancanhuitz (S. L. P.).
Tancitaro (Mich.).
Tantoyuca (Ver.).
Tapachula (Chis.).
Tapalpa (Jal.).
Tapanatepec (Oax.).
Tarandacuao (Gto.).
Taretan (Mich.).
Taxco (Gro.).
Tecamachalco (Pue.).
Tecolotlán (Jal.).
Tecozantla (Hgo.).
Tecpan de Galeana (Gro.).
Tehuacan (Pue.).
Tehuantepec (Oax.).
Tejupilco (Méx.). (Méx.).
Tekax (Yuc.).

Teloloapam (Gro.).
Temaxcaltepec (Méx.).
Temosáchic, (Chih)
Tenancingo (Méx.).
Tenango de Doria (Hgo.).
Tenango del Valle (Méx.).
Tenosique (Tab.).
Teocaltiche (Jal.).
Teocelo de Diaz (Ver.).
Teocuitatlán (Jal.).
Teotitlán del Camino (Oax.).
Tepatitlán (Jal.).
Tepeaca (Pue.).
Tepeji del Rio (Hgo.).
Tepeji de Rodriguez (Pue.).
Tepezalá (Ags.).
Tepic (Tep.).
Tepisquiapam (Qro.).
Teposcolula (Oax.).
Tequila (Jal.).
Tetecala (Jal.).
Tetela (Jal.).
Texcoco (Méx.).
Teziutlán (Pue.).
Ticul (Yuc.).
Tierra Blanca (Ver.).
Tijuana (B. C.).
Tingüindin (Mich.).
Tixtla (Gro.).

Tixayuca (Hgo.).
Tizimin (Yuc.).
Tlacotalpam (Ver.).
Tlacotepec (Pue.).
Tlahualilo de Zaragoza (Dgo.).
Tlalixcoyan (Ver.).
Tlalnepantla (Méx.).
Tlalpujaha (Mich.).
Tlaltenango (Sanchez Roman)(Zac.).
Tlaltizapam (Mor.).
Tlapa (Gro.).
Tlapacoyam (Ver.).
Tlatlanqui (Pue.).
Tlaxcala (Tlax.).
Tlaxco (Tlax.).
Tlaxiaco (Oax.).
Toliman (Qro.).
Toluca (Méx.).
Tonalá (Chis.).
Tonila (Jal.).
Topia (Dgo.).
Topolohampo (Sin.).
Torin (Son.).
Torréon (Coah.).
Torres (Son.).
Triunfo (B. C.).
Tula (Hgo.).
Tula de Tamaulipas (Tam.).
Tulancingo (Hgo.).

Tuxpam (Tep.).
Tuxpam (Ver.).
Tuxtepec (Oax.).
Tuxtla Cuttiérrez (Chis.).
Union de San Antonio(Jal.).
Union de Tula (Jal.).
Ures (Son).
Urique (Chih.).
Uruachic (Chih.).
Uruapam (Mich.).
Valladolid (Yuc.).
Valle de Bravo (Méx.).
Valle de Santiago(Gto.).
Valparaiso (Zac.).
Velardena (Dgo.).
Venado (S. L. P.).
Veracruz (Ver.).
Villa Aldama (N. L.).
Villa Alta (Oax.).
Villa de Fuente (Coah.).
Villa de Reyes (S. L. P.).
Villa de Viezca (Coah.).
Villa Garcia (N. L.).
Villanueva (Zac.).
Villa Unión (Sin.).
Xcalak (Q. R.).
Xicotencatl (Tam.).
Xochimilco (Succursale) (D. F.).
Yautepec (Mor.).

Yurécuaro (Mich.).
Yuriria (Gto.).
Zacapaxtla (Pue.).
Zacapú, (Mich)
Zacatecas (Zac.).
Zacatlán (Pue.).
Zacoalco (Jal.).
Zacualpam (Méx.).
Zacualtipam (Hgo.).
Zamora (Mich.).
Zapotiltic (Jal.).
Zaragoza (Coah.).
Zimapam (Hgo.).
Zinapecuaro (Mich.).
Zitacuaro (Mich.).
Zongolica (Ver.).
Zumpango (Méx.).

❽ 玖巴共和國ニ於ケル小包郵便物取扱地

明治三十九年九月十二日

玖巴共和國ニ於ケル小包郵便物取扱ヲ左ノ如シ

*Abreus (St. Cl)
Agramonte (Ma)
*Aguacate (Ha)
Aguada de Pasajeros (St. Cl)
Aguica (Ma)
Ajuria (St. Cl)
*Alacranes (Ma)
*Alquizar (Ha)
Altamisal (Ma)

Amarillas (Ma)
Arriete (St. Cl)
Arroyos de Mantua (Pi)
Arroyo Naranjo (Ha)
*Artemisa (Pi)
Auras (Or)
Bahia Honda (Pi)
Bainoa (Ha)
Banaguises (Ma)
*Banos (Or)
*Baracoa (Or)
Baró (Ma)
*Batabanó (Ha)
*Bejucal (Ha)
*Bolondrón (Ma)
Cabañas (Pi)
*Caibarien (St. Cl)
*Caimanera (Or)
Caimito (Pi)
Calabazar (Ha)
*Calabazar de Sagua (St. Cl)
Calimete (Ma)
Calvario (Ha)
*Camaguey (Ca)
*Camajuaní (St. Cl)
Campechuela (Or)
Campo Florido (Ha)
Cañas (Pi)
Candelaria (Pi)
Cano (Ha)

Carahatas (St. Cl)
*Cardonas (Ma)
Cartagena (St. Cl)
Casanovia (Ha)
*Cascajal (St. Cl)
Casilda (St. Cl)
Castillo de Jagua (St. Cl)
Catalina de Guines (Ha)
Ceiba del Agua (Ha)
Ceiba Mocha (Ma)
Céspedes (Ma)
Cidra (Ma)
*Ciego de Avila (Ca)
*Cienfuegos (St. Cl)
*Cifuentes (St. Cl)
Cimarrones (Ma)
Coliseo (Ma)
*Colón (Ma)
Congojas (St. Cl)
*Consolacion del Sur (Pi)
Constancia (St. Cl)
Coronel Vergera (St. Cl)
*Cortés (Pi)
*Cristo (Or)
*Cruces (St. Cl)
*Daiquiri (Or)
*Dimas (Pi)
Dos Caminos (Or)
Echeverria (Ma)
Empalme (Ma)
*Encrucijada (St. Cl)
Esles (St. Cl)
*Esperanza (St. Cl)
Gabriel (Ha)
*Gibara (Or)
Guanábana (Ma)
*Gunabacoa (Ha)
*Guanajay (Pi)
*Guantánamo (Or)
*Guara (Ha)
Guareiras (Ma)
Guasimal (St. Cl)
Guayabales (St. Cl).
*Guines (Ha)
Guira de Macrijes (Ma)
*Guira de Melena (Ha)
*Habana (Ha)
Hato Nuevo (Ma)
Hatuey (St. Cl)
Herradura (Pi)
*Holguin (Or)
*Hormiguero (St. Cl)
Hoyo Colorado (Ha)
Jaguey Chico (St. Cl)
*Jaguey Grande (Ma)
Jamaica (Or)
*Jaruco (Ha)
*Jicotea (St. Cl)
*Jovellanos (Ma)
Isabel (Ma)
*Isabela de Sagua (St. Cl)
Itabo (Ma)
La Fé (Pi)
Limonar (Ma)
Macagua (Ma)
*Madruga (Ha)
Manacas (St. Cl)
Managua (Ha)
Mangas (Pi)
Manguito (Ma)
*Manzanillo (Or)
*Mariano (Ha)
Mariel (Pi)
Mata (St. Cl)
*Matanzas (Ma)
*Máximo Gomez (Ma)
*Mayarí (Or)
Mazorra (Ha)
Media Luna (Or)
Melena del Sur (Ha)
*Minas (Ca)
Minas de Guanabacoa (Ha)
Mordazo (Ca)
*Morón (Ca)
Murga (Ma)
Navajas (Ma)
Niquero (Or)
*Nueva Gerona (Ipu)
*Nuevitas (Ca)
Ovas (Pi)
*Palacios (Pi)

Palenque de Guines (Ha)
*Palmira (St. Cl)
Palos (Ha)
Paradero de Camarones (St. Cl)
Paredes (St. Cl)
Paso Real de San Diego (Pi)
*Pedro Betancourt (Ma)
Pedroso (Ma)
*Perico (Ma)
*Pinar del Rio (Pi)
*Placetas (St. Cl)
Pozo Redondo (Ha)
Pueblo Nuevo (St. Cl)
*Puentes Grandes (Ha)
Puerta de Golpe (Pi)
*Puerto Padre (Or)
Punta Brava (Ha)
Quinta (St. Cl)
Quivicán (Ha)
*Ranchuelo (St. Cl)
*Real Campiña (St. Cl)
*Regla (Ha)
*Remedios (St. Cl)
Rincon (St. Cl)
Rio Seco (Ha)
*Rodas (St. Cl)
Rodrigo (St. Cl)
Rojas (St. Cl)
Sabanilla del Encomendador (Ma)
*Sagua de Tánamo (Or)
*Sagua la Grande (St. Cl)
Salamanca (St. Cl)
*Sancti Spiritus (St. Cl)
San Agustin (St. Cl)
*San Antonio de los Baños (Ha)
San Cayetano (Pi)
*San Cristobal (Pi)
*Santa Clara (St. Cl)
Santo Cristo de la Salud (Ha)
*Santa Cruz del Sur (Ca)
*Santo Domingo (St. Cl)
San Felipe (Ha)
San Francisco de Paula (Ha)
San José (St. Cl)
San José de las Lajas (Ha)
*San Jose de los Ramos (Ma)
*Santa Isabel de las Lajas (St. Cl)
*San Juan y Martinez (Pi)
*San Luis (Or)
*San Luis (Pi)
Santa Maria del Rosario (Ha)
*San Nicolas (Ha)
San Pedro Mayabón (Ma)
*Santiago (Or)
*Santiago de las Vegas (Ha)
Siticcito (St. Cl)
Sitio Grande (St. Cl)
Songo (Or)
Taco-Taco (Pi)
Tagnaybón (St. Cl)
Tahón (St. Cl)
Torriente (Ma)
*Trinidad (St. Cl)
*Tunas de Zaza (St. Cl)
*Union de Reyes (Ma)
Vega Alta (St. Cl)
Vega de Palmas (St. Cl)
Vegas (Ha)
Vieja Bermeja (Ma)
Vinas (St. Cl)
*Vueltas (St. Cl)
Yaguaramas (St. Cl)
*Zulueta (St. Cl)

附註　假名綴ノ上ニ小包ト記載シタル場所ハ
ヘ出張ス

●支那洲諸邦郵政ト小包郵便物交換ニ關スル約款

勅令第三十九號
明治三十九年十一月二日

朕帝國遞信省及濠洲聯邦郵政廳間小包郵便物交換ニ關スル約定ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

日本帝國遞信省及濠洲聯邦郵政廳間小包郵便物交換ニ關スル約定

日本帝國遞信省竝ニ濠洲聯邦郵政廳ハ日本帝國及濠洲聯邦間ニ保險ニ付セサル小包ノ常時交換ヲ施行スルコトヲ約定ス

左ノ諸規定ハ日本帝國及濠洲聯邦間ニ直接ニ交換スル小包ノミナラス兩國中ノ一國ヲ經由シ他ノ一國ニ發著スル小包ニモ一般ニ適用セラルヘシ

第一條

小包ハ日本帝國ヨリ濠洲聯邦ヘ重量一貫三百二十匁マテ及濠洲聯邦ヨリ日本ヘ重量十一英封度マテ小包郵便ニ依リ之ヲ發送スルコトヲ得

第二條

第一項　兩郵政廳ハ各自小包郵便ノ關係ヲ有スル國ニ發著スル小包ニ對シ其ノ邦疆內ヲ通シテ繼越遞送ノ權利ヲ確保ス

第二項　關係郵政廳間ニ何等反對ノ約定ナキトキハ前項ニ依リ交換スル小包ノ遞送ハ開鎖ニテ之ヲ爲スモノトス

第三條

小包ノ郵便料ハ前納ニ限ル但シ再發小包ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條

第一項　差出國郵政廳ハ名宛國郵政廳ニ同廳ノ陸路郵便料及同廳ニ於テ海遞ヲ擔當スルトキハ海路郵便料ヲ支拂フヘシ右郵便料ハ左表ニ從ヒ計算スルモノトス

(甲)日本帝國發濠洲聯邦宛ノ小包

	日本帝國陸路料	日本帝國及濠洲聯邦間海路料	濠洲聯邦陸路料	合計
三百六十匁(三封度)ヲ超過セサルモノ	法山 五〇	五〇	一、〇〇	二、〇〇
三百六十匁(三封度)ヲ超過シ八百四十匁(七封度)ヲ超過セサルモノ	法山 一、〇〇	一、二五	二、〇〇	四、二五
八百四十匁(七封度)ヲ超過シ一貫三百二十匁(十一封度)ヲ超過セサルモノ	法山 一、五〇	二、〇〇	三、〇〇	六、五〇

(乙)濠洲聯邦發日本帝國宛ノ小包

	濠洲聯邦陸路料	濠洲聯邦及日本帝國間海路料	日本帝國陸路料	合計
一封度(百二十匁)ヲ超過セサルモノ	法山 七〇	五〇	五〇	一、七〇
一封度(百二十匁)ヲ超過シ二封度(二百四十匁)ヲ超過セサルモノ	法山 一、〇〇	五〇	五〇	二、〇〇
二封度(二百四十匁)ヲ超過シ三封度(三百六十匁)ヲ超過セサルモノ	法山 一、三〇	五〇	五〇	二、三〇
三封度(三百六十匁)ヲ超過シ四封度(四百八十匁)ヲ超過セサルモノ	法山 一、六〇	一、二五	一、〇〇	三、八五
四封度(四百八十匁)ヲ超過シ五封度(六百匁)ヲ超過セサルモノ	法山 一、九〇	一、二五	一、〇〇	四、一五
五封度(六百匁)ヲ超過シ六封度(七百二十匁)ヲ超過セサルモノ	法山 二、二〇	一、二五	一、〇〇	四、四五
六封度(七百二十匁)ヲ超過シ七封度(八百四十匁)ヲ超過セサルモノ	法山 二、五〇	一、二五	一、〇〇	四、七五
七封度(八百四十匁)ヲ超過シ八封度(九百六十匁)ヲ超過セサルモノ	法山 二、八〇	二、〇〇	一、五〇	六、三〇
八封度(九百六十匁)ヲ超過シ九封度(一貫八十匁)ヲ超過セサルモノ	法山 三、一〇	二、〇〇	一、五〇	六、六〇
九封度(一貫八十匁)ヲ超過シ十封度(一貫二百匁)ヲ超過セサルモノ	法山 三、四〇	二、〇〇	一、五〇	六、九〇
十封度(一貫二百匁)ヲ超過シ十一封度(一貫三百二十匁)ヲ超過セサルモノ	法山 三、七〇	二、〇〇	一、五〇	七、二〇

第二項　差出人ヨリ徵收スヘキ金額ハ前項ニ於テ算出シタル合計ニ基キ之ヲ定ムヘシ然レトモ各郵政廳ハ郵便料ヲ定ムルニ方リ自國通貨ニ於テ便利ナル最近額ヲ採用スルノ自由ヲ有ス

第五條

小包ノ差出人ハ二十五山ヲ超過セサル一定ノ料金ヲ前納スルトキハ到達證ヲ受收スルコトヲ得右料金ハ差出人到達證ヲ受收スル爲特別料金ヲ納付セスシテ小包ヲ差出シタル後其ノ際跡取調ヲ請求スル場合ニモ之ヲ適用スルコトヲ得此ノ料金ハ全部差出國郵政廳ノ所得ニ歸スルモノトス

第六條

兩約定國ノ一方ニ於テ差出シ若ハ繼越シ他方ヲ經テ遞送スル小包ノ場合ニ於テハ中介國郵政廳ハ相互ニ送付スヘキ表ニ從ヒ此ノ小包ノ遞送ニ對シ同廳ニ對スヘキ金額ヲ他方ノ郵政廳ヨリ收得スルモノトス

第七條

名宛國郵政廳ハ小包ノ配達及稅關ニ於ケル手續執行ニ對シ小包各箇ニ付二十五山ヲ超過セサル料金ヲ名宛人ヨリ徵收スルコトヲ得

第八條

本約定ニ依ル小包ニ付テハ本約定ノ諸條款ニ規定スルモノノ外何等ノ郵便料金ヲ徵收スルコトヲ得ス

第九條

約定國ノ一方ヨリ他方ヘノ小包ノ轉送竝ニ不能配達小包ノ返送ニ對シテハ第四條ニ定ムル料金ニ基ク追加料金ヲ場合ニ從ヒ名宛人若ハ差出人ヨリ徵收スヘシ倉敷ニ對シテモ亦追加料金ヲ徵收スルコトヲ得

第十條

第一項　左記ノ小包ハ之ヲ郵送スルコトヲ禁ス

(甲)信書若ハ信書ノ性質ヲ有スル通信文、生活動物(適當ニ構造シタル箱ニ納メタル蜜蜂ヲ除ク)又ハ一方ノ稅關其ノ他ノ法令ニ依リ輸出入ヲ許ササル物品ヲ包有スル小包

(然レトモ小包ハ最簡單ナル無封ノ送狀ヲ包有スルコトヲ得)

(乙)爆發性若ハ燃燒性ノ物品及一般ニ遞送上危險ナル物品ヲ包有スル小包

第二項　正貨、金若ハ銀ヲ以テ製造シタル物品其ノ他貴重品ヲ約定國ノ一方ヨリ他方ニ送付スルコトモ亦之ヲ禁止ス

第三項　此等ノ禁制ニ牴觸スル小包ヲ一郵政廳ヨリ他ノ郵政廳ニ送遞シタルトキハ之カ送遞ヲ受ケタル郵政廳ハ其ノ國ノ法律若ハ內國規則ニ規定シタル方法及方式ニ依リ之ヲ處分スヘシ

第四項　兩郵政廳ハ相互ニ禁制品ノ目錄ヲ送付スヘシ然レトモ兩郵政廳ハ之カ爲警察、稅關若ハ小包ノ差出人ニ對シ何等ノ責ニ任セサルモノトス

第十一條

兩締盟國ノ郵政廳ハ小包ノ亡失若ハ毀損ニ對シ其ノ責ニ任セス然レトモ各郵政廳ハ自國ノ邦疆內ニ於テ亡失若ハ毀損シタル小包ノ差出人ニ對シ賠償ヲ爲スノ自由ヲ有ス

第十二條

兩國間ニ交換スル小包郵便物ノ容器ノ費用ハ兩郵政廳ニ於テ等分ニ負擔スヘシ

第十三條

各郵政廳ハ小包郵便ヲ停止スルヲ至當ナリトスル非常ノ場合ニ於テハ一時其ノ全部又ハ一部ヲ停止スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ直ニ他ノ關係郵政廳ニ通知スルモノトス必要ナルトキハ電信ニ依ル

第十四條

第一項　本約定中ノ諸條款ニ規定セサル各事項ニ關シテハ日本帝國及濠洲聯邦ノ內國法制ヲ適用スヘシ

第二項　兩郵政廳ハ小包郵便ニ依ル小包ノ遞送ニ適用スヘキ其ノ國ノ法令ノ規定ヲ隨時相互ニ通知スヘシ

第十五條

兩郵政廳ハ小包ノ國際交換ニ加入セシムル郵便局若ハ場方ヲ指定シ此ノ小包ノ遞送方法ヲ定メ其ノ他本約定ノ實施ヲ確實ニスル爲必要ナル一切ノ細目手續ヲ定ムヘシ

第十六條

本約定ハ兩郵政廳ニ於テ協議ヲ以テ決定スヘキ日ヨリ之ヲ施行シ兩廳ノ一方ヨリ一箇年前豫告スルトキハ其ノ效力ヲ失フ

本書二通ヲ作成シ千九百六年四月二十四日濠洲「メルボルン」ニ於テ及明治三十九年(千九百六年)十月二十九日日本東京ニ於テ署名ス

日本帝國遞信大臣　山縣伊三郎

濠洲聯邦郵政長官代理サアトルトン、アーネスト、アルーム

●濠洲聯邦郵政廳ト小包郵便物交換ニ關スル約定施行細則

明治三十九年十二月十九日
遞信省告示第五百八十號

本年十一月八日勅令ヲ以テ公布セラレタル日本帝國遞信省及濠洲聯邦郵政廳間小包郵便物交換ニ關スル約定ノ施行細則左ノ如シ

日本帝國遞信省及濠洲聯邦郵政廳間ニ締結セル小包郵便物交換ニ關スル約定施行細則

第一條

第一項　日本帝國及濠洲聯邦ニ於ケル閉鎖郵便ニ依ル小包ノ交換ハ兩國間ノ直接海遞ニ依リ之ヲ施行スヘシ

第二項　兩郵政廳ハ各自小包郵便交換局ヲ指定シ相互ニ之ヲ通知スヘシ

第二條

第一項　兩郵政廳ハ同廳其ノ他ノ保持スル定期海遞ノ何レカ小包ノ遞送ニ充用シ得ヘキヤヲ相互ニ通知スヘシ

第二項　兩郵政廳ハ關係諸國ト豫メ協議ヲ遂ケタル上相互ニ左ノ條件ヲ通知スヘシ

(甲)兩廳ニ於テ各自小包ノ遞送ニ對シ媒介ヲ爲シ得ル國名

(乙)其ノ邦疆ニ入リ若ハ其ノ管掌ニ屬スル場所ヨリ該小包ノ遞送ニ充テ得ヘキ線路

(丙)小包ヲ託スル郵政廳ニ於テ名宛地ニ之カ爲支拂フヘキ料金ノ總額

第三項　此ノ通知ニ依リ郵政廳ハ其ノ小包ノ遞送ニ充用スヘキ線路及差出人ヨリ徵收スヘキ郵便料ヲ定ムルモノトス

第三條

日本帝國ニ於テ濠洲聯邦ニ宛テ差出ス小包ハ長三尺五寸、長及横周ヲ合シ六尺ヲ超過スヘカラス又濠洲聯邦ニ於テ日本帝國ニ宛テ差出ス小包ハ長英尺三呎六吋、長及横周ヲ合シ六呎ヲ超過スヘカラス

第四條

第一項　小包ハ名宛人ノ正確ナル名宛ヲ有スルニアラサレハ小包郵便ニ依ル遞送ノ爲之ヲ引受クヘカラス

第二項　各小包ハ遞送ノ距離ニ應シ且其ノ包有品ヲ保護スルニ充分ナル樣包裝スルヲ要ス包裝ハ加害ノ明瞭ナル痕跡ヲ留ムルニアラサレハ其ノ包有品ニ觸ルル能ハサル樣之ヲ爲スヘシ

第三項　各小包ハ封蠟、封鉛其ノ他ノ方法ヲ以テ之ヲ封緘シ差出人ノ特殊ノ印影若ハ記號ヲ附スヘシ

第四項　流動物及溶解シ易キ物品ハ二重ノ容器ニ納メテ發送スルヲ要ス第一容器(壜、フラスコ、壺、箱等)ト第二容器(金屬製若ハ堅牢ナル木製ノ箱)トノ間ニハ出來得ル限リ空隙ヲ設ケ鋸屑、糠其ノ他吸收性ノ物品ヲ以テ之ヲ塡充スヘシ

第五條

第一項　各小包ニハ附錄第一號及第二號雛形ニ適合若ハ類似スル送狀及稅關告知書ヲ添附スルヲ要ス兩郵政廳ハ名宛國ニ所要ノ稅關告知書ノ枚數ヲ相互ニ通知スヘシ

第二項　同一ノ差出人ヨリ同一ノ名宛人ニ送付スル二箇若ハ三箇マテノ小包ニ對シテハ一枚ノ送狀及稅關法ニ依リ許可セラルルトキハ一枚ノ稅關告知書ヲ使用スルコトヲ得

第三項　納付シタル郵便料ノ金額ハ送狀ニ貼附スル郵便切手ニ依リ表彰セラレサルトキハ之ヲ送狀ニ記載スルコトヲ要ス

第四項　郵政廳ハ稅關告知書ノ正否ニ付テハ一切其ノ責ニ任セス

第六條

第一項　各小包竝ニ之ニ關スル送狀ニハ登記番號及差出局名ヲ指示スル附錄第三號雛形ニ適合若ハ類似スル票符ヲ貼附スルヲ要ス

第二項　送狀ニハ尙差出局ニ於テ其ノ名宛記載面ニ差出地名及差出日附ヲ指示スル印章ヲ押捺スヘシ

第七條

小包ノ細項ハ差立交換局ニ於テ本細則附錄第四號雛形ニ適合スル小包目錄ニ之ヲ式ノ如ク記入スヘシ送狀、稅關告知書及到達證アルトキハ到達證ハ之ヲ小包目錄ニ確ト添附スヘシ

第八條

第一項　小包ノ到達證ヲ請求スルモノアルトキハ差出局ハ該小包ニ「Avis de Réception」(到達證)ナル文字ヲ明瞭ニ記載シ若ハ A.R. ナル文字ノ印章ヲ押捺ス

第二項　到達證ハ差出局若ハ差立國郵政廳ノ指定スル他ノ郵便局ニ於テ附錄第五號雛形ニ適合若ハ類似スル式紙ヲ以テ之ヲ作成スルモノトス若シ到達證名宛局ニ到着セサルトキハ同局ハ新到達證ヲ作成ス

第三項　名宛局ハ右式紙ニ相當記入シタル後之ヲ直接ニ若ハ交換局ヲ經由シテ差出局ニ返送シ差出局ハ之ヲ小包ノ差出人ニ交付ス

第四項　小包差出ノ後差出人其ノ到達證ヲ請求スルトキハ差出局ハ到達證ノ式紙ニ小包ニ關スル正確ノ記載(差出局、差出日附、番號、名宛)ヲ爲ス右式紙ニハ該小包ヲ關係郵政廳ノ交換局ニ送達シタル便名ヲ記載シ之ヲ受取交換局ニ送付スルモノトス名宛局ハ該式紙ヲ完成シ第三項ニ規定スル方法ニ依リ之ヲ差出局ニ返送ス

第五項　差出ノ際差出人ニ於テ正當ニ請求セル到達證ニシテ相當期間經過ノ後差出局ニ歸着セサルトキハ第四項ニ定ムル手續ニ從ヒ不着ノ到達證ニ對シ取調ヲナスモノトス差出局ハ到達證式紙ノ頭部ニ「Réclamation de l'avis de Réception, etc.」(到達證請求云々)ト記載ス

第九條

第一項　受取交換局ハ小包目錄受領ノ上小包及目錄ニ記入シアル各種ノ書類ヲ點查シ必要ナルトキハ不濟若ハ違例ハ之ヲ附錄第六號雛形ニ適合スル點檢狀ヲ以テ通報スヘシ

第二項　貨高及計算ニ相違アルトキハ點檢狀ヲ以テ之ヲ差出局ニ通知スヘシ承認濟ノ點檢狀ハ關係小包目錄ニ之ヲ添附スヘシ證據書類ニ依リ證明セラレサル訂正ハ之ヲ許サス

第十條

第一項　誤達小包ハ再發郵政廳ヨリ最速達ノ線路ニ依リ其ノ名宛地ニ發送スヘシ若シ此ノ再發ニ依リ差出國郵政廳ニ小包ヲ返還スルニ至リタルトキハ該郵政廳ノ小包目錄ニ記入シアル收得額ハ之ヲ抹殺シ再發交換局ハ小包ヲ單ニ小包目錄ニ記入シテ差立交換局ニ返送スヘシ其ノ誤謬ニ付テハ點檢狀ヲ以テ注意ヲ促スヘシ

第二項　其ノ他ノ場合ニ於テ再發郵政廳ノ收得額カ同廳ノ支辨スヘキ再發ノ費用ヲ償フニ足ラサルトキハ再發郵政廳ハ差立交換局ノ小包目錄ニ記入シアル自國ノ收得額ヲ増加シテ其ノ不足額ヲ補フヘシ此ノ訂正ノ事由ハ點檢狀ヲ以テ同交換局ニ通知スヘシ

第三項　日本帝國及濠洲聯邦間ノ小包郵便ニ關係ヲ有スル一國ニ轉送スル小包ニ付テハ配達郵政廳ハ自廳、再發郵政廳及媒介郵政廳アルトキハ各媒介郵政廳ニ歸スヘキ金額ニ相當スル料金ヲ名宛人ヨリ徵收スルモノトス

第四項　再發小包ヲ發送スル各郵政廳ハ該小包ノ遞送ニ對シ收得スヘキ金額ヲ小包目錄ニ記入シテ請求スヘシ

第五項　然レトモ再發小包ノ遞送ニ對シ徵收スヘキ金額ヲ其ノ再發ノ際支拂フトキハ該小包ハ再發國ヨリ直接ニ名宛國ニ宛テタルモノト同樣ニ之ヲ取扱ヒ何等ノ郵便料金ヲ名宛人ヨリ徵收スルコトナク配達スヘシ

第六項　配達シ能ハサル小包ニ付テハ其ノ處分方ヲ差出人ニ問合スヘシ

第七項　問合書ヲ發送シタル後六箇月以內ニ名宛局ニ於テ差出人ヨリ回答ヲ受領セサルトキハ小包ハ之ヲ差出局ニ返送スヘシ

第八項　然レトモ損壞又ハ腐敗ノ虞アル物品ニ限リ豫告若ハ法律上ノ手續ヲナサス直ニ利害者ノ利益ノ爲ニ之ヲ賣却スルコトヲ得其ノ賣却ニ付テハ調書ヲ作成スヘシ賣却ニ依リ得タル金額ハ先ツ之ヲ其ノ小包ニ關スル費用ニ充テ過剩アルトキハ其ノ過剩額ハ差出人ニ交付スル爲之ヲ差出局ニ送付スヘシ理由ノ如何ヲ問ハス賣却スルコト能ハサルトキハ破損シタル若ハ價値ナキ物品ハ之ヲ棄却シ又ハ國庫ニ歸屬セシムルモノトス

第九項　差出國ニ返送スヘキ小包ハ之ヲ小包目錄ニ登記シ其ノ附註欄ニ「Rebut.」(不能配達)ナル文字ヲ附記スヘシ
該小包ハ之ヲ再發小包ト同樣ニ取扱ヒ且之ニ對シ同一ノ郵便料ヲ再徵收スヘシ

第十項　小包ノ名宛人カ日本帝國及濠洲聯邦間ノ小包郵便ニ關係ヲ有セサル一國ニ向ケ出發シタルトキハ該小包ハ第一名宛國郵政廳ニ於テ名宛人ニ送付シ得ルニアラサレハ不能配達ノモノトシテ之ヲ取扱フヘシ

第十一項　小包差出國ニ返送スヘキ若ハ第三國ニ再發スヘキ小包ニ對スル關稅ハ日本帝國及濠洲聯邦ノ孰レニ於テモ取消サルヘシ但シ約定第九條ノ規定ニハ從フヘキモノトス

第十一條

第一項　各郵政廳ハ其ノ各交換局ヲシテ他廳ノ交換局ヨリ受取リタル總テノ郵便物ニ對シ各小包目錄中貸方ト借方トニ記入シアル金額ニ關シ本細則附錄第七號雛形ニ適合スル貸借表ヲ三箇月每ニ作成セシムヘシ

第二項　第七號貸借表ハ同郵政廳ニ於テ後日本細則附錄第八號雛形ニ適合スル計算書ニ之ヲ集記スヘシ

第三項　此ノ計算書ハ第七號貸借表、小包目錄及之ニ關スル點檢狀アルトキハ點檢狀ヲ添附シ次期ノ三箇月間內ニ之ヲ他ノ郵政廳ノ檢査ニ供スヘシ

第四項　每三箇月計算書ハ雙方ニ於テ審査承認ノ上貸越郵政廳ニ於テ之ヲ半年次總計算書ニ集記スヘシ

第五項　兩郵政廳間ニ於テ此レ等ノ計算書ノ差引ヨリ生スル支拂ハ別ニ協定セサルトキハ借越郵政廳ニ於テ倫敦、巴里又ハ貸越國ノ首府又ハ商業地ニ振宛テタル爲替ヲ以テ之ヲ爲スヘシ右支拂ニ伴フ費用ハ借越郵政廳ノ負擔トス

第六項　計算書ノ作成、送付及支拂ハ成ルヘク速ニ之ヲ爲スヘシ遲クモ翌年ヲ經過スヘカラス

第十二條

本細則ハ約定實施ノ日ヨリ之ヲ施行シ約定ト有效期間ヲ同ウス然レトモ關係郵政廳ハ協議ヲ以テ隨時細目ヲ修正スルコトヲ得

明治三十九年十二月十四日東京ニ於テ及千九百六年十月九日「メルボルン」ニ於テ本書二通ヲ作成ス

日本帝國遞信大臣　山縣伊三郎

濠洲聯邦郵政長官　オースチン、チャップマン

附錄雛形

第一號

送狀通知劵

差出局日附印

送狀

左記各宛ノ小包箇數

稅關告知書ノ枚數

名宛地……

郵便切手貼附若ハ徵收セシ郵便料金指示ノ欄

差出人ノ宿所

氏名

……殿

重量

遞送線路

第二號

税關告知書

差出地……ニ於テ

……殿

名宛地……

小包郵便物 箇數	小包郵便物 種類	包有品ノ記載	價格	重量 全量	重量 正味

年　月　日……ニ於テ

差出人……

第三號

東京　第五七號
東京　第五七號

第四號

……及……間ノ事務

交換局ヨリ……交換局ニ發送セル小包郵便物ノ目録

千九百……年……月……日午（前・後）……時……分……發

千九百……年……月……日午（前・後）……時……分……着

番號		一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
番號	逐次												
	登記												
局名	差出												
	名宛												
員數	小包郵便物												
	送狀												
	税關告知書												
郵便料及諸料金	差立國ニ於テ名宛國ヨリ支拂フヘキ												
	名宛國ニ於テ差立國ヨリ支拂フヘキ												
附註													
合計													

差立局吏員……

名宛局吏員……

第五號

……郵政廳

千九百……年……月……日……郵便局ニ於テ引受タル第……號

（一）……地……殿ニ宛テタル小包郵便物ノ到達證

下名ハ……發前掲名宛ノ小包郵便物ハ千九百……年……月……日正ニ配達セラレタルコトヲ宣言ス

名宛人　署　名（二）……

配達郵便局長　署　名（二）……

配達局印

第六號

……郵政廳

日附印

（一）差出局、差出日附、登記番號ヲ記載スヘシ

（二）此ノ到達證ハ名宛人若ハ名宛國ノ規則ニ許可セラルルトキハ配達局長署名ノ上之ヲ封皮ニ納メ書留トシテ關係小包ノ差出局ニ次便ヲ以テ送付スヘシ

小包郵便事務

……交換局ヨリ……交換局宛發送ニ係ル小包郵便中ニ發見セシ諸般ノ誤謬及違例ヲ訂正及證明スルノ用ニ供スル點檢狀

千九百……年……月……日差立

小包ノ不着

番號 逐次	番號 登記	差出地	名宛（成ルヘク精細ニ）	收得額	名宛局ノ點査	附註

小包ノ破損

番號 逐次	番號 登記	差出地	名宛 差出人	名宛 名宛人	包有品 調査重量	包有品 表記價格	容器ノ記載（監、行嚢等）	破損ノ状態及其ノ明白ナル原因其ノ他ノ事由

誤謬

違例

（目録ノ不着、不完全ナル包装又ハ閉鎖等）

番號 逐次	番號 登記	差出地	名宛人ノ宿所氏名	重量	收得額	名宛局ノ訂正

合計……

點査セシ合計……

右點検承認候也

千九百……年……月……日……ニ於テ

名宛局吏員……

千九百……年……月……日……ニ於テ

差立局長……

第七號

第……號　小包郵便

……郵政廳

……郵政廳

……郵政廳ノ交換局ヨリ……交換局ニ引渡シタル小包郵便物ニ對シ逓送料トシテ……郵政廳及……郵政廳ニ於テ相互ニ支拂フヘキ金額ノ毎三箇月貸借表

千九百……年第……期分

一、名宛國郵政廳ノ收得（第四號表第十欄） 小包目錄ノ日附	……局ノ郵便物	二、差立國郵政廳ノ收得（第四號表第十一欄） 小包目錄ノ日附	……局ノ郵便物	附註
收得……ノ合計		收得……ノ合計		

第八號

郵便物ノ目錄ニ載スル第七號貨借證書ヲ郵便局ニ宛テタル小包郵便物ノ交換……郵政廳

……郵政廳

……郵便局ヨリ……交換局ニ宛テタル小包郵便物ノ目錄

千九百……年……月分

番號	送失	交換局名	政各廳郵ニ郵便ス送ヘキ金額
	差立	名宛	名宛
	總計		

千九百……年……月……日

……於テ

右謹檢査候也

千九百……年……月……日

……於テ

第三章　郵便爲替

第一款　內國郵便爲替

（郵便貯金ハ第十三章第四十三條）

❶郵便爲替法

明治三十三年三月十三日
法律第五十五號
勅令第二百十五號
逓信大臣農商務大臣

既往國債ノ償還ヲ經タル郵便爲替法ヲ廢止シ其ニ之ヲ公布セシム

郵便爲替法

第一條　郵便爲替ハ通信爲替電信爲替及小爲替ノ三種トス

第二條　郵便爲替證書及小爲替證書ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除ク外其出人ニ於テ之ヲ其ノ受取人ニ送達ス

電信爲替ニ送達ス郵便官吏ニ於テ之ヲ其ノ受取人ニ送達ス

第三條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ請求シ其ノ受取人ニ交付ス

前項ニ於テ電信爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ電報ニ基キ其ノ受取人ニ交付ス

第四條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第五條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第六條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第七條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第八條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第九條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第十條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第十一條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第十二條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第十三條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第十四條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第十五條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第十六條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第十七條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第十八條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第十九條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第二十條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第二十一條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第二十二條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第二十三條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第二十四條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第二十五條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第二十六條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第二十七條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第二十八條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第二十九條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第三十條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第三十一條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第三十二條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第三十三條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第三十四條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第三十五條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第三十六條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第三十七條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第三十八條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第三十九條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第四十條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第四十一條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第四十二條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第四十三條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第四十四條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第四十五條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第四十六條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第四十七條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第四十八條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第四十九條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第五十條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

❷郵便爲替規則

明治三十三年四月十九日
逓信省令第十三號
改正　三十六年三月三日逓信省令第四號　三十九年一月一日逓信省令第一號

郵便爲替規則左ノ通相定ム

郵便爲替規則

第一章　總則

第二章　通常爲替

第一節　振出

第二節　拂渡

第三節　拂渡後ノ拂戻

第四節　拂渡後ノ拂戻ニ代ヘタル郵便局ノ變更

第三章　電信爲替

第四章　小爲替

第五章　再交換證書

第六章　郵便爲替金拂渡通知

第七章　郵便爲替金送達

郵便爲替規則

第一章　總則

第一條　郵便爲替ハ郵便局ニ於テ之ヲ取扱フ但シ特ニ郵便爲替ハ郵便局ニ於テ之ヲ取扱ハサルコトヲ告示シタル局所ハ此ノ限ニ在ラス

郵便爲替ハ之ヲ貯金管理所ハ特ニ指定シタル郵便爲替ニ限リ之ヲ取扱フ

第二條　郵便爲替證書一枚ノ金額制限ハ別ニ定ムル場合ノ外左ノ如シ

一　通常爲替　金五十圓

一　電信爲替　金五十圓

一　小爲替　金五圓

通常爲替及小爲替ノ金額ハ原位未滿電信爲替ノ金額ハ圓位未滿ノ端數ヲ付スルコトヲ得ス

第三條　郵便爲替證書一枚ノ爲替料ハ別ニ定ムル

通常爲替	同	金額十圓以內	十六錢
	同	二十圓以內	十錢
	同	三十圓以內	五錢
	同	四十圓以內	十錢
	同	五十圓以內	二十錢
電信爲替	同	金額十圓以內	三十錢
	同	二十圓以內	十五錢
	同	三十圓以內	十錢
	同	四十圓以內	十五錢
	同	五十圓以內	二十錢
小爲替			三錢

第三條ノ二　郵便、郵便爲替、郵便貯金、電信、電話ノ事務ニ關シ特殊ノ條件ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ官吏ノ間ニ受授スル電信文ハ通信大臣ニ於テ特ニ無料通常爲替ト認スルコトヲ得

前項ノ無料通常爲替ニ關シテハ其ノ證書一枚ノ金額ニ制限ヲ付セス

第四條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第五條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第六條　代人ヲ以テ本規則ニ規定スル各種ノ請求ヲ爲サシムトスルトキハ本人ニ於テ其ノ請求書ニ代人タルノ資格ヲ付シ此ノ場合ニ於テハ代人ハ請求書ニ代人タルノ資格ヲ證明スヘシ

第七條　法人又ハ法人ニアラサル團體ヨリ本規則ニ基キ請求ヲ爲サントスルトキハ其ノ代表者ハ其ノ請求書ニ代表者タルノ資格ヲ證明スヘシ

第八條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第九條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第十條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第十一條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第十二條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第十三條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第十四條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第十五條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第十六條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第十七條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第十八條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第十九條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第二十條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第二十一條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第二十二條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第二十三條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第二十四條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第二十五條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第二十六條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第二十七條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第二十八條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第二十九條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第三十條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第三十一條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第三十二條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第三十三條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第三十四條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第三十五條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第三十六條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第三十七條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第三十八條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第三十九條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第四十條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第四十一條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第四十二條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第四十三條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第四十四條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第四十五條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第四十六條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第四十七條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第四十八條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第四十九條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第五十條　郵便爲替ハ郵便官吏ニ於テ其ノ受取人ニ交付ス

第一節　振出

第十二條　通常爲替ノ差出人ハ郵便局所ニ於テ通常爲替振出請求書用紙ノ交付ヲ受ケ相當事項ヲ記入シ之ニ爲替金及爲替料ヲ添ヘ郵便局所ニ差出シ通常爲替證書又通常爲替金受領證書ヲ受取ルヘシ

前項通常爲替振出請求書ニハ差出人及受取人ノ商標、商號又ハ其ノ他ノ符號ヲ附記スルコトヲ得

第十三條　振出郵便局所ハ郵便ニ依リ前條通常爲替振出請求書ヲ拂渡郵便局所ニ送付ス

第十四條　通常爲替ノ差出人ハ爲替振出ノ際豫メ一定ノ期間ヲ限リ其ノ爲替金拂渡猶豫ノ請求ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ通常爲替振出請求書ニ猶豫スヘキ日數ヲ記載スヘシ

第十五條　通常爲替ノ差出人ハ爲替振出ノ際通常爲替證書ノ送達ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ料金トシテ通常爲替證書一枚毎ニ金五錢ヲ納付スヘシ

前項ノ請求ヲ爲シタル差出人ハ通常爲替振出請求書餘白ニ爲替金送付ノ目的ヲ記載シ自己ノ宿所氏名ト共ニ受取人ニ之レカ通知ヲ請求スルコトヲ得前項爲替金送付ノ目的ハ通常爲替證書送達ノ際其ノ餘白ニ記入スルモノトス

第十六條　通常爲替ノ受取人所在不明等ノ爲前條ノ通常爲替證書ヲ送達スルコト能ハサルトキハ之ヲ差出人ニ返付ス

第十七條　通常爲替ノ差出人爲替振出後通常爲替振出請求書ニ自己又ハ受取人ノ宿所氏名等ヲ誤記シタルコトヲ發知シタルトキハ振出郵便局所ニ訂正請求書ヲ差出シ郵便又ハ電信ニ依リ拂渡郵便局所ニ訂正事項ノ通知ヲ請求スルコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領證書ヲ呈示スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ差出人ハ其ノ料金トシテ郵便ニ依ルモノハ金三錢電信ニ依ルモノハ該電報料金ニ相當スル金額ヲ納付スヘシ

第十八條　振出郵便局所ニ於テ前條ノ請求ニ應シタル場合ト雖拂渡郵便局所ニ於テ既ニ爲替金ヲ拂渡シタル後ナルトキハ其ノ旨ヲ差出人ニ通知ス

第二節　拂渡

第十九條　通常爲替ノ受取人爲替金ノ拂渡ヲ請求セムトスルトキハ通常爲替證書ニ記名調印シ之ヲ拂渡郵便局所ニ差出スヘシ

第二十條　拂渡郵便局所ハ受取人ニ左ノ事項ヲ尋問シ通常爲替振出請求書ニ記載シタル事項ニ符合スルヲ認メ爲替金ノ拂渡ヲ爲スモノトス但シ第十五條第二項ノ請求アルモノニ對シテハ本條第一號ノ尋問ヲ省略スルコトアルヘシ

一　差出人ノ宿所氏名
二　受取人ノ宿所氏名
三　前各號ノ外拂渡上必要ト認ムル事項

第二十一條　通常爲替證書ニシテ左ノ事項判明ナラサルモノハ毀損汚斑シタルモノトス

一　爲替金額
二　爲替證書ノ記號番號
三　爲替證書ヲ發行シタル郵便局所主務者ノ記名調印

第二十二條　左ノ場合ニ於テハ爲替金ノ拂渡ヲ停延ス

一　通常爲替證書送達式ノトキ
二　通常爲替振出請求書送達式ノトキ
三　通常爲替振出請求書未着ノトキ
四　通常爲替證書ト通常爲替振出請求書ト金額符合セサルトキ
五　拂渡資金缺乏ノトキ

第二十三條　拂渡郵便局所ニ於テ爲替金ノ拂渡ヲ停延スルトキハ通常爲替證書ノ裏面ニ其ノ事由及日數ヲ記載證印シ之ヲ受取人ニ返付ス

第二十四條　第二十二條ニ依リ爲替金ノ拂渡ヲ停延シタル場合ト雖其ノ停延期間內ニ事故判明スルカ又ハ資金充實シ拂渡ニ差支ナキニ至リタルトキハ直ニ之ヲ受取人ニ通知ス

第二十五條　通常爲替ノ受取人ハ通常爲替證書ト通常爲替振出請求書ト金額符合セサル場合ニ於テ其ノ少ナキ金額ヲ限度トシ爲替金ノ假拂渡ヲ請求スルコトヲ得

第二十六條　通常爲替ノ受取人通常爲替證書ノ金額ニ符合セサル爲替金ヲ受取ルトキハ通常爲替證書裏面ニ其ノ金額ヲ記載シ記名調印スヘシ

第三節　拂渡停止及拂戾

第二十七條　通常爲替ノ差出人爲替金ノ拂渡停止ヲ請求セムトスルトキハ其ノ請求書ヲ郵便局所ニ差出シ且通常爲替金受領證書ヲ呈示スヘシ

前項ノ請求ヲ受ケタル郵便局所ニ於テ拂渡郵便局所ニ通知ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ料金トシテ郵便ニ依ルモノハ金三錢電信ニ依ルモノハ該電報料金ニ相當スル金額ヲ納付スヘシ

第二十八條　郵便局所ニ於テ前條ノ請求ニ應シタル場合ト雖拂渡郵便局所ニ於テ既ニ爲替金ヲ拂渡シタル後ナルトキハ其ノ旨ヲ差出人ニ通知ス

第二十九條　第二十七條ノ規定ハ通常爲替ノ差出人爲替金拂渡停止ノ解除ヲ請求セムトスル場合ニ之ヲ準用ス

第三十條　通常爲替ノ差出人爲替金ノ拂戾ヲ請求セムトスルトキハ通常爲替證書ニ記名調印シ通常爲替金受領證書ト共ニ振出郵便局所ニ差出スヘシ

差出人通常爲替證書ノ有效期間ヲ經過シタル場合ニ於テ爲替金ノ拂戾ヲ請求セムトスルトキハ亦前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十一條　通常爲替ノ差出人通常爲替證書ヲ亡失毀損若ハ汚斑シタル場合ニ於テ爲替金ノ拂戾ヲ請求セムトスルトキハ郵便局所ニ於テ郵便爲替金拂戾請求書用紙ノ交付ヲ受ケ相當事項ヲ記入シ振出郵便局所ニ差出シ且通常爲替金受領證書ヲ呈示スヘシ

振出郵便局所ハ拂渡郵便局所ニ於テ其ノ爲替金ノ拂渡ナキコトヲ確認シタル後前項ノ郵便爲替金拂戾請求書ニ拂戾認可ノ旨ヲ記載シ之ヲ差出人ニ返付ス

差出人ハ前項ノ郵便爲替金拂戾請求書中爲替金受領證印ノ部ニ記名調印シ通常爲替金受領證書ト共ニ之ヲ差出スヘシ

第三十二條　第三十條第二項及第三十一條ノ場合ニ於テハ其ノ料金トシテ通常爲替一口ニ付金六錢ヲ納付スヘシ

第三十三條　本章第二節ノ規定ハ通常爲替金拂戾ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四節　拂渡若ハ拂戾郵便局所ノ變更

第三十四條　通常爲替ノ差出人又ハ受取人ハ拂渡郵便局所ノ變更ヲ請求スルコトヲ得

差出人ハ拂戾郵便局所ノ變更ヲ請求スルコトヲ得

第三十五條　通常爲替ノ差出人拂渡郵便局所又ハ拂戾郵便局所ノ變更ヲ請求セムトスルトキハ振出及拂渡郵便局所名、爲替證書記號番號、爲替金額、及拂渡又ハ拂戾ヲ受ケムトスル郵便局所名ヲ記載シタル變更請求書ヲ郵便局所ニ差出シ且通常爲替金受領證書ヲ呈示スヘシ

第三十六條　通常爲替ノ受取人拂渡郵便局所ノ變更ヲ請求セムトスルトキハ振出及拂渡郵便局所名、爲替證書記號番號、爲替金額及拂渡ヲ受ケムトスル郵便局所名ヲ記載シタル變更請求書ヲ郵便局所ニ差出シ且通常爲替證書ヲ呈示スヘシ

第三十七條　前二條ノ場合ニ於テハ其ノ料金トシテ通常爲替一口ニ付金六錢ヲ納付スヘシ

第三十八條　郵便局所ニ於テ拂渡又ハ拂戾郵便局所ノ變更ヲ認可スルトキ又ハ既ニ爲替金ノ拂渡若ハ拂戾ヲ爲シタル後ナルトキハ其ノ旨ヲ請求者ニ通知ス

第三章　電信爲替

第三十九條　電信爲替ノ差出人ハ郵便局所ニ於テ電信爲替振出請求書用紙ノ交付ヲ受ケ相當事項ヲ記入シ差出人及受取人ノ宿所氏名ニ片假名文字ヲ附記シ之ニ爲替金及爲替料ヲ添ヘ郵便局所ニ差出シ電信爲替金受領證書ヲ受取ルヘシ

第四十條　電信爲替ハ振出郵便局所ニ於テ電信ニ依リ爲替金額、受取人ノ宿所氏名及差出人ノ氏名ヲ拂渡郵便局所ニ通報ス但シ電信ヲ取扱ハサル郵便局所ニ在リテハ該通報ハ郵便接續ノ方法ニ依ル

前項ノ通報ハ差出人ニ於テ至急電報ノ取扱又ハ郵便接續ノ場合ニ於テ別配達ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ別ニ其ノ料金トシテ至急電報ノ取扱ニ對シテハ金四十錢別配達ノ取扱ニ對シテハ郵便別配達料ニ相當スル金額ヲ納付スヘシ

第四十一條　拂渡郵便局所ニ於テ前條ノ爲替電報ヲ受ケタルトキハ之ニ依リ電信爲替證書ヲ作リ之ヲ受取人ニ送達ス但シ郵便集配事務ヲ取扱ハサル郵便局所ニ於テ拂渡スヘキモノナルトキハ其ノ附近ニ在ル郵便集配事務及郵便爲替事務ヲ取扱フ郵便局所ニ於テ本文ノ手續ヲ爲ス

差出人ハ爲替振出ノ際電信爲替證書ノ別配達ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ料金トシテ郵便別配達料ニ相當スル金額ヲ納付スヘシ

第四十二條　第二章ノ規定ハ第十二條乃至第十五條ヲ除ク外之ヲ電信爲替ニ適用ス

第四章　小爲替

第四十三條　小爲替ノ差出人ハ爲替金及爲替料ヲ郵便局所ニ差出シ小爲替證書及小爲替金受領證書ヲ受取ルヘシ

第四十四條　小爲替ノ差出人ハ小爲替證書相當欄ニ拂渡郵便局所名及受取人ノ宿所氏名ヲ記入スヘシ但シ小爲替證書持參人ヲシテ爲替金ノ拂渡ヲ受ケシメムトスルトキ又ハ隨意ノ郵便局所ニ於テ其ノ拂渡ヲ受ケシメムトスルトキハ受取人宿所氏名又ハ拂渡郵便局所名ノ記入ヲ省略スルコトヲ得

第四十五條　小爲替ノ差出人拂渡郵便局所又ハ受取人ノ宿所氏名ヲ變更シ若ハ其ノ指定ヲ取消サムトスルトキハ小爲替證書及小爲替金受領證書ヲ郵便局所ニ呈示シ其ノ認可ノ證印ヲ受クヘシ

第四十六條　小爲替ノ受取人爲替金ノ拂渡ヲ請求セムトスルトキハ小爲替證書ニ宿所氏名ヲ記載

シ調印ノ上之ヲ拂渡郵便局所ニ差出スヘシ

第四十七條　小爲替證書ニシテ左ノ事項判明ナラサルモノハ毀損汚涜シタルモノトス

一　爲替金額

二　爲替證書ノ記號番號

三　受取人及拂渡郵便局所ノ指定欄

四　爲替證書ノ日附

第四十八條　小爲替證書亡失ノ場合ニ於テハ其ノ發行ノ日ヨリ百五十日ヲ經過シタル後ニ非サレハ爲替金ノ拂戻ヲ爲サス但シ相當保證人ヲ立テ請求スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十九條　第二十二條乃至第二十四條第二十六條第三十條第二項及第三十一條ノ規定ハ之ヲ小爲替金ノ拂渡及拂戻ニ又第三十四條第三十五條及第三十八條ノ規定ハ小爲替金拂戻郵便局所ノ變更ニ之ヲ準用ス但シ第三十條第二項ノ場合ニ於テハ尙差出人ノ宿所ヲ記入スヘシ又第三十條第二項第三十一條及第三十五條ノ場合ニ於テハ其ノ料金トシテ小爲替一口ニ付金三錢ヲ納付スヘシ

第五章　再度證書

第五十條　郵便爲替ノ差出人又ハ受取人郵便爲替證書有效期間經過ノ爲再度證書ヲ請求セムトスルトキハ郵便局所ニ於テ再度證書請求書用紙ノ交付ヲ受ケ相當事項ヲ記入シ之ヲ郵便局所ニ差出シ其ノ受領證書ヲ受取ルヘシ

前項ノ請求書ニハ右效期間經過ノ郵便爲替證書ヲ添付差出スヘシ

第五十一條　郵便爲替ノ差出人郵便爲替證書ヲ亡失毀損若ハ汚涜シタル爲再度證書ヲ請求セムトスルトキハ郵便爲替金受領證書ヲ差出シ前條第一項ノ手續ヲ爲スヘシ

郵便爲替ノ受取人前項ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ相當保證人ヲ立テ前條第一項ノ手續ヲ爲スヘシ

第五十二條　前二條ノ場合ニ於テハ其ノ料金トシテ郵便爲替一口ニ付通常爲替又ハ電信爲替ハ金三錢ヲ納付スヘシ

第五十三條　再度證書ノ請求書再度證書發行ノ通知ヲ受ケタルトキハ再度證書請求書ノ受領證書ヲ其ノ指定シタル郵便局所ニ差出シ再度證書ノ交付ヲ受クヘシ

第五十四條　小爲替證書ノ亡失ニ因ル再度證書ノ請求ニ對シテハ其ノ發行ノ日ヨリ百五十日ヲ經過シタル後ニ非サレハ再度證書ヲ發行セス但シ相當保證人ヲ立テ請求スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六章　郵便爲替金拂渡濟通知

第五十五條　郵便爲替ノ差出人ハ爲替振出ノ際郵便又ハ電信ニ依ル郵便爲替金拂渡濟通知ヲ請求スルコトヲ得

小爲替差出人前項ノ請求ヲ爲ストキハ其ノ宿所氏名ヲ申出ツヘシ

第五十六條　前條ノ場合ニ於テハ其ノ料金トシテ郵便ニ付郵便一口ニ付通常爲替ハ金四錢電信ニ依ルモノハ該電報料金ニ相當スル金額ヲ納付スヘシ

第五十七條　郵便爲替金拂渡濟通知ノ請求アル郵便爲替證書ニハ郵便局所ニ於テ相當證印ヲ押捺シ且小爲替ナルトキハ證書錄白ニ差出人ノ宿所氏名ヲ記入ス

第五十八條　郵便爲替ノ受取人郵便ニ依ル拂渡濟通知ヲ要スル爲替金ヲ受取ルトキハ郵便爲替金拂渡濟通知書ニ記名調印スヘシ

第五十九條　拂渡郵便局所ニ於テ拂渡濟通知ヲ要スル郵便爲替金ヲ拂渡シタルトキハ郵便ニ依ルモノハ前條ノ通知書ヲ差出人ニ送付シ電信ニ依ルモノハ電報ニ依リ振出郵便局所ヲ經テ其ノ旨ヲ差出人ニ通知ス

第七章　郵便爲替金居宅拂

第六十條　郵便爲替ノ差出人又ハ受取人ハ爲替金ノ居宅拂ヲ請求スルコトヲ得但シ差出人ハ爲替振出ノ際又ハ小爲替受取人ノ爲ニ本條ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

郵便爲替金ノ居宅拂渡ヲ取扱フヘキ郵便局所及區域ハ別ニ之ヲ告示ス

第六十一條　前條ノ場合ニ於テハ其ノ料金トシテ郵便爲替一口ニ付通常爲替又ハ電信爲替ハ金四錢小爲替金二錢ヲ納付スヘシ

第六十二條　郵便爲替振出ノ際爲替金居宅拂ヲ請求シタル郵便爲替證書ニハ郵便局所ニ於テ相當證印ヲ押捺ス

第六十三條　郵便爲替ノ受取人爲替金ノ居宅拂ヲ請求セムトスルトキハ其ノ宿所氏名、郵便爲替種別、證書記號番號及爲替金額ヲ記載シタル居宅拂請求書ヲ作リ之ニ料金相當ノ郵便切手ヲ貼付シ拂渡局所ニ差出スヘシ

前項請求書ハ無料郵便物トシテ之ヲ差出スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ該請求書封入ノ郵便物封皮ニ爲替事務ト明記スヘシ

第六十四條　郵便爲替金居宅拂ハ差出人ノ請求ニ依ルトキハ其ノ拂渡郵便局所ニ通常爲替振出請求書又ハ爲替電報ノ到著シタル日ヨリ又受取人ノ請求ニ係ルトキハ居宅拂請求書受附ノ日ヨリ遲クモ三日以內ニ之ヲ爲スヘシ但シ第二十二條ノ事故アリテ本條ノ期間內ニ拂渡ヲ爲スコトヲ得サ

ルトキハ其ノ旨ヲ受取人ニ通知ス

第六十五條　郵便爲替ノ受取人不在其ノ他ノ事故ニ依リ居宅拂ヲ了スルコト能ハサルトキハ第二回拂渡月日ヲ限告シ更ニ其ノ限告日ニ於テ第二回ノ居宅拂ヲ爲ス

第六十六條　郵便局所ノ受取人拂渡郵便局所ノ郵便爲替金居宅拂取扱區域外ニ轉居シタルトキ郵便爲替證書ノ效用ヲ失ヒタルトキ又ハ第二回居宅拂ノ場合ニ於テ前條ノ事故ニ依リ爲替金ノ拂渡ヲ了スルコト能ハサルトキハ爲替金居宅拂ノ請求ハ其ノ效ヲ失フ

第六十七條　郵便爲替ノ受取人ハ自己又ハ差出人ニ於テ爲替金ノ居宅拂ヲ請求シタルトキト雖拂渡郵便局所ニ就キ爲替金ノ拂渡ヲ受クルコトヲ妨ケス

第六十八條　本章ノ規定ハ郵便爲替金拂戻ノ場合ニ之ヲ準用ス

附　則

第六十九條　本規則ハ明治三十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治十八年九農商務省告示第二十號郵便爲替細則同二十年八遞信省告示第百十七號郵便小爲替規定同三十二年八一遞信省令第五十一號郵便爲替金居宅拂規則ハ之ヲ廢止ス

●郵便爲替制限額以上ノ金員送付認可申請方

明治三十六年二月六日
遞信省令第六號

改正　三六年第五九號

定期又ハ無定期ニ多額ノ金員ヲ郵便爲替ニ依リ送付セントスル者數人一等郵便局長又ハ在外郵便局長ノ認可ヲ受クルトキハ通常爲替證書一枚ノ金額ヲ規定ノ制限額以上ニ高ムルコトヲ得此ノ場合ニ於ケル制限額以上ノ爲替金ニ對スル爲替料ハ一般規定ノ爲替料ノ割合ニ依リ前項ノ認可ヲ受ケントスル者ハ送金ノ目的、認可ヲ受ケタル者一箇年間其振出所名等ヲ記載シタル認可申請書ヲ當該振出局所經由所轄一等郵便局長又ハ在外郵便局長ニ差出スヘシ

高額爲替振出ノ認可ヲ受ケタル者一箇年間其振出ヲ爲サントスルトキハ認可ノ效力ヲ失フモノトス

●郵便爲替證書線引讓渡規則

明治三十四年三月二十二日
遞信省令第十三號

郵便爲替證書線引讓渡規則左ノ通相定メ來四月一日ヨリ施行ス

第一條　郵便爲替證書線引讓渡ヲ爲シ銀行ニ對シ任意ニ之ヲ讓渡スルコトヲ得但シ銀行ニ銀行ヲ指定シタルトキハ其線內ニ銀行ノ名稱ヲ記載スヘシ

讓受銀行ハ前項郵便爲替證書ニシテ銀行ノ指定ナキモノハ引渡ニ依リ又其指定アルモノハ其指定ヲ抹消シ前項ノ規定ニ依リ他ノ銀行ニ之ヲ讓渡スルコトヲ得但シ銀行ノ指定ナキモノヲ特ニ銀行ヲ指定シタルトキハ證書裏面ノ平行線內ニ銀行ノ名稱ヲ記載スヘシ

第二條　線引ヲ爲シタル郵便爲替證書ニシテ銀行ノ指定アルモノハ其指定銀行ノ又指定ナキモノハ一般銀行ノ請求ニ應シ之カ拂渡ヲ爲スヘシ

第三條　線引ヲ爲シタル郵便爲替證書ニ對シ銀行ヨリ爲替金ノ拂渡ヲ請求スルトキハ郵便爲替規則第二十條ノ手續ヲ爲サス之カ拂渡ヲ爲スヘシ

第四條　郵便局所ハ交換所組合銀行ノ請求アルトキハ交換所所在地ニ限リ特ニ定ムル交換方法ニ依リ線引ヲ爲シタル郵便爲替證書ニ對シ之カ拂渡ヲ爲スコトアルヘシ

●郵便爲替貯金及取立金受拂事務取扱時間

明治三十三年九月二十一日
遞信省告示第三百六十八號

改正　三六年第一七三號

來十月一日ヨリ郵便局所ニ於テハ毎日左ノ時間內郵便爲替外國郵便爲替貯金及郵便取立金受拂事務ヲ取扱フ但シ日曜日及大祭祝日ニ於テハ正午十二時迄ヲ限トス

九月十一日ヨリ十月三十一日迄　午前八時ヨリ午後四時ニ至ル

十一月一日ヨリ翌年二月末日迄　午前九時ヨリ午後四時ニ至ル

三月一日ヨリ七月十日迄　午前八時ヨリ午後四時ニ至ル

七月十一日ヨリ九月十日迄　午前八時ヨリ正午十二時ニ至ル

●非常召集ノ軍人ニ對スル郵便爲替電信爲替特別取扱方

明治二十七年八月八日
遞信省告示第百五十七號

旅行又ハ寄留先ニ於テ非常召集ニ應スヘキ軍人ニ對シ郵便爲替又ハ電信爲替ヲ以テ旅費金等ヲ送付セントスル者ハ其事實ヲ證明シ爲替願書ヲ受取人宿所ノ次ニ官名又ハ陸休兵、隊備兵、後備兵等ノ別ヲ記入シタル郵便爲替證書ニ對シ銀行ヨリ爲替金ノ拂渡ヲ請求スルトキハ郵便爲替規則第二十條ノ手續ヲ爲サス之カ拂渡ヲ爲スヘシ此期間ニ拂渡ヲ取扱フ時限外ト雖モ其振出又ハ拂渡ヲ取扱フ

●特ニ指定シタル郵便局所ニ於テ軍人軍屬ノ振出ス通常爲替取扱方

明治三十七年五月九日
逓信省令第三十七號
改正　三九年第四二號

特ニ指定シタル郵便局所及野戰郵便局所ニ於テ軍人軍屬ノ振出ス通常爲替ニ對シテハ其料金ヲ徵收セス

前項ノ通常爲替證書ハ其金額ニ制限ヲ付セス且郵便局所ニ於テ之ヲ受取人ニ送達ス

本令ハ明治三十七年五月十五日ヨリ施行ス

●郵便爲替金居宅拂取扱局所

明治三十六年三月三十一日
逓信省告示第二百二十九號
改正　三六年第三一九號

來四月一日以降一等郵便局、二等郵便局及局郵便區市內ニ設置セル郵便局所ニ於テハ同郵便局所ニ振充テ且同郵便區市內ニ居住スル者ノ受取ヘキ郵便爲替ニ對シ郵便爲替規則ニ依リ爲替金ノ居宅拂ヲ取扱フ但シ二局以上ノ郵便區市內カ同一行政市區ニ屬スルトキハ各其郵便區市內ヲ通シテ一ノ爲替金居宅拂取扱區域トス

●電信爲替ヲ取扱ハサル郵便局所

明治三十三年九月十五日
逓信省告示第三百五十二號

左ノ郵便局所ニ於テハ郵便爲替規則ニ依ル電信爲替ノ取扱ヲ爲サス

【郵便受取所】　清國ニ設置シタル郵便局所

來五月一日以降郵便受取所ニ於テモ電信爲替事務ヲ取扱ハシム

明治三十九年九月二十一日
逓信省告示第四百十一號

本日以降清國牛莊郵便局ニ於テ電信爲替事務ノ取扱ヲ爲サシム

●郵便電信取扱所及郵便集配事務ヲ取扱ハサル局所ニ於テハ電信爲替證書及電信爲替通報別配達ヲ取扱ハス

明治三十四年十一月十八日
逓信省告示第四百六十二號
改正　三八年第一五八號

郵便電信取扱所及郵便集配事務ヲ取扱ハサル局所ニ於テハ電信爲替證書及電信爲替通報ノ別配達ヲ取扱ハス

●軍事郵便爲替貯金規則

明治三十七年二月六日
逓信省令第七號海、陸、大臣連署

軍事郵便爲替貯金規則左ノ通相定ム

第一章　通則

第一條　本則ニ於テ軍事郵便爲替又ハ軍事郵便貯金ト稱スルハ戰時若ハ事變ニ際シ野戰郵便局若ハ艦船郵便所ニ於テ引受ケ取扱ヒタル通常郵便爲替又ハ預入ヲ取扱ヒタル通常郵便貯金ヲ云フ

第二條　軍事郵便爲替ノ取扱ヲ爲ス野戰郵便局又ハ艦船郵便所ト雖モ時宜ニ依リ軍人、軍屬以外ノ者ヨリ請求スル軍事郵便爲替ノ取扱ヲ拒絕スルコトアルヘシ

第三條　軍事郵便爲替又ハ軍事郵便貯金ニ關シ本則ニ定メタルモノノ外ハ郵便爲替規則又ハ【郵便貯金條例施行細則】ヲ準用ス

第二章　軍事郵便爲替

第四條　軍事郵便爲替ハ當該局所ニ於テ振出人ヨリ現金ヲ受領シ郵便爲替貯金管理所又ハ同支所ニ於テ爲替證書ヲ發行シ之ヲ其ノ受取人ニ送達ス

第五條　軍事郵便爲替ハ證書一枚ノ金額ニ制限ヲ付セス

第六條　野戰郵便局又ハ艦船郵便所ニ於ケル軍事郵便爲替ノ取扱ニ關シテハ爲替料及其ノ他ノ料金ヲ徵收セス

第七條　軍事郵便爲替ノ振出人ハ爲替金拂渡請求、拂渡濟通知及其ノ他ノ特殊取扱ヲ請求スルコトヲ得ス但シ振出請求書誤記ノ場合ニ於テ郵便ニ依ル訂正通知ノ請求ハ此ノ限ニ在ラス

第八條　軍事郵便爲替ノ振出ヲ請求セントスル者ハ振出請求書ニ現金ヲ添ヘ當該局所ニ差出シ其ノ受領證書ヲ領置スヘシ但シ爲替金拂渡局所ノ指定ハ之ヲ省略スルコトヲ得

前項但書ニ依リ拂渡局所ノ指定ヲ省略シタルモノニ對シテハ郵便爲替貯金管理所又ハ同支所ニ於テ之ヲ指定ス

第九條　軍事郵便爲替ノ振出人爲替金ノ拂戻ヲ受ケントスルトキハ爲替金拂戻請求書ニ爲替證書又ハ爲替金受領證書ヲ添ヘ普通郵便局所ヲ經由シ之ヲ郵便爲替貯金管理所又ハ同支所ニ差出スヘシ但シ請求書經由局所以外ノ郵便局所ニ於テ爲替金ノ拂戻ヲ受ケントスルトキハ其ノ局所名

ヲ請求書ノ餘白ニ附記スヘシ

第十條　第三章　軍事郵便貯金

軍事郵便貯金ノ預ケ人ニ對シテハ貯金登記濟通知書ヲ發行セス

第十一條　軍事郵便貯金ノ預ケ人其ノ所持ノ通帳餘白ナキニ至リタルトキ又ハ毀損汚斑シテ不判明トナリタルトキ若ハ之ヲ亡失シタルトキハ野戰郵便局又ハ艦船郵便所ニ其ノ事實ヲ證明シ別ニ通帳ノ交附ヲ受ケ其ノ通帳ヲ以テ引續キ軍事郵便貯金ノ預入ヲ爲スコトヲ得

第十二條　前條ノ繼續通帳ニ對シテハ普通郵便局所ニ於テ貯金ノ預入又ハ拂戻ヲ取扱ハス

第十三條　繼續通帳ノ交附ヲ受ケ軍事郵便貯金ノ預入ヲ爲シタル者普通郵便局所在地ニ到リタルトキハ原通帳及繼續通帳ヲ可成速ニ普通郵便局所ニ送出シ再度通帳ノ交附ヲ請求スヘシ

第十四條　軍事郵便貯金ノ預ケ人貯金ノ拂戻、公債證書ノ購入、再度通帳ノ交附、通帳利子記入、通帳名前書換及異動屆出等ヲ要スルトキハ普通郵便局所ヲ經由シ之カ請求又ハ屆出ヲ爲スヘシ

●俘虜郵便爲替規則

明治三十七年三月三日
逓信省令第十四號

俘虜郵便爲替規則左ノ通相定ム

俘虜郵便爲替規則

第一條　本規則ニ於テ俘虜郵便爲替ト稱スルハ俘虜ニ於テ又ハ俘虜ノ爲メ發受スル內國通常郵便爲替及外國郵便爲替ヲ云フ

第二條　俘虜郵便爲替ニ關シ本規則ニ定メタルモノノ外ハ總テ內國郵便爲替及外國郵便爲替ニ關スル一般ノ規定ニ依ル

第三條　俘虜郵便爲替ハ條約ニ依リ總テ其ノ料金ヲ免除セラルルモノトス

第四條　俘虜郵便爲替ノ振出ヲ請求セムトスル者ハ通常爲替振出請求書又ハ外國郵便爲替願書ニ「俘虜爲替」ノ文字ヲ記載シ郵便局所ニ差出スヘシ

第五條　俘虜郵便爲替ニ關シ俘虜ニ交付スヘキ爲替金、爲替證書及其ノ他ノ書類ハ代理ノ手續ヲ要セス俘虜收容所ノ監督者ニ交付ス

第六條　俘虜收容所ノ監督者ハ代理ノ手續ヲ要セス俘虜ニ代リ郵便局所ニ對シ俘虜郵便爲替ニ關スル各種ノ請求ヲ爲スコトヲ得

●在清國韓國郵便局所ト取組通常爲替金額制限

明治三十六年二月六日
逓信省令第四號

清國又ハ韓國ニ設置シタル郵便局所相互間又ハ同局所ト其以外ノ各郵便局所トノ間ニ取組ム通常爲替ハ其證書一枚ノ金額百圓ヲ超ユルコトヲ得ス

明治三十七年九月二十八日
逓信省令第六十二號

在清國牛莊郵便局ニ於テ振出ス通常爲替ハ當分ノ內其證書一枚ノ金額ニ制限ヲ附セス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

●在清國韓國臺灣及內地各郵便局所間郵便爲替及電信爲替料

明治三十三年九月十五日
逓信省令第六十五號
改正　三六年第五一號

清國又ハ韓國ニ設置シタル郵便局所相互間又ハ同局所ト其以外ノ各郵便局所間ニ取組ム郵便爲替料金及內地各郵便局所ト臺灣各郵便局所トノ間ニ取組ム電信爲替料金左ノ通相定メ來十月一日ヨリ施行ス

在清國各局所相互間又ハ同局所ト其以外ノ各局所トノ間

通常爲替（金額十圓迄十圓ヲ超ユルモノハ十圓ヲ超ユル分ニ對シテハ十錢ヲ增ス每ニ十錢ノ割合ヲ以テ加算ス）

同　百圓以內	五錢
同　百九十圓以內	十錢
同　百九十圓超過	十五錢
同　四十圓以內	二十錢
同　四十圓超過七十圓以內	二十錢
同　七十圓超過百圓以內	三十錢
同　百圓超過百五十圓以內	三十錢
同　百五十圓超過二百圓以內	四十錢
同　二百圓超過二百五十圓以內	四十錢
同　二百五十圓超過三百圓以內	五十錢

小爲替

內地各局所及臺灣各局所間

電信爲替（金額十圓以內）　五十錢

同　十圓以內	六十錢
同　二十圓以內	七十錢
同　三十圓以內	八十錢
同　四十圓以內	九十錢
同　五十圓以內	一圓十錢

在韓國各局所相互間又ハ同局所ト內地及臺灣各局所トノ間但シ在韓國各局所相互間ニ取組ム電信爲替料金ハ郵便爲替規則第三條ノ規定ニ依ル

●滿洲及樺太郵便局所ト其他ノ郵便局所トノ間ニ取組ム電信

電信爲替

同　金額十圓以內	二十錢
同　二十圓以內	三十錢
同　三十圓以內	四十錢
同　四十圓以內	五十錢
同　五十圓以內	一圓十錢
同　一圓十錢以內	一圓二十錢

改正　三六年第五一號
改稱　四年

爲替料

明治三十九年八月十七日
遞信省令第四十三號

滿州及樺太ニ設置シタル郵便局所ト其ノ以外ノ各郵便局所トノ間ニ取組ム電信爲替料金ハ在韓國各郵便局所ト其ノ以外ノ各郵便局所トノ間ニ取組ム電信爲替料金ト同一ノ割合ニ依ル但シ在滿洲各郵便局所相互間及在樺太各郵便局所相互間竝在滿洲各郵便局所ト在韓國各郵便局所トノ間ニ取組ム電信爲替料金ハ郵便爲替規則第三條ノ規定ニ依ル

本令ハ明治三十九年八月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

❷清國上海本邦郵便局取扱郵便爲替及貯金ノ洋銀受授方

明治三十年九月十八日
遞信省告示第二百六十四號

來十月一日ヨリ在清國上海本邦郵便局ニ於テ取扱フ郵便爲替及ヒ郵便貯金ノ受拂金ニ洋銀ヲ用フルトキハ之ヲ本邦貨幣額ニ換算シテ受授スヘシ

❸臺灣ニ於ケル電信爲替別配達料

明治三十三年九月三十日
臺灣總督府令第八十三號
改正　三六年第四八號

本島郵便及電信局同出張所ノ拂渡ニ屬スル電信爲替ニシテ郵便接續ノ場合ニ其別配逓料請求スル者及電信爲替證書ヲ該拂渡局所ノ市外ニ住スル受取人ニ別配逓ヲ請求スル者ハ明治三十三年九府令第七十六號ニ依ル三里以内ノ郵便別配逓料トシテ金六十錢ヲ振出局所ニ納付スヘシ若配逓里程三里以上ニ渉ルトキハ其不足額ハ爲替受取人ヨリ之ヲ徴收ス爲替受取人納付セサルトキハ更ニ爲替差出人ヨリ之ヲ徴收ス

本令ハ明治三十三年十月一日ヨリ施行ス

❹臺灣總督府所屬郵便局所ニ於ケル郵便爲替貯金及取立金受拂事務取扱日時

明治三十六年四月十八日
臺灣總督府告示第三十九號

明治三十六年五月一日ヨリ臺灣總督府所屬郵便局所ニ於ケル郵便爲替、郵便貯金及郵便取立金受拂事務取扱日時ヲ左ノ通相定ム

一　一月一日、紀元節、天長節、始政紀念日ニ限リ取扱ヲ爲サス

二　前項以外ノ大祭祝日及日曜日ハ正午十二時迄其ノ他ハ左ノ通トス

五月一日ヨリ九月三十日迄午前八時ヨリ正午十二時ニ至ル

十月一日ヨリ翌年四月三十日迄午前九時ヨリ午後四時ニ至ル

但シ土曜日ニ限リ午後二時迄トス

三　必要ト認ムル局所ニ於テハ特ニ取扱時間ヲ延伸スルコトアルヘシ但シ其ノ時間ハ當該局所ニ掲示ス

❺郵便爲替金居宅拂取扱局所

明治三十八年十二月二十日
臺灣總督府告示第百五十七號

明治三十九年一月一日ヨリ左ノ郵便電信局及同郵便區市内ニ在ル局所ニ於テハ同郵便局所ニ投宛ス且同郵便區市内ニ居住スル者ノ受取ルヘキ郵便爲替ニ對シ郵便爲替規則ニ依リ爲替金ノ居宅拂ヲ取扱フ

臺北郵便電信局
臺南郵便電信局
基隆郵便電信局
臺中郵便電信局
宜蘭郵便電信局
淡水郵便電信局
新竹郵便電信局
苗栗郵便電信局
安平郵便電信支局
彰化郵便電信局
嘉義郵便電信局
斗六郵便電信局
鹽水港郵便電信局
打狗郵便電信局
風山郵便電信局
臺東郵便電信局
澎湖郵便電信局

❻萬國聯合郵便爲替竝香港及其媒介爲替臺灣總督府各郵便及電信局所ニ於ケル取扱區別

明治三十三年九月三十日
臺灣總督府告示第八十二號

臺北、臺中、臺南、基隆、打狗ノ各郵便電信局臺北郵便電信局大稻埕支局及(淡水支局)竝臺南郵便電信局安平支局ニ於テハ外國郵便局ニ對シ直接ニ萬國聯合郵便爲替竝香港及其媒介爲替ノ振出及拂渡ノ業務ヲ取扱ヒ其他ノ各郵便及電信局及同出張所ニ於テハ所轄一等郵便電信局ヲ經由シテ該爲替ノ受拂業務ヲ取扱フ

第二款　外國郵便爲替

●郵便爲替事務約定

明治三十一年十二月二十日
勅令總外逓大臣署名

朕明治三十年六月十五日帝國領ニ於テ帝國及各郵便聯合國全權委員ニ記名調印シタル郵便爲替事務約定ヲ批准シ茲ニ之ヲ公布セシム

萬國郵便聯合
獨逸及墨逸保帝國、中央亞米利加大共和國、亞佐的音共和國、墨國、利沙、墨利、丁抹及丁抹殖民地「ドミニカ」共和國、英及、佛蘭西、希臘、「カテマラ」、伊太利、日本、「リベリア」共和國、蘭領、馬尼、墨國維、遜羅王國、瑞典、瑞西、突尼斯攝政國、土耳古及「ヴルゲー」ノ間ニ締結セル郵便爲替事務約定

第一條

郵便爲替締盟國中其ノ郵政廳ニ於テ互ニ郵便爲替業務ノ開設ヲ承諾シタル諸國ノ間ニ郵便爲替ノ方法ニ依リ金員ヲ交換スルハ本約定ノ諸條款ニ準據スヘシ

第二條

一　爲替金額ハ正金ニテ差出人ヨリ受領シ受取人ニ拂渡スヲ通則トス然レトモ各郵政廳ハ其ノ國内ニ法律上通用スル紙幣ヲ以テ爲替金受拂ニ充用スルコトヲ得但シ相場上差額ヲ生スルトキハ其ノ差額ヲ算入スヘキモノトス

二　爲替一口ノ金額ハ正貨一千「フランク」若ハ之ニ對スル各國貨幣ノ最近額ヲ超過スヘカラス然レトモ現ニ一千「フランク」ヲ最高額ト爲スコト能ハサル郵政廳ハ五百「フランク」若ハ之ニ對スル各國貨幣ノ最近額ヲ最高額ト定ムルコトヲ得

三　各爲替金額ハ關係郵政廳ノ間ニ特殊ノ約定アルモノヲ除キ其ノ他ハ拂渡國ノ正貨ヲ以テ爲替券面ニ之ヲ記載スヘシ振出國郵政廳ハ時宜ニ依リ自國ノ貨幣ヲ拂渡國ノ正貨ニ換算スヘキ割合ヲ定ムヘシ

四　振出國及拂渡國ニ於テ其ノ貨幣ノ制度ヲ同フスルトキハ振出人若ハ受取人ヨリ徴收スルコトヲ得ス爲替料ト爲シ時宜ニ依リ受領スヘキ相場額ヲ定ムト同シク差出人ヨリ受領スヘキ相場額ヲ定ムヘシ

第三條

一　前條ニ據リ送付スル各爲替ニ對シ差出人ヨリ徴收スヘキ爲替料ハ爲替金額一百「フランク」ヲ超過セサル分ニ對シテハ二十五「サンチーム」又一百「フランク」ヲ超過スル分ニ對シテハ五十「サンチーム」トシ各國ノ貨幣ニシテ端數ヲ生スルトキハ余數ニ切上ケ之ト相當ナル金額トス

二　郵便事務ニ關シ諸郵政廳ノ間又ハ其ノ所轄諸郵便局ノ間ニ交換スル事務用爲替ハ總テ其ノ爲替料ヲ免除スヘシ

三　振出國郵政廳ハ事務用爲替ヲ除キ拂渡國郵政廳ニ對シ手數料トシテ爲替金額一百「フランク」ヲ超過セサル分ニ對シテハ其ノ二百分ノ一ヲ又一百「フランク」ヲ超過スル分ニ對シテハ四百分ノ一ヲ支拂フヘシ

本約定ニ加盟セル一國ト加盟セサル一國トノ間ニ加盟セル他國ノ媒介ニ依リ交換スル爲替ニ付テハ媒介郵政廳ノ利益ノ爲ニ附加手數料ヲ徴收スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ電信爲替ヲ得面金額ヨリ引去リ加盟セサル國ノ分前ニ充ツルモノトス

四　郵便爲替券及券面ニ記載スヘキ受取書竝ニ差出人ニ交付スル領收證ニ付テハ本條第一項ニ依リ徴收スル爲替料ノ外何等ノ爲替料或ハ手數料ヲ差出人若ハ受取人ヨリ徴收スルコトヲ得ス但シ時宜ニ依リ受取人ノ住所ニ就キ拂渡ヲ爲ス爲配逓料及前第三項ニ定ムル附加手數料ヲ徴收スルハ此ノ限ニアラス

五　郵便爲替ノ差出人振出國ニ於テ書留郵便物ノ到達證ニ對シ徴收スル手數料ト同額ナル一定ノ料金ヲ證メ支拂フトキハ爲替金拂渡ノ通知書ヲ受クルコトヲ得但シ此ノ料金ハ振出國郵政廳ノ所得ニ歸スルモノトス

六　郵便爲替ノ差出人ハ未タ受取人ニ於テ爲替券若ハ爲替金ノ交付ヲ受ケサル間ハ郵便本條約第九條ニ依リ通常郵便物ニ關シ定ムル規則及特例ニ準據シ其ノ取戻若ハ其ノ名宛ヲ變更スルコトヲ得

七　又差出人ハ前記條約第十三條ニ定ムル規則ニ準據シ爲替到著ノ後直ニ特別ノ配逓人ヲ以テ受取人ノ住所ニ就キ爲替金拂渡ノ請求ヲ爲スコトヲ得

八　然レトモ各宛國郵政廳ハ其ノ内地ノ規則ニ依リ金員ノ代リニ爲替到著ノ報知書若ハ爲替券ヲ別配逓ニテ送付スルコトヲ得

第四條

一　郵便爲替ハ官設電線ニ依リ連通スル諸國郵政廳又ハ該爲替ノ爲私設電線ノ使用ヲ承諾スル諸郵政廳ノ間ニ於テハ電信ヲ以テ之ヲ交換スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ電信爲替ト稱ス

二　電信爲替ハ通常電報ト均シク且之ト同一ナル條件ニ據リ至急、迅信料前納、照校及受信報知ノ手數ヲ竝ニ萬國電信ノ連通セサル地方ニ宛ツルモノナルトキハ郵便配逓若ハ別配逓ノ

手數ヲ經ルコトヲ得ヘク又郵便ニ依リ送付シ差出人ニ交付スヘキ拂渡通知書ヲ請求スルコトヲ得

電信爲替ノ差出人ハ相當ノ電信料ヲ納付スルトキハ成規ノ爲替式紙ニ受取人ニ對スル通信ヲ附記スルコトヲ得

三　電信爲替ノ差出人ハ左ノ料金ヲ拂フヘシ

甲　郵便爲替料又拂渡通知書ヲ請求スルトキハ其ノ一定ノ手數料

乙　電信料

四　電信爲替ハ本條ニ定ムル料金若ハ萬國電信規則ニ準據シテ徵收スルモノノ外之ニ對シ何等ノ料金ヲ徵收セサルヘシ

第五條

一　通常爲替ハ受取人其ノ住居ヲ移轉セシトキハ本約定ニ加盟セル諸國ノ一國ヨリ他ノ一國ヘ宛テ再發スルコトヲ得新名宛國ニ於テ最初ノ名宛國ト貨幣ノ制度ヲ異ニスルトキハ該爲替金額ハ最初ノ名宛國ヨリ新名宛國ニ振宛ツル爲替ニ對シ定メタル割合ニ從ヒ再發郵便局ニ於テ新名宛國ノ貨幣ニ換算スヘシ右再發ノ爲特ニ爲替料ヲ徵收セス但シ振出國ト最初ノ名宛國トノ間ニ締結セル特殊ノ約定ニ依リ徵收スル爲替料ニシテ本約定第三條ニ定ムル料金ヨリ少額ナルトキト雖新名宛國ハ最初ヨリ自國ニ振宛テタル爲替ニ對シ受收スヘキ爲替料ノ分前ヲ其ノ所得トシテ收入スヘシ

二　電信爲替ハ通常爲替ト同一ノ條件ニ據リ之ヲ新名宛國ヘ再發スルコトヲ得電信爲替ハ關係郵政廳ノ間ニ反對ノ約定アルモノヲ除キ常ニ郵便ヲ以テ之ヲ再發スルモノトス

第六條

一　締盟各國郵政廳ハ施行細則ニ定ムル時期ニ於テ計算書ヲ調製シ各其ノ郵便局ニ於テ拂渡シタル總金額ヲ集記シ五ニ調査確定ノ上特別ノ約定アルモノヲ除キ其ノ他ハ同細則ニ定ムル期限内ニ於テ借越郵政廳ヨリ貸越國ノ金貨ヲ以テ其ノ差額ヲ支拂フヘシ

二　爲替金拂渡ニ用ヰタル貨幣其ノ種類ヲ異ニスルトキハ特別ノ約定アルモノヲ除キ兩國金貨ノ比價ニ依リ少額ノ貨高ヲ多額ノ貨高ト同一ノ貨幣ニ換算スヘシ

三　定期間ニ計算上ノ差額ヲ支拂ハサルトキハ期限經過ノ日ヨリ起算シ其ノ支拂ノ日迄其ノ差額ニ利子ヲ付ス此ノ利子ノ割合ハ一箇年五分ト定メ支拂ヲ延滯シタル郵政廳ノ借高トシテ次期ノ計算書ニ記入スヘシ

第七條

一　郵便爲替金額ハ受取人又ハ其ノ代理人ニ正當ニ之ヲ拂渡ストキ迄差出人ニ對シ保證スヘキモノトス

二　各郵政廳ニ於テ受取リタル郵便爲替金ハ振出國ノ法律規則ヲ以テ定メタル期限内ニ其ノ權利者ヨリ請求ナキトキハ振出郵政廳ノ所得ニ歸スルモノトス

三　然レトモ權限ヲ有セサル者ニ爲替金ヲ拂渡シタルコトニ關シ要求ヲ爲スコトヲ得ルハ該爲替ノ通常效力滿期ノ日ヨリ起算シ一箇年以内トス此ノ期間ヲ經過シタル後ハ郵政廳ハ不正ノ受取者ニ對スル拂渡ニ付責任ヲ免カルルモノトス

第八條

本約定ハ締盟各國カ萬國郵便爲替事務ヲ改良スルノ目的ヲ以テ特殊ノ約定ヲ保持シ若ハ締結シ或ハ特別ノ聯合ヲ保持シ若ハ開設スルノ權利ヲ留保スルコトナシ

第九條

各郵政廳ハ萬國郵便爲替事務ヲ停止スルヲ至當ナリトスル非常ノ場合ニ於テハ其ノ全部若ハ一部ヲ一時停止スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ遠ニ又必要ナルトキハ電報ヲ以テ關係郵政廳ヘ報知スヘシ

第十條

此ノ約定ニ未タ加盟セサル聯合諸國ハ其ノ請求ニ依リ且郵便本條約第二十四條ニ規定スル萬國郵便聯合加盟ノ手續ニ從ヒ加入スルコトヲ得

第十一條

締盟各國郵政廳ハ前記ノ諸條款ニ據リ發行スル爲替ノ受拂局ヲ指定シ爲替ノ方式及爲替送付ノ方法竝ニ第六條ニ記載スル計算ノ方式其ノ他本約定ノ施行ヲ確實ニスル爲ニ必要ナル手續細目ヲ定ムヘシ

第十二條

一　締盟各國郵政廳ハ郵便本條約第二十五條ニ記載スル會議ノ時期ニ至ラサルモ萬國郵便聯合總理局ヲ經テ郵便爲替事務ニ關スル其ノ他ノ郵政廳ニ提出スルノ權利ヲ有ス

發議ハ之ヲ提出セル郵政廳ヲ除キ少クトモ二箇ノ郵政廳ノ贊成ヲ得ルニアラサレハ之ヲ討議ニ付スルコトヲ得ス萬國郵便聯合總理局ニ於テ發議ト同時ニ所定ノ贊成數ヲ受領セサルトキハ之ヲ討議ニ付スルノ手續ヲ爲ササルモノトス

二　總テ發議ハ郵便本條約第二十六條第二項ニ定ムル方法ニ準據スヘシ

三　發議ハ左ノ問題ヲ目的トスルニアラサレハ實施スヘカラス

コトヲ得ス

第一　本約定ニ新條款ヲ追加シ又ハ本條及第一條、第二條、第三條、第四條、第六條竝ニ第十三條ノ諸條款ヲ修正セムトスルトキハ投票國全體ノ同意

第二　前記ノ諸條款ヲ除キ其ノ他ノ條款ヲ修正セムトスルトキハ投票國三分ノ二以上ノ同意

第三　本約定ノ解釋ニ關スルトキハ單ニ過半數ノ同意但シ郵便本條約第二十三條ニ記載スル異見ヲ生スル場合ハ此ノ限ニアラス

四　有效ノ決議ハ郵便本條約第二十六條ニ記載スル方式ニ從ヒ第一及第二ノ場合ニ於テハ外交上ノ宣言書第三ノ場合ニ於テハ郵政廳ヘノ通知書ヲ以テ確認スヘシ

五　總テ可決セシ修正又ハ決議ハ報知ノ後少クトモ三箇月ヲ經過セサレハ之ヲ實施セス

第十三條

一　本約定ハ千八百九十九年一月一日ヨリ實施スヘシ

二　本約定ハ郵便本條約ト同一ノ效力期限ヲ有ス然レトモ各國ハ其ノ政府ヨリ瑞西聯邦政府ヘ一箇年前ニ通知スルトキハ本約定ヨリ退盟スルノ權利ヲ有ス

三　締盟諸國ノ政府若ハ郵政廳ノ間ニ爾ニ締結シタル約束ニシテ第八條ニ記載スル權利ヲ除キ本約定ノ條款ニ抵觸スルモノハ總テ本約定實施ノ日ヨリ廢止スヘシ

四　本約定ハ成ルヘク速ニ批准ヲ受クヘシ此ノ批准書ハ華盛頓ニ於テ交換スルモノトス

右証據トシテ前掲諸國ノ全權委員ハ千八百九十七年六月十五日華盛頓ニ於テ本約定ニ署名セリ

獨逸及墨國	フリツチ、ノイマン
墨國	エス、ポレット、ベラザ
中央亞米利加大共和國	エム、ガルシア、メルー
亞然的音共和國	ドクトル、ノイバウエル、ハツベルグル、スチーブラル
墨地利	リヒテルブエルド、アステルベン、アラムビン
白耳義	ドクトル、カムレー
ボスニー、ヘルゼゴヴヰヌ	ア、フオンツーラ、サヴヰエイヴ、ストヤノヴヰツチ
伯西兒	エル、エル、イララヴヴァール
物爾瓦利	セー、スヴァンドサン
智利	
丁抹及丁抹殖民地	イグレック、サバー
ドミニカ共和國	アンソール
埃及	エド、ホウーン
佛蘭西	ザー、ノーヴエウ
希臘	ヒエール、ド、サライ
ガテマラ	セー、ド、ヘンニエー
洪爲利	エー、キアラヂア
伊太利	セー、セー、ヴアンシー
日本	エー、デルマチー、小松謙次郎、湯川寛吉
リベリア共和國	チヤーレス、ホール、アダム
歴山傑	ハヴエラール代ヴアン、デル、ヴエエン
那威	ヂアシュベ、ヘイエルダアール
和蘭	ハヴエラール代ヴアン、デル、ヴエエン、ヴアン、デル、ヴエエン
和蘭殖民地	ジロース、ザー、ベルク
葡萄牙及葡萄牙殖民地	サント、チルゾー
羅馬尼	セー、キルー、エル、ブレダ
塞爾維	ピエール、ド、サライ、セー、ド、ヘンニエー
暹羅王國	アイザーク、ダクンセン、ド、スミス
瑞典	エフ、ブシュ、ジュリサルン
瑞西	ザー、ベー、ビオダー、ア、ステーゲル、セー、デレツセルト
突尼斯攝政國	チエポート
土耳古	ムースタフア、ア、ブアリー
ウルゲー	プリュデンシオ、ド、ミュルギオンド

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐ミタル日本國皇帝（御名）此書ヲ見ル有衆ニ宜示ス

朕帝國ト各郵便聯合國トノ間ニ於ケル交通ノ利便ヲ企圖シ明治三十年六月十五日華盛頓ニ於テ帝國及各郵便聯合國全權委員ノ記名調印シタル郵便爲替事務約定ノ各條目ヲ親シク閲覽點檢シタルニ善ク朕カ意ニ適シ同然スル所ナキヲ以テ右約定ヲ嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千五百五十八年明治三十一年十二月八日東京宮城ニ於テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名御璽　外務大臣子爵青木周蔵

明治三十八年八月三十一日
遞信省告示第四百六十七號

「エリトレー」伊太利植民地ハ本年七月一日ヨリ華盛頓締結郵便爲替事務約定ニ加盟セリ

●郵便爲替事務約定施行細則

明治三十一年十二月二十二日
遞信省告示第三百三十五號

本年十二月二十日勅令ヲ以テ公布セラレタル郵便爲替事務約定ノ施行細則左ノ通定ム

萬國郵便聯合

獨逸及獨逸保護國、中央亞米利加大共和國、亞然的音共和國、墺地利洪牙利、白耳義、「ボスニー、ヘルセゴヴヰヌ」、伯西兒、勃爾瓦利、智利、丁抹及丁抹殖民地、「ドミニカ」共和國、埃及、佛蘭西、希臘、「ガテマラ」、伊太利、日本、「リベリア」共和國、盧山堡、那威、和蘭、和蘭殖民地、葡萄牙及葡萄牙殖民地、羅馬尼、露西亞、邏羅王國、瑞典、瑞西、突尼斯攝政國、土耳古及「ウルグイ」ノ間ニ締結セル郵便爲替事務約定施行細則

下ニ署名スル諸員ハ郵便本條約第十九條及郵便爲替事務約定第十一條ニ據リ各其ノ郵政廳ニ代リ本約定施行ノ爲ニ協議決定セシ條款左ノ如シ

第一條

萬國郵便爲替振出ニ對スル金額ノ領收證、預證若ハ拂込證ハ各郵政廳ニ於テ定ムル方式ニ依リ無手數料ニテ差出人ニ交付スヘシ

第二條

一　萬國郵便爲替券ハ本細則附錄甲號雛形ニ適合シ又ハ之ニ類似スル式紙ヲ以テ調製スヘシ

二　佛蘭西語ヲ以テ印刷セサル爲替式紙ハ各行ノ下ニ佛蘭西語ヲ以テ其ノ譯文ヲ付スヘシ又式紙ニ記載スヘキ數字ハ亞刺比亞字及文字ハ羅句字ヲ用フヘシ但シ塗抹若ハ重書ハ證明スルト雖之ヲ許サス

三　爲替券ニハ其ノ式紙ニ關係アル事項ヲ除キ其ノ他ノ事柄ヲ記載スルコトヲ禁ス但シ差出人ハ其ノ通知券ニ受取人ヘ宛ツル通信ヲ附記スルノ權利ヲ有ス

四　事務用爲替券ニハ其ノ上部ニ Officiel（事務用）ナル文字ヲ記載シ又其ノ通知券ニハ該爲替券送付ノ事由ヲ記入スヘシ

第三條

一　電信爲替ハ金員ヲ受領シタル郵便局ニ於テ認メ其ノ拂渡郵便局ニ宛テ之ヲ送付スルモノトス

二　電信爲替ハ左ノ如ク認ムヘシ

臨時符號　（文字又ハ電信事務ニ使用スル略語ヲ以テ記入スヘシ）
爲替　（振出郵便番號）
郵便局　（名宛局名）
（拂渡通知書要スルトキ）
（差出人氏名）ヨリ（名宛國ノ貨幣ニテ數字ト文字トヲ以テ記シタル爲替金額）ヲ
（名宛人ノ氏名、居所及成ルヘク住所ヲ正確ニ記スヘシ）ニ拂フ

前記ノ事項ハ此ノ順序ヲ逐ヒ常ニ電信爲替ノ式紙ニ記入スヘシ

電信業務ノ開設ナキ地ニ於ケル郵便局ヨリ電信爲替ヲ振出ストキハ電報中振出郵便番號ノ上ニ左ノ如ク其ノ振出地名ヲ記載スヘシ

「、、、、、、、、、ヨリ、、、、、、、、、爲替」

數多郵便局ノ設置アル地ヨリ發スル電信爲替ニシテ電信業務ヲ取扱ハサル郵便局ヨリ振出スモノナルトキハ前節同樣振出郵便番號ノ上ニ其ノ振出局名ヲ詳細ニ記載スヘシ

三　諸郵政廳ハ各其ノ事務上一箇若ハ數多ノ郵便局ノ設置アル地ニ於ケル電信局ヲシテ差出人ヨリ電信爲替金ヲ受領シ及名宛地ニ於テ其ノ拂渡ヲ爲サシムルコトヲ得

四　電報一部分ノ反覆（局ヨリ局ヘ固有名詞及員數ノ反覆）ハ必ス之ヲ施行スヘシ

五　電信爲替振出郵便局ハ其ノ振出ヲ證明スル爲本細則附錄乙號雛形ニ適合シ又ハ之ニ類似スル電信爲替ノ證書即チ振出報知書ヲ封裝シ名宛郵便局ヘ宛テ最近便ヲ以テ送付ス名宛郵便局ハ受取人ニ於テ爲替金領收ノ旨ヲ認載シタル電報原書ニ此ノ證書ヲ添附シ置クモノトス

第四條

一　郵便爲替券ハ封裝セスシテ送付スルモノトス

二　一便ニ送付スヘキ爲替券ハ時宜ニ依リ名宛國毎ニ區分結束シタル後更ニ一括ニ包裝シ其ノ郵便交換局ニ於テ郵便物ニ添附スル書狀目錄在中ノ封皮ニ挿入スルモノトス

第五條

一　約定第五條ニ揭タル通常爲替再發ノ場合ニ於テ發物ノ名宛國ト新名宛國ト貨幣ノ制度ヲ異ニスルトキハ再發局ハ筆頭ニテ爲替券面金額ノ表記並ニ「有效金額」欄內上部ノ表記ヲ原記事ヲ讀得ル程度ニ抹殺シ該金額ヲ新名宛國ノ貨幣ニ換算シ其ノ換算金額ヲ爲替券面適宜ノ場所ヘ文字ニテ記載ス但シ成ルヘク原金額表記ノ上部ニ之ヲ記載スルモノトス爲替券面ニ

新ニ記載シタル事項ハ主務者ニ於テ署名ス其ノ後重テ再發ヲ爲ス場合ニ於テモ亦此ノ手續ヲ履行スヘキモノトス

二　電信爲替ハ通常爲替ト同一ノ條件ニ據リ之ヲ新名宛國ヘ再發スルコトヲ得（約定第五條第二項）此ノ場合ニ於テハ振出報知書ヲ添附スヘキモノトス

三　再發若ハ返送ノ請求ハ第一名宛局又ハ時宜ニ依リ第二以下ノ名宛局ニ於テ備考トシテ帳簿ニ之ヲ登記ス前記ノ條件ニ據リ爲替ヲ再發スル郵便局ハ振出局ヘ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第六條

郵便本條約第十三條及該條約施行細則第二十九條ノ規定ハ郵便爲替ノ別配達及誤送若ハ名宛變更ニ關シ請求アル場合ニ各之ヲ適用ス

但シ爲替券ノ模寫ニハ通知券面ニ記載セル事項ヲ正寫スルヲ要セス

第七條

一　左ニ揭クル原因ニ依リ拂渡ヲ爲スコト能ハサル郵便爲替券ハ振出郵政廳ニ於テ訂正スルモノトス

第一　受取人ノ氏名若ハ住所ノ記載方誤謬、不完全若ハ不明ナルモノ

第二　氏名若ハ金額ニ相違若ハ脫漏アルモノ

第三　爲替券面ニ記載セル事項ヲ塗抹シ若ハ重書シタルモノ

第四　印章、記名其ノ他郵便局ニテ記載スヘキ事項ノ脫漏シタルモノ

第五　名宛國ノ貨幣ニアラサル他ノ貨幣若ハ時宜ニ依リ關係郵政廳ノ間ニ拂渡ノ爲ニ取極メタル貨幣ニアラサル他ノ貨幣ヲ以テ拂渡金額ヲ記載シタルモノ

第六　成規ニ依ラサル式紙ヲ使用シタルモノ

二　前項ノ爲替券ハ訂正ノ爲本條第四項ノ適用ヲ要スルモノヲ除キ成ルヘク速ニ名宛局ヨリ振出局ヘ事務用書留ニテ返還スルモノトス又前項ノ事故ニシテ郵便事務ニ起因スルモノナルトキハ該爲替ノ返還及之ニ對スル處分ニ付關係郵政廳ハ通知ヲ受クヘキモノトス

三　電信爲替ニシテ名宛ノ不完全若ハ誤謬ニ因リ拂渡ヲ爲スコト能ハサルモノアルトキハ其ノ拂渡ヲ爲スコト能ハサル原因ヲ示ス所ノ事務報ヲ振出局ヘ發送スルモノトス振出局ハ名宛ノ正確ナルヤ否ヲ檢査シ若名宛ニ相違アリタル場合ニ於テハ直ニ事務報ヲ以テ之ヲ訂正シ反對ノ場合ニ於テハ差出人ニ照會シ課金事務報ヲ以テ名宛ヲ訂正シ若ハ補缺スルコトヲ許スモノトス

其ノ他ノ原因特ニ第三條ニ揭クル方式ノ脫漏ニ依リ拂渡ヲ停止スル場合ニ於テ若名宛人本條第四項及第六項ノ利便ニ依ラサルトキハ通常郵便爲替ニ關シ定ムル手續ニ據リ訂正ス成規ノ時間內ニ事務報ヲ以テ名宛ノ不完全若ハ誤謬ヲ訂正セサル電信爲替ニ對シテモ右ト同一ノ手續ニ據リ取扱フヘシ

四　成規ニ依ラサル通常爲替又ハ電信爲替ノ名宛人其ノ拂渡上支障アル廉ヲ電信ニ依リ課金事務報ヲ以テ訂正セラレンコトヲ請求シ且一切ノ費用ヲ拂フヘキ旨申出ツルトキハ之カ訂正ヲ受クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ名宛局ニ於テ該爲替券ヲ留置キ振出局ノ發スル訂正電報ニ依リ之ヲ訂正シ其ノ電報ハ訂正シタル爲替券ニ添附スルモノトス

五　電信爲替ニシテ其ノ振出報知書ノミ到達シ電報未タ到達セサル場合ニ於テハ單ニ報知書ノ一覽ヲ以テ其ノ拂渡ヲ爲スヘカラス必ス先ツ電報ヲ要求スヘシ

六　前第四項ニ揭クル訂正電報ニシテ事務上ノ過誤ニ因リ發スルニ至リタルモノナルトキハ權利者ニ其ノ電報料ヲ還付スヘシ

七　爲替（通常又ハ電信）ハ受取人ニ於テ其ノ受取ヲ拒ミタルトキ竝ニ受取人不明ナルトキ若ハ受取人名宛ヲ告ケスシテ出發シタルトキハ名宛局ニ於テハ郵便本條約施行細則第二十六條第四項ノ規定ニ據リ之ニ印章ヲ押捺シ又ハ紙札ヲ貼附シ事務用書留ニテ直ニ振出局ヘ返還スヘシ

事故ニ因リ返還スル電信爲替ニハ之ニ對スル振出報知書ヲ添附セサルヘカラス

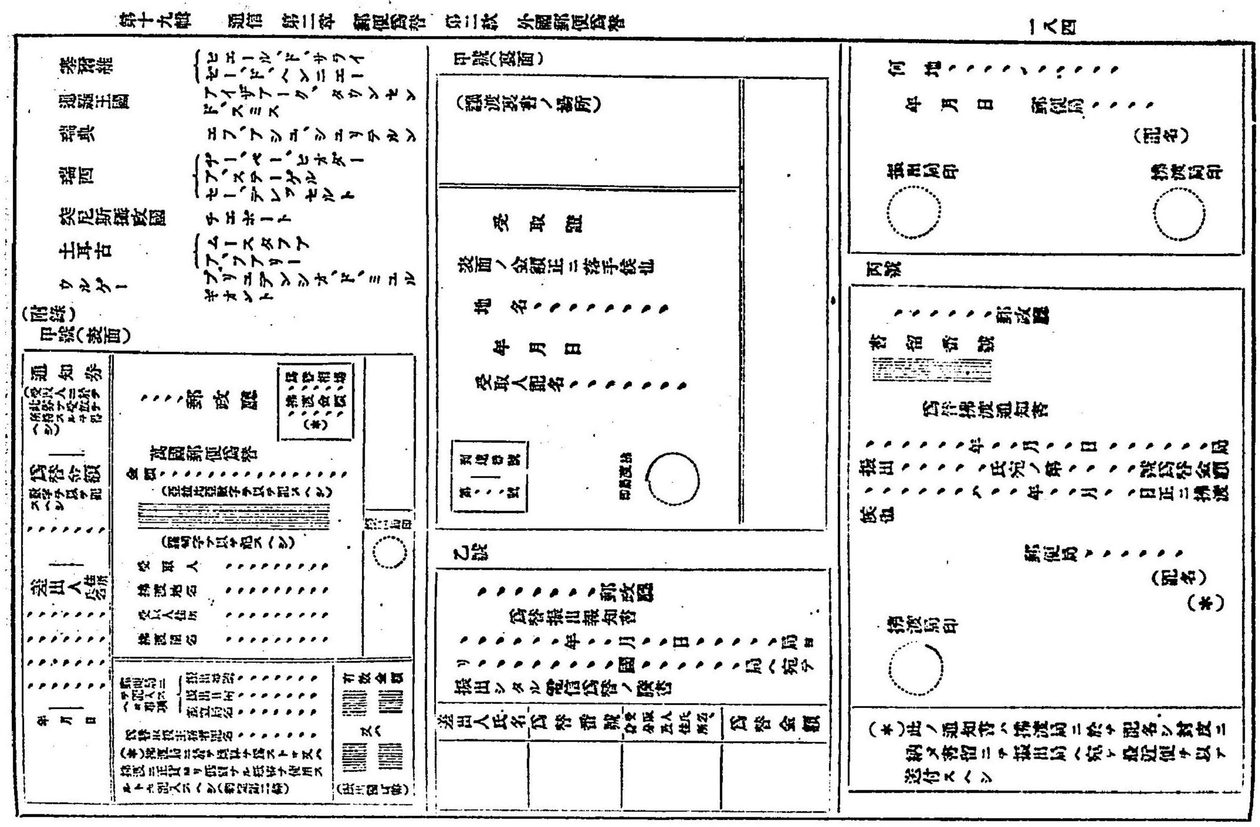
第八條

一　爲替ハ之ヲ振出シタル月ノ翌月ヨリ起算シ其ノ第二月ノ末日迄其ノ效力ヲ有スルモノトス此ノ期間ハ關係郵政廳ノ間ニ締結セル反對ノ約定アルモノヲ除キ歐洲外諸國トノ關係若ハ歐洲外諸國相互ノ關係ニ於テハ之ヲ四箇月トス

二　此ノ期間ヲ經過シタル後ハ名宛局ヲ管理スル郵政廳ノ請求ニ依リ振出郵政廳ニ於テ日附ノ書換ヲ爲シタル後ニアラサレハ爲替ノ拂渡ヲ爲スコトヲ得ス

三　日附ノ書換ハ爲替券面ニ於テ之ヲ爲スヘシ此ノ書換ハ該爲替券ニ對シ更ニ本條第一項ニ揭クル期間ト同一ノ有效期間ヲ與フルモノトス

第十九輯　第二號　第三號　第四號　第五號　第六號　第七號　第八號　第九號　第十號　第十一號　第十二號　第十三號　第十四號　第十五號　第十六號　第十七號　第十八號　第十九號　第二十號　第二十一號　第二十二號　第二十三號　第二十四號　第二十五號　第二十六號　第二十七號　第二十八號　第二十九號　第三十號　第三十一號　第三十二號　第三十三號　第三十四號　第三十五號　第三十六號　第三十七號　第三十八號　第三十九號　第四十號　第四十一號　第四十二號　第四十三號　第四十四號　第四十五號　第四十六號　第四十七號　第四十八號　第四十九號　第五十號　第五十一號　第五十二號　第五十三號　第五十四號　第五十五號　第五十六號　第五十七號　第五十八號　第五十九號　第六十號　第六十一號　第六十二號　第六十三號　第六十四號　第六十五號　第六十六號　第六十七號　第六十八號　第六十九號　第七十號　第七十一號　第七十二號　第七十三號　第七十四號　第七十五號　第七十六號　第七十七號　第七十八號　第七十九號　第八十號　第八十一號　第八十二號　第八十三號　第八十四號　第八十五號　第八十六號　第八十七號　第八十八號　第八十九號　第九十號　第九十一號　第九十二號　第九十三號　第九十四號　第九十五號　第九十六號　第九十七號　第九十八號　第九十九號　第百號　第百一號　第百二號　第百三號　第百四號　第百五號　第百六號　第百七號　第百八號　第百九號　第百十號　第百十一號　第百十二號　第百十三號　第百十四號　第百十五號　第百十六號　第百十七號　第百十八號　第百十九號　第百二十號　第百二十一號　第百二十二號　第百二十三號　第百二十四號　第百二十五號　第百二十六號　第百二十七號　第百二十八號　第百二十九號　第百三十號　第百三十一號　第百三十二號　第百三十三號　第百三十四號　第百三十五號　第百三十六號　第百三十七號　第百三十八號　第百三十九號　第百四十號　第百四十一號　第百四十二號　第百四十三號　第百四十四號　第百四十五號　第百四十六號　第百四十七號　第百四十八號　第百四十九號　第百五十號　第百五十一號　第百五十二號　第百五十三號　第百五十四號　第百五十五號　第百五十六號　第百五十七號　第百五十八號　第百五十九號　第百六十號　第百六十一號　第百六十二號　第百六十三號　第百六十四號　第百六十五號　第百六十六號　第百六十七號　第百六十八號　第百六十九號　第百七十號　第百七十一號　第百七十二號　第百七十三號　第百七十四號　第百七十五號　第百七十六號　第百七十七號　第百七十八號　第百七十九號　第百八十號　第百八十一號　第百八十二號　第百八十三號　第百八十四號　第百八十五號　第百八十六號　第百八十七號　第百八十八號　第百八十九號　第百九十號　第百九十一號　第百九十二號　第百九十三號　第百九十四號　第百九十五號　第百九十六號　第百九十七號　第百九十八號　第百九十九號　第二百號　第二百一號　第二百二號　第二百三號　第二百四號　第二百五號　第二百六號　第二百七號　第二百八號　第二百九號　第二百十號　第二百十一號　第二百十二號　第二百十三號　第二百十四號　第二百十五號　第二百十六號　第二百十七號　第二百十八號　第二百十九號　第二百二十號　第二百二十一號　第二百二十二號　第二百二十三號　第二百二十四號　第二百二十五號　第二百二十六號　第二百二十七號　第二百二十八號　第二百二十九號　第二百三十號　第二百三十一號　第二百三十二號　第二百三十三號　第二百三十四號　第二百三十五號　第二百三十六號　第二百三十七號　第二百三十八號　第二百三十九號　第二百四十號　第二百四十一號　第二百四十二號　第二百四十三號　第二百四十四號　第二百四十五號　第二百四十六號　第二百四十七號　第二百四十八號　第二百四十九號　第二百五十號　第二百五十一號　第二百五十二號　第二百五十三號　第二百五十四號　第二百五十五號　第二百五十六號　第二百五十七號　第二百五十八號　第二百五十九號　第二百六十號　第二百六十一號　第二百六十二號　第二百六十三號　第二百六十四號　第二百六十五號　第二百六十六號　第二百六十七號　第二百六十八號　第二百六十九號　第二百七十號　第二百七十一號　第二百七十二號　第二百七十三號　第二百七十四號　第二百七十五號　第二百七十六號　第二百七十七號　第二百七十八號　第二百七十九號　第二百八十號　第二百八十一號　第二百八十二號　第二百八十三號　第二百八十四號　第二百八十五號　第二百八十六號　第二百八十七號　第二百八十八號　第二百八十九號　第二百九十號　第二百九十一號　第二百九十二號　第二百九十三號　第二百九十四號　第二百九十五號　第二百九十六號　第二百九十七號　第二百九十八號　第二百九十九號　第三百號　第三百一號　第三百二號　第三百三號　第三百四號　第三百五號　第三百六號　第三百七號　第三百八號　第三百九號　第三百十號　第三百十一號　第三百十二號　第三百十三號　第三百十四號　第三百十五號　第三百十六號　第三百十七號　第三百十八號　第三百十九號　第三百二十號　第三百二十一號　第三百二十二號　第三百二十三號　第三百二十四號　第三百二十五號　第三百二十六號　第三百二十七號　第三百二十八號　第三百二十九號　第三百三十號　第三百三十一號　第三百三十二號　第三百三十三號　第三百三十四號　第三百三十五號　第三百三十六號　第三百三十七號　第三百三十八號　第三百三十九號　第三百四十號　第三百四十一號　第三百四十二號　第三百四十三號　第三百四十四號　第三百四十五號　第三百四十六號　第三百四十七號　第三百四十八號　第三百四十九號　第三百五十號　第三百五十一號　第三百五十二號　第三百五十三號　第三百五十四號　第三百五十五號　第三百五十六號　第三百五十七號　第三百五十八號　第三百五十九號　第三百六十號　第三百六十一號　第三百六十二號　第三百六十三號　第三百六十四號　第三百六十五號　第三百六十六號　第三百六十七號　第三百六十八號　第三百六十九號　第三百七十號　第三百七十一號　第三百七十二號　第三百七十三號　第三百七十四號　第三百七十五號　第三百七十六號　第三百七十七號　第三百七十八號　第三百七十九號　第三百八十號　第三百八十一號　第三百八十二號　第三百八十三號　第三百八十四號　第三百八十五號　第三百八十六號　第三百八十七號　第三百八十八號　第三百八十九號　第三百九十號　第三百九十一號　第三百九十二號　第三百九十三號　第三百九十四號　第三百九十五號　第三百九十六號　第三百九十七號　第三百九十八號　第三百九十九號　第四百號　第四百一號　第四百二號　第四百三號　第四百四號　第四百五號　第四百六號　第四百七號　第四百八號　第四百九號　第四百十號　第四百十一號　第四百十二號　第四百十三號　第四百十四號　第四百十五號　第四百十六號　第四百十七號　第四百十八號　第四百十九號　第四百二十號　第四百二十一號　第四百二十二號　第四百二十三號　第四百二十四號　第四百二十五號　第四百二十六號　第四百二十七號　第四百二十八號　第四百二十九號　第四百三十號　第四百三十一號　第四百三十二號　第四百三十三號　第四百三十四號　第四百三十五號　第四百三十六號　第四百三十七號　第四百三十八號　第四百三十九號　第四百四十號　第四百四十一號　第四百四十二號　第四百四十三號　第四百四十四號　第四百四十五號　第四百四十六號　第四百四十七號　第四百四十八號　第四百四十九號　第五百號　第五百一號　第五百二號　第五百三號　第五百四號　第五百五號　第五百六號　第五百七號　第五百八號　第五百九號　第五百十號　第五百十一號　第五百十二號　第五百十三號　第五百十四號　第五百十五號　第五百十六號　第五百十七號　第五百十八號　第五百十九號　第五百二十號　第五百二十一號　第五百二十二號　第五百二十三號　第五百二十四號　第五百二十五號　第五百二十六號　第五百二十七號　第五百二十八號　第五百二十九號　第五百三十號　第五百三十一號　第五百三十二號　第五百三十三號　第五百三十四號　第五百三十五號　第五百三十六號　第五百三十七號　第五百三十八號　第五百三十九號　第五百四十號　第五百四十一號　第五百四十二號　第五百四十三號　第五百四十四號　第五百四十五號　第五百四十六號　第五百四十七號　第五百四十八號　第五百四十九號　第五百五十號　第五百五十一號　第五百五十二號　第五百五十三號　第五百五十四號　第五百五十五號　第五百五十六號　第五百五十七號　第五百五十八號　第五百五十九號　第六百號　第六百一號　第六百二號　第六百三號　第六百四號　第六百五號　第六百六號　第六百七號　第六百八號　第六百九號　第六百十號　第六百十一號　第六百十二號　第六百十三號　第六百十四號　第六百十五號　第六百十六號　第六百十七號　第六百十八號　第六百十九號　第六百二十號　第六百二十一號　第六百二十二號　第六百二十三號　第六百二十四號　第六百二十五號　第六百二十六號　第六百二十七號　第六百二十八號　第六百二十九號　第六百三十號　第六百三十一號　第六百三十二號　第六百三十三號　第六百三十四號　第六百三十五號　第六百三十六號　第六百三十七號　第六百三十八號　第六百三十九號　第六百四十號　第六百四十一號　第六百四十二號　第六百四十三號　第六百四十四號　第六百四十五號　第六百四十六號　第六百四十七號　第六百四十八號　第六百四十九號　第六百五十號　第六百五十一號　第六百五十二號　第六百五十三號　第六百五十四號　第六百五十五號　第六百五十六號　第六百五十七號　第六百五十八號　第六百五十九號　第六百六十號　第六百六十一號　第六百六十二號　第六百六十三號　第六百六十四號　第六百六十五號　第六百六十六號　第六百六十七號　第六百六十八號　第六百六十九號　第六百七十號　第六百七十一號　第六百七十二號　第六百七十三號　第六百七十四號　第六百七十五號　第六百七十六號　第六百七十七號　第六百七十八號　第六百七十九號　第六百八十號　第六百八十一號　第六百八十二號　第六百八十三號　第六百八十四號　第六百八十五號　第六百八十六號　第六百八十七號　第六百八十八號　第六百八十九號　第六百九十號　第六百九十一號　第六百九十二號　第六百九十三號　第六百九十四號　第六百九十五號　第六百九十六號　第六百九十七號　第六百九十八號　第六百九十九號　第七百號　第七百一號　第七百二號　第七百三號　第七百四號　第七百五號　第七百六號　第七百七號　第七百八號　第七百九號　第七百十號　第七百十一號　第七百十二號　第七百十三號　第七百十四號　第七百十五號　第七百十六號　第七百十七號　第七百十八號　第七百十九號　第七百二十號　第七百二十一號　第七百二十二號　第七百二十三號　第七百二十四號　第七百二十五號　第七百二十六號　第七百二十七號　第七百二十八號　第七百二十九號　第七百三十號　第七百三十一號　第七百三十二號　第七百三十三號　第七百三十四號　第七百三十五號　第七百三十六號　第七百三十七號　第七百三十八號　第七百三十九號　第七百四十號　第七百四十一號　第七百四十二號　第七百四十三號　第七百四十四號　第七百四十五號　第七百四十六號　第七百四十七號　第七百四十八號　第七百四十九號　第七百五十號　第七百五十一號　第七百五十二號　第七百五十三號　第七百五十四號　第七百五十五號　第七百五十六號　第七百五十七號　第七百五十八號　第七百五十九號　第七百六十號　第七百六十一號　第七百六十二號　第七百六十三號　第七百六十四號　第七百六十五號　第七百六十六號　第七百六十七號　第七百六十八號　第七百六十九號　第七百七十號　第七百七十一號　第七百七十二號　第七百七十三號　第七百七十四號　第七百七十五號　第七百七十六號　第七百七十七號　第七百七十八號　第七百七十九號　第七百八十號　第七百八十一號　第七百八十二號　第七百八十三號　第七百八十四號　第七百八十五號　第七百八十六號　第七百八十七號　第七百八十八號　第七百八十九號　第七百九十號　第七百九十一號　第七百九十二號　第七百九十三號　第七百九十四號　第七百九十五號　第七百九十六號　第七百九十七號　第七百九十八號　第七百九十九號　第八百號　第八百一號　第八百二號　第八百三號　第八百四號　第八百五號　第八百六號　第八百七號　第八百八號　第八百九號　第八百十號　第八百十一號　第八百十二號　第八百十三號　第八百十四號　第八百十五號　第八百十六號　第八百十七號　第八百十八號　第八百十九號　第八百二十號　第八百二十一號　第八百二十二號　第八百二十三號　第八百二十四號　第八百二十五號　第八百二十六號　第八百二十七號　第八百二十八號　第八百二十九號　第八百三十號　第八百三十一號　第八百三十二號　第八百三十三號　第八百三十四號　第八百三十五號　第八百三十六號　第八百三十七號　第八百三十八號　第八百三十九號　第八百四十號　第八百四十一號　第八百四十二號　第八百四十三號　第八百四十四號　第八百四十五號　第八百四十六號　第八百四十七號　第八百四十八號　第八百四十九號　第八百五十號　第八百五十一號　第八百五十二號　第八百五十三號　第八百五十四號　第八百五十五號　第八百五十六號　第八百五十七號　第八百五十八號　第八百五十九號　第八百六十號　第八百六十一號　第八百六十二號　第八百六十三號　第八百六十四號　第八百六十五號　第八百六十六號　第八百六十七號　第八百六十八號　第八百六十九號　第八百七十號　第八百七十一號　第八百七十二號　第八百七十三號　第八百七十四號　第八百七十五號　第八百七十六號　第八百七十七號　第八百七十八號　第八百七十九號　第八百八十號　第八百八十一號　第八百八十二號　第八百八十三號　第八百八十四號　第八百八十五號　第八百八十六號　第八百八十七號　第八百八十八號　第八百八十九號　第八百九十號　第八百九十一號　第八百九十二號　第八百九十三號　第八百九十四號　第八百九十五號　第八百九十六號　第八百九十七號　第八百九十八號　第八百九十九號　第九百號　第九百一號　第九百二號　第九百三號　第九百四號　第九百五號　第九百六號　第九百七號　第九百八號　第九百九號　第九百十號　第九百十一號　第九百十二號　第九百十三號　第九百十四號　第九百十五號　第九百十六號　第九百十七號　第九百十八號　第九百十九號　第九百二十號　第九百二十一號　第九百二十二號　第九百二十三號　第九百二十四號　第九百二十五號　第九百二十六號　第九百二十七號　第九百二十八號　第九百二十九號　第九百三十號　第九百三十一號　第九百三十二號　第九百三十三號　第九百三十四號　第九百三十五號　第九百三十六號　第九百三十七號　第九百三十八號　第九百三十九號　第九百四十號　第九百四十一號　第九百四十二號　第九百四十三號　第九百四十四號　第九百四十五號　第九百四十六號　第九百四十七號　第九百四十八號　第九百四十九號　第九百五十號　第九百五十一號　第九百五十二號　第九百五十三號　第九百五十四號　第九百五十五號　第九百五十六號　第九百五十七號　第九百五十八號　第九百五十九號　第九百六十號　第九百六十一號　第九百六十二號　第九百六十三號　第九百六十四號　第九百六十五號　第九百六十六號　第九百六十七號　第九百六十八號　第九百六十九號　第九百七十號　第九百七十一號　第九百七十二號　第九百七十三號　第九百七十四號　第九百七十五號　第九百七十六號　第九百七十七號　第九百七十八號　第九百七十九號　第九百八十號　第九百八十一號　第九百八十二號　第九百八十三號　第九百八十四號　第九百八十五號　第九百八十六號　第九百八十七號　第九百八十八號　第九百八十九號　第九百九十號　第九百九十一號　第九百九十二號　第九百九十三號　第九百九十四號　第九百九十五號　第九百九十六號　第九百九十七號　第九百九十八號　第九百九十九號　第百號　第百一號　第百二號　第百三號　第百四號　第百五號　第百六號　第百七號　第百八號　第百九號　第百十號　第百十一號　第百十二號　第百十三號　第百十四號　第百十五號　第百十六號　第百十七號　第百十八號　第百十九號　第百二十號　第百二十一號　第百二十二號　第百二十三號　第百二十四號　第百二十五號　第百二十六號　第百二十七號　第百二十八號　第百二十九號　第百三十號　第百三十一號　第百三十二號　第百三十三號　第百三十四號　第百三十五號　第百三十六號　第百三十七號　第百三十八號　第百三十九號　第百四十號　第百四十一號　第百四十二號　第百四十三號　第百四十四號　第百四十五號　第百四十六號　第百四十七號　第百四十八號　第百四十九號　第百五十號　第百五十一號　第百五十二號　第百五十三號　第百五十四號　第百五十五號　第百五十六號　第百五十七號　第百五十八號　第百五十九號　第百六十號　第百六十一號　第百六十二號　第百六十三號　第百六十四號　第百六十五號　第百六十六號　第百六十七號　第百六十八號　第百六十九號　第百七十號　第百七十一號　第百七十二號　第百七十三號　第百七十四號　第百七十五號　第百七十六號　第百七十七號　第百七十八號　第百七十九號　第百八十號　第百八十一號　第百八十二號　第百八十三號　第百八十四號　第百八十五號　第百八十六號　第百八十七號　第百八十八號　第百八十九號　第百九十號　第百九十一號　第百九十二號　第百九十三號　第百九十四號　第百九十五號　第百九十六號　第百九十七號　第百九十八號　第百九十九號　第二百號　第二百一號　第二百二號　第二百三號　第二百四號　第二百五號　第二百六號　第二百七號　第二百八號　第二百九號　第二百十號　第二百十一號　第二百十二號　第二百十三號　第二百十四號　第二百十五號　第二百十六號　第二百十七號　第二百十八號　第二百十九號　第二百二十號　第二百二十一號　第二百二十二號　第二百二十三號　第二百二十四號　第二百二十五號　第二百二十六號　第二百二十七號　第二百二十八號　第二百二十九號　第二百三十號　第二百三十一號　第二百三十二號　第二百三十三號　第二百三十四號　第二百三十五號　第二百三十六號　第二百三十七號　第二百三十八號　第二百三十九號　第二百四十號　第二百四十一號　第二百四十二號　第二百四十三號　第二百四十四號　第二百四十五號　第二百四十六號　第二百四十七號　第二百四十八號　第二百四十九號　第二百五十號　第二百五十一號　第二百五十二號　第二百五十三號　第二百五十四號　第二百五十五號　第二百五十六號　第二百五十七號　第二百五十八號　第二百五十九號　第二百六十號　第二百六十一號　第二百六十二號　第二百六十三號　第二百六十四號　第二百六十五號　第二百六十六號　第二百六十七號　第二百六十八號　第二百六十九號　第二百七十號　第二百七十一號　第二百七十二號　第二百七十三號　第二百七十四號　第二百七十五號　第二百七十六號　第二百七十七號　第二百七十八號　第二百七十九號　第二百八十號　第二百八十一號　第二百八十二號　第二百八十三號　第二百八十四號　第二百八十五號　第二百八十六號　第二百八十七號　第二百八十八號　第二百八十九號　第二百九十號　第二百九十一號　第二百九十二號　第二百九十三號　第二百九十四號　第二百九十五號　第二百九十六號　第二百九十七號　第二百九十八號　第二百九十九號　第三百號　第三百一號　第三百二號　第三百三號　第三百四號　第三百五號　第三百六號　第三百七號　第三百八號　第三百九號　第三百十號　第三百十一號　第三百十二號　第三百十三號　第三百十四號　第三百十五號　第三百十六號　第三百十七號　第三百十八號　第三百十九號　第三百二十號　第三百二十一號　第三百二十二號　第三百二十三號　第三百二十四號　第三百二十五號　第三百二十六號　第三百二十七號　第三百二十八號　第三百二十九號　第三百三十號　第三百三十一號　第三百三十二號　第三百三十三號　第三百三十四號　第三百三十五號　第三百三十六號　第三百三十七號　第三百三十八號　第三百三十九號　第三百四十號　第三百四十一號　第三百四十二號　第三百四十三號　第三百四十四號　第三百四十五號　第三百四十六號　第三百四十七號　第三百四十八號　第三百四十九號　第三百五十號　第三百五十一號　第三百五十二號　第三百五十三號　第三百五十四號　第三百五十五號　第三百五十六號　第三百五十七號　第三百五十八號　第三百五十九號　第三百六十號　第三百六十一號　第三百六十二號　第三百六十三號　第三百六十四號　第三百六十五號　第三百六十六號　第三百六十七號　第三百六十八號　第三百六十九號　第三百七十號　第三百七十一號　第三百七十二號　第三百七十三號　第三百七十四號　第三百七十五號　第三百七十六號　第三百七十七號　第三百七十八號　第三百七十九號　第三百八十號　第三百八十一號　第三百八十二號　第三百八十三號　第三百八十四號　第三百八十五號　第三百八十六號　第三百八十七號　第三百八十八號　第三百八十九號　第三百九十號　第三百九十一號　第三百九十二號　第三百九十三號　第三百九十四號　第三百九十五號　第三百九十六號　第三百九十七號　第三百九十八號　第三百九十九號　第四百號　第四百一號　第四百二號　第四百三號　第四百四號　第四百五號　第四百六號　第四百七號　第四百八號　第四百九號　第四百十號　第四百十一號　第四百十二號　第四百十三號　第四百十四號　第四百十五號　第四百十六號　第四百十七號　第四百十八號　第四百十九號　第四百二十號　第四百二十一號　第四百二十二號　第四百二十三號　第四百二十四號　第四百二十五號　第四百二十六號　第四百二十七號　第四百二十八號　第四百二十九號　第四百三十號　第四百三十一號　第四百三十二號　第四百三十三號　第四百三十四號　第四百三十五號　第四百三十六號　第四百三十七號　第四百三十八號　第四百三十九號　第四百四十號　第四百四十一號　第四百四十二號　第四百四十三號　第四百四十四號　第四百四十五號　第四百四十六號　第四百四十七號　第四百四十八號　第四百四十九號　第五百號　第五百一號　第五百二號　第五百三號　第五百四號　第五百五號　第五百六號　第五百七號　第五百八號　第五百九號　第五百十號　第五百十一號　第五百十二號　第五百十三號　第五百十四號　第五百十五號　第五百十六號　第五百十七號　第五百十八號　第五百十九號　第五百二十號　第五百二十一號　第五百二十二號　第五百二十三號　第五百二十四號　第五百二十五號　第五百二十六號　第五百二十七號　第五百二十八號　第五百二十九號　第五百三十號　第五百三十一號　第五百三十二號　第五百三十三號　第五百三十四號　第五百三十五號　第五百三十六號　第五百三十七號　第五百三十八號　第五百三十九號　第五百四十號　第五百四十一號　第五百四十二號　第五百四十三號　第五百四十四號　第五百四十五號　第五百四十六號　第五百四十七號　第五百四十八號　第五百四十九號　第五百五十號　第五百五十一號　第五百五十二號　第五百五十三號　第五百五十四號　第五百五十五號　第五百五十六號　第五百五十七號　第五百五十八號　第五百五十九號　第六百號　第六百一號　第六百二號　第六百三號　第六百四號　第六百五號　第六百六號　第六百七號　第六百八號　第六百九號　第六百十號　第六百十一號　第六百十二號　第六百十三號　第六百十四號　第六百十五號　第六百十六號　第六百十七號　第六百十八號　第六百十九號　第六百二十號　第六百二十一號　第六百二十二號　第六百二十三號　第六百二十四號　第六百二十五號　第六百二十六號　第六百二十七號　第六百二十八號　第六百二十九號　第六百三十號　第六百三十一號　第六百三十二號　第六百三十三號　第六百三十四號　第六百三十五號　第六百三十六號　第六百三十七號　第六百三十八號　第六百三十九號　第六百四十號　第六百四十一號　第六百四十二號　第六百四十三號　第六百四十四號　第六百四十五號　第六百四十六號　第六百四十七號　第六百四十八號　第六百四十九號　第六百五十號　第六百五十一號　第六百五十二號　第六百五十三號　第六百五十四號　第六百五十五號　第六百五十六號　第六百五十七號　第六百五十八號　第六百五十九號　第六百六十號　第六百六十一號　第六百六十二號　第六百六十三號　第六百六十四號　第六百六十五號　第六百六十六號　第六百六十七號　第六百六十八號　第六百六十九號　第六百七十號　第六百七十一號　第六百七十二號　第六百七十三號　第六百七十四號　第六百七十五號　第六百七十六號　第六百七十七號　第六百七十八號　第六百七十九號　第六百八十號　第六百八十一號　第六百八十二號　第六百八十三號　第六百八十四號　第六百八十五號　第六百八十六號　第六百八十七號　第六百八十八號　第六百八十九號　第六百九十號　第六百九十一號　第六百九十二號　第六百九十三號　第六百九十四號　第六百九十五號　第六百九十六號　第六百九十七號　第六百九十八號　第六百九十九號　第七百號　第七百一號　第七百二號　第七百三號　第七百四號　第七百五號　第七百六號　第七百七號　第七百八號　第七百九號　第七百十號　第七百十一號　第七百十二號　第七百十三號　第七百十四號　第七百十五號　第七百十六號　第七百十七號　第七百十八號　第七百十九號　第七百二十號　第七百二十一號　第七百二十二號　第七百二十三號　第七百二十四號　第七百二十五號　第七百二十六號　第七百二十七號　第七百二十八號　第七百二十九號　第七百三十號　第七百三十一號　第七百三十二號　第七百三十三號　第七百三十四號　第七百三十五號　第七百三十六號　第七百三十七號　第七百三十八號　第七百三十九號　第七百四十號　第七百四十一號　第七百四十二號　第七百四十三號　第七百四十四號　第七百四十五號　第七百四十六號　第七百四十七號　第七百四十八號　第七百四十九號　第七百五十號　第七百五十一號　第七百五十二號　第七百五十三號　第七百五十四號　第七百五十五號　第七百五十六號　第七百五十七號　第七百五十八號　第七百五十九號　第七百六十號　第七百六十一號　第七百六十二號　第七百六十三號　第七百六十四號　第七百六十五號　第七百六十六號　第七百六十七號　第七百六十八號　第七百六十九號　第七百七十號　第七百七十一號　第七百七十二號　第七百七十三號　第七百七十四號　第七百七十五號　第七百七十六號　第七百七十七號　第七百七十八號　第七百七十九號　第七百八十號　第七百八十一號　第七百八十二號　第七百八十三號　第七百八十四號　第七百八十五號　第七百八十六號　第七百八十七號　第七百八十八號　第七百八十九號　第七百九十號　第七百九十一號　第七百九十二號　第七百九十三號　第七百九十四號　第七百九十五號　第七百九十六號　第七百九十七號　第七百九十八號　第七百九十九號　第八百號　第八百一號　第八百二號　第八百三號　第八百四號　第八百五號　第八百六號　第八百七號　第八百八號　第八百九號　第八百十號　第八百十一號　第八百十二號　第八百十三號　第八百十四號　第八百十五號　第八百十六號　第八百十七號　第八百十八號　第八百十九號　第八百二十號　第八百二十一號　第八百二十二號　第八百二十三號　第八百二十四號　第八百二十五號　第八百二十六號　第八百二十七號　第八百二十八號　第八百二十九號　第八百三十號　第八百三十一號　第八百三十二號　第八百三十三號　第八百三十四號　第八百三十五號　第八百三十六號　第八百三十七號　第八百三十八號　第八百三十九號　第八百四十號　第八百四十一號　第八百四十二號　第八百四十三號　第八百四十四號　第八百四十五號　第八百四十六號　第八百四十七號　第八百四十八號　第八百四十九號　第八百五十號　第八百五十一號　第八百五十二號　第八百五十三號　第八百五十四號　第八百五十五號　第八百五十六號　第八百五十七號　第八百五十八號　第八百五十九號　第八百六十號　第八百六十一號　第八百六十二號　第八百六十三號　第八百六十四號　第八百六十五號　第八百六十六號　第八百六十七號　第八百六十八號　第八百六十九號　第八百七十號　第八百七十一號　第八百七十二號　第八百七十三號　第八百七十四號　第八百七十五號　第八百七十六號　第八百七十七號　第八百七十八號　第八百七十九號　第八百八十號　第八百八十一號　第八百八十二號　第八百八十三號　第八百八十四號　第八百八十五號　第八百八十六號　第八百八十七號　第八百八十八號　第八百八十九號　第八百九十號　第八百九十一號　第八百九十二號　第八百九十三號　第八百九十四號　第八百九十五號　第八百九十六號　第八百九十七號　第八百九十八號　第八百九十九號　第九百號　第九百一號　第九百二號　第九百三號　第九百四號　第九百五號　第九百六號　第九百七號　第九百八號　第九百九號　第九百十號　第九百十一號　第九百十二號　第九百十三號　第九百十四號　第九百十五號　第九百十六號　第九百十七號　第九百十八號　第九百十九號　第九百二十號　第九百二十一號　第九百二十二號　第九百二十三號　第九百二十四號　第九百二十五號　第九百二十六號　第九百二十七號　第九百二十八號　第九百二十九號　第九百三十號　第九百三十一號　第九百三十二號　第九百三十三號　第九百三十四號　第九百三十五號　第九百三十六號　第九百三十七號　第九百三十八號　第九百三十九號　第九百四十號　第九百四十一號　第九百四十二號　第九百四十三號　第九百四十四號　第九百四十五號　第九百四十六號　第九百四十七號　第九百四十八號　第九百四十九號　第九百五十號　第九百五十一號　第九百五十二號　第九百五十三號　第九百五十四號　第九百五十五號　第九百五十六號　第九百五十七號　第九百五十八號　第九百五十九號　第九百六十號　第九百六十一號　第九百六十二號　第九百六十三號　第九百六十四號　第九百六十五號　第九百六十六號　第九百六十七號　第九百六十八號　第九百六十九號　第九百七十號　第九百七十一號　第九百七十二號　第九百七十三號　第九百七十四號　第九百七十五號　第九百七十六號　第九百七十七號　第九百七十八號　第九百七十九號　第九百八十號　第九百八十一號　第九百八十二號　第九百八十三號　第九百八十四號　第九百八十五號　第九百八十六號　第九百八十七號　第九百八十八號　第九百八十九號　第九百九十號　第九百九十一號　第九百九十二號　第九百九十三號　第九百九十四號　第九百九十五號　第九百九十六號　第九百九十七號　第九百九十八號　第九百九十九號　第百號　第百一號　第百二號　第百三號　第百四號　第百五號　第百六號　第百七號　第百八號　第百九號　第百十號　第百十一號　第百十二號　第百十三號　第百十四號　第百十五號　第百十六號　第百十七號　第百十八號　第百十九號　第百二十號　第百二十一號　第百二十二號　第百二十三號　第百二十四號　第百二十五號　第百二十六號　第百二十七號　第百二十八號　第百二十九號　第百三十號　第百三十一號　第百三十二號　第百三十三號　第百三十四號　第百三十五號　第百三十六號　第百三十七號　第百三十八號　第百三十九號　第百四十號　第百四十一號　第百四十二號　第百四十三號　第百四十四號　第百四十五號　第百四十六號　第百四十七號　第百四十八號　第百四十九號　第百五十號　第百五十一號　第百五十二號　第百五十三號　第百五十四號　第百五十五號　第百五十六號　第百五十七號　第百五十八號　第百五十九號　第百六十號　第百六十一號　第百六十二號　第百六十三號　第百六十四號　第百六十五號　第百六十六號　第百六十七號　第百六十八號　第百六十九號　第百七十號　第百七十一號　第百七十二號　第百七十三號　第百七十四號　第百七十五號　第百七十六號　第百七十七號　第百七十八號　第百七十九號　第百八十號　第百八十一號　第百八十二號　第百八十三號　第百八十四號　第百八十五號　第百八十六號　第百八十七號　第百八十八號　第百八十九號　第百九十號　第百九十一號　第百九十二號　第百九十三號　第百九十四號　第百九十五號　第百九十六號　第百九十七號　第百九十八號　第百九十九號　第二百號　第二百一號　第二百二號　第二百三號　第二百四號　第二百五號　第二百六號　第二百七號　第二百八號　第二百九號　第二百十號　第二百十一號　第二百十二號　第二百十三號　第二百十四號　第二百十五號　第二百十六號　第二百十七號　第二百十八號　第二百十九號　第二百二十號　第二百二十一號　第二百二十二號　第二百二十三號　第二百二十四號　第二百二十五號　第二百二十六號　第二百二十七號　第二百二十八號　第二百二十九號　第二百三十號　第二百三十一號　第二百三十二號　第二百三十三號　第二百三十四號　第二百三十五號　第二百三十六號　第二百三十七號　第二百三十八號　第二百三十九號　第二百四十號　第二百四十一號　第二百四十二號　第二百四十三號　第二百四十四號　第二百四十五號　第二百四十六號　第二百四十七號　第二百四十八號　第二百四十九號　第二百五十號　第二百五十一號　第二百五十二號　第二百五十三號　第二百五十四號　第二百五十五號　第二百五十六號　第二百五十七號　第二百五十八號　第二百五十九號　第二百六十號　第二百六十一號　第二百六十二號　第二百六十三號　第二百六十四號　第二百六十五號　第二百六十六號　第二百六十七號　第二百六十八號　第二百六十九號　第二百七十號　第二百七十一號　第二百七十二號　第二百七十三號　第二百七十四號　第二百七十五號　第二百七十六號　第二百七十七號　第二百七十八號　第二百七十九號　第二百八十號　第二百八十一號　第二百八十二號　第二百八十三號　第二百八十四號　第二百八十五號　第二百八十六號　第二百八十七號　第二百八十八號　第二百八十九號　第二百九十號　第二百九十一號　第二百九十二號　第二百九十三號　第二百九十四號　第二百九十五號　第二百九十六號　第二百九十七號　第二百九十八號　第二百九十九號　第三百號　第三百一號　第三百二號　第三百三號　第三百四號　第三百五號　第三百六號　第三百七號　第三百八號　第三百九號　第三百十號　第三百十一號　第三百十二號　第三百十三號　第三百十四號　第三百十五號　第三百十六號　第三百十七號　第三百十八號　第三百十九號　第三百二十號　第三百二十一號　第三百二十二號　第三百二十三號　第三百二十四號　第三百二十五號　第三百二十六號　第三百二十七號　第三百二十八號　第三百二十九號　第三百三十號　第三百三十一號　第三百三十二號　第三百三十三號　第三百三十四號　第三百三十五號　第三百三十六號　第三百三十七號　第三百三十八號　第三百三十九號　第三百四十號　第三百四十一號　第三百四十二號　第三百四十三號　第三百四十四號　第三百四十五號　第三百四十六號　第三百四十七號　第三百四十八號　第三百四十九號　第三百五十號　第三百五十一號　第三百五十二號　第三百五十三號　第三百五十四號　第三百五十五號　第三百五十六號　第三百五十七號　第三百五十八號　第三百五十九號　第三百六十號　第三百六十一號　第三百六十二號　第三百六十三號　第三百六十四號　第三百六十五號　第三百六十六號　第三百六十七號　第三百六十八號　第三百六十九號　第三百七十號　第三百七十一號　第三百七十二號　第三百七十三號　第三百七十四號　第三百七十五號　第三百七十六號　第三百七十七號　第三百七十八號　第三百七十九號　第三百八十號　第三百八十一號　第三百八十二號　第三百八十三號　第三百八十四號　第三百八十五號　第三百八十六號　第三百八十七號　第三百八十八號　第三百八十九號　第三百九十號　第三百九十一號　第三百九十二號　第三百九十三號　第三百九十四號　第三百九十五號　第三百九十六號　第三百九十七號　第三百九十八號　第三百九十九號　第四百號　第四百一號　第四百二號　第四百三號　第四百四號　第四百五號　第四百六號　第四百七號　第四百八號　第四百九號　第四百十號　第四百十一號　第四百十二號　第四百十三號　第四百十四號　第四百十五號　第四百十六號　第四百十七號　第四百十八號　第四百十九號　第四百二十號　第四百二十一號　第四百二十二號　第四百二十三號　第四百二十四號　第四百二十五號　第四百二十六號　第四百二十七號　第四百二十八號　第四百二十九號　第四百三十號　第四百三十一號　第四百三十二號　第四百三十三號　第四百三十四號　第四百三十五號　第四百三十六號　第四百三十七號　第四百三十八號　第四百三十九號　第四百四十號　第四百四十一號　第四百四十二號　第四百四十三號　第四百四十四號　第四百四十五號　第四百四十六號　第四百四十七號　第四百四十八號　第四百四十九號　第五百號　第五百一號　第五百二號　第五百三號　第五百四號　第五百五號　第五百六號　第五百七號　第五百八號　第五百九號　第五百十號　第五百十一號　第五百十二號　第五百十三號　第五百十四號　第五百十五號　第五百十六號　第五百十七號　第五百十八號　第五百十九號　第五百二十號　第五百二十一號　第五百二十二號　第五百二十三號　第五百二十四號　第五百二十五號　第五百二十六號　第五百二十七號　第五百二十八號　第五百二十九號　第五百三十號　第五百三十一號　第五百三十二號　第五百三十三號　第五百三十四號　第五百三十五號　第五百三十六號　第五百三十七號　第五百三十八號　第五百三十九號　第五百四十號　第五百四十一號　第五百四十二號　第五百四十三號　第五百四十四號　第五百四十五號　第五百四十六號　第五百四十七號　第五百四十八號　第五百四十九號　第五百五十號　第五百五十一號　第五百五十二號　第五百五十三號　第五百五十四號　第五百五十五號　第五百五十六號　第五百五十七號　第五百五十八號　第五百五十九號　第六百號　第六百一號　第六百二號　第六百三號　第六百四號　第六百五號　第六百六號　第六百七號　第六百八號　第六百九號　第六百十號　第六百十一號　第六百十二號　第六百十三號　第六百十四號　第六百十五號　第六百十六號　第六百十七號　第六百十八號　第六百十九號　第六百二十號　第六百二十一號　第六百二十二號　第六百二十三號　第六百二十四號　第六百二十五號　第六百二十六號　第六百二十七號　第六百二十八號　第六百二十九號　第六百三十號　第六百三十一號　第六百三十二號　第六百三十三號　第六百三十四號　第六百三十五號　第六百三十六號　第六百三十七號　第六百三十八號　第六百三十九號　第六百四十號　第六百四十一號　第六百四十二號　第六百四十三號　第六百四十四號　第六百四十五號　第六百四十六號　第六百四十七號　第六百四十八號　第六百四十九號　第六百五十號　第六百五十一號



瑞西郵政廳　　丁號　　千八百九十九年二月

爲替拂渡番號	百フランクヲ超過スル爲替ノ番號	振出年月		爲替振出郵便局	振出番號	課料爲替 百フランクヲ超過セサルモノ フランク	課料爲替 百フランクヲ超過セサルモノ サンチーム	課料爲替 百フランクヲ超過スルモノ フランク	課料爲替 百フランクヲ超過スルモノ サンチーム	事務用爲替 フランク	事務用爲替 サンチーム	白耳義郵政廳ノ借越金額 フランク	白耳義郵政廳ノ借越金額 サンチーム
		年	月										
1		1899	一月	アーロン	825	99	90						
2	1		二月	〃	831			105					
3			〃	〃	879	45	50						
4	2		一月	ブリューデス	1203			300					
5			〃	〃	1512	83	40						
6	3		二月	〃	1609			561					
7			〃	〃	1703					215			
8	4		〃	チャーレロイ	240			612					
9			一月	マリンス	283	45							
10													
以下之ニ倣フ													
課料爲替						274	80	1578				1853	80
百フランクヲ超過セサル課料爲替ノ合計金額ニ對スル二百分一ノ手數料												1	37
前記四口爲替ノ百フランク迄ノ分ノ合計金額ニ對スル二百分一ノ手數料								*400				2	
前記爲替ノ百フランクヲ超過スル分ノ合計金額ニ對スル四百分一ノ手數料								1178				2	97
事務用爲替										215		215	
白耳義郵政廳ヨリ瑞西郵政廳ヘ支拂フヘキ金額總計												2074	11

千八百九十九年……月分本明細計算書ハ別紙……局振出ノ爲替ニ對照シ相違ナキ事ヲ證明ス

……年……月……日……地ニ於テ調製ス

……局長

◉外國郵便爲替規則

明治三十三年九月十一日
遞信省令第五十七號

改正　三五年第四二號、三六年第三九號第四二號第四四號、三七年第二六號第二七號第四四號第五三號、三八年第一號第六號第七號第三八號第三九號、三九年第四號

外國郵便爲替規則左ノ通相定ム

外國郵便爲替規則

第一章　總則

第一條　外國郵便爲替ハ萬國聯合郵便爲替事務約定ニ加盟國中別ニ告示シタル外國又ハ箇所若ハ本邦ト特別ニ郵便爲替約定ヲ締結シタル外國竝以上ノ外國郵政廳ノ媒介ニ依リ別ニ告示シタル外國又ハ箇所トノ間ニ之ヲ交換スルモノトス

外國電信爲替ハ萬國聯合郵便爲替事務約定ニ加盟國中別ニ告示シタル外國トノ間ニ之ヲ交換スルモノトス

第二條　萬國聯合郵便爲替事務約定ニ依ル爲替ハ以下之ヲ萬國聯合郵便爲替若ハ萬國聯合電信爲替ト稱シ特別ニ締結セル郵便爲替約定ニ依ル爲替ハ以下之ニ當該外國名ヲ冠ラシメタルモノヲ以テ各其ノ略稱トシ外國郵政廳ノ媒介ニ依ル爲替ハ以下之ヲ媒介爲替ト稱シ之ニ當該外國名ヲ冠ラシメタルモノヲ以テ各其ノ略稱トス

第三條　外國郵便爲替ハ內國郵便爲替ヲ取扱フ郵便局所ニ於テ之ヲ取扱フ但シ特ニ之ヲ取扱ハサルコトヲ告示シタル局所ハ此ノ限ニ在ラス

萬國聯合電信爲替ハ特ニ之カ取扱ノコトヲ告示シタル郵便局所ニ限リ之ヲ取扱フ

第四條　萬國聯合郵便爲替竝香港及其ノ媒介爲替ハ別ニ告示シタル直接交換局ニ於テハ直接ニ其ノ振出及拂渡業務ヲ取扱ヒ其ノ他ノ郵便局所ニ於テハ別ニ告示シタル區別ニ從ヒ當該直接交換局ヲ經由シテ其ノ受拂業務ヲ取扱フモノトス

前項以外ノ外國郵便爲替ハ郵便局所ニ於テ郵便爲替貯金管理所ヲ經由シテ其ノ受拂業務ヲ取扱フモノトス

第五條　本邦ニ於ケル萬國聯合郵便爲替一口ノ金額制限、該爲替金ヲ表示スヘキ外國貨幣及該爲替別配達取扱ニ付テハ別ニ告示シタル所ニ依ル

第六條　本邦ト萬國聯合郵便爲替ヲ交換スル外國ニ於ケル爲替取扱局名、爲替一口ノ金額制限及爲替別配達取扱ニ付テハ別ニ告示シタル所ニ依ル

第七條　外國郵便爲替ノ振出ニ對シ一口毎ニ徵收スヘキ爲替料ノ割合ハ左ノ如シ

萬國聯合郵便爲替（獨逸（獨逸保護國及獨逸以外ノ國ニ於ケル獨逸郵便局ヲ含ム）、獨逸媒介國、換地利洪國、利「ボスニア、ヘルセゴヴィナ」、和蘭、蘭領東印度及羅馬尼ニ振宛ツル爲替ヲ除ク）	佛貨百法ヲ超過セサルモノ	二十五法毎ニ（二十五法未滿亦同シ）	十錢
	佛貨百法ヲ超過スルモノ	百法迄ノ分　二十五法毎ニ	十錢
		百法ヲ超過スル分　五十法毎ニ（五十法未滿亦同シ）	十錢
萬國聯合郵便爲替中獨逸（獨逸保護國及獨逸以外ノ國ニ於ケル獨逸郵便局ヲ含ム）及其ノ媒介國ニ振宛ツルモノ	獨貨八十麻ヲ超過セサルモノ	二十麻毎ニ（二十麻未滿亦同シ）	十錢
	獨貨八十麻ヲ超過スルモノ	八十麻迄ノ分　二十麻毎ニ	十錢
		八十麻ヲ超過スル分　四十麻毎ニ（四十麻未滿亦同シ）	十錢
萬國聯合郵便爲替中換地利洪國利及「ボスニア、ヘルセゴヴィナ」ニ振宛ツルモノ	換洪貨百「クローネ」又ハ百「コロナ」ヲ超過セサルモノ	二十五「クローネ」（又ハ二十五「コロナ」）毎ニ（二十五「クローネ」（又ハ二十五「コロナ」）未滿亦同シ）	十錢
	換洪貨百「クローネ」（又ハ百「コロナ」）ヲ超過スルモノ	百「クローネ」（又ハ百「コロナ」）迄ノ分　二十五「クローネ」（又ハ二十五「コロナ」）毎ニ	十錢
		百「クローネ」（又ハ百「コロナ」）ヲ超過スル分　五十「クローネ」（又ハ五十「コロナ」）毎ニ（五十「クローネ」（又ハ五十「コロナ」）未滿亦同シ）	十錢
萬國聯合郵便爲替中和蘭及蘭領東印度ニ振宛ツルモノ	蘭貨五十「フロリン」ヲ超過セサルモノ	十二「フロリン」半毎ニ（十二「フロリン」半未滿亦同シ）	十錢
	蘭貨五十「フロリン」ヲ超過スルモノ	五十「フロリン」迄ノ分　十二「フロリン」半毎ニ	十錢
		五十「フロリン」ヲ超過スル分　二十五「フロリン」毎ニ（二十五「フロリン」未滿亦同シ）	十錢
萬國聯合郵便爲替中羅馬尼ニ振宛ツルモノ	羅馬尼貨幣百「レイ」ヲ超過セサルモノ	二十五「レイ」毎ニ（二十五「レイ」未滿亦同シ）	十錢
	羅馬尼貨幣百「レイ」ヲ超過スルモノ	百「レイ」迄ノ分　二十五「レイ」毎ニ	十錢
		百「レイ」ヲ超過スル分　五十「レイ」毎ニ（五十「レイ」未滿亦同シ）	十錢
英國及其ノ媒介爲替		英貨一磅毎ニ（一磅未滿亦同シ）	十錢
米國及其ノ媒介爲替		米貨十弗毎ニ（十弗未滿亦同シ）	十錢
加那太爲替		加那太貨幣（米貨）五弗毎ニ（五弗未滿亦同シ）	十錢
香港及其ノ媒介爲替		洋銀十弗毎ニ（十弗未滿亦同シ）	十錢

第八條　媒介爲替ニ對シ媒介國郵政廳ニ於テ其ノ爲替金額ヨリ引去ルヘキ媒介手數料ノ割合ハ別ニ告示シタル所ニ依ル

第九條　外國郵便爲替金ハ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外外國貨幣換算割合ニ依リテ換算シ本邦通貨ヲ以テ其ノ受拂ヲ爲スモノトス

前項ノ貨幣換算割合ハ毎週別ニ之ヲ告示ス

第一項ニ依リ換算ヲ爲スニ當リ錢位未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ四捨五入ス

第十條　明治三十三年九月遞信省令第四十五號郵便爲替規則第四條乃至第九條、第十一條、第十二條第二項、第二十一條乃至第二十六條、第三十五條、第三十六條、第三十八條、第六十條第二項及第六十三條乃至第六十八條ノ規定ハ之ヲ外國郵便爲替ニ準用ス

第二章　郵便爲替

第一節　振出

第十一條　外國郵便爲替ノ差出人ハ郵便局所ニ於テ外國郵便爲替願書用紙ノ交付ヲ受ケ相當事項ヲ記入シ爲替料相當ノ郵便切手ヲ貼付シ郵便局所ニ差出スヘシ郵便局所ニ於テ爲替金額（外國貨幣額）ヲ本邦通貨ニ換算シ之ヲ其ノ爲替願書ニ記入ノ上示サレタルトキハ該金額ヲ差出シ外國郵便爲替拂込金受領證書ヲ受取ルヘシ但シ香港爲替ニシテ直接交換局ノ振出ニ係ルモノニ付テハ外國郵便爲替拂込金受領證書ノ外尙爲替券ヲモ受取リ爲替券ハ之ヲ其ノ受取人ヘ送付スヘシ

第十二條　萬國聯合郵便爲替ノ差出人ニ於テ爲替券ニ受取人ヘ宛ツル通信ヲ附記スルコトヲ求ムルトキハ爲替振出ノ際郵便局所ニ其ノ旨申出テ當該振出郵便局所ニシテ直接交換局ナル場合ニ於テハ爲替券面通知券ノ部ニ又其ノ他ノ郵便局所ナル場合ニ於テハ適宜ノ用紙ニ之ヲ記載シ當該振出郵便局所ニ差出スヘシ

第十三條　萬國聯合郵便爲替ノ差出人爲替金、爲替券若ハ爲替到着報知書ノ別配達ヲ請求セムトスルトキハ外國郵便爲替願書ニ其ノ旨ヲ記載シ且其ノ料金トシテ爲替一口ニ付金十二錢ヲ納付スヘシ

第十四條　萬國聯合郵便爲替ノ差出人爲替拂渡通知書ノ交付ヲ請求セムトスルトキハ外國郵便爲

券願書ニ其ノ旨ヲ記載シ且其ノ料金トシテ爲替一口ニ付金五錢ヲ納付スヘシ

萬國聯合郵便爲替振出ノ後差出人ニ於テ爲替拂渡通知書ノ交付ヲ請求セムトスルトキハ振出郵便局所ニ其ノ旨申出テ且前項ノ手數料ト同額ナル料金ヲ納付スヘシ

前二項ノ爲替拂渡通知書交付ノ請求アリタル萬國聯合郵便爲替ニ對シ振出郵便局所ニ於テ拂渡郵便局ヨリ爲替拂渡通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ書留郵便ニ依リ之ヲ差出人ニ送付ス

第十五條　外國郵便爲替ノ差出人爲替振出後外國郵便爲替願書ニ自己又ハ受取人ノ宿所氏名等ヲ誤記シタルコトヲ覺知シタルトキハ振出郵便局所ニ訂正請求書ヲ差出スヘシ此ノ場合ニ於テハ外國郵便爲替拂込金受領證書ヲ呈示スヘシ

第十六條　振出郵便局所ニ於テ前條ノ請求ニ應シタル場合ト雖拂渡郵便局ニ於テ既ニ爲替金ヲ拂渡シタル後ナル旨通報ニ接シタルトキハ其ノ旨ヲ差出人ニ通知ス

第十七條　萬國聯合郵便爲替券ノ取戻若ハ其ノ名宛變更ニ付テハ外國郵便物ノ取戻若ハ其ノ名宛變更ニ關スル規定ヲ準用ス但シ請求者ハ外國郵便爲替拂込金受領證書ヲ呈示スヘシ

前項爲替券ノ取戻若ハ其ノ名宛變更ニ關スル請求書ヲ發送スヘキ名宛國郵便官署名ハ別ニ告示シタル所ニ依ル

第二節　拂渡前ニ於ケル取扱

第十八條　郵便局所ニ於テ外國郵便局振出ニ係ル萬國聯合郵便爲替券ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ受取人ニ送達ス但シ別ニ定ムル所ニ從ヒ之ヲ局所渡ト爲スコトヲ得

前項ノ爲替受取人爲替券ヲ受取ルトキハ其ノ送達票ニ受領證印スヘシ

第十九條　直接交換局ニ於テ外國郵便局振出ニ係ル香港媒介爲替券竝自局以外ノ郵便局所ニ於テ拂渡スヘキ香港爲替券ノ送付ヲ受ケタルトキハ其爲替券ヲ受取人ニ送達ス

第二十條　外國ヨリ振込ヲ受ケタル前二條以外ノ外國郵便爲替ニ付テハ郵便爲替貯金管理所ニ於テ爲替券ヲ發行シ之ヲ受取人ニ送達ス

第三節　拂渡

第二十一條　外國郵便爲替ノ受取人爲替金ノ拂渡ヲ請求セムトスルトキハ爲替券ニ記名調印シ之ヲ拂渡郵便局所ニ差出スヘシ

第二十二條　拂渡郵便局所ハ外國郵便爲替ノ受取人ニ左ノ事項ヲ尋問シ外國郵便爲替報知書ニ記載シタル事項ニ符合スルヲ認メ爲替金ノ拂渡ヲ爲スモノトス

一　差出人ノ宿所氏名
二　受取人ノ宿所氏名
三　前各號ノ外拂渡上必要ト認ムル事項

萬國聯合郵便爲替ニ付テハ前項ニ準據スルノ外尚爲替券送達票ニ於ケル受取人ノ印影ト爲替券ニ於ケル印影ト符合スルヲ認メ拂渡ヲ爲スモノトス

第二十三條　萬國聯合郵便爲替ノ受取人代人ヲ以テ爲替金ノ拂渡ヲ請求セムトスルトキハ爲替券ノ裏面ニ委任文ヲ記載セスシテ必ス委任狀ヲ差出スヘシ

第四節　拂戻

第二十四條　萬國聯合郵便爲替ノ差出人爲替金ノ拂戻ヲ請求セムトスルトキハ爲替券ニ記名調印シ外國郵便爲替拂込金受領證書ト共ニ之ヲ振出郵便局所ニ差出スヘシ但シ不達、亡失、毀損若ハ汚斑セル爲替券ニ付拂戻ヲ請求セムトスルトキ又ハ佛國媒介爲替ノ差出人爲替券ヲ所持セサル場合ニ於テ爲替金ノ拂戻ヲ請求セムトスルトキハ外國郵便爲替金拂戻請求書ヲ振出郵便局所ニ差出シ且外國郵便爲替拂込金受領證書ヲ呈示スヘシ

萬國聯合郵便爲替以外ノ外國郵便爲替ノ差出人爲替金ノ拂戻ヲ請求セムトスルトキハ前項但書ノ手續ヲ爲スヘシ但シ香港爲替ノ差出人爲替券ヲ所持スル場合ニ於テハ其ノ爲替券ヲ請求書ニ添ヘ差出スヘシ

前二項ニ依リ外國郵便爲替金拂戻請求書ヲ差出ス者アルトキハ郵便爲替貯金管理所ニ於テ拂渡國郵政廳ニ於テ其ノ爲替金ノ拂渡ヲ爲サヽリシコト及其ノ拂渡ヲ爲サヽルヘキコトヲ確認シタル後前二項ノ外國郵便爲替金拂戻請求書ニ拂戻認可ノ旨ヲ記載シ之ヲ差出人ニ送付ス

差出人ハ前項ノ外國郵便爲替金拂戻請求書ニ爲替金領收ノ旨ヲ記載シ記名調印ノ上外國郵便爲替拂込金受領證書ト共ニ之ヲ振出郵便局所ニ差出シ爲替金ノ拂戻ヲ受クヘシ

第二十五條　郵便爲替貯金管理所ニ於テ有效期間ヲ經過セルカ受取人ニ於テ受取ヲ拒絕セルカ又ハ其ノ他ノ原因ニ依リ拂渡國郵政廳ヨリ外國郵便爲替ノ返還ヲ受ケタルトキハ外國郵便爲替金拂戻通知書ヲ該爲替ノ差出人ニ送付ス

差出人ハ前項ノ外國郵便爲替金拂戻通知書中爲替金受領證印ノ部ニ記名調印シ外國郵便爲替拂込金受領證書ト共ニ之ヲ振出郵便局所ニ差出シ爲替金ノ拂戻ヲ受クヘシ

第二十六條　前二條ノ爲替金ノ拂戻ヲ受ケサルトキハ郵便爲替法第十三條ノ規定ニ準シ處分ス

第二十七條　本章第三節ノ規定ハ外國郵便爲替金拂戻ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五節　拂渡若ハ拂戻郵便局所ノ變更

第二十八條　外國郵便爲替ノ受取人ハ拂渡郵便局所ノ變更ヲ請求スルコトヲ得

外國郵便爲替ノ差出人ハ拂戻郵便局所ノ變更ヲ請求スルコトヲ得

第六節　拂渡認可書及第二爲替券

第二十九條　萬國聯合郵便爲替券ノ不達、亡失、毀損若ハ汚斑ニ因リ拂渡認可書ノ交付ヲ請求セムトスルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

一　受取人ヨリ請求セムトスルトキハ拂渡認可書請求書ヲ拂渡郵便局所ニ差出スヘシ但シ爲替券毀損若ハ汚斑ノ場合ニ於テハ該爲替券ヲ差出シ又其ノ亡失ノ場合ニ於テハ相當保證人ヲ立テ請求書ニ連署スヘシ

二　差出人ヨリ請求セムトスルトキハ拂渡認可書請求書ニ外國郵便爲替拂込金受領證書ヲ添ヘ之ヲ振出郵便局所ニ差出スヘシ差出人ハ拂渡認可書請求書ニ對スル受領證書ヲ受取ルヘシ

第三十條　萬國聯合郵便爲替以外ノ外國郵便爲替ノ受取人爲替券ノ不達、亡失、毀損若ハ汚斑ニ因リ第二爲替券ノ交付ヲ請求セムトスルトキハ第二爲替券請求書ヲ拂渡郵便局所ニ差出スヘシ但シ爲替券毀損若ハ汚斑ノ場合ニ於テハ該爲替券ヲ差出シ又其ノ亡失ノ場合ニ於テハ相當保證人ヲ立テ請求書ニ連署スヘシ

第三十一條　當該拂渡又ハ振出郵便局所ニ於テ外國郵政廳又ハ郵便爲替貯金管理所發行ニ係ル拂渡認可書ノ送付ヲ受ケタルトキハ第十八條ニ準據シ之ヲ請求者ニ送達ス

郵便爲替貯金管理所ニ於テ第二爲替券ヲ發行シタルトキハ第二十條ニ準據シ之ヲ受取人ニ送付ス

第七節　爲替金居宅拂

第三十二條　外國郵便爲替ノ受取人ハ爲替金ノ居宅拂ヲ請求スルコトヲ得

第三十三條　外國郵便爲替ノ受取人前條ノ請求ヲ爲ストキハ其ノ料金トシテ爲替一口ニ付金四錢ヲ納付スヘシ

第三章　電信爲替

第三十四條　萬國聯合電信爲替ノ差出人ハ該爲替ヲ取扱フ郵便局所ニ於テ外國郵便爲替願書用紙ノ交付ヲ受ケ相當事項ヲ記入シ且特ニ電信爲替ノ文字竝至急、返信料前納、照校、受信報知、郵便配達若ハ別配達ノ手數ヲ經ルコトヲ望ムトキハ其ノ指定ヲ附記シ爲替料相當ノ郵便切手ヲ貼付シ振出郵便局所ニ差出スヘシ當該郵便局所ニ於テ爲替金額(外國貨幣額)ヲ本邦通貨ニ換算シ之ヲ其ノ爲替願書ニ記入ノ上示サレタルトキハ該金額ヲ差出シ且相當電報料ヲ納付シ外國郵便爲替拂込金受領證書ヲ受取ルヘシ

第三十五條　前條ノ爲替差出人ニ於テ爲替電報紙ニ受取人ヘ宛ツル通信ヲ附記スルコトヲ望ムトキハ振出郵便局所ニ其ノ旨申出テ爲替電報紙ノ通信欄ニ之ヲ記載シ差出スヘシ

第三十六條　電報料ハ爲替通知ノ語數ト差出人通信ノ語數トヲ通算シ萬國電信ニ關スル規定ニ依リ之ヲ納付スヘシ

第三十七條　第二章中萬國聯合郵便爲替ニ關スル規定ハ第十一條乃至第十三條及第十七條ヲ除クノ外之ヲ電信爲替ニ準用ス

附則

第三十八條　本規則ハ明治三十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治二十七年遞信省令第四號ハ本規則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第三十九條　本規則施行前ニ有效期間經過ノ爲メ拂渡國郵政廳ヨリ返還ヲ受ケタル外國郵便爲替ニ在リテハ第二十六條ニ依ル期間ハ郵便爲替法第十八條但書前段ノ規定ニ準ス

明治三十九年一月十九日
遞信省告示第二十九號

自今濠洲聯邦政府ノ規則ニ依リ在「タスマニア」、「ホバート」、「ジョージ、アダムス」氣付、「タッテルサル」("Tattersall" aux soins de George Adams, Hobart, Tasmanie) ニ宛テ郵便爲替ヲ振出スコトヲ得ス

明治三十九年八月三日
遞信省告示第三百十八號

亞米利加合衆國ノ規則ニ依リ在紐育州「ロッチエスター」、「プロフエッサー、トーマス、エフ、アドキン」(Professor Thomas F. Adkin, Rochester, New York) 宛郵便爲替ハ同國ニ於テ其拂渡ヲ禁止セラル

外國郵便及電信爲替交換國名爲替金表示貨幣爲替一口ノ最高制限額

明治三十八年七月二十六日
遞信省告示第四百二十五號

改正 [illegible]

本邦ト外國郵便爲替及電信爲替ヲ交換スル國名、外國振宛テノ爲替金ヲ表示スヘキ貨幣、本邦振出拂渡爲替一口ノ最高制限額等左ノ如シ

但明治三十六年九月遞信省告示第四百五十二號ハ之ヲ廢止ス

第一　郵便為替

1　直接交換國

甲　為國際郵便為替事務約定ニ從ルモノ

國名	郵便為替取扱ニ新ニ於テ外國郵便局ヲ設ケタル場合	金額上限記載ヲ要スル為替ニ付テハ其旨ヲ表示ス	為替一口ノ最高額 本邦ニ於テ振出ス額	為替一口ノ最高額 本邦ニ於テ拂渡ス額	為替ノ配達 請求ノ有無ニ依リ配達ス	為替ノ配達 配達ニ要スル期間ヲ知ラシム	為替取扱ノ名稱及所在地 請求ノ有無ニ依リ通知ス	為替取扱ノ名稱及所在地
亞爾然的合衆國(Argentine Republic)	取扱ヲ開始シタル郵便局ニ限リ	法、參	五百法	當ス五百法ニ相ル官貨本邦ニ對	請求ヲ得ス	通知ヲ為サズ但シ為替金ヲ受取ノ際ニ於テ其旨ヲ通知ス	請求ヲ得ス	在「ブエノスアイレス」中央郵便局(Bureau Central des postes á Buenos-Aires)
墺地利(Austria)	一級國ノ内地ニ於テ取扱フ「クロルーネ」「ヘクロルーネ」	一千「クロ」ネ」	四百圓	請求ヲ得ス	請求ヲ得ス	通知ヲ為サズ但シ為替金ヲ受取ノ際ニ於テ其旨ヲ通知ス	請求ヲ得ス	名宛郵便局
白耳義(Belgium)	一級國ノ内地ニ於テ取扱フ	法、參	一千法	四百圓	請求ヲ得ス	為替ヲ為替ヲ受取ノ到着ニ於テ其旨ヲ通知ス但シ為替金ニ大也ル限リ為替金ヲ受取ノ際ニ於テ其旨ヲ通知ス	請求ヲ得ス	名宛郵便局
「ボスニア、ヘルツェゴヴィナ」(Bosnia-Herzegovina)	一級國ノ内地ニ於テ取扱フ「クロルーネ」「ヘクロルーネ」	一千「クロ」ネ」	四百圓	請求ヲ得ス	—		請求ヲ得ス	在「チラヴエ」軍事郵便局(Direction des postes et des télégraphes militaires, á Sarajevo.)
伯國(Brazil)	「ベレン」(Belém)「コリチバ」(Corityba)「フロリアノポリス」(Florianopolis)「フォルタレザ」(Fortaleza)「マナオス」(Mannôs)「ポルトアレグレ」(Porto Alegre (Rio Grande do Sul)「レシフェ」又ハ「ペルナンブコ」(Recife, or Pernambuco)「リオデジャネイロ」(Riode Janeiro)「サンパウロ」(São Paulo)「サルバドル」又ハ「バイア」(São Salvador, or Bahia)	法、參	五百法	五百法ニ對スル相本邦貨幣	請求ヲ得ス但シ為替金ヲ受取ノ際ニ於テ其旨ヲ通知ス	通知ヲ為サズ但シ為替金ヲ受取ノ際ニ於テ其旨ヲ通知ス	請求ヲ得ス	名宛郵便局
勃爾瓦利(Bulgaria)	取扱ヲ開始シタル郵便局ニ限リ	法、參	五百法	五百法ニ對スル相本邦貨幣	請求ヲ得ス		請求ヲ得ス	中央郵政廳
丁抹(Denmark)「アイスランド」(Iceland)群島及「フェローエー」(Faroe Islands)ヲ含ム	一級國ノ内地ニ於テ取扱フ但シ「アイスランド」ノ郵便局ニ限ル(Reykjavik)	法、參	五百法	五百法ニ對スル相本邦貨幣	請求ヲ得ス	為替ヲ為替ヲ受取ノ際ニ於テ其旨ヲ通知ス	請求ヲ得ス	名宛郵便局
埃及(Egypt)「スーダン」(Soudan)ヲ含ム	一級國ノ内地ニ於テ取扱フ但シ「スーダン」ノ郵便局ニ於テハ取扱ヲ開始シタル郵便局ニ限リ	法、參	一千法	一千法ニ對スル相本邦貨幣	請求ヲ得ス	為替ヲ為替ヲ受取ノ際ニ於テ其旨ヲ通知ス	請求ヲ得ス	中央郵政廳
佛蘭西(France)「アルジェリア」(Algeria)及「モナコ」(Monaco)ヲ含ム	一級國ノ内地ニ於テ取扱フ	法、參	一千法	四百圓	請求ヲ得ス	為替ヲ為替ヲ受取ノ際ニ於テ其旨ヲ通知ス	—	名宛郵便局
加利弗亞(Africa)「トリポリ」(バルバリー)」又ハ「バルバリ」「ド、バルバリー」{Tripoli(Barbary), or Tripoli de Barbarie}	—	法、參	一千法	四百圓	請求ヲ得ス	—	請求ヲ得ス	名宛郵便局
清國(China)*厦門(Amoy)	—	—	—	四百圓	—	—	—	—
清國(China)*芝罘(Chefoo, or Chéfou)	—	—	—	四百圓	—	—	—	—
清國(China)*福州(Foochow, or Foutchéou)	—	—	—	四百圓	—	—	—	—
清國(China)*漢口(Hankow, or Hankéou)	—	—	—	四百圓	—	—	—	—
清國(China)寧波(Ningpo)	—	法、參	一千法	四百圓	請求ヲ得ス	—	請求ヲ得ス	名宛郵便局

在外國佛蘭西郵便局 (French Post Offices in foreign countries:)

	*北京 (Peking, or Pékin)	—	—	—	四百圓	—	—	—	—
	*上海 (Shanghai)	—	—	—	四百圓	—	—	—	—
	*天津 (Tientsin)	—	—	—	四百圓	—	—	—	—
クリート島 (Crete Island)	「カンディア」又ハ「カンディー」(Candia, or Candie)	—	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得ス	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「カニア」又ハ「ラ、カネー」(Canea, Khania, or La Canée)	—	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得ス	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「レティモ」(Retimo, or Réthymo)	—	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得ス	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
埃及 (Egypt)	*「アレキサンドリア」又ハ「アレキサンドリー」(Alexandria, or Alexandrie)	—	—	—	四百圓	—	—	—	—
	*「ポルト、サイド」(Port Said)	—	—	—	四百圓	—	—	—	—
モロッコ (Morocco)	「カサブランカ」(Casablanca)	—	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得ス	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	フェズ (Fez)	—	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得ス	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「マラケッシュ」又ハ「モロッコ」(Marrakech, or Morocco)	—	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得ス	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「マザガン」(Mazagan)	—	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得ス	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「モガドール」(Alogador)	—	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得ス	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「タンジーア」又ハ「タンジェー」(Tangier, or Tanger)	—	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得ス	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	テツーアン (Tetuan, or Tétouan)	—	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得ス	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
「サモス」島 (Island of Samos)	「ヴァシー」(Vathy)	—	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得ス	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
亞細亞土耳古 (Turkey in Asia)	「アレキサンドレッタ」又ハ「アレキサンドレット」又ハ「イスカンデルーン」(Alexandretta, Alexandrette, or Iskanderoon)	—	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得ス	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「ベールート」(Beyrout, or Beyrouth)	—	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得ス	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「ダーダネルス」(Dardanelles)	—	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得ス	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「ジェルサレム」(Jerusalem)	—	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得ス	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「ラタキア」又ハ「ラッタキェ」(Latakia, or Lattaquié)	—	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得ス	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「メルシナ」(Alersina)	—	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得ス	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「ローヅ」(Rhodes)	—	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得ス	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「スミルナ」又ハ「スミルヌ」(Smyrna, or Smyrne)	—	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得ス	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「トリポリ(シリア)」又ハ「トリポリ、ド、シリー」(Tripoli (Syria), or Tripoli de Sy-	—	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得ス	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局

領邊	rie}「コンスタンチノープル」(Constantinople)	古耳土巴爾歐(Turkey in Europe)	—	法	壹	一	千	法	四	百	圓	ト請ナシ得スルコ	名宛郵便局
	「サロニカ」「サロニチ」(Salonica, or Saloniqué)		—	法	壹	一	千	法	四	百	圓	ト請ナシ得スルコ	名宛郵便局
	(Germany)		該國ノ内地ヘ郵便局ニ於テ取	馬	布	八	百	馬	四	百	圓	ト請ナシ得スルコ	名宛郵便局
保護國(Protectorates:)	「カメルーン」(Cameroons, or Kamerun)		「ブエア」(Buea)「カムポ」(Campo)「ドゥアラ」「カメルン」{Duala(Kamerun)}「エデア」(Edea)「クリビ」(Kribi)「リオデレイ」「リオデレイ」(Rio del Rey)「ビクトリア」(Victoria)	馬	布	八	百	馬	四	百	圓	ト請ナシ得スルコ	名宛郵便局
	「カロリン」群島(Caroline Islands)		「ポナペ」(Ponape)「ヤップ」(Yap)	馬	布	八	百	馬	四	百	圓	ト請ナシ得スルコ	名宛郵便局
	獨逸東亞利加保護領(German East Africa)		「バガモヨ」(Bagamoyo)「ダルエスサラム」(Dar es Salaam)「キルワ」(Kilwa)「リンディ」(Lindi)「ミキンダニ」(Mikindani)「モホロ」(Mohorro)「パンガニ」(Pangani)「サーダニ」(Saadani)「タンガ」(Tanga)	馬	布	八	百	馬	四	百	圓	ト請ナシ得スルコ	名宛郵便局
	「ニューギニア」保護領(German New Guinea)		「ベルリンハフン」(Berlinhafen)「フィンシハフン」(Finschhafen)「フリードリッヒウィルヘルムスハフン」(Friedrich-Wilhelmshafen)「ヘルベルツヘヘ」(Herbertshöhe)「カエウエング」(Kaewieng)「シムソンハフン」(Simpsonhafen)「ステパンスホフン」(Stephansort)「ベタニエン」「ギベオン」(Gibeon)「ゴバビス」(Gobabis)「グロートフンテン」(Grootfontein)「カリビブ」(Karibib)「キートマンスフープ」(Keetmanshoop)「クブ」(Kub)「リューデリッツブカフト」(Lüderitzbucht)「オカハンジャ」(Okahandja)「オマルル」(Omaruru)「オンツヨ」(Ontjo)「ラマンスドリフト」(Ramansdrift)「レホボト」(Rehoboth)「スワコプムント」(Swakopmund)「ウサコス」(Usakos)「ワルムバド」「ウインドホク」(Windhoek)	馬	布	八	百	馬	四	百	圓	ト請ナシ得スルコ	名宛郵便局
國護(German	德國保護領南西亞利加保護領(German South-West Africa)			馬	布	八	百	馬	四	百	圓	ト請ナシ得スルコ	名宛郵便局
	膠州(Kiaochau, or Kiautschou)		「リツン」(Litsun)「シフフン」(Syfang) 青島(Tsintau)	馬	布	八	百	馬	四	百	圓	ト請ナシ得スルコ	名宛郵便局
	「マリアンヌ」諸島(Marianne Islands)		「サイパン」(Seipan)	馬	布	八	百	馬	四	百	圓	ト請ナシ得スルコ	名宛郵便局
	「マーシャル」諸島(Marshall Islands)		「ジャルイト」(Jaluit)	馬	布	八	百	馬	四	百	圓	ト請ナシ得スルコ	名宛郵便局
	「サモア」(Samoa)		「アピア」(Apia)	馬	布	八	百	馬	四	百	圓	ト請ナシ得スルコ	名宛郵便局
	「トゴ」(Togo)		「アゴモパリメ」(Agomo Palime)「アネチョ」(アヌチ)(Anecho(Togo))「ロメ」(Lome)	馬	布	八	百	馬	四	百	圓	ト請ナシ得スルコ	名宛郵便局
	*廈門(Amoy)		—	—		—			四	百	圓	—	—
	*廣東(Canton)		—	—		—			四	百	圓	—	—
	*芝罘(Chefoo, or Tschifu)		—	—		—			四	百	圓	—	—
	*鎮江(Chinkiang, or Tschinking)		—	—		—			四	百	圓	—	—
	*福州(Foochow, or Futschau)		—	—		—			四	百	圓	—	—
	*漢口(Hankow, or Hankau)		—	—		—			四	百	圓	—	—

在外國獨逸郵便局 (German Post Offices in foreign countries:)

清國 (China)	宜昌 (Ichang, or Itschang)	—	麻、布	八百麻	四百圓	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	*南京 (Nanking)	—	—	—	四百圓	—	—	—	—
	*北京 (Peking)	—	—	—	四百圓	—	—	—	—
	*上海 (Shanghai)	—	—	—	四百圓	—	—	—	—
	*汕頭 (Swatow, or Swatau)	—	—	—	四百圓	—	—	—	—
	*天津 (Tientsin)	—	—	—	四百圓	—	—	—	—
	*塘沽 (Tongku) (冬期閉鎖)	—	—	—	四百圓	—	—	—	—
	*秦皇島 (Tschinwangtau) (冬期間開設)	—	—	—	四百圓	—	—	—	—
	濟南府 (Tsinanfu)	—	麻、布	八百麻	四百圓	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	濰縣 (Weihsien)	—	麻、布	八百麻	四百圓	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
モロッコ (Morocco)	「カサブランカ」(Casablanca)	—	麻、布	八百麻	四百圓	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「フェズ」(Fez, or Fes)	—	麻、布	八百麻	四百圓	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「ララーシュ」又ハ「ラレーシュ」(Larache, or Laraiche)	—	麻、布	八百麻	四百圓	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「マラケッシュ」又ハ「モロッコ」(Marrakesch, or Morocco)	—	麻、布	八百麻	四百圓	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「マザガン」(Mazagan)	—	麻、布	八百麻	四百圓	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「モガドール」(Mogador)	—	麻、布	八百麻	四百圓	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「ラバット」(Rabat)	—	麻、布	八百麻	四百圓	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「サッフィー」(Saffi)	—	麻、布	八百麻	四百圓	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「タンジーア」(Tangier)	—	麻、布	八百麻	四百圓	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局

亞細亞土耳古 (Turkey in Asia)	「ベールート」(Beyrout, or Beirut)	—	麻、布	八百麻	四百圓	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「ジャッファ」(Jaffa)	—	麻、布	八百麻	四百圓	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「ジェルサレム」(Jerusalem)	—	麻、布	八百麻	四百圓	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
	「スミルナ」(Smyrna)	—	麻、布	八百麻	四百圓	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
歐羅巴土耳古 (Turkey in Europe)	「コンスタンチノープル」(Constantinople)	—	麻、布	八百麻	四百圓	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	名宛郵便局
洪牙利 (Hungary)		國内總テノ郵便局ニ於テ取扱フ	「コロナ」、「フィルレル」	一千「コロナ」	四百圓	請求スルコトヲ得	爲替券若ハ爲替到著報知書ノ別配達チ取扱フ	請求スルコトヲ得	在「ブダペスト」爲替要求取扱局 (Bureau des réclamations des mandats à Budapest.)
伊太利 (Italy)	「サン、マリノ」(San Marino)チ含ム	國内總テノ郵便局ニ於テ取扱フ	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得	大都會ノ地ニ限リ爲替金ノ別配達チ取扱ヒ其他ノ地方ニ於テハ爲替到著報知書ノ別配達チ取扱フ	請求スルコトヲ得	中央郵政廳
	「エリトレア」伊太利植民地 (Italian Colony of Eritrea)	植民地内總テノ郵便局ニ於テ取扱フ	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得		請求スルコトヲ得	伊太利中央郵政廳
在外國伊太利郵便 (Offices in foreign countries:) アルバニア 歐羅巴土耳古 (Albania, Turkey in Europe)	「デュラッゾー」(Durazzo)	—	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	中央郵政廳
	「ジャニナ」(Janina)	—	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	中央郵政廳
	「スキュタリ」(Scutari)	—	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	中央郵政廳
クリート島 (Crete Island)	「カニア」(Canea, or La Canée)	—	法、參	一千法	四百圓	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	中央郵政廳

局	扱國内總テノ郵便局ニ於テ取	法、金	一千法	四百圓	卜請ト請ヲ求ヲ得スルコト	―	卜請・卜請ヲ求ヲ得スルコト	中央郵政廳
盧山堡(Luxemburg)	扱國内總テノ郵便局ニ於テ取	法、金	一千法	四百圓	卜請ヲ求ヲ得スルコト	―	卜請・卜請ヲ求ヲ得スルコト	名宛郵便局
和國(Netherlands, or Holland)	扱國内總テノ郵便局ニ於テ取	「ギロンソン」「フロリン」	一百「フロリン」五	四百圓	卜請ヲ求ヲ得スルコト	一	卜請・卜請ヲ求ヲ得スルコト	名宛郵便局
蘭領東印度(Netherlands Indies, or Dutch East Indies) 「バリ」(Bali)「バンカ」(Bangka)「ビリトン」(Biliton)「ボルネオ」(Borneo)「セレベス」(Celebes)「ジャワ」(Java)「ロムボック」(Lombok)「マドゥラ」(Madoera)「モルッコス」(Moluccos)「リオウ」(Rhio, or Riouw)「スマトラ」(Sumatra)「ウエブ」(Web)ノ諸島	扱國内總テノ郵便局ニ於テ取	「ギロンソン」「フロリン」	「二百フロリン五十」	二百圓	卜請ヲ求ヲ得スルコト	―	卜請ヲ求ヲ得スルコト	名宛郵便局
那威(Norway)	扱國内總テノ郵便局ニ於テ取	法、金	一千法	四百圓	卜請ヲ求ヲ得スルコト	―	卜請ヲ求ヲ得スルコト	名宛郵便局
羅馬尼(Roumania)	扱國内總テノ郵便局ニ於テ取扱ヲ取扱ヲ止メタル郵便局ニ限リ	「レイ」「パレイ」	五百「レイ」	五百圓	卜請ヲ求ヲ得スルコト	―	卜請ヲ求ヲ得スルコト	中央郵政廳
瑞典(Sweden)	扱國内總テノ郵便局ニ於テ取	法、金	一千法	一百圓	卜請ヲ求ヲ得スルコト	―	卜請ヲ求ヲ得スルコト	中央郵政廳
瑞西(Switzerland)	扱國内總テノ郵便局ニ於テ取	法、金	一千法	一百圓	卜請ヲ求ヲ得スルコト	―	卜請ヲ求ヲ得スルコト	名宛郵便局

附註

＊ 桑港、紐育、シカゴ、ボストン、ニューヨーク、ニューオルレアンス、ロサンゼルス、及ビ和國ノ郵便局ハ支那ノ郵便局ニ於テ取扱ヲ止メタル郵便局ニ限リ

第十九編　通信　第三章　郵便貯金　第三款　外國郵便貯金　一九九

十數國ノ郵便局ニ於テ取扱ヲ止メタル郵便局ニ限リ

ブエノスアイレス (Buenos-Aires)
バヒヤブランカ (Bahia Blanca)
グアレグアイチュー (Gualeguaychú)
フフイ (Jujuy)
ロサリオデルタラ (Rosario del Tala)
サルタ (Salta)
ベラビスタ (Bella Vista)
カタマルカ (Catamarca)
コロン (Colon)
コンセプシオンデルウルグアイ (Concepcion del Uruguay)
コンコルディア (Concordia)
コルドバ (Cordoba)
コリエンテス (Corrientes)
エスペランサ (Esperanza)
ゴヤ (Goya)
グアレグアイ (Gualeguay)
ラパス (La Paz)
ラプラタ (La Plata)
ラリオハ (La Rioja)
メンドサ (Mendoza)
メルセデス (Mercedes)
ノゴヤ (Nogoya)
パラナ (Paraná)
ラファエラ (Rafaela)
リオクアルト (Rio Cuarto)
ロサリオデサンタフエ (Rosario de Santa Fé)
サンフアン (San Juan)
サンルイス (San Luis)
サンニコラス (San Nicolas)
サンタフエ (Santa Fé)
サンチアゴデルエステロ (Santiago del Estero)
タクマン (Tucuman)
ビクトリア (Victoria)
ビラマリア (Villa Maria)

十數箇所ノ郵便局ニ於テ取扱ヲ止メタル郵便局ニ限リ

アイトス (Aitos)
アヒエロ (Ahielo)
アクカダンラル (Akkadanlar)
アクチバル (Aktchar)
バルブナル (Balbounar)
バルチク (Baltchik)
バタク (Batak)
ベブロボ (Bebrovo)
ベラ (Bela)
ベラスラチナ (Bela Slatina)
ベログラドチク (Belogradtchik)
ベロボ (Belovo)
ベルコビツア (Berkovitza)
ボボシエボ (Boboschevo)
ボリソブグラド (Borisovgrad)
ボロバン (Borovan)
ボシレグラド (Bossilegrad)
ブルガス (Bourgas)
ブラツイゴボ (Bratzigovo)
ブレゴボ (Bregovo)
ブレニツア (Brenitza)
ブレズニク (Breznik)
ブレゾボ (Brezovo)
チプカ (Chipka)
チウメン (Choumen)
ドブリチ (Dobritch)
ドルナバンヤ (Dolna-Banja)
ドルニツイバル (Dolni-Tzibar)
ドブニツア (Doubnitza)
ドラガノボ (Draganovo)
ドレノボ (Drenovo)
エレナ (Elena)
エスキジウマ (Eski-Djouma)
エトロポル (Etropol)
フエルディナンド (Ferdinand)
ガバレボ (Gabarevo)
ガブロボ (Gabrovo)
ゴデチ (Godetch)
ゴレモコナル (Golemo-Konare)
ゴルナオレホビツア (Gorna Orehovitza)
グラデツ (Gradetz)
ハルマンリ (Harmanly)
ハスコボ (Haskovo)
ヒサル (Hissar)
ホブリナ (Hvolna)
イチマン (Ihtiman)
イアンボル (Iambol)
イスクレツ (Iskretz)
ジャブラニツア (Jablanitza)
ジエラブナ (Jeravna)
カジアジクガル (Kajadjik-gare)
カロフエル (Kalofer)
カラブナル (Karabounar)
カライセン (Karaissen)
カルロボ (Karlovo)
カルノバト (Karnobat)
クムチヤ (Choumen)

(Kaspitchan)
(Kavakli)
(Kavarna)
(Kazanlik)
(Kemanlare)
(Kessarevo)
(Kermenli-gare)
(Kilifarevo)
(Kizil-Agatch)
(Klissoura)
(Klissoura-Trinska)
(Kneja)
(Kniajevo)
(Konstantin)
(Koprivchtitza)
(Kostenetz)
(Kotcherinovo)
(Kotel)
(Koula)
(Kourtbounar)
(Kozlodouy)
(Kritchim)
(Kustendil)
(Lescovetz)
(Lessitchevo)
(Lidjeni)
(Lom)
(Loukovit)
(Lovetch)
(Maglich)
(Mahalata)
(Messomvria)
(Mezdra)
(Mirkovo)
(Nikopol)
(Nova-Bagora)
(Novi-Pazar)
(Novo-Selo)
(Novo-Seltzi)
(Orhanie)
(Osman Pazar)
(Ossikovitza)
(Ostrov)
(Panugurichti)
(Pavlikeni)
(Pechtera)
(Pernik)
(Perouchtitza)
(Pirdop)
(Ploven)
(Plovdiv, or Philippopoli)
(Popovo)
(Preslan)
(Provadia)
(Rad ni Mahali)
(Radomir)
(Rahmanlaré)
(Rahmanli)
(Rahovo)
(Razgrad)
(Razgrad garo)
(Rila)
(Roustchouk)
(Samokov)
(Sarantzi)
(Schiroka-Laka)
(Sevliovo)
(Silistra)
(Sizopol)
(Skobelevo)
(Sliven)
(Sofia)
(Somovit)
(Sopot)
(Souhindol)
(Stanimaka)
(Stara-Zagora)
(Staro-Novo-Selo)
(Straldja)
(Streltcha)
(Svichtov)
(Svogué)
(Tatar-Pazardjik)
(Tchepelare)
(Tcherven-Breg)
(Tchifutkeui)
(Tchirpan)
(Teteven)
(Tirnovo)
(Tirnovo Seymen)
(Topolovo)
(Toutrakan)
(Trevna)
(Trin)
(Trojan)

(Tverditza)
(Tzaribrod)
(Varna)
(Varschetz)
(Vetren)
(Viddin)
(Vratza)
(Virbitza)
(Zlataritza)
(Zlatitza)
十國語調査委員會第二節國語學會第二節文部省國語調査委員會
(Adjud)
(Alexandria)
(Azuga)
(Babadag)
(Bacau)
(Băcesci)
(Baia-de-Aramă)
(Băilesci)
(Balaci)
(Rălcesci)
(Balsiu)
(Bâra)
(Bărcănesci)
(Bechet)
(Bêrlad)
(Bicaz)
(Bilciuresci)
(Bistretz)
(Bivolari)
(Bolintin)
(Botosani)
(Brădiceni)
(Brăila or Br[illegible])
(Brezoiu)
(Brosceni-Mehedintzi)
(Brosceni-Suceava)
(Bucuresci or Bucarest)
(Budesci)
(Buhusi)
(Bujor)
(Burdujeni)
(Bustenari)
(Busteni)
(Buzeu)
(Câineni-Gare)
(Calafat)
(Calarasi)
(Călimănesci)
(Câmpina)
(Câmpu-Lung)
(Caracal)
(Cara-Murat)
(Cara-Omer)
(Cerna-Voda)
(Cetatea)
(Chilia-Vecho)
(Codăesci)
(Cogealac)
(Comana)
(Comanesci)
(Constantza)
(Corabia)
(Costesci)
(Cotesci)
(Craiova)
(Cutea-de-Argesin)
(Dămienesci)
(Darabani)
(Dimitresci)
(Domnesci)
(Dorohoi)
(Drăgănesci-Olt)
(Drăgăsani)
(Drăguseni)
(Drânceni)
(Fălciu)
(Ferbinti)
(Fotesci)
(Filiasi)
(Filipesci)
(Focsani)
(Folticeni)
(Găesci)
(Găiceana)
(Galatzi)
(Ghergani)
(Giurgiu)
(Gorgova)
(Hăngu)
(Hârlău)
(Hârsova)
(Hertza)
(Horez)
(Husi)

(Isaccea)
(Iślaz)
(Ivesci)
(Jassy, or Iasi)
(Lacul-Sĕrat)
(Leordeni)
(Lespezi)
(Măcin)
(Măicănesci)
(Mălini)
(Mangalia)
(Mărăşesci)
(Mărgineni)
(Medjidia)
(Mihăileni)
(Mizil)
(Moinesci)
(Monteoru)
(Murgeni)
(Negresci)
(Nicoresci)
(Obedeni)
(Ocnele-Mari)
(Odobesci)
(Oltenitza)
(Ostrov)
(Panciu)
(Parincea)
(Pârscov)
(Pascani)
(Pechea)
(Piatra-N)
(Pitesci)
(Piea-Petri)
(Plăinesci)
(Ploesci)
(Podul-Ilôei)
(Podul-Turcului)
(Pogóne)
(Predeal)
(Prisecani)
(Puciòsa)
(Puesci)
(Rădăuţzi)
(Rădăucăneni)
(Rîmnicu-Sĕrat)
(Rîmnicu-Vâlcea)
(Ripiceni)
(Roman)
(Rosiori)
(Rucăr)
(Sascut)
(Săveni)
(Secuoni)
(Sfântul-George or St. George)
(Sinaia)
(Slănic-Prahova)
(Slănic-Moldova)
(Slatina)
(Slobozia)
(Stafănesci)
(Strehaia)
(Sulina)
(Sulitza)
(Tarcau)
(Tecuci)
(Tîrgoviste)
(Tetzcani)
(Tigveni)
(Tîrgu-Frumos)
(Tîrgu-Jiu)
(Tîrgu-Neamtzu)
(Tîrgu-Ocna)
(Titu)
(Tulcea)
(Turnu-Măgurele)
(Turnu-Severin)
(Urlatzi)
(Urziceni)
(Văleni-de-Munte)
(Vânju-Mare)
(Vaslui)
(Verciorova)
(Vidra)
(Viziru)
(Zătreni)
(Zimnicea)
(Abou-Hamad)
(Berber)
(Delgo)
(Dongola)
(Duem)
(El Damer)

(El Obeid)
(Gallabat)
(Gedaref)
(Halfa)
(Halfa Camp)
(Kamlin)
(Kassala)
(Kerma)
(Khartoum)
(Khartoum Nord)
(Kodok)
(Kosha)
(Merowe)
(Omdurman)
(Saras)
(Shendy)
(Singa)
(Souakin)
(Tokar)
(Wad Medani)

2　特別郵便貯金約定ニ依ルモノ

國名	示上記諸國ヘキ貯金額相當ノ爲替金ヲ送	本邦紙幣額	本邦銀貨換算額
亞米利加合衆國(Amerion, the United States of)「グアム」(Guam)、「ハワイ」(Hawnii)及「プエルトリコ」(Porto Rico)ヲ含ム	弗、仙(米貨)	一百弗	一百弗
加那大(Canada)	弗、仙(加那大貨幣)	一百弗	一百弗
大英列國及愛爾蘭合王國 (Great Britain and Ireland, the United Kingdom of)	磅、志、片	十磅	十磅
香港(Hongkong)｛澳門(Macao)ヲ含ム｝	弗、仙(香港通貨ノ洋銀)	四百弗	四百弗
局便所(香港)(英國)(清國)(Postal Agencies in China:) *厦門(Amoy)	——	——	四百弗
*廣東(Canton)	——	——	四百弗
*芝罘(Chefoo)	——	——	四百弗
*福州(Foochow)	——	——	四百弗
*漢口(Hankow)	——	——	四百弗
*海口(Hoihow)	——	——	四百弗
劉公島(Liu Kung Tau)｛威海衛(Wei-Hai-Wei)｝	弗、仙(香港通貨ノ洋銀)	四百弗	四百弗
*寧波(Ningpo)	弗、仙(廣銀)	四百弗	四百弗
*上海(Shanghai)	弗、仙(廣銀)	四百弗	四百弗
*汕頭(Swatow)	——	——	四百弗

附註
*在厦門、廣東、芝罘、福州、漢口、上海、汕頭各英國郵便局ニ宛テ本邦ヨリ郵便貯金ヲ拂出スコトヲ得ス

1　直接交換國郵政廳ノ媒介ニ依リ交換スル國

甲　聯合約定國郵政廳ノ媒介ニ依ルモノ

國名	上記諸國ニ於ケル外國郵便爲替取扱郵便局	媒介郵政廳	上記諸國ノ振出爲替金ノ表示スヘキ貨幣	爲替一口ノ最高制限額：本邦振出額	爲替一口ノ最高制限額：本邦拂渡額	媒介手數料：上記諸國ト媒介國トノ間ニ於テ徴收スル手數料ヲ拂渡金額ヨリ引去ルヤ否ノ區別	媒介手數料：手數料割合	爲替別配達：請求シ得ルヤ否ノ區別	爲替別配達：上記諸國ニ於ケル別配達取扱ノ區別	爲替取戻及名宛變更：請求シ得ルヤ否ノ區別	爲替取戻及名宛變更：請求書ヲ宛ツヘキ官署	摘要
智利 (Chili)	†附註ニ掲ケル郵便局ニ限リ取扱フ	白耳義郵政廳	法、珊	一千法	四百圓	引去ル	爲替金額一百法ヲ超過セサル分ニ對シテハ其二百分ノ一又一百法ヲ超過スル分ニ對シテハ其四百分ノ一	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	白耳義中央郵政廳	爲替差出人ハ爲替券ノ附屬券ニ受取人ヘ宛ツル通信ヲ附記スルコトヲ得又爲替拂渡通知書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得
公果獨立國 (Congo Free State)	「バナナ」(Banana)「ボマ」(Boma)「レオポルト、ヴィル」(Leopold Ville,)「マタディ」(Matadi)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
希臘 Greece	「アゼンス」又ハ「アテーネ」(Athens, or Athènes)「コルフー」Corfu, or Corfou)「パトラス」(Patras)「ピーレイアス」又ハ「ルピレー」(The Piraeus, or Le Pirée)「シーラ」(Syra)「ヴォロ」(Volo)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「ウルゲー」(Uruguay)	國內總テノ郵便局ニ於テ取扱フ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
亞弗利加西海岸佛蘭西植民地 (French Colonies on the west coast of Africa:) 「ダホメー」(Dahomey)	「ポルト、ノヴォ」(Porto Novo)	佛蘭西郵政廳	法、珊	五百法	二百圓	引去ル	爲替金額一百法ヲ超過セサル分ニ對シテハ其二百分ノ一又一百法ヲ超過スル分ニ對シテハ其四百分ノ一	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	—	爲替差出人ハ爲替券ノ附屬券ニ受取人ヘ宛ツル通信ヲ附記スルコトヲ得又爲替拂渡通知書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得
佛領「コンゴー」(French Conog)	「ブラッザヴィル」(Brazzaville)「リーブルヴィル」(Libreville)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
佛領「ギニア」(French Guinea)	「コナクリー」(Konakry)「クールーッサ」(Kouroussa)「チムボー」(Timbo)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「アイヴォリー、コースト」(Ivory Coast)	「ビンジェルヴィル」(Bingerville)「グランバッサム」(Grand-Bassam「グラン、ラウー」(Grand-Lahou)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「セネガル」(Senegal)	「バケル」(Bakel)「ダガノ」(Dagano)「ダカル」(Dakar)「ゴレー」(Gorée)「カエヂイ」(Kaédi)「カオラック」(Kaolack)「ロンガ」(Longa)「ポドル」(Podor)「リュフイスク」(Rufisque)「サン、ルイ」(Saint Louis)「セヂイ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

上部「セネガル」(Upper Senegal)	ウー」(Sedhiou)、「ティエー」(Tbiès)、「チヴァウァーアンヌ」(Tivaouanne)、「バムマコ」(Bammako)、「ボボヂウラッソー」(Bobo-Dioulasso)、「カティ」(Kati)、「ケー」(Kayes)、「キタ」(Kita)、「クーリコロ」(Koulikoro)、「ニオロ」(Nioro)、「スグー」(Segou)、「シカッソー」(Sikasso)、「トムブークトー」(Tombouctou)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「リベリア」(Liberia)	「モンロヴィア」(Monrovia) 但シ「モンロヴィア」以外ノ地方ニモ爲替ヲ振宛ツルコトヲ得	獨逸郵政廳	麻、	布	八百麻	四百圓	引去ラス	—	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	獨逸「ケルン」(ライン州)第二郵便局 [Postamt 2 in Cöln (Rhein)]	
「マルタ」(Malta)	「ビルチルカラ」(Birchircara)、「コスピキュア」(Cospicua)、「ヴァレッタ」又ハ「マルタ」(La Valletta, or Malta)、「ノタビール」(Notabile)、「スリーマ」(Sliema)	伊太利郵政廳	法、	參	一千法	四百圓	引去ル	爲替金額二十五法若ハ其端數毎ニ十「參」	請求スルコトヲ得	—	取戻ハ請求スルコトヲ得ルモ名宛變更ハ請求スルヲ得ス	伊太利中央郵政廳	爲替差出人ハ爲替券ノ受取人ヘ通知スル通信ヲ爲替券ニ附記スルコトヲ得又拂渡通知書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

「モンテネグロ」(Montenegro)	「ザブリアク」(Zablink)局ヲ除キ其他ノ各局ニ於テ取扱フ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	請求スルコトヲ得	〃	〃
＊「サルヴァドール」(Salvador)	國內總テノ郵便局ニ於テ取扱フ	〃	〃	〃	〃	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
芬蘭(Finland)	國內總テノ郵便局ニ於テ取扱フ	瑞典郵政廳	法、	參	五百法	五百法ニ對スル本邦貨幣相當額	引去ル	爲替金額ノ二百分ノ一	請求スルコトヲ得	—	請求スルコトヲ得	瑞典中央郵政廳	爲替差出人ハ爲替券ノ受取人ヘ交付通知書ヲ請求スルコトヲ得
「セルヴィア」(Servia)	國內總テノ郵便局ニ於テ取扱フ	瑞西郵政廳	法、	參	一千法	一千法ニ對スル本邦貨幣相當額	引去ル	爲替金額一百法ニ超過セサルトキハ其二十五法若ハ其端數毎ニ「參」又一百法ヲ超過スル分ニ對シテハ其五十法若ハ其端數毎ニ二十五「參」	請求スルコトヲ得	—	取戻ハ請求スルコトヲ得ルモ名宛變更ハ請求スルヲ得ス	瑞西「ベルン」ニ在ル郵便監督局(Contrôle général des postes, à Berne.)	爲替差出人ハ爲替券ノ受取人ヘ通知スル通信ヲ爲替券ニ附記スルコトヲ得又拂渡通知書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

附註

＊「サルヴァドール」ヨリ本邦ニ宛テ郵便爲替ノ振出ヲ爲サス

†智利ニ於ケル外國郵便爲替取扱局名

「アチャオ」(Achao)
「アンクード」(Ancud)
「アンデス」(Andes)
「アンゴル」(Angol)
「アントフアガスタ」(Antofagasta)
「アラウコ」(Arauco)
「アリカ」(Arica)
「ブイン」(Buin)
「ブルネス」(Bulnes)
「カルブコ」(Calbuco)
「カルデラ」(Caldera)
「カニエテ」(Canote)
「カリサル、バホ」(Carrizal-Bajo)
「カサ、ブランカ」(Casa-Blanca)
「カストロ」(Castro)
「カウケネス」(Cauquenes)
「チャナラル」(Chanaral)
「チリアーン」(Chillan)
「コリプリ」(Collipulli)
「コムバルバラ」(Combarbala)
「コンセプシヨン」(Concepcion)
「コンスティテューション」(Constitution)
「コピアポ」(Copiapo)
「コキムボ」(Coquimbo)
「コロネル」(Coronel)
「コラル」(Corral)
「クレプト」(Curepto)
「クリコ」(Curico)
「フロリダ」(Florida)
「フレイリナ」(Freirina)
「イリアペル」(Illapel)
「イキケ」(Iquique)
「ラセレナ」(Laserena)
「レブ」(Lebu)
「リグア」(Ligua)

「リマチエ」(Limache)
「リナレス」(Linares)
「ロス、アンゲレス」(Los Angeles)
「メリピリヤ」(Melipilla)
「メリプリ」(Melipulli)
「モリナ」(Molina)
「ムールチエン」(Mulchen)
「ナシミエント」(Nacimiento)
「ヌエヴア、イムペリアル」(Nueva Imperial)
「オソルノ」(Osorno)
「オヴアーリ」(Ovallo)
「パルラル」(Parral)
「ペトルカ」(Petorca)
「ペウモ」(Peumo)
「ピサグア」(Pisagua)
「プンタ、アレナス」(Punta-Arenas)
「プエルト、モント」(Puerto-Mont)
「プタエンド」(Putaendo)
「キリョタ」(Quillota)
「キリウエ」(Quirihue)
「ランカグア」(Rancagua)
「レンゴ」(Rengo)
「サン、カルロス」(San-Carlos)
「サン、フエリペ」(San-Felipe)
「サン、フエルナンド」(San-Fernando)
「サン、ヘヴイエル」(San-Javier)
「サンテイアゴ」二(Santiago 2)
「サンテイアゴ」三(Santiago 3)
「サンテイアゴ」四(Santiago 4)
「サンテイアゴ」五(Santiago 5)
「サンテイアゴ」六(Santiago 6)
「サンテイアゴ」七(Santiago 7)
「タクナ」(Tacna)
「タルカ」(Talca)
「タルカワノ」(Talcahuano)
「タルタル」(Taltal)
「テムコ」(Temuco)
「トコピーヤ」(Tecopilla)
「トメ」(Tome)
「トライゲエン」(Traiguen)
「ウニオン」(Union)
「ヴアルデイヴイア」(Valdivia)
「ヴアレナル」(Vallenar)
「ヴアルパライソ」(Valparaiso)
「ヴイチュクエン」(Vichuquen)
「ヴイクナ」(Vicuna)
「イュムベル」(Yumbel)
「イュンガイ」(Yungay)

乙　特別約定國郵政廳ノ媒介ニ依ルモノ

國名	媒介郵政廳	上記諸國ヘ宛テ振出ス爲替ノ金額ヲ表示スヘキ貨幣	爲替一口ノ最高制限額 本邦振出額	爲替一口ノ最高制限額 本邦拂渡額	媒介手數料 上記諸國ヘ宛テ振出ス爲替ニ付媒介郵政廳ニ於テ徴收スル手數料ヲ本邦ニテ差引クヤ否	媒介手數料 手數料割合	摘要
						二十弗ヲ超過セサル金額ニ對シテハ十仙　二十弗ヲ超過シ五十弗ヲ超過セサル金額ニ對シテハ[illegible]仙　五十弗ヲ超過スル金額ニ對シテハ[illegible]	

國名	媒介郵政廳	上記諸國ヘ宛テ振出ス爲替ノ金額ヲ表示スヘキ貨幣	爲替一口ノ最高制限額 本邦振出額	爲替一口ノ最高制限額 本邦拂渡額	媒介手數料 上記諸國ヘ宛テ振出ス爲替ニ付媒介郵政廳ニ於テ徴收スル手數料ヲ本邦ニテ差引クヤ否	媒介手數料 手數料割合	摘要
「キューバ」(Cuba)	米國郵政廳	弗、仙(米貨)	一百弗	一百弗ニ對スル本邦貨幣相當額	引去ル	十弗ヲ超過セサル金額ニ對シテハ[illegible]仙　十弗ヲ超過シ二十弗ヲ超過セサル金額ニ對シテハ[illegible]仙　二十弗ヲ超過シ三十弗ヲ超過セサル金額ニ對シテハ[illegible]仙　三十弗ヲ超過シ四十弗ヲ超過セサル金額ニ對シテハ[illegible]仙　四十弗ヲ超過シ五十弗ヲ超過セサル金額ニ對シテハ[illegible]仙　五十弗ヲ超過シ六十弗ヲ超過セサル金額ニ對シテハ[illegible]仙　六十弗ヲ超過シ七十弗ヲ超過セサル金額ニ對シテハ[illegible]仙　七十弗ヲ超過スル金額ニ對シテハ[illegible]三十仙	
比律賓群島(Philippine Islands)	〃	〃	〃	〃	引去ラス	―	
丁抹領西印度(Danish West Indies)「セント、クロイ」(Saint Croix)又ハ「サンタ、クルース」(Santa Cruz)「セント、ジョン」(Saint John)「セント、トーマス」(Saint Thomas)ノ三島	英國郵政廳	磅、志、片	十磅	十磅ニ對スル本邦貨幣相當額	引去ル	爲替金額五磅若クハ其端數毎ニ三片	

「ゴア」(Goa){葡萄牙領(Portuguese India)}		〃	〃	〃	〃	〃	〃	ナポレオン戦争直前リスボンを去ッテ印度ニ移ル二百余年ノ間分離今回ノ人口千萬ニ達ス
墨西哥合衆國(Mexico, the United States of)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
白國(Peru)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
葡萄牙(Portugal){「アゾーレス」(Azores)及「マデイラ」(Madeira)ヲ含ム}		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
露西亞(Russia){「フインランド」(Finland)ヲ含ム}		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
突尼斯(Tunis)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
加利亞(Africa) 中央亞弗利加英國保護國(British Central Africa Protectorate)	英	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
東亞弗利加英國保護國(British East Africa Protectorate)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「ケープ」(Cape Colony) 「ラソトランド」(Rasutoland)、「ブチュアナランド」(British Bechuanaland)及北部「ローデシア」(North Eastern Rhodesia)ヲ含ム		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「ガンビア」(Gambia)								
「ゴールドコースト」(Gold Coast Colony)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「モーリシアス」(Mauritius)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「ナタル」(Natal) 「ズールランド」(Zululand)ヲ含ム		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
北部「ナイジエリア」(Nigeria, Northern)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
南部「ナイジエリア」(Nigeria, Southern)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「オレンジ、フリー、ステート」(Orange River Colony)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
南部「ローデシア」(Rhodesia, Southern) 「マショナランド」(Mashonaland)及「マタベレランド」(Matabeleland)ヲ含ム北部「ローデシア」(Northern Zambesia)ヲ含ム		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
英國保護地(British Colonies, Possessions, and protectorates;) 「セントヘレナ」(St. Helena)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「セイシエル」(Seychelles)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「シエラレオネ」(Sierra Leone)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「ソマリランド」保護國(Somaliland Protectorate)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「トランスバール」(Transvaal Colony)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「ウガンダ」保護國(Uganda Protectorate) 「エンテベ」(Entebbe)、「カンパラ」(Kampala)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「ザンジバル」保護國(Zanzibar Protectorate)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
亞米利加(America) 「バーミユダ」(Bermuda)	英	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
英領「ギアナ」(British Guiana)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
英領「ホンデユラス」(British Honduras)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「フオークランド」島(Falkland Islands)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「ニユーフアウンドランド」(Newfoundland)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
西印度(West Indies) 「アンチガ」(Antigua)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「バハマス」(Bahamas)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「バルバドス」(Barbados)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「ケイマン」群島(Cayman Islands)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「ドミニカ」(Dominica)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「グレナダ」(Grenada)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「ジヤマイカ」(Jamaica)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「モントセラト」(Montserrat)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「ネビス」(Nevis)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「セントキツツ」(St. Kitts)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「セントルシア」(St. Lucia)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「セントビンセント」(St. Vincent)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「トバゴー」(Tobago)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「トリニダド」(Trinidad)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「ターク」島(Turk's Islands)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	
「バージン」島(Virgin Islands)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	新興ニ「ウナスイカ」國ヘ譲合ナリ

局名	所在地	郵便物	郵便爲替	郵便爲替貯金	郵便爲替貯金引去	郵便爲替貯金引去ノ件數	郵便爲替貯金引去ノ金額	郵便爲替貯金引去ノ報酬	郵便爲替貯金引去ノ報酬ノ比率
英國郵便局外在 (British Postal Agencies abroad:)									
「サラワク」(Sarawak)	亞細亞 (Asia)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「チャタム」群島(Chatham Islands)	「アングラトスーオ」 (Australasia)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「クック」諸島又ハ「ハーヴヤー」群島 (Cook Islands, or Hervey Archipelago)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「フヰジー」群島(Fiji Islands)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「ジブラルタル」(Gibraltar)	歐羅巴 (Europe)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「タンジール」(Tangier) 獨逸國郵便局ヲ合ス									
「キプロス」(Cyprus)	地中海 (Mediterranean Sea)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「マルタ」(Malta)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「コンスタンチノープル」 (Constantinople)	古耳土巴羅歐 (Turkey in Europe)	〃	〃	〃	〃	引去ナス	—		
「パナマ」(Panama)	國和共マナパ (Panama, the Republic of)	〃	〃	〃	〃	〃	—		
「サロニカ」(Salonica)	古耳土巴羅歐 (Turkey in Europe)	〃	〃	〃	〃	〃	—		
「スミルナ」(Smyrna)	古耳土亞細亞 (Turkey in Asia)	〃	〃	〃	〃	〃	—		
「アドリアノープル」(Adrianople)		〃	〃	〃	〃	引去ル	二若シクハ件ノ其金額ノ三片	〃	〃ノ比ニ付キ百分ノ一
「チエスメー」(Cesmé, or Tchesmé)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「シオス」又ハ「キオス」(Chios, or Khios)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「デデアガチ」又ハ「デデアガジ」 (Dédé-Agatch, or Dédé-Aghadj)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「ガリポリ」(Gallipoli)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「イネボリ」(Ineboli)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「カイファ」(Kaifa, or Caiffa)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「カバラ」(Kavala, or Cavalla)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「ケラソンデ」又ハ「ケレスーン」(Kerassonde, or Kéressoun)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「ラガス」(Lagos)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「ミチレン」(Mitylene)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「ノヴバザル」(Novi Bazar)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「プレベサ」(Prevesa)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「ロドスト」(Rodosto)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「サムスーン」(Samsoun)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「サンジョバンニ、ディ、メドヴア」(San Giovanni di Medua)	アニバルア (Albania)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「サンチ、カランタ」又ハ「サランドー」(Santi Quaranta, or Sérandoz)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「トレビゾンド」又ハ「トラペズント」(Trebizond, or Trapezunt)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
「バロナ」(Valona)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
局墺國郵便利地境古耳土在 (Austrian Post Offices in Turkey:)									

濠洲聯邦(Australia, the Commonwealth of)	「ニューサウスウエールス」(New South Wales)、「クヰンスランド」(Queensland)、「サウスオストラリア」(South Australia)、「タスマニア」(Tasmania)、「ヴヰクトリア」(Victoria)及「ウエストオストラリア」(Western Australia)	香港郵政局	弗、仙(郵貯金額)	四百弗	四百圓	〃	百分ノ五ノ二	
英領印度(British India)	土耳其(Aden)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
英領印度(British India)	「マスカット」(Muscat)(亞剌比亞)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
英領印度(British India)	「グワダー」(Gwadur)(「ベルチスタン」(Beluchistan))	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
英領印度(British India)	「ポンディチェリー」(Pondicherry)(佛領印度(French India))	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
英領印度(British India)	「バンダーアバス」(Bunder Abbas)(波斯(Persia))	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
英領印度(British India)	「ブシヤー」(Bushire)(波斯(Persia))	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
英領印度(British India)	「ジヤスク」(Jask)(波斯(Persia))	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
英領印度(British India)	「リンガ」(Linga)(波斯(Persia))	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
英領印度(British India)	「モハメラ」(Mohammerah)(波斯(Persia))	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
英領印度(British India)	「バーレーン」(Bahrain)(波斯灣(Persian Gulf))	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
英領印度(British India)	「バグダド」(Pagdad)(土耳土亞細亞(Turkey in Asia))	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
英領印度(British India)	「バソラ」(Bassorah)(土耳土亞細亞(Turkey in Asia))	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
英領北「ボルネオ」(British North Borneo)	「クダト」(Kudat)、「ラブアン」(Labuan)、「サンダカン」(Sandakan)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	分ノ五ノ二

局(Agencies of the Indian Post Office at the undermentioned places:)

錫蘭(Ceylon)		〃	〃	〃	〃	〃	百分ノ五ノ二	媒介ニ佛蘭西郵便局ノ
「モーリシアス」(Mauritius)		〃	〃	〃	〃	〃	百分ノ五ノ二	
「ニユーゼーランド」(New Zealand)		〃	〃	〃	〃	〃	百分ノ五ノ二	
暹羅(Siam)	「バンコク」(Bangkok)、「チエンマイ」(Chiengmai)	〃	〃	〃	〃	〃	百分ノ五ノ二	
海峡植民地(Straits Settlements)	「マラカ」(Malacca)、「ペナン」(Penang)、「シンガポール」(Singapore)	〃	〃	〃	〃	〃	百分ノ五ノ二	
馬来聯邦州(The Federated Malay States)	「ネグリ、センビラン」(Negri Sembilan)、「パラク」(Perak)、「セランゴール」(Selangor)	〃	〃	〃	〃	〃	百分ノ五ノ二	
「トランスバール」(The Transvaal)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	

附註

十香港郵政局ハ媒介ニ依リ本邦ヨリ「モーリシアス」ニ宛テ郵便為替ヲ振出スコトヲ得ス

第二　電信貯金

為替貯金郵便貯金ノ為約定ニ依ル電信貯金直接交換国

国名	取扱郵便局	キ為替ヲ電信貯金ノ為ニ特定ノ	貯金ノ限度 本邦ヨリ	貯金ノ限度 本邦ヘ	貯金ノ限度 総額	貯金ノ限度 本邦ヨリ	貯金ノ限度 本邦ヘ	貯金ノ限度 総額
墺太利(Austria)	国内ノ郵便局ニ於テ取扱フ	「クローネ」、「クルンル」	一千「クローネ」			一千「クローネ」		
埃及(Egypt)	十附註ニ掲クル郵便局ニ限リ取扱フ	法、墨	一千法			一千法		
佛蘭西(France)(及「モナコ」(Monaco)ヲ含ム)	国内ノ郵便局ニ於テ電信為替ヲ取扱ハサル	法、墨	一千法			一千法		
独逸(Germany)	国内ノ郵便局ニ於テ取扱フ	「マルク」、「ペニヒ」	一八百「マルク」			一千「マルク」		
洪牙利(Hungary)	国内ノ郵便局ニ於テ取扱フ	「コロナ」、「フイルレル」	一千「コロナ」			一千「コロナ」		
盧山堡(Luxemburg)	国内ノ郵便局ニ於テ取扱フ	法、墨	一千法			一千法		
和蘭(Netherlands, or Holland)	国内ノ郵便局ニ於テ取扱フ	「フロリン」、「セント」	五百「フロリン」			四千四百「フロリン」		

蘭領東印度(Netherlands Indies or Dutch East Indies) {「バリ」(Bali)、「バンカ」(Bangka)、「ビリトン」(Billiton)、「ボルネオ」(Borneo)、「セレベス」(Celebes)、瓜哇(Java)、「ロムボック」(Lombok)、「マヅーラ」(Madoera)、「モルッコス」(Moluccos)、「リオー」(Rhio or Riouw)、「スマトラ」(Sumatra)、「ウエー」(Weh)ノ諸島	國内總テノ郵便局ニ於テ取扱フ	「フロリン」、「セント」	二百五十「フロリン」	二百四
瑞西(Switzerland)。	國内總テノ郵便局ニ於テ取扱フ	法、參	一千法	一千法ニ對スル本邦貨幣相當額

附註

十校及ニ於ケル外國電信爲替取扱局名

「アレキサンドリア」又ハ「アレキサンドリー」(Alexandria, or Alexandrie)
アッシウート(Assiout)
アッシウート(貯水所){Assiout(Réservoir)}
アッスワン(Assouan)
アッスワン(貯水所){Assouan(Réservoir)}.
ベンハ(Benha)
ベニ、スウエフ(Beni-Souef)
ビルケット、エル、サブ(Birket-el-Sab)
「カイロ」又ハ「カイル」(Cairo, or Caire)
シビン、エル、コム(Chibin-el-Com)
ダマンフール(Damanhour)
「ダミエッタ」又ハ「ダミエット」(Damietta, or Demiette)
ファイウーム(Fayoum)
「ゲエルガ」又ハ「ギルガ」(Guerga, or Ghirgha)
「ギザ」又ハ「ギセー」(Guiza, or Ghizeh)
イスマイリア(Ismailia)
カフル、エル、ザヤット(Kafrel-Zayat)
「ケナ」又ハ「ケネー」(Kéna, or Keneh)
ルークソール(Luxor, or Louxor)
マハラ(Mahalla)
マンスーラ(Mansourah)
メノウーフ(Menouf)
ミニア(Minia)
ポルト、サイド(Port-Said)
「ロセッタ」又ハ「ロセット」(Rosetta, or Rosette)
サマヌード(Samanoud)
「ソハグ」又ハ「スーハグ」(Sohag, or Souhag)
スエズ(Suez)
タンタ(Tanta, or Tantah)
テー、エル、バルード(Teh-el-Baroud)
ザガジック(Zagazig)
「ゼフタ」又ハ「ジフター」(Zefta, or Ziftah)

◎外國郵便爲替證書線引讓渡方

明治三十四年五月十八日
遞信省令第二十四號

明治三十四年[illegible]遞信省令第十三號郵便爲替證書線引讓渡規則ハ之ヲ外國郵便爲替ニ準用ス但シ萬國聯合郵便爲替ニ在リテハ爲替券ノ裏面ニ於ケル讓渡裏書ノ場所ニ線引ヲ爲スヘシ

線引ヲ爲シタル外國郵便爲替券ニ對シ銀行ヨリ爲替金ノ拂渡ヲ請求スルトキハ外國郵便爲替規則第二十二條ノ手續ヲ爲サスシテ之カ拂渡ヲ爲スヘシ

◎萬國聯合郵便爲替並香港及其媒介爲替各郵便所ニ於ケル取扱區別

明治三十八年五月二十四日
遞信省告示第二百四十九號
改正 [illegible]

各一等郵便局及函館、神戸三宮、下關及門司ノ各二等郵便局竝ニ在清國上海、天津、厦門、牛莊、汕頭及廣東各本邦郵便局([illegible])ニ於テハ外國郵便局ニ對シ直接ニ萬國聯合郵便爲替竝ニ香港及其媒介爲替ノ振出及拂渡業務ヲ取扱ヒ其他ノ郵便局ニ於テハ所轄一等郵便局ヲ經由シテ該爲替ノ受拂業務ヲ取扱フ但函館、下關、門司各二等郵便局所在地ニ設置シアル此等各局以外ノ郵便局ハ當該二等郵便局ヲ(韓國郵便局所及在滿洲本邦郵便局所([illegible])ハ總テ長崎郵便局ヲ、在樺太郵便局ハ總テ横濱郵便局ヲ、在清國芝罘、沙市、杭州、蘇州、漢口及南京各本邦郵便局([illegible])竝ニ在鎭江本邦郵便受取所ハ在清國上海本邦郵便局ヲ、在清國北京本邦郵便局ハ在清國天津本邦郵便局ヲ、在清國福州本邦郵便局ハ在清國厦門本邦郵便局ヲ經由シテ其受拂業務ヲ取扱フ

本告示ハ來六月十六日ヨリ施行シ明治三十六年七月遞信省告示第三百八十號ハ本告示施行ノ日ヨリ廢止ス

◎外國郵便爲替ヲ取扱ハサル郵便局所

明治三十八年七月二十六日
遞信省告示第四百二十六號
改正 [illegible]

左記郵便局所ニ於テハ各其局所名ノ下ニ記載セル外國郵便爲替事務ヲ取扱ハス

但明治三十六年九月遞信省告示第四百五十四號ハ之ヲ廢止ス

各一等郵便局、函館、神戸三宮、下關、門司各二等郵便局及在清國上海、天津本邦郵便局所在地ニ設置シアル此等各局以外ノ郵便局所	香港爲替(香港媒介爲替ヲ含マス)ノ拂渡
在清國上海、厦門、漢口及福州各本邦郵便局	佛國及其媒介爲替、英國及其媒介爲替、加那太爲替、香港及其媒介爲替ノ拂渡
在清國天津及北京兩本邦郵便局	佛國及其媒介爲替、獨逸及其媒介爲替ノ拂渡
在清國汕頭及廣東兩本邦郵便局	獨逸及其媒介爲替、英國及其媒介爲替、加那太爲替、香港及其媒介爲替ノ拂渡
在清國芝罘本邦郵便局	佛國及其媒介爲替、獨逸及其媒介爲替、英國及其媒介爲替、香港及其媒介爲替ノ拂渡
在清國南京、塘沽及鎭江各本邦郵便局所	獨逸及其媒介爲替ノ拂渡

◎萬國聯合電信爲替ヲ取扱フ郵便局

明治三十六年九月二十五日
遞信省告示第四百五十三號
改正 [illegible]

萬國聯合電信爲替ノ振出及拂渡業務ヲ取扱フ郵便局ハ左ノ如シ

武藏國横濱郵便局　攝津國大阪郵便局
武藏國東京郵便局　肥前國長崎郵便局
攝津國神戸郵便局

◎海外出稼人の委託ニ依リ横濱正金銀行ヨリ差出ス郵便爲替特別取扱方

明治三十八年十月二十一日
遞信省令第七十二號

海外出稼人ノ委託ニ依リ株式會社横濱正金銀行ヨリ差出ス通常郵便爲替ニ對シテハ證書一枚ノ最高金額ニ制限ヲ付セス且料金ハ一般規定ノ割合ニ依リ現金ヲ以テ之ヲ徴收ス

前項通常爲替ノ振出ニ關スル手續ハ一般ノ規定ニ依ラス別ニ之ヲ指定ス

本令ハ明治三十八年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

◎外國郵便爲替金ノ換算ニ適用スヘキ香港洋銀換算割合

明治三十九年四月二十六日
臺灣總督府告示第二十八號

明治三十九年五月一日以後外國郵便爲替金ノ換算ニ適用スヘキ香港洋銀ノ換算割合ハ府報ヲ以テ告知スル最近ノ換算割合ニ依ル

◎日本香港間郵便爲替方法規約

明治三十七年一月二十四日

佛國郵便報知

○佛國郵便報知

明治三十七年二月十日

太政官第五號第十五號

佛國郵便報知

明治三十七年二月十日

太政官第五號第十五號

明治三十七年二月十四日

太政官第五號第十五號

明治三十七年二月十四日

太政官第五號第十五號

第五條　日本ニ佛貨ヲ貯金シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ其出國ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第六條　佛國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第七條　佛國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

但佛國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻シタル際ト其出國ノ際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第八條　佛國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第九條　佛國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第十條　一國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

但他ノ一國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻シタル際ト其出國ノ際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第十一條　此條約ニ可成速ニ批准ヲ受ケ兩國郵便局ハ之ヲ交換シ其日ヨリ實施スベシ

此條約ハ定ムル日ヨリ一箇月ノ期間ヲ以テ之ヲ廢止スベキモ其廢止ノ通告ハ一國ノ郵便局ヨリ他ノ一國ノ郵便局ニ通知スベシ

第十二條　此條約ハ可成速ニ批准ヲ受ケ兩國郵便局ハ之ヲ交換シ其日ヨリ實施スベシ

此條約ハ定ムル日ヨリ一箇月ノ期間ヲ以テ廢止スベキモ其廢止ノ通告ハ一國ノ郵便局ヨリ他ノ一國ノ郵便局ニ通知スベシ

第十三條　此條約ハ可成速ニ批准ヲ受ケ兩國郵便局ハ之ヲ交換シ其日ヨリ實施スベシ

此條約ハ定ムル日ヨリ一箇月ノ期間ヲ以テ廢止スベキモ其廢止ノ通告ハ一國ノ郵便局ヨリ他ノ一國ノ郵便局ニ通知スベシ

右ノ證トシテ各國ノ郵便局ハ此條約ニ調印シタリ

巴里ニ於テ千八百八十四年六月三十日

名譽印ニ於テ本書三通ヲ製シ兩國全權者各一ニ配シ其一ヲ保存シ其他ハ各國ノ郵便局ニ送付スベキモノトス

ジュール、ファヴリー（署名）

ジュール、ボー（署名）

❸佛國西國ト郵便貯金規則

明治十八年十二月三十六日
太政官布告第二百三號

新便貯金規則ヲ左ニ布告ス

日本及佛國西國郵便貯金ノ取扱ニ關スル條約ハ明治十四年六月三十日ノ條約ニ基キ日本及佛國西國ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻シ其出國ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第一條　日本ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

但佛國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻シタル際ト其出國ノ際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第二條　佛國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第三條　佛國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第四條　佛國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第五條　日本ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第六條　佛國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第七條　佛國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第八條　佛國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第九條　佛國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第十條　一國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

但他ノ一國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻シタル際ト其出國ノ際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第十一條　此條約ニ可成速ニ批准ヲ受ケ兩國郵便局ハ之ヲ交換シ其日ヨリ實施スベシ

此條約ハ定ムル日ヨリ一箇月ノ期間ヲ以テ廢止スベキモ其廢止ノ通告ハ一國ノ郵便局ヨリ他ノ一國ノ郵便局ニ通知スベシ

第十二條　此條約ハ可成速ニ批准ヲ受ケ兩國郵便局ハ之ヲ交換シ其日ヨリ實施スベシ

此條約ハ定ムル日ヨリ一箇月ノ期間ヲ以テ廢止スベキモ其廢止ノ通告ハ一國ノ郵便局ヨリ他ノ一國ノ郵便局ニ通知スベシ

第十三條　此條約ハ可成速ニ批准ヲ受ケ兩國郵便局ハ之ヲ交換シ其日ヨリ實施スベシ

此條約ハ定ムル日ヨリ一箇月ノ期間ヲ以テ廢止スベキモ其廢止ノ通告ハ一國ノ郵便局ヨリ他ノ一國ノ郵便局ニ通知スベシ

右ノ證トシテ各國ノ郵便局ハ此條約ニ調印シタリ

巴里ニ於テ千八百八十四年六月三十日

名譽印ニ於テ本書三通ヲ製シ兩國全權者各一ニ配シ其一ヲ保存シ其他ハ各國ノ郵便局ニ送付スベキモノトス

ジュール、ボー（署名）

ジュール、ファヴリー（署名）

第十條　佛國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第十一條　佛國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第十二條　佛國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第十三條　佛國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第十四條　佛國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第十五條　佛國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第十六條　佛國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第十七條　佛國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第十八條　佛國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第十九條　佛國ノ郵便局ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル者ハ其出國ノ際ト日本ニ於テ貯金ヲ拂戻シタル際トニ引直シノ差額ヲ其出國ノ貨幣ニ換算シ日本ノ郵便局ニ於テ其貯金ヲ拂戻ス

第二款　郵便貯金

第一條　郵便貯金ハ郵便局ニ於テ之ヲ取扱フ

第二條　郵便貯金ハ郵便局ニ於テ之ヲ取扱フ

第三條　郵便貯金ハ郵便局ニ於テ之ヲ取扱フ

第四條　郵便貯金ハ郵便局ニ於テ之ヲ取扱フ

第五條　郵便貯金ハ郵便局ニ於テ之ヲ取扱フ

第六條　郵便貯金ハ郵便局ニ於テ之ヲ取扱フ

第七條　郵便貯金ハ郵便局ニ於テ之ヲ取扱フ

第八條　郵便貯金ハ郵便局ニ於テ之ヲ取扱フ

第九條　郵便貯金ハ郵便局ニ於テ之ヲ取扱フ

第十條　郵便貯金ハ郵便局ニ於テ之ヲ取扱フ

第十一條　郵便貯金ハ郵便局ニ於テ之ヲ取扱フ

第十二條　郵便貯金ハ郵便局ニ於テ之ヲ取扱フ

第十三條　郵便貯金ハ郵便局ニ於テ之ヲ取扱フ

第十四條　郵便貯金ハ郵便局ニ於テ之ヲ取扱フ

第十五條　郵便貯金ハ郵便局ニ於テ之ヲ取扱フ

第十六條　郵便貯金ハ郵便局ニ於テ之ヲ取扱フ

第十七條　郵便貯金ハ郵便局ニ於テ之ヲ取扱フ

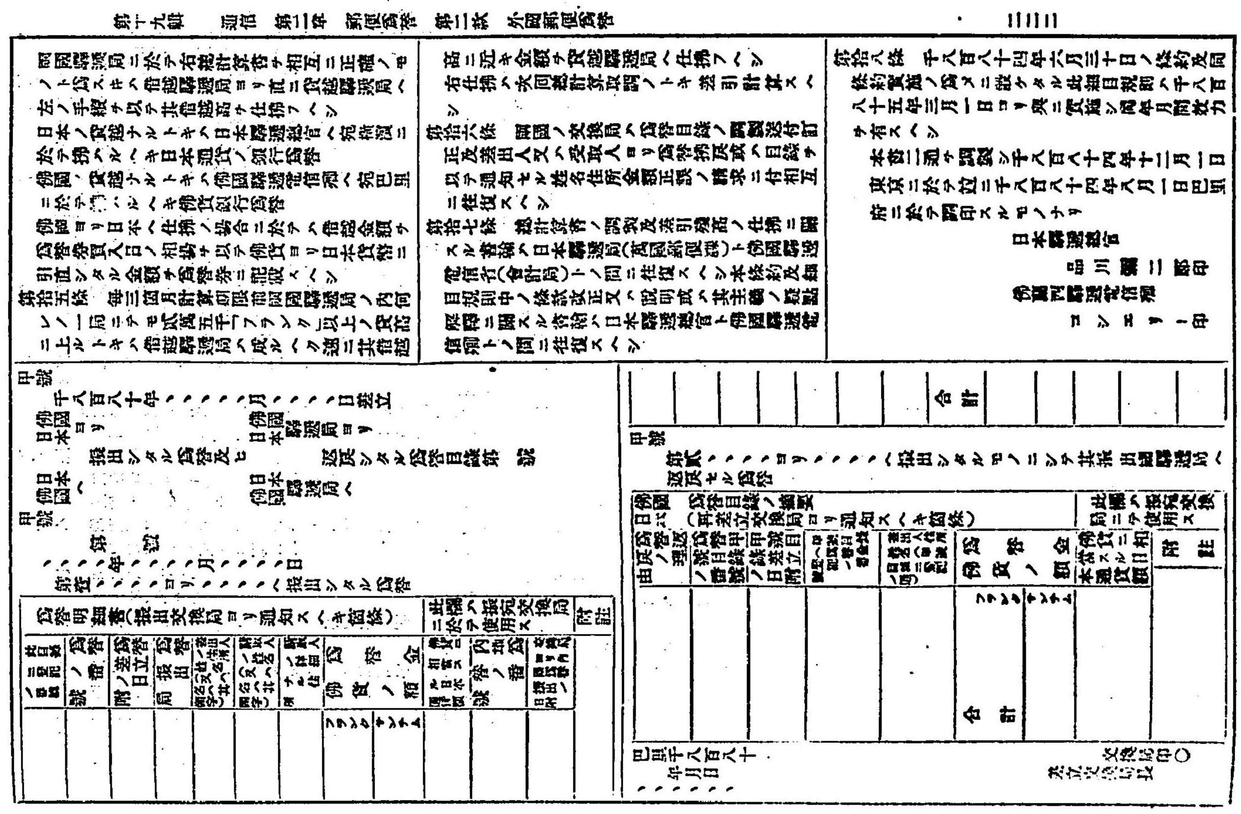
第十八條　郵便貯金ハ郵便局ニ於テ之ヲ取扱フ

第十九條　郵便貯金ハ郵便局ニ於テ之ヲ取扱フ

第十九節　通信

第二款　郵便貯金

第三款　外國郵便貯金



ヘシ但差出人若クハ受取人ノ名前ヲ差出人ヨリ一層詳細ニ陳述セル場合ニ於テハ其陳述スル通リヲ爲替目錄ニ記載スヘシ

第八條　兩國間郵便爲替ノ事務ハ總テ交換局ヲ經テ之ヲ取扱フヘシ日本ニ於テハ東京ヲ以テ交換局ト定メ米國ニ於テハ「カリホルニア」州「サンフランシスコ」ヲ以テ交換局ト定ムヘシ

第九條　米國ヨリ日本ヘ振出シタル爲替ノ要件ハ「サンフランシスコ」交換局ニ於テ附錄甲號雛形ニ因テ調製セシ目錄ニ記入シ且ツ其金額ハ一々米國貨幣ニテ之ヲ登記シ「サンフランシスコ」ノ日附印ヲ押シ東京驛遞局ヘ遞送スヘシ該局ハ之ニ日附印ヲ押シ拂渡ノ手續ヲナスヘシ

日本ヨリ米國ヘ振出シタル爲替ノ要件モ前同樣ノ手續ヲ以テ東京驛遞局ニ於テ附錄乙號雛形ニ因テ調製シタル目錄ヘ記入シ且ツ其金額ハ一々兩國ノ貨幣ニテ之ヲ登記シ其驛ノ日附印ヲ押シ「サンフランシスコ」交換局ヘ遞送スヘシ該局ハ之ニ日附印ヲ押シ拂渡ノ手續ヲナスヘシ

目錄及ヒ目錄中記載ノ件々ハ差出ノ順序ニ從ヒ番號ヲ付シ且ツ甲國ノ目錄乙國ニ達スルトキハ乙國ハ其後初メテ遞送スヘキ目錄中ニ甲國ノ目錄領收ノ旨ヲ記載スヘシ

前記目錄ハ兩國互ニ每便送付スヘシ且ツ目錄ノ紛失等ヨリ不都合ノ生セサル爲メ兩國互ニ次便ヲ以テ前便遞送セシ目錄ノ副本ヲ送致スヘシ

目錄差立ノ日ニ當リ假令報知スヘキ爲替ノ振出ナシト雖トモ目錄ハ「爲替振出無之」ノ文字ヲ記シ必ス之ヲ遞送スヘシ

每年六月三十日ニ終ル一期間（一期間トハ一年ヲ三箇月ヅヽ四期ニ分チタル其一ヲ指ス以下之ニ倣フ）ニ米國ニ於テ振出シ六月三十日後ニ至リ「サンフランシスコ」交換局ヘ到達セル爲替ハ六月中最後ニ遞送ノ目錄補欠ノ目錄ニ記入スヘシ又同期間日本ニ於テ振出シ六月三十日後ニ至リ東京交換局ニ到達セル爲替モ同樣六月中最後ニ遞送ノ目錄補欠ノ目錄ニ記入スヘシ

第十條　差立局ノ目錄受取交換局ヘ到達次第該局ニ於テ目錄ニ照シ受取人ヘ宛內國爲替ヲ振出シ內國爲替規則ニ隨ヒ之ヲ無稅ニテ受取人或ハ拂渡局ヘ配送スヘシ

目錄中受取交換局ニ於テ改正シ難キ誤謬アルトキハ差立局ヘ照會シ其說明ヲ請フヘシ差立局ハ可成丈ケ速ニ之ニ應スヘシ尤モ右誤謬アル爲替ハ其照會中內國拂渡爲替ノ振出ヲ停止スヘシ

爲替目錄ハ交通ツヽ受取交換局ヨリ差立交換局ヘ返遞スヘシ尤モ其返遞前受取交換局ニ於テ目錄ニ記載ノ爲替拂渡局ノ名ヲ記入スヘシ且ツ日本ヨリ返遞スル米國目錄ヘハ日本驛遞局ニ於テ引直シタル割合ニ依リ日本貨幣ヲ以テ爲替金額ヲ一々記入スヘシ

第十一條　甲國ヨリ乙國ニ向ケ振出シタル爲替ノ拂渡方ハ都テ拂渡國ノ內國爲替規則ニ隨ヒ取扱フヘシ

拂濟證書ハ雙方共其金額ヲ拂渡シタル國ニ保存スヘシ

第十二條　爲替受取人若クハ差出人ノ氏名ニ誤謬アリテ其改正ヲ要シ或ハ差出人ニ於テ爲替金ノ拂戾ヲ請願セントスルトキハ差出人ヨリ其爲替ヲ振出セシ國ノ驛遞局ヘ申立ツヘシ

再度ノ爲替ハ初度ノ爲替振宛國ノ驛遞局ニ限リ之ヲ振出シ其手數ハ都テ其國ニ於テ既ニ制定シ又ハ新ニ制定スヘキ規則ニ隨フヘシ

第十三條　爲替ハ初度ノ振出シト再度ノ振出シトヲ論セス拂渡國ニ於テ未タ其爲替金ヲ拂渡サス且ツ拂渡サヽル旨ヲ拂渡國ノ驛遞局ヨリ通知アリテ其旨ヲ證明シタル後ニ非レハ振出國ニ於テ之ヲ差出人ニ拂戾サヽルヘシ

第十四條　爲替ハ振出シタル月ヨリ十二箇月間ニ受取ラサレハ其效用ヲ失ヒ其金額ハ振出國ニ屬シ其處分ニ任スヘシ故ニ日本驛遞局ハ米國ヨリ受取リタル目錄中ノ爲替ニテ右ニ定メタル期限中拂渡サヽルモノハ米國ノ貸金トシテ每一期間ノ計算書中ニ記入スヘシ

又米國驛遞院ハ日本驛遞局每一期間計算書ニ記載ノ爲メ該局ヨリ到達セル目錄中爲替金ノ本條ニ因リ效用ヲ失ヒタルモノヲ記載シタル明細書ヲ每月末遞送スヘシ

第十五條　每一期間ノ末ニ於テ東京驛遞局ハ該期中兩國ヨリ振出シタル爲替ノ詳細ヲ記スル各目錄ノ總額及ヒ右ヨリ生スル差引殘額ヲ示ス所ノ計算書ヲ調製スヘシ

右計算書三通ヲ在華盛頓府米國驛遞院ヘ送遞シ其差引殘額ハ說明ノ上日本驛遞局借方トナルトキハ計算書ヲ送付スルト同時ニ「ニウヨルク」ヘ宛米國貨幣ヲ以テ仕拂ヲナシ又米國驛遞院借方トナルトキハ計算書ノ寫ヲ送付スルト同時ニ米國貨幣ヲ以テ當時ノ相場ニ依リ買得ヘキ丈ケノ日本通貨ヲ買入レ橫濱宛銀行爲替券ヲ以テ仕拂フヘシ

此ノ每一期間計算書用紙ハ附錄丙丁及戊號ノ雛形ニ依ルヘシ

計算決定前日本驛遞局及米國驛遞院ノ中一方ヨリ他方ヘ對シ五千弗餘ノ殘額ヲ生スルトキハ速ニ右殘額ノ見積高ヲ拂フヘシ

第十六條　兩國ノ驛遞總官ハ前定約ノ旨趣ニ抵觸スルニ非サレハ隨時或ハ一般ニ爲替ノ事業ヲ改良スヘキ目的ヲ以テ新ニ條目ヲ增設スルノ權アルヘシ但甲國ニテ增加セシ條目ハ之ヲ乙國驛遞總官ヘ通知スヘシ

第十七條　日本若クハ米國商人ノ此爲替ヲ以テ金員ヲ遞送スル者夥多ニシテ隨テ其金員巨額ニ至ルトキハ日本驛遞局若クハ米國驛遞院ハ適宜ニ其手數料ヲ增加シ若クハ一時全ク其振出ヲ停止スルノ權アルヘシ

第十八條　此定約ハ千八百八十五年十月一日ヨリ實施シ甲國ヨリ乙國ヘ廢止ノ報知ヲナシタル日ヨリ十二箇月間效力ヲ有スヘシ

此定約ハ二通ヲ製シ一通ハ明治十八年五月二十三日東京ニ於テ記名調印シ又一通ハ一千八百八十五年四月十八日華盛頓ニ於テ記名調印スルモノナリ

日本驛遞總官代理
日下　義雄　印

北米合衆國驛遞總官
ダブルユ、エフ、ヴヰラス印

甲號

日本ヨリ振出シ米國ニ於テ仕拂フヘキ爲替目錄第　號御差越相成正ニ領收致候

當局ヨリ最後之目錄第　號差進候後米國ヨリ振出シ日本ニ於テ仕拂フヘキ爲替ノ爲メ當局ニ於テ領收致候金額之明細計算書今便差進候條御査收有之度候也

千八百八十　年

東京
驛遞局

桑港郵便爲替交換局長

追テ本文目錄御領收之旨御回答有之度候也

甲　號

目錄第　號

米國ヨリ振出シ日本ニ於テ仕拂フヘキ爲替目錄

局印

月 日	內國爲替ノ番號	外國爲替ノ番號	振出局名	差出人氏名	差出人住所	受取人氏名	受取人住所	米國貨幣金額	日本貨幣金額（此欄ハ東京局於テ使用ス）	東京內國爲替局振出番號（此欄ハ東京局於テ使用ス）	仕拂局名（此欄ハ東京局於テ使用ス）	附註（此欄ハ東京局於テ使用ス）
								弗　仙	圓　錢			

甲號

此ノ目錄ニ記載セル米國ヨリ振出シ日本ニ於テ仕拂フヘキ金額總計　弗ニ相成候爲替第　號ヨリ第　號迄調査候處左記之件々ヲ除クノ外ハ都テ正當ノモノト見認候也

千八百八十　年

東京
驛遞局

桑港
郵便爲替交換局長殿

乙號

米國ヨリ振出シ日本ニ於テ仕拂フヘキ爲替目錄第　號御差越正ニ領收致候

當局ヨリ最後ノ目錄第　號差進候後日本ヨリ振出シ米國ニ於テ仕拂フヘキ爲替ノ爲メ當局ニ於テ領收致候金額ノ明細計算書今便差進候條御査收有之度候也

千八百八十　年

東京
驛遞局

桑港
郵便爲替交換局長殿

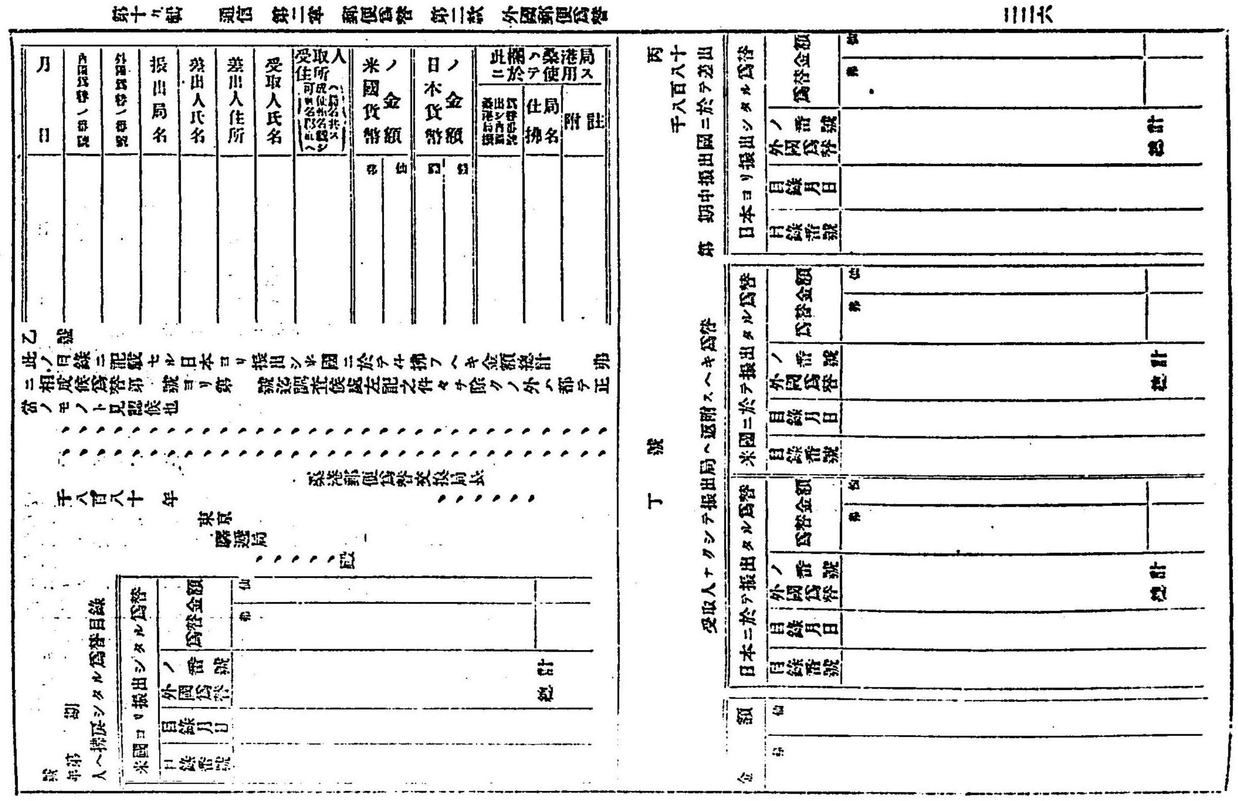
追テ本文目錄御領收之旨御回答有之度候也

乙　號

目錄第　號

日本ヨリ振出シ米國ニ於テ仕拂フヘキ爲替目錄

局印



第一條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ郵便爲替ヲ設ケ其取扱ヲ以テ左ノ通約定ス

第二條

此ノ通加定約ハ千八百八十八年十月一日ヨリ實施ス

第三條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ日本帝國ノ貨幣及米國ノ貨幣ト屋ニ「千分ノ七半」ノ文字ヲ「千分ノ五」ト改ム

第四條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ左ノ通ニ定ム

第五條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ其金額ニ對シ左ノ條件ヲ以テ之ヲ公布セリ

第六條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ左ノ通ニ定ム

第七條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ其金額ニ對シ左ノ條件ヲ以テ之ヲ公布セリ

第八條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ左ノ通ニ定ム

第九條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ其金額ニ對シ左ノ條件ヲ以テ之ヲ公布セリ

第十條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ左ノ通ニ定ム

第十一條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ其金額ニ對シ左ノ條件ヲ以テ之ヲ公布セリ

第十二條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ左ノ通ニ定ム

第十三條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ其金額ニ對シ左ノ條件ヲ以テ之ヲ公布セリ

第十四條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ左ノ通ニ定ム

第十五條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ其金額ニ對シ左ノ條件ヲ以テ之ヲ公布セリ

第十六條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ左ノ通ニ定ム

第十七條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ其金額ニ對シ左ノ條件ヲ以テ之ヲ公布セリ

第十八條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ左ノ通ニ定ム

第十九條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ其金額ニ對シ左ノ條件ヲ以テ之ヲ公布セリ

第二十條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ左ノ通ニ定ム

第二十一條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ其金額ニ對シ左ノ條件ヲ以テ之ヲ公布セリ

第二十二條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ左ノ通ニ定ム

第二十三條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ其金額ニ對シ左ノ條件ヲ以テ之ヲ公布セリ

第二十四條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ左ノ通ニ定ム

第二十五條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ其金額ニ對シ左ノ條件ヲ以テ之ヲ公布セリ

第二十六條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ左ノ通ニ定ム

第二十七條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ其金額ニ對シ左ノ條件ヲ以テ之ヲ公布セリ

第二十八條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ左ノ通ニ定ム

第二十九條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ其金額ニ對シ左ノ條件ヲ以テ之ヲ公布セリ

第三十條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ左ノ通ニ定ム

第三十一條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ其金額ニ對シ左ノ條件ヲ以テ之ヲ公布セリ

第三十二條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ左ノ通ニ定ム

第三十三條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ其金額ニ對シ左ノ條件ヲ以テ之ヲ公布セリ

第三十四條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ左ノ通ニ定ム

第三十五條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ其金額ニ對シ左ノ條件ヲ以テ之ヲ公布セリ

第三十六條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ左ノ通ニ定ム

第三十七條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ其金額ニ對シ左ノ條件ヲ以テ之ヲ公布セリ

第三十八條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ左ノ通ニ定ム

第三十九條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ其金額ニ對シ左ノ條件ヲ以テ之ヲ公布セリ

第四十條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ左ノ通ニ定ム

第四十一條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ其金額ニ對シ左ノ條件ヲ以テ之ヲ公布セリ

第四十二條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ左ノ通ニ定ム

第四十三條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ其金額ニ對シ左ノ條件ヲ以テ之ヲ公布セリ

第四十四條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ左ノ通ニ定ム

第四十五條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ其金額ニ對シ左ノ條件ヲ以テ之ヲ公布セリ

第四十六條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ左ノ通ニ定ム

第四十七條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ其金額ニ對シ左ノ條件ヲ以テ之ヲ公布セリ

第四十八條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ左ノ通ニ定ム

第四十九條

日本帝國驛郵局ト北米合衆國驛郵局トノ間ニ於テ取扱ヲ爲スヘキ爲替ハ其金額ニ對シ左ノ條件ヲ以テ之ヲ公布セリ

シム

日本帝國ト亞米利加合衆國トノ間ニ郵便爲替交換ニ關スル追加定約

日本帝國遞信大臣及亞米利加合衆國郵政長官ハ明治十八年五月二十三日（千八百八十五年五月二十三日）東京ニ於テ及千八百八十五年四月十八日華盛頓ニ於テ日本帝國驛遞總官及北米合衆國驛遞總官ノ記名調印シタル郵便爲替定約ニ左ノ追加條款ヲ設クルコトヲ決定シ本附加定約ニ署名ス

第一條

千八百八十八年十月一日修正實施シタル前記定約第六條中及同定約附錄戊號每期計算書中日本ノ貨高及米國ノ貨高ト題スル兩欄內「千分ノ五」トアルヲ「千分ノ二年」ト改ム

第二條

前條ハ千九百四年七月一日ヨリ實施スヘシ

本書二通ヲ調製シ明治三十七年五月七日（千九百四年五月七日）東京ニ於テ並ニ千九百四年六月一日華盛頓ニ於テ各記名調印スルモノナリ

日本帝國遞信大臣　大浦兼武

亞米利加合衆國郵政長官　エイチ、シー、ベーン

●加那太郵政廳ト郵便爲替規約

明治二十二年九月三十日
勅令總、遞、大臣副署

朕帝國遞信省ト加那太郵政廳トノ間ニ郵便爲替規約ヲ締結セシメタルニ依リ茲ニ之ヲ公布セシム

日本帝國遞信省ト加那太國郵政廳トノ間ニ取結ヒタル郵便爲替規約

第一條　日本帝國ト加那太國トノ間ニ郵便ヲ以テ爲替ヲ執行スヘシ

第二條　爲替金ハ雙方共加那太貨幣ヲ以テ記載スヘシ但兩國ノ間貨幣ノ相場ニ時々昇降アルカ爲メニ日本遞信省ハ適當ノ割合ヲ以テ爲替金ヲ引直スヘキコトヲ茲ニ約束ス即チ加那太ヘ爲替ヲ取組ム爲メ日本遞信省ニ於テ受領シタル金額ハ爲替ヲ振出ス時ノ相場ヲ以テ加那太貨幣ニ引直シ又日本ニテ拂渡ス爲メ加那太ヨリ振出シタル爲替ノ金額ハ日本遞信省ニ於テ爲替目錄ノ到達シタル日ノ相場ヲ以テ日本貨幣ニ引直スヘシ

第三條　爲替一口ノ金額ハ雙方共五拾弗ヲ超スヘカラス

第四條　壹仙未滿ノ端數金額ハ爲替トナスヘカラス

第五條　爲替金額ハ差出人ヨリ拂込ミ並ニ受取人ヘ拂渡シ共金貨又ハ金貨ト同樣ノ價アル他ノ通貨タルヘシ

若シ兩國ノ一ニ於テ金貨ヨリ低價ナル紙幣ヲ通貨トシテ使用スルトキハ該國ノ郵政廳ハ其紙幣ノ受拂ヲナスコトヲ得但相場ノ差異ニ隨テ計算ヲナスヘシ

第六條　日本遞信省並ニ加那太郵政廳ハ雙方共其振出ス爲替手數料ノ割合ヲ時々更定スルノ權ヲ有ス此手數料ハ振出局ノ收入トス但日本遞信省ハ日本ヨリ振出シ加那太ニ於テ拂渡スヘキ爲替金總額ノ千分ノ五ノ歩合金ヲ加那太郵政廳ヘ拂ヒ加那太郵政廳ハ加那太ヨリ振出シ日本ニ於テ拂渡スヘキ爲替金總額ヨリ前同樣ノ歩合金ヲ日本遞信省ヘ拂フヘシ

第七條　爲替ハ差出人及ヒ受取人ノ氏名住所又差出人若クハ受取人會社組合ナレハ其名稱及ヒ住所ヲ差出人ヨリ申立ツルノ外ナシ

第八條　爲替ハ振出シタル月ヨリ十二箇月間ニ受取ラサレハ其效用ヲ失ヒ其金額ハ振出國ニ屬シ其處分ニ任スヘシ故ニ日本遞信省ハ加那太ヨリ受取タル目錄中ノ爲替ニテ右ニ定メタル期限ニ記入スヘシ

第九條　加那太ヨリ日本ヘ振出シタル爲替ノ要件ハ「ヴヰクトリア」交換局ニ於テ附錄甲號雛形ニ因テ調製セシ目錄ニ記入シ且ツ其金額ハ一々加那太貨幣ニテ之ヲ登記シ「ヴヰクトリア」ノ日付印ヲ押シ東京遞信省（外信局）ヘ送達スヘシ該局ハ之ニ日付印ヲ押シ拂渡ノ手續ヲナスヘシ

日本ヨリ加那太ヘ振出シタル爲替ノ要件モ同樣ノ手續ヲ以テ東京遞信省（外信局）ニ於テ附錄乙號雛形ニ因テ調製シタル目錄ヘ記入シ且ツ其金額ハ一々兩國ノ貨幣ニテ之ヲ登記シ其局ノ日付印ヲ押シ「ヴヰクトリア」交換局ヘ送達スヘシ

目錄及ヒ目錄中記載ノ件々ハ並ニノ順序ニ從ヒ永久帶綴ヲ付シ且ツ甲國ノ目錄乙國ニ送ルトキハ乙國ハ其後初メテ送達スヘキ目錄中ニ甲國ノ目錄領收ノ旨ヲ記載スヘシ

前記目錄ハ兩國五ニ報知スヘキ爲替アル時ノミニ限リ送付スヘシ且ツ目錄ノ終矢等ヨリ本郵合ノ生セサル爲メ兩國五ニ次便ヲ以テ前便送達セシ目錄ノ副書ヲ送致スヘシ

毎年六月三十日ニ終ル一期間（一期間ヲ六箇月ニ分チタル第一期ヲ加那太ニ於テ振出シ六月三十日後ニ至リ「ヴヰクトリア」交換局ヘ到達セル爲替ハ六月中最後ニ送達スヘキ目錄ノ終矢目錄ニ記入スヘシ又同期間日本ニ於テ振出シ六月三十日後ニ至リ東京遞信省ヘ到達セル爲替モ同樣六月中最後ニ送達スヘキ目錄ノ終矢目錄ニ記入スヘシ

第十條　差立局ノ目錄受取交換局ヘ到達次第遞信局ニ於テ目錄ニ照シ受取人ヘ宛內國爲替ヲ振出シ內國爲替規則ニ隨ヒ之ヲ無稅ニテ受取人或ハ拂渡局ヘ配達スヘシ

目錄中受取交換局ニ於テ改正シ難キ誤謬アルトキハ差立局ヘ照會シ其說明ヲ請フヘシ差立局ハ可成丈ケ速ニ之ニ應スヘシ尤モ右誤謬アル爲替ハ其照會中內國拂渡爲替ノ振出ヲ停止スヘシ

爲替目錄ハ一通ツヽ受取交換局ヨリ差立交換局ヘ返送スヘシ尤モ其返送前受取交換局ニ於テ目錄ニ記載ノ爲替拂渡局ノ名ヲ記入スヘシ且ツ日本ヨリ返送スル加那太目錄ハ日本遞信省ニ於テ引直シタル割合ニ依リ日本貨幣ヲ以テ爲替金額ヲ一々記入スヘシ

第十一條　甲國ヨリ乙國ニ向ケ振出シタル爲替ノ拂渡方ハ都テ拂渡國ノ內國爲替規則ニ隨ヒ取扱フヘシ

拂濟證書ハ雙方共其金額ヲ拂渡シタル國ニ保存スヘシ

第十二條　爲替受取人若クハ差出人ノ氏名ニ誤謬アリテ其改正ヲ要シ或ハ差出人ニ於テ爲替金ノ拂戻ヲ請願セントスルトキハ差出人ヨリ其爲替ヲ振出セシ國ノ郵政廳ヘ申立ツヘシ

再度ノ爲替ハ初度ノ爲替振宛局ノ郵政廳ニ限リ之ヲ振出シ其手續ハ都テ其國ニ於テ既ニ制定シタル新ニ制定スヘキ規則ニ隨フヘシ

第十三條　爲替ハ初度ノ振出シト再度ノ振出シトヲ論セス拂渡國ニ於テ未タ其爲替金ヲ拂渡サス且ツ拂渡サヽル旨ヲ拂渡國ノ郵政廳ヨリ通知アリテ其旨ヲ證明シタル後ニ非レハ振出國ニ於テ之ヲ差出人ニ拂戻サヽルヘシ

第十四條　爲替ノ振出シタル月ヨリ十二箇月間ニ受取ラサレハ其效用ヲ失ヒ其金額ハ振出國ニ屬シ其處分ニ任スヘシ故ニ日本遞信省ハ加那太ヨリ受取タル目錄中ノ爲替ニテ右ニ定メタル期限ニ記入スヘシ

第十五條　每一期間ノ末ニ於テ日本遞信省ハ每一期間計算書ニ加那太郵政廳ハ日本遞信省ヘ每一期間計算書ニ記載ノ爲メ該局ヨリ到達セル目錄中爲替金ノ本條ニ因リ效用ヲ失ヒタルモノヲ記載シタル明細書ヲ每月末遞送スヘシ

第十六條　日本遞信大臣及ヒ加那太郵政長官ハ前期間ノ末ニ於テ日本遞信省ハ該期間ノ計算書ニ通ヲ在「オツタワ」府加那太郵政廳ヘ送達シ其差引殘額ハ證明ノ上日本遞信省借方トナルトキハ計算書ヲ送付スルト同時ニ「ニウヨルク」ヘ宛加那太貨幣ヲ以テ仕拂ヲナシ又加那太郵政廳借方トナルトキハ計算書ノ爲ヲ返付スルト同時ニ加那太貨幣ヲ以テ當時ノ相場ニ依リ買得ヘキ丈ケノ日本通貨ヲ買入レ橫濱宛銀行爲替券ヲ以テ仕拂フヘシ

此每一期間計算書用紙ハ附錄丙丁及ヒ戊號ノ雛形ニ依ルヘシ

計算決定前日本遞信省及ヒ加那太郵政廳ノ中一方ヨリ他方ヘ對シ五千弗餘ノ殘額ヲ生スルトキハ速ニ右殘額ノ見積高ヲ拂フヘシ

第十七條　日本遞信大臣及ヒ加那太郵政長官ハ前規約ノ旨趣ニ抵觸スルニ非レハ詳爲ヲ防キ或ハ一般ニ爲替ノ事業ヲ改良スヘキ目的ヲ以テ新ニ條目ヲ增設スルノ權アルヘシ但甲國ニテ增加セシ條目ハ之ヲ乙國郵政廳ヘ通知スヘシ

第十八條　此規約ハ明治二十二年十月一日即チ千八百八十九年十月一日ヨリ實施シ甲國ヨリ乙國ヘ廢止ノ報知ヲナシタル日ヨリ十二箇月間效力ヲ有スヘシ

此規約ハ二通ヲ製シ一通ハ明治二十二年五月十六日東京ニ於テ記名調印シ又一通ハ一千八百八十九年六月二十七日「オツタワ」ニ於テ記名調印スルモノナリ

日本帝國遞信大臣
後藤象二郎

加那太郵政長官
ウロン、ハツガード

甲號

日本ヨリ振出シ加那太ニ於テ仕拂フヘキ爲替目錄

第　號御來越相成正ニ領收致候當局ヨリ最後ノ目錄第　號差遣候後加那太ヨリ振出シ日本ニ於テ仕拂フヘキ爲替ノ爲メ當局ニ於テ領收致候金額ノ明細計算書今便差遣候條御査收有之度候也

ヴヰクトリア

千八百八十　年　郵便爲替交換局長

東京遞信省

外信局長殿

追テ本文目錄御領收ノ旨御回答有之度候也

目錄第　號　　　　　　　　　　　　　　　　　　局印

甲　號

加那太ヨリ振出シ日本ニ於テ仕拂フヘキ爲替目錄

月日	內國爲替ノ番號	外國爲替ノ番號	振出局名	差出人氏名	差出人住所	受取人氏名	受取人住所	加那太金貨幣ノ額		日本金貨幣ノ額		附註 此欄ハ東京局ニ於テ使用ス	
								弗	仙	圓	錢	東京局內國爲替ノ番號	仕拂局名

甲號

此ノ目錄ニ記載セル加那太ヨリ振出シ日本ニ於テ仕拂フヘキ金額總計
弗ニ相成候爲替第　號ヨリ第　號迄調査候處左記ノ件々ヲ除クノ外ハ
都テ正當ノモノト見認候也

、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、

千八百八十　年

東京
遞信省
外信局長

ヴヰクトリア
郵便爲替交換局長殿

乙號

加那太ヨリ振出シ日本ニ於テ仕拂フヘキ爲替目錄第　號御差越正ニ領收致
候當局ヨリ最後ノ目錄第　號差進候後日本ヨリ振出シ加那太ニ於テ仕拂フ
ヘキ爲替ノ爲メ當局ニ於テ領收致候金額ノ明細計算書今便差進候條御査收
有之度候也

東京
遞信省

千八百八十　年

ヴヰクトリア
郵便爲替交換局長殿

追テ本文目錄御領收ノ旨御回答有之度候也

外信局長

目錄第　號　　　　　　　　　　　　　　　　　　局印

乙　號

日本ヨリ振出シ加那太ニ於テ仕拂フヘキ爲替目錄

月日	內國爲替ノ番號	外國爲替ノ番號	振出局名	差出人氏名	差出人住所	受取人氏名	受取人住所	加那太金貨幣ノ額		日本金貨幣ノ額		附註 此欄ハヴヰクトリアニ於テ使用ス	
								弗	仙	圓	錢		仕拂局名

乙號

此ノ目錄ニ記載セル日本ヨリ振出シ加那太ニ於テ仕拂フヘキ金額總計
弗ニ相成候爲替第　號ヨリ第　號迄調査候處左記ノ件々ヲ除クノ外ハ都テ
正當ノモノト見認候也

、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、

千八百八十　年

東京
遞信省
外信局長殿

ヴヰクトリア郵便爲替交換局長

、、、、、、、、、、、、

丙　號

千八百八十　年第　期

第　期中振出國ニ於テ差出人ヘ拂戻シタル爲替目錄

加那太ヨリ振出シタル爲替					日本ヨリ振出シタル爲替				
爲替金額		外國爲替ノ番號	目錄月日	目錄番號	爲替金額		外國爲替ノ番號	目錄月日	目錄番號
仙	弗				仙	弗			
		總計					總計		

丁　號

振出局ヘ返附スヘキ爲替

加那太ニ於テ振出シタル爲替					爲替
爲替金額		外國爲替ノ番號	目錄月日	目錄番號	金額
仙	弗				仙
		總計			

戊　號

千八百八十　年第　期

日本ト加那太トノ間ニ交換シタル爲替總計表

加那太ノ貸高			金額	
日本ヨリ振出シ加那太ニ於テ仕拂フヘキ爲替			弗	仙
目錄第　號	弗	仙		
〃　〃				
〃　〃				
〃　〃				
〃　〃				
〃　〃				
歩合金千分ノ五				
拂戻爲替				
受取人ナキ爲替				
加那太ノ貸高總計				
差引日本ヨリ受取ルヘキ高				

日本ノ貸高			金額	
加那太ヨリ振出日本ニ於テ仕拂フヘキ爲替			弗	仙
目錄第　號	弗	仙		
〃　〃				
〃　〃				
〃　〃				
〃　〃				
〃　〃				
歩合金千分ノ五				
拂戻爲替				
受取人ナキ爲替				
日本ノ貸高總計				
差引加那太ヨリ受取ルヘキ高				

受取人ナクシテ

日本ニ於テ振出シタル				
爲替	外國爲替ノ番號	目錄月日	目錄番號	
弗				
	總計			

明治三十七年十一月二十六日
勅令總、遞、大臣副署

朕帝國ト加那太領トノ間ニ締結セル郵便爲替交換ニ關スル追加規約ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

日本帝國ト加那太領トノ間ニ郵便爲替交換ニ關スル追加規約

日本帝國遞信大臣及加那太領郵政長官ハ明治二十二年五月十六日(千八百八十九年五月十六日)東京ニ於テ及千八百八十九年六月二十七日「オッタワ」ニ於テ日本帝國遞信大臣及加那太郵政長官ノ記名調印シタル郵便爲替規約ニ左ノ追加條款ヲ設クルコトヲ決定シ本追加規約ニ署名ス

第一條
前記郵便爲替規約第三條ヲ左ノ通改ム
第三條 爲替一口ノ金額ハ雙方共一百弗ヲ超過スヘカラス

第二條
前條ハ明治三十七年十二月一日(千九百四年十二月一日)ヨリ實施スヘシ
本書二通ヲ調製シ明治三十七年九月十九日(千九百四年九月十九日)東京ニ於テ竝ニ千九百四年十月二十一日「オッタワ」ニ於テ各記名調印スルモノナリ

日本帝國遞信大臣 大浦兼武
加那太領郵政長官 ダブルユー、ミユーロック

●大貌列顛郵政院ト郵便爲替改正約定

明治二十三年六月三十日
勅令總、遞、大臣副署

朕帝國遞信省ト貌列顛郵政院トノ間ニ郵便爲替改正定約ヲ締結セシメタルニ依リ玆ニ之ヲ公布セシム

大日本帝國遞信省ト大貌列顛郵政院トノ間ニ締結セル改正郵便爲替定約

大日本帝國遞信省及大貌列顛郵政院ハ兩國間ノ現行爲替法ヲ改正セン事ヲ希望シ末尾ニ記名セル者ハ各其政府ノ命令ニ依リ左ノ條々ヲ締結セリ

第一條 大日本帝國及大貌列顛トノ間ニ毎週郵便爲替ノ交換ヲ執行スヘシ

第二條 此締盟兩國間ノ爲替事務ハ總テ交換局ヲ經テ之ヲ取扱フヘシ日本ニ於テハ東京ヲ以テ交換局ト定メ英國ニ於テハ倫敦ヲ以テ交換局ト定ムヘシ

第三條 凡ソ爲替金額ハ雙方トモ英貨(ステルリング)ヲ以テ記載スヘシ而シテ此兩國間ノ貨幣相場ニ時々昇降アルカ爲ニ日本遞信省ハ適當ノ割合ヲ以テ爲替金額ヲ引直シ得ルコトヲ約ス郎チ英國ヘ爲替ヲ振出ス爲日本遞信省ニ於テ受領シタル金額ハ時ノ貨幣相場ヲ以テ英貨ニ引直シ又英國ヨリ振出シタル爲替ノ金額ハ日本遞信省ニ於テ之ヲ拂渡ス前日本貨幣ニ引直スヘシ

第四條 兩國間ニ振出シ得ル爲替金額ハ一口十「ポンド」ヲ超過スヘカラス
「ペンニー」以下ノ端數ハ爲替トナスヲ得ス

第五條 公衆ニ爲替ヲ拂渡スニ方リ銀貨相場ノ昇降ヨリ拂高ニ異同ヲ生セサラシメンカ爲爲替金ハ總テ金貨若ハ金貨ニ最近ノ價格ヲ以テ之ヲ拂渡スヘシ

第六條 日本遞信省及英國郵政院ハ雙方共其振出ス爲替料ノ割合ヲ時々更定スルヲ得ヘシ
其爲替料ハ總テ振出局ノ收入ニ歸スルモノトス
但日本遞信省ハ日本ヨリ振出シ英國ニ於テ拂渡シタル爲替金總額ノ千分ノ五ノ步合金ヲ英國ノ郵政院ニ支拂フヘシ又英國郵政院ハ英國ヨリ振出シ日本ニ於テ拂渡シタル爲替金總額ノ前同樣ノ步合金ヲ日本遞信省ニ支拂フヘシ

第七條 爲替ハ其請求者ヨリ差出人ノ氏名及受取人ノ宿所氏名又會社組合差出人ナレハ其名號受取人ナレハ其名號所在ヲ詳述スルニ非レハ之ヲ振出サヽルヘシ但其請求者ヨリ差出人及受取人ノ名稱ヲ一層詳細ニ陳述セルトキハ其陳述スル通リ通知スヘシ

第八條 爲替證書ノ不達紛失又ハ破損シタル場合ニ於テ其受取人ヨリ緊要ナル條件ヲ書面ニ認メ爲替拂渡國ノ爲替本局ニ再度ノ爲替證書ヲ請求スルトキハ之ヲ交付スヘシ此場合ニ於テ該局ハ再度ノ爲替料ヲ要求スルヲ得但郵便遞送中ニ證書ヲ紛失シタルトキハ此限ニアラス

第九條 受取人ヨリ緊要ノ條件ヲ認メ爲替拂渡ノ停止ヲ請求スルトキハ其拂渡ヲ停止スヘシ

第十條 爲替受取人若ハ差出人ノ氏名ニ誤謬アリテ其改正ヲ要シ或ハ差出人ニ於テ爲替金額ノ拂戻ヲ請求セントスルトキハ差出人ヨリ其爲替振出國ノ爲替本局ヘ申立ツヘシ此場合ニ於テハ該局ハ再度ノ手數料ヲ要求スルヲ得但爲替取扱吏員ノ過誤ニ起因スルモノハ此限ニアラス

第十一條 爲替金ハ初度ノ振出ト再度ノ振出トヲ論セス拂渡國ノ爲替本局ニ於テ未タ之ヲ拂渡サヽルコトヲ證明シタル後ニアラサレハ振出國ニ於テ之ヲ差出人ニ拂戻サヽルヘシ

第十二條 爲替ハ雙方振出シタル月ノ翌月ヨリ十二箇月間其效力ヲ有スルモノトス
右期限經過前ニ拂渡サヽル爲替金ハ總テ其振出國ノ所得ニ歸スヘシ

第十三條 爲替交換局ハ各自ノ國ニ於テ先方ヘ拂

渡ノ爲受取リタル爲替金額ヲ毎週ノ郵便ヲ以テ互ニ通知スヘシ但此場合ニハ目錄甲號雛形ヲ用フヘシ
通知スヘキ爲替ノ振出ナキ場合ニ於テハ毎便空白ノ目錄ヲ送付スヘシ
目錄本書ノ紛失ヨリ不都合ヲ生セサラシメンカ爲兩局互ニ次便ヲ以テ前便ニ遞送シタル目錄ノ副本ヲ送付スヘシ

第十四條 目錄ニ記入スル爲替ニハ外國爲替番號ト稱スル特殊ノ番號ヲ附シ毎月第一號ヨリ始ムヘシ
目錄ハ其差立ノ順序ニ從ヒ第一第二第三等ノ番號ヲ附シ毎年第一號ヨリ始ムヘシ

第十五條 爲替目錄領收ノ旨ハ雙方共領收後始メテ遞送スヘキ目錄中ニ記入スヘシ而シテ受取交換局ニ目錄達セサルトキハ直ニ其差立局ニ請求スヘシ
此ノ如キ場合ニ於テハ差立交換局ハ遲滯ナク目錄副本ヲ新製シテ其正當ノモノタルコトヲ證明シ之ヲ受取交換局ヘ送付スヘシ

第十六條 爲替目錄ハ其受取交換局ニ於テ丁寧ニ之ヲ査閱シ其誤謬ノ明白ナルモノハ之ヲ訂正スヘシ而シテ其校正ノ點ハ校正セシ目錄受領書ニ記載シテ之ヲ差立交換局ニ通知スヘシ
其他目錄中不正ノ記入アルトキハ受取交換局ハ差立交換局ニ對シ說明ヲ求ムヘシ而シテ差立局ハ可成速ニ之ニ應スヘシ尤モ右誤謬アル爲替ハ其照會中內國拂渡爲替ノ振出ヲ停止スヘシ

第十七條 爲替目錄ノ受取交換局ニ到達次第該局ニ於テ目錄ニ照シ受取人ヘ宛拂渡國ノ貨幣ニテ相當ノ金額ニ對スル內國爲替ヲ發行シ兩國共ニ現行內國爲替拂渡規則ニ從ヒ受取人若クハ拂渡局ヘ送付スヘシ

第十八條 日本ヨリ一箇月分ノ目錄ヲ差立次第日本遞信省ハ附錄乙丙及丁號表ニ從テ月次總計表ヲ調製シ而シテ丁號表ノ半面ニハ同月間日本ヨリ發セシ各目錄ノ總金額ト此定約第六條ニ定メタル千分ノ五ノ步合金竝ニ同月間英國ニテ拂戻スヘキ爲替金額及沒收(第十二條)ノ爲替金額トヲ以テ英國ノ貸高トシテ之ヲ記入スヘシ
又他ノ半面ニハ同月間英國ヨリ受取リタル各目錄ノ總金額ト此定約第六條ニ定メタル千分ノ五ノ步合金竝ニ同月間日本ニテ拂戻スヘキ爲替金額及沒收(第十二條)ノ爲替金額トヲ以テ日本ノ貸高トシテ之ヲ記入スヘシ
右ノ對算ヨリ生スル差引殘額ハ總計表差引項目部中ニ記載スヘシ
此手續ハ毎年一月ヨリ十一月迄ノ間之ヲ履行シ十二月分ノ月次總計表ニハ其年一月ヨリ十二月三十一日迄ニ日本ヨリ英國ヘ振出シタル爲替總額ト英國ヨリ日本ヘ振出シタル爲替總額トヲ合記スヘシ
此月次總計表ハ二通ヲ調製シ日本遞信省ヨリ英國郵政院ニ送付スヘシ但其一通ハ承諾ノ上日本遞信省ニ返付スヘシ

第十九條 日本遞信省ヨリ總計算ノ差引殘額ヲ支拂フトキハ總計表ト同時ニ之ヲ遞送スヘシ又英國郵政院ヨリ差引殘額ヲ支拂フトキハ總計表ノ一通ヲ返付スルト同時ニ之ヲ遞送スヘシ
此差引殘額日本ノ貸高トナリタルトキハ東京若ハ橫濱ヘ宛又英國ノ貸高トナリタルトキハ倫敦ヘ宛支拂フヘシ但此支拂ハ之ヲ受取ル國ノ貨幣ヲ用フヘキモノトス

第二十條 日本遞信大臣及英國郵政院長ハ此定約ニ抵觸セサル限リハ詐僞防禦ノ爲若ハ爲替事業改良ノ爲附加條目ヲ設クルヲ得ヘシ
但甲國ニ於テ此附加條目ヲ設ケタルトキハ之ヲ乙國ノ郵政廳ニ通知セサルヘカラス

第二十一條 日本若ハ英國ノ商人ノ此爲替ヲ以テ金貝ヲ遞送スルモノ夥多ニシテ隨テ其金貝巨額ニ至ルトキハ兩國ノ郵政廳ニ於テ其爲替料ヲ增加シ若ハ一時全ク其振出ヲ停止スルヲ得ヘシ

第二十二條 此定約ハ兩國間ノ爲替交換ニ關スル從前ノ諸定約ニ代ヘ千八百九十年七月一日ヨリ實施シ甲國ヨリ乙國ヘ廢止ノ報知ヲ爲シタル日ヨリ十二箇月間效力ヲ有スヘシ
此定約ハ二通ヲ調製シ一通ハ明治二十三年五月二十日東京ニ於テ記名調印シ一通ハ千八百九十年三月二十一日倫敦ニ於テ記名調印スルモノナリ

大日本帝國遞信大臣 後藤象二郎
大貌列顛郵政院長 ヘンリー、セシル、レーキス

局印

英國ニ於テ使用ノ欄

註	拂渡局名	爲替番號

英國ヨリ振出シ日本居住人ニ拂渡スヘキ爲替金額總計何磅何

形

爲替目錄

英國金額			日本金額
磅	志	片	円

志何片ノ千八百何年
第何號目錄正ニ領收
致候

甲號雛形 目錄第 號

日本ヨリ振出シ英國ニ於テ拂渡スヘキ

振出月日	外國爲替番號	爲替番號	振出局名	差出人宿所及ヒ氏名	受取人氏名	受取人宿所
						總計

當省ヨリ最後ノ目錄第何號差立後英國ニ於テ拂渡スヘキ爲替ノ爲メ領收致候金額ノ明細計算書今便差送候條御査收有之度候也

千八百何年

於東京

遞信省

倫敦

爲替局

御中

甲號雛形 局印

出シ日本ニ於テ拂渡スヘキ爲替目錄

受取人氏名	受取人宿所	英國貨幣金額	日本局ニ於テ使用ノ欄 日本貨幣
		磅 志 片	圓
	總計		

日本ヨリ振出シ英國内居住人ニ拂渡スヘキ千八百何年第何號爲替金額總計何磅何志何片ノ目錄正ニ領收致候當局ヨリ最後ノ目錄第何號差立後日本ニ於テ拂渡スヘキ爲替ノ爲メ領收致

乙號雛形 目錄第 號

千八百九十 年第 月

第 月中振出國ニ於テ差出人ヘ拂戻シタル爲替ノ目錄

英國及英國以外ヨリ振

英國ヨリ振出シタル爲替				日本ヨリ振出シタル爲替			
月日	爲替番號	振出局名	金額	月日	爲替番號	振出局名	金額
			磅 志 片				磅 志 片
		總計				總計	

東京千八百九十 年 日本遞信省

振出月日	外國爲替番號	爲替番號	振出局名	差出人宿所及ヒ氏名

候金額ノ明細計算書今便差進候條御査收有之度候也

千八百何年

於倫敦

爲替局

東京

遞信省

御中

第三章 電信

第一款 内國電信

●電信法

明治三十三年三月十四日
法律第五十九號遞信大臣副署

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル電信法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

電信法

第一條 電信及電話ハ政府之ヲ管掌ス

第二條 左ニ掲クル電信又ハ電話ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ私設スルコトヲ得

一 一邸宅内若ハ一構内ニ於テ專用ニ供スル爲施設スルモノ

二 鐵道業其ノ他電信電話ノ專用ヲ必要トスル事業ノ爲施設スルモノ

三 公共團體ノ事務執行ノ爲一市區町村内若ハ隣接市區町村間ニ於テ公署相互間又ハ一郡市區内ニ於テ公署ト第一次監督官廳トノ間ニ施設スルモノ

四 電報送受ノ目的ヲ以テ一人ノ專用ニ供スル

丙號雛形

千八百 年第 月

爲替振出ノ月ヨリ滿十二箇月内ニ拂渡サスシテ効力ヲ失ヒタル爲替ノ目錄

英國ヨリ振出シタル爲替				日本ヨリ振出シタル爲替			
月日	爲替番號	振出局名	金額	月日	爲替番號	振出局名	金額
			磅 志 片				磅 志 片
		總計				總計	

東京千八百九十 年 日本遞信省

丁號雛形

千八百 年第 月

日本帝國ト大英國トノ間ニ交換シタル爲替ノ總計表

日本國ノ貸高		金額	英國ノ貸高		金額
		磅 志 片			磅 志 片
英國ヨリ振出シ日本ニ於テ仕拂フヘキ爲替金額	磅 志 片		日本ヨリ振出シ英國ニ於テ支拂フヘキ爲替金額	磅 志 片	
目錄第 號			目錄第 號		
〃 〃			〃 〃		
〃 〃			〃 〃		
〃 〃			〃 〃		
〃 〃			〃 〃		
步合金千分ノ五…………			步合金千分ノ五…………		
拂戻爲替ノ金額…………			拂戻爲替ノ金額…………		
効力ヲ失ヒタル爲替ノ金額			効力ヲ失ヒタル爲替ノ金額		
日本ノ貸高 總計			英國ノ貸高 總計		
差引英國ヘ支拂フキハ高			差引日本ヘ仕拂フヘキ高		

東京千八百九十 年 日本遞信省

五　一市區町村內若ハ隣接市區町村間ニ於テ又ハ電信電話ノ測量ナク且第四號ニ依リ不
酒類ノ郵用ニ供スル市區町村間ニ於テ一人又ハ一營
業ノ郵用ニ供スル貨物ニ付スル電報ニ於テモ

第三條　主務大臣ハ命令ヲ定ムル所ニ依リ前條ニ
依リ施設シタル電信又ハ電話ニ公衆ノ用ニ供セシムルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ必要ト認ムル所ニ依リ前條ニ
規定ノ郵用ニ供スル貨物ニ關シ必要ナル命令ヲ定ムルコトヲ得

第四條　主務大臣ハ公安ノ爲必要ト認ムル
區域ヲ定メ電信又ハ電話ニ依ル通信ヲ停止若ハ
制限スルコトヲ得

第五條　電信又ハ電話ニ依ル通信ニシテ公安ヲ
害シ又ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルトキハ主務大臣ハ
其通信ヲ停止シ又ハ電信電話官署ニ於テ其通信ヲ
禁止スルコトヲ得

第六條　戰時事變ニ際シ主務大臣ハ必要ト認ムル
場合ニ於テ郵便電信ナキ地方ニ郵便又ハ電信ヲ
及ボシ其他必要ト認ムル場合ニ限リ電信ヲ
郵用ニ供シ通信ヲ制限シ又ハ禁止スルコトヲ得

第七條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第八條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ニ對シ不正ノ行爲ヲ爲シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第九條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第十條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ニ對シ不正ノ行爲ヲ爲シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第十一條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第十二條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第十三條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第十四條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第十五條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第十六條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第十七條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第十八條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第十九條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十一條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十二條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十三條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十四條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十五條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十六條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十七條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十八條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十九條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十一條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十二條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第三條　主務大臣ハ命令ヲ定ムル所ニ依リ前條ニ
依リ施設シタル電信又ハ電話ニ公衆ノ用ニ供セシムルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ必要ト認ムル所ニ依リ前條ニ
規定ノ郵用ニ供スル貨物ニ關シ必要ナル命令ヲ定ムルコトヲ得

第四條　主務大臣ハ公安ノ爲必要ト認ムル
區域ヲ定メ電信又ハ電話ニ依ル通信ヲ停止若ハ
制限スルコトヲ得

第五條　電信又ハ電話ニ依ル通信ニシテ公安ヲ
害シ又ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルトキハ主務大臣ハ
其通信ヲ停止シ又ハ電信電話官署ニ於テ其通信ヲ
禁止スルコトヲ得

第六條　戰時事變ニ際シ主務大臣ハ必要ト認ムル
場合ニ於テ郵便電信ナキ地方ニ郵便又ハ電信ヲ
及ボシ其他必要ト認ムル場合ニ限リ電信ヲ
郵用ニ供シ通信ヲ制限シ又ハ禁止スルコトヲ得

第七條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第八條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ニ對シ不正ノ行爲ヲ爲シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第九條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第十條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第十一條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第十二條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第十三條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第十四條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第十五條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第十六條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第十七條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第十八條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第十九條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十一條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十二條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十三條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十四條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十五條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十六條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十七條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十八條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十九條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十一條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十二條　戰時行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配線人
及配線用器具並ニ電話局等ヲ故意ニ損壞シタル場合ニ於テハ
其ノ損害ニ對シ賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十三條　不正ノ手段ヲ以テ電信又ハ電話ニ關
スル料金ヲ免ルトキハ其ノ免ルル者ハ其ノ電信又ハ電話ノ
使用ヲ禁ジ又ハ其ノ使用ヲ制限シ其ノ免ルル料金ノ
十倍ノ罰金ニ處ス
電信又ハ電話ノ專用ニ從事スル者前項ノ所爲ア
リタルトキハ本刑ニ一等ヲ加フ

第三十四條　自己若ハ他人ニ利益ヲ與ヘ又ハ他人
ニ損害ヲ加フル目的ヲ以テ虛僞ノ電報ヲ發シタル者
以下ノ罰金ヲ附加ス
前項ノ場合ニ於テ電信機器ニ關スル者ハ一月以上五年以下ノ
禁錮ニ處シ五十圓
電信事務ニ從事スル者前項ノ所爲アリタルトキハ本刑ニ一等ヲ加フ

第三十五條　電信官署ノ取扱中ニ係ル電報ノ
內容ヲ故意ニ漏洩シタル者ハ一月以上五年以下ノ禁錮ニ處シ
五十圓以下ノ罰金ニ處ス
電信又ハ電話ノ專務ニ從事スル者ハ本刑ニ一等ヲ加フ

第三十六條　電信官署又ハ電話官署ノ職員ハ他
人ノ電報ヲ故意ニ遲延セシメタルトキハ四圓以下ノ罰金ニ處ス
電信又ハ電話ノ專務ニ從事スル者前項ノ所爲アリタルトキハ本刑ニ一等ヲ加フ

第三十七條　電信官署又ハ電話官署ノ職員ハ他
人ノ電報ヲ故意ニ不正ノ手段ヲ以テ開披シタル者
ハ一月以上五年以下ノ禁錮ニ處シ五十圓以下ノ罰
金ニ處ス
電信又ハ電話ノ專務ニ從事スル者前項ノ所爲アリタルトキハ本刑ニ一等ヲ加フ

第三十八條　電信線若ハ電話線ノ連絡線ヲ
妨害シタル者ハ一月以上五年以下ノ禁錮ニ處シ五十圓以
下ノ罰金ニ處ス
前項ノ目的ヲ以テ電信線若ハ電話線ノ連絡線ヲ
毀損シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條　電信ノ業務ニ從事スル者ハ一月以
上五年以下ノ禁錮ニ處シ五十圓以下ノ罰金ニ處ス
電信ノ業務ニ從事スル者ハ一月以上五年以下ノ禁錮ニ處シ
五十圓以下ノ罰金ニ處ス
電信ノ業務ニ從事スル者前項ノ所爲アリタルトキハ本刑ニ一等ヲ加フ

第四十條　電信線若ハ電話線ノ連絡線ヲ
妨害シタル者ハ一月以上五年以下ノ禁錮ニ處シ五十圓以
下ノ罰金ニ處ス
前項ノ目的ヲ以テ電信線若ハ電話線ノ連絡線ヲ
毀損シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十一條　法令ニ依リ電信ノ業務ニ從事スル者
ハ其ノ業務ニ關シ知リタル他人ノ秘密ヲ漏洩シタル者ハ
一月以上五年以下ノ禁錮ニ處シ五十圓以下ノ罰金ニ處ス
法令ニ依リ電信ノ業務ニ從事スル者ハ其ノ業務ニ關シ
知リタル他人ノ秘密ヲ漏洩シタル者ハ本刑ニ一等ヲ加フ

第四十二條　法令ニ依リ電信ノ業務ニ從事スル者
ハ其ノ業務ニ關シ知リタル他人ノ秘密ヲ漏洩シタル者ハ
一月以上五年以下ノ禁錮ニ處シ五十圓以下ノ罰金ニ處ス
法令ニ依リ電信ノ業務ニ從事スル者ハ其ノ業務ニ關シ
知リタル他人ノ秘密ヲ漏洩シタル者ハ本刑ニ一等ヲ加フ

第四十三條　法令ニ依リ電信ノ業務ニ從事スル
者ハ其ノ業務ニ關シ知リタル他人ノ秘密ヲ漏洩シタル者ハ
一月以上五年以下ノ禁錮ニ處シ五十圓以下ノ罰金ニ處ス
法令ニ依リ電信ノ業務ニ從事スル者ハ其ノ業務ニ關シ
知リタル他人ノ秘密ヲ漏洩シタル者ハ本刑ニ一等ヲ加フ

第四十四條　法令ニ依リ電信ノ業務ニ從事スル
者ハ其ノ業務ニ關シ知リタル他人ノ秘密ヲ漏洩シタル者ハ
一月以上五年以下ノ禁錮ニ處シ五十圓以下ノ罰金ニ處ス
法令ニ依リ電信ノ業務ニ從事スル者ハ其ノ業務ニ關シ
知リタル他人ノ秘密ヲ漏洩シタル者ハ本刑ニ一等ヲ加フ

第四十五條　法令ニ依リ電信ノ業務ニ從事スル
者ハ其ノ業務ニ關シ知リタル他人ノ秘密ヲ漏洩シタル者ハ
一月以上五年以下ノ禁錮ニ處シ五十圓以下ノ罰金ニ處ス
法令ニ依リ電信ノ業務ニ從事スル者ハ其ノ業務ニ關シ
知リタル他人ノ秘密ヲ漏洩シタル者ハ本刑ニ一等ヲ加フ

第四十六條　法令ニ依リ電信ノ業務ニ從事スル
者ハ其ノ業務ニ關シ知リタル他人ノ秘密ヲ漏洩シタル者ハ
一月以上五年以下ノ禁錮ニ處シ五十圓以下ノ罰金ニ處ス
法令ニ依リ電信ノ業務ニ從事スル者ハ其ノ業務ニ關シ
知リタル他人ノ秘密ヲ漏洩シタル者ハ本刑ニ一等ヲ加フ

法人ヲ處罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス

法人ヲ處罰スル裁判確定シタル日ヨリ罰金ニ關シテハ一月以內科料ニ關シテハ十日以內ニ之ヲ納完セサルトキハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ其ノ執行ヲ爲ス此ノ場合ニ於テハ檢事ノ命令ヲ以テ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ效力アルモノトス

前項ニ依リ執行ヲ爲スニハ執行前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス

第四十三條 公衆通信又ハ第三條第一項ニ依リ現ニ軍事通信ノ用ニ供スル私設ノ電信又ハ電話ニ關シテハ第九條ヲ除クノ外本法中政府ノ施設ニ係ル電信又ハ電話ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十四條 電信又ハ電話ニ非スト雖通報信號ヲ爲スモノニ關シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第四十五條 帝國外國間ニ於ケル電信ニ關シ別ニ法令條約又ハ特許ノ條款ニ明文アルモノハ各其ノ定ムル所ニ依ル

附 則

第四十六條 本法ハ明治三十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

電信條例ハ之ヲ廢止ス

第四十七條 本法施行前電信條例ニ依リ電信又ハ電話私設ノ許可ヲ得タル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ更ニ許可ノ申請ヲ爲スコトヲ要ス

明治三十三年九月十一日
遞信省告示第三百四十一號

電信法第五條ノ電信官署ハ一等郵便［電信］局電話官署ハ電話［交換］局トス

●電報規則

明治三十三年九月一日
遞信省令第四十六號
改正 三五年第一〇號、三六年第五四號、三八年第一號

電報規則左ノ通之ヲ定ム

電報規則

第一章 總則
第二章 電報書法
第三章 字數及語數計算
第四章 料金
第五章 電報差出
第六章 電線託送
第七章 電報配達
第八章 尋問改正及停止
第九章 閱覽正寫
第十章 特別電報
第一節 至急電報
第二節 返信料前納電報
第三節 照校電報
第四節 受信電報
第五節 追尾電報
第六節 再送電報
第七節 同文電報
第八節 外國郵送電報

電報規則

第一章 總則

第一條 電報ヲ別テ左ノ三種トス

一 官報
二 局報
三 私報

第二條 官報トハ官廳及地方自治體ノ公信竝外國ノ首長皇族大臣陸海軍將帥、公使、領事ヨリ發スル電報ヲ云フ但シ商人ニシテ領事ノ事務ヲ扱フ者ヨリ發スル電報ハ官報發出ノ資格アル者ニ宛テ且官用ニ關スルモノニ非サレハ之ヲ官報ト爲サス

國庫金取扱ニ關シ金庫ヨリ發スル電報竝戰時事變ニ際シ日本赤十字社又ハ軍事輸送ノ爲政府ノ使用ニ供スル船舶若ハ鐵道ノ所有者ヨリ發スル電報ハ遞信大臣ノ承認ヲ經テ官報ト爲スコトヲ得

官報發送ノ資格ナキモノト雖受取リタル官報ヲ呈示シ其ノ返信ヲ官報トシテ發送スルコトヲ得

第三條 局報トハ電信事務ニ關シ電信局所相互間ニ往復スル電報ヲ云フ

前項ノ外電信、電話及郵便、郵便爲替、郵便貯金ノ事務ニ關シ電信電話又ハ郵便官署相互間ニ往復スル電報ハ遞信大臣ニ於テ必要ト認ムルモノニ限リ局報ト爲スコトヲ得郵便爲替金郵便貯金及郵便取立金ノ取扱ニ要スル資本ノ受授ニ關シ金庫相互間ニ往復スル電報亦同シ

氣象報告ニ關シ中央氣象臺又ハ地方測候所其ノ他ノ觀測所間ニ往復スル電報ハ遞信大臣ノ承認ヲ經テ局報ト爲スコトヲ得

第四條 私報トハ官報及局報ヲ除クノ外諸般ノ電報ヲ云フ

第五條 電報ハ左ノ順序ニ依リ送達スヘシ

一 至急官報
二 至急局報
三 至急私報
四 官報
五 局報
六 私報

第六條 同一順位ノ電報ハ受付ノ順序ニ依リ傳送シ中繼及著信局所ニ於テハ受信ノ前後ニ依リ之ヲ傳送配達スヘシ

第七條 發信人又ハ受信人ハ電信局所ノ要求アルトキハ其ノ本人ニ相違ナキコトヲ證明スヘシ

第二章 電報書法

第八條 電報ノ記載方ヲ別テ和文歐文ノ二トス其ノ各電報ニ用ウヘキ文字及記號ハ左ニ掲クルモノニ限ル但シ同一電報中ニ在リテハ特ニ明文アル場合ノ外和文電報ニ用ウヘキ文字記號ト歐文電報ニ用ウヘキ文字記號トヲ混用スルコトヲ得ス

一 和文電報ニ用ウヘキモノ

片假名

イ	・－
ロ	・－・－
ハ	－・・・
ニ	－・－・
ホ	－・・
ヘ	・
ト	・・－・・
チ	・・－・
リ	－－・
ヌ	・・・・
ル	－・－－・
ヲ	・－－－
ワ	－・－
カ	・－・・
ヨ	－－
タ	－・
レ	－－－
ソ	－－－・
ツ	・－－・
ネ	－－・－
ナ	・－・
ラ	・・・
ム	－
ウ	・・－
井	・－・・－
ノ	・・－－
オ	・－・・・
ク	・・・－
ヤ	・－－
マ	－・・－
ケ	－・－－
フ	－－・・
コ	－－－－
エ	－・－－－
テ	・－・－－
ア	－－・－－
サ	－・－・－
キ	－・－・・
ユ	－・・－－
メ	－・・・－
ミ	・・－・－
シ	－－・－・
ヱ	・－－・・
ヒ	－－・・－
モ	－・・－・
セ	・－－－・
ス	－－－・－
ン	・－・－・
゛（濁點）	・・
○（半濁點）	・・－－・

數字

一	・－－－－
二	・・－－－
三	・・・－－
四	・・・・－
五	・・・・・
六	－・・・・
七	－－・・・
八	－－－・・
九	－－－－・
○	－－－－－

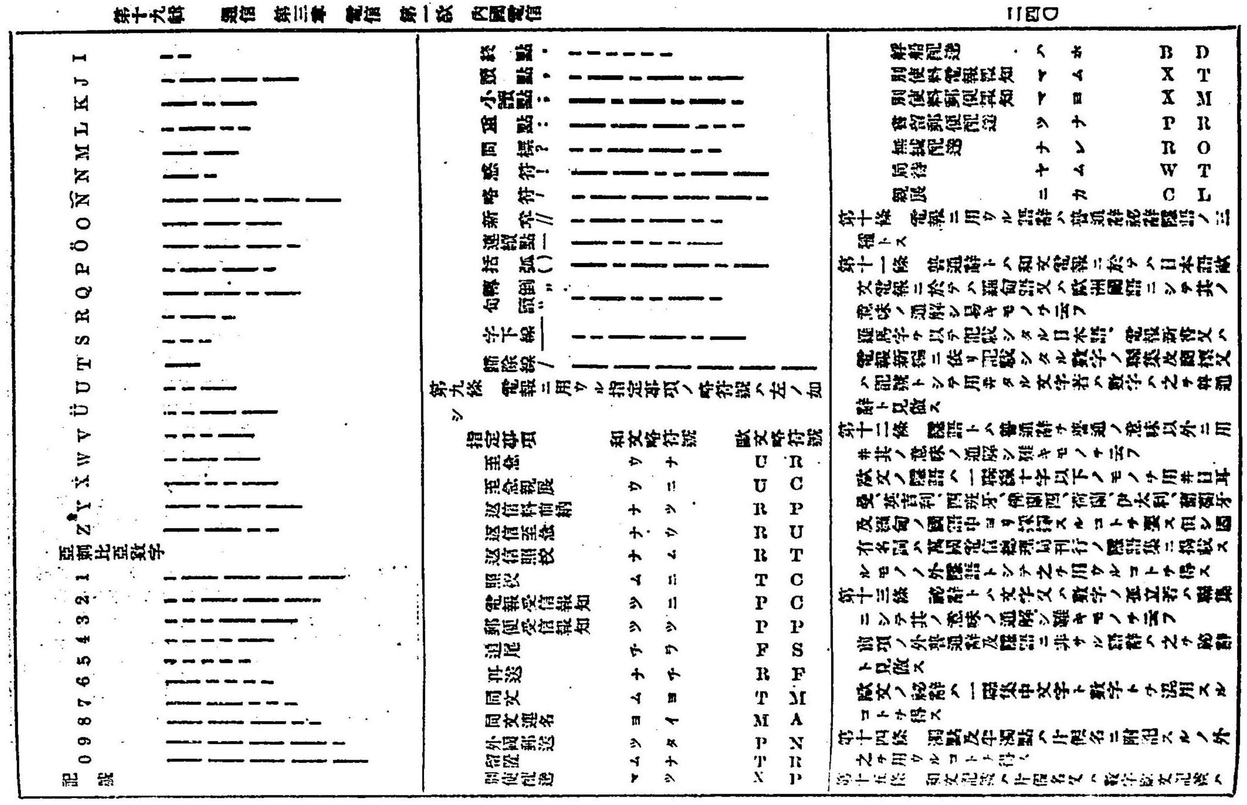
記號

長音	[illegible]
句讀點 ●	[illegible]
新章 」	[illegible]
括弧（）	[illegible]
小括弧「」	[illegible]
歸除線 /	[illegible]

二 歐文電報ニ用ウヘキモノ

羅馬字

A	・－
Ä	・－・－
Á 又ハ Â	・－－・－
B	－・・・
C	－・－・
CH	－－－－
D	－・・
E	・
É	・・－・・
F	・・－・
G	－－・
H	・・・・


記號
0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 Z Y X W V Ü U T S R Q P Ö O Ñ N M L K J I
至新比至數字
問紹他電報送達
外國電報送達
同文
同平送尾
送新電報
送信報知
送信報受信
送信報至特別
送信報至特別急
送信報至特別電報受信
送信報至特別電報受信知
送信報至特別電報受信知
送信報至特別電報受信知

第三十五條　第十七條及第十八條ノ規定ニ違ヒ記載シタル語辭ハ數字ノ例ニ依リ之ヲ計算ス

第三十六條　歐文電報中第十一條ニ規定シタル國語ニシテ其ノ用法ニ違ヒ聯結若ハ省略シタルモノハ正當ノ聯綴方ニ依リ其ノ語數ヲ計算ス

府縣名、國名其ノ他ノ地名、船名、羅馬字ヲ以テ記載シタル數目及字典ニ依リ證明シ得ヘキ聯結語ハ發信人ノ記載スル所ニ從ヒ其ノ語數ヲ計算ス

第三十七條　歐文電報中左ノ文字及記號ハ其ノ一字又ハ一箇ヲ數字一箇ニ計算ス

一　順序數ヲ示ス爲ニ亞剌比亞數字ニ附加シタル羅馬字

二　商標、祕辭又ハ亞剌比亞數字ノ聯綴中ニ用ヰタル諸點及括弧線

第三十八條　歐文電報中連綴點ヲ以テ繋キタル語及略符ヲ以テ分チタル語ハ其ノ每分語ヲ一語ニ計算ス但シ其ノ連綴點及略符ハ之ヲ字數ニ算入セス

第三十九條　歐文電報中ニ用ヰタル終點、讀點、小讀點、疑點、感符、括弧、轉倒句讀及字下線ハ各之ヲ一語ニ計算ス

第四十條　歐文電報ノ指定事項ニ用ヰタル略符號ハ各之ヲ一語ニ計算ス其ノ略符號ニ數字ヲ附記シタルモノ亦同シ

第四章　料金

第四十一條　通常電報料ハ則ニ規定アル場合ノ外左ノ如シ

一　市區町村內ニテ發受スル電報料

一　和文　片假名十五字以內　金十錢
五字以內ヲ加フル每ニ金三錢ヲ增ス

二　歐文　五語以內　金十五錢
一語ヲ加フル每ニ金三錢ヲ增ス

前項以外ノ電報料　金二十錢

一　和文　片假名十五字以內
五字以內ヲ加フル每ニ金五錢ヲ增ス　金二十五錢

二　歐文　五語以內
一語ヲ加フル每ニ金五錢ヲ增ス

電報ハ特ニ規定アル場合ノ外其ノ字數ニ應シテ電報料ヲ課ス但シ和文電報ニ算入スヘキ文字記載ナキモノト雖ヒ

第四十二條　電報ハ此ノ限ニ在ラス

第四十三條　第三條ニ規定シタル局報ハ無料トス

但シ賠償金局報ハ此ノ限ニ在ラス

第四十四條　特別電報料其ノ他特殊ノ取扱ニ關スル料金ハ別章ニ於テ之ヲ定ム

第四十五條　電報ニ關スル料金ハ發信ノ際郵便切手ヲ賴信紙ニ貼付シテ納ムヘシ但シ特ニ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十六條　電報ニ關スル料金ニ錢位未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ之ヲ錢位ニ切上ク

第四十七條　左ノ電報ニ關スル料金ハ其ノ納付人ノ請求ニ依リ郵便切手ヲ以テ之ヲ還付スヘシ

一　電信局所ノ過失ニ因リ受信人ニ到達セサルカ又ハ郵便ニテ到達シ難キ時日ヲ遲レテ到達シタル電報ノ料金但シ第九十七條ニ依リ送達シタルモノヲ除ク

二　電信局所ノ過失ニ因リ照校電報ニ誤謬ヲ生シ且用辨ヲ闕キタルモノノ料金但シ尋問ノ電報ニ依リ校正シ得タルモノヲ除ク

第四十八條　電報ニ關スル料金還付ノ請求ハ其ノ料金ヲ納付シタル電信局所ニ之ヲ爲スヘシ其ノ期間ハ料金納付ノ日ヨリ六十日間トス

第四十九條　電報ニ關スル料金ノ還付ヲ請求スルトキハ不達ニ係ルモノハ著信局所又ハ受信人ノ證明書、誤謬又ハ遲延ニ係ルモノハ其ノ電報送達紙、返信料前納證書ヲ使用セサリシモノハ其ノ證書ヲ請求書ニ添付スヘシ

第五十條　同文電報ノ內一通若ハ數通ノ料金ヲ還付スルトキハ原信電報料及同文電報料ヲ併セ之ヲ總通數ニテ除算シ其ノ得數ヲ以テ還付スヘキ一通ノ額トス

第五十一條　二名以上ノ發信人ヨリ差出シタル電報ニ關スル料金還付ハ其ノ內ノ一名ニ之ヲ爲スニ對シ前納シタル返信料、受信電報料及配達料

五　電報直配達區域內ニテ配達シタル電報又ハ別使、解船若ハ書留郵便ヲ以テ配達ヲ爲セサリシ電報ニ對シ發信人ノ前納シタル配達料、返信料前納證書ヲ以テ發送シタル電報ノ料金前納組ニ滿タサルトキハ其ノ殘餘ノ料金

六　第百十四條ノ場合ニ於テ和文十五字歐文五語ノ通常電報料ヲ控除シタル前納ノ返信料金

七　返信料前納電報ニ對シ返信料前納證書ヲ發行セサリシトキ又ハ返信料前納電報ヲ配達シ能ハスシテ發行シタル證書ノ使用期間ヲ過キタルトキ若ハ交付シタル返信料前納證書ヲ其ノ使用期間ニ使用セサリシトキハ前納シタル返信料金

八　發信局所ニ於テ傳送前ニ返還シタル電報ノ料金

九　第四十八條　電報ニ關スル料金還付ノ請求ハ其ノ料金ヲ納付シタル電信局所ニ之ヲ爲スヘシ其ノ期間ハ料金納付ノ日ヨリ六十日間トス

第四十九條　電報ニ關スル料金ノ還付ヲ請求スルトキハ不達ニ係ルモノハ著信局所又ハ受信人ノ證明書、誤謬又ハ遲延ニ係ルモノハ其ノ電報送達紙、返信料前納證書ヲ使用セサリシモノハ其ノ證書ヲ請求書ニ添付スヘシ

第五十條　同文電報ノ內一通若ハ數通ノ料金ヲ還付スルトキハ原信電報料及同文電報料ヲ併セ之ヲ總通數ニテ除算シ其ノ得數ヲ以テ還付スヘキ一通ノ額トス

第五十一條　二名以上ノ發信人ヨリ差出シタル電報ニ關スル料金還付ハ其ノ內ノ一名ニ之ヲ爲ス

ヘシ

第五十二條　受信人ニ於テ電報ニ關スル料金ノ追納ヲ要スル電報ノ受取ヲ拒ミタルトキ又ハ追納ヲ要スル電報ニシテ居所不明其ノ他ノ事故ニ因リ之ヲ受信人ニ交付シ能ハサルトキハ發信人ヨリ其ノ料金ヲ徵收ス

第五十三條　電報ニ關スル料金ヲ追納スヘキ發信人又ハ受信人カ二名以上ナルトキハ其ノ內ノ一名ヨリ之ヲ徵收スヘシ

第五章　電報差出

第五十四條　電報ヲ發送セムトスルトキハ特ニ規定アル場合ノ外電信局所ニ之ヲ差出スヘシ

第五十五條　郵便ニ依リ電報ヲ差出ストキハ其ノ封筒ノ表面ニ「電報在中」ト記載スヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ普通郵便料ニ限リ無料トナスコトヲ得

第五十六條　電信局所ニ電報受付函ノ設置アルトキハ電報取扱時間外ニ限リ發信人ハ之ニ電報ヲ差入ルコトヲ得

第五十七條　左ニ掲クル電報ノ配達ヲ受ケタル者ハ配達ノ時ヨリ五分時間以內ニ其ノ電報配達人ニ依託シテ電報ヲ差出スコトヲ得

一　返信料前納電報

二　局待電報

三　別使配達電報

四　解船配達電報

第五十八條　豫納金ノ納付ヲ要スル電報ハ第五十五條乃至第五十七條ニ依リ差出スコトヲ得ス

第五十九條　第五十五條及第五十七條ニ依リ差出シタル電報ハ電信局所ニ到著シタル時ヲ以テ受付時刻ト爲ス

電報取扱時間外ニ到著シタル前項ノ電報及第五十六條ニ依リ差出シタル電報ハ總テ次ノ取扱開始ノ時ヲ以テ受付時刻ト爲スヘキ電報ヲ第五十七條ニ依リ差出シタル場合ハ前項ノ例ニ依ル

第六十條　書法其ノ他ノ規定ニ違背スル爲發送シタル電報アルトキハ其ノ事由ヲ發信人ニ通知スヘシ

第六十一條　發信人ハ特ニ電報ノ著信局所ヲ指定シテ差出スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ指定事項ト其ノ局所名ヲ記載スヘシ

第六十二條　電報ヲ電信局所又ハ郵便局所ニ留置カムトスルトキハ其ノ局所ヲ附書シ且留置ノ略符號ヲ以テ指定スヘシ

第六十三條　發信局所ニ在リテ返信ヲ待ツコトヲ受信人ニ知ラシメムトスル電報ハ局待ノ略符號ヲ以テ指定スヘシ

第六十四條　受信人以外ノ者ノ披見ヲ憚ル電報ハ親展ノ略符號ヲ以テ指定スヘシ

第六十五條　封緘セシテ受信人ニ配達スヘキ電報ハ無緘配達ノ略符號ヲ以テ指定スヘシ

第六十六條　別使ヲ以テ配達スヘキ電報ハ別使配達ノ略符號ヲ以テ指定スヘシ

第六十七條　別使配達料ハ著信局所ヨリ三里以內ハ金二十錢トシ三里ヲ超ユルトキハ二里以內每ニ金二十五錢ヲ增ス

島嶼ニ寄テタルモノノ別使配達料ハ里程ニ拘ラス金二十錢トシ其ノ配達實費之レニ超過シタルトキハ實費額ニ依ル

第六十八條　別使ヲ以テ配達スヘキ電報ハ發信ノ際其ノ配達料ノ最小額ヲ納付スヘシ

著信局所ヨリ三里ヲ超ユル場合ニ於テ發信人ハ其ノ里程ヲ豫定シ之ニ對スル配達料ヲ納付スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ別使配達略符號ノ次ニ其ノ里程ヲ指定スヘシ

前二項ニ依リ納付シタル配達料ニ不足アルトキハ其ノ不足額ハ受信人ニ於テ之ヲ追納スヘシ

第六十九條　受信人ノ追納スヘキ別使配達料ヲ發信人ニ於テ納付セムトスルトキハ別使料電報報知又ハ別使料郵便報知ノ略符號ヲ以テ指定シ電報報知ヲ要スルモノハ和文電報十五字ニ相當スル通常料金郵便報知ヲ要スルモノハ金三錢ヲ增納スヘシ

發信人ハ前項ノ追納料金ニ充ツル爲電信局所ノ指示スル相當金額ヲ豫納スヘシ其ノ豫納金ハ著信局所ノ報知ニ依リ精算ス

第七十條　艀船ニ宛テタル電報ニシテ解船ヲ以テ配達スヘキモノハ解船配達ノ略符號ヲ以テ指定シ其ノ配達料トシテ金二十錢ヲ納ムヘシ

第七十一條　艀船ニ宛テタル電報ニシテ別使配達及解船配達ヲ要スル場合ニ於テ發信人カ其ノ一方ノミヲ指定シタルトキハ其ノ不足料金ハ受信人ニ於テ之ヲ追納スヘシ

第七十二條　著留郵便ヲ以テ配達スヘキ電報ハ著留郵便配達ノ略符號ヲ以テ指定シ其ノ配達料トシテ金七錢ヲ納ムヘシ

第七十三條　發信人ハ電報差出ノ日ヨリ三日以內ニ限リ其ノ納付料金額ヲ記入シタル電報ノ受取證書ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ受取證書料トシテ受取證書一通每ニ金三錢ヲ納付スヘシ

電報ノ受取證書ニハ其ノ受取證書料ニ當ル郵便切手ヲ貼付シ且消印シテ交付スヘシ

第七十四條　發信人ハ一通每ニ金五錢ヲ納付シテ未タ傳送セサル電報ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第六章　電線託送

第七十五條　電話加入者ハ別ニ告示スル電信局所ニ限メ届出テ其ノ使用ニ關スル電話機ニ依リ電報ヲ發受スルコトヲ得

第七十六條　電話加入者ノ使用ニ屬スル電話又ハ郵便[電信]局電信局ニ連接スル電信電話ヲ以テ電報ヲ發受スルトキハ其ノ電話加入者又ハ電信電話ノ施設者ハ電線託送料トシテ電報一通毎ニ金三錢ヲ納ムヘシ

第七十七條　前條ニ依リ發スル電報ニシテ其ノ發受局所所在ノ市區町村內ニテ配達シ又ハ該局所ニ於テ前條ノ電話加入者若ハ電信電話ノ施設者ニ送達スルモノハ一市區町村內ニテ發受スルモノト見做シテ料金ヲ課ス

前條ニ依リ受クヘキ電報ニシテ其ノ發受局所所在ノ市區町村內ニ在ル電信局所ヘ頼信スルモノ亦同シ

第七十八條　電線託送電報發受者ノ納ムヘキ電報ニ關スル料金ハ毎月取纏メ翌月二十日迄ニ其ノ發受局所ニ納付スヘシ但シ一二等郵便[電信]局電信局ニ在リテハ通貨ヲ以テ之ヲ納付スヘシ

第七十九條　郵便[電信]局電信局ニ連接スル電信電話施設者其ノ施設ノ權利ヲ失ヒタルトキ又ハ之ヲ廢止シタルトキハ未納ノ電報料金ヲ即納スヘシ

第七十六條ノ屆出ヲ爲シタル電話加入者加入ヨリ除名セラレタルトキ又ハ電線託送電報ノ發受ヲ廢止シタルトキハ發受局所ニ之ヲ屆出ツヘシ此ノ場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ適用ス

第八十條　電線託送電報發受者電報ニ關スル料金又ハ私設電信規則第二十條ノ料金ヲ納付セサルトキハ其ノ滯納ノ期間電線託送電報ヲ發受スルコトヲ得ス

第七章　電報配達

第八十一條　電信局所（配達事務ヲ取扱ハサルモノヲ除ク）ヨリ陸上一里以內及其ノ局所所在ノ市區內ヲ電報直配達區域トス但シ必要ト認ムルトキハ其ノ區域ヲ制限シ又ハ其ノ區域外ノ地ヲ區域內ニ編入スルコトアルヘシ

第八十二條　電報直配達區域內ニ配達スル電報ハ配達料ヲ要セス

第八十三條　電報直配達區域外ニ配達スル電報ニシテ配達方ノ指定ナキモノハ無料ノ普通郵便ヲ以テ送達スヘシ

配達方ノ指定アル電報ト雖受信人移轉等ノ爲更ニ其ノ電報直配達區域外ニ配達スルトキ亦同シ

第八十四條　電報直配達區域外ニ居住スル者ハ電信局所ニ請求シテ別使、艀船又ハ書留郵便ヲ以テ自己ニ宛テタル配達方指定ナキ電報ノ配達ヲ受クルコトヲ得但シ之ヲ受ケタルトキハ其ノ配達料ヲ納ムヘシ

第八十五條　別使配達電報ノ受信人ハ其ノ電報受取紙ニ捺印又ハ手署シテ直ニ之ヲ電報配達人ニ交付スヘシ

第八十六條　受信人自己ノ居所氏名ニ略號ヲ常用セムトシ又ハ電報ヲ受取ルヘキ者若ハ電報ノ配達場所ヲ特定セムトスルトキハ著信局所ニ請求シテ其ノ略號又ハ配達先ノ登記ヲ受クルコトヲ得

第八十七條　受信人電報ノ配達ヲ待タス著信局所ニ於テ之ヲ受取ラムトスルトキハ其ノ著信局所ニ請求シテ局渡證票ノ交付ヲ受クルコトヲ得

第八十八條　局渡證票ノ所持人著信局所ニ於テ電報ヲ受取ラムトスルトキハ其ノ時時局渡證票ヲ示スヘシ

著信局所ニ於テハ局渡證票ヲ所持スル者ヲ正當受信人ト見做シテ電報ヲ交付スヘシ

第八十九條　局渡證票ヲ交付シタル者ニ宛テタル電報ト雖著信ノ際證票ヲ所持スル者出頭セサルトキハ之ヲ配達ニ付スヘシ

第九十條　局渡證票ノ交付ヲ受ケタル者其ノ證票ヲ亡失シタルトキハ直ニ其ノ旨交付ヲ受ケタル局所ヘ届出ツヘシ此ノ證票ハ其ノ報告ヲ受ケタル時ヨリ其ノ效ヲ失フ

局渡證票ヲ亡失シタル者ハ更ニ證票ヲ請求スルコトヲ得

第九十一條　局渡證票不用ニ屬シタルトキハ其ノ交付ヲ受ケタル局所ニ之ヲ返還スヘシ

第九十二條　略號又ハ配達先ノ登記及局渡證票ニ關スル料金並其ノ納付手續ハ別ニ之ヲ定ム

第九十三條　受信人名ヲ連記シタル電報ハ其ノ內ノ一名ニ配達スヘシ

第九十四條　電報ノ誤送ヲ受ケタル者ハ其ノ事由ヲ記載シタル付箋ヲ爲シ直ニ之ヲ著信局所ニ返付スヘシ此ノ場合ニ於テハ無料郵便物トシテ郵便ニ付スルコトヲ得

其ノ電報ヲ開封シタル者ハ更ニ封緘シ尚其ノ事由ヲ付記スヘシ

第九十五條　受信人ニ交付シ能ハサル電報ハ著信局所ニ保管シ置キ其ノ受信人ノ居所氏名ヲ記載シテ少クトモ七日間之ヲ其ノ局所前ニ掲示スヘシ

第九十六條　電信局所留置電報ハ其ノ留置局所ニ到著シタル日ヨリ三日以內ニ受信人ニ交付シ能ハサルトキハ前條ノ例ニ依リ之ヲ掲示スヘシ

第九十七條　發信人又ハ受信人ハ其ノ不達ニ歸シ

タル電報ノ送達ヲ頼信局所ニ請求スルコトヲ得其ノ請求期間ハ電報差出ノ日ヨリ六十日間トス

第八章　尋問改正及停止

第九十八條　發信人ハ既ニ差出シタル電報ニ關シ尋問、改正又ハ停止ヲ要スルトキハ之ヲ發信局所ニ請求スルコトヲ得其ノ請求期間ハ發信ノ時ヨリ七十二時間トス

受信人ハ既ニ受取リタル電報ニ關シ尋問ヲ要スルトキハ之ヲ著信局所ニ請求スルコトヲ得其ノ請求期間ハ電報ヲ受取リタル時ヨリ七十二時間トス

第九十九條　發信人ニ於テ其ノ差出シタル電報ニ關シ尋問ヲ請求スルトキハ其ノ尋問ニ要スル電報料ヲ納メ且返信ニ要スル電報料ヲ豫納スヘシ

第百條　發信人ニ於テ其ノ差出シタル電報ノ改正又ハ停止ヲ請求スルトキハ其ノ通知ニ要スル電報料ヲ納ムヘシ若其ノ返信ヲ望ムトキハ之ニ要スル電報料ヲ豫納スヘシ

第百一條　尋問、改正又ハ停止ノ爲發信人ノ豫納シタル電報料ハ返信電報ノ字數又ハ語數ニ應シテ精算ス

第百二條　改正電報ニシテ其ノ原信配達後著信局所ニ到達シタルトキハ其ノ事由ヲ受信人ニ通知スヘシ

第百三條　受信人ニ於テ其ノ受取リタル電報ニ關シ尋問ヲ請求スルトキハ其ノ尋問及返信ニ要スル電報料ヲ假納スヘシ

假納ノ電報料ハ尋問及返信電報ノ字數又ハ語數ニ應シテ收納ス但シ電信事務上ノ誤謬ニ因リ尋問ヲ爲スニ至リタル場合ハ之ヲ還付ス

第百四條　本章ニ依リ往復スル電報ハ課金局報トス

第九章　閲覽正寫

第百五條　發信人又ハ受信人ハ電報ノ閲覽又ハ正寫ヲ請求スルコトヲ得但シ請求人ニ於テ該電報捜索上必要ナル事項ヲ示ササルトキハ其請求ニ應セサルコトアルヘシ

第百六條　電報ノ閲覽正寫ハ發信ニ在リテハ其ノ發信局所著信ニ在リテハ其著信局所ニ請求スヘシ

第百七條　電報ノ閲覽又ハ正寫ヲ請求スル者ハ閲覽料トシテ電報一通ニ付金三錢正寫料トシテ和文ハ二百字以內毎ニ金五錢歐文ハ五十語以內毎ニ金十錢ヲ納ムヘシ

電報ノ正寫ニハ其正寫ニ當ル郵便切手ヲ貼付シ且消印シテ交付スヘシ

第十章　特別電報

第一節　至急電報

第百八條　通常電報ニ先チテ傳送ヲ要スル電報ハ至急ノ略符號ヲ以テ指定スヘシ

第百九條　至急電報料ハ左ノ如シ

官報　通常電報料ノ二倍

私報　通常電報料ノ三倍

第二節　返信料前納電報

第百十條　電報ノ返信ヲ受ケムトスル者ハ其ノ返信ノ電報料ヲ前納スルコトヲ得其ノ電報ニハ左ノ略符號ヲ以テ指定スヘシ

一　返信料前納ノ略符號　通常電報料ヲ前納スルトキ

二　返信至急ノ略符號　至急電報料ヲ前納スルトキ

三　返信照校ノ略符號　照校電報料ヲ前納スルトキ

和文十五字歐文五語ヲ超エテ返信料ヲ前納スルトキハ前項略符號ノ次ニ其ノ字數又ハ語數ヲ付記スヘシ

第百十一條　返信料前納電報ヲ配達スルトキハ返信料前納アルコトヲ證明スル爲著信局所ニ於テ返信用紙ニ左ノ事項ヲ記入シ返信料前納證書トシテ電報ト共ニ之ヲ受信人ニ交付スヘシ

一　返信料前納ノ金額

二　受信人名

三　發信局所名、發信年月日及發信番號

四　證書發行ノ年月日

第百十二條　返信料前納證書ノ使用期間ハ其ノ證書發行ノ日ヨリ三十日間トス此ノ期間ヲ過クルトキハ使用ノ效ヲ失フ

第百十三條　返信料前納電報ノ返信用紙ニ記載シテ差出ス電報ハ證書記載ノ金額ニ相當スル料金納付濟ノモノトシ何レノ電信局所ニ於テモ之ヲ受付發送スヘシ

若其ノ電報ノ料金ニシテ證書記載ノ金額ニ超過スルトキハ其ノ超過額ニ相當スル郵便切手ヲ返信用紙ニ貼付スヘシ

第百十四條　受信人返信料前納證書ヲ受領スルコトヲ拒ムトキハ其ノ證書ヲ使用シ著信局所ヨリ發信局所ニ其ノ旨課金局報ヲ以テ報知シ更ニ之ヲ發信人ニ通知スヘシ

第百十五條　居所不明其ノ他ノ事故ニ依リ返信料前納證書ヲ受信人ニ交付シ能ハサルトキハ之ヲ著信局所ニ保管ス

著信局所ニ保管シ置キタル返信料前納證書ハ其ノ使用期間ニ受信人ヨリ請求スルトキ又ハ期間滿了後三十日以內ニ發信人ヨリ請求スルトキハ之ヲ交付スヘシ

第三節　照校電報

第百十六條　發信人ハ電報ノ照校ヲ請求スルコトヲ得其ノ電報ニハ照校ノ略符號ヲ以テ指定スヘシ

第百十七條　照校電報ハ通信ノ際送受兩局所間ニ於テ其ノ全部ヲ反復校正スルモノトス

第百十八條　照校料ハ通常電報料ノ四分ノ一トス

第四節　受信電報

第百十九條　發信人ハ電報ノ受信人ニ到達シタル日時ノ報知ヲ受クルコトヲ得其ノ電報ハ受信電報トシ左ノ略符號ヲ以テ指定スヘシ

一　電報受信報知ノ略符號　電報ヲ以テ報知ヲ受クルトキ

一　郵便受信報知ノ略符號　郵便ヲ以テ報知ヲ受クルトキ

第百二十條　電報受信報知料ハ一通每ニ和文ハ十五字歐文ハ五語ノ通常料金トシ郵便受信報知料ハ一通每ニ金三錢トス

第百二十一條　受信電報ヲ受取リタル者ハ電報受取紙ニ受取時刻ヲ記入シ捺印又ハ手署シテ直ニ之ヲ電報配達人ニ交付スヘシ但シ郵便電信又ハ電話ヲ以テ其ノ送付ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第百二十二條　受信電報ノ發信人ニハ受信人ノ電報ヲ受取リタル日時ヲ報知スヘシ但シ之ヲ送達スルニ郵便ヲ以テシタルトキハ郵便ニ付託セシ日時電信又ハ電話ヲ以テシタルトキハ送信セシ日時ヲ報知スヘシ

第百二十三條　電報受信報知ノ日時ハ局報ヲ以テ郵便受信報知ノ日時ハ郵便ヲ以テ著信局所ヨリ發信局所ヘ宛テ通知シ發信局所ヨリ更ニ之ヲ發信人ニ報知ス

第百二十四條　電報直配達區域外ニ居住スル發信人別使、艀船又ハ書留郵便ヲ以テ受信日時ノ報知ヲ受ケムトスルトキハ賴信紙ノ餘白ニ其ノ旨ヲ記載シ相當ノ配達料ヲ納付スヘシ

第百二十五條　受信人ニ於テ受信電報ノ受取ヲ拒ミタルトキ又ハ之ヲ受信人ニ配達シ能ハサルトキハ日時報知ノ代トシテ第百二十三條及第百二十四條ノ例ニ依リ其ノ事由ヲ發信人ニ報知スヘシ

第五節　追尾電報

第百二十六條　發信人電報ノ追尾傳送ヲ要スルトキハ追尾電報ノ略符號ヲ以テ指定スヘシ

第百二十七條　追尾電報ノ發信人ハ追尾スヘキ第二以下ノ居所ヲ逐次ニ記載シ又ハ全ク記載セサルコトヲ得

第百二十八條　追尾電報ハ受信人ノ居所分明ナル限リ之ヲ追送スヘシ

前項ノ場合ニ於テ其ノ居所ヲ逐査シタルモノハ其ノ經過スル每ニ之ヲ削除ス

第百二十九條　追尾電報ノ追尾ニ關スル料金ハ追尾一回每ニ新ニ電報ヲ差出シタルモノトシテ計算シ之ヲ受信人ヨリ徵收スヘシ

第百三十條　左ニ揭クル電報ハ追尾電報トシテ發送スルコトヲ得ス

一　別使料電報知ヲ要スル電報
二　別使料郵便報知ヲ要スル電報
三　返信料前納電報
四　受信電報
五　同文電報
六　外國郵送電報

第六節　再送電報

第百三十一條　受信人ノ居所異動等ノ場合ニ於テ其新居所ヘ電報ノ再送ヲ要スルトキハ受信人又ハ宛所ノ者ヨリ之ヲ著信局所ニ請求スルコトヲ得

第百三十二條　留置電報著信局所ニ留置シ置キタル電報又ハ一旦配達ヲ了リタル電報ノ再送請求ノ期間ハ著信ノ時ヨリ七十二時間トス

第百三十三條　一旦配達ヲ了リタル電報ノ再送ヲ請求スルトキハ其ノ電報送達紙ヲ差出スヘシ若返信料ヲ前納シタルモノナルトキハ其ノ返信料前納證書ヲ返戻スヘシ

第百三十四條　電報ノ再送ヲ請求スルモノハ其ノ再送スヘキ電報ニ記載シアル指定事項ノ削除ヲ請求シ又ハ第百三十條ニ揭クル電報ノ指定事項ヲ除クノ外必要ナル指定事項ノ記入ヲ請求スルコトヲ得

第百三十五條　返信料前納電報、受信電報又ハ別使料ノ報知ヲ要スル電報ヲ再送スルトキハ其ノ指定事項ヲ削除スヘシ此ノ場合ニ於テハ第百十四條ノ例ニ依リ返信料前納證書ヲ使用シ又ハ受信報知若ハ別使料報知ノ代トシ電報再送ノ旨ヲ發信人ニ報知スヘシ

第百三十六條　電報ヲ再送スルトキハ電信局所ニ於テ再送電報ノ略符號ヲ以テ指定スヘシ

第百三十七條　電報ヲ再送スルトキハ其ノ請求者ヲ再送電報ノ發信人ト見做ス

第百三十八條　再送電報ノ再送ニ關スル料金ハ第百二十九條ノ例ニ依リ計算徵收ス

第百二十七條及第百二十八條ノ規定ハ再送電報ニ準用ス

第百三十九條　同文電報ハ之ヲ再送スルコトヲ得ス但シ同文電報ノ指定ヲ削除シ一通ノ電報トシテ再送ヲ請求スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七節　同文電報

第百四十條　發信人ハ一市町村內又ハ著信局所

ヲ同クスル地方ニ居住スル數人又ハ數箇所ヘ宛テ同文ノ電報ヲ差出サムトスルトキハ同文電報ト爲スコトヲ得

第百四十一條　同文電報ハ同文ノ略符號ヲ以テ指定シ同文ノ通數ヲ付記スヘシ但シ其ノ通數ハ十通ヲ超ユルコトヲ得ス

同文電報ニシテ其ノ各通ニ各受信人名ヲ連記シ配達スヘキモノハ前項ノ略符號ニ代フル同文連名ノ略符號ヲ以テスヘシ

第百四十二條　同文電報ノ原信ヲ除キタル各通ノ字數又ハ語數ハ總テ之ヲ原信ニ併算ス

第百四十三條　同文電報ニハ原信ヲ除キ其ノ他一通每ニ同文料トシテ和文ハ金十錢歐文ハ金十五錢ヲ課ス

第百四十四條　至急電報、照校電報又ハ受信電報ヲ同文電報トナストキハ原信ニ各相當ノ略符號ヲ併記シ其ノ至急又ハ照校ノ料金ハ原信一通ニ對シテ之ヲ納メ受信報知料ハ同文ノ通數ニ應シテ之ヲ納ムヘシ

第百四十五條　前條ノ外同文電報ニ他ノ電報ノ指定事項ヲ併用セムトスルトキハ一通每ニ其ノ相當略符號ヲ記載スヘシ

第八節　外國郵送電報

第百四十六條　外國ヘ郵送スヘキ電報ニハ外國郵送ノ略符號ヲ以テ指定シ其ノ著信局所名ヲ付記スヘシ

第百四十七條　外國郵送電報ノ郵送料ハ一通ニ付金二十錢トス

第百四十八條　外國郵送電報ハ在淸國及在韓國本邦郵便局所所在地ニ宛テタルモノノ外歐文電報ニ限ル

附則

第百四十九條　此規則ハ明治三十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治十八年五月布達第七號電信取扱規則同二十三年三月遞信省令第三號歐文電報略號常用料金額及其ノ納付手續同年八月遞信省令第十七號電報局渡規則同年十一月遞信省令第二十一號電報配達人ニ電報差出方ヲ依賴スル規程同二十七年七月遞信省令第五號著信局所ヲ指定スル規程同三十年十二月遞信省令第三十三號電話依託電報規則其ノ他此ノ規則ニ牴觸スル規定ハ之ヲ廢止ス

第百五十條　此ノ規則ハ特ニ規定アル場合ヲ除クノ外電報ニ依リ帝國外國間ニ往復スル電報ニ適用セス

●新聞電報規則

明治三十九年十二月二十八日
遞信省令第六十一號

新聞電報規則左ノ通相定ム

新聞電報規則

第一條　新聞紙ニ揭載ノ目的ヲ以テ發スル電報ハ本令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ新聞電報トナスコトヲ得

第二條　新聞電報料金ハ五十字又ハ其ノ未滿每ニ金二十錢トス

其ノ同文料ハ前項ノ半額トス

新聞電報ニ關シ往復スル課金局報ニハ一般私報料金ヲ課ス

第三條　新聞電報ハ時間外ノ取扱ヲ爲サザル電信局所ヲ除クノ外電報取扱時間ニ拘ラス之ヲ取扱フ

第四條　新聞電報ノ傳送順序ハ通常私報ニ同シ

第五條　新聞電報ヲ受ケントスル新聞社又ハ新聞通信社ハ左記各號ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ所轄一等郵便局ヲ經テ遞信大臣ニ差出シ其ノ認可ヲ受クヘシ

一　題號
二　記載事項又ハ通信事項ノ性質
三　發行ノ定日
四　發行所
五　發行人ノ住所氏名
六　受信人名

前項ノ認可ヲ受ケタル後其ノ各號ノ事項ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第六條　前條ノ認可ヲ受ケタル新聞社又ハ新聞通信社ハ所轄一等郵便局ニ新聞電報發信證票及新聞電報受信證票ノ必要枚數ヲ申出テ之カ交付ヲ受クヘシ

第七條　新聞電報ノ發信人ハ其ノ電報ヲ差出ストキ其ノ都度新聞電報發信證票ヲ發信局所ニ提示スヘシ

第八條　新聞電報ニ記載スル受信人名ハ前條ニ依リ提示スル新聞電報發信證票ニ記載シタルモノニ限ル

第九條　新聞電報ハ和文普通語ヲ以テ記載スヘシ

第十條　左ノ事項ハ新聞電報ニ揭載スルコトヲ得ス

一　廣告
二　私信

但シ通信ノ繼續、結終、番號若ハ其ノ種別ヲ示ス語字又ハ之ニ該當スル略字ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條　遞信大臣ニ於テ必要ト認ムルトキハ新聞電報ノ受信人名ニ對シ略字ヲ定ムルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ所轄一等郵便局之ヲ受信人ニ通知ス

発信人前項ノ略字ヲ以テ受信人名ヲ記載セサルトキハ電信局所ニ於テ之ヲ改書スルコトアルヘシ

第十二條　新聞電報ハ著信局所ニ於テ之ヲ受信人ニ交付ス但シ受信人ニ於テ特ニ請求スルトキハ其ノ配送ヲナスコトアルヘシ

新聞電報ノ受信人ハ其ノ電報ヲ受取ルトキ其ノ都度新聞電報受信證票ヲ著信局所ニ提示スヘシ

電信局所ニ於テハ新聞電報受信證票ノ所持者ヲ以テ正當受信人ト看做ス

第十三條　同一市區町村內ニ數箇ノ電信局所アルトキハ所轄一等郵便局ハ其ノ市區町村內ニ於ル新聞電報ノ著信局所ヲ指定ス

第十四條　新聞電報トシテ差出シタルモノニシテ第九條及第十條ノ規定ニ違ヒタルモノアルトキハ通常私報ノ例ニ依リ料金ヲ計算シ其ノ不足額ヲ受信人ヨリ徵收ス

第十五條　逓信大臣ハ別ニ定ムル條件ニ依リ新聞電報ニ關スル料金ノ豫納又ハ後納ヲ許可スルコトアルヘシ

第十六條　逓信大臣ハ一箇年ヲ通シ毎日一定ノ時刻ニ於テ東京又ハ大阪ヨリ同一受信人ニ宛テ長文ノ新聞電報ヲ發スルモノニ對シ其ノ電報ノ豫約取扱ヲ許可スルコトアルヘシ

豫約新聞電報ハ毎日發信スル豫定字數ニ依リ左ノ料金ヲ課ス若實際ノ字數カ豫定字數ニ超過シタルトキハ其ノ超過シタル字數ニ對シ第二條ノ料金ヲ課ス

一　豫定字數五百字迄　年額　金四百八十圓
二　同一千字迄　同　金八百四十圓
三　同一千五百字迄　同　金一千二百圓

豫約新聞電報ノ取扱方及料金納付方ハ別ニ之ヲ定ム

第十七條　明治三十三年九月逓信省令第四十六號電報規則第六章及第十章ニ關スル規定ハ新聞電報ニ之ヲ適用セス若シ之ニ違背シテ指定ヲ記載シタルモノアルトキハ電信局所ニ於テ其ノ指定ヲ削除ス

第十八條　本令ニ明文ナキ事項ハ內國電報ニ關スル一般ノ規定ニ依ル

附則

第十九條　本令ハ小笠原島、臺灣、樺太ト其ノ以外ノ本邦各地トノ間及小笠原島、臺灣、樺太相互間ニ之ヲ適用セス

第二十條　本令ハ明治四十年一月十六日ヨリ之ヲ施行ス

●電信局所ノ電報取扱時間及其ノ時間外電報取扱規則

明治三十六年十一月二十八日
逓信省令第五十三號

電信局所ノ電報取扱時間及其ノ時間外電報取扱規則左ノ通相定ム

電信局所ノ電報取扱時間及其ノ時間外電報取扱規則

第一條　電信局所ノ電報取扱時間ハ左ノ三種トス

第一種
午前六時ヨリ午後十時マテ

第二種
午前八時ヨリ午後八時マテ

特種
土地ノ狀況其ノ他特殊ノ必要ニ依リ定ムルモノ

第二條　左ノ電報ハ電報取扱時間外ト雖之ヲ取扱フ但シ郵便電信取扱庶電信取扱所及郵便電信受取所電信受取所ニ於テハ之ヲ取扱ハサルコトアルヘシ

一　至急電報
二　時間外電報

前條時間外電報トハ特ニ時間外ト取扱ヲ要スル內國電報ヲ云フ

時間外電報ハ左ノ略符號ヲ以テ指定シ時間外取扱料ヲ納付スヘシ

一　時間外取扱ノ略符號　う　う　の　の

第四條　時間外取扱料ハ一通ニ付金二十錢トス

第五條　同文電報ヲ時間外電報トナストキハ其ノ原信ニ時間外取扱ノ略符號ヲ併記シ時間外取扱料ハ原信ヲ除ク外一通毎ニ金五錢トス

第六條　第一種局所ニ於テハ時間內ニ受付ケタル電報ト雖著局所カ第二種以下ニ指シ既ニ其取扱時間ヲ經過シタルモノハ時間外電報トス

第七條　時間內ニ受付ケタル電報ト雖其ノ電報受信報知又ハ別便料電報報知カ時間外ニ渉ルヘキトキハ時間外電報トス

第八條　電報取扱時間外ニ於テ電報ノ配達又ハ交付ヲケムトスルトキハ之ヲ著信局所ニ請求スルコトヲ得但シ時間外ノ取扱ヲナサル郵便電信取扱所電信受扱所及郵便電信受取所電信受取所ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ請求ヲ受ケタル局所ニ於テハ時間外取扱料ヲ納付セシメ之ヲ配達、交付ス

第九條　時間外取扱料ヲ納付シタル電報ニシテ時間外ノ取扱ヲ爲ササリシトキハ之ニ對スル時間外取扱料ハ納付人ノ請求ニ依リ郵便切手ヲ以テ之ヲ還付ス

附則

第十條　本令ハ明治三十六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十四年八月逓信省令第三十四號時間ヲ定メテ逓信取扱ヲ爲ス電信局所ノ電報取扱ニ關スル規則及明治三十六年八月逓信省令第九號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

●電報取扱ニ關スル制限掲示方

明治三十六年三月二十一日
逓信省令第十二號

電信事務ヲ取扱フ局所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限ハ當該局所前ニ之ヲ掲示ス

本令ハ明治三十六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●略號登記料配達先登記料局渡料ノ金額及其ノ納付手續

明治三十三年九月一日
逓信省令第四十七號

略號登記料配達先登記料局渡料ノ金額及其ノ納付手續左ノ通之ヲ定ム

略號登記料配達先登記料局渡料ノ金額及其ノ納付手續

第一條　略號登記料又ハ配達先登記料ハ登記一箇毎ニ年額金十二圓トス

局渡料ハ證票一箇毎ニ年額金六圓トス

第二條　前條ノ料金ハ年額ヲ二分シ左ニ掲クル二期ノ別ニ從ヒ一期分毎ニ登記又ハ交付ヲ受クル電信局所ニ前納スヘシ但シ一二等郵便【電信】局電信局及在外【電信】局所ニ在リテハ通貨ヲ以テ之ヲ納付スヘシ

第一期　四月一日ヨリ九月三十日マテ

第二期　十月一日ヨリ三月三十一日マテ

第三條　一期ノ中途ニ於テ略號又ハ配達先ノ登記ヲ受ケ若ハ局渡證票ノ交付ヲ受クルトキト雖其ノ期ノ料金全額ヲ納付スルモノトス

第四條　一期ノ中途ニ於テ略號又ハ配達先ノ登記ヲ取消シ又ハ局渡證票ヲ返還スルトキ雖其ノ期ノ料金ハ之ヲ還付セス

第五條　電報規則第九十條第二項ニ依リ更ニ證票ヲ請求スルトキハ證票料トシテ金二十錢ヲ納ムヘシ

第六條　同一ノ略號ヲ內國電報及外國電報ニ通用ウル場合ト雖各別ニ其ノ料金ヲ納付スルニ及ハス

第七條　從前ノ規定ニ依リ此ノ規則施行ノ日以後ニ係ル略號常用料又ハ電報局渡料ヲ前納シタルモノハ引續キ其ノ略號ノ登記又ハ局渡證票ノ交付ヲ受クルモノト看做シ更ニ此ノ規則ニ依リ料金ヲ計算シ不足額ハ之ヲ追納セシメ過剩額ハ之ヲ還付ス

●電信電話機ニ依ル電報發受心得

明治三十三年九月十一日
逓信省告示第三百四十號

電報規則施行ニ付同規則第七十五條及郵便【電信】局電信局ニ連接スル電信電話ニ依リ電報ヲ發受スル心得左ノ通相定ム

一　電話加入者ニ於テ其ノ使用ニ屬スル電話機ニ依リ電報ヲ發送セムトスルトキハ其ノ地ノ電報取扱局ヲ呼出シ先ツ電報ヲ發スヘキ旨ヲ通シ而シテ後左ノ順序ニ依リ電報ヲ通話シ承諾ノ返辭ヲ受クヘシ

和文電報

一　電報ノ種類（官報、普通、緊急、至急、時間外）
二　電報ノ字數（料金ヲ徵スヘキ字數ニ關スル事項ヲ含ム）
三　受信人ノ居所氏名（受信人ノ居所氏名ノ記載ヲ要スルモノナレハ其ノ居所氏名ヲ含ム）
四　電報送達紙ノ外部ニ發信人居所氏名ノ記載ヲ要スルモノナレハ其ノ居所氏名
五　受信人ノ居所氏名
六　電報ノ本文
七　本文ノ末尾ニ記載セムトスル發信人ノ居所氏名
八　賴信紙ノ餘白ニ記載スヘキ發信人ノ居所氏名又ハ電話番號
九　電報ニ付注意ヲ乞フノ必要アルトキハ其ノ事項

歐文電報

一　電報ノ種類（官報、普通、緊急、至急、時間外）
二　電報ノ字數（料金ヲ徵スヘキ字數ニ關スル事項ヲ含ム）
三　受信人ノ居所氏名（受信人ノ居所氏名ノ記載ヲ要スルモノナレハ其ノ居所氏名ヲ含ム）
四　電報送達紙ノ外部ニ發信人居所氏名ノ記載ヲ要スルモノナレハ其ノ居所氏名
五　指定事項（電報ノ種類、字數、受信人ノ居所氏名ノ記載ヲ要スルモノナレハ其ノ記載ヲ含ム）
六　電報ノ本文
七　本文ノ末尾ニ記載セムトスル發信人ノ居所氏名
八　賴信紙ノ餘白ニ記載スヘキ發信人ノ居所氏名又ハ電話番號
九　電報ニ付注意ヲ乞フノ必要アルトキハ其ノ事項

二　電報取扱局ニ於テ電話機ニ依リ電話加入者ヘ電報ヲ送ルトキハ左ノ順序ニ依ルヲ以テ順次之ヲ書取リ受丁ノ後承諾ノ旨ヲ返答スヘシ若電報ノ字（語）數ニ相違アルカ又ハ不明瞭ノ廉アルトキハ質問ヲ爲スヘシ

和文電報

一　受信人ノ居所氏名

二　電報送達紙ノ外部ニ發信人ノ居所氏名記載アルトキハ其居所氏名

三　電報ノ種類（電報料ノ別）

四　發信局名

五　電報ノ番號

六　受附ノ月日及時分

七　電報ノ字數（數物ニ有料ナル居所氏名ノ字數ハ本文ノ字數ニ算入シ電信料金ニ關シ注意事項アルトキハ其ノ事項）

八　指定事項（電信料金ニ關シ注意事項アルトキハ其ノ事項）

九　電報ノ本文

十　本文ノ末尾ニ發信人ノ居所氏名記載シアルトキハ其ノ居所氏名

十一　電報ニ關シ注意事項アルトキハ其ノ事項

歐文電報

一　受信人ノ居所氏名

二　電報送達紙ノ外部ニ發信人ノ居所氏名記載アルトキハ其ノ居所氏名

三　電報ノ種類（電報料ノ別）

四　發信局名

五　電報ノ番號（有料語數ト無料語數トアルトキハ有料語數ノ次ニ無料語數ノ順）

六　受附ノ月日及時分

七　指定事項（電信料金ニ關シ注意事項アルトキハ其ノ事項）

八　電報ノ本文

九　發信人ノ居所氏名記載アルトキハ其ノ居所氏名

十　電報ニ關シ注意事項アルトキハ其ノ事項

十一　電報ニ關シ注意事項アルトキハ其ノ事項

三　電話機ニ依リ電報ヲ送受スル爲リ暗號其ノ他通話上別明シ難キ語辭ハ左ノ番號表ニ依リテ辯明スヘシ殊ニ電報ノ文官ハ簡略ヲ主トスルカ故ニ普通文ニテモ發音ノ酷似セルキハ往々混同シ易ケレハ是等ノ文官ハ番號表ニ依リ通話スル方判然スヘシ

和文

片假名番號表

番號	番號	番號	番號	番號
一	ア	一	二	三	四	五
二	カ	キ	ク	ケ	コ
三	サ	シ	ス	セ	ソ
四	タ	チ	ツ	テ	ト
五	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
六	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
七	マ	ミ	ム	メ	モ
八	ヤ		ユ		ヨ
九	ラ	リ	ル	レ	ロ
十	ワ	ヰ	濁點゛	井	エ	ヲ
十一	ン	ヽ 半濁點゜	長音ー		
十二	句點。	「 開始括弧	」 終括弧	、 讀點	／ 假名語

假令ハチシト電話スルニハ四ノ二、三ノ二、十一ノニト呼ヒ（ヲ）ト電話スルニハ十二ノ三、六ノ一、十一ノ三ト呼フノ類ニシテ濁點半濁點ハ總テ其附スヘキ片假名ノ次、括弧ハ之ヲ圍ミタル文字ノ前後ニ電話スルモノトス

歐文

羅馬字番號表

番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號
一	A	F	K	P	U	Z	Ö	終點 .	感 ;	小感 :	重點 ?	問	符 !	符 '	符 //	連 -	括 ()
二	B	G	L	Q	V	Ä	Ü						窓	略	略		
三	C	H	M	R	W	À									新		
四	D	I	N	S	X	È											
五	E	J	O	T	Y	Ñ											
十	"" 開始括弧	字下	字下	假名語													

假令ハ%ト電話スルニハ一ノ三、十ノ三、三ノ五ト呼ヒ$ト電話スルニハ十ノ二、一ノ二、五ノ五、十ノ二ト呼フノ類ニシテ字下線ハ之ヲ施シタル語辭ノ前後ニ電話スルモノトス

郵便（電信）局電信局ニ連接スル官廳用又ハ私設ノ電信線又ハ電話線ヲ以テ發受スル電報ハ通信者ニ於テ別ニ定ムル規程ニ依リ送受スヘシ

五　電線ニ依リ電報ヲ發送スルトキハ凡メ文案ヲ

作リ字數又ハ語數ヲ計算シ從テ通信上少シモ支障ナキ樣準備スヘシ

六　電線託送電報發受者ヨリ發スル電報又ハ其ノ依頼ニ依リ發スル電報ニシテ料金ヲ徴納又ハ假納スヘキモノハ其ノ取扱局ヨリ確定シタル料金額ノ通知ヲ受クルモノトス

七　電線託送電報發受者ヨリ電報ヲ發送スル場合ニ於テ自家ノ領收スヘキ返信料前納電報ノ返信用紙ヲ使用セムトスルトキハ先ツ其ノ旨竝前ニ通知ヲ受ケタル返信料前納證書ノ番號ヲ通知シ次ニ電報ヲ送ルヘシ

八　電線託送電報發受者ニ於テ受クヘキ電報カ返信料ヲ前納シタルモノナルトキハ其ノ取扱局ヨリ證書發行ノ月日前納ノ金額及證書ノ番號ヲ通知セラルヘク又其ノ電報ニ關シ發受者ノ追納スヘキ料金アルトキハ其ノ金額竝事由ヲ通知セラルヘキモノトス而シテ其ノ返信料前納證書ハ前條ニ依リ使用シタルモノヲ除キ翌月十日迄ニ料金納付方ノ通知書ト共ニ交付セラルヘシ

●町村ノ請願ニ依ル電信施設ニ關スル制

明治三十六年三月二十日
勅令第四十一號逓、大臣副署

朕町村ノ請願ニ依ル電信施設ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　逓信大臣ハ町村ノ請願ニ依リ電信局所ヲ新設シ其ノ他電信事務取扱ノ便ヲ開クコトヲ得

第二條　前條ニ依ル施設ノ爲要スル創設費ノ全部及維持費ノ一部ハ町村ノ負擔トス維持費ノ負擔區分ハ逓信大臣之ヲ定ム

創設費ハ町村ニ於テ直接ニ之ヲ支辨シ維持費ハ之ヲ國庫ニ納付スヘシ

第三條　逓信大臣ハ土地ノ狀況ニ依リ又ハ天災事變ニ際シ維持費ニ關スル町村ノ負擔ヲ減免スルコトヲ得

附　則

本令ハ明治三十六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●町村ノ請願ニ依ル電信施設ニ關スル施行細則

明治三十六年三月二十一日
逓信省令第十三號

改正　三六・六・第五六號、三七・第一號

明治三十六年三月勅令第四十一號町村ノ請願ニ依ル電信施設ニ關スル施行細則左ノ通相定ム

第一條　町村ニ於テ電信事務ノ開始ヲ必要トスル町村長ヨリ逓信大臣ニ願出ヘシ

一　電信事務ノ開始ヲ必要トスル地ト最近電信取扱局名

二　最近電信事務取扱局ノ設置アル地ニ至ル距離及其ノ電信施設ニ關スル施行細則

三　電信事務ノ開始ヲ必要トスル地名

町村長ヨリ逓信大臣ニ願出ヘシ

第二條　町村ニ於テ電報取扱時間ノ延長又ハ電報配達事務ノ開始ヲ必要トスルトキハ其ノ事由ヲ詳記シタル書面ヲ添ヘ町村長ヨリ逓信大臣ニ願出ヘシ

第三條　本令ニ依リ町村ノ負擔スヘキ創設費支辨ノ方法及維持費ノ金額ハ別ニ之ヲ定ム

第四條　主務官署ニ於テ工事執行中不可抗力其ノ他ノ事故ニ由リ工事ヲ中止又ハ廢止シタル場合ニ於テモ其ノ既ニ爲シタル工事ニ對スル費用ハ町村ノ負擔トス

第五條　本令ニ依リ電信事務開始ノ爲メニ設備シタル物件ハ總テ國庫ノ所有トス但シ逓信開始前ニ工事ヲ廢止シタル場合ハ此ノ限ニアラス

前項但書ノ場合ニ於テ其ノ線路及機器ハ主務官署ニ於テ撤去スルモノヲ除クノ外主務官署ノ指定スル所ニ依リ町村ニ於テ撤去スヘシ但シ主務官署ニ於テ撤去ノ爲ニ要スル費用モ亦町村ノ負擔トス

第六條　維持費ハ年額金ヲ二分シ左ニ掲クル二期ノ別ニ從ヒ六月及十二月ニ各其ノ期ノ分ヲ管轄【逓信管理局又ハ】一等郵便局ニ納付スヘシ但シ主務官署ニ於テ撤去ノ爲ニ要スル費用モ亦町村ノ負擔トス

第一期　四月一日ヨリ　九月三十日マテ

第二期　十月一日ヨリ　三月三十一日マテ

一期ノ中途ニ於テ電信事務ヲ開始シ又ハ電報取扱時間ヲ延長シタルトキハ其ノ開始又ハ延長ノ月ヨリ其ノ期ノ末月マテノ月數ヲ年額ニ乘シ之ヲ十二分シタルモノヲ以テ其ノ期ノ維持費トス

一期ノ中途ニ於テ電信事務ノ取扱ヲ廢止シタルトキハ雖モ其ノ期間ニ屬スル維持費ハ全額ヲ納付スルモノトス

第七條　本令ニ依リ電信事務ヲ開始シタルモノハ請願ニ依リ之ヲ廢止スルコトヲ得

電報取扱時間ノ延長ヲ爲シタル場合亦前項ニ同シ

第八條　本令ニ依ル請願ハ二町村以上共同シテ之ヲ爲スコトヲ得

第九條　本令ニ依リ逓信大臣ニ提出スル書類ハ總テ北海道廳長官又ハ府縣知事ノ副書ヲ具シ其ノ町村所轄【逓信管理局又ハ】一等郵便局ニ提出

スヘシ

●私設電信規則

明治三十三年九月一日
遞信省令第四十八號
改正　三四年第四八號、三五年第四〇號

私設電信規則左ノ通之ヲ定ム

私設電信規則

第一條　此ノ規則中私設電信ト稱スルハ電信法第二條ニ掲クル電信又ハ電話ヲ謂フ

第二條　電信法第二條第二號ニ依ル私設電信ハ左ニ列記スル事業ノ專用ニ供スルモノニ限ル

一　私設鐵道法ニ依ル鐵道、軌道條例又ハ特別ノ法令ニ依リ一般運輸ノ用ニ供スル鐵道又ハ軌道及一個人又ハ一會社ニ於テ個人ノ專用ニ供スル爲敷設スル鐵道又ハ軌道ノ事業

二　運河、水利、水防、火防、水道、水難救護及氣象觀測ノ事業

三　高壓及特別高壓ノ電氣ヲ使用スル電氣事業

四　前各號ノ外特ニ私設電信ノ施設ヲ必要トスル事業

第三條　電信法第二條第五號ニ依ル私設電信中一營業ノ爲ニスルモノハ營業所相互間又ハ營業所ト之ヲ管理スル者ノ居宅間ニ施設スルモノニ限ル

第四條　私設電信ヲ施設セムトスル者ハ遞信大臣ニ願出テ許可ヲ受クヘシ但シ私設鐵道法ニ依ル鐵道事業ノ專用ニ供スル爲鐵道線路ニ沿ヒ停車場、聯絡所又ハ信號所相互間ニ施設スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第五條　前條ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ其ノ願書ニ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添附スヘシ

一　施設ヲ必要トスル事由

二　電信又ハ電話ノ別及其ノ回線

三　機械設置ノ場所（府縣郡市町村字番地）及線路經過地名

四　落成期限

前項第二號及第三號ノ事項ハ別ニ圖面ヲ以テ之ヲ表示スヘシ

鄰接市區町村間又ハ電信法第二條第四號ニ依ルヲ不適當トスル市區町村間ニ私設電信ヲ施設セムトスルトキハ第一項書類ノ外之ヲ證明スルニ足ル書類ヲ添附スヘシ

第六條　第四條ノ許可ヲ得タル後前條第一項各號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ遞信大臣ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

第七條　第四條又ハ第六條ニ依リ許可ヲ得タル私設電信ノ工事落成シタルトキハ七日以內ニ左ノ事項ヲ遞信大臣ニ屆出ヘシ

一　工事落成月日

二　工事設計（回線ノ種類及數、線條ノ種類、直徑、架空線、地下線、水底線ノ別、同線ノ方式、設備ノ種類、大サ及其ノ設置方法）

前項第二號ノ事項ヲ變更シタルトキハ更ニ前項ノ例ニ依リ屆出ヘシ

第八條　第四條但書ノ私設電信ヲ施設シタル者ハ工事落成後七日以內ニ第五條第一項第二號第三號及第七條第一項各號ノ事項ヲ遞信大臣ニ屆出ヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ但シ公衆通信ノ用ニ供スルモノハ第五條第一項第二號ニ限リ遞信大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第九條　私設電信ヲ讓渡サムトスルトキハ第四條但書ノモノヲ鐵道相互間ニ讓渡ス場合ヲ除クノ外當事者雙方連署ノ上遞信大臣ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

前項ノ許可ヲ受ケタル私設電信ノ引渡ヲ爲シタルトキ又ハ第四條但書ノ私設電信ヲ鐵道相互間ニ讓渡シタルトキハ七日以內ニ當事者雙方連署ノ上遞信大臣ニ屆出ヘシ

第一項ノ外相續又ハ其ノ他ノ原因ニ因リ私設電信ヲ繼承シタルトキハ七日以內ニ其ノ旨ヲ遞信大臣ニ屆出ヘシ

第十條　公衆通信ノ用ニ供スル私設電信ハ遞信大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ廢止シ又ハ中止スルコトヲ得ス

前項以外ノ私設電信ヲ廢止シタルトキハ七日以內ニ其ノ旨ヲ遞信大臣ニ屆出ヘシ

第十一條　電信法第二條第四號ニ依ル私設電信ノ通報ヲ開始シ廢止シ又ハ中止セムトスルトキハ其ノ施設者ヨリ十五日前ニ連接郵便（電信）局又ハ電信局ニ屆出ヘシ

第十二條　私設電信ヲ廢止シタルトキハ特ニ期間ノ指定ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外三十日以內ニ線路及機器ヲ撤去スヘシ其ノ許可ノ效力ヲ失ヒ又ハ之ヲ取消サレタルトキ亦同シ

私設電信ノ使用ヲ中止シ一箇年以上ニ及ヒタルトキハ廢止シタルモノト看做シ前項ノ規定ヲ適用ス

第十三條　市街地ニ限リ道路ニ架設スル私設電信ノ電線ハ左ノ制限ニ依ルヘシ但シ特別ノ事由アルモノハ遞信大臣ノ認可ヲ得テ此ノ制限ニ依ラサルコトヲ得

一　道路ノ兩側ニ跨カラスシテ其ノ一側ニノミ架設スヘシ

二　道路ノ一側ニ電信線、電話線其ノ他電氣信號線ノ架設シアルトキハ其ノ同側ニ架設スヘシ若其ノ一側ニ電燈、電力又ハ電氣鐵道用電線ノ架設シアルトキハ他ノ一側ニ架設スヘシ

第十四條　私設電信ノ電線ヲ他ノ電信線、電話線又ハ電氣信號線ト交叉若ハ接近シテ架設スルトキハ其ノ通報信號ニ障害ヲ與ヘサル樣離隔スヘシ其ノ離隔二尺ニ滿タサルトキハ其電線ノ所有者又ハ管理者ノ承諾ヲ受クヘシ

第十五條　私設電信ノ電線ヲ電燈、電力又ハ電氣鐵道用架空電線ト交叉若ハ接近シテ架設スルトキ又ハ其ノ電柱ニ添架スルトキハ左ノ制限ニ依ルヘシ但シ特別ノ事由アルモノハ遞信大臣ノ認可ヲ得テ此ノ制限ニ依ラサルコトヲ得

一　交叉ノ場合ニハ電燈、電力又ハ電氣鐵道用最低電線ノ下部ニ於テ三尺以上ヲ離隔スヘシ但シ工事上已ムヲ得サル場合ニ於テハ低壓又ハ高壓電線ニ限リ其ノ上部ニ三尺以上離隔シテ交叉スルコトヲ得

二　接近ノ場合ニハ低壓又ハ高壓電線ニ在リテハ三尺以上特別高壓電線ニ在リテハ電柱地表上高サノ二倍以上ヲ離隔スヘシ

三　特別ノ事由ニ依リ電燈、電力又ハ電氣鐵道用電線ノ電柱ニ添架スルトキハ低壓又ハ高壓電線ニ在リテハ二尺以上特別高壓電線ニ在リテハ四尺以上其ノ最低電線ノ下部ニ離隔スヘシ

第十六條　私設電信ノ電線ヲ電燈、電力又ハ電氣鐵道用架空電線ト交叉若ハ接近シテ架設スルトキ又ハ其ノ電柱ニ添架スルトキハ左ノ裝置ヲ施スヘシ其ノ已ニ架設シタル後ニ於テ交叉接近若ハ添架ノ場合ヲ生シタルトキ亦同シ

一　低壓又ハ高壓電線ニ在リテハ電信又ハ電話線ノ機械ニ出入スル各端ニ於テ五「アムペアー」以下ニテ熔解スル安全器、三百「ヴォルト」ニテ放電スル避雷器及二百五十「ミリアムペアー」以下ニテ熔解スル安全器ヲ設備スヘシ

二　特別高壓電線ニ在リテハ遞信大臣ノ認可ヲ經タル適當ノ保安裝置ヲ施スヘシ

第十七條　屋內ニ布設スル私設電信ノ電線ハ電燈、電力又ハ電氣鐵道用電線ト充分離隔シ且電氣的混觸ヲ豫防スヘシ

第十八條　私設電信ノ電柱ニハ施設者名及電柱ノ番號ヲ表記スヘシ

第十九條　私設電信ノ電線ヲ他ノ電線ト其ノ上部ニ於テ交叉シ又ハ六尺以內ノ距離ニ接近シテ架設スルトキハ工事著手前ニ其ノ電線ノ所有者又ハ管理者ヘ通知スヘシ其ノ既ニ架設シタルモノヲ修理シ若ハ撤去スルトキ亦同シ

第二十條　電信法第二條第四號ニ依リ連接郵便（電信）局又ハ電信局ニ施設スル私設電信ノ引込及裝置工事並其ノ維持ハ遞信省之ヲ執行ス

前項ノ私設電信施設者ハ遞信省ノ指示スル所ニ從ヒ其ノ設備ニ要スル物件ヲ供給シ其ノ工事費ヲ支拂ヒ且其ノ維持ニ要スル料金ヲ納付スヘシ但シ維持料ノ金額及其ノ納付手續ハ別ニ之ヲ定ム

第二十一條　遞信大臣ハ私設電信ノ施設他ニ障害ヲ及ホシ若ハ危險ノ虞アリト認ムルトキハ改修又ハ特別ノ施設ヲ命スルコトアルヘシ

第二十二條　遞信大臣ハ隨時吏員ヲ派遣シ私設電信ノ裝置方法又ハ通信ノ狀況等ヲ檢査セシムルコトアルヘシ

第二十三條　私設電信施設者此ノ規則ノ條項ニ違背シ又ハ此ノ規則ニ依リ發スル命令ヲ遵守セサルトキハ遞信大臣ハ私設電信ノ使用ヲ停止シ又ハ其ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

第二十四條　此ノ規則ニ依リ遞信大臣ニ提出スル書類ハ總テ其ノ私設電信施設地ノ所轄一等郵便（電信）局ヲ經由スヘシ

第二十五條　第六條第八條但書第九條第一項若ハ第十條第一項ニ違反シタル者ハ二圓以上二十五圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十六條　第七條第八條第九條第二項及第三項若ハ第十條第二項ノ屆出ヲ爲ササル者又ハ第十九條ノ通知ヲ爲ササル者又ハ正當ノ事由ナクシテ第二十二條ノ檢査ヲ拒ミタル者ハ十錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第二十七條　電信法第二條第一號ノ私設電信ニ關シテハ第四條乃至第十三條第十八條第二十條及第二十四條ノ規定ヲ適用セス

附　則

第二十八條　電鈴其ノ他線路ヲ施設シテ信號ヲ爲スモノニ關シテハ第十三條乃至第十九條第二十一條乃至第二十三條ノ規定ヲ準用ス

正午時ノ通報ヲ受クル爲電鈴線ヲ郵便（電信）局又ハ電信局トノ間ニ施設セムトスルモノニ關シテハ前項ノ外第四條乃至第七條第九條乃至第十二條及第二十條ノ規定ヲ準用ス

第二十九條　電信法施行前電信條例ニ依リ電信又ハ電話私設ノ許可ヲ得タル者ハ電信法第二條第一號ニ該當スルモノヲ除クノ外第四條及第五條ノ規定ニ準シ此ノ規則施行ノ日ヨリ六箇月以內ニ遞信大臣ニ願出テ許可ヲ受クヘシ但シ第四條但書ニ該當スルモノハ同一期間內ニ於テ第八條ノ規定ニ準シ屆出ヘシ

前項ノ許可ヲ得タルモノハ第七條ノ規定ニ準シ屆出ヘシ

第一項ノ期間内ニ於テ出願ヲ爲サヽルモノ若ハ其ノ出願ヲ爲スモ許可ヲ得サルモノニ關シテハ第十二條ノ規定ヲ準用ス

第一項及第二項ノ屆出ヲ爲サヽルモノニ關シテハ第二十六條ノ規定ヲ適用ス

第三十條　前條ニ依リ許可ヲ得又ハ屆出ヲ爲シタル私設電信ニシテ其ノ既設工事カ此ノ規則ノ規定ニ適合セサルモノアルトキハ此ノ規則施行ノ日ヨリ三箇年以内ニ之ヲ改造スヘシ但シ其期間内ト雖第二十一條ニ依ル命令ノ效力ヲ妨ケス」

電鈴其ノ他線路ヲ施設シテ信號ヲ爲スモノノ既設工事ニ關シテハ前項ノ規定ヲ準用ス

第三十一條　此ノ規則ハ明治三十三年十月一日ヨリ施行ス

明治二十二年三月遞信省令第四號電信電話線私設條規其ノ他此ノ規則ニ牴觸スル規定ハ之ヲ廢止ス

●私設電信ニ依ル公衆通信取扱規則

明治三十三年九月一日
遞信省令第五十號
改正　三六年第一一號、三九年第一三號

私設電信ニ依ル公衆通信取扱規則左ノ通之ヲ定ム

私設電信ニ依ル公衆通信取扱規則

第一條　電信法第二條ニ依リ施設シタル電信又ハ電話ヲ以テ公衆通信ノ取扱ヲ爲サシムルトキハ其ノ取扱所ノ名稱、位置ハ別ニ之ヲ告示ス但シ通信取扱時間ニ制限ナキ取扱所ノ電報受付時間ハ當該取扱所前ニ之ヲ揭示ス

第二條　私設ノ電信又ハ電話ヲ以テ公衆通信ノ取扱ヲ爲サシムルトキハ其ノ專用ノ電報ハ公衆電報中ノ私報又ハ至急私報ト同一ノ順位ヲ以テ傳送スヘシ但シ鐵道業ノ專用ニ供スル電信又ハ電話ナルトキハ其ノ專用ノ電報ハ公衆電報ニ先チ傳送スルコトヲ得

第三條　公衆通信ノ取扱ヲ爲サシムルトキハ電報取扱料トシテ左ノ區別ニ依リ其ノ私設者ニ之ヲ支給ス但シ同文電報ノ送受ニ對シ支給スヘキ料金ハ第一號乃至第四號料金ノ半額トス

一　官報、私報ノ發信　一通每ニ金五錢
二　官報、私報ノ着信　一通每ニ金四錢
三　官報、私報ノ中繼信　一通每ニ金五錢
四　官報、私報ノ交換通信　一通每ニ金一錢
五　電報直配達區域内ノ配達　一通每ニ金四錢

第四條　〔刪除〕

第五條　公衆通信ノ取扱所ニ於テ別使配達又ハ艀船配達ヲ爲シタルトキハ其ノ取扱料トシテ別ニ定ムル金額ヲ支給シ電報ノ受取證書又ハ電報ノ正寫ヲ交付シタルトキハ其ノ取扱料トシテ電報規則ニ定ムル受取證書料又ハ正寫料ノ全額ヲ支給ス

第六條　電報送受ノ爲郵便〔電信〕局又ハ電信局ニ連接スル電信又ハ電話ヲ以テ公衆通信ノ取扱ヲ爲サシムルトキハ其ノ期間電報ノ託送ヲ爲スコトヲ得ス

第七條　此ノ規則ハ明治三十三年九月勅令第三百五十六號第二項ニ依リ公衆通信ノ用ニ供スル電信電話ニ之ヲ準用ス但シ第三條ノ取扱料金ハ鐵道所屬ノモノヲ除クノ外當該官廳ノ請求ナキトキハ之ヲ支給セス

附則

第八條　此ノ規則ハ明治三十三年十月一日ヨリ施行ス

明治二十八年十月遞信省令第六號及同二十九年八月遞信省令第十四號ハ之ヲ廢止ス

●私設電信規則第二十條ノ料金額及其納付手續

明治三十三年九月一日
遞信省令第四十九號

私設電信規則第二十條ノ料金額及其ノ納付手續左ノ通之ヲ定ム

第一條　私設電信規則第二十條第二項ニ依ル維持料ノ金額左ノ如シ

電信機　一個ニ付　年額金百六十圓
電話機　一個ニ付　年額金八十圓

第二條　維持料ハ私設電信連接ノ郵便〔電信〕局ニ納付スヘシ但シ電信局又ハ三等郵便〔電信〕局ニ連接スルモノハ其ノ管轄一等郵便〔電信〕局ニ納付スヘシ

第三條　維持料ハ年額金ヲ四分シ左ニ揭クル四期ノ別ニ從ヒ每期ノ初月十日マテニ納付スヘシ

第一期　四月一日ヨリ　六月三十日マテ
第二期　七月一日ヨリ　九月三十日マテ
第三期　十月一日ヨリ　十二月三十一日マテ
第四期　一月一日ヨリ　三月三十一日マテ

第四條　一期ノ中途ニ於テ通報ヲ開始スヘキトキハ其ノ期ノ維持料ハ開始ノ月ヨリ其ノ期ノ末月マテノ月數ヲ年額ニ乘シ之ヲ十二分シテ算出シ通報開始ノ日ヨリ十日以内ニ之ヲ納付スヘシ

第五條　一期ノ中途ニ於テ通報ヲ廢止、中止又ハ停止シタルトキト雖其ノ期ノ維持料全額ヲ納付スルモノトス

一期ノ初日ヨリ通報ヲ廢止シ又ハ中止スル場合ニ於テ私設電信規則第十一條ニ依ル屆出ヲ爲サヽルトキハ其ノ期ノ維持料全額ヲ納付スルモノトス

第六條　一期ノ中途ニ於テ機械ノ種類ヲ變更シタルトキト雖其ノ一期分ハ變更前ノ割合ヲ以テ維持料ヲ納付スルモノトス但シ低額ノ維料持ヲ納ムヘキモノヨリ更ニ高額ノ維持料ヲ納ムヘキモノニ變更シタルトキハ第四條ノ規定ニ準シテ其ノ差額ヲ算出シ變更ノ日ヨリ十日以内ニ之ヲ納付スヘシ

第七條　郵便〔電信〕局又ハ電信局ニ連接スル電鈴線ノ正午通報料ハ前各條ノ規定ニ依リ一回線ニ付年額金十二圓ヲ納付スヘシ

●臺灣發著内外電報取扱方

明治三十二年十一月十六日
遞信省告示第三百二十六號

臺灣〔臺北縣〕淡水ヨリ清國福建省川石山ニ至ル海底電信線ハ臺灣ニ發著スル通信ニ限リ之ヲ使用ス

但長崎上海間海底電信線不通ノ場合ニ於テハ本邦ト外國トノ間ニ發著スル通信及大演基隆間海底電信線ノ一部不通ノ場合ニ於テハ本邦内地ト通信ヲ杜絕セラレタル該電信線沿路ノ各地ニ發著スル通信ニモ之ヲ使用ス

●小笠原島臺灣樺太及本邦各地間發受私報通常電報料

明治三十九年五月二十四日
遞信省令第二十三號
改正　三九年第四一號

左記各地間ニ發受スル私報ノ通常電報料左ノ通之ヲ定メ明治三十九年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十五年十月遞信省令第四十九號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

一　小笠原島、臺灣、樺太ト其以外ノ本邦各地トノ間 二　小笠原島、臺灣、樺太相互間	和文片假名十五字以内金四十錢十五字以内ヲ加フル每ニ金十錢ヲ増ス 歐文五語以内金五十錢一語ヲ加フル每ニ金十錢ヲ増ス

●長崎上海經過臺灣著電報料

明治三十二年十二月十一日
遞信省告示第三百六十八號
改正　三七年第四一三號

長崎上海間海底電信線ヲ經テ臺灣ニ著スル電報料ハ一語ニ付金七十八錢トス

但明治三十年七月遞信省告示第百七十四號ハ之ヲ廢止ス

●長崎上海經過内地臺灣間新聞電報送受方

明治三十三年五月一日
遞信省令第十七號

長崎上海間海底電信線ヲ經テ本邦内地ト臺灣トノ間ニ新聞電報ヲ送受スルコトヲ得

前項ノ新聞電報ニハ明治三十年六月遞信省令第十八號ヲ準用ス但其一語每ノ料金ハ金三十四錢トス

本令ハ本月十日ヨリ施行ス

●臺灣島内電報別使配達料金額

明治三十三年九月十四日
遞信省令第六十三號
改正　三六年第二二號

臺灣島内ニテ配達スヘキ電報ノ別使配達料ハ電報規則第六十七條ニ規定スル金額ノ三倍トス

●内地發電報臺灣島内艀船配達料超過實費額追納方

明治三十六年一月二十四日
遞信省令第三號

内地發臺灣島内ニ於テ艀船ニ依リ配達スヘキ電報ノ艀船配達實費額カ電報規則第七十條ニ依リ徵收シタル艀船配達料ニ超過シタルトキハ其超過額ハ受信人ニ於テ之ヲ追納スヘシ

前項ニ依リ受信人ノ追納スヘキ艀船配達料ヲ發信人ニ於テ納付セムトスルトキハ電報規則第六十九條ノ規定ヲ準用ス但シ其指定事項及略符號ハ左ノ如シ

指定事項	和文略符號	歐文略符號
艀船料電報報知	ハム	BT
艀船料郵便報知	ハヨ	BM

本令ハ明治三十六年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

●電信法第六條第七條ノ損害賠償及報酬請求方

明治三十三年九月十一日
遞信省令第五十八號

電信法第六條ニ依ル損害賠償又ハ同法第七條ニ依ル報酬ノ請求ハ其ノ損害ヲ加ヘ又ハ助力ヲ受ケタル電信又ハ電話ノ工夫配達人ノ屬スル局所ヲ管轄スル一等郵便〔電信〕局又ハ電話〔交換〕局ニ之ヲ爲スヘシ

前項ノ請求ヲ爲ス者ハ其ノ請求金額及之ヲ請求スル事由ヲ記載シタル請求書ヲ差出スヘシ

一等郵便〔電信〕局又ハ電話〔交換〕局ハ請求ノ當否及金額ヲ審査シ其ノ決定ヲ請求者ニ通知スヘシ

●無線電信ニ電信法準用方

明治三十三年十月十日
遞信省令第七十七號

電信法ハ第二條第三條第二十八條及第四十三條ヲ除クノ外之ヲ無線電信ニ準用ス

●軍用電信法

明治二十七年六月六日
法律第五號遞、海、陸、大臣副署

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル軍用電信法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

軍用電信法

第一條 軍用電信ハ電氣機械ヲ以テ軍事ニ關スル通信ヲ爲スモノトス
第二條 軍用電信ハ陸軍大臣又ハ海軍大臣之ヲ管理ス
第三條 軍用電信ヲ分チテ左ノ二種トス
一 固定軍用電信
二 遊動軍用電信
第四條 固定軍用電信ハ要塞、衞戍、軍港、要港、【海岸望樓】、監視哨所其ノ他局地ノ防禦ニ必要ナル地點及其ノ各地間通信ノ爲メ之ヲ建設スルモノトス
固定軍用電信ヲ建設スルトキハ明治二十三年法律第五十八號電信線電話線建設條例ヲ準用ス
第五條 遊動軍用電信ハ事變又ハ演習ニ際シ臨時其ノ必要アル各地ニ建設スルモノトス
遊動軍用電信ヲ建設スル爲メ民有ノ營造物ヲ徵用シ之ニ必要ノ工事ヲ施スコトヲ得其ノ徵用及損害賠償ノ手續竝徵用ニ關スル罰例ハ徵發令ヲ準用ス
第六條 軍用電信ハ最寄私設ノ電信取扱所ニ連接シ又私設電線ノ柱木ニ添架スルコトヲ得
第七條 固定軍用電信ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ公衆通信ノ用ニ供スルコトヲ得
第八條 【刑法第百六十四條及明治十八年第八號布告電信條例第五十八條乃至第六十三條及第七十一條】ハ之ヲ軍用電信ニ適用ス
第九條 軍用電信ノ事務ニ從事スル者軍用電信ニ關シ【電信條例第五十八條乃至第六十三條】ノ罪ヲ犯シタルトキハ各本刑ニ照シ一等ヲ加フ又通信ノ旨趣ヲ漏泄シタルトキハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
第十條 軍用電信ニ關シ【電信條例第五十八條及第六十二條】ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ刑法未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

●固定軍用電信ヲ公衆通信ニ供用方

明治三十二年四月二十九日
勅令第百八十七號遞、海、大臣副署

朕固定軍用電信ヲ公衆通信ノ用ニ供スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

公衆通信ノ用ニ供スル固定軍用電信ハ遞信大臣之ヲ告示ス
固定軍用電信ニ依ル公衆ノ通信取扱ニ關スル規則ハ遞信大臣之ヲ定ム

●固定軍用電信公衆通信取扱規則

明治三十二年五月二十二日
遞信省令第十八號

固定軍用電信公衆通信取扱規則左ノ通之ヲ定ム

固定軍用電信公衆通信取扱規則

第一條 固定軍用電信ヲ以テ公衆通信ノ取扱ヲ爲ストキハ特ニ規定スルモノノ外【電信條例及電信取扱規則其他】公衆通信ニ關スル規則ヲ適用ス
第二條 固定軍用電信ヲ以テ公衆通信ノ取扱ヲ爲ストキハ軍事ニ關スル電報ノ傳送ヲ先ニスヘシ
第三條 固定軍用電信ヲ以テ公衆通信ノ取扱ヲ爲ス電信取扱所ニ於ケル別使配達、島嶼配達及船舶配達ハ特ニ指定シタル電信取扱所ノ外ハ之ヲ取扱ハス
第四條 固定軍用電信ヲ以テ公衆通信ノ取扱ヲ爲ス電信取扱所ニ於ケル電報ノ取扱時限及無手數料配達區域ハ別ニ之ヲ告示スヘシ

●公衆電報ヲ取扱ハサル帝國軍用通信所發電報料金徵收方

明治三十九年六月二十九日
遞信省令第三十一號

公衆電報ヲ取扱ハサル帝國軍用通信所ヨリ發スル電報ノ料金ハ陸海軍部內ノ發信ヲ除クノ外其ノ配達局所ニ於テ受信人ヨリ之ヲ徵收ス但シ同文電報ノ料金ハ其ノ通數(原信ヲ含ム)ヲ以テ料金總額ヲ除算シ其ノ得數ヲ各受信人ヨリ徵收スルモノトス

本令ハ明治三十九年七月二十日ヨリ施行ス
明治三十七年五月遞信省令第三十六號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

●官廳用ノ電信電話ニ關スル制

明治三十三年九月一日
勅令第三百五十六號遞、大臣副署

朕官廳用ノ電信及電話ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

官廳カ事務執行ノ爲電信電話ヲ施設スルトキハ軍用電信法ニ依ルモノヲ除クノ外總テ遞信大臣ノ定ムル規程ニ依ルコトヲ要ス
前項ニ依リ施設シタル電信電話ニシテ鐵道所屬ノモノ及公衆通信ノ用ニ供スル電信電話ナキ地ニ施設シタルモノハ該當官廳ノ事務執行ニ差支ナキモノハ遞信大臣之ヲ公衆通信ノ用ニ供スルコトヲ得

附則

本令ハ明治三十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●官廳用電信電話規程

明治三十三年九月一日
遞信省令第五十一號
改正 三四年第四九號

官廳用電信電話規程左ノ通之ヲ定ム

官廳用電信電話規程

第一條 明治三十三年九月勅令第三百五十六號ニ依ル官廳用ノ電信又ハ電話ハ左ニ揭クルモノニ限ル
一 構內ニ施設スルモノ
二 警察事務及刑事訴訟事務ノ專用ニ供スル爲施設スルモノ
三 鐵道、軌道竝私設電信規則第二條第二號乃至第四號ニ揭クル事業ノ專用ニ供スル爲施設スルモノ
四 電報送受ノ目的ヲ以テ郵便【電信】局又ハ電信局トノ間ニ施設スルモノ
五 一市區町村內若ハ鄰接市區町村間ニ於テ又ハ電信電話ノ連絡ナク且第四號ニ依ルヲ不適當トスル市區町村間ニ於テ施設スルモノ
第二條 前條ノ電信又ハ電話ニ關シテハ私設電信規則第四條乃至第十條第十二條乃至第十九條第二十一條第二十二條及第二十四條ノ規定ヲ準用ス但シ前條第一號ノ電信又ハ電話ニ關シテハ私設電信規則第四條乃至第十條第十二條第十三條及第十八條ノ規定ヲ準用セス
前條第四號ノ電信又ハ電話ニ關シテハ前項ノ外私設電信規則第十一條第二十條及明治三十三年九月遞信省令第四十九號ノ規定ヲ準用ス

附則

第三條 電鈴其ノ他線路ヲ施設シテ信號ヲ爲スモノニ關シテハ私設電信規則第十三條乃至第十九條第二十一條及第二十二條ノ規定ヲ準用ス
第四條 此ノ規程施行前電報送受ノ爲郵便【電信】局又ハ電信局トノ間ニ施設シタル電信又ハ電話ニ關シ特ニ期限ヲ定メテ契約シタルモノハ其ノ期限內ニ限リ明治三十三年九月遞信省令第四十九號規定ノ維持料金額ニ拘ハラス其ノ契約ニ定メタル料金額ヲ納付スルモノトス
第五條 電信條例ニ依リ施設ノ許可ヲ得タル電信又ハ電話ニ關シテハ此ノ規程施行ノ日ヨリ六箇月以內ニ私設電信規則第五條第一號乃至第三號及第七條各號ニ揭クル事項ヲ記載セル書類ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ
第六條 此ノ規程施行前ニ於テ既ニ施設シタル電信又ハ電話ノ工事中此ノ規程ニ適合セサルモノニ關シテハ私設電信規則第三十條第一項ノ規定ヲ準用ス
電鈴其ノ他線路ヲ施設シテ信號ヲ爲スモノノ既設工事ニ付テモ亦同シ
第七條 此ノ規程ハ明治三十三年十月一日ヨリ施行ス

●電信線電話線建設條例

明治二十三年八月七日
法律第五十八號內、遞、大臣副署

朕電信線電話線建設條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

電信線電話線建設條例

第一條 遞信省ニ於テ公衆通信ノ用ニ供スル電信線電話線ヲ建設スル爲民有ノ土地又ハ營造物ノ使用ヲ要スルトキハ所有者及其他ノ權利者之ヲ拒ムコトヲ得ス
官有ノ土地又ハ營造物ハ其所管廳ニ通知シテ之ヲ使用スルコトヲ得
第二條 公衆通信ノ用ニ供スル電信線電話線ノ建設ニ從事スル者其建築修理及線路測量ノ爲必要ナルトキハ他人ノ所有地ニ入ルコトヲ得
其邸宅構內ニ入ルヲ要スルトキハ所有者又ハ其他ノ權利者ニ通知スヘシ
前二項ノ場合ニ於テハ主務者タル證票ヲ携帶スヘシ
第三條 遞信省ハ公衆通信ノ用ニ供スル電信線電話線ノ建設又ハ通信ニ障碍アル瓦斯支管水道支管下水支管電燈線電力線及私設電信線電話線ヲ所有者又ハ其他ノ權利者ニ命シテ移轉セシムルコトヲ得
其建設通信ニ障碍アル竹木其他ノ植物ハ已ムヲ得サルモノニ限リ之ヲ伐除シ若クハ所有者又ハ其他ノ權利者ニ命シテ之ヲ伐除又ハ移植セシムルコトヲ得
第四條 遞信省ニ於テ公衆通信ノ用ニ供スル電信線路電話線路ノ測量ヲ爲シタルトキハ電柱ノ建設ヲ要スル場所ニ測標ヲ設置スルコトヲ得
第五條 公衆通信ノ用ニ供スル電信線路電話線路ヲ移轉スル必要アル者ノ請求ニ由リ遞信省ニ於テ之ヲ許可シタルトキハ其移轉費用ハ請求者之ヲ負擔スルモノトス
第六條 遞信省ニ於テ民有地ニ電信線電話線ノ柱木ヲ建設シタルトキハ一本每ニ一箇年四錢ノ手當金ヲ給與ス但所有者又ハ其他ノ權利者ニ於テ手當金ヲ望マサルトキハ此限ニアラス

第七條　左ニ掲クルモノハ其要求ニ對シ遞信省之ヲ補償スヘシ
一　建築修理及線路測量ノ爲生シタル損害
二　瓦斯支管水道支管下水支管電燈線電力線及私設電信線電話線ヲ移轉シタル費用
三　伐除シタル竹木其他植物ノ代價又ハ移植ノ費用
第八條　第七條ノ補償金額ハ雙方協議之ヲ定メ若シ其協議協ハサルトキハ市町村長（未タ市制町村制ヲ實施セサル地方ハ區戸長）ヲシテ之ヲ評定セシム
市町村長ノ評定ニ服セサル者ハ其評定ノ通知ヲ受ケタル月ヨリ一箇月以內ニ裁判所ニ出訴スルコトヲ得

●電信電話建築官證票雛形

明治二十三年十一月二十五日
遞信省告示第二百五十三號
改正　三〇年第三三七號

電信線電話線建設條例第二條第二項ノ證票左ノ通相定ム

電信電話建築官證票雛形

（三寸 × 二寸）

第　　號
電信電話建築官吏之證　（官氏名）
明治　年　月　日　遞信省印

●私設電信電話線其他電機工事遞信省ヘ委託手續

明治二十三年五月七日
遞信省告示第八十七號

私設電信電話線其他電機ニ係ル工事ノ執行ヲ遞信省ニ委託セントスルトキハ左ノ手續ニ據ルヘシ
一　私設電信電話線ノ架設及臨時ノ修理其他總テ電機建設ニ係ル工事ノ執行方ヲ遞信省ニ請求シ其許可ヲ得タルトキハ其工事ニ要スル物品ハ電信建築官ノ承認ヲ經テ工事委託者ヨリ之ヲ電信建築官ニ交付スヘシ
二　工事ニ關スル官吏ノ旅費、工夫及雇人ノ賃金、電柱代假又ハ工事現場ニ於テ臨時ニ購入スヘキ物品代價ハ委託者ヨリ直ニ電信建築官ノ指定スル請求人ニ交付スヘシ但諸費支拂場所及支拂人名ハ豫メ電信建築官ニ通知シ置クヘシ
三　電信建築官工事現場ニ於テ諸費ノ支拂ヲ必要ト認メ之ヲ委託者ニ通知スルトキハ支障ナキ樣取計フヘシ
四　私設電信電話線ヲ遞信省所屬電信柱ニ添架シタル後其線路維持ニ係ル費用ハ遞信省ニ於テ別ニ定ムル手續ニ依リ之ヲ納付スヘシ

●電信及電話線路移轉願書差出方

明治三十六年四月七日
遞信省告示第二百三十八號

電信線路電話線路ノ移轉ヲ請求セントスルモノハ自今所轄［通信管理局又ハ一等郵便局］ヘ願書差出スヘシ

●電柱敷地手當金ヲ望マサル者アルトキ取扱方

明治二十四年八月四日
遞信省訓令第六號
改正　三二年第一號
北海道廳　府縣

電信線電話線ノ柱木敷地手當金ノ交付ヲ望マサルモノアルトキハ其度限リ之ヲ交付セス其都度人名及柱木ノ員數ヲ電信電話ニ區分シ之ヲ本大臣ニ報告スヘシ但客年法律第五十八號實施ノ日ヨリ本年九月三十日迄ニ係ルモノハ本年十月三十一日ヲ限リ取纏メ之ヲ報告スヘシ

●電柱敷地手當金請求方

明治二十三年四月四日
遞信省告示第六十八號
改正　二八年第四八號、三三年第一百一號

民有地ニ建設セル電柱敷地手當金請求方ハ自今前年四月ヨリ次年三月マテノ分ハ其年七月三十一日マテニ交付候條該敷地手當金ヲ受領スヘキ者ハ左ノ書式ニ據リ其年四月五日迄ニ管轄地方廳ヘ交付方申出ツヘシ但受領者ハ最寄協議ノ上便宜代理人ヲ定メ交付方申出ツルモ妨ケナシ

（書式）

請求書（債主自ラ請求スルトキノ例）

一金何程　明治何年度分電柱敷地手當
內譯
金何程　電信柱本支柱何本分
金何程　電話柱本支柱何本分
右交付相成度候也
年　月　日
住所　姓　名　印
北海道廳長官
府縣知事　宛

請求書（債主二人以上ノ分ヲ代理請求スルトキノ例）

一金何程　明治何年度分電柱敷地手當
內譯
金何程　電信柱本支柱何本分

內

債主住所	本支柱本數	金額
		圓

金何程　電話柱本支柱何本分
內

債主住所	本支柱本數	金額
		圓

右交付相成度候也
年　月　日
何某外何人代人
住所　姓　名　印

電報配達町程調表
何府縣又ハ廳
何國
何々郵便［電信］局又ハ電信取扱所

部				
イノ部	何市何區何町　何町以內	同上何々町　何町以內	何郡何村大字何々　何里以內	同上何々字何々　何里以內
	何郡何町大字何　何里何町以內	同郡何村大字何々　何里何町以內	何國何郡何島　海陸何里何町	
ロノ部	何郡何村　何里以內	同郡何村大字何々字何々　何里何町以內		
ハノ部	何國何郡何村　何里以內	何郡何村大字何　何里以內	同上何々字何々　何里以內	
以下此例ニ準ス				

●電報配達町程調表調製方

北海道廳長官
府縣知事　宛

明治二十四年九月十七日
遞信省訓令第十號
北海道廳　府縣

新ニ電信局所ヲ開始スルトキ若クハ既設電信局所電報配達町程表ノ改正ヲ要スルトキハ電報配達町程調查ノ爲メ町村名及里程ノ取調方ヲ監督一等郵便［電信］局又ハ當該電信局所ヨリ照合スヘキニ依リ其廳ハ左ノ書式並備考ニ照準調表ヲ製シ照合ヲナシタル局所ニ之ヲ送付スヘシ
但町程表中不完全ノ箇所取調方照合ヲ受ケタルトキハ本書式ニ準據スルヲ要セス

書式

●本邦ト在韓國本邦郵便電信局郵便局間直發著電報取扱規則

明治三十三年四月二十日
遞信省令第八號
改正　三三年第五九號、三四年第二二號、三七年第二三號
○號、三八年第四一號同第七三號

本邦ト在韓國本邦郵便電信局郵便局間直發著電報取扱規則左ノ通相定メ來五月一日ヨリ施行ス
但明治三十年六月遞信省令第十七號ハ本規則施行ノ日ヨリ廢止ス

本邦ト在韓國本邦［郵便電信局］郵便局間直發著電報取扱規則

第一條　對馬釜山間海底電信線ヲ經テ本邦ト在韓國本邦［郵便電信局］郵便局間ニ直發著スル電報ハ此規則ニ定ムルモノヽ外萬國電信條約ニ據リ取扱フヘシ
第二條　和文電報ハ片假名數字ヲ通シテ七字以內每ニ一語トス
字數ニ算入スヘキ文字ノ記載ナキ和文電報ハ一語トシテ料金ヲ課ス
第三條　軍事ニ關スル本邦政府ノ官報ハ專用電信線上ニ在リテハ他ノ官報ニ先タチ傳送ス
第四條　左ニ掲クルモノハ內國電信ノ規定ヲ準用ス
一　和文電報ノ書法及字數計算
二　歐文電報ニシテ郵便受信報知及別使者ヘ解解配達ヲ要スルモノノ略符號
三　局待又ハ親展トナシタル電報
四　同文電報料額
五　照信正誤手數料額
六　郵便ニ依リ又ハ電報受附函ニ投入レ若ハ電報配達人ニ依託スル電報ノ差出及受附

七　電報料及手數料ノ納付手續
八　電報受取證書手數料
九　電報ノ配達
十　傳送前電報返還ノ手數料
十一　和文電報ニ關シテ假納シタル照問校正料ノ還付額
十二　電報料及手數料ノ還附ニ要スル物件

第五條　萬國電信條約第七條ニ據リ停止シタル電報ノ料金ハ之ヲ還附セス
第六條　電信受信報知ヲ要スル電報ハ歐文ハ五語分和文ハ二語分ノ料金ヲ增納スヘシ
郵便受信報知ヲ要スル電報ハ內國郵便【稅】率ニ據リ其郵便【稅】ヲ增納スヘシ
第七條　無手數料配達區外ニ住居スル發信人ニ於テ別使、艀船又ハ書留郵便ヲ以テ受信報知ノ配達ヲ得ントスルトキハ賴信紙ノ端末ニ其旨ヲ記載シ相當ノ配達料ヲ納ムヘシ
第八條　韓國ニ宛タル電報ニシテ著信局所在地ニ配達スルモノハ手數料ヲ要セス但艀船配達ハ此限ニアラス
第九條　韓國無手數料配達區外ニ宛テタル電報ニシテ書留郵便又ハ別使ヲ以テ配達スヘキモノ及釜山港又ハ仁川港碇泊ノ艦船ニ宛テタル電報ニシテ書留郵便又ハ艀船ヲ以テ配達スヘキモノハ書留郵便、別使又ハ艀船配達ノ略符號ヲ以テ之ヲ指定スヘシ其配達方ヲ指定セサルモノハ無料ノ普通郵便ヲ以テ之ヲ配達ス
第十條　書留郵便ヲ以テ配達スヘキ電報ハ其配達料トシテ金七錢ヲ納ムヘシ
第十一條　在韓國郵便局所ニ於テ別使又ハ艀船ヲ以テ配達スヘキ電報ノ配達料ハ別ニ之ヲ告示ス
第十二條　前條ニ據リ別使又ハ艀船ヲ以テ配達スヘキ電報ノ發信人ハ其配達料ヲ納ムヘシ
第十三條　國外ニ郵送スヘキ和文電報ニハ外國郵送ノ略符號ヲ以テ指定スヘシ

●韓國內電報規則

明治三十八年六月十六日
遞信省令第四十號
改正　三八年第五八號第六六號

韓國內電報規則左ノ通相定メ明治三十八年七月一日ヨリ施行ス
明治三十三年九月遞信省令第九號ハ之ヲ廢止ス

韓國內電報規則

第一條　韓國內ニ於テ發著スル電報ニ關シ本規則ニ規定ナキ事項ハ明治三十三年九月遞信省令第四十六號電報規則ヲ準用ス但シ該文電報ニ關シテハ電報規則第百五條乃至第百七條ヲ除クノ外和文電報ニ關スル規定ヲ準用ス
第二條　和文電報ハ片假名數字ヲ通シテ七字以內每ニ諺文電報ハ諺文三字以內每ニ一語トス但シ諺文電報ノ指定事項ニ用井タル略符號ハ各之ヲ諺文一字ニ計算ス其ノ略符號ニ數字ヲ附記シタルモノ亦同シ
第三條　通常電報料ハ一語ニ付金十錢トス
和文電報及諺文電報ニシテ字數ニ算入スヘキ文字記載ナキモノト雖一語分ノ電報料ヲ課ス
第四條　軍事ニ關スル本邦政府ノ官報ハ軍用電信線上ニ在リテハ他ノ官報ニ先タチ傳送ス
第五條　電信局所ヨリ陸上一里以內ヲ電報直配達區域トス但シ必要ト認ムルトキハ其區域ヲ伸縮スルコトアルヘシ
第六條　別使又ハ艀船ヲ以テ配達スヘキ電報ノ配達料ハ別ニ之ヲ告示ス
第七條　返信料前納電報ニシテ和文又ハ諺文一語欧文二語ヲ超ヘテ返信料ヲ前納スルモノハ其ノ略符號ノ次ニ返信ノ語數ヲ附記スヘシ
第八條　本邦ニ宛テ郵送スル和文電報ハ外國郵送電報トス
第九條　和文電報及諺文電報ノ電信受信報知料並別使料電報報知ニ要スル料金ハ一通每ニ二語分ノ通常料金トス
第十條　電報規則第百十四條ノ場合ニ於テ和文又ハ諺文一語欧文二語ノ通常料金ヲ控除シ尙前納ノ返信料金ニ殘餘アルトキハ之ヲ還付ス
第十一條　諺文電報ハ電話加入者ノ使用ニ屬スル電話機又ハ電信局所ニ連接スル私設ノ電信電話ヲ以テ發受スルコトヲ得ス但シ公衆通信ノ用ニ供シタル私設電信線ニ在リテハ特ニ之ヲ取扱ハシムルコトアルヘシ

明治三十八年六月十六日
遞信省告示第三百三十六號
改正　三八年第五三八號

電信事務ヲ取扱フ在韓國郵便局所ニ於テ來七月一日ヨリ左記事項ニ據リ諺文電報ノ取扱ヲ爲ス但シ京城郵便局【及釜山郵便電信受取所】ニ於テハ之カ取扱ヲ爲サス
一　諺文電報ハ指定事項ニ用井タル略符號及之ニ附記シタル數字ヲ除クノ外全部諺文ヲ以テ書載シタルモノニシテ在韓國郵便局所相互間ニ發著スルモノニ限ル

●電報料金後納規則

明治三十九年十月十四日
統監府令第四十號

電報料金後納規則左ノ通定ム

電報料金後納規則

第一條　官廳ハ其ノ發出スル電報ヲ郵便局ニ照會

スル場合ニ限リ其ノ電報料金ヲ後納ト爲スコトヲ得
第二條　電報料金後納ノ取扱ヲ受ケムトスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ所在地ノ郵便局ニ差出シ電報料金後納帳ノ交付ヲ受クヘシ
一　電報料金後納取扱開始月日及期間
二　電報料金後納ノ取扱ヲ爲スヘキ電報ノ區別（內國電報、外國電報、外國電報ハ內外國電報）
第三條　料金後納電報ノ電報料金ハ當月分ヲ翌月二十日迄ニ其ノ取扱ヲ受クル郵便局ニ通貨ヲ以テ之ヲ納付スヘシ
第四條　料金後納電報ノ電報料金ハ總テ電報料金後納帳ニ依リ之ヲ精算ス
第五條　官廳以外ノ者ニシテ電報料金後納ノ取扱ヲ受ケムトスルトキハ第二條ノ左記事項及其ノ取扱ヲ要スル理由ヲ具シ其ノ取扱ヲ受ケムトスル所在地ノ郵便局ヲ經テ統監府通信管理局長ノ認可ヲ請クヘシ
第六條　前條ニ依リ其ノ認可ヲ得タル者ハ電報料金後納保證金ヲ納付スヘシ該保證金ノ金額及其ノ納付方ハ統監府通信管理局長ノ定ムル所ニ依ル
第七條　料金後納電報ノ電報料金ヲ期日迄ニ納付セサルトキハ其ノ料金ノ納付ヲ爲ス迄料金後納電報ノ取扱ヲ爲ササルコトアルヘシ
前項ノ場合ニ於テ官廳以外ノ者ナルトキハ料金後納取扱ノ認可ヲ取消スコトアルヘシ但シ其ノ納付スヘキ料金ハ電報料金後納保證金ヲ以テ精算シ若不足アルトキハ其ノ不足額ハ之ヲ追徵ス

附　則

第八條　本規則ハ明治三十九年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

第九條　從來電報料金後納ノ取扱ヲ受クル者ニシテ本規則實施後モ引續キ其ノ取扱ヲ受ケムトスルトキハ更ニ第二條ノ事項ヲ書面ヲ以テ申出ツヘシ

●韓國內電報別使配達料艀船配達料並別使又ハ艀船ヲ以テ配達スルヲ得ヘキ地名

明治三十八年八月九日
遞信省告示第四百四十一號

韓國內電報ノ別使配達料艀船配達料並別使又ハ艀船ヲ以テ配達スルコトヲ得ヘキ地名ハ明治三十七年六月遞信省告示第三百二十號ニ定ムルモノヲ適用ス
明治三十三年四月遞信省告示第百六十三號ハ之ヲ廢止ス

明治三十九年十二月二十九日
統監府告示第百五十三號

明治四十年一月一日ヨリ韓國內電報別使配達料及艀船配達料左ノ通定ム

配達局名	艀船碇泊ノ港灣名	艀船配達料
釜山局	釜山港	〇・二〇〇
馬山局	馬山港	〇・二〇〇
仁川局	仁川港	一・〇〇〇
鎭南浦局	鎭南浦港	〇・三〇〇
元山局	元山港	〇・四〇〇
龍岩浦局	龍岩浦錨地 多獅島	五・〇〇〇
同上	サンドウロ及斗流浦	三・〇〇〇

前記以外ノ各地ニ宛テタルモノノ別使配達料及艀船配達料ハ里程ニ拘ラス金五十錢トシ配達實費之ニ超過シタルトキハ其ノ實費額ニ依ル

●統監府郵便電信受取所電信受取所ニ於テ電報配達事務取扱

明治三十九年三月二十日
統監府告示第十三號

郵便電信受取所電信受取所ニ於テハ電報配達事務ヲモ取扱ハシム

●統監府電信電話建築官吏及郵便電信電話料金滯納者財產差押官吏證票雛形

明治三十九年七月七日
統監府告示第六十五號

電信線電話線建設條例第二條及明治三十三年遞信省令第六十七號滯納料金徵收規程第三條ニ依ル證票左ノ通定ム

電信電話建築官吏證票雛形

（二寸 × 三寸）

第　　號
（官　氏　名）
電信電話建築官吏之證
明治　年　月　日
［統監府通信管理局印］

郵便電信電話料金滯納者財產差押官吏證票雛形

（二寸 × 三寸）

第　　號
（何局）
（官　氏　名）
郵便電信電話料金滯納者財產差押官吏之證
明治　年　月　日
［統監府通信管理局印］

●官廳用軍用及私設電信電話維持規程

明治三十九年九月三十日
統監府令第三十九號

官廳用、軍用及私設電信電話維持規程左ノ通定ム

官廳用、軍用及私設電信電話維持規程

第一條　官廳用、軍用及私設ノ電信電話ニシテ統監府通信管理局(以下單ニ通信管理局トス)ニ於テ其ノ維持ヲ執行スルモノハ本規程ニ依ル

第二條　電報送受又ハ正午時ノ通報ヲ受クル爲電信又ハ電話事務ヲ取扱フ統監府通信官署(以下單ニ通信官署ト稱ス)ト其ノ間ニ電線ヲ連接スルトキハ其ノ施設者ハ通信管理局ノ指示スル所ニ從ヒ其ノ通信官署ニ設備スル必要物件ヲ供給シ其ノ工事費ヲ仕拂ヒ且左ノ區別ニ依リ維持料(正午時通報ノ取扱料ヲ包含ス)ヲ納付スヘシ其ノ維持ハ通信管理局ニ於テ之ヲ執行ス

一電信機(引込電線電池其ノ他ノ附屬品共)　一箇ニ付　年額金二百圓
一電話機(同)　一箇ニ付　年額金百圓
一報時機(同)　一箇ニ付　年額金十五圓

前項電信機又ハ電話機ニ報時機ヲ裝置シタルトキハ其ノ報時機維持料ハ之ヲ納付スルヲ要セス

第三條　官廳用、軍用及私設電信電話ノ施設者ハ電線電池ノ維持ヲ通信管理局ニ依託スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第四條及第五條ニ依リ其ノ維持料ヲ納付スヘシ但シ電池維持ノ依託ハ電線維持ノ依託ヲ爲スモノニ限ル

第四條　電線維持料ハ統監府線路ヘ併架シタルモノト併架セサル單獨線路トヲ問ハス維持ニ係ル一切ノ費用ヲ合セ線數一條里程一町ニ付年額金一圓二十錢トス其ノ一町未滿ノ端數亦同シ但シ特種ノ物品ヲ要スルモノハ此ノ限ニ在ラス

前項維持料ハ統監府線路ヘ併架セサル單獨線路ノ電柱敷地手當及通信管理局ノ必要ニ起因セサル電柱移轉又ハ線路變更等ニ要スル費用ハ之ヲ包含セス

第五條　電池維持料ハ裝置場所一箇所ニ付電池數十箇以内ハ年額金七圓二十錢トシ十箇以内ヲ增ス每ニ年額金一圓八十錢ヲ加算ス

前項ノ維持料ハ維持ニ要スル傭人料及掃除用器具代ノミニシテ所要材料ハ一切之ヲ包含セス

第六條　維持料ハ通信管理局ノ指定スル通信官署ニ之ヲ納付スヘシ但シ郵便局ニ電線ノ連接スル場合ニ在リテハ其ノ郵便局ニ之ヲ納付スヘシ

第七條　維持料ハ年額ヲ四分シ左ニ掲クル四期ノ別ニ從ヒ每期ノ初月十日迄ニ之ヲ納付スヘシ

第一期　自四月一日至六月三十日
第二期　自七月一日至九月三十日
第三期　自十月一日至十二月三十一日
第四期　自一月一日至三月三十一日

第八條　一期ノ中途ニ於テ通報(電報送受及正午時通報ヲ云フ以下同シ)ヲ開始シ又ハ維持ヲ依託スルトキハ各其ノ期ノ維持料ハ通報開始又ハ依託ノ月ヨリ其ノ期ノ末月迄ノ月數ヲ年額ニ乘シ之ヲ十二分シテ算出シ其ノ開始又ハ依託ノ日ヨリ十日以内ニ之ヲ納付スヘシ

第九條　一期ノ中途ニ於テ通報又ハ維持ノ依託ヲ廢止、中止若ハ停止シタルトキト雖其ノ期ノ維持料ハ之ヲ還付セス

一期ノ初日ヨリ通報又ハ維持ノ依託ヲ廢止若ハ中止スル場合ニ於テモ其ノ施設者又ハ維持依託者ヨリ十五日以前ニ電線連接ノ通信官署(維持依託者ニシテ郵便局ニ電線ノ連接セサルモノニ在リテハ通信管理局ノ指定スル通信官署)ヘ其ノ旨届出ヲ爲サヽルトキハ其ノ期ノ維持料ハ其ノ金額ヲ徵收ス

第十條　一期ノ中途ニ於テ機械ノ種類又ハ電池數ヲ變更シタルトキト雖其ノ一期分ハ變更前ノ料金ヲ以テ維持料ヲ納付スヘシ但シ變更前ヨリ高額トナリタルトキハ第八條ノ規定ニ準シテ其ノ差額ヲ算出シ變更ノ日ヨリ十日以内ニ納付スヘシ

第十一條　第三條ニ依ル維持依託中線柱移轉又ハ修築等ノ爲線路伸長シタル場合ハ其ノ月ヨリ線路短縮シタル場合ハ其ノ翌月ヨリ各其ノ伸縮シタル里程ニ應シ維持料ヲ改定ス但シ其ノ伸縮里程一町未滿ナルトキハ其ノ年度内ハ維持料ヲ改定セス

附　則

第十二條　本規程ハ明治三十九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十三條　本規程施行前從來遞信省ニ於テ定メタル規程ニ依リタルモノハ次年度内ニ限リ又特ニ期限ヲ定メテ契約シタルモノハ其ノ期限内ニ限リ本規程ニ依ラス從前ノ規程又ハ契約ニ依ル

●電信電話ノ犯罪ニ關スル律令

明治三十四年三月二十日
律令第一號

臺灣總督府評議會ノ議決ヲ經タル電信電話ノ犯罪ニ關スル律令勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ發布ス

何等ノ目的ヲ問ハス電信線電話線其他電信電話ノ機器建造物ヲ毀損シ又ハ電信電話ノ通信ヲ障碍シタル者ハ輕懲役ニ處ス

過失ニ依リ電信電話ノ通信ヲ障碍シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

●臺灣島内電報別使配達料

明治三十三年九月三十日
臺灣總督府令第八十八號
改正　三四年第六二號、三六年第三四號

臺灣島内ニ於テ配達スヘキ電報ノ別使配達料及特種別使配達料ハ明治三十三年遞信省令第四十六號電報規則第六十七條ニ規定セル金額ノ三倍トス

本令ハ明治三十三年十月一日ヨリ施行ス

●臺灣島内電報艀船配達料超過實費額追納方

明治三十六年一月三十日
臺灣總督府令第八號

臺灣島内ニ於テ艀船ニ依リ配達スヘキ電報ノ艀船配達實費額ニシテ電報規則第七十條ニ依リ徵收シタル艀船配達料ニ超過シタルトキハ其ノ超過額ハ受信人ニ於テ之ヲ追納スヘシ

前項ニ依リ受信人ノ追納スヘキ艀船配達料ヲ發信人ニ於テ納付セントスルトキハ電報規則第六十九條ノ規定ヲ準用ス但シ其ノ指定事項及略符號ハ左ノ如シ

指定事項	和文略符號	歐文略符號
艀船料電報報知	ハム	BT
艀船料郵便報知	ハヨ	BM

本令ハ明治三十六年二月一日ヨリ施行ス

●電話機ニ依ル電報取扱局名

明治三十八年五月十二日
臺灣總督府告示第六十五號
三九年第一三〇號第一三八號

明治三十八年五月十五日ヨリ電報規則第七十五條ニ依ル電報ノ取扱局左ノ通改ム

電話加入區域	取扱局
臺北	臺北郵便電信局
基隆	基隆郵便電信局
臺中	臺中郵便電信局
臺南	臺南郵便電信局
宜蘭	宜蘭郵便電信局
淡水	淡水郵便電信局
彰化	彰化郵便電信局
打狗	打狗郵便電信局
嘉義	嘉義郵便電信局
橋仔頭	橋仔頭郵便電信局
金包里	金包里郵便電信局
新竹	新竹郵便電信局
鹽水港	鹽水港郵便電信局
鳳山	鳳山郵便電信局

●新聞電報規則

明治三十五年四月二十二日
臺灣總督府令第三十號
改正　三七年第四九號

新聞電報規則左ノ通相定ム

新聞電報規則

第一條　新聞社又ハ其ノ新聞通信者ヨリ新聞社ニ宛テタル新聞紙ニ掲載スヘキ事項ノ電報ハ此ノ規則ニ依リ新聞電報トシ臺灣內ニ限リ之ヲ差出シ又ハ受取ルコトヲ得

第二條　新聞電報料ハ左ノ如シ

和文片假名十五字以内　金十錢
五字以内ヲ加フル每ニ金三錢ヲ增ス

第三條　新聞電報ハ數字又ハ片假名ヲ以テ示シタル商標又ハ商號ヲ除ク外普通辭ヲ以テ記載シタルモノニ限ル

第四條　新聞電報ハ至急、返信料前納、照校、受信報知及同文電報ト爲シ又ハ傳送配達上特殊ノ指定ヲ付スルコトヲ得ス

第五條　新聞電報トシテ差出シタル電報ニシテ當該電信官署ニ於テ新聞電報ニアラスト認ムルモノハ之カ取扱ヲ拒絶スヘシ

第六條　新聞電報ヲ受取ル新聞社ハ左ノ證票ヲ調製シ新聞電報ノ配達ヲ爲スヘキ電信官署ノ認印ヲ受ケ其ノ發信人タルヘキ新聞社又ハ新聞通信者ニ交付スヘシ

新聞電報ヲ差出サントスル者ハ其ノ都度發送ヲ依託セントスル電信官署ニ前項ノ證票ヲ呈示スヘシ但シ證票ノ使用期間ハ前項ノ認印ヲ受ケタル日ヨリ滿一箇年トス

第　號
新聞電報差出人之證
何廳何街庄何番戶
何新聞社印

三寸五分　二寸四分　紙質强質白紙

第七條　新聞電報ヲ受ケタル者ハ其ノ電報ノ事項ヲ次回又ハ第三回發行ノ新聞紙ニ掲載スヘシ

第八條　新聞電報ヲ受ケタル者ハ其ノ事項ヲ掲載シタル新聞紙一部ヲ其ノ電報ノ配達ヲ爲シタル電信官署ニ差出スヘシ

第九條　新聞電報ニアラサル通信ヲ新聞電報ト爲シタルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ通常電報トシ其ノ字數ニ相當スル料金ノ不足額ノ二倍ヲ發信人ヨリ追徵ス

新聞電報ヲ受ケタル者正當ノ理由ナクシテ之ヲ次回又ハ第三回發行ノ新聞紙ニ掲載セサルトキハ之ヲ通常電報トシ其ノ字數ニ相當スル料金ノ不足額ノ二倍ヲ受信人ヨリ追徵ス但シ情狀ニ依リ六箇月以内ノ期間ヲ限リ新聞電報ノ取扱ヲ拒絶スルコトアルヘシ

第十條　新聞電報ハ通信輻湊ノ爲一般ノ電報傳送ニ妨ケアリト認ムルトキハ其ノ取扱ヲ停止スルコトアルヘシ

第十一條　新聞電報ハ此ノ規則ニ定ムル事項ノ外總テ一般ノ規定ニ依ル

附　則

第十二條　此ノ規則ハ明治三十五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

●私設電信規則第二十四條及同規則第二十條ノ料金額及其ノ納付手續第二條ノ事務ヲ取扱フ臺灣總督府郵便電信局

明治三十七年三月三日
臺灣總督府令第十號

明治三十三年九月遞信省令第四十八號私設電信規則第二十四條及同省令第四十九號私設電信規則第二十條ノ料金額及其ノ納付手續第二條ニ依リ一等郵便電信局ノ行フヘキ事務ハ各一、二等郵便電信局(淡水郵便電信局ヲ除ク)ヲシテ之ヲ行ハシム

明治三十五年六月府令第四十一號ハ之ヲ廢止ス

明治三十七年二月三日
臺灣總督府告示第十九號

明治三十三年九月遞信省令第四十八號私設電信規則第二十四條及同省令第四十九號私設電信規則第二十條ノ料金額及其ノ納付手續第二條ニ依ル一、二等郵便電信局ノ分掌區域左ノ通相定ム

分掌局	區域
臺北郵便電信局	臺北、深坑、【桃仔園】各廳管內
基隆郵便電信局	基隆廳管內
宜蘭郵便電信局	宜蘭廳管內
新竹郵便電信局	新竹廳管內
苗栗郵便電信局	苗栗廳管內
臺中郵便電信局	臺中、南投各廳管內
彰化郵便電信局	彰化廳管內
斗六郵便電信局	斗六管內
嘉義郵便電信局	嘉義廳管內
臺南郵便電信局	臺南、鹽水港、蕃薯寮各廳管內
打狗郵便電信局	鳳山廳管內(鳳山局分掌區域ヲ除ク)
鳳山郵便電信局	鳳山廳大竹里ノ內石榴仔街、虎頭前後街、豆油巷街、新打路街、大埤底街、大房口街、縣口街、大廟口街、柴市街、中和街、草店尾街、瓦窯尾街、大老街、大老甘宅街、田仔下街、三角窓街、魚市街、鴨市仔街、登瀛街、莿桐脚街、北門街、城隍廟街、粟倉口街、埔頭巷街、照牆後街、奥翔埕街、大廟後街、店仔口街、下橫街、過溝仔街、王爺巣園街、西門街、竹仔脚庄、武洛塘道舊廟庄、新庄仔庄、竹巷庄、新甲庄、崗山仔庄、下柴園庄、七老爺庄、中崙庄、小竹上里、小竹下里、鳳山上里、赤山里、觀音內里一圖、阿猴、恆春各廳管內
臺東郵便電信局	臺東廳管內
澎湖郵便電信局	澎湖廳管內

●電信線電話線ノ移轉出願方

明治三十八年六月二十一日
臺灣總督府令第四十一號

公衆通信ノ用ニ供スル電信線、電話線ヲ建設シタル土地ノ所有者又ハ其ノ他ノ權利者ニシテ該電線ノ移轉ヲ必要トスルトキハ其ノ事由ヲ具シ所轄建築事務兼掌郵便電信局ニ出願スルコトヲ得

當該郵便電信局ニ於テ前項ノ願出ヲ許可シタルトキハ其ノ移轉費用ハ出願者ノ負擔トス

●官廳用軍用及私設電線ノ保守並電池掃除依託規則

明治三十八年八月二十四日
臺灣總督府令第六十三號
改正　三九年第二八號

官廳用、軍用及私設電線ノ保守並電池掃除依託規則左ノ通相定ム

官廳用、軍用及私設電線ノ保守並電池掃除依託規則

第一條　官廳用、軍用又ハ私設ノ電線及電池ノ施設者若ハ管理者ハ其ノ電線ノ保守又ハ電池ノ掃除ヲ民政部ニ依託スルコトヲ得

民政部前項ノ依託ヲ受ケタルトキハ之ヲ審査シ其ノ諾否ヲ依託者ニ通知スヘシ

第二條　前條ノ依託申請書ニハ左ノ事項ヲ詳記シタル書類ヲ添附スヘシ

一　電線ノ位置、線路ノ里程、架線ノ種類、太サ、及延長里程
二　電池ノ種類及箇數

前項第一號ノ事項ハ別ニ圖面ヲ以テ之ヲ表示シ第二號電池ノ箇數ハ各箇所別ニ計算スヘシ

第三條　第一條ノ受諾ノ通知ヲ受ケタル者ハ此ノ規則ニ定ムル電線保守料又ハ電池掃除料ヲ民政部ニ納付スヘシ

第四條　民政部ニ依託シタル電線ノ保守及電池ノ掃除ハ電信建築事務ヲ兼掌スル郵便電信局ニ於

テ之ヲ施行ス

第五條　電線保守料ハ左記各號ニ依ル

一　公衆用電信電話線路ニ添架セルモノハ線數一條、里程一町ニ付一箇年金八十五錢トス
二　單獨建設セルモノハ線數一條、里程一町ニ付一箇年金一圓五十錢トス
三　連絡セル線條ニシテ二箇所以上添架ノ部分又ハ單獨建設ノ部分アルトキハ保守依託ヲ受クル區間毎ニ添架部分及單獨部分共各其ノ合計里程ニ依リ計算ス
四　前各號ノ場合ニ於テ一町未滿ノ端數ハ之ヲ一町トシ計算ス
五　公衆用電信電話線路ノ存在セサル地方ニ建設セル單獨線路若ハ鐵線以外ノ線條ヲ架設セル線路竝特殊ノ方法ニ依リ保守スルヲ必要トスル線路ノ保守料ハ別ニ之ヲ定ム

依託者ノ請求ニ因リ電柱移轉、線路變更等ニ要スル費用ハ依託者ノ負擔トス

第六條　電池掃除料ハ一箇所電池十箇マテ特ニ一箇年金十一圓トシ一箇所ニ付電池數一箇以上十箇マテヲ増ス毎ニ一箇年金二圓五十錢ヲ加算ス

前項掃除料ニハ傭人料及器具代ノ外掃除ニ要スル材料ハ包含セス

第七條　電線保守及電池掃除ノ依託一箇年ニ滿タサル場合ノ料金ハ月割ヲ以テ計算シ依託ノ月及依託解除ノ月ハ日數ニ拘ラス一箇月ニ計算ス

第八條　電線保守依託中電柱移轉又ハ修築等ノ爲線路ノ伸長シタル場合ハ其ノ月ヨリ又線路ノ短縮シタル場合ハ其ノ翌月ヨリ伸縮シタル里程ニ應シ保守料ヲ變更ス但シ其ノ增減一町未滿ノモノハ其ノ年度內保守料ヲ變更セス

電池掃除依託中電池數ノ増加シタル場合ハ其ノ月ヨリ又電池數ノ減少シタル場合ハ其ノ翌月ヨリ增減シタル電池數ニ應シ掃除料ヲ變更ス

第九條　電線保守料及電池掃除料ハ年額ヲ二分シ左ニ揭クル期別ニ從ヒ毎期ノ末月ニ納付スヘシ但シ依託解除ノ場合ニ於テハ直ニ之ヲ納付スヘシ

第一期　四月一日ヨリ九月三十日マテ
第二期　十月一日ヨリ翌年三月三十一日マテ

第十條　毎期末日マテニ依託解除ノ通知ナキトキハ引續キ次期ノ依託ヲ約シタルモノト看做ス

附　則

本令ハ明治三十八年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二款　外國電信

●萬國電信條約書

明治十二年十月十三日
太政官布告第四十五號

本年一月魯西亞國聖彼得堡府ニ於テ萬國電信盟約ニ加入シ別冊條約書調印交換相濟候條此旨布告候事

(別冊)

萬國條約書

第一條　同盟各國ハ何人ヲ問ハス萬國聯合電信ノ方法ニ依テ通信スルノ權利アルコトヲ承認ス

第二條　同盟各國ハ通信ノ祕密且速達ヲ擔保スルカ爲ニ必用ナル百般ノ處置ヲ爲スヘシ

第三條　然レトモ同盟各國ハ萬國電信ノ取扱上ヨリ起ル一切ノ責ニ任セサルヘシ

第四條　同盟各國政府ハ通信ノ速達ヲ擔保スルニ十分ナル線數ヲ設備シ以テ特別ノ電線トナシ萬國電信ノ用ニ充ツヘシ

此特線ハ方今電機學經驗上ニ於テ發明セシ最良ノ方法ヲ以テ建設使用スヘシ

第五條　電信ヲ區分シテ左ノ三種トナス

第一　官報
即チ同盟國ノ首長大臣陸海軍將帥公使又ハ領事ノ通信ヲ云フ

第二　局報
即チ同盟國各電信局ヨリ出セル報信ニシテ萬國電信ノ庶務ニ關シ或ハ各局協議ノ上國益トナルヘキ事件ニ關スル者ヲ云フ

第三　私報

第六條　傳送ハ總テ官報ヲ先ニシ他ノ報信ヲ後ニス

官報竝ニ局報ハ隨時ニ暗號ヲ用テ報スルコトヲ得ヘシ

私報ハ暗號ヲ以テ贈答スルコトヲ許シタル兩國政府ノ間ノミニ於テ之ヲ送受スルヲ得ヘシ

暗號ヲ以テ齎シタル通信ヲ認許セサル國ト雖モ第八條ニ云フ通信停止ノ時ヲ除クノ外其私報ヲ傳送スルコトハ許スヘキモノトス

第七條　同盟各國ハ其國ノ治安ニ害アリ其國ノ法律若クハ風俗ニ悖ルモノト看認ル私報ハ其傳送ヲ差留ルノ權アリ

第八條　各國政府ニ於テハ期限ヲ定メス一時萬國電信ノ使用ヲ停止スルヲ必要ナリト思考スルトキハ其趣ヲ同盟國各政府ヘ報知シ管下總體ノ電線或ハ一部ノ電線又ハ齎信ノ種類ヲ限リ之ヲ停止スル　ノ權ア

リ

第九條

同盟各國ハ音信ノ傳送及ヒ配達ヲ一層保全且便捷ニスル爲メ同盟國電信各本局ニ於テ協議決シタル種々ノ方法ヲ以テ各出狀人ニ利益ヲ與ル事ヲ務ムヘシ

此各國中孰レニテモ音信ノ傳送及ヒ配達ニツキ別殊ノ方法ヲ用ルコトヲ定メ之ヲ報知スルトキハ其成法ヲ以テ亦各出狀人ニ利益ヲ與フルコトヲ務ムヘシ

第十條

同盟各國ニ於テ萬國稅則ヲ制定スルニハ左ノ諸件ヲ標準トスヘシ

同盟各國孰レモ兩國間ノ局ニテモ同線路ヲ以テ送受スル諸音信ノ稅額ハ此彼同一タルヘシ而シテ此法ヲ施行スルニ當リ歐羅巴ニ於テハ一國ヲ二大區ニ區分スルヲ得ヘシ

稅額ハ首尾ノ政府ト中間ノ政府ト協議ノ上各國順次之ヲ定ムヘシ

同盟各國ノ間ニ送受スル音信ニ適用スヘキ稅額ハ何時タリトモ協議ノ上之ヲ改革增減スルコトヲ得ヘシ

萬國稅則ヲ制定スルニ方テハ「フラン」ヲ以テ貨幣ノ本位ト定ム

第十一條

同盟各國ノ萬國電信局務ニ關スル音信ハ其各國ノ諸線路ヲ悉ク無稅ニテ傳送スヘシ

第十二條

同盟各國ハ互ニ其收稅ノ計算ヲ爲スヘシ

第十三條

此條約書ハ細目規則ヲ合セテ全備スル者トス而シテ該規則ノ條件ハ同盟國各本局協議ノ上何時タリトモ之ヲ改正スルヲ得ヘシ

第十四條

同盟國中ニ云フ同盟國中各一政府下ニ屬ク萬國電信事務局ハ萬國電信ニ關スル諸般ノ報告ヲ集メ之ヲ整理出板シ稅則並ニ細目規則ノ改正ヲ請求スル者アラハ其書ヲ同盟國各本局ニ回達シ而シテ衆議一致シタル改正ノ件々ヲ廣告シ且萬國電信ノ榜益トナルヘキ諸項ヲ勉勵熱慮シテ之ヲ執行スル等ノ任ヲ受クルモノトス

此事務局ニ於テ庶務ヲ調理スル爲メ要スル費用ハ同盟國各本局ヨリ支給スヘシ

第十五條

此條約書ニ云フ稅則及ヒ第十三條ニ云フ細目規則ハ此條約書ニ附屬シタル者ニテ條約書ト同一ノ効力有シ且同時ニ施行スヘキモノトス

右稅則及ヒ細目規則ハ會議ノ上更改スルヲ得ヘシ

其際ニ於テハ從來衆與セシ各國皆之ニ會同スルヲ得ヘシ

此會議ハ定期毎ニ之ヲ開キ而シテ毎回其次會ノ期日竝ニ場所ヲ定ムルモノトス

第十六條

此會議ハ同盟各國ノ諸本局ヨリ派出スル所ノ理事官ヲ以テ成立スヘキモノトス

會議ニ於テハ各本局ノ理事官數名アリトモ決議ノ權ヲ有スル者ハ一人ヲ以テ算ス但一政府下ノ諸局ヨリシテ各此會議ニ列セント欲スルトキハ外國交際上ノ手續ヲ經テ期日前ニ其會議ヲ開クヘキ國ノ政府ヘ照會シ各別ノ理事官ヲ派出セシムルトキハ此限ニアラス

右會議ニ於テ改正スル件々ト雖モ同盟國各政府ノ批准ヲ經タル後ニ非サレハ施行スヘカラス

第十七條

細目規則中ニ云フ同盟國中各一政府下ニ屬ク萬國電信事務局ハ萬國電信ニ關スル諸般ノ報告ヲ集メ之ヲ整理出板シ稅則並ニ細目規則ノ改正ヲ請求スル者アラハ其書ヲ同盟國各本局ニ回達シ而シテ衆議一致シタル改正ノ件々ヲ廣告シ且萬國電信ノ榜益トナルヘキ諸項ヲ勉勵熱慮シテ之ヲ執行スル等ノ任ヲ受クルモノトス

此事務局ニ於テ庶務ヲ調理スル爲メ要スル費用ハ同盟國各本局ヨリ支給スヘシ

第十五條

此條約書ニ云フ稅則及ヒ第十三條ニ云フ細目規則ハ此條約書ニ附屬シタル者ニテ條約書ト同一ノ効力有シ且同時ニ施行スヘキモノトス

右稅則及ヒ細目規則ハ會議ノ上更改スルヲ得ヘシ

其際ニ於テハ從來衆與セシ各國皆之ニ會同スルヲ得ヘシ

此會議ハ定期毎ニ之ヲ開キ而シテ毎回其次會ノ期日竝ニ場所ヲ定ムルモノトス

第十六條

此會議ハ同盟各國ノ諸本局ヨリ派出スル所ノ理事官ヲ以テ成立スヘキモノトス

會議ニ於テハ各本局ノ理事官數名アリトモ決議ノ權ヲ有スル者ハ一人ヲ以テ算ス但一政府下ノ諸局ヨリシテ各此會議ニ列セント欲スルトキハ外國交際上ノ手續ヲ經テ期日前ニ其會議ヲ開クヘキ國ノ政府ヘ照會シ各別ノ理事官ヲ派出セシムルトキハ此限ニアラス

右會議ニ於テ改正スル件々ト雖モ同盟國各政府ノ批准ヲ經タル後ニ非サレハ施行スヘカラス

第十七條

同盟各國ハ萬國一般ニ關係セサル事務上ノ點ニ就テハ各國各自諸般ノ約定ヲ爲スノ權ヲ有ス

第十八條

方今此條約ニ與ウサル國ト雖モ其請求ニ依リテハ之ニ加入スルコトヲ許スヘシ

右加入ハ會同ヲ開キシ國ヘ外國交際上ノ手續ヲ經テ照會スヘシ然ルトキハ該國ヨリ其他諸國ヘ之ヲ報知スヘキモノトス

加入セシ上ハ當然ニ此條約ニテ定メタル諸件ヲ行ヒ且衆益ヲ共ニスヘキモノトス

第十九條

此條約ニ加入セサル國々政ハ私立會社トノ通信ハ此條約第十三條ニ云フ所ノ規則ニ基キ愈進歩ノ通信方法ヲ以テ衆利ヲ圖リ之ヲ取扱フヘシ

第二十條

此條約ハ歐曆一千八百七十六年一月一日ヨリ施行シ永久ニ遵守スヘキモノトス若シ之ヲ廢棄セント欲スト雖モ其日ヨリ後一箇年ヲ過ルマテハ仍ホ遵守スヘシ

何レノ國ニ於テ此條約ヲ廢棄スルトモ其國ヲ除ク外他ノ同盟國ニ於テハ依然之ヲ遵守スヘシ

第二十一條

今般ノ條約ハ同盟各政府ノ批准ヲ得テ確定スヘキモノトス因テ其定了シタル證書ハ勉メテ速ニ比特保府ニ於テ互ニ相交換スヘシ

右條件信證ノ爲メニ各國全權公使各其名ヲ手署シ且其印章ヲ鈐ス

日本國　日耳曼國　澳地利國　伯牙里國　白義國

丁抹國
埃及國
西班牙國
佛蘭西國
大不列顛國
英領印度國
印度竝歐羅巴間營轄
希臘國
伊太利國
那威國
荷蘭國
波斯國
葡萄牙國
羅西亞國
瑞典國
瑞西國
土耳古國

明治二十一年十二月二十七日
遞信省告示第二百十三號

今般南亞米利加亞見然丁共和國萬國電信條約ニ加入ス

明治二十七年五月十二日
遞信省告示第百十二號

今般英領西濱斯太利亞ハ萬國電信條約ニ加入ス

明治二十八年三月十四日
遞信省告示第五十四號

今般「ハリフェキス、エンド、ベルムダス」海底線會社ハ萬國電信條約ニ加入ス

明治二十九年六月二十四日
遞信省告示第百二十九號

今般葡萄牙諸殖民地及新加列土尼ハ萬國電信條約ニ加入ス

明治二十九年六月二十七日
遞信省告示第百三十三號

今般英領殖民地公斯蘭ハ萬國電信條約ニ加入ス

明治三十年七月三日
遞信省告示第百七十號

今般英領殖民地錫蘭ハ萬國電信條約ニ加入ス

明治三十年七月三日
遞信省告示第百七十二號

今般獨逸海底電信會社ハ萬國電信條約ニ加入ス

明治三十一年四月二十三日
遞信省告示第百七號

今般有限責任西印度海底線會社ハ萬國電信條約ニ加入ス

明治三十三年十月九日
遞信省告示第三百九十六號

今般獨逸大四洋電信會社ハ萬國電信條約ニ加入ス

明治三十四年六月六日
遞信省告示第二百四十號

今般西部電信會社ハ萬國電信條約ニ加入ス

明治三十四年十月三十日
遞信省告示第四百三十二號

今般英國保護ノ下ニ在ル東亞弗利加及ニカンダハ萬國電信條約ニ加入ス

明治三十五年四月二十二日
遞信省告示第二百五號

今般グレート政府ハ萬國電信條約ニ加入ス

明治三十五年十月十一日
遞信省告示第四百六十四號

今般ウルグエー共和國ハ萬國電信條約ニ加入ス

明治三十六年一月二十四日
遞信省告示第三十五號

今般濠斯太利亞ハ萬國電信條約ニ加入ス

明治三十六年四月二十一日
遞信省告示第二百五十三號

今般マダガスカルハ萬國電信條約ニ加入ス

明治三十六年五月二十一日
遞信省告示第二百九十號

今般東方擴張電信會社ハ萬國電信條約ニ加入ス

明治三十八年八月十一日
遞信省告示第四百四十四號

今般獨乙和蘭電信會社ハ萬國電信條約ニ加入セリ

明治三十九年十二月二十六日
遞信省告示第六百一號

今般丁抹國領イスランドハ萬國電信條約ニ加入セリ

●萬國電信條約附屬細目規則

明治三十七年六月二十二日
遞信省告示第三百十六號
敬正　三ノ本第三百三號三九本第六〇三號

明治三十年六月遞信省告示第百六十六號萬國電信條約附屬細目規則及税表ハ客年倫敦ニ開會セル萬國電信會議ニ於テ左ノ通改正ナリタルニ付來七月一日ヨリ之ヲ施行ス

（千九百三年倫敦改正）聖比得堡締結萬國電信條約附屬細目規則

綱第十三條

此條約ハ細目規則ヲ合セテ全備スル者トス而シテ該規則ノ條件ハ同盟各本局協議ノ上何時タリトモ之ヲ改正スルヲ得ヘシ

第一編

萬國電線

綱第四條

同盟各國政府ハ通信ノ速達ヲ擔保スルニ十分ナル線數ヲ設備シ以テ特別ノ電線トナシ萬國電信ノ用ニ充ツヘシ

此特線ハ方今電機學經驗上ニ於テ發明セシ最良ノ方法ヲ以テ建設使用スヘシ

目第一條

第一節　電報送受ノ間斷ナキ又ハ甚タ頻繁ナル各電信局間ハ可及的電線ヲ直接ニ連續セシムヘシ此ノ電線ハ一「キロメートル」ニ付七「オーム」ヲ超過セサル電氣抵抗力ヲ有シ且線質堅牢ニシテ絕緣力十分ナルヲ要ス此ノ電線上ニ於テハ首尾兩局ノ外傳送ヲ爲サヽルヲ通則トス

目第二條

第一節　萬國線ハ直通兩局間ノ通信ノ需要ニ應スルニ足ルヘキ線數ヲ設備スヘシ

第二節　通信繁劇ナラサル諸局間ノ萬國線ニ在リテハ「モールス」機又ハ音響機殊ニ頻繁ナル電線ニ在リテハ「ヒユース」機ヲ用フヘシ

通信ノ數一日一線ニ付五百通（約七千語）以上ニ達シタルトキハ關係電信主管廳ニ於テ更ニ直通線ヲ增設スルカ又ハ「ヒユース」機ヨリ一層迅速ナル機器、例ヘハ「ボードー」機又ハ「ホヰートストン」機ヲ用フヘシ

第三節　線路障碍ノ場合ニ於テハ關係各局ニ通報シタル後右ノ特線ヲ以テ諸通信ヲ爲スコトヲ得然レトモ其ノ全通セシ時ハ速ニ舊ニ復スヘシ

第四節　首尾兩局ノ間ニ直接ニ通信スルコト能ハサルトキハ其ノ電信主管廳ニ於テ毎線一箇又ハ數箇ノ中繼局ヲ撰定シテ必ス電報ヲ繼送セシムヘシ

目第三條

第一節　電信主管廳ハ各自主管ノ區內ニアル萬國海陸電線ノ保護ニ盡力シ而シテ各線ノ良效ヲ發スヘキ方法ヲ設定スヘシ

第二節　首尾兩局ニ於テ萬國幹線ノ電氣ノ狀況（絕緣力及抵抗力等）ヲ測定スル爲メニ少クトモ六箇月毎ニ一回關係主管廳ノ協議ヲ以テ決定スヘキ日時ニ於テ試驗ヲ執行シ其ノ成績ヲ特ニ設クル簿冊ニ記載スヘシ

第三節　萬國線ノ架設シアル地方ノ電信ノ長官ハ此ノ試驗ノ方法ヲ規定シ之ヲ執行スル爲メ且共通事務上ノ便益ヲ計リ商議シタル條項ヲ確實ニ適用スル爲メ直接ニ協議スヘシ

第四節　萬國電線ノ障碍ノ場合ニ於テハ關係各局ノ吏員ハ障碍ノ種類ヲ確定スヘキ試驗ノ結果ト線路ノ迅速ナル回復ニ必要ナル總テノ事項トヲ互ニ相通報スヘシ

第二編

勤務時間　開局時限

目第四條

第一節　同盟國ノ繁盛ナル都市間ニ在リテハ可及的晝夜間斷ナク開局勤務スヘシ

第二節　終日勤務スル通常ノ局ハ公衆ノ爲メ少ナクトモ午前八時ヨリ午後九時ニ至ルマテ開局スヘシ

第三節　時間制限局ノ開局時間ハ同盟國ノ電信主管廳ニ於テ各之ヲ定ムヘシ終日勤務スル局ト雖モ日曜日ノミ特ニ時間制限局ノ時間ヲ適用スルハ各國隨意タルヘシ但其ノ趣旨ヲ萬國電信總理局ニ報告シ該局ヨリ之ヲ他ノ電信主管廳ニ通知スヘシ

第四節　終日勤務セサル局ト雖モ該局ニ比シ長時間勤務スル局ヘ送ルヘキ萬國電報ヲ盡ク傳送シ終ラサレハ閉局スルコトヲ得ス

第五節　直通線ヲ以テ通信スル隣邦ノ兩局間ニ於テハ其ノ首府ノ地位最モ西方ニ在ル國ニ關スル局ヨリ閉局時限ノ符號ヲ報知スヘシ

第六節　前節ノ規定ハ晝夜勤務局ニ於ケル局員交代ノ時限及日誌ノ締切ニモ之ヲ適用スヘシ

第七節　一國中ノ諸局ハ總テ一齊ノ時刻ヲ用フヘシ電信主管廳ノ採用シタル標準時ハ萬國電信總理局ニ報告シ該局ハ之ヲ他ノ電信主管廳ニ通知スヘシ

目第五條

左ノ記號ハ各種ノ電信局ヲ表示スル爲メ萬國電信事務用ノ書類ニ用フルモノトス

N　晝夜間斷ナク勤務スル局

N/半　夜半マテ時間ヲ延長シテ勤務スル局

C　終日勤務スル局

L　時間ヲ制限シテ勤務スル局（終日勤務局ヨリハ開局ノ時限短少ナルモノヲ云フ）

F　公衆ノ電報ヲ取扱フ鐵道電信局

P　一私人ニ屬スル局

S　號標臺

T　私用電報ヲ取扱フ電話局

K　發信ハ其ノ種類ノ如何ニ拘ハラス之ヲ受附ルモ著信ハ留置電報若ハ鐵道停車場構內ニ配達スルモノニアラサレハ之ヲ取扱ハサル局

VK　發信ハ其ノ種類ノ如何ニ拘ハラス之ヲ受附ケ若ハ旅客又ハ停車場構內ニ居住スル者ノ電報ニ限リ受附ルモ著信ハ一切之ヲ取扱ハサル局

E　國ノ首長又ハ宮廷ノ駐在スル間ノミ開局スル局

B　浴季ノミ開局スル局

H　冬季ノミ開局スル局

L/BC　浴季ハ終日勤務シ其ノ餘ハ時間ヲ制限シテ勤務スル局

L/HC　冬季ハ終日勤務シ其ノ餘ハ時間ヲ制限シテ勤務スル局

C/DL　平日ハ終日勤務シ日曜日ノミ時間ヲ制限シテ勤務スル局

*　閉局

前數項ノ記號ハ互ニ相合加シテ之ヲ用フルコトヲ得

第三編

通信總則

綱第一條

同盟各國ハ何人ヲ問ハス萬國聯合電信ノ方法ニ依テ通信スルノ權利アルコトヲ承認ス

綱第二條

同盟各國ハ通信ノ秘密且速達ヲ擔保スルカ爲メ必要ナル百般ノ處置ヲ爲スヘシ

綱第三條

然レトモ同盟各國ハ萬國電信取扱上ヨリ起ル一切ノ責ニ任セサルヘシ

綱第五條

電信ヲ區分シテ左ノ三種トナス

第一　官報　卽チ同盟國ノ首長、大臣、陸海軍將帥、公使又ハ領事ノ通信ヲ云フ

第二　局報　卽チ同盟國各電信局ヨリ出セル報信ニシテ萬國電信ノ處務ニ關シ或ハ各國協議ノ上國益トナルヘキ事件ニ關スル者ヲ云フ

第三　私報

傳送ハ總テ官報ヲ先ニシ他ノ報信ヲ後ニス

綱第七條

同盟各國ハ其ノ國ノ治安ニ害アリ又ハ其ノ國ノ法律若クハ風儀ニ悖ルモノト認ムル私報ハ其ノ傳送ヲ差留ルノ權アリ

綱第八條

各國政府ニ於テハ期限ヲ定メス一時萬國電信ノ事務ヲ停止スルヲ必要ナリト思考スルトキハ其ノ趣ヲ同盟國各政府ヘ報知シ管下總體ノ電線或ハ一部ノ電線又ハ音信ノ種類ヲ限リ之ヲ停止スルノ權アリ

第四編

私報ノ書法及受附

綱第五條

電信ヲ區分シテ左ノ三種トス

第一　官報　………

第二　局報　同盟國各電信局ヨリ出セル報信…

第三　私報　………

傳送ハ總テ官報ヲ先ニシ他ノ報信ヲ後ニス

綱第六條

官報並ニ局報ハ隨時ニ暗號ヲ用テ報スルコトヲ得ヘシ

私報ハ暗號ヲ以テ通信スルコトヲ許シタル兩國政府ノ間ノミニ於テ之ヲ送受スルヲ得ヘシ

暗號ヲ以テ書シタル通信ヲ認許セサル國ト雖モ第八條ニ云フ通信停止ノ時ヲ除クノ外其私報ヲ傳送スルコトハ許スヘキモノトス

目第六條

第一節　私報ノ本文ハ普通語或ハ暗號ヲ以テ記スルコトヲ得暗號ハ隱語及符號語ノ二種ニ分ツ是等ノ語辭ハ同一ノ電報中ニ混記又ハ混記スルコトヲ得

第二節　各電信局ニ於テハ普通語ノ私報ハ總テ之ヲ受ク各電信局ハ暗號ヲ以テ全部若ハ一部ヲ記シタル私報ノ發著ヲ拒絕スルコトヲ得然レトモ聖比得堡締結萬國電信條約第八條ニ揭ケタル通信停止ノ場合ヲ除クノ外是等ノ電報ヲ繼送セシムヘシ

目第七條

第一節　普通語トハ萬國電氣通信ニ用フルコトヲ許シタル一國語若ハ數國語ニ於テ其ノ意味ヲ了解シ得ヘキ語辭ヲ云フ

第二節　普通語電報トハ全部普通語ヲ以テ本文ヲ記シタル電報ヲ云フ然レトモ商標、號標電報ニ使用スル萬國通商符號ヲ表ハス文字、日用文書又ハ商用文書ニ常用スル fob cif caf svp ノ如キ略語若ハ之ニ類似スル略語ニシテ電報ヲ發送スル國ニ於テ認定スルモノノ存在シアルモ其ノ普通語電信タルノ性質ヲ變スルコトナシ

第三節　各電信主管庁ハ其ノ國ノ領土内ニ通用スル國語ト中ニテ官國電報通信ニモ亦之ヲ用フルコトヲ得

目第八條

第一節　醫語トハ特別語電報ニ於テ文法ノ一國語ニ以テ組成スルモノヲ云フ

第二節　節節ノ語群ハ其ノ貨幣語タルト同ジク日耳曼、英吉利、西班牙、和蘭、伊太利、葡萄牙、希臘、羅馬、佛蘭西、獨逸ノ用法ニ從テ發音シ得ベキ綴字ヲ以テ組成セサルヲ要ス

第三節　醫語ハ「モール」字號ニ從ヒ十字以上ノモノヲ用フルコトヲ得ス

第四節　前三節ノ條件ハ其個別醫語ハ從來ノ慣例ニ反スル二箇若ハ數多ノ特別語ノ用法ニ依合ヨリ成レル醫語ハ之ヲ許サス

目第九條

第一節　符號語トハ左記ノ數字若ハ文字ヨリ組成スルモノヲ云フ

第一　數字ノ數字ハ五記號比重數字、文字ノ特別若ハ特殊文ハ略語ノ意味アル比重數字、文字ノ特別若ハ特殊ノ略語ノ意味アル比重數字

第二　特別語(目第七條)若ハ醫語(目第八條)ハ條件ヲ具備セサル語群、名詞、文言若ハ文字ノ集合

第三節　同一電報ノ本文中ニ略語ノ意味アル數字ト文字トヲ混用スルコトヲ得ス

第四節　目第八條第二節ノ規定ハ文字ノ特別ノ意味ニ關スル規定ヲ妨ケス

第一節　電報ノ文字ハ左ノ如シ

A. B. C. D. E. F. G. H. I. J. K. L. M. N. O. P. Q. R. S. T. U. V. W. X. Y. Z. Ä. Ö. Ü.

第二節　數字

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 0.

句讀點、其ノ他ノ記號

疑點	
感嘆點	
小數點	
省略點	
問符	(?)
感符	(!)
喇叭符	(")
括弧	( )
連續點	(...)
等號	(=)
分數符	(/)
字下線	(_)
括弧	( )
各種指定及用符號	(*)
王冠記號	又ハ D.

目第十條

第一節　前節ノ規定ハ電報ノ規定ノ通信字號表中ニアル文字ニ符號スルヲ以テ明瞭ニ通信國ニ於テ通用スルモノヲ以テ足ル

第二節　前節ノ文字ハ左ノ如シ

何時ノ通信時間	又ハ RPx.
何時ノ至急通信時間	又ハ RPDx.
用務	又ハ TC.
電信受信確知(ナ要スル電報)	又ハ PC.
至急電信受信確知(ナ要スル電報)	又ハ PCD.
緊急電信受信確知(ナ要スル電報)	又ハ PCP.
郵便	又ハ FS.
郵便	Poste.
郵便通信	又ハ PB.
郵便電報	Exprès.
郵便電報料金	又ハ XP.
郵便電報料金「フラン」ノ料金	又ハ Xpfr.x
郵便電報料金確認電報	又ハ XPT.
郵便電報料金緊急電報	又ハ XPP.
無線電報	又ハ RO.
本人直接交付	又ハ MP.
郵便配達	又ハ J.
電信電報	又ハ TR.
電信電報電報	又ハ GP.
電信電報電報	又ハ GPR.
……名義	又ハ TMx.
各名義ヲ兼ネスクシ	Communiquer toutes adresses.

第三節　電報ノ文言ヲ加削変正スルトキハ人若シ其ノ代人ニ於テ證據ヲ與スクシ

目第十一條

電報ハ左ノ順序ニ從テ表ハスクシ

一　指定　二　名義　三　本文　四　記名

目第十二條

第一節　郵信人ハ目第十條ノ規定ニ從ヒ其ノ使用シタル通信用語ニ於テ指定中ニ通信國ニ於テ通用スルモノヲ以テ明瞭ナル指定ヲ與フルコトヲ要ス

第二節　郵信人ハ電報ノ文言ヲ變更シ又ハ其ノ一部ヲ削除スクシ

第三節　郵信人ハ記名ノ代ハリニ其ノ電報ヲ以テ其ノ名義ヲ記スクシ

第四節　郵信人ハ電報ノ名義ヲ變更シ又ハ其ノ一部ヲ削除スクシ

第五節　郵信人ハ電報ノ名義ヲ變更シ又ハ其ノ一部ヲ削除スクシ

第六節　郵信人ハ電報ノ名義ヲ變更シ又ハ其ノ一部ヲ削除スクシ

第七節　郵信人ハ電報ノ名義ヲ變更シ又ハ其ノ一部ヲ削除スクシ

第八節　郵信人ハ電報ノ名義ヲ變更シ又ハ其ノ一部ヲ削除スクシ

第九節　郵信人ハ電報ノ名義ヲ變更シ又ハ其ノ一部ヲ削除スクシ

第十節　郵信人ハ電報ノ名義ヲ變更シ又ハ其ノ一部ヲ削除スクシ

第十一節　郵信人ハ電報ノ名義ヲ變更シ又ハ其ノ一部ヲ削除スクシ

第十二節　郵信人ハ電報ノ名義ヲ變更シ又ハ其ノ一部ヲ削除スクシ

目第十四條

第一節　本文ハ電報ノ一部ヲ成スモノトス

二節　若シ電報ノ句讀點ハ其ノ文字ヲ以テ本文ヲ記シ